

北斗市 館 野 遺 跡 (2)

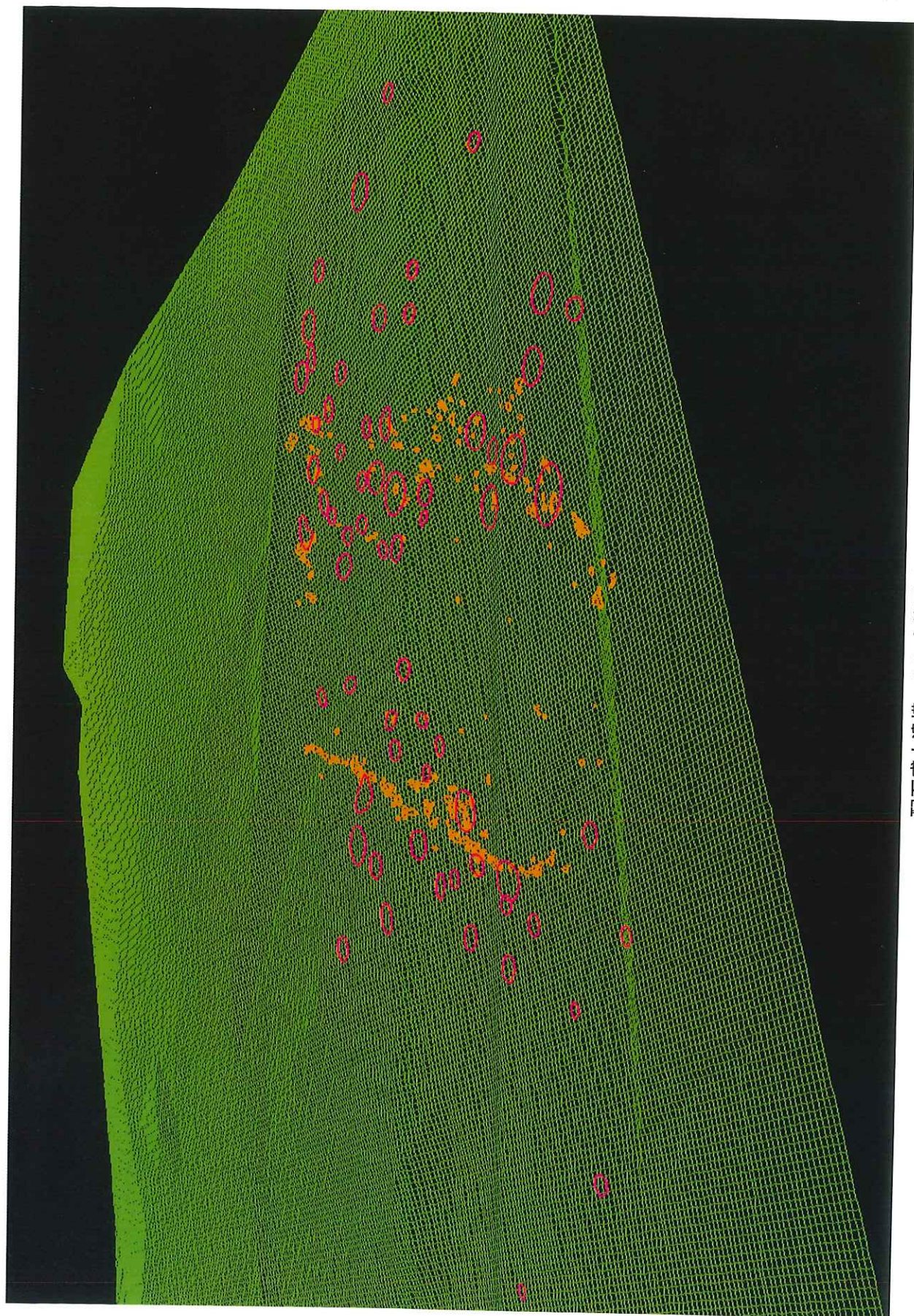
— 高規格幹線道路函館江差自動車道建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 —

第 3 分冊

中央広場・配石遺構編

平成23年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター



配石盛土遺構 3D立体図(1)



河口 (2) 河口の風景 河口の風景



配石盛土遺構 3D立体図(3) 中央広場



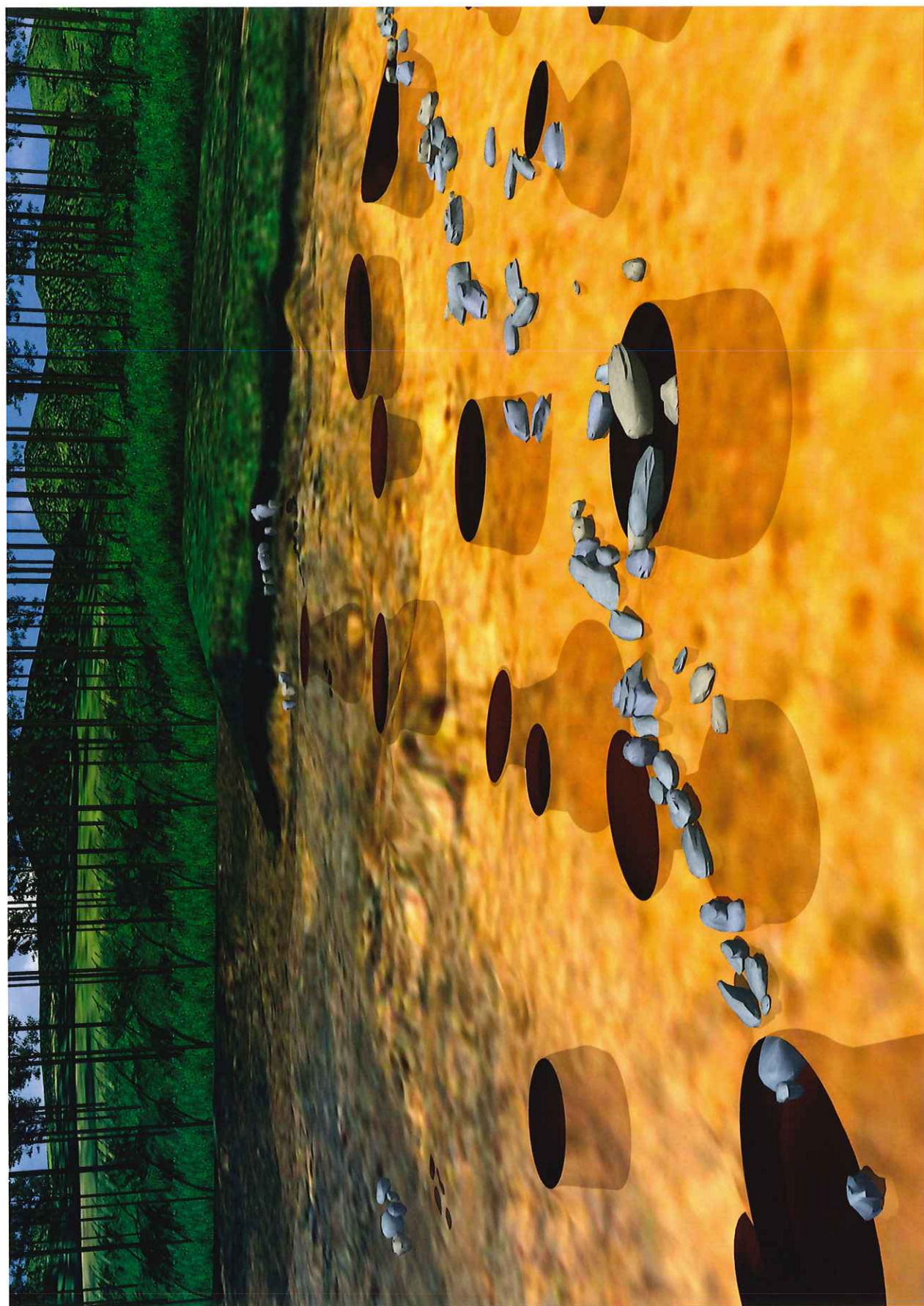
配石盛土遺構 3D立体図(4)



配石盛土遺構 3D立体図(5)



配石盛土遺構 3D立体図(6)



配石盛土遺構 3D立体図(7) 南側配石

*記号の説明

1 の遺構表記の略式記号の詳細について、本報告書の図・図版・表中において遺構の便宜上の呼称として以下の記号を用いた。

H	： 竪穴式・平地式住居跡
P	： 土坑
TP	： 落とし穴
Sa	： 石組
Fs	： 石囲炉（屋外炉）
F	： 焼土
SP	： 小柱穴状ピット
D	： 溝状遺構
NM	： 北盛土
SM	： 南盛土
CSS	： 中央配石遺構
NSS	： 北配石遺構
SSS	： 南配石遺構
CSSP	： 中央配石抜け石痕
UP	： 配石下ピット
CP	： 中央広場小ピット
Cs	： 小礫（遺物）集中
X	： 竪穴状遺構
Po	： 埋設土器

Csとした小礫については富川層内の砂利層から抜き出された小礫が盛土中に意図的に散布されている為、遺物として取り扱ったので、本文中では小礫（遺物）集中として示している。

遺構内の施設については以下の略号を用いた。上記の遺構記号と区別するためにハイフンを用いていない。

HF	： 地床炉
HF _s	： 石囲炉
HP	： 住居跡の土坑

分冊項目

第1分冊

I 調査の概要

- 1 調査要項
- 2 調査体制
- 3 調査の経緯
- 4 調査日誌（抄）
- 5 調査結果の概要

II 遺跡の位置と環境

- 1 遺跡の位置
- 2 周辺の遺跡

III 調査の方法

- 1 発掘区の設定
- 2 土層
- 3 調査の方法
- 4 整理の方法
- 5 遺物の分類

IV 遺構の概要

V 北盛土編

- 1 北盛土の概要
- 2 北盛土の遺物

第2分冊

VI 南盛土編

- 1 南盛土の概要
- 2 南盛土の遺物

第3分冊

VII 中央広場・配石遺構編

- 1 中央広場・配石遺構周辺と南側調査区の遺構
- 2 貼土・整地の遺物
- 3 畝状遺構（中世）

第4分冊

VIII 遺物編

- 1 遺構の遺物
- 2 包含層の遺物

- 3 土製品
- 4 赤彩土器
- 5 追加報告（＊平成15年度調査区出土遺物）
- 6 土器の接合関係

＊平成15年度に出土した遺物を、平成16年度の接合状況をみてから本報告に掲載した。

第5分冊

IX 自然科学的手法による分析結果

- 1 放射性炭素年代測定
- 2 館野遺跡における放射性炭素年代（AMS法）
- 3 館野遺跡の古環境について
- 4 館野遺跡出土黒曜石の産地推定
- 5 北斗市館野遺跡出土の種実遺体・動物遺存体

X まとめ

- 1 竪穴式住居跡の分布と変遷について
- 2 フラスコ状ピットの分布と変遷について
- 3 盛土遺構の範囲
- 4 縄文時代後期初頭の配石・盛土遺構について
- 5 館野遺跡出土のⅢ群・Ⅳ群土器について
- 6 館野遺跡出土の縄文時代早期前半「川汲式」について
- 7 館野遺跡出土の石刃鏃とアルトリ式
- 8 館野遺跡の土偶と土偶土器片について
- 9 「双角状土製品」について
- 10 石器のまとめ
- 11 館野遺跡の自然科学的分析・鑑定結果について
- 12 館野遺跡の活断層について

XI 一覧表など

報告書抄録

第6分冊

XII 写真図版編

目次（第3分冊）

口絵 1～7

凡例

分冊項目

挿図目次

表目次

図版目次

VII章 中央広場・配石遺構編

1 中央広場・配石遺構周辺と南側調査区の遺構

(1) 竪穴式住居跡 (H)	1
(2) 土坑 (P)	7
(3) 落とし穴 (TP)	30
(4) 石囲炉 (Fs)	31
(5) 焼土 (F)	33
(6) 小柱穴状ピット (SP)	34
(7) 埋設土器 (Po)	36
(8) 小礫 (遺物) 集中 (Cs)	37
(9) 溝状遺構 (D-1)	37
(10) 中央広場	37
(11) 中央配石遺構 (CSS)	38
(12) 中央配石抜け石痕 (CSSP)	39
(13) 配石下ピット (UP)	39
(14) 中央広場小ピット (CP)	42

2 貼土・整地の遺物

(1) 貼土・整地出土遺物の概要	231
(2) 貼土の土器	231
(3) 貼土・整地の石器	231
(4) 貼土の土製品・赤彩土器片	232
(5) 貼土・整地の遺物の分布と出土状況	232
(6) 南北盛土の遺物の分布と出土状況	232

3 畝状遺構 (中世) 281 |

挿図目次（第3分冊）

図Ⅶ-1	遺構群の推定模式図	43	図Ⅶ-37	P-123・125・162	79
図Ⅶ-2	竪穴式住居跡(H)分布図		図Ⅶ-38	P-181~183	80
	3分冊範囲	44	図Ⅶ-39	P-184	81
図Ⅶ-3	H-33(1)	45	図Ⅶ-40	P-186	82
図Ⅶ-4	H-33(2)	46	図Ⅶ-41	P-187	83
図Ⅶ-5	H-36(1)	47	図Ⅶ-42	P-188・189	84
図Ⅶ-6	H-36(2)	48	図Ⅶ-43	P-190・194	85
図Ⅶ-7	H-37	49	図Ⅶ-44	P-195・200~202	86
図Ⅶ-8	H-38(1)	50	図Ⅶ-45	P-203・204・211	87
図Ⅶ-9	H-38(2)	51	図Ⅶ-46	P-212~214	88
図Ⅶ-10	H-39(1)	52	図Ⅶ-47	P-216	89
図Ⅶ-11	H-39(2)	53	図Ⅶ-48	P-217	90
図Ⅶ-12	H-47(1)	54	図Ⅶ-49	P-219・220・235	91
図Ⅶ-13	H-47(2)	55	図Ⅶ-50	Tピット(TP)分布図3分冊範囲	92
図Ⅶ-14	H-53	56	図Ⅶ-51	TP-8・9	93
図Ⅶ-15	土坑(P)分布図3分冊範囲	57	図Ⅶ-52	石囲炉(Fs)分布図3分冊範囲	94
図Ⅶ-16	P-51~54	58	図Ⅶ-53	Fs-11~13	95
図Ⅶ-17	P-56・57	59	図Ⅶ-54	Fs-15~17	96
図Ⅶ-18	P-58・59	60	図Ⅶ-55	Fs-22・23・36	97
図Ⅶ-19	P-61・62	61	図Ⅶ-56	Fs-37・38	98
図Ⅶ-20	P-63・64	62	図Ⅶ-57	焼土(F)分布図3分冊範囲	99
図Ⅶ-21	P-65・66	63	図Ⅶ-58	F-64~67	100
図Ⅶ-22	P-67・68	64	図Ⅶ-59	F-68~71	101
図Ⅶ-23	P-69	65	図Ⅶ-60	F-72・82・95~98	102
図Ⅶ-24	P-70	66	図Ⅶ-61	F-99・100・155・156・158	103
図Ⅶ-25	P-71・72	67	図Ⅶ-62	F-159~161・182・199	104
図Ⅶ-26	P-73・74	68	図Ⅶ-63	F-250・260・280・281	105
図Ⅶ-27	P-75	69	図Ⅶ-64	小柱穴状ピット(SP)分布図	
図Ⅶ-28	P-76	70		3分冊範囲(1)	106
図Ⅶ-29	P-86・87	71	図Ⅶ-65	小柱穴状ピット(SP)分布図	
図Ⅶ-30	P-88・89	72		3分冊範囲(2)	107
図Ⅶ-31	P-90	73	図Ⅶ-66	Q38・39区SP群	108
図Ⅶ-32	P-91・92	74	図Ⅶ-67	R30・31区SP群	109
図Ⅶ-33	P-95	75	図Ⅶ-68	R32・33区SP群	110
図Ⅶ-34	P-96	76	図Ⅶ-69	R34・35区SP群	111
図Ⅶ-35	P-100・112	77	図Ⅶ-70	R36区SP群	112
図Ⅶ-36	P-113~115	78	図Ⅶ-71	R37・38(1)区SP群	113

図Ⅶ-72	R 38(2)・39区SP群	114	図Ⅶ-110	配石測量図(11)	152
図Ⅶ-73	R 40 S 30区SP群	115	図Ⅶ-111	配石遺構図(1)	153
図Ⅶ-74	S 31区SP群	116	図Ⅶ-112	配石ベルト設定図	155
図Ⅶ-75	S 32・36・46・47区SP群	117	図Ⅶ-113	配石ベルト土層図(1)	156
図Ⅶ-76	T 30区SP群	118	図Ⅶ-114	配石ベルト土層図(2)	157
図Ⅶ-77	T 31・42区SP群	119	図Ⅶ-115	配石ベルト土層図(3)	158
図Ⅶ-78	T 45・46 U 30区SP群	120	図Ⅶ-116	配石ベルト土層図(4)	159
図Ⅶ-79	U 31・42~44区SP群	121	図Ⅶ-117	配石ベルト土層図(5)	160
図Ⅶ-80	V 30・42・45 W 29区SP群	122	図Ⅶ-118	配石ベルト土層図(6)	161
図Ⅶ-81	W 30・42・45 X 42区SP群	123	図Ⅶ-119	配石ベルト土層図(7)	162
図Ⅶ-82	X 43・45・46 Y 42・47区SP群	124	図Ⅶ-120	配石ベルト土層図(8)	163
図Ⅶ-83	埋設土器(Po)分布図 3分冊範囲	125	図Ⅶ-121	配石ベルト土層図(9)	164
図Ⅶ-84	Po-3~5・8	126	図Ⅶ-122	配石ベルト土層図(10)	165
図Ⅶ-85	小礫集中(Cs)分布図 3分冊範囲	127	図Ⅶ-123	配石ベルト土層図(11)	166
図Ⅶ-86	Cs-2	128	図Ⅶ-124	配石ベルト土層図(12)	167
図Ⅶ-87	D-1 H-15・16年度位置図	129	図Ⅶ-125	配石ベルト土層図(13)	168
図Ⅶ-88	D-1	130	図Ⅶ-126	配石ベルト土層図(14)	169
図Ⅶ-89	遺構群の概念模式図	131	図Ⅶ-127	配石ベルト土層図(15)	170
図Ⅶ-90	広場セクション設定図	132	図Ⅶ-128	配石ベルト土層図(16)	171
図Ⅶ-91	メインセクション図(1)	133	図Ⅶ-129	配石ベルト土層図(17)	172
図Ⅶ-92	メインセクション図(2)	134	図Ⅶ-130	配石ベルト土層図(18)	173
図Ⅶ-93	メインセクション図(3)	135	図Ⅶ-131	配石ベルト土層図(19)	174
図Ⅶ-94	配石遺構位置図	136	図Ⅶ-132	配石ベルト土層図(20)	175
図Ⅶ-95	配石遺構石質図	137	図Ⅶ-133	配石ベルト土層図(21)	176
図Ⅶ-96	北側配石分布図(1)	138	図Ⅶ-134	配石ベルト土層図(22)	177
図Ⅶ-97	北側配石分布図(2)	139	図Ⅶ-135	配石ベルト土層図(23)	178
図Ⅶ-98	南側配石分布図(1)	140	図Ⅶ-136	配石ベルト土層図(24)	179
図Ⅶ-99	南側配石分布図(2)	141	図Ⅶ-137	配石ベルト土層図(25)	180
図Ⅶ-100	配石測量図(1)	142	図Ⅶ-138	配石遺構図(2)	181
図Ⅶ-101	配石測量図(2)	143	図Ⅶ-139	中央配石抜け石痕(CSSP) 分布図	183
図Ⅶ-102	配石測量図(3)	144	図Ⅶ-140	R 32~34区CSSP	184
図Ⅶ-103	配石測量図(4)	145	図Ⅶ-141	R 35・36 S 35・36 S 31・32区CSSP	185
図Ⅶ-104	配石測量図(5)	146	図Ⅶ-142	T 31・36区CSSP	186
図Ⅶ-105	配石測量図(6)	147	図Ⅶ-143	U 30・31 V 30区CSSP	187
図Ⅶ-106	配石測量図(7)	148	図Ⅶ-144	V 35 W 30・35区CSSP	188
図Ⅶ-107	配石測量図(8)	149	図Ⅶ-145	X 30・34区CSSP	189
図Ⅶ-108	配石測量図(9)	150	図Ⅶ-146	配石下土坑(UP)分布図	190
図Ⅶ-109	配石測量図(10)	151	図Ⅶ-147	配石遺構図(3)	192

図Ⅶ-148	配石下土坑 (UP) 分類図	193	図Ⅶ-188	貼土出土土器 (4)	236
図Ⅶ-149	R 32区UP群	194	図Ⅶ-189	貼土出土土器 (5)	237
図Ⅶ-150	R 33区UP群	195	図Ⅶ-190	貼土出土土器 (6)	238
図Ⅶ-151	R 34区UP群	196	図Ⅶ-191	貼土出土土器 (7)	240
図Ⅶ-152	R 35・36区UP群	197	図Ⅶ-192	貼土出土土器 (8)	241
図Ⅶ-153	S 32区UP群	198	図Ⅶ-193	貼土 (1)・整地出土石器	242
図Ⅶ-154	S 35・36区UP群	199	図Ⅶ-194	貼土出土石器 (2)	243
図Ⅶ-155	T 31・32区UP群	200	図Ⅶ-195	貼土出土石器 (3)	244
図Ⅶ-156	T 36区UP群	201	図Ⅶ-196	貼土の土製品・赤彩土器	245
図Ⅶ-157	U 30・31区UP群	202	図Ⅶ-197	貼土接合関係図 (1)	246
図Ⅶ-158	U 35・36区UP群	203	図Ⅶ-198	貼土接合関係図 (2)	247
図Ⅶ-159	V 30区UP群	204	図Ⅶ-199	貼土接合関係図 (3)	248
図Ⅶ-160	V 31区UP群	205	図Ⅶ-200	貼土接合関係図 (4)	249
図Ⅶ-161	V 35区UP群	206	図Ⅶ-201	貼土接合関係図 (5)	250
図Ⅶ-162	W 30区UP群	207	図Ⅶ-202	整地遺物点数 (1)	251
図Ⅶ-163	W 34・35区UP群	208	図Ⅶ-203	整地遺物点数 (2)	252
図Ⅶ-164	X 30・34 Y 34区UP群	209	図Ⅶ-204	整地遺物点数 (3)	253
図Ⅶ-165	配石遺構図 (4)	210	図Ⅶ-205	整地遺物点数 (4)	254
図Ⅶ-166	中央広場小ピット (CP) 分布図	212	図Ⅶ-206	整地遺物点数 (5)	255
図Ⅶ-167	中央広場小ピット (CP) 分類図	213	図Ⅶ-207	貼土遺物点数 (1)	256
図Ⅶ-168	R 32・33区CP群	214	図Ⅶ-208	貼土遺物点数 (2)	257
図Ⅶ-169	R 34・35区CP群	215	図Ⅶ-209	貼土遺物点数 (3)	258
図Ⅶ-170	S 32・33区CP群	216	図Ⅶ-210	貼土遺物点数 (4)	259
図Ⅶ-171	S 34区CP群	217	図Ⅶ-211	貼土遺物点数 (5)	260
図Ⅶ-172	S 35・36区CP群	218	図Ⅶ-212	貼土遺物点数 (6)	261
図Ⅶ-173	T 31~33区CP群	219	図Ⅶ-213	南北盛土遺物点数 (1)	262
図Ⅶ-174	T 34・35区CP群	220	図Ⅶ-214	南北盛土遺物点数 (2)	263
図Ⅶ-175	U 31・32区CP群	221	図Ⅶ-215	南北盛土遺物点数 (3)	264
図Ⅶ-176	U 33・34区CP群	222	図Ⅶ-216	南北盛土遺物点数 (4)	265
図Ⅶ-177	U 35 V 31・32区CP群	223	図Ⅶ-217	南北盛土遺物点数 (5)	266
図Ⅶ-178	V 33・34 W 30区CP群	224	図Ⅶ-218	南北盛土遺物点数 (6)	267
図Ⅶ-179	W 31・32区CP群	225	図Ⅶ-219	南北盛土遺物点数 (7)	268
図Ⅶ-180	W 33・34区CP群	226	図Ⅶ-220	南北盛土遺物点数 (8)	269
図Ⅶ-181	X 30・31区CP群	227	図Ⅶ-221	館野遺跡耕作土 1 ℓ 中に みられた炭化物質	281
図Ⅶ-182	X 32・33区CP群	228	図Ⅶ-222	館野遺跡耕作土 1 ℓ 中の 炭化物量	281
図Ⅶ-183	X 34 Y 31・32区CP群	229	図Ⅶ-223	畝状遺構 (1)	282
図Ⅶ-184	Y 33・34区CP群	230	図Ⅶ-224	畝状遺構 (2)	283
図Ⅶ-185	貼土出土土器 (1)	233			
図Ⅶ-186	貼土出土土器 (2)	234			
図Ⅶ-187	貼土出土土器 (3)	235			

表目次（第3分冊）

Ⅶ章 中央広場・配石遺構編

表Ⅶ-1	掲載復元土器解説表（貼土）	239
表Ⅶ-2	掲載拓本土器解説表（貼土）	270
表Ⅶ-3	掲載石器一覧表（貼土・整地）	271
表Ⅶ-4	掲載土製品・赤彩土器一覧表（貼土）	271
表Ⅶ-5	中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表（H）	272
表Ⅶ-6	中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表（TP）	272
表Ⅶ-7	中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表（Fs）	272
表Ⅶ-8	中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表（P）	273
表Ⅶ-9	中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表（F）	274
表Ⅶ-10	中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表（Po）	274
表Ⅶ-11	出土遺物点数一覧表（貼土）	275
表Ⅶ-12	出土遺物点数一覧表（整地）	277
表Ⅶ-13	CSS計測一覧表	278
表Ⅶ-14	館野遺跡畑跡・畑地外の炭化物質	281

図版目次（第3分冊）

口絵

- 1 配石盛土遺構 3D立体図（1）
- 2 配石盛土遺構 3D立体図（2）検出面
- 3 配石盛土遺構 3D立体図（3）中央広場
- 4 配石盛土遺構 3D立体図（4）
- 5 配石盛土遺構 3D立体図（5）
- 6 配石盛土遺構 3D立体図（6）
- 7 配石盛土遺構 3D立体図（7）南側配石

VII章 中央広場・配石遺構編

1 中央広場・配石遺構周辺と南側調査区の遺構

ここでは南北の盛土（外帯）・貼土（内帯）に囲まれた中央部分の広場と、広場と内帯の境界となる配石遺構について示す（図Ⅶ-1）。また、広場・配石遺構周辺の遺構についても説明する。

配石・盛土遺構の外域にあたる（40～42ラインより以南）南側調査区についても、この時期に関わる竪穴式住居跡が検出されている為、この章にて説明する。

（1）竪穴式住居跡（H） [図Ⅶ-2～14 表Ⅶ-5 図版Ⅻ-29～50]

H - 33 [図Ⅶ-3・4 図版31]

位 置 断層の南側緩斜面Q・R38・39区に位置する。

規 模 $(4.54 \times 4.54 / 4.38 \times 4.40 / 0.34)$ m

平 面 形 態 やや隅丸方形

長 軸 方 向 長軸を北東から南西方向にもつ。N-49° - W

確 認 盛土下層にて検出した（平成15年度では活断層による包含層の崩落土の可能性を推測していた）。

調 査 包含層調査中、調査区境界の土層断面で黒色土の落ち込みがみられた。遺構である可能性を考え、黒色土の落ち込み範囲にベルトを設定し、壁面の立ち上がりを確認しながら順次掘り下げた。ベルトの土層断面を観察したところ、やや不明瞭な壁の立ち上がり、床面で平らな貼床の床面が確認されたので遺構と認定した。

覆 土 本来の掘り込み面はⅢ層中であると考えられるが、覆土上層の部分は耕作により削平されている。A-Bセクションの覆土上層の1～2層部分は堆積の過程で、竪穴の窪みが存在したため包含層が落ち込みに堆積したと推定される。それより下位の部分には廃棄後の崩落土、または埋め戻し土が堆積している。

壁 立ち上がりは不明瞭である。壁際に周溝をもたない。

床 面 床面には貼床が施され、ほぼ平坦で石囲炉をもつ。

炭 化 材 覆土中に1mm以下の細かい炭化物が散見された。

掘り上げ土 掘り上げ土は確認されなかった。

付 属 遺 構

・石 囲 炉（HF1）

楕円形を呈する。長軸方向は住居の長軸方向とほぼ同じである。石囲の礫は南北方向が消失する。

・柱 穴（HP1～18）

柱穴の確認調査は、完掘状況の住居跡の壁と床面、住居跡周辺を数回掘り下げ、そこで確認された黒色土をすべて半截し、断面形態や覆土の様子から判断した。HP1～18は柱穴であろう。HP16が主柱穴、その他は支柱穴と考えられる。

遺物出土状況 出土した遺物は578点、その内訳は土器は496点、剥片石器28点、礫石器が43点、その他に磨製石斧1点、土・石製品が10点である。土器はⅣ群a2A類が414点を占める。

覆土からⅣ群 a 類の壺形土器の口縁部片と、小型土器が出土しているが、接合範囲が広範なことから遺構埋没過程で流入し堆積したものであろう。Ⅳ群 a 2A 類～Ⅳ群 a 3 類までの破片が出土することから、遺構の落ち込みに南盛土の遺物が多く流入しているものと考えられる。

時 期 周辺の遺物の出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類期に所属すると推定される。

H - 36 [図Ⅶ-5・6 図版Ⅺ-29～31]

位 置 断層の南側緩斜面 S・T44区に位置する。

規 模 5.32×3.76/5.10×3.36/0.23m

平面形態 楕円形

長軸方向 長軸を東西方向にもつ。N-81°-W

確 認 Ⅳ層上面にて検出した。

調 査 耕作の攪乱層除去後、包含層調査中、礫・土器片を多く踏む黒色土のまとまりがみられた。遺構である可能性を考え、ベルトとトレンチを設定し堅穴範囲と、壁面の立ち上がりを確認しながら順次掘り下げた。ベルトの土層断面を観察したところ、明瞭な壁の立ち上がり、トレンチ床面で平らな床面が確認されたので遺構と認定した。

覆 土 本来の掘り込み面はⅢ層中であると考えられるが、覆土上層の部分は耕作により削平されている。A-Bセクションの覆土上層の1～4層部分は堆積の過程で、堅穴の窪みが存在したため、のちの盛土（造成土）が落ち込みに堆積したと推定される。それより下位の部分には廃棄時の埋め戻し土が堆積している。

壁 立ち上がりは明瞭である。

床 面 床面には貼床が施され、ほぼ平坦で石囲炉をもつ。石囲炉の北東側に置き石を持つ。

炭 化 材 覆土中に1mm以下の微細な炭化材片が散見された。

掘り上げ土 周囲は削平をうけ、掘り上げ土は確認されなかった。

付 属 遺 構

・石 囲 炉 (HF1)

円形を呈する。石囲の礫は南西側が引き抜かれ消失する。

・柱 穴 (HP1～25)

柱穴の確認調査は、完掘状況の住居跡の壁と床面、住居跡周辺の検出面を数回掘り下げ、そこで確認された黒色土をすべて半截し、断面形態や覆土の様子から判断した。HP1～25は柱穴であろう。

HP 7 が主柱穴、HP14・18・19・24・25が壁柱穴と考えられる。

遺物出土状況 出土した遺物は1,240点。内訳は土器片1,023点、剥片石器82点、礫石器が118点で、その他に石棒片1点。石・土製品が16点出土する。土器はⅣ群 a 2A 類が943点を占める。土器は、Ⅳ群 a 類の縄線文で文様が施される小型土器がほぼ完形で出土している。Ⅳ群 a 2A 類～Ⅳ群 a 3 類までの破片が出土することから、遺構の落ち込みに南盛土の遺物が多く流入しているものと考えられる。

時 期 遺物の出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2B 類期に所属すると推定される

H - 37 [図Ⅶ-7 図版Ⅺ-30・31]

位 置 断層の南側緩斜面 Q・R39・40区に位置する。

規 模 4.06×3.46/3.86×3.25/0.27m

平面形態 整円形

長軸方向 長軸を北東から南西方向にもつ。N-42° - E

確認 IV層上面にて検出した。

調査 H-33調査中、H-33南側に広がる黒色土のまとまりがみられた。独立した別の遺構である可能性を考え、ベルトを設定し壁面の立ち上がりを確認しながら順次掘り下げた。ベルトの土層断面を観察したところ、やや不明瞭な壁の立ち上がり、トレンチ床面で平らな貼床の床面が確認されたので遺構と認定した。

覆土 本来の掘り込み面はⅢ層中であると考えられるが、覆土上層の部分は耕作により削平されている。A-Bセクションの覆土上層の1層部分は堆積の過程で、竪穴の窪みが存在したため包含層が落ち込みに堆積したと推定される。それより下位の部分には廃棄時の埋め戻し土が堆積している。

壁 立ち上がりはやや不明瞭である。

床面 床面には貼床が施され、北北東床面には僅かに落ち込みがあるが、ほぼ平坦。中央付近に石囲炉をもつ。

炭化材 覆土、床面にて1mm以下の細片が多く確認された。

掘り上げ土 周囲は削平をうけ、掘り上げ土は確認されなかった。

付 属 遺 構

・石 囲 炉 (HF1)

楕円形を呈する。長軸方向は住居の長軸方向と直行する。石囲の礫は北東側が引き抜かれ消失する。

・柱 穴 (HP1~9)

柱穴の確認調査は、完掘状況の住居跡の壁と床面、住居跡周辺の検出面を数回掘り下げ、そこで確認された黒色土をすべて半截し、断面形態や覆土の様子から判断した。HP1・7は支柱穴、HP2~6・8・9が支柱穴と考えられる。

遺物出土状況 出土した遺物は860点、土器片は793点、剥片石器35点、礫石器が22点である。土・石製品が10点出土している。覆土上・中層から多くの遺物が出土している。土器はⅣ群a2A類が758点を占める。磨製石器は出土していない。土器は折り返し口縁に縄線文が施されるⅣ群a類土器が1個体出土しているが、南盛土と遺構の範囲が重複していることから遺構埋没過程で堆積したものであろう。Ⅳ群a2A類~Ⅳ群a3類までの破片が出土することから、遺構の落ち込みに南盛土の遺物が多く流入しているものと考えられる。

時 期 遺物の出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると推定される。

H - 38 [図Ⅶ-8・9 図版Ⅺ-32]

位 置 断層の南側緩斜面A1-42・43区に位置する。

規 模 4.00×(2.94)/3.76×(2.94)/0.22m

平面形態 不整円形

長軸方向 正確な長軸方向は不明。N-10° - W

確認 IV層上面にて検出した。

調査 耕作の攪乱層除去後、包含層調査中、調査区境界の土層断面で黒色土の落ち込みがみられた。Ⅳ層上面で黒色土のまとまりが確認されたため、遺構である可能性を考え、ベルトを設定し壁面の立ち上がりを確認しながら順次掘り下げた。ベルトの土層断面を観察したところ、明瞭な壁の立ち上がり、トレンチ床面で平坦な貼床の床面が確認されたので遺構と認定した。

覆土 本来の掘り込み面はⅢ層中であると考えられるが、覆土上層の部分は削平されている。

A-Bセクションの覆土上層の1～4層部分は自然堆積。8・9・18層は竪穴の堆積層。4～7層は風倒木により跳ね上げられた自然堆積層。10～20層は風倒木の落ち込みに堆積した層であろう。

壁 南北の土層断面では立ち上がりは明瞭だが、東西断面では不明瞭だった。

床 面 床面はほぼ平らで石囲炉をもつ。中央部分が風倒木のため攪乱される。

掘り上げ土 周囲は現代に削平をうけ、掘り上げ土は確認されなかった。

付 属 遺 構

・石 囲 炉 (HF1)

円形を呈すると推測される。石囲の礫は北側部分が風倒木による攪乱で消失する。

・柱 穴 (HP2～17)

柱穴の確認調査は、完掘状況の住居跡の壁と床面、住居跡周辺の検出面を数回掘り下げ、そこで確認された黒色土をすべて半截し、断面形態や覆土の様子から判断した。

1は竪穴の先端ピット。HP4・4～5は柱穴であろう。HP2・3は壁際のややサイズの大きいピット。

HP6は石囲炉の南側にある小型のピット。風倒木の攪乱により半壊する。

遺物出土状況 出土した遺物は、土器片は30点、剥片石器1点、礫石器が21点である。土器はⅣ群 a 2A 類が52点を占める。磨製石器は出土していない。

時 期 遺物の出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類期に所属すると推定される。

H - 39 [図Ⅶ-10・11 図版Ⅻ-33・35]

位 置 断層の南側緩斜面 Y・Z 43・44区に位置する。

規 模 4.35×4.41/4.12×3.82/0.18m

平 面 形 態 円形

長 軸 方 向 長軸を北東から南西方向にもつ。N-65° - W

確 認 Ⅳ層上面にて検出した。

調 査 包含層調査中、礫片を多く含んだ黒色土の堆積がみられた。遺構である可能性を考え、ベルトを設定し壁面の立ち上がりを確認しながら順次掘り下げた。ベルトの土層断面を観察したところ、明瞭な壁の立ち上がり、トレンチ床面で平坦な貼床の床面が確認されたので遺構と認定した。

覆 土 本来の掘り込み面はⅢ層中であると考えられるが、覆土上層の部分は削平されている。A-Bセクションの覆土上層の1～5層部分は堆積の過程で、竪穴の窪みが存在したため包含層が落ち込みに堆積したと推定される。それより下位の部分には廃棄時の埋め戻し土が堆積している。

壁 北西、東南方向が風倒木により攪乱される。それ以外の部分では立ち上がりは明瞭である。

床 面 床面はほぼ平坦で石囲炉をもつ。床面には貼床が施される。周溝はもたない。石囲炉の北東側に置き石を持つ。

炭 化 材 覆土、床面にて細片が多く確認された。

掘り上げ土 周囲は削平をうけ、掘り上げ土は確認されなかった。

付 属 遺 構

・石 囲 炉 (HF1)

円形を呈する。

・柱 穴 (HP2～23)

柱穴の確認調査は、完掘状況の住居跡の壁と床面、住居跡周辺の検出面を数回掘り下げ、そこで確認された黒色土をすべて半截し、断面形態や覆土の様子から判断した。HP1～23は柱穴であろう。

HP20が主柱穴、その他は支柱穴と考えられる。

遺物出土状況 出土した遺物は、土器片は707点、剥片石器23点、礫石器が62点である。磨製石器は出土していない。その他に土・石製品が7点出土している。土器はIV群 a 3類の壺形土器が1個体出土している。包含層から流入したものと推定され、H-38周辺と南盛土遺構付近のH-43等と広範で接合する。IV群 a 2A類～IV群 a 3類までの破片が出土することから、遺構の落ち込みに南盛土の遺物が多く流入しているものと考えられる。

時期 遺物の出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群 a 2B類期に所属すると推定される。

H - 47 [図Ⅶ-12・13 図版Ⅺ-45]

位置 断層の南側緩斜面（北盛土付近）U・V30・31区に位置する。

規模 3.62×3.29／3.50×3.13／0.28m

平面形態 不整円形

長軸方向 長軸を東西方向にもつ。N-61°-W

確認 盛土下層にて検出した。

調査 耕作の攪乱層除去後、包含層調査中、地形確認の為のトレンチ土層断面で黒色土の堆積がみられた。遺構である可能性を考え、ベルトを設定し壁面の立ち上がりを確認しながら順次掘り下げた。ベルトの土層断面を観察したところ、わずかな壁の立ち上がり、平らな床面が確認されたので遺構と認定した。

覆土 本来の掘り込み面は盛土中のレベルであると考えられるが、覆土上層の部分は整地により削平されている。C-Dセクションの覆土上層の1～4層部分は堆積の過程で、堅穴の窪みが存在したため包含層（盛土層）が落ち込みに堆積したと推定される。それより下位の部分には廃棄時の埋め戻し土が堆積している。

壁 立ち上がりは明瞭である。

床面 床面はほぼ平ら。

炭化材 覆土、床面に多くの微細破片が確認された。

掘り上げ土 周囲は削平をうけ、堅穴の掘り上げ土は確認されなかった。

付属遺構

・ 炉 (HF1)

楕円形を呈する地床炉。長軸方向は住居の長軸方向とほぼ同じである。

・ 柱穴 (HP1～25)

柱穴の確認調査は、完掘状況の住居跡の壁と床面、住居跡周辺の検出面を数回掘り下げ、そこで確認された黒色土をすべて半截し、断面形態や覆土の様子から判断した。HP3～21・25は柱穴であろう。HP1・2と22～24は規模が大きく、土層の堆積状況からも柱穴とは違う目的の小ピットと推測される。

遺物出土状況 出土した遺物は、土器片は415点、剥片石器22点、礫石器が32点である。磨製石器は出土していない。その他に土・石製品は5点出土している。土器は折り返し口縁に胴部は輪積みの跡を残し縄文を施すIV群 a 2A類の1個体の破片が遺構外の包含層と覆土から出土している。遺構埋没過程で堆積したものであろう。

時期 遺物の出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群 a 2A類期に所属すると推定される。

H - 53 [図Ⅶ-14 図版49・50]

位 置 断層の南側緩斜面（北盛土付近） R・S29区に位置する。

規 模 3.09×3.01/2.92×2.84/0.17m

平 面 形 態 不整円形

長 軸 方 向 長軸を南北方向にもつ。N-28° -W

確 認 IV層上面にて検出した。

調 査 盛土層調査中、IV層で黒色土の堆積がみられた。遺構である可能性を考え、ベルトを設定し壁面の立ち上がりを確認しながら順次掘り下げた。ベルトの土層断面を観察したところ、わずかな壁の立ち上がり、トレンチ床面で平坦な貼床の床面が確認されたので遺構と認定した。

覆 土 本来の掘り込み面はⅢ層中であると考えられるが、覆土上層の部分は整地により削平されている。C-Dセクションの覆土上層の1～5層部分は堆積の過程で、堅穴の窪みが存在したため包含層が落ち込みに堆積したと推定される。

それより下位の部分には廃棄時の埋め戻し土が堆積している。

壁 立ち上がりは明瞭である。

床 面 床面はほぼ平らで中央に地床炉をもつ。床面には貼床が施される。南端はフラスコピットのP-211により掘削される。

炭 化 材 覆土、床面にて多く確認された。

掘り上げ土 周囲は削平をうけ、掘り上げ土は確認されなかった。

付 属 遺 構

・ 炉 (HF1)

円形を呈する地床炉。南東側床面に炭化材と焼土が連続して広がる。

・ 柱 穴 (HP1～7)

柱穴の確認調査は、完掘状況の住居跡の壁と床面、住居跡周辺の検出面を数回掘り下げ、そこで確認された黒色土をすべて半截し、断面形態や覆土の様子から判断した。HP1～5・7は柱穴であろう。HP6はA-Bセクションの土層の堆積が上から掘り込まれた状況を示していないので、堅穴埋没時に同様に埋め戻された堅穴に付属する小ピットであろう。

遺物出土状況 出土した遺物は、土器片は230点、剥片石器18点、礫石器が21点である。磨製石器・石製品は出土していない。その他に土製品が5点、炭化材が2点出土している。

時 期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代中期のⅢ群b1類期に所属すると推定される。

(2) 土坑 (P) [図Ⅶ-15~49 図版Ⅻ51-81]

P - 51 [図Ⅶ-16 図版Ⅻ-51]

位 置 T30区

規 模 $0.69 \times 0.64 / 0.59 \times 0.52 / 0.09\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層には、黒色の腐植土がみられる。

特 徴 皿状の土坑。

遺物出土状況 遺物は土器片3点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a2A類期に所属すると考えられる。

P - 52 [図Ⅶ-16]

位 置 T・U31区

規 模 $0.87 \times 0.74 / 0.59 \times 0.52 / 0.09\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層には、黒色の腐植土がみられる。

特 徴 皿状の土坑。

遺物出土状況 遺物は礫1点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a2A類期に所属すると考えられる。

P - 53 [図Ⅶ-16]

位 置 S31区

規 模 $0.88 \times 0.76 / 0.75 \times 0.69 / 0.12\text{m}$

平 面 形 態 楕円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層には、黒色の腐植土がみられる。

特 徴 皿状の土坑。

遺物出土状況 遺物は土器6点、礫1点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a2A類期に所属すると考えられる。

P - 54 [図Ⅶ-16 図版Ⅻ-51]

位 置 R31区

規 模 $1.70 \times 1.65 / 1.88 \times 1.63 / 0.86\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 中位に焼土がみられ、下位上層にも焼土が薄く堆積する。壁付近は上位の入り口が崩落して埋まっている。堆積層の下位には、暗褐色の腐植土がみられる。

特徴 フラスコ状ピット。開口部がテラス状の段構造。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器1,234点、剥片石器54点、礫石器215点が出土している。上・下層にⅣ群 a 3類期の遺物が流入する。坑底面からは押し潰されたようにⅣ群 a 2A類期の土器片437点と縄文時代後期初頭の土器片が多く出土する。その他に磨製石斧片1点が出土している。調査時には土器の底部が多く出土している事が目立った。復元できたものはⅣ群 a 2A類期2個体である。

時期 Ⅲ群からⅣ群の土器片が多く出土するのは盛土の土砂が落ち込みに流入したものであろう。坑底面からⅣ群 a 2B類期の土器片が出土する状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2B類期に所属すると考えられる。

P - 56 [図Ⅶ-17 図版Ⅻ-51]

位置 U・V31区

規模 $1.31 \times (1.35) / 1.44 \times (1.10) / 1.38\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐・暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の下位には、黒色の腐植土がみられる。

特徴 TP-8に切られる、フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の下層で多く出土している。土器267点、剥片石器23点、礫石器50点が出土している。坑底面からⅣ群 a 3類期の遺物が出土する。その他に土・石製品が2点出土する。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 3類期に所属すると考えられる。

P - 57 [図Ⅶ-17 図版Ⅻ-52]

位置 V32区

規模 $1.10 \times 1.04 / 1.53 \times 1.43 / (0.52)\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて攪乱調査中に下位にて検出した。

調査 グリット調査中に地形確認為に半割した黒色土の下位から焼土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査したところフラスコ状ピットであることを確認した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 層は風倒木により攪乱を受ける。堆積層の下位には、焼土層が大きく分けると4枚、黒色の腐植土の間に挟まる。埋め戻されたものであろう。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器135点、剥片石器24点、礫石器36点が出土している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類期に所属すると考えられる。

P - 58 [図Ⅶ-18 図版Ⅻ-52]

位置 V33区

規模 $1.40 \times 1.20 / 2.24 \times 2.00 / 1.18\text{m}$

平面形態 楕円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色・暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の中位付近に焼土の落ち込みがあり、下位は焼土の混入した土層が折り重なって観察される。下位は一度で埋め戻されたものと推測される。中位から上位にかけての覆土は埋め戻し土が沈下し陥没した部分に随時堆積した土層であろうか。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器261点、剥片石器10点、礫石器77点が出土している。覆土の上層ではⅤ群流入している。その他に土・石製品等3点が出土している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2B 類期に所属すると考えられる。

P - 59 [図Ⅶ-18 図版Ⅻ-52]

位置 R36区

規模 $1.20 \times 1.00 / 1.24 \times 1.06 / 0.79\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に焼土混じりの暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 上層中央付近に焼土の落ち込みがあり、堆積層の下位にも厚く焼土混じりの覆土が観察される。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものであろう。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の下層で多く出土している。土器42点、剥片石器7点、礫石器5点が出土している。その他に石製品が1点出土している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 3類期に所属すると考えられる。

P - 61 [図Ⅶ-19 図版Ⅻ-53]

位置 W31区

規模 $0.63 \times 0.61 / 2.04 \times 2.02 / 0.97\text{m}$

平面形態 円形

確認 トレンチ断面にて貼土層の下位に検出した。整地層を切っている。

調査 グリット調査中に入れたトレンチの断面から暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の中位には焼土が厚く堆積し、下位には礫が多くみられる。中央部に大きな礫がみられる。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器795点、剥片石器39点、礫石器51点が出土している。覆土の下層でⅣ群 a 2B 類期が109点、Ⅳ群 a 3類期が10点出土する。坑底面からⅣ群 a 2A 類期の土器片が54点出土する。坑底の中央に砂岩製の石皿が据えられる。その他に土・石製品等が12点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類期に所属すると考えられる。

P - 62 [図Ⅶ-19 図版Ⅻ-53・54]

位 置 W30・31区

規 模 $1.19 \times 1.00 / 2.00 \times (1.87) / 1.28\text{m}$

平面形態 楕円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の上位から下位にかけて焼土が堆積する。下位に礫や遺物を含んだ暗褐色の腐植土がみられる。その他に土・石製品等が3点出土している。

特 徴 フラスコ状ピット。P-63に切られる。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器203点、剥片石器31点、礫石器58点が出土している。覆土の上・中層でⅣ群 a 3類期に出土する。

時 期 遺構の構築順序はP-63よりも早く、古い。遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類～2B 類期に所属すると考えられる。

P - 63 [図Ⅶ-20 図版Ⅻ-53・54]

位 置 V・W31区

規 模 $2.04 \times 1.78 / 2.45 \times 2.00 / 1.35\text{m}$

平面形態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。整地層を切っている。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の上位には北方向から流れ込んだと推測される焼土、下位上層にもやや厚く焼土層が重なり堆積する。下位下層にも焼土が堆積し、最下層に暗褐色の腐植土がみられる。一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器161点、剥片石器16点、礫石器43点が出土している。その他に土製品が1点出土している。覆土の下層からⅣ群 a 3類期の土器片が3点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 3類期に所属すると考えられる。

P - 64 [図Ⅶ-20 図版Ⅻ-54・55]

位置 X31区

規模 $1.59 \times 1.43 / 1.65 \times 1.52 / 1.30\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 開口部付近は焼土に覆われる。中～下位には焼土層が北東側に重複して堆積する。覆土の堆積状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。下部の大半をフラスコ状ピットP-92に切られる。

特徴 フラスコ状ピット。下部でP-92に切られる。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器125点、剥片石器21点、礫石器47点が出土している。その他に土製品が8点出土している。覆土の上層でⅣ群a3類期の土器片が14点出土する。遺構が埋まる過程で流入したものであろう。

時期 遺構の構築順序はP-92よりも早く、古いものである。遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 65 [図Ⅶ-21 図版Ⅻ-54・55]

位置 V・W31・32区

規模 $0.82 \times 0.79 / 1.83 \times 1.86 / 1.29\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の中位に厚く焼土。下位上層には細かく層が重なり、礫が混入する。下位中層にも焼土が堆積する。覆土の堆積状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の中層で多く出土している。土器132点、剥片石器16点、礫石器91点が出土している。磨製石器の石斧が1点出土している。その他に土製品が1点出土している。覆土の下層からはⅣ群a3類期の土器片が2点出土している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a3類期に所属すると考えられる。

P - 66 [図Ⅶ-21 図版Ⅻ-55]

位置 X29区

規模 $0.86 \times 0.79 / 1.24 \times 1.05 / 0.64\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の下層に焼土が堆積する。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測さ

れる。

特 徴 フラスコ状ピット。CSS178・179が遺構上に配置される。

遺物出土状況 遺物は覆土の中層で多く出土している。土器233点、剥片石器19点、礫石器23点が出土している。磨製石器の石斧が1点出土している。その他に土製品が3点出土している。覆土の下層からはⅣ群 a 3類期の土器片が4点出土している。

時 期 CSS178・179が上位で出土することから、配石遺構よりも古い土坑といえる。遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A類期に所属すると考えられる。

P - 67 [図Ⅶ-22 図版Ⅻ-55・56]

位 置 X31区

規 模 0.73×0.66/1.92×2.00/1.04m

平面形態 円形

確 認 貼土上面にて検出した。貼土層を切っている。

調 査 グリット調査中に暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の上位中央に焼土が堆積する。下位に上層中央には焼土が折り重なって堆積する。下層には礫が多く含まれる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。開口部がテラス状の段構造。

遺物出土状況 遺物は覆土の中層で多く出土している。土器513点、剥片石器9点、礫石器91点が出土している。石・土製品が8点出土している。覆土の下層からはⅣ群 a 3類期の土器片が6点出土している。覆土の下層からは押し潰された様な土器が一個体と、砂岩製のすり石が出土する。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 3類期に所属すると考えられる。

P - 68 [図Ⅶ-22 図版Ⅻ-56]

位 置 W・X30区

規 模 1.12×1.05/1.70×1.69/1.26m

平面形態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には中央に礫が含まれる。下層には黒色の腐植土がみられる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器138点、剥片石器16点、礫石器23点が出土している。その他に土製品等が5点出土している。下層上面には礫が据え置かれる。下層にてⅣ群 a 3類期の土器が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 3類期に所属すると考えられる。

P - 69 [図Ⅶ-23 図版Ⅻ-56]

位置 Y31区

規模 $(1.72) \times 1.57 / (1.76) \times 2.04 / 0.90\text{m}$

平面形態 円形状と推測される。

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の上位から斜角に焼土が流れ込み堆積する。下位には、最下層に暗褐色の腐植土がみられる。北側は時期の新しい遺構により攪乱を受けている。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特徴 フラスコ状ピット。上部でP-88、下部でP-87に切られる。

遺物出土状況 遺物は覆土の中層で多く出土している。土器201点、剥片石器9点、礫石器59点が出土している。中層にてIV群a3類期の土器が11点出土している。坑底面からはIV群a2A類期の土器片が63点出土する。中央部分には砂岩製のすり石が据え置かれる。P-96と破片が接合する。

時期 切り合い関係からP-87・88よりも、P-69が古い。坑底面からの遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 70 [図Ⅶ-24 図版Ⅻ-56]

位置 X・Y30区

規模 $1.80 \times 1.74 / 2.15 \times 2.14 / 1.42\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の上位から中位にかけて薄い層を挟んで重複して焼土が堆積する。下位上層に黄褐色の埋め戻し土が、下層の焼土を厚く覆い堆積する。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器209点、剥片石器13点、礫石器25点が出土している。その他に磨製石器1点、土製品など5点出土する。下層にてIV群a2B類期・3類期の土器が26点出土している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a2B類期に所属すると考えられる。

P - 71 [図Ⅶ-25 図版Ⅻ-56・57]

位置 W30区

規模 $0.88 \times 0.74 / 1.57 \times 1.45 / 0.84\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の下位には、焼土混じりの埋め戻し土がみられる。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器143点、剥片石器12点、礫石器7点が出土している。その他に土製品2点が出土する。上層にてⅣ群a2B類期の土器が1点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 72 [図Ⅶ-25 図版Ⅻ-57]

位 置 X30・31区

規 模 -×-/ (1.24)×1.80/ (1.10)m

平面形態 円形

確 認 V層最終面にて現代の木根の攪乱と重複して貼土層の落ち込みを検出した。

調 査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 覆土の上位は植林の攪乱を受ける。残存部分には貼土層が残る。堆積層の下位には、焼土の混入した土層と黒色の腐植土が縞状に堆積する。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上・中層で多く出土している。土器168点、剥片石器7点、礫石器42点が出土している。中層にてⅣ群a2B類期の土器が1点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 73 [図Ⅶ-26 図版Ⅻ-57]

位 置 V31区

規 模 0.98×(0.96)/0.78×(0.78)/0.46m

平面形態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、焼土混じりの土層が堆積する。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 深鉢状の小型土坑。

遺物出土状況 遺物は土器4点、剥片石器5点、礫石器2点が出土している。上層にてⅣ群a2A類・2B類期の土器が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 74 [図Ⅶ-26 図版Ⅻ-57・58]

位 置 Y33区

規 模 1.20×1.10/1.94×1.76/1.08m

平面形態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に風倒木の攪乱に切られた暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積

を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の上～下位にかけて焼土混じりの土層が重複してみられる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の下層で多く出土している。土器208点、剥片石器19点、礫石器38点が出土している。その他に土・石製品が5点出土する。中位に礫が据え置かれる。下層にてIV群a2A類期の土器が91点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 75 [図Ⅶ-27 図版Ⅻ-58]

位 置 T31区

規 模 1.50×(1.30)/1.95×(1.48)/1.02m

平面形態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位上層には焼土が堆積し、坑底面には黒色の腐植土がみられる。

特 徴 フラスコ状ピット。P-76に隣接する。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。流れ込んだと推定されるほぼ完形の小型土器が一個体、斜倒立した状態で出土する。土器170点、剥片石器5点、礫石器25点が出土している。下層にてIV群a3類期の土器が2点出土している。復元できたものはIV群a2B類期の1個体である。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a3類期に所属すると考えられる。

P - 76 [図Ⅶ-28 図版Ⅻ-58・59]

位 置 T31・32区

規 模 1.92×1.76/2.60×2.67/1.12m

平面形態 円形

確 認 貼土層上面にて検出した。

調 査 グリット調査中に暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、暗褐・黒褐色の腐植土がみられる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器247点、剥片石器15点、礫石器81点が出土している。その他に磨製石器1点。土製品が2点出土する。下層にてIV群a3類期の土器が6点出土している。坑底面に砂岩製の石皿が据え置かれる。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a3類期に所属すると考えられる。

P - 86 [図Ⅶ-29 図版Ⅻ-61]

位 置 Y30・31区

規 模 $1.40 \times (0.68) / 0.62 \times (0.25) / 0.53\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、暗褐・黒褐色の腐植土がみられる。

特 徴 深皿状の土坑。

遺物出土状況 遺物は出土していない。

時 期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 類期に所属すると考えられる。

P - 87 [図Ⅶ-29 図版Ⅻ-61]

位 置 Y30・31区

規 模 $0.84 \times (0.36) / 1.28 \times (0.73) / (0.46)\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にてP-86を検出し、調査中にその下位にP-87を検出した。

調 査 P-86調査中、下層にてにぶい黄褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、焼土混じりの埋め戻し土がみられる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は出土していない。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 類期に所属すると考えられる。

P - 88 [図Ⅶ-30]

位 置 R38区

規 模 $1.26 \times 0.77 / 1.16 \times 0.65 / 0.28\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に暗褐色土と焼土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、焼土混じりの埋め戻し土がみられる。

特 徴 皿状土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器31点、剥片石器2点、礫石器1点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類期に所属すると考えられる。

P - 89 [図Ⅶ-30 図版Ⅻ-61]

位置 U35区

規模 $1.77 \times 1.36 / 2.10 \times 1.99 / 0.76\text{m}$

平面形態 楕円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色とにぶい黄褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の下位には、炭化材・焼土混じりの土層がみられる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器237点、剥片石器27点、礫石器31点が出土している。その他に土製品・炭化材など6点が出土している。中層にⅣ群a3類期の土器片が4点流入する。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 90 [図Ⅶ-31 図版Ⅻ-62]

位置 V31区

規模 $0.78 \times 0.67 / 2.53 \times 2.39 / 1.08\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の下位には、黒色の腐植土がみられる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。上位に整地層が堆積する。

特徴 フラスコ状ピット。覆土中に組み石。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器573点、剥片石器25点、礫石器83点が出土している。その他に土・石製品が6点出土している。覆土の下層に礫が据え置かれる。礫の配置は組み石状を呈する。坑底面からⅣ群a3類期の土器片が6点出土する。復元できたものはⅣ群a2A類の2個体である。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a3類期に所属すると考えられる。

P - 91 [図Ⅶ-32 図版Ⅻ-62]

位置 X33区

規模 $1.35 \times 1.26 / 1.96 \times 2.06 / 0.93\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中ににぶい黒・暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の上位から中位にかけて焼土混じりの埋め戻し土、下位には暗褐色の腐植土がみられる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。上位に整地層が堆積する。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器104点、剥片石器6点、礫石器15点が出土している。土製品が2点出土している。下層でⅣ群a3類期の土器が10点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a3類期に所属すると考えられる。

P - 92 [図Ⅶ-32 図版Ⅻ-62]

位 置 X31・32区

規 模 1.57×1.40／2.23×2.36／(1.30)m

平 面 形 態 楕円形

確 認 貼土層上面にて検出した。貼土層を切っている。

調 査 グリット調査中に攪乱を受けた黒色土のまとまりを検出した。地形確認のため、半割して調査したところ下位は攪乱をうけていないフラスコ状を呈する土坑と確認した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 上部は杉の植林により攪乱を受ける。堆積層の下位には、黒色の腐植土がみられる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。上部（入り口）は重複しないが、フラスコ状を呈する下部で重複しP-64を切る。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器110点、剥片石器18点、礫石器34点が出土している。覆土下層からⅣ群a3類期の土器片が2点出土している。坑底から砥石が多く出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a3類期に所属すると考えられる。

P - 95 [図Ⅶ-33 図版Ⅻ-63・64]

位 置 W34区

規 模 1.50×1.41／1.92×1.82／1.62m

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に焼土を含んだ褐色土と暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の上位から中位にかけて焼土混じりの埋め戻し土、下位には焼土がみられる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。上位に整地層が堆積する。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。下層には礫が据え置かれる。土器143点、剥片石器4点、礫石器29点が出土している。石製品が2点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 96 [図Ⅶ-34 図版Ⅻ-63]

位 置 V34区

規 模 1.10×1.09／1.49×1.50／0.76m

平 面 形 態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐・暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 上位に礫が出土し、堆積層の下位に厚く焼土層がみられる。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。上位に整地層が堆積する。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層から中層で多く出土している。土器544点、剥片石器20点、礫石器146点が出土している。その他に土・石製品等が7点出土している。坑底面からIV群a3類期の土器片が4点出土している。復元できたものはIV群a2A類の2個体である。P-69出土の破片が接合する。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a3類期に所属すると考えられる。

P-100 [図Ⅶ-35 図版Ⅻ-64]

位置 W34区

規模 $1.31 \times 1.23 / 1.47 \times 1.38 / 0.54\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐・暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の下位に薄く焼土が混入する。覆土の状況から、一時期に埋め戻されたものと推測される。上位に整地層が堆積する。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器134点、剥片石器22点、礫石器17点が出土している。坑底面からIV群a2A類期の土器片が2点出土している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a3類期に所属すると考えられる。

P-112 [図Ⅶ-35 図版Ⅻ-65]

位置 V34区

規模 $0.89 \times (0.59) / 1.43 \times (0.98) / 0.70\text{m}$

平面形態 円形を呈すると推測される。

確認 貼土層上面にて検出した。貼土層を切っている。

調査 グリット調査中に焼土と暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 南西側の一部が杉の植林により攪乱される。堆積層の下位には焼土混じりの埋め戻し土がみられる。一時期に埋め戻されたものと推測される。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器49点、剥片石器6点、礫石器2点が出土している。上層にIV群a類2B期、3期の土器片が流入している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 113 [図Ⅶ-36 図版Ⅻ-66]

位 置 R37区

規 模 $1.57 \times 1.44 / 1.80 \times 1.68 / 0.96\text{m}$

平 面 形 態 楕円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に焼土と黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、焼土がみられる。一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。砂岩製の台石が中位で出土する。土器140点、剥片石器9点、礫石器12点が出土している。土・石製品が50点出土している。覆土の下層からⅣ群 a 3類期の土器片が2点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 3類期に所属すると考えられる。

P - 114 [図Ⅶ-36]

位 置 R39区

規 模 $0.69 \times 0.65 / 0.76 \times 0.74 / 0.25\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、黒色の腐植土がみられる。

特 徴 皿状土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器65点、剥片石器2点、礫石器1点が出土している。その他に土・石製品が2点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A類期に所属すると考えられる。

P - 115 [図Ⅶ-36 図版Ⅻ-66]

位 置 V35区

規 模 $0.79 \times 0.79 / 1.14 \times 1.03 / 0.77\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて配石の下から検出した。

調 査 配石除去後に、黒褐・暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の坑底面には、焼土がみられる。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器95点、剥片石器24点、礫石器4点が出土している。覆土の下層からⅣ群 a 3類期の土器片が3点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 3類期に所属すると考えられる。

P - 123 [図Ⅶ-37 図版Ⅻ-68]

位 置 U35区

規 模 $0.85 \times 0.77 / 0.94 \times 0.70 / 0.60\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に風倒木の攪乱の傍に黒・暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、焼土がみられる。一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 深鉢状の土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器37点、剥片石器4点、礫石器12点が出土している。覆土の中層からⅣ群a3類期の土器片が7点出土している。復元できたものはⅣ群a3類の1個体である。破片は広範囲に撒かれR28区W39区の約45m範囲で接合する。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 125 [図Ⅶ-37]

位 置 R38区

規 模 $1.19 \times 0.98 / 1.03 \times 0.72 / 1.19\text{m}$

平 面 形 態 台形状

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、焼土がみられる。

特 徴 皿状土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器27点、剥片石器6点、礫石器1点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 162 [図Ⅶ-37 図版Ⅻ-71]

位 置 U43区

規 模 $1.16 \times 1.12 / 0.58 \times 0.72 / 0.26\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、焼土がみられる。

特 徴 皿状土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器37点、剥片石器1点、礫石器6点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 181 [図Ⅶ-38 図版Ⅻ-74]

位 置 S・T42区

規 模 1.90×1.82/2.03×1.98/1.08m

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 覆土の上層は大量に遺物を含むことから盛土の土砂が流れ込んだものであろう。堆積層の下位には、黒色の腐植土がみられる。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器1,110点、剥片石器27点、礫石器23点が出土している。その他に土・石製品等22点が出土している。坑底面からⅣ群a類2B期の土器片が6点出土している。調査時には土器の底部が多く出土していることが印象に残った。復元できたものはⅣ群a2A類の1個体である。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a類2B期に所属すると考えられる。

P - 182 [図Ⅶ-38 図版Ⅻ-74]

位 置 S・T31区

規 模 1.07×0.50/0.99×0.48/0.12m

平 面 形 態 楕円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、黒色の腐植土がみられる。

特 徴 深鉢状の土坑。

遺物出土状況 遺物は出土していない。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a類期に所属すると考えられる。

P - 183 [図Ⅶ-38 図版Ⅻ-74]

位 置 U30・31区

規 模 0.82×0.73/0.62×0.64/0.41m

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 覆土の上層は貼土層により埋め戻される。覆土の中層からCSS246が出土する。堆積層の下位には、黒褐・暗褐色土がみられる。

特 徴 深鉢状の土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器6点、剥片石器3点、礫石器2点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類期に所属すると考えられる。

P - 184 [図Ⅶ-39 図版Ⅺ-74]

位 置 T30区

規 模 $1.63 \times 1.36 / 1.82 \times 1.85 / 0.84\text{m}$

平面形態 楕円形

確 認 V層最終面にて検出した。整地層を切っている。

調 査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位上層には焼土、その下層に黒褐・暗褐色土がみられる。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器138点、剥片石器11点、礫石器18点が出土している。覆土の下層からⅣ群 a 3類期の土器片が2点出土している。坑底には礫石器が残されていた。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 3類期に所属すると考えられる。

P - 186 [図Ⅶ-40 図版Ⅺ-74・75]

位 置 R・S32区

規 模 $1.62 \times 1.67 / 2.40 \times 2.18 / 1.17\text{m}$

平面形態 楕円形

確 認 V層最終面にて検出した。整地層を切っている。

調 査 グリット調査中にぶい黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、黒褐色の腐植土がみられる。一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。上層にてCSSが多く出土する。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器347点、剥片石器33点、礫石器69点が出土している。その他に土・石製品12点が出土している。坑底面からⅣ群 a 3類期の土器片が2点出土している。礫石器が多く出土する。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 3類期に所属すると考えられる。

P - 187 [図Ⅶ-41 図版Ⅺ-75]

位 置 V30区

規 模 $1.12 \times 1.03 / 1.48 \times 1.26 / 1.02\text{m}$

平面形態 楕円形

確 認 層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中にぶい黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、ブロック状に土が混ざる埋め戻し土がみられる。一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。上層にてCSSが多く出土する。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器275点、剥片石器11点、礫石器12点が、その他に土・石製品が2点出土している。覆土の下層からⅣ群 a 3類期の土器片が1点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 3類期に所属すると考えられる。

P - 188 [図Ⅶ-42 図版Ⅻ-75]

位 置 V30区

規 模 $0.72 \times 0.56 / 0.81 \times 0.68 / 0.54\text{m}$

平面形態 楕円形

確 認 V層最終面にて検出した。整地層を切っている。

調 査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層には炭化材片混じりの焼土がみられる。

特 徴 小型のフラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器33点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A類期に所属すると考えられる。

P - 189 [図Ⅶ-42 図版Ⅻ-75]

位 置 X・Y29・30区

規 模 $1.06 \times 0.91 / 2.35 \times 2.55 / 1.33\text{m}$

平面形態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 覆土の上層には貼土が落ち込む。堆積層の下位には、暗褐色の腐植土がみられる。坑底中央には、下層の堆積土が落ち込む柱穴状のピットが確認された。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。下層上面で土器の個体が押し潰された様な状況で出土する。土器550点、剥片石器23点、礫石器56点が、その他に土製品が4点出土している。坑底面からⅣ群 a 2A類期の土器片が21点出土している。復元できたものはⅣ群 a 2A類の2個体である。

P-187との接合関係が見られる。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A類期に所属すると考えられる。

P - 190 [図Ⅶ-43 図版Ⅻ-76]

位 置 S30区

規 模 $0.71 \times 0.59 / 0.76 \times 0.65 / 0.33\text{m}$

平面形態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には褐色の埋め戻し土がみられる。一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 やや小型のフラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器7点、剥片石器1点が出土している。

時 期 土器片はⅢ群a類の出土量が多いが、周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 194 [図Ⅶ-43]

位 置 S31区

規 模 $1.58 \times 1.58 / 2.24 \times 2.18 / 1.50\text{m}$

平面形態 円形

確 認 V層最終面に配石の下位にて検出した。

調 査 配石除去後に、黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位付近の上面には焼土、坑底直上付近は黒褐・暗褐色土にV層の褐色土がブロック状に混ざる埋め戻し土がみられる。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器219点、剥片石器8点、礫石器27点が出土している。その他に石製品等2点出土している。坑底面にてⅣ群a2A類期の土器片が1点出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 195 [図Ⅶ-44 図版Ⅺ-76]

位 置 Y33・34区

規 模 $1.70 \times (0.94) / 1.50 \times (1.06) / (0.76)\text{m}$

平面形態 円形

確 認 V層最終面にてP-74発見後、調査中に検出した。

調 査 P-74調査中に南側壁面にて検出した。

覆 土 P-74により切られ決られる。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器11点、剥片石器11点、磨製石器1点、土製品1点が出土している。覆土の下層からⅣ群a3類期の土器片が2点出土する。

時 期 遺物出土状況と遺構の切り合い関係から判断すると、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 200 [図Ⅶ-44 図版Ⅺ-78]

位 置 T30区

規 模 $0.88 \times 0.63 / 0.82 \times 0.68 / 0.33\text{m}$

平面形態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に礫の周囲に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 上位に礫が入る。堆積層の下位には、黒褐・暗褐色の腐植土と焼土がみられる。

特徴 南側がややオーバーハングする小型の鉢状土坑。

遺物出土状況 上部に礫が斜倒立する状態で出土した。遺物は覆土の上層で多く出土している。土器15点、剥片石器1点、礫石器4点が出土している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類期に所属すると考えられる。

P - 201 [図Ⅶ-44 図版Ⅻ-78]

位置 T30区

規模 $0.70 \times 0.68 / 0.54 \times 0.56 / 0.25\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の下位には、黒色の腐植土がみられる。

特徴 鉢状の小型土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器11点、剥片石器4点、礫石器1点が出土している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類期に所属すると考えられる。

P - 202 [図Ⅶ-44 図版Ⅻ-78]

位置 T30区

規模 $0.74 \times 0.74 / 0.56 \times 0.44 / 0.40\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の中位に白色の粘土塊、下位には焼土がみられる。

特徴 鉢状の小型土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器14点、剥片石器1点が出土している。白色の粘土が埋納されたような状態で出土した。砂岩の溶けたもの、灰の塊の可能性もある。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類期に所属すると考えられる。

P - 203 [図Ⅶ-45 図版Ⅻ-79]

位置 T30区

規模 $0.45 \times 0.41 / 0.36 \times 0.33 / 0.35\text{m}$

平面形態 円形

確認 貼土層調査中に検出した。

調査 グリット調査中に礫の周囲に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、

半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、黒色の腐植土がみられる。

特 徴 鉢状土坑。

遺物出土状況 上部に礫が斜倒立する状態で出土した。遺物は覆土の上層で多く出土している。土器3点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 204 [図Ⅶ-45 図版Ⅻ-79]

位 置 T30区

規 模 $0.83 \times 0.79 / 0.78 \times 0.74 / 0.46\text{m}$

平面形態 円形

確 認 貼土層調査中に検出した。

調 査 グリット調査中に焼土と黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、焼土のブロックと炭化材片を含んだ黒褐色土がみられる。一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 鉢状の小型土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器8点、剥片石器1点、礫石器5点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 211 [図Ⅶ-45 図版Ⅻ-80]

位 置 R・S30区

規 模 $1.65 \times 1.66 / 1.70 \times 1.74 / 0.68\text{m}$

平面形態 円形

確 認 V層最終面にて礫の下位から検出した。

調 査 礫除去後に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の上位には礫の流れ込み。全体的に焼土粒や炭化材片が混入し、下位には黒褐・黒色土が堆積する。

特 徴 フラスコ状ピット。NSS367・368の下位に位置する。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器478点、剥片石器22点、礫石器16点が出土している。磨製石器1点、その他に土・石製品などが29点出土している。坑底面からはIV群a2A類期の土器片が出土している。復元できたものはIV群a2A類の1個体である。IV群a3類の口縁部を欠いた小形土器が流入する。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のIV群a2A類期に所属すると考えられる。NSS367・368が設置される以前の遺構。

P - 212 [図Ⅶ-46 図版Ⅻ-80]

位 置 S30区

規 模 $1.90 \times 1.54 / 1.90 \times 1.92 / 1.00\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒・暗褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位に焼土がみられる。一時期に埋め戻されたものと推測される。

特 徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器411点、剥片石器39点、礫石器33点が出土している。その他に土・石製品等が8点である。坑底面からは台石やⅣ群 a 2A類期の土器片が出土している。復元できたものはⅣ群 a 2A類の1個体である。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A類期に所属すると考えられる。

P - 213 [図Ⅶ-46 図版Ⅻ-80]

位 置 T30区

規 模 $0.45 \times (0.36) / 0.23 \times 0.21 / 0.38\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 黒色・黒褐色土が折り重なり堆積する。

特 徴 鉢状土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器63点、剥片石器2点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A類期に所属すると考えられる。

P - 214 [図Ⅶ-46 図版Ⅻ-80]

位 置 U30区

規 模 $1.23 \times 0.94 / 0.98 \times 0.74 / 0.28\text{m}$

平 面 形 態 楕円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層の下位には、灰黄褐色土がみられる。

特 徴 皿状土坑。

遺物出土状況 礫が壁面に沿って斜倒立したかたちで出土する。遺物は覆土の上層で多く出土している。土器2点、剥片石器1点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A類期に所属すると考えられる。

P - 216 [図Ⅶ-47 図版Ⅻ-81]

位置 R30区

規模 $1.34 \times 1.15 / 1.55 \times 1.37 / 0.86\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中ににぶい黄褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層の下位には、埋め戻し土がみられる。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。中層から大型の礫や土器片がまとまって出土する。土器665点、剥片石器40点、礫石器110点が出土している。その他に土・石製品が7点出土している。坑底面からは台石や、Ⅳ群a3類期の土器片が出土している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a3類期に所属すると考えられる。

P - 217 [図Ⅶ-48 図版Ⅻ-81]

位置 T36区

規模 $1.40 \times 0.87 / 2.22 \times 1.87 / 0.80\text{m}$

平面形態 円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に配石の下に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 上層は貼土層が落ち込む。堆積層は、黒色・黒褐色の埋め戻し土が折り重なってみられる。

特徴 フラスコ状ピット。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器88点、剥片石器4点、礫石器2点が出土している。覆土の下層からⅤ群土器が22点出土する。植林による攪乱の影響を受けたものであろうか。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a3類期に所属すると考えられる。

P - 219 [図Ⅶ-49 図版Ⅻ-81]

位置 W29・30区

規模 $1.31 \times 0.70 / 1.23 \times 0.60 / 0.11\text{m}$

平面形態 楕円形

確認 V層最終面にて検出した。

調査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆土 堆積層は黒褐色土が主である。

特徴 皿状土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器2点が出土している。

時期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群a2A類期に所属すると考えられる。

P - 220 [図Ⅶ-49 図版Ⅻ-81]

位 置 W29区

規 模 $0.76 \times 0.52 / 0.66 \times 0.44 / 0.17\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層は、黒色土が主である。

特 徴 皿状の小型土坑。

遺物出土状況 遺物は覆土の上層で多く出土している。土器17点、剥片石器3点、礫石器1点が出土している。

時 期 遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2A 類期に所属すると考えられる。

P - 235 [図Ⅶ-49]

位 置 R36区

規 模 $0.80 \times 0.67 / 0.66 \times 0.62 / 0.32\text{m}$

平 面 形 態 円形

確 認 V層最終面にて検出した。

調 査 グリット調査中に黒褐色土のまとまりを検出した。土層の堆積を観察するため、半割して調査した。土層断面から壁の立ち上がりを確認した。

覆 土 堆積層は、黒褐色土が主である。

特 徴 鉢状の小型土坑。

遺物出土状況 遺物は出土していない。

時 期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 類期に所属すると考えられる。

(3) 落とし穴 (TP) [図Ⅶ-50・55 図版Ⅻ-82・83]

TP - 8 [図Ⅶ-51 図版Ⅻ-82・83]

位 置 U・V31区

規 模 $2.31 \times 0.61 / 2.10 \times 0.28 / 1.32\text{m}$

平 面 形 態 長楕円形／溝状

長 軸 方 向 N-37° -W

確 認 V層上面にて検出した。

調 査 包含層調査中にTピットを推定できる細長い黒色土のまとまりを検出した。土層を観察するために半割して調査した。

覆 土 CSS171の下位、上層の中央付近に黒色土の落ち込みがあり、堆積層の下位は黒色の腐植土がみられる。覆土の堆積状況をみると壁面の崩落により埋没したと推定される。

特 徴 CSS171の下位、P-56を切る。底面に杭跡は確認されない。

遺物出土状況 遺物は土器のⅣ群 a 2A 類が7点出土している。埋没過程で流入したものであろう。

時 期 P-56を切って造られる事から、縄文時代後期初頭以降に所属すると考えられる。

TP - 9 [図Ⅶ-51 図版Ⅻ-83]

位置 U33・34区

規模 $3.08 \times 0.31 / 2.10 \times 0.28 / 0.66\text{m}$

平面形態 長楕円形／溝状

長軸方向 N-35° - E

確認 V層上面にて検出した。

調査 包含層調査中にTピットを推定できる細長い黒色土のまとまりを検出した。土層を観察するために半割して調査した。

覆土 上層中央付近に黒色土の落ち込みがあり、堆積層の下位は黒色の腐植土がみられる。覆土の堆積状況を見ると自然営力により順次埋没したと推定される。

特徴 北側の底部が深く、南側は壁面がオーバーハング気味である。

遺物出土状況 遺物はⅣ群 a2A類の土器が4点と、石製品が1点出土している。

時期 形態がTP-8と類することから、TP-8と同様に縄文時代後期初頭以降に所属すると考えられる。

(4) 石囲炉 (Fs) [図Ⅶ-52~56 図版Ⅻ-83~86]

Fs - 11 [図Ⅶ-53 図版Ⅻ-83]

位置 Q・R30区 (北側貼土付近)

規模 $1.50 \times 0.81 / 0.11\text{m}$

平面形態 元は楕円形を呈するものと推測されるが、北側が損壊し馬蹄形状。

確認 北側貼土中層にて検出した。

特徴 焼土が石囲炉を越えて南西方向に広がる。

遺物出土状況 遺物は土器21点が出土している。Ⅳ群 a2A類が多い。

時期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

Fs - 12 [図Ⅶ-53 図版Ⅻ-83]

位置 R30区 (北側貼土付近)

規模 $0.68 \times 0.62 / 0.13\text{m}$

平面形態 楕円形を呈する。

確認 北側貼土中層にて検出した。

特徴 南西側の石が抜けて欠落する。

遺物出土状況 遺物は土器88点が出土している。Ⅳ群 a2A類が多い。

時期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

Fs - 13 [図Ⅶ-53 図版Ⅻ-84]

位置 Q・R32・33区 (北側貼土付近)

規模 $0.88 \times 0.66 / 0.14\text{m}$

平面形態 長方形を呈する。

確認 北側貼土層中にて検出した。

特徴 配石の開口部付近の低い場所にあった事から畑の耕作の攪乱を受けず保存状態が良好で

ある。

遺物出土状況 遺物はⅣ群 a 2A 類の土器47点が出土している。

時 期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

F s - 15 [図Ⅶ-54]

位 置 S 27区

規 模 0.74×0.50/0.10m

平 面 形 態 楕円形を呈する。

確 認 北側貼土中層にて検出した。

特 徴 囲い石は抜けて欠落し、残存する礫は3点のみである。

遺物出土状況 遺物はⅣ群 a 2A 類の土器6点が出土している。

時 期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

F s - 16 [図Ⅶ-54 図版Ⅻ-84]

位 置 T 37区 (南側貼土付近)

規 模 1.10×0.65/0.10m

平 面 形 態 長楕円形を呈する。

確 認 南側貼土層中にて検出した。

特 徴 石囲炉の礫はほとんど抜け、一部を残すのみである。

遺物出土状況 遺物はⅣ群 a 2A 類の土器17点が出土している。

時 期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

F s - 17 [図Ⅶ-54 図版Ⅻ-84]

位 置 T 38区 (南側貼土付近)

規 模 0.60×0.57/0.09m

平 面 形 態 円形を呈する。

確 認 南側貼土層中にて検出した。

特 徴 石囲炉の礫はほとんど抜け、西側に礫を3個残すのみである。

遺物出土状況 遺物は土器18点が出土している。Ⅳ群 a 2A 類が多い。

時 期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

F s - 22 [図Ⅶ-55 図版Ⅻ-84]

位 置 T 30区 (北側貼土付近)

規 模 0.52×0.42/0.12m

平 面 形 態 円形を呈する。

確 認 北側貼土中層にて検出した。

特 徴 石囲炉の礫はほとんど抜け、北側と南西側に一部残すのみである。

遺物出土状況 遺物は土器7点が出土している。Ⅳ群 a 2A 類が多い。

時 期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

Fs - 23 [図Ⅶ-55 図版Ⅻ-84]

位置 T30区（北側貼土付近）

規模 $1.00 \times 0.34 / 0.08\text{m}$

平面形態 円形を呈すると推測される。

確認 北側貼土層中にて検出した。

特徴 石囲炉の礫は北東側と南西側の一部分が欠落する。石囲炉を越えて北側に広く焼土が広がる。

遺物出土状況 遺物はⅣ群 a 2A 類の土器 8 点が出土している。

時期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

Fs - 36 [図Ⅶ-55 図版Ⅻ-86]

位置 W44・45区（南側貼土付近）

規模 $1.90 \times 1.19 / 0.11\text{m}$

平面形態 円形を呈すると推測される。

確認 南側貼土層中にて検出した。

特徴 石囲炉の礫は北東側の一部分が欠落する。石囲炉を越えて北側に広く焼土が広がる。

遺物出土状況 遺物はⅣ群 a 2A 類の土器 23 点が出土している。

時期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

Fs - 37 [図Ⅶ-56 図版Ⅻ-86]

位置 X43区（南側貼土付近）

規模 $0.62 \times 0.47 / 0.07\text{m}$

平面形態 円形を呈する。

確認 南側貼土層中にて検出した。

特徴 石囲炉の礫は北側の一部分が欠落する。北東と南西の離れた位置に礫がともなう。

遺物出土状況 遺物はⅣ群 a 2A 類の土器 25 点が出土している。

時期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

Fs - 38 [図Ⅶ-56 図版Ⅻ-86]

位置 R・S37区（南側貼土付近）

規模 $1.10 \times 0.75 / 0.20\text{m}$

平面形態 楕円形を呈する。

確認 南側貼土層中にて検出した。

特徴 石囲炉の礫は北側と南側の一部分が欠落する。

遺物出土状況 遺物はⅣ群 a 2A 類の土器 25 点が出土している。

時期 周辺の遺物出土状況から、縄文時代後期に所属すると考えられる。

(5) 焼土 (F) [図Ⅶ-57~63 図版Ⅻ-71・88]

区分 検出された位置から、(a) 配石北側の焼土、(b) 配石南側の焼土、(c) 盛土外・南側調査区の焼土、の 3 地区に大別して記述する。すべてⅣ群 a 類土器の時期に相当するものである。

(a) 配石北側の焼土

F-67	位置	R30区	規模	0.66×0.46/0.16m	貼土部の焼土
F-68	位置	R30区	規模	1.00×0.68/0.07m	貼土部の焼土
F-66	位置	R29区	規模	0.54×0.35/0.05m	貼土部の焼土
F-70	位置	R29区	規模	0.63×0.47/0.06m	東側北盛土下の焼土
F-71	位置	R28区	規模	0.62×0.46/0.04m	東方北側盛土下の焼土
F-72	位置	R27区	規模	0.85×0.66/0.13m	東方北側盛土下の焼土
F-82	位置	X27区	規模	0.84×0.78/0.12m	西方北側盛土傍の貼土の焼土
F-199	位置	T31区	規模	0.42×0.20/0.17m	広場内の焼土
F-250	位置	R30区	規模	0.86×0.79/0.07m	貼土部の焼土
F-260	位置	R30区	規模	0.40×0.40/0.05m	貼土部の焼土
F-280	位置	R31区	規模	(0.80)×0.55/0.11m	貼土部の焼土

(b) 配石南側の焼土

F-64	位置	R37区	規模	0.62×0.40/0.08m	南側貼土部下位の焼土
F-65	位置	R37区	規模	0.95×0.83/0.10m	南側貼土部下位の焼土
F-66	位置	R36区	規模	0.55×0.35/0.10m	南側貼土部下位の焼土
F-95	位置	T39区	規模	0.45×0.28/0.09m	南側盛土下位貼土上部の焼土
F-96	位置	S38区	規模	0.31×0.31/0.06m	南側盛土下位貼土上部の焼土
F-97	位置	S38区	規模	0.25×0.23/0.06m	南側盛土下位貼土上部の焼土
F-98	位置	S38区	規模	0.48×0.36/0.08m	南側盛土下位貼土上部の焼土
F-99	位置	S38区	規模	0.90×0.48/0.10m	南側盛土下位貼土上部の焼土
F-100	位置	T38区	規模	0.44×0.41/0.03m	南側盛土下位貼土上部の焼土
F-281	位置	T38区	規模	0.80×0.30/0.12m	南側盛土下位貼土上部の焼土

(c) 盛土外・南側調査区の焼土

F-156	位置	V43区	規模	0.55×0.53/0.10m	IV層上面の焼土
F-158	位置	V45区	規模	1.03×0.83/0.11m	IV層上面の焼土
F-159	位置	X42区	規模	0.65×0.57/0.11m	IV層上面の焼土
F-160	位置	X42区	規模	1.21×0.94/0.08m	IV層上面の焼土
F-161	位置	Z41区	規模	0.82×0.48/0.10m	IV層上面の焼土
F-182	位置	S43区	規模	0.88×0.54/0.13m	IV層上面の焼土

(6) 小柱穴状ピット (SP) [図Ⅶ-64~82]

区分 ここでは平成15年度調査区に連続するSP群について報告する。(a) 配石北側のSP群及び配石遺構の開口部付近にて検出されたSP群 (b) 配石南側貼土付近のSP群 (c) 調査区南側の集落地域のSP群の3地区に大別して記述する。

位置

(a) 配石北側のSP群及び配石遺構の開口部付近にて検出されたSP群

R30・31・32・33・34区、S30・31・32区、T30・31区、U30・31区、V30区、W29・30区に分布する。平成15年度調査区の調査継続部分である。

(b) 配石南側貼土付近のSP群

Q38・39区、R35・36・37・38・39・40区に分布する。平成15年度調査区の調査継続部分である。

(c) 調査区南側の集落地域のSP群

S46・47区、T42・45・46区、U42・43・44区、V42・45区、W42・45区、X42・43・45・46区、Y42・47区に分布する。

確認 主にV層で確認した。

調査 V層上面で確認された小円形を呈する黒色土のまとまりを半載し、遺物の出土状況と、断面を観察して柱穴状ピットと判断した。覆土として落ち込みに①貼土が堆積するもの、②盛土が堆積するもの、③Ⅲ層が堆積するもの、④整地が堆積するものに分類することができた。

遺物出土状況 覆土に10～30cmの礫が混入するものに、

・aグループ SP-1703 (R32区)・1708 (R32区)・1772 (R33区)・1747 (S30区)・1902 (T30区)がある。

・bグループ SP-2028 (R35区)・474 (R36区)・553 (R38区)がある。

・cグループ SP-1106 (U44区)・1092 (X43区)・1091 (X42区)・1201 (Y42区)がある。

時期 周辺の遺構や遺物出土状況からみて、すべて後期初頭の柱穴であろう。①～④の覆土の特徴によりその埋没時期に時間差が推測される。

① 貼土が堆積するもの (配石盛土遺構の基礎が造られてから間もなくの時期のもの)

・aグループ R31区 SP-1723・1724・1726・1729・1730・1731・1732・1733・1734・1736、1737・1738・1739の13基。R32区 SP-1701・1704・1708・1709・1710・1711・1713・1714・1715・1717、1719・1720・1721・1722・1725・1728の16基。S30区 SP-1950の1基。T30区 SP-1760・1787・1788・1793・1794・1797・1798・1906・1907の9基。V30区 SP-1966の1基。W30区 SP-1823の1基。

・bグループ R36区 SP-466・474・475・476・477・478・479・480・481・483、484・485・487・489・490・491・492・493・494・495、498・501・503・506・509・510・511・512・516・517、518・519・522・523・524・525・527・528・529・534、535・537・538・547の44基。

・cグループ U44区 SP-1197の1基。V42区 SP-1108の1基。W45区 SP-1104の1基。Y42区にSP-1191・1193の2基。

② 盛土が堆積するもの (盛土が堆積してからの比較的新しい時期のもの)

・aグループ R30区 SP-1782・1784・1785・1783・1975・1976・1965・1966・1967・1968、1969・1972・1973の13基。R31区 SP-1735・1932・1933・1934・1935・1936の6基。S28区 SP-1742・1744・1746・1747・1748・1750・1751・1752・1753・1939、1949・1951・1952・1953・1954・1955・1956・1957・1958・1959、1961・1962・1963・1964・1974・1979・1980の17基。T30区 SP-1757・1758・1759・1786・1795・1796・1791・1792・1799・1800、1901・1903・1904・1905・1908・1909・1910・1944・1948の19基。V30区 SP-1916の1基。W30区 SP-1823の1基。

・bグループ R35区 SP-2031・2035・2037・2038・2039の5基。R36区 SP-467・482・485・488・500・502・507・508・521・526、530・531・538・539・540・545・546の17基。

・cグループ U42区 SP-1110の1基。

③ Ⅲ層が堆積するもの (包含層が堆積し配石盛土遺構構築前の最も古い時期。もしくは、再堆積してからの最も新しい時期のどちらか)

(11) 中央配石遺構 (CSS) [図Ⅶ-94~137 図版Ⅻ-4~9]

原位置を保つものが114個、動いているが元は配石の一部と推定されるもの48個、以上の162個を中心に大小の礫約244個で構成される。

調査区内で検出された南・北の配石列は長さ約30mで、両列の間隔は約18mである。東端は弧状の曲線で南北の石列が連続して結ばれる形となるが、連結部は風倒木の攪乱がひどく閉じているかは確認できなかった。抜石痕もそのあたりで減少することから、文中では開口部として扱っている。西端は調査区外に延びている。広場の外周を囲む配石遺構は北側の配石列と、南側の配石列に大きく分けられる。

北側配石列 * () で囲んだCSSは配石ベルト図に含む。

RラインCSS— (135)・136・(137)・138・(139)・(140)・141・(142・143)・144、(145・146・147)・148・216・313・314・315の18基。

SラインCSS—149・150・151・152・153・(154・155・156)・195・217、218・219・220・221・226・(251)・256・257・258・287、288・289・290・309の14基。

TラインCSS— (158)・159・160・161・162・233・(234)・235・271・272、273・274・275・276・277の15基。

UラインCSS—163・(164・165・166・167)・168・169・232・246・261の10基。

VラインCSS—170・171・(172・173)・209・227・247・252・268・278・279の11基。

WラインCSS—174・206・207・248・249・253・255・264・270・330の10基。

XラインCSS— (175)・176・(177)・178・179・208・210・263の8基。

YラインCSS—39・40・44・(180・181)・182・183・184・185・186、187・188・189・190・191・192・193・194・211・212・254、259・260・266・267・331の26基。

南側配石列 * () で囲んだCSSは配石ベルト図に含む。

RラインCSS—215・228・320の3基。

SラインCSS—55・56・57・(58・59)・60・(62・63・214)・229、240・241・311の13基。

TラインCSS— (61・64・65・66・67・68)・69・70・(71)・72の10基。

UラインCSS— (73)・74・75・76・77・78・79・80・81・(82)、(83・84)・85・86・87・(88・89・90・91)・92、93・94・95・96・230・236・237・(238)・239・265・280、281・(282)・291・292・293・294・295・296、312・316・317・318・319の44基。

VラインCSS—97・(98・99)・100・(101)・102・103・104・105・(106)、107・(108・109・231)・242・262・283・284・285の19基。

WラインCSS— (110・111・112・113・114・115・116)・117・(118)・119、(120・121・122・123)・243・244・245・(286)・(321)・322、323の21基。

XラインCSS—48・(124)・125・126・(127・128・129)・134・324の9基。

YラインCSS— (130)・131・132・133・329の5基。

配石遺構位置 [図Ⅶ-94]

配石遺構の配石の中で、石の下位の土層から①原位置を保つ礫、②原位置から移動した礫、③浮いている礫に分類され、その他に発見の状況から④土坑内から検出された礫、⑤埋まっている礫が観察できた。②は遺構が埋没していく過程で動かされた礫と推測され、③は新しい時期に耕作や植林により地表面まで浮いた礫である。Yラインの礫群は北側の配石が引き抜かれ動かされてきたものであろう。U35区の大きな礫は元々は立石だった可能性がある。

配石遺構石質 [図Ⅶ-95 図版ⅩⅢ-10]

北側、南側ともに多いのは砂岩で、要所に安山岩が用いられる。X34区で珪化木の化石が配石に用いられていた。

(12) 中央配石抜け石痕 (CSSP) [図Ⅶ-139~145 図版ⅩⅢ-10]

配石遺構は平坦に整地した広場を区画して北西から南東方向に並び、長さ約30~80cmの砂岩を主とする円礫を配置したものである。全体の配置は楕円形状を呈すると推定される。

配石は近世の耕作と近代の植林と耕作により、特に北側配石列は大幅に抜石されるが、石の位置した跡が、Ⅲ層（黒色土）の落ち込む浅い小土坑として観察することが出来た。これを配石抜け石痕として半割して覆土の状況を調査した。

北側配石抜け石痕 * () で囲んだCSSPは配石ベルト図に含む。

RラインCSSP— (1・2・3・4・5・6・7・8・9・10)、(11・12・13・14・15・16・17・18・19・20)、(21・22・23) の23基。

SラインCSSP— (24・25)・26・(27・28・29・30・31・32・33)、(34・35・36・37・38) の15基。

TラインCSSP—39・40・41・42・43・44・45の7基。

UラインCSSP— (46・47)・48・(49・50)・51・(52)・53・(54・55)、56・(57・58・59)・60・(61) の16基。

VラインCSSP— (62・63)・64・65・(66・67) の6基。

WラインCSSP— (68)・69・(70) の3基。

XラインCSSP— (72)・73・74・75の4基。北側は以上の74基。

南側配石抜け石痕 * () で囲んだCSSPは配石ベルト図に含む。

RラインにCSSP— (113・115) の2基。

SラインにCSSP—97・(98・99)・100・101・102・(103・104・105・106)、(107)・108・(109・110・111)・112・(114) の17基。

TラインCSSP— (86)・87・(88・89・90・91・92・93・94)、(95・96) の11基。

VラインCSSP— (84) の1基。WラインCSSP—83の1基。

XラインCSSP—78・(79)・80・(81・82) の5基。南側は以上の37基。

CSSPが多く検出されるのは北側のR・S・Uの地区で、南側ではS・Tの地区である。南側UラインにCSSPは存在しない。最も攪乱をうけていない場所といえる。抜け石痕の覆土は全てⅢ層が占める。

(13) 配石下ピット (UP) [図Ⅶ-146~164]

配石の下位には石設置の為の掘り方と、長軸約50~100cm、深さ約30cmののピット群や柱穴状ピットが約311基みられた。配石付近の小柱穴状ピットは広場内のCPと区別するためUPに含んだ。

北側配石下のUP * () で囲んだUPは配石ベルト図に含む。

RラインUP— (6・7・8・9・10・11・12・13・14・15、16・20・21・22)・23・(25・26・27・28・29・30・31)・32・(33)・34・35・36・37・(39)・40、41・42・43・44・45・46・47・48・49・50、51・52・53・54・56・57・58・59・60・61、62・63・64・65・66・67・68・69・70・71、72・73・74・77・(78)・79・407・408・409・415、420・421・422・423・424・425・426・433の78基。

SラインUP— (93・96・97・98・99)・100・(101・113)・114・115、116・121・406の13基。

TラインUP— (119)・120・141・142・(153・155・156・157)・159・(160)、161・162・165・166・

391・(400)・402・430・431の19基。

UラインUP— (163・164)・167・(171・172・173・174・175)・182・(183、184)・185・186・(187)・188・(189・190・191・192)・193、(199・200)・201・202・203・204・(397)・401の28基。

VラインUP—207・208・209・(210)・211・(212・213)・214・215・(216)、217・(246・247)・394・396・427・428の17基。

WラインUP—218・219・(220・221)・222・(224)・229・230・231・232、(233)・234・248・249・(395)・429の16基。

XラインUP— (235・236) の2基。以上の計173基。

南側配石下のUP * () で囲んだUPは配石ベルト図に含む。

RラインUP—55・335・336・(337)・342・343・354・355・356の9基 (R35区から南とした)。

SラインUP—303・304・(305)・306・(307・308)・309・310・(311)・312、(313)・314・(315)・316・(317・318・319・320・321・322)、326・(327・329・330・333・334)・338・340・341・344、345・346・347・348・(349・350・351)・352・(353)・357、358・381・383・384・399の45基。

TラインUP— (292・293)・294・295・296・(297・298・299)・300・(301)、(302・359・360・361)・362・363・(364・365・366)・382の20基。

UラインUP— (289)・290・(291)・367・368・369・370・(371・372)・385の10基。

VラインUP—1・2・267・(274)・275・276・277・(278・279・280、281)・(282・283・284)・285・(286・287) の17基。

WラインUP— (264・265・266・268・269・270・271・272)・273・(373)、374・375・(376)・377・378・380・(388) の17基。

XラインUP—3・4・5・(252・253)・254・255・256・(257・258)、(259・260・261・262・263・379)・434・435の18基。

YラインUP— (250)・251の2基。以上の計138基。

時 期 周辺の遺構や遺物出土状況からみて、すべて後期初頭の柱穴と推測される。①～④の覆土の特徴によりその埋没時期に時間差が推測される。

北側配石下のUP * () で囲んだUPは配石ベルト図に含む。

①貼土が堆積するもの (配石盛土遺構の基礎が造られてから間もなくの時期のもの)

RラインUP— (9)・23・(29・30・31・33・39)・408の8基。

②盛土が堆積するもの (盛土が発達してからの比較的新しい時期)

TラインUP— (166) の1基。

③Ⅲ層が堆積するもの (包含層が発達し配石盛土遺構構築前の最も古い時期。もしくは構築後に土壌が再発達してからの最も新しい時期のどちらかと考えられるもの)

RラインUP—420・421・422・425・426・433の6基。

TラインUP— (156)・430・431の3基。

UラインUP— (175) の1基。

VラインUP—428は1基。

WラインUP—429の1基。

④整地が堆積するもの (配石盛土遺構の基礎が造られてから間もなくの時期か、再整地の後に埋められたもの)

RラインUP— (6・15・25・26・27・28)・32・34・35・36、37・40・41・42・43・44・45・46・

47・48、49・50・51・52・53・54・56・57・58・59、60・61・62・63・64・65・66・67・68・69、
70・71・72・73・74・77・(78)・79・407・409、415の51基。

SラインUP—(93・98・99)・100・101・113・114・115・116・121、406の11基。

TラインUP—119・120・141・142・(155)・159・161・162・165・391、(400)・402の12基。

UラインUP—167・(171・172)・182・185・186・(187)・188・(189)・190、(191・192)・193・
(199・200)・201・202・203・204・401の20基。

VラインUP—207・208・209・211・(213)・214・217・(246・247)・394、396の11基。

WラインUP—218・219・(220)・222・(224)・229・230・231・232・234、248・249・(395)の13
基。

Xラインに北UP—(236)の1基。

⑤複数の土層が堆積するもの

以上の5種に区分できる。R33区のUP—408・426はCPと共通する土層なので、CPに類するもの
かもしれない。

南側配石下のUP * () で囲んだUPは配石ベルト図に含む。

①貼土が堆積するもの

SラインUP—(318・353)の2基。

TラインUP—(293・297・299)・300・(301・302・359)の7基。

UラインUP—(289)の1基。

VラインにUP—(267)の1基。

WラインUP—(269・373)の2基。

②盛土が堆積するもの

RラインUP—(55)の1基。

③Ⅲ層が堆積するもの

XラインにUP—434・435の2基。

④整地が堆積するもの

RラインUP—335・336・(337)・342・343・354・355・356の8基。

SラインUP—303・304・(305)・306・308・309・310・(311)・312・314、(315)・316・(320・321・
322)・326・(334)・338・340・341、344・345・346・347・348・(350)・352・357・358・381、
383・384・399の33基。

TラインUP—294・295・296・(360・361)・362・363・(364・365・366)、382の11基。

UラインUP—290・367・368・369・370・(371・372)・385の8基。

VラインUP—274・275・276・277・(278・279・282・283)・285・286の10基。

WラインUP—(264・265・266・270・272)・273・374・375・(376)・377、378・380・(388)の12
基。

XラインUP—3・(4・5・252・253)・254・255・256・(257・258、260)・(263・379)の13基。

YラインUP—(250)・251の2基。

⑤複数の土層が堆積するもの

以上の5種に区分できる。⑤は複数の土層からなる為、平面図には図示しない。UPには④整地層
が堆積するものが多いことがわかる。

(14) 中央広場小ピット (CP) [図Ⅶ-165～184]

広場内のV層上面にて小ピットは約406基検出できた。広場の北東部分R34・35区には配石の途切れる、広場の入り口と考えている付近があり、その一帯に柱穴列が検出できた。入り口に対して平行に遮断する形で分布する。この柱穴列は、基礎杭もしくは柵に順ずるような意味を持つものとして捉えている。

時期 周辺の遺構や遺物出土状況からみて、すべて後期初頭の小であろう。①～⑤の覆土の特徴によりその埋没時期に時間差が推測される。

①貼土が堆積するもの（配石盛土遺構の基礎が造られてから間もなくの時期のもの）

RラインCP-340・341・342・348・349・350・362・364・371・372、373・374・375・376・378・379・403・405・428の19基。

SラインCP-78・239・245・246・247・249・250・251・252・255、260・261・263・264・265・270・272・273・274・275、278・281・283・284・289・291・292・293・294・295、303・304・305・307・381・438の36基。

TラインCP-143・146・180・184・202・208・210・223・225・227、231・232・233・234・235・236・240・242・244・311、422の21基。

UラインCP-128・129・132・133・134・161・170・176・188・189、191・214・429・431・433の15基。

VラインCP-75・92・93・94・100・158・159・162・172・212の10基。

WラインCP-74・119・424の3基。

XラインCP-18・23・241・297・299の5基。

YラインCP-32・39・40の3基。

CP-40からは土器片が接合し復元できる縄文時代後期Ⅳ群a2A類が1個体出土する。これらは遺物の出土状況から縄文時代後期初頭ののものであろう。

②盛土が堆積するもの（盛土が発達してからの比較的新しい時期のもの）

RラインCP-335・336・338・339・343・344・345・346・347・368、377・402・417の13基。

SラインCP-253・254・256・258・259・262・266・267・306・326、332・334・354・355・426の15基。

TラインCP-144・145・147・209の4基。

UラインCP-177・190の2基。

VラインCP-156の1基。

WラインCP-87の1基。

XラインにCP-35・48の2基。

YラインにCP-41の1基。

③Ⅲ層が堆積するもの（包含層が発達し配石盛土遺構構築前の最も古い時期。もしくは再発達してからの最も新しい時期のどちらかと考えられるもの）

RラインCP-52・312・313・314・315・316・317・318・319・320、337・361・380・391・394・395・401・404・409・410、418・419・423・436・440の25基。

SラインCP-238・243・248・268・269・271・276・277・279・280、282・285・286・287・288・290・298・300・301・302、308・309・310・321・322・323・324・325・327・328、329・330・331・333・351・352・353・356・357・358、359・360・382・406・407・408の46基。

TラインCP-141・142・150・151・179・183・201・203・204・205、206・207・215・218・219・221・222・224・226・228、229・230・383・384・385・397・421・425・432の29基。

UラインCP-124・125・126・127・135・154・155・163・164・165、166・167・168・169・173・174・175・178・181・182、185・186・187・192・193・194・195・196・197・198、199・200・211・386・430の35基。

VラインCP-95・96・97・98・99・111・116・157・160・171、213の11基。

WラインCP-61・62・64・65・66・67・68・69・70・72、73・76・80・82・84・85・112・113・114・117、118・122・152・237の24基。

XラインCP-3・4・5・6・7・8・9・10・11・12、14・17・19・20・21・22・24・25・29・30、31・33・34・36・37・42・43・44・45・46、47・49・50・51・56・217・387・392・434・437の40基。

YラインCP-13・15・16・26・27・28・38・53・54・55の10基。

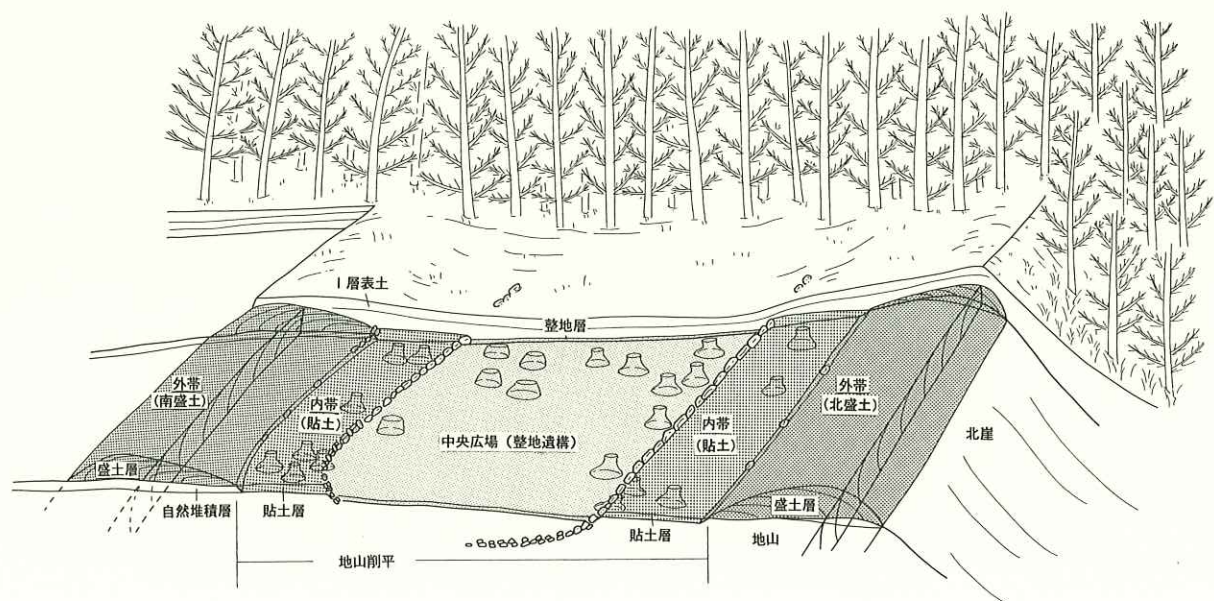
④整地が堆積するもの（配石盛土遺構の基礎が造られてから間もなくの時期か、再整地の際に埋められたもの）

⑤複数の土層が堆積するもの

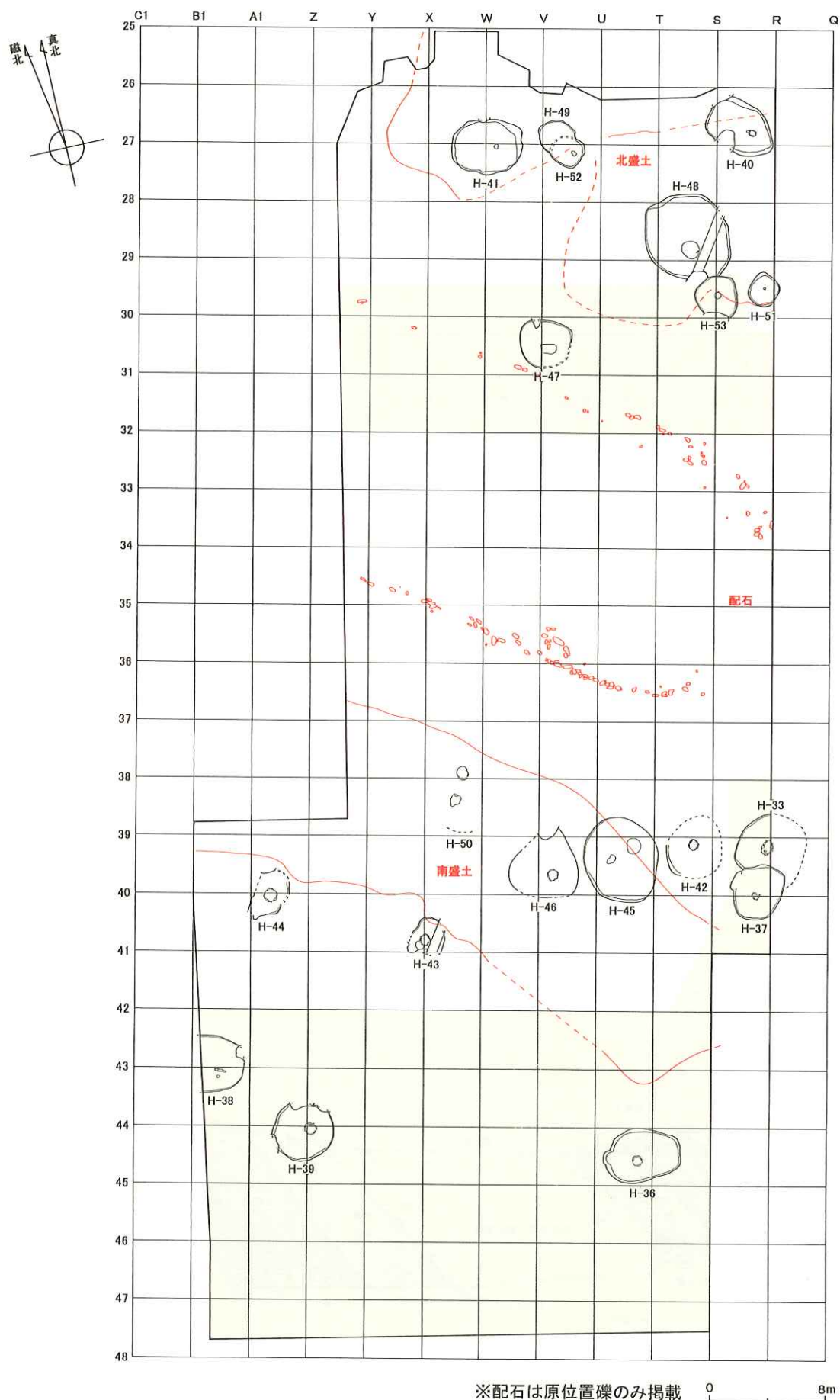
以上の5種に区分できる④と⑤は単一の土層で埋まったものではないので平面図には図示しない。

分布範囲

①は広場全体に分布する。②は広場の全体に分布するが東方部分に集中するようである。③は数量も多く、広場に偏りがなく全面に分布している。これらのことから、広場内では③のⅢ層が落ち込むものが多い事が判る。

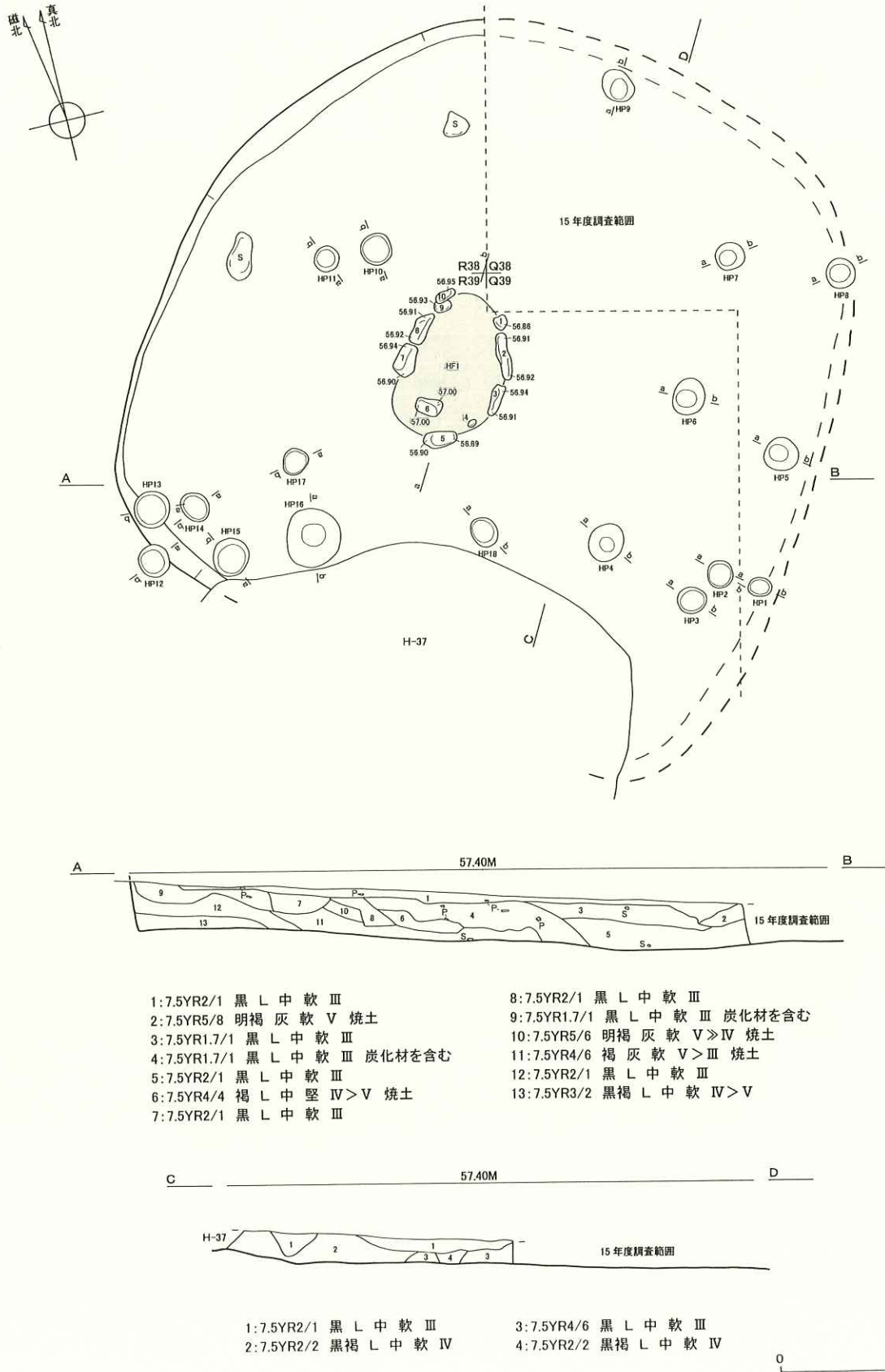


図Ⅶ-1 遺構群の推定模式図

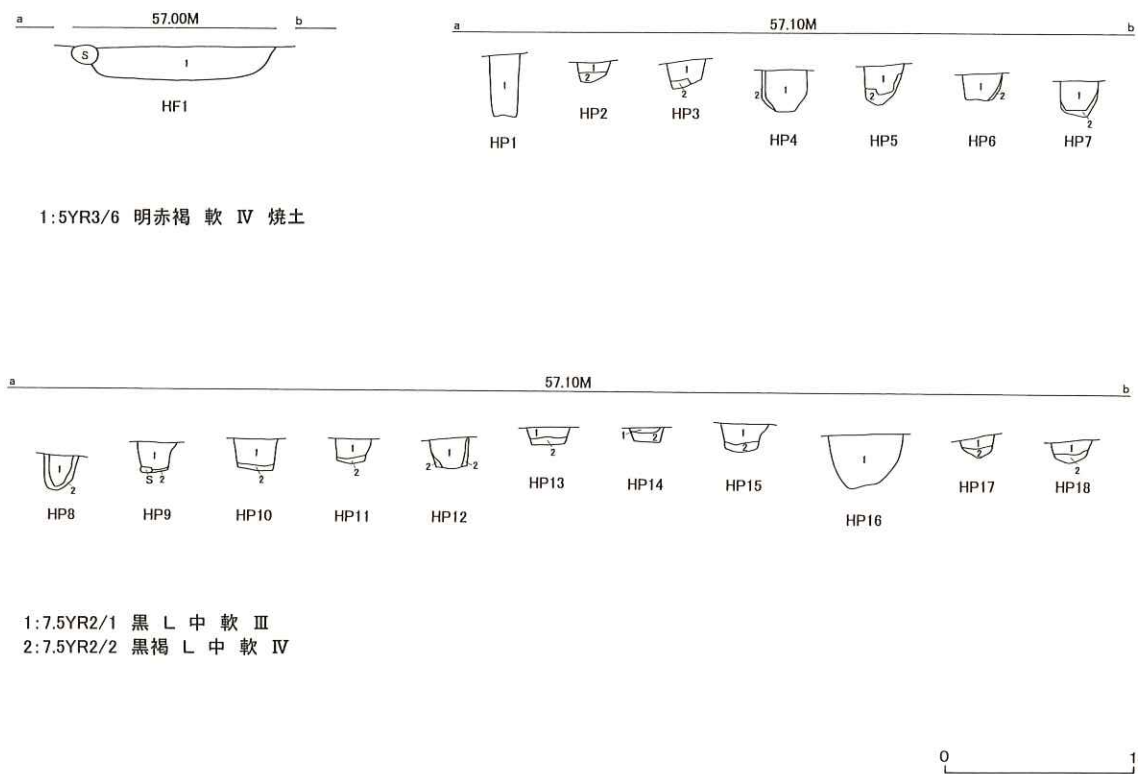


図Ⅶ-2 竪穴式住居跡(H)分布図3分冊範囲

H-33

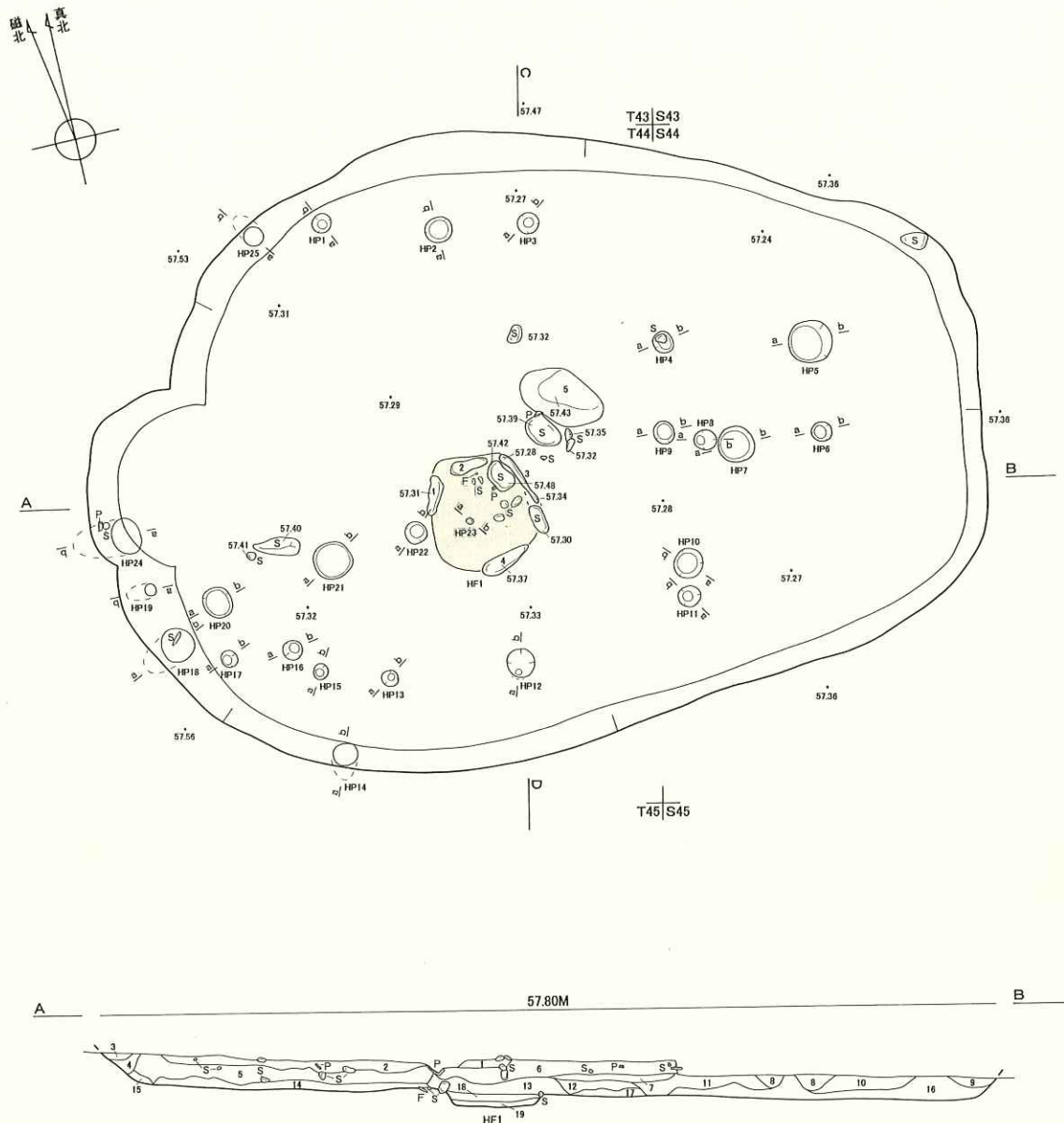


図Ⅶ-3 H-33 (1)



図Ⅶ-4 H-33 (2)

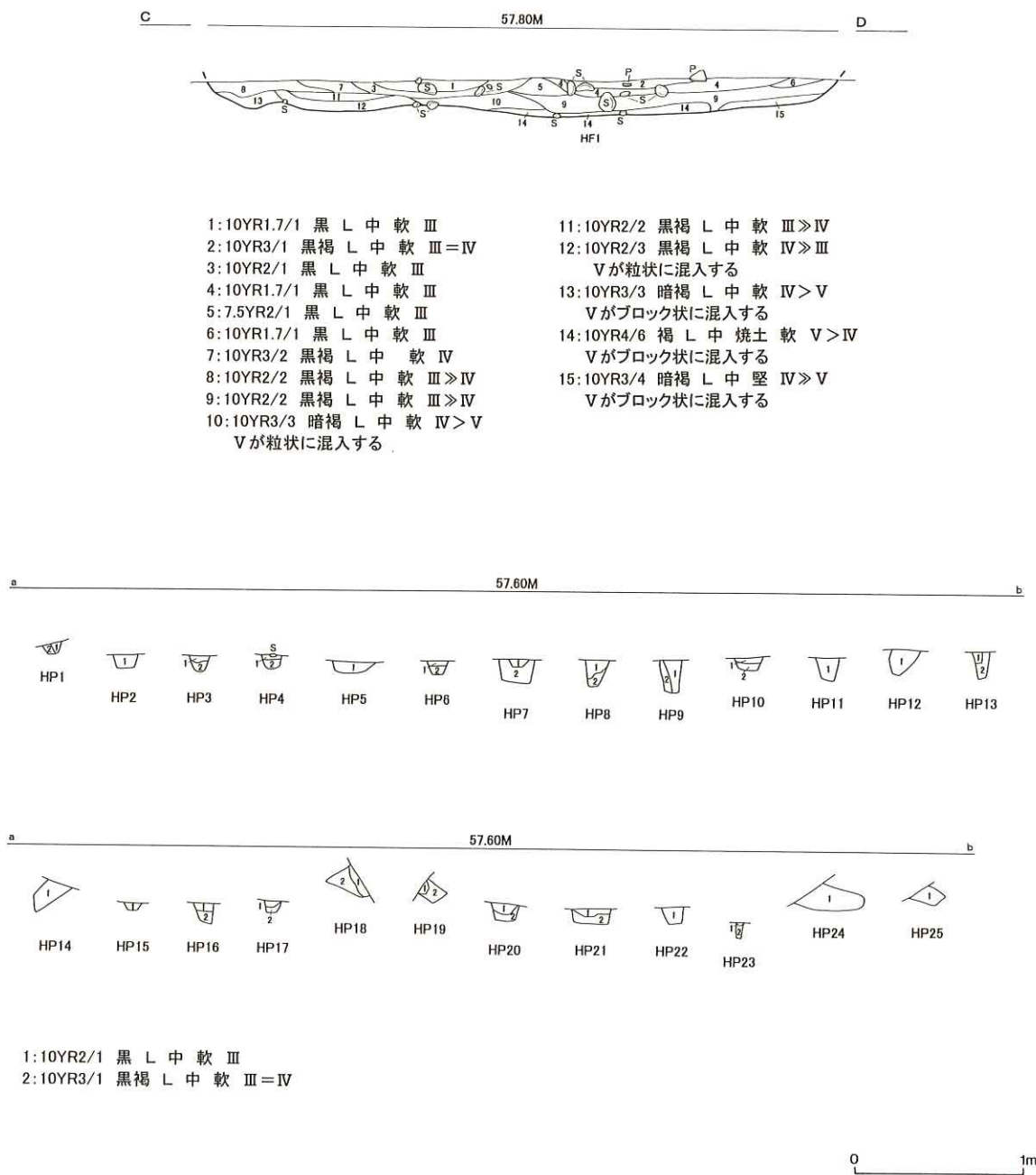
H-36



- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1:10YR2/1 黒 L 中 軟 III | 11:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV |
| 2:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV | 12:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III |
| 3:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III | Vがブロック状に混入する |
| 4:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V | 13:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土 |
| 5:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV | 14:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V |
| IVが粒状に混入する | Vがブロック状に混入する |
| 6:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III | 15:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III |
| 7:10YR2/1 黒 L 中 軟 III=IV | 16:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III |
| IVが粒状に混入する | 17:10YR5/6 褐 L 中 軟 V |
| 8:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III | 18:5YR3/6 明赤褐 軟 IV 焼土 |
| 9:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III | 19:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV |
| 10:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV | |

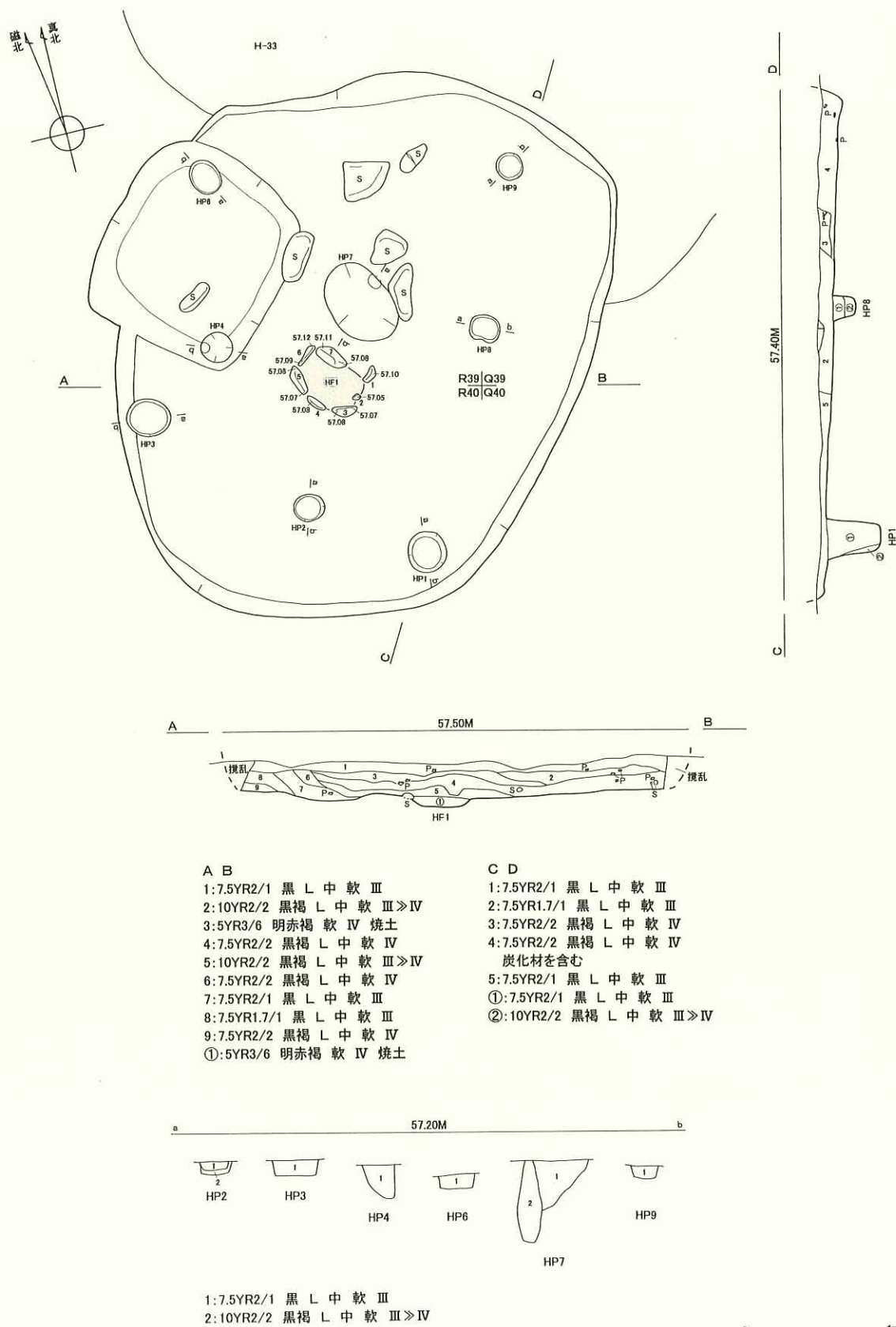
0 1m

図Ⅶ-5 H-36 (1)

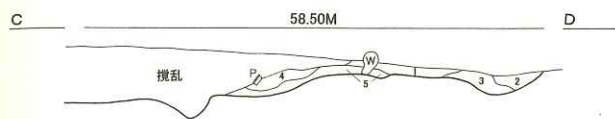


図Ⅶ-6 H-36(2)

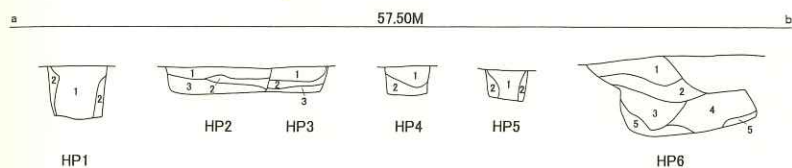
H-37



図VII-7 H-37



- 1:7.5YR1.7/1 黒 C 中 軟 III
 2:7.5YR2/1 黒 C 中 軟 III
 3:7.5YR5/8 明褐 灰 軟 V 焼土
 4:10YR2/1 黒 C 中 軟 III
 5:10YR4/6 褐 C 中 焼土 軟 V>IV



- 1:10YR2/2
 黒褐 C 中
 軟 III>IV
 2:10YR2/3
 黒褐 C 中
 軟 IV>III

- HP2
 1:10YR2/2 黒褐 C 中 軟
 III>IV
 2:10YR4/6 褐 C 中 焼土
 軟 V>IV
 3:10YR3/4 暗褐 L 中 堅
 IV>V
 HP3
 1:10YR1.7/1 黒 C 中 軟 III
 2:10YR2/3 黒褐 C 中 軟
 IV>III
 3:10YR3/3 暗褐 L 中 軟
 IV>V

- 1:10YR2/2
 黒褐 C 中
 軟 III>IV
 2:10YR2/3
 黒褐 C 中
 軟 IV>III

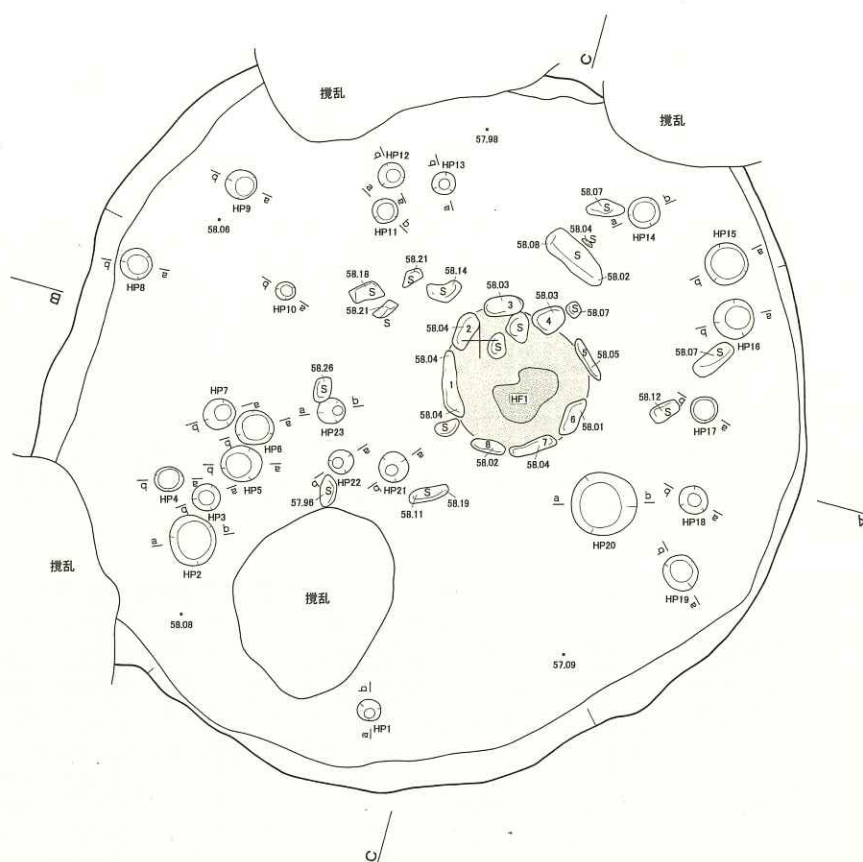
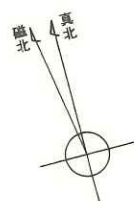
- 1:10YR2/2
 黒褐 C 中
 軟 III>IV
 2:10YR2/3
 黒褐 C 中
 軟 IV>III

- 1:10YR1.7/1 黒 C 中 軟 III
 2:10YR2/3 黒褐 C 中 軟 IV>III
 3:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
 4:10YR2/3 黒褐 C 中 軟 IV>III
 5:10YR2/1 黒 L 中 軟 III

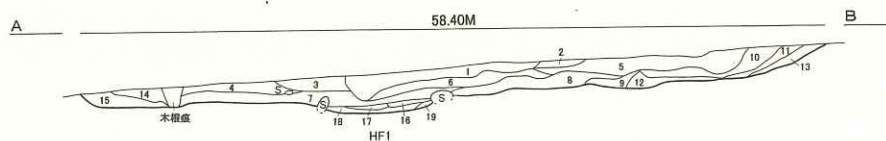
- 1:10YR2/2
 黒褐 C 中
 軟 III>IV
 1:10YR2/2
 黒褐 C 中
 軟 III>IV

0 1m

H-39



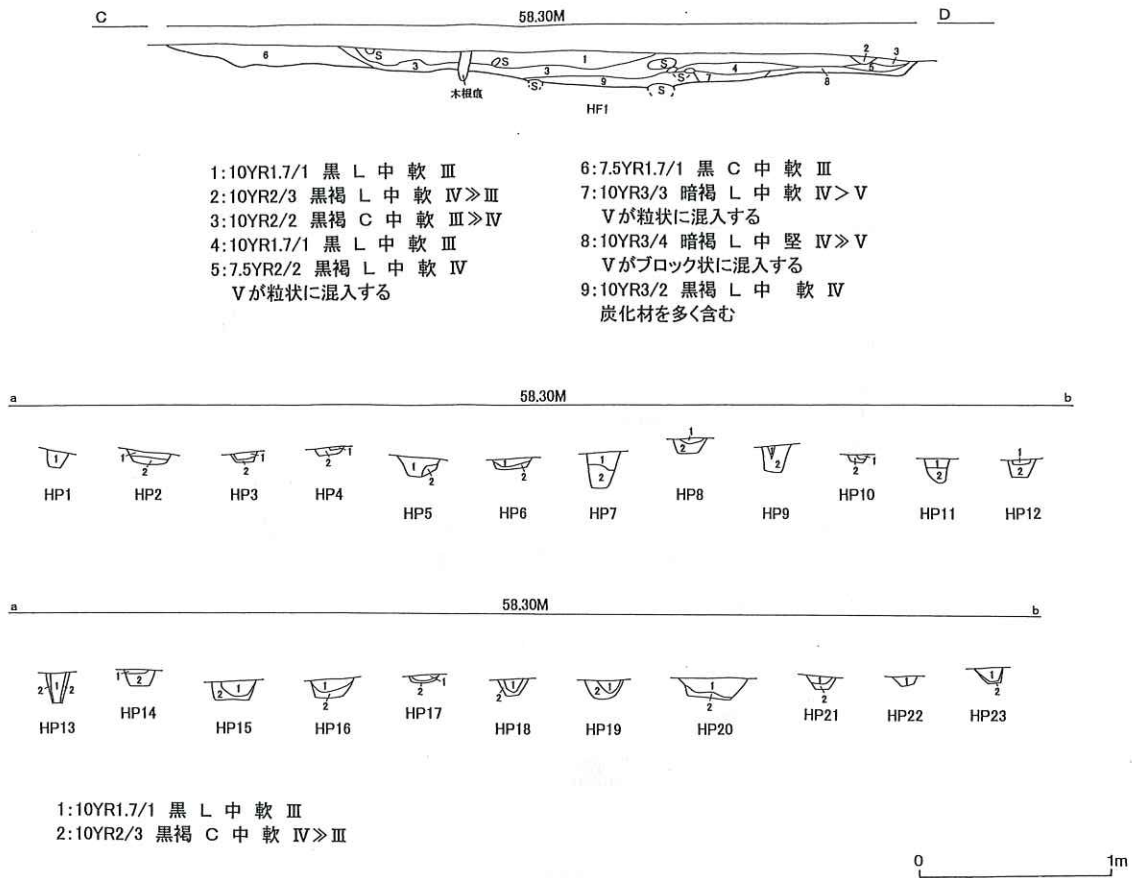
Z44|Y44
Z45|Y45



- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1:10YR2/1 黒 L 中 軟 III | 11:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V |
| 2:10YR2/2 黒褐 C 中 軟 III>IV | 12:10YR1.7/1 黒 C 中 軟 III |
| 3:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV | 13:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III |
| 4:10YR2/1 黒 L 中 軟 III | 14:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III |
| 5:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III | 15:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV |
| 6:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III<IV | 16:10YR2/2 黒褐 C 中 軟 III>IV |
| 7:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III<IV | 17:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III |
| 8:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV | 18:5YR5/6 明赤褐 軟 III 焼土 |
| 9:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V | 19:7.5YR4/6 褐 灰 軟 V>III 焼土 |
| 10:10YR2/2 黒褐 C 中 軟 III>IV | |

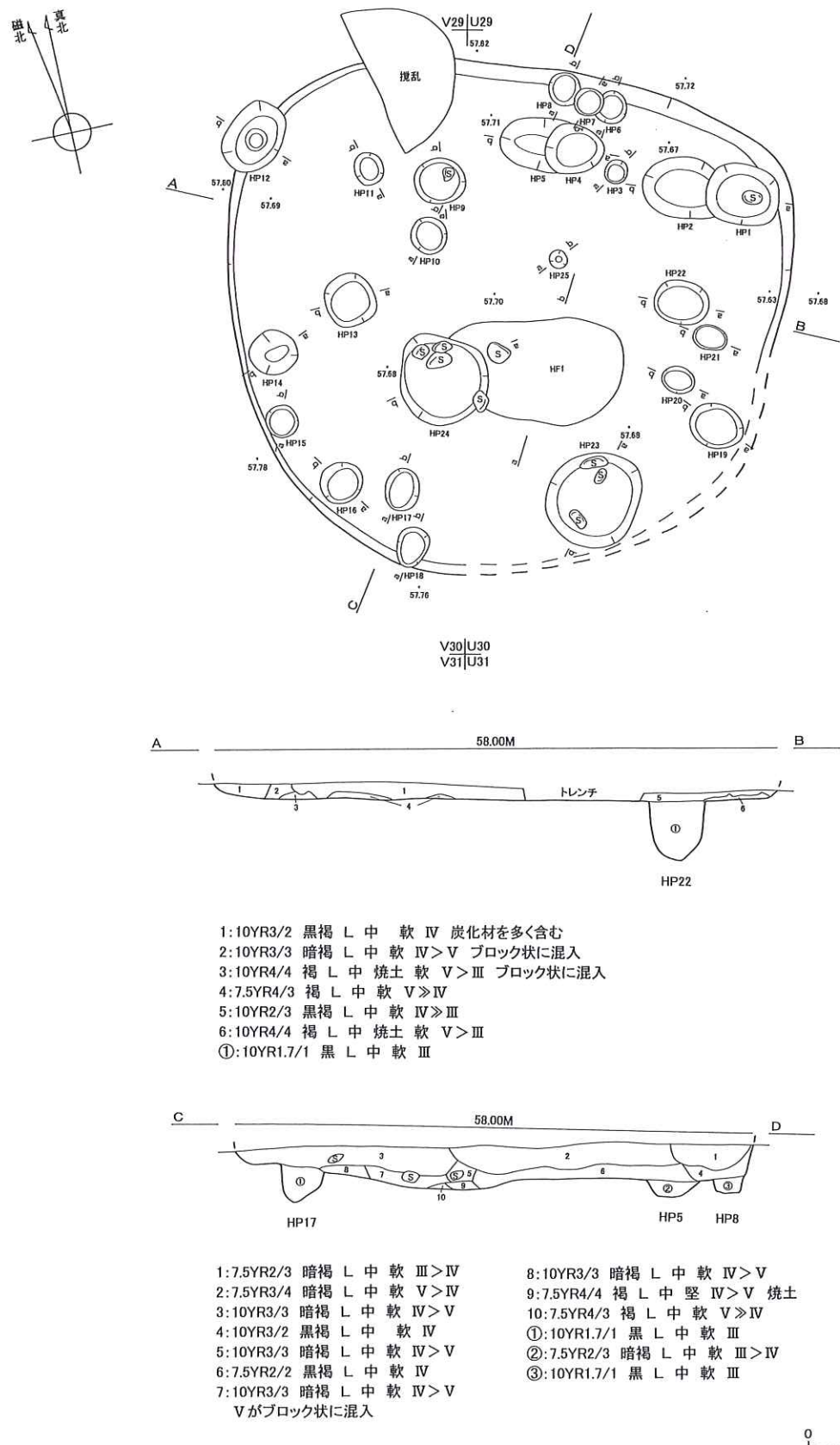
0 1m

図VII-10 H-39 (1)

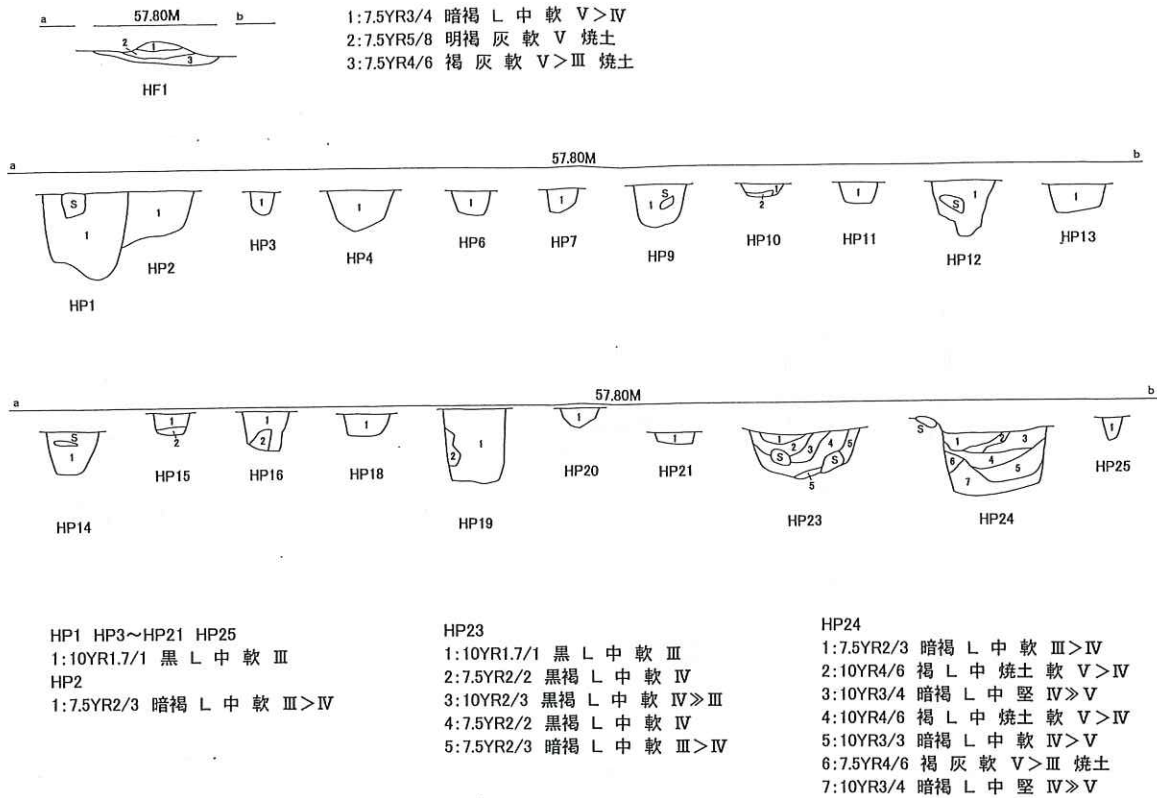


図VII-11 H-39(2)

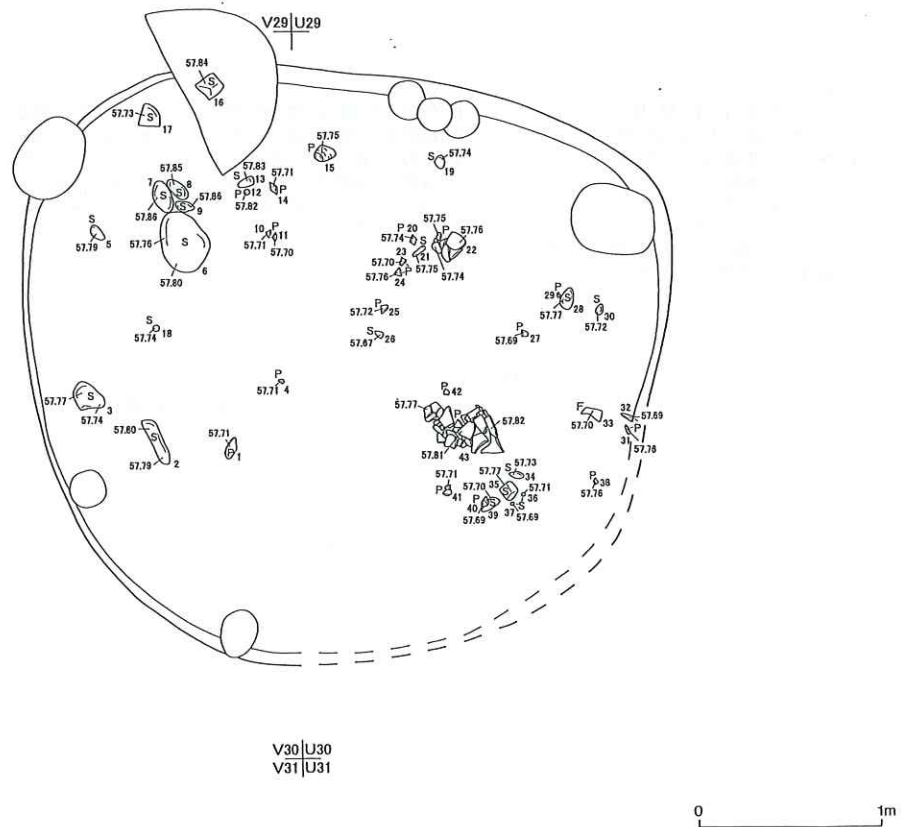
H-47



図VII-12 H-47 (1)

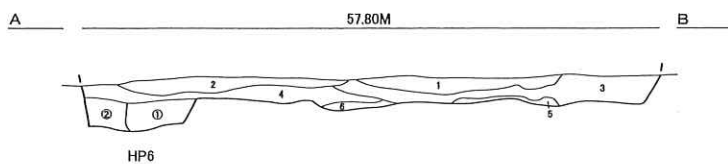
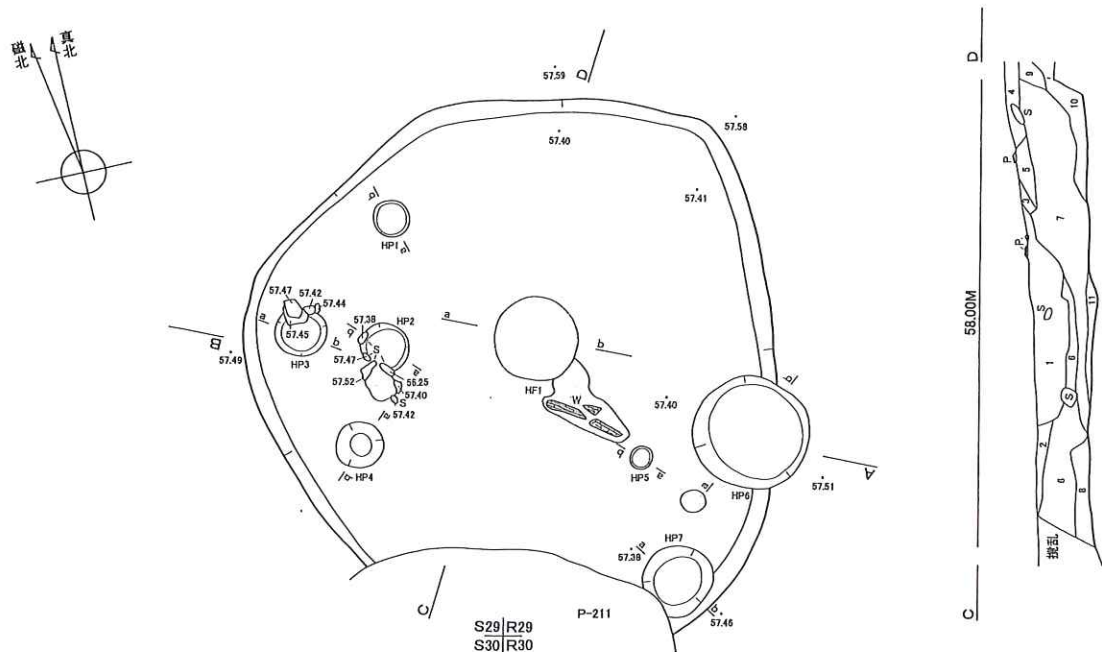


遺物出土状況図



図VII-13 H-47 (2)

H-53

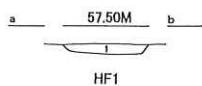


A B

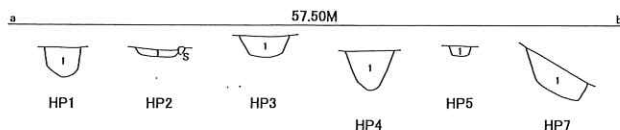
- 1:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 2:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 3:7.5YR3/1 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 4:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 5:7.5YR5/8 明褐 灰 軟 V 焼土
- 6:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- ①:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- ②:10YR5/8 黄褐 L 中 軟 V>IV

C D

- 1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 2:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 3:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 4:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 5:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 6:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 7:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 8:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 9:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 10:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 11:7.5YR4/6 褐 灰 軟 V>III 焼土



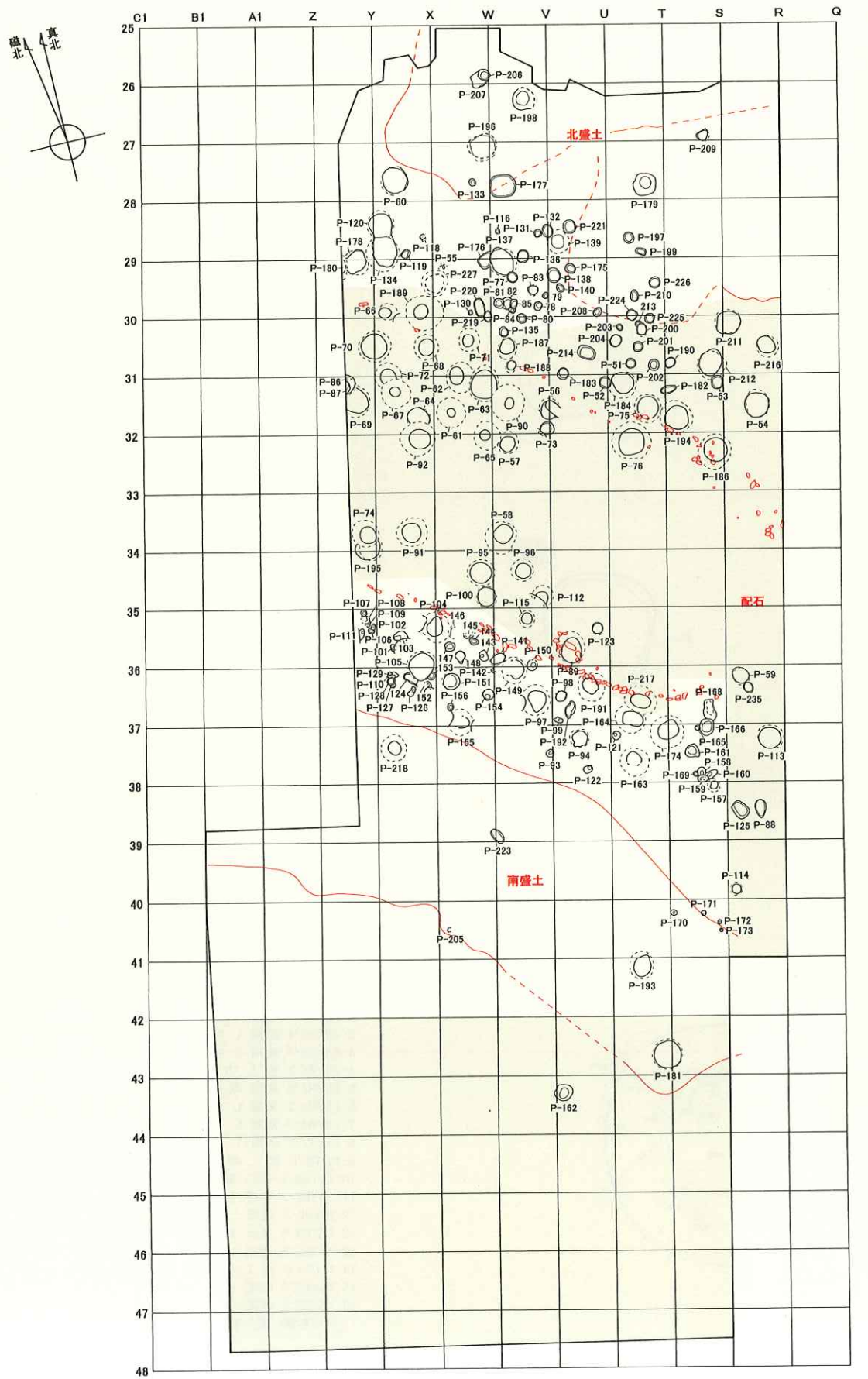
1:5YR3/6 明赤褐 軟 IV 焼土



- 1:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 1:10YR2/1 黒 L 中 軟 III Vがブロック状に混入
- 1:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV Vが粒状に混入

0 1m

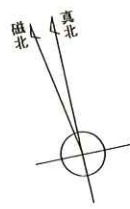
図VII-14 H-53



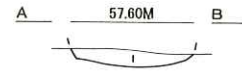
※配石は原位置礫のみ掲載

図Ⅶ-15 土坑(P)分布図3分冊範囲

P-51

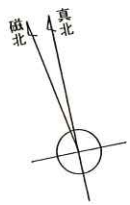


U30/T30
U31/T31

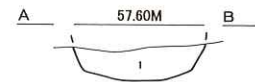
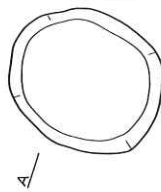


1:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV

P-52

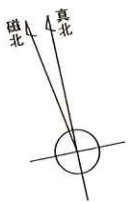


U30/T30
U31/T31

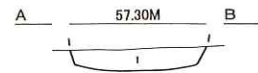
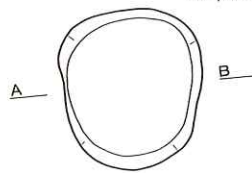


1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III

P-53

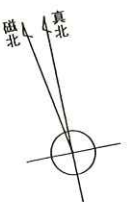


S30/R30
S31/R31

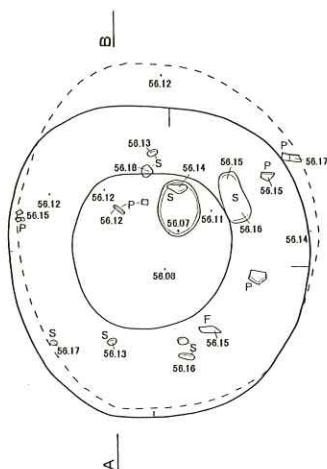
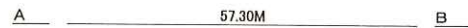


1:10YR2/1 黒 L 中 軟 III

P-54



R30/Q30
R31/Q31



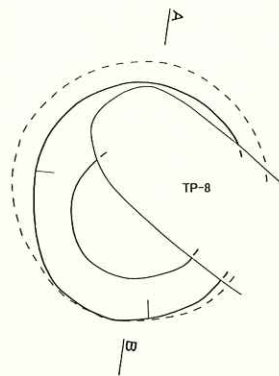
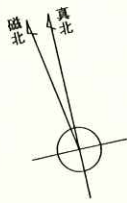
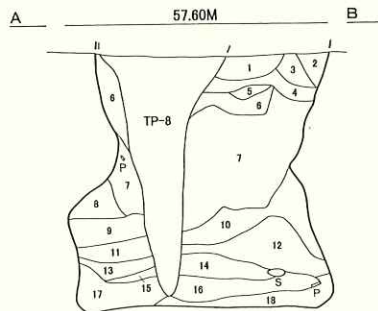
- 1:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 2:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 3:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 4:7.5YR4/3 褐 L 中 軟 V>IV
- 5:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 6:7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V
- 7:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 8:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 9:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 10:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 11:7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V
- 12:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 12:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 13:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 14:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 15:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 16:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV

Vが粒状に混入する

0 1m

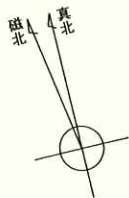
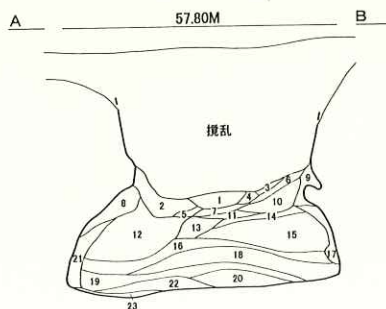
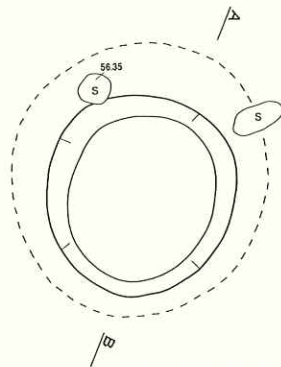
図Ⅶ-16 P-51~54

P-56

V31|U31
V32|U32

- 1:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 2:7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V
- 3:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 4:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 5:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 6:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 7:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- V がブロック状に混入する
- 8:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 9:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 10:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
- 11:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 12:7.5YR5/2 灰褐 L 軟 V
- 13:10YR5/3 にぶい黄褐 L 中 軟 V>IV
- 14:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 15:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 16:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 17:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 18:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III

P-57

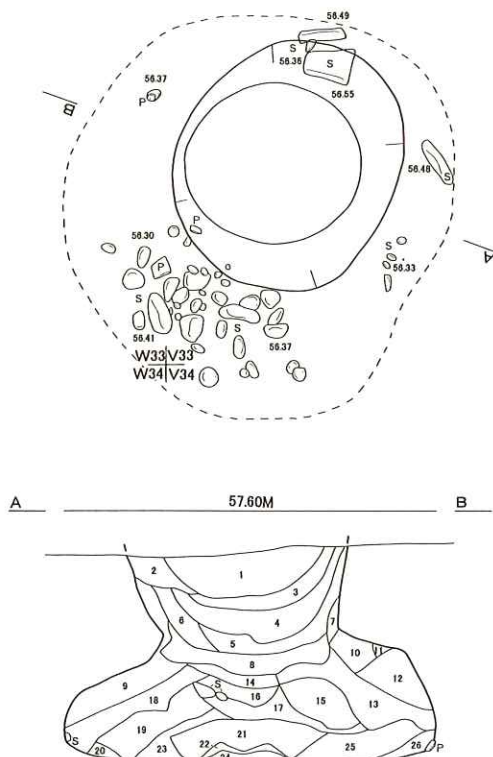
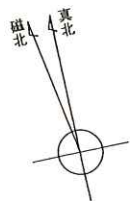
W31|V31
W32|V32

- 1:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
炭化材を含む
- 2:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 3:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 4:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 5:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 6:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
V が粒状に混入する
- 7:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 8:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 9:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 10:10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV
- 11:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 12:10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
- 13:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 14:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 15:10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
- 16:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 17:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 18:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 19:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 20:10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
- 21:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 22:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 23:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III

0 1m

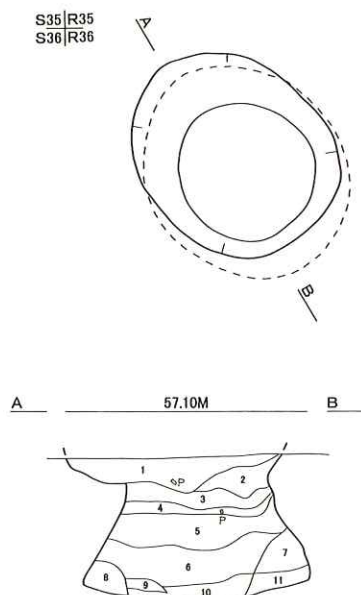
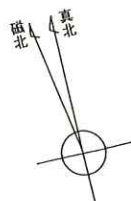
図 VII-17 P-56・57

P-58



- 1:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 2:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 3:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 4:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 5:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 6:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 7:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 8:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV 炭化材を含む
- 9:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
IVがブロック状に混入する
- 10:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
IVがブロック状に混入する
- 11:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 12:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 13:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 14:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 15:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
- 16:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 17:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 18:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 19:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 20:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 21:7.5YR5/6 明褐 軟 V>IV 焼土
- 22:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
- 23:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 24:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 25:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
- 26:7.5YR5/6 明褐 軟 V>IV 焼土

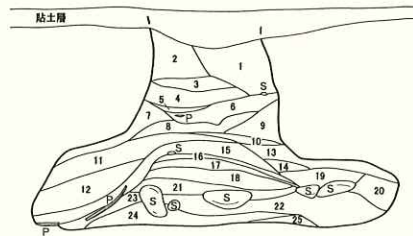
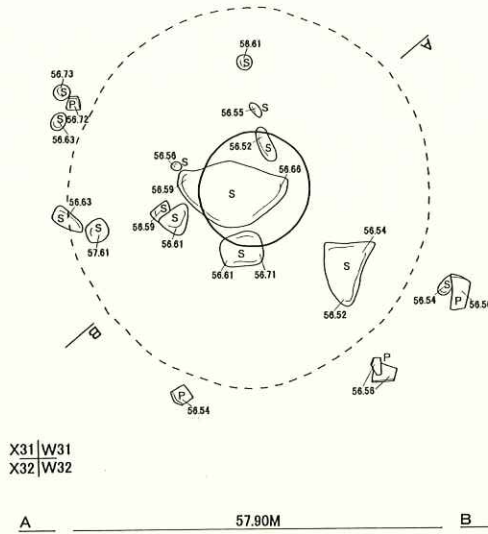
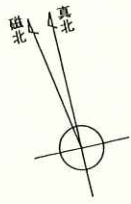
P-59



- 1:5YR3/2 暗赤褐 軟 III 焼土
- 2:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 3:7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V
- 4:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 5:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 6:7.5YR6/2 灰褐 軟 V 焼土
- 7:7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V
- 8:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 9:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 10:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 11:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V

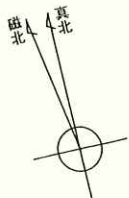
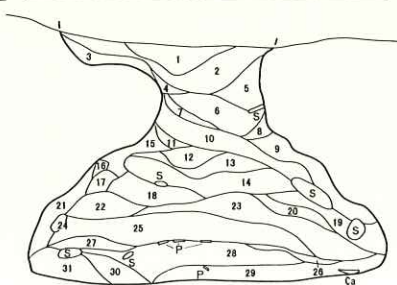
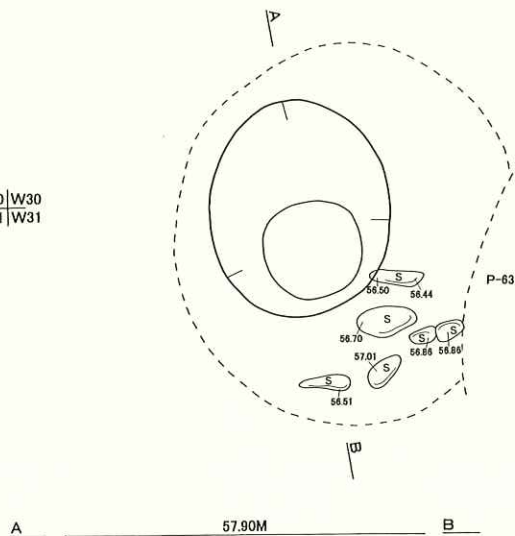
0 1m

P-61



- 1:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
炭化材を含む
- 2:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
炭化材を含む
- 3:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 4:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
炭化材を含む
- 5:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 6:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 7:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
- 8:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
炭化材を含む
- 9:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 10:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
- 11:7.5YR5/6 明褐 軟 V>IV 焼土
- 12:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 13:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 14:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 15:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
炭化材を含む
- 16:10YR5/6 褐 L 中 軟 V 焼土
- 17:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
炭化材を含む
- 18:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 19:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
炭化材を含む
- 20:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 21:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 22:10YR5/6 褐 L 中 軟 V 炭化材を含む
- 23:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 24:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
炭化材を含む
- 25:10YR6/6 明黄褐 L 中 軟 V

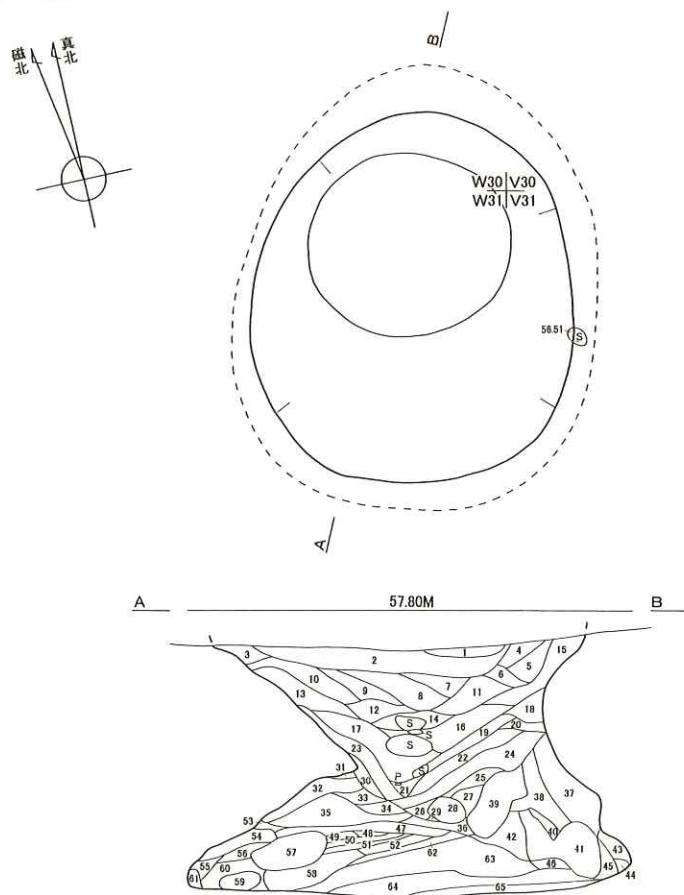
P-62


X30|W30
X31|W31


- 1:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 2:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 3:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 4:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 5:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
Vが粒状に混入する
- 6:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
炭化材を含む
Vが粒状に混入する
- 7:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vが粒状に混入する
- 8:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
Vが粒状に混入する
- 9:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 10:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 11:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 12:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 13:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 14:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 15:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 16:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 17:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 18:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 19:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 20:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 21:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 22:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 23:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 24:10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
- 25:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 26:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 27:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 28:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
Vが粒状に混入する
- 29:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 30:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 31:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土

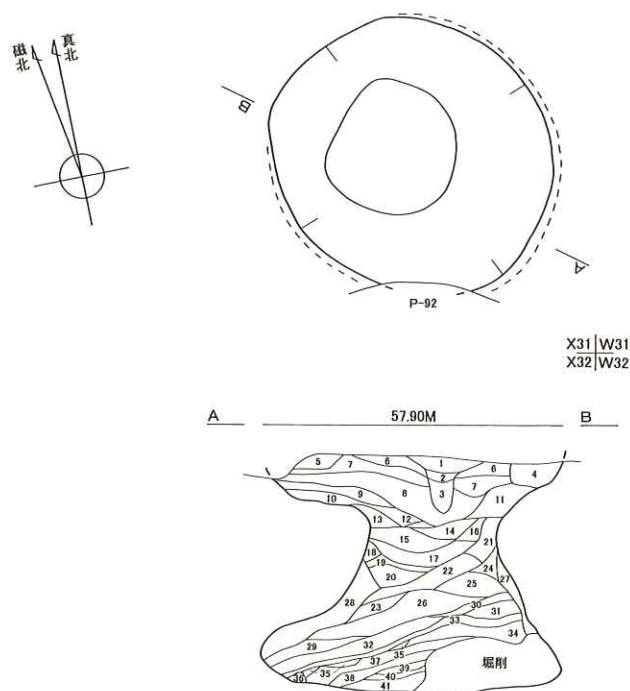
0 1m

P-63



- 1: 10YR2/1 黒 L 中 軟 Ⅲ>Ⅳ
- 2: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 Ⅳ V が粒状に混入する
- 3: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 4: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 Ⅲ=Ⅳ V が粒状に混入する
- 5: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V V が粒状に混入する
- 6: 7.5YR2/1 黒 L 中 軟 Ⅲ V が粒状に混入する
- 7: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 Ⅲ=Ⅳ
- 8: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V 焼土粒を含む
- 9: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 Ⅲ=Ⅳ
- 10: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 11: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V V が粒状に混入する
- 12: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 Ⅳ>V 焼土粒を含む
- 13: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 14: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 Ⅳ>Ⅲ
- 15: 10YR4/6 褐 L 中 軟 Ⅳ>Ⅳ V が粒状に混入する
- 16: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 Ⅳ>V 炭化材を含む
- 17: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 Ⅳ>V 焼土粒を含む
- 18: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 Ⅳ>V
- 19: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 Ⅳ 焼土粒を含む
- 20: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 21: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 Ⅳ>V
- 22: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 23: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 24: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 Ⅳ>V 焼土粒を含む
- 25: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅲ
- 26: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 27: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 28: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 29: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V V が粒状に混入する
- 30: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 Ⅳ
- 31: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 32: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 33: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 34: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 35: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 36: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 37: 10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>Ⅳ
- 38: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 39: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 40: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 41: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 42: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 43: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 44: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 45: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 46: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅲ
- 47: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 48: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 Ⅲ=Ⅳ
- 49: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 50: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 51: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 52: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅲ
- 53: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 54: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 55: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 56: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 57: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V V が粒状に混入する
- 58: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 59: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 60: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 61: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 62: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅲ
- 63: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 64: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 65: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 Ⅳ>V

P-64

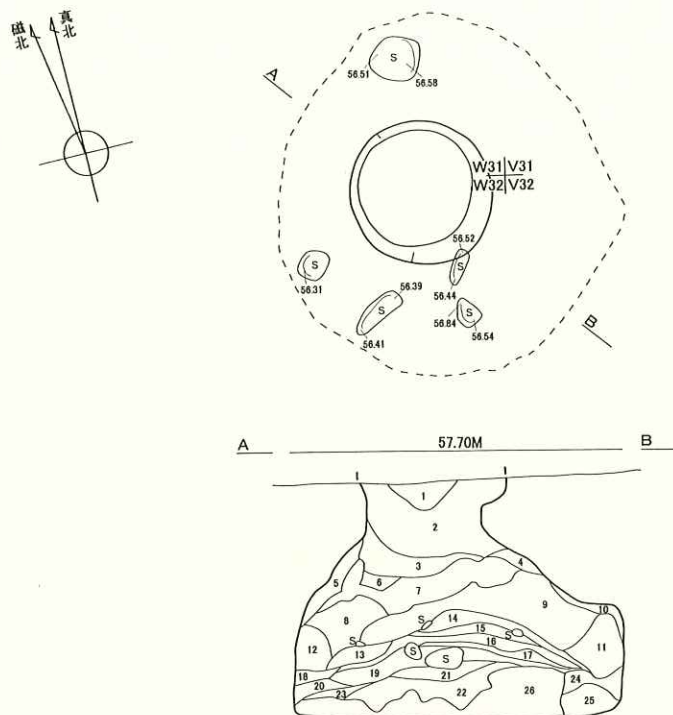


- 1: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 Ⅳ
- 2: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 Ⅳ>V V が粒状に混入する
- 3: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ V が粒状に混入する
- 4: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 Ⅳ>V
- 5: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ V が粒状に混入する
- 6: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 Ⅳ
- 7: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅲ
- 8: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V 炭化材を含む
- 9: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 Ⅳ>V
- 10: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 11: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 12: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅲ
- 13: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 14: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ 炭化材を含む
- 15: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 Ⅳ 炭化材を含む
- 16: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅲ
- 17: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V V が粒状に混入する
- 18: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 19: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 20: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 21: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 22: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 23: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 24: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅲ
- 25: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 26: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅲ
- 27: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 Ⅳ>V V が粒状に混入する
- 28: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 Ⅳ>V
- 29: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 30: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 31: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 32: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 33: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 34: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅳ
- 35: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 36: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>Ⅳ
- 37: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>Ⅲ
- 38: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 39: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 Ⅳ>V
- 40: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V
- 41: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 Ⅳ=V

0 1m

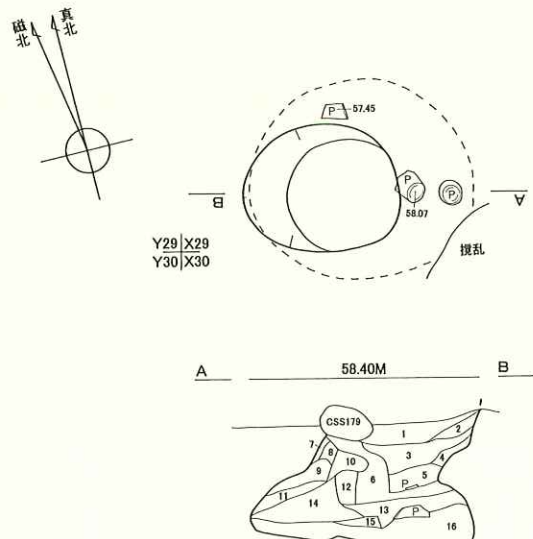
図Ⅶ-20 P-63・64

P-65



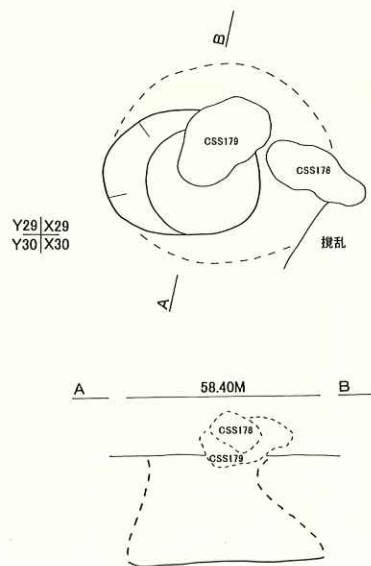
- 1: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 2: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
焼土粒を含む 炭化材を含む
- 3: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 4: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 5: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 6: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>IV
- 7: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
炭化材を含む
- 8: 10YR4/3 にふい黄褐 L 中 堅 V>IV
- 9: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 10: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 11: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 IV=V
- 12: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 13: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 14: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 15: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 16: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
炭化材を含む
- 17: 10YR5/4 にふい黄褐 L 中 軟 IV=V
- 18: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 19: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 20: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
炭化材を含む
- 21: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 22: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
炭化材を含む
- 23: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 24: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 25: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 26: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V

P-66



- 1: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 2: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
Vがブロック状に混入する
- 3: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 4: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
Vがブロック状に混入する
- 5: 7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V
- 6: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
Vがブロック状に混入する
- 7: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 8: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 9: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 10: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 11: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
Vが粒状に混入する
- 12: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 13: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vが粒状に混入する 炭化材を含む
- 14: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
炭化材を含む
- 15: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 16: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
炭化材を含む

P-66とCSS位置関係図

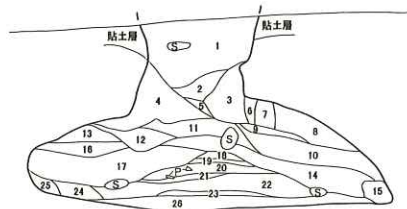
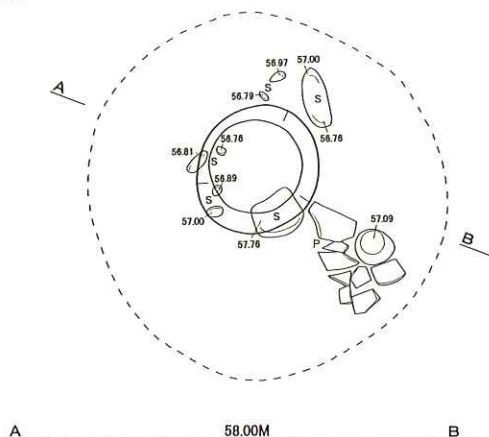
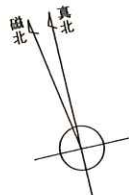


* CSS は見通して位置を示しています。

0 1m

P-67

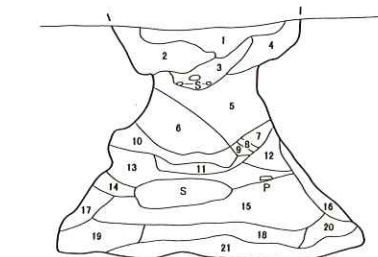
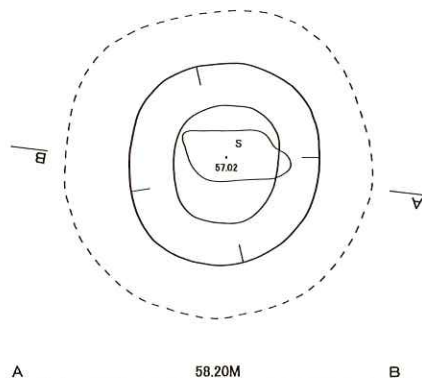
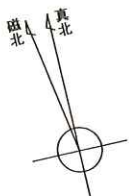
Y30|X30
Y31|X31



- 1: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
炭化材を含む
- 2: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 3: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 4: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
炭化材を含む
- 5: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 6: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 7: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 8: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 9: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 10: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 11: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
炭化材を含む
- 12: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 13: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 14: 10YR5/2 灰黄褐 L 中 軟 V>III
- 15: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 16: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
炭化材を含む
- 17: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
炭化材を含む
- 18: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 19: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 20: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
炭化材を含む
- 21: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 22: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
Vがブロック状に混入する
- 23: 10YR6/6 明黄褐 L 中 軟 V
- 24: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 25: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 26: 10YR6/8 明黄褐 L 中 堅 V

P-68

X29|W29
X30|W30

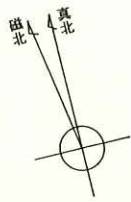


- 1: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 2: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 3: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 4: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
Vがブロック状に混入する
- 5: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 6: 7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V
Vがブロック状に混入する
- 7: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 8: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 9: 7.5YR5/2 灰褐 軟 V
- 10: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 11: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
Vがブロック状に混入する
- 12: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 13: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 14: 7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 15: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
Vがブロック状に混入する
- 16: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 17: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 18: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
炭化材を含む
- 19: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 20: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 21: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III

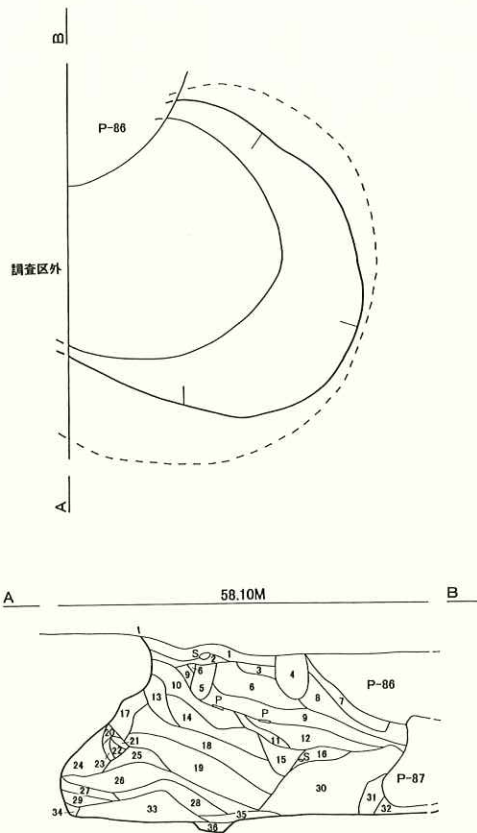
0 1m

図Ⅶ-22 P-67・68

P-69



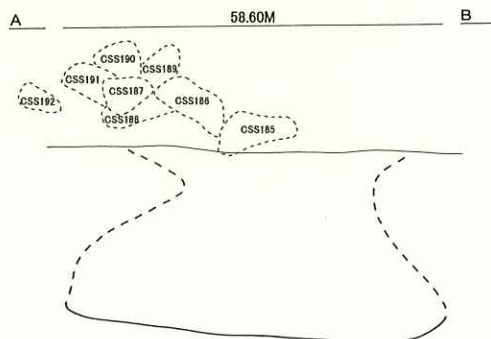
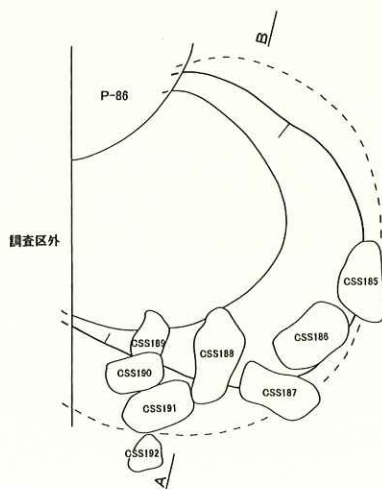
Y30/X30
Y31/X31



- 1:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 2:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 3:10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
Vがブロック状に混入する
- 4:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 5:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vが粒状に混入する
- 6:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
Vが粒状に混入する
- 7:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III 炭化材を含む
- 8:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
Vが粒状に混入する
- 9:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV 焼土粒を含む
- 10:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 11:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 12:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV 炭化材を含む
Vが粒状に混入する
- 13:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV Vが粒状に混入する
- 14:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 15:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 16:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV 焼土粒を含む
Vが粒状に混入する
- 17:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 18:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 19:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 20:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 21:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 22:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III 炭化材を含む
- 23:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 24:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV Vが粒状に混入する
- 25:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV Vが粒状に混入する
- 26:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 27:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV 炭化材を含む
Vが粒状に混入する
- 28:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 29:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV Vが粒状に混入する
- 30:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV Vが粒状に混入する
- 31:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV Vが粒状に混入する
- 32:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV Vが粒状に混入する
- 33:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 34:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 35:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 36:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V 炭化材を含む

P-69とCSS位置関係図

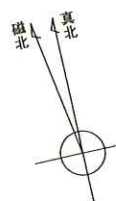
Y30/X30
Y31/X31



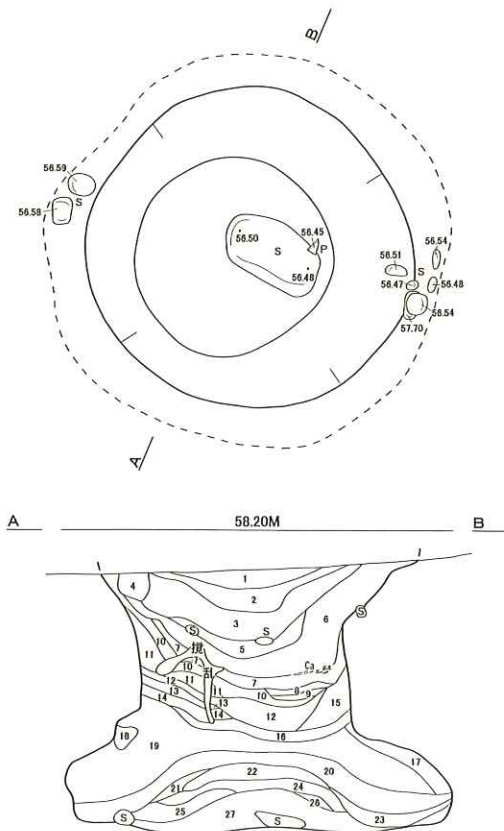
* CSS は見通しで位置を示しています。

0 1m

P-70



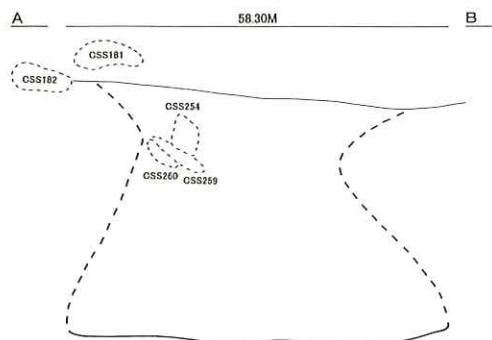
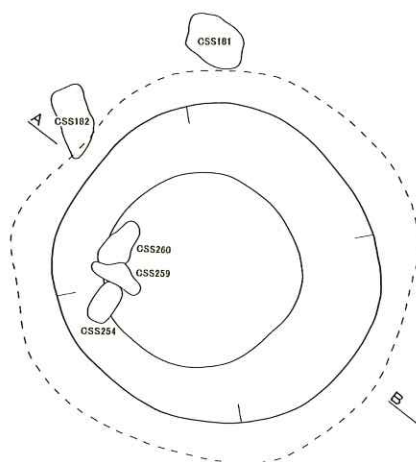
Y29/X29
Y30/X30



- 1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 2:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vが粒状に混入する
- 3:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vが粒状に混入する 炭化材を含む
- 4:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 5:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
炭化材を含む
- 6:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
炭化材を含む
- 7:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 8:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vが粒状に混入する
- 9:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
Vが粒状に混入する
- 10:10YR6/6 明黄褐 L 中 軟 V
- 11:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 12:10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
- 13:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 14:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 15:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 16:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 17:10YR6/4 にぶい黄褐 L 中 軟 V
- 18:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 19:10YR6/4 にぶい黄褐 L 中 軟 V
- 20:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 21:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 22:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
炭化材を含む
- 23:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 24:10YR5/6 褐 L 中 軟 V 炭化材を含む
- 25:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 26:10YR5/6 褐 L 中 軟 V 炭化材を含む
- 27:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III

P-70とCSS位置関係図

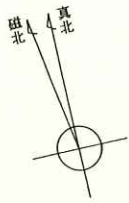
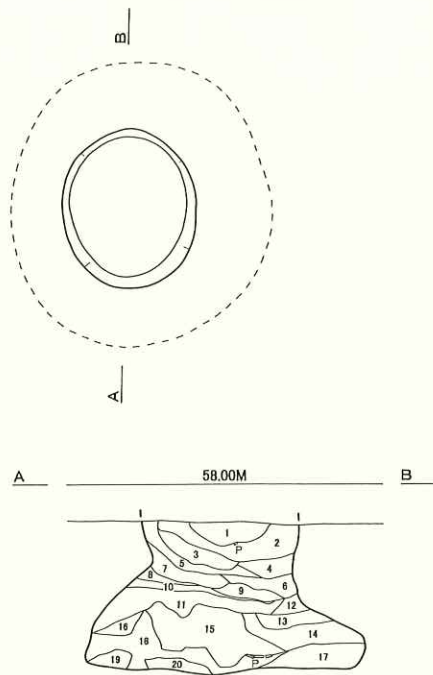
Y29/X29
Y30/X30



* CSS は見通しで位置を示しています。

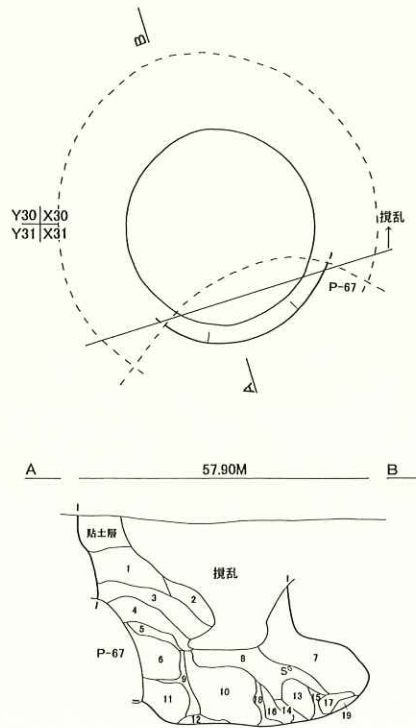
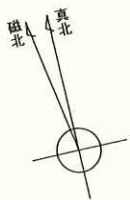
0 1m

P-71

W29|V29
W30|V30

- 1: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 2: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 3: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 4: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 5: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 6: 5YR3/6 明赤褐 軟 IV 焼土
- 7: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 8: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 9: 7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V
Vがブロック状に混入する
- 10: 7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
炭化材を含む
- 11: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
焼土粒を含む 炭化材を含む
- 12: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 13: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 14: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 15: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 16: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 17: 7.5YR5/6 明褐 軟 V>IV 焼土
- 18: 7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 19: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 20: 7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土

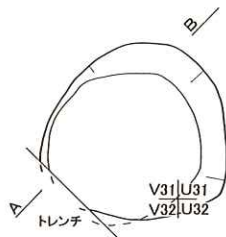
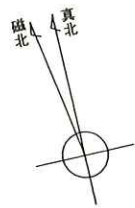
P-72



- 1: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
炭化材を含む
- 2: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
Vが粒状に混入する
- 3: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
炭化材を含む
- 4: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 5: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 6: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 7: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 8: 10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
Vが粒状に混入する
- 9: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 10: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 11: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 12: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 13: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 14: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
Vが粒状に混入する
- 15: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vが粒状に混入する
- 16: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 17: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 18: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
Vが粒状に混入する
- 19: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
Vが粒状に混入する

0 1m

P-73

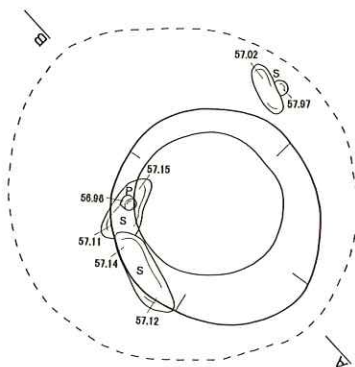
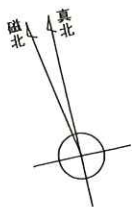


A 57.60M B



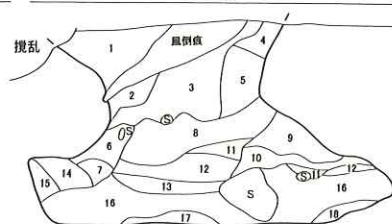
- 1:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 2:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV
- 3:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 4:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 5:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 6:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 7:7.5YR5/6 明褐 軟 V>IV 焼土
- 8:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- Vがブロック状に混入する

P-74



Y33|X33
Y34|X34

A 58.00M B

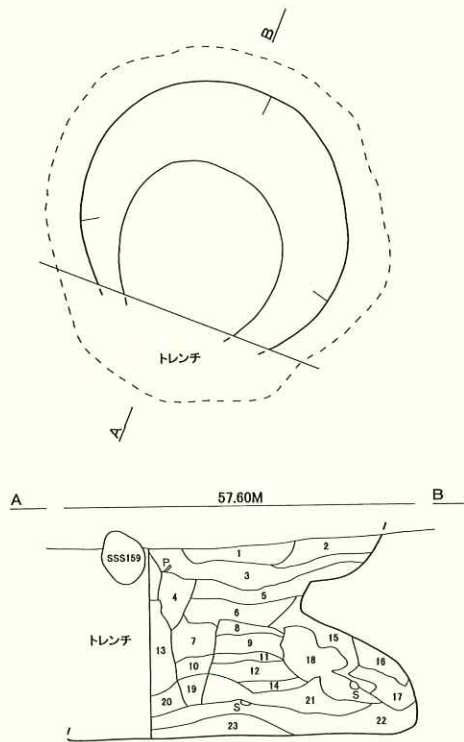
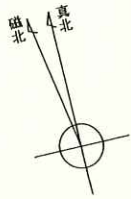


- 1:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 2:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 3:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 炭化材を含む Vがブロック状に混入する
- 4:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 5:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 焼土粒を含む 炭化材を含む
- 6:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 7:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 8:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 炭化材を含む Vがブロック状に混入する
- 9:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 10:5YR4/8 赤褐 軟 IV 焼土
- 焼土粒を含む 炭化材を含む
- 11:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 12:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 焼土粒を含む 炭化材を含む
- 13:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 14:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 15:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 16:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- Vがブロック状に混入する
- 17:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 18:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土

0 1m

P-75

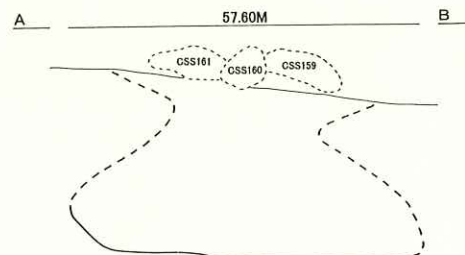
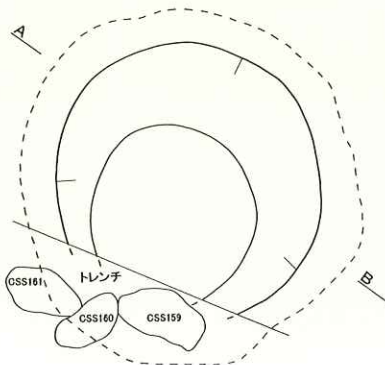
T30|S30
T31|S31



- 1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 Ⅲ
- 2:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 Ⅳ
焼土粒を含む Vが粒状に混入する
- 3:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 Ⅳ>V
Vがブロック状に混入する
- 4:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
- 5:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 Ⅳ>Ⅲ
- 6:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 Ⅳ>Ⅲ
- 7:7.5YR3/1 黒褐 L 中 軟 Ⅲ>Ⅳ
- 8:10YR2/1 黒 L 中 軟 Ⅲ>Ⅳ
- 9:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 Ⅲ
- 10:7.5YR5/2 灰褐 軟 V
- 11:5YR3/6 明赤褐 軟 Ⅳ 焼土
- 12:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>Ⅲ
焼土粒を含む Vがブロック状に混入する
- 13:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 14:7.5YR5/6 明褐 軟 V>Ⅳ 焼土
- 15:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 Ⅳ
- 16:7.5YR3/1 黒褐 L 中 軟 Ⅲ>Ⅳ
- 17:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
- 18:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
- 19:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 Ⅲ
- 20:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 Ⅲ
- 21:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 Ⅲ
Vが粒状に混入する
- 22:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>Ⅳ
- 23:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 Ⅲ>Ⅳ

P-75とCSS位置関係図

T30|S30
T31|S31

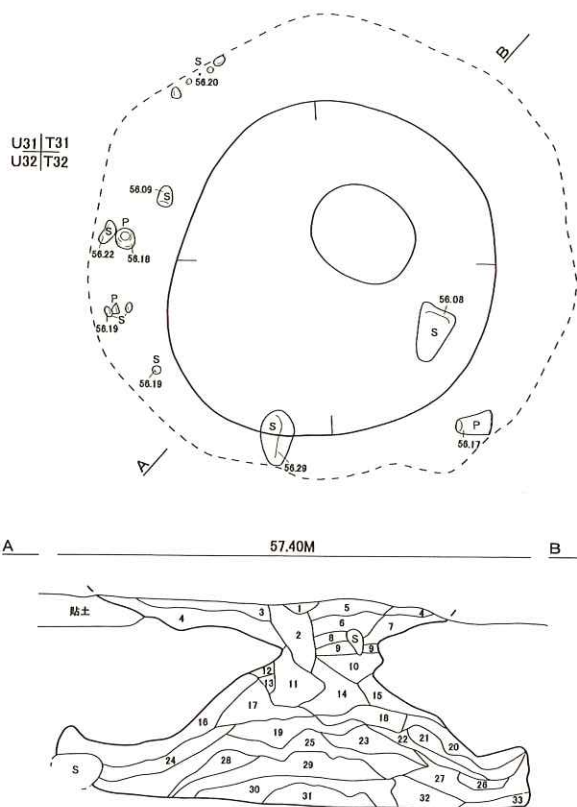
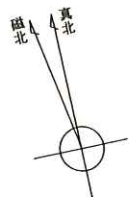


* CSS は見通しで位置を示しています。

0 1m

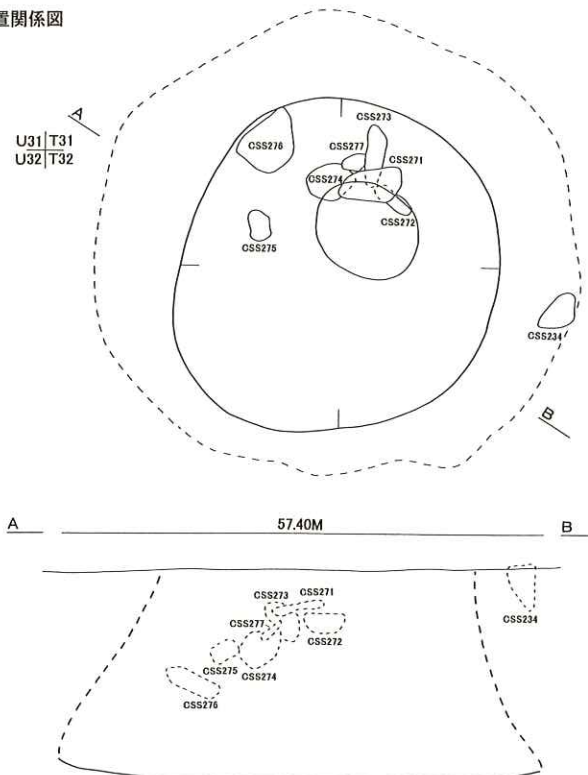
図Ⅶ-27 P-75

P-76



- 1: 7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V
- 2: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
焼土粒を含む
- 3: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 4: 10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
Vが粒状に混入する
- 5: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 6: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 7: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 8: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 9: 10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
- 10: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 11: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 12: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 13: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 14: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
Vが粒状に混入する
- 15: 砂利層
- 16: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 17: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 18: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vがブロック状に混入する
- 19: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 20: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 21: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
焼土粒を含む
- 22: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 23: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vがブロック状に混入する
- 24: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 25: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
焼土粒を含む
- 26: 7.5YR5/6 明褐 軟 V>IV 焼土
- 27: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 28: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
焼土粒を含む
- 29: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 30: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
焼土粒を含む
- 31: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 32: 7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 33: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
焼土粒を含む

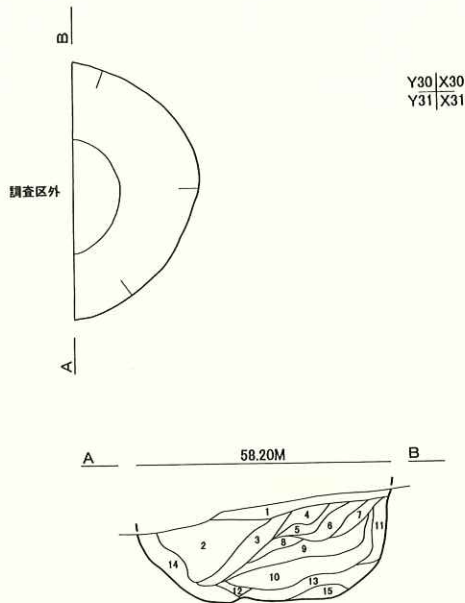
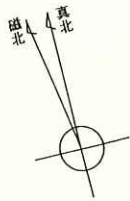
P-76とCSS位置関係図



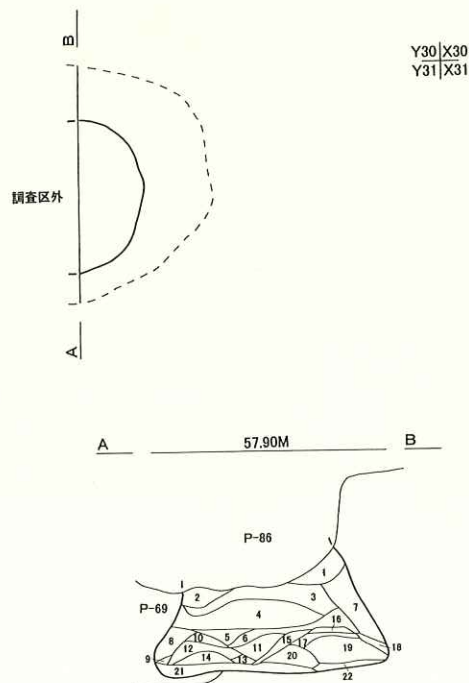
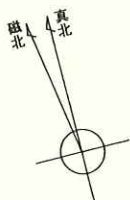
* CSS は見通しで位置を示しています。

0 1m

P-86



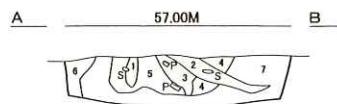
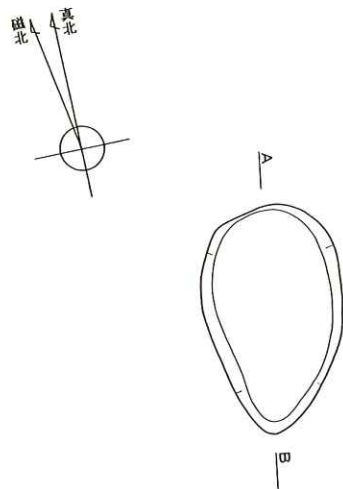
P-87



0 1m

P-88

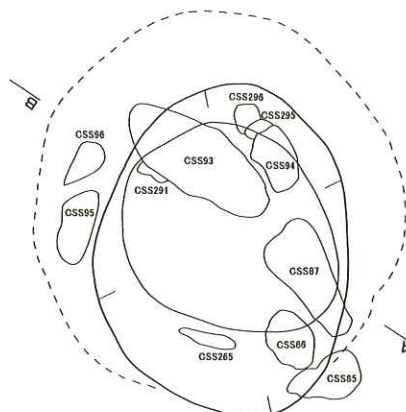
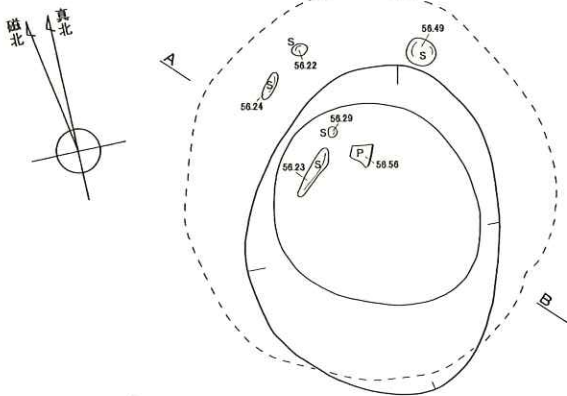
R37|Q37
R38|Q38



- 1:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 2:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 3:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 4:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
- 5:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 6:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 7:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV

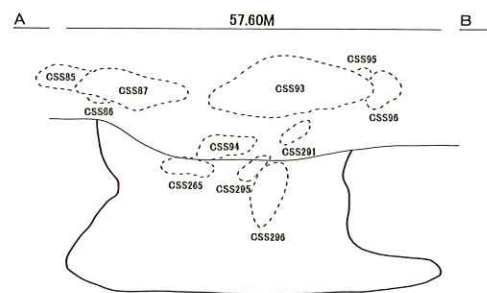
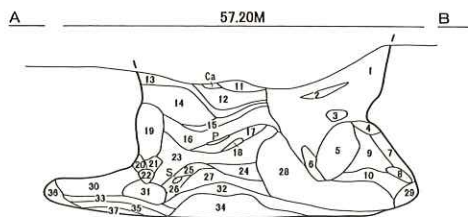
P-89

P-89 と CSS 位置関係図



V35|U35
V36|U36

V35|U35
V36|U36



- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV | 21:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V |
| 炭化材を含む | 22:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V<IV |
| 2:10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV | 23:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V<IV |
| (整地層) | 24:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V |
| 3:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV | 25:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V |
| 炭化材を含む | 26:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V |
| 4:10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV | Vをブロック状に含む |
| 5:7.5YR5/2 灰褐 軟 V | 27:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V<IV |
| 6:10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV | 炭化材を含む |
| 7:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV | 28:7.5YR5/2 灰褐 軟 V |
| 8:10YR5/6 褐 L 中 軟 V | 29:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV |
| 9:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V | 30:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V |
| 10:10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V | 炭化材を含む |
| 11:5YR3/2 暗赤褐 軟 III 焼土 | 31:7.5YR5/2 灰褐 軟 V |
| 12:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V<IV | 32:5YR4/3 にぶい赤褐 堅 V>IV 焼土 |
| 13:10YR5/3 にぶい黄褐 L 中 軟 V>IV | 炭化材を含む |
| (整地層) | 33:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V |
| 14:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V<IV | 34:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V<IV |
| Vをブロック状に含む | 35:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV |
| 15:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV | 炭化材を含む |
| 16:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V | Vが粒状に混入する |
| 炭化材を含む | 36:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV |
| 17:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV | Vが粒状に混入する |
| 18:7.5YR5/2 灰褐 軟 V | 37:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V<IV |
| 19:7.5YR5/2 灰褐 軟 V | |
| 20:7.5YR5/2 灰褐 軟 V | |

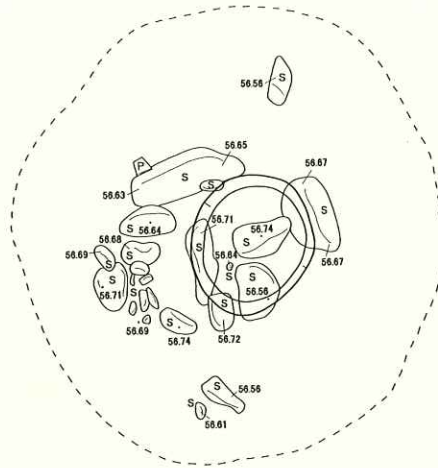
* CSS は見通しで位置を示しています。

0 1m

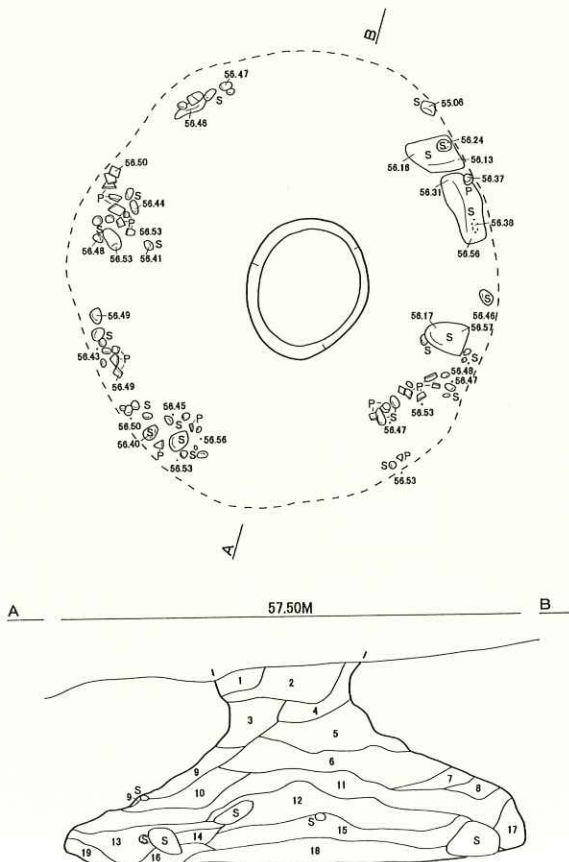
P-90



覆土の遺物

W30/V30
W31/V31


床面の遺物

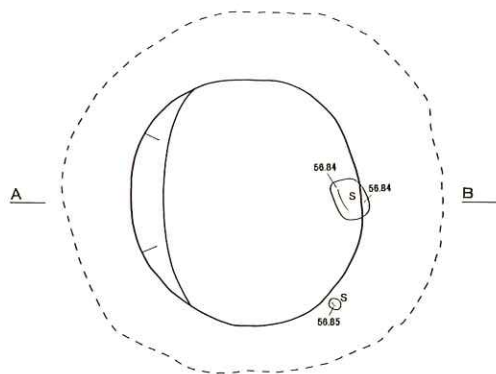
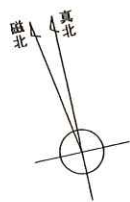
W30/V30
W31/V31


- 1: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
Vが粒状に混入する
- 2: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 3: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vがブロック状に混入する
- 4: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vがブロック状に混入する
- 5: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
Vがブロック状に混入する
- 6: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 7: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
Vがブロック状に混入する
- 8: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 9: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vがブロック状に混入する
- 10: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 11: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
焼土粒を含む 炭化材を含む
Vがブロック状に混入する
- 12: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 13: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vがブロック状に混入する
- 14: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 15: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 16: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
Vがブロック状に混入する
- 17: 7.5YR3/1 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 18: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 19: 7.5YR3/1 黒褐 L 中 軟 III>IV

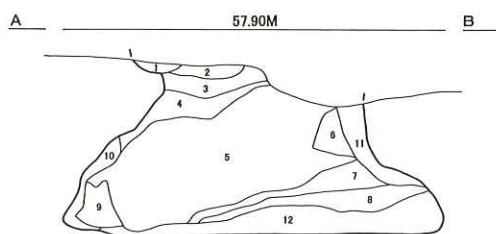
0 1m

図VII-31 P-90

P-91

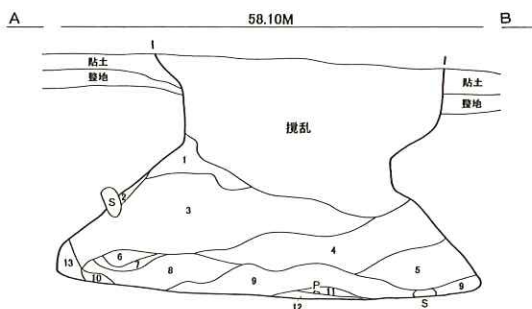
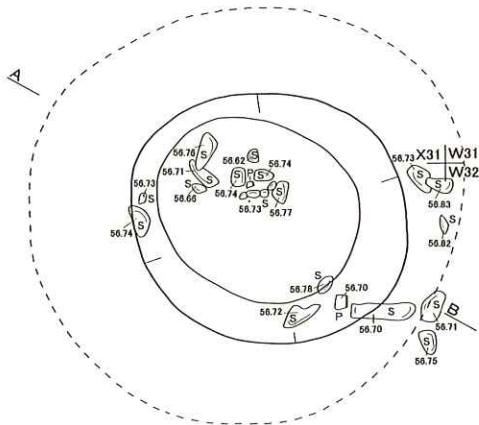
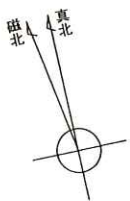


X33	W33
X34	W34



- 1: 7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
2: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
3: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
4: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
炭化材を含む
5: 7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
6: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
7: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV
炭化材を含む
8: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
9: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
Vがブロック中に混入する
10: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
11: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
12: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
炭化材を含む

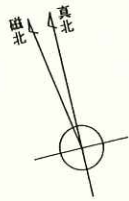
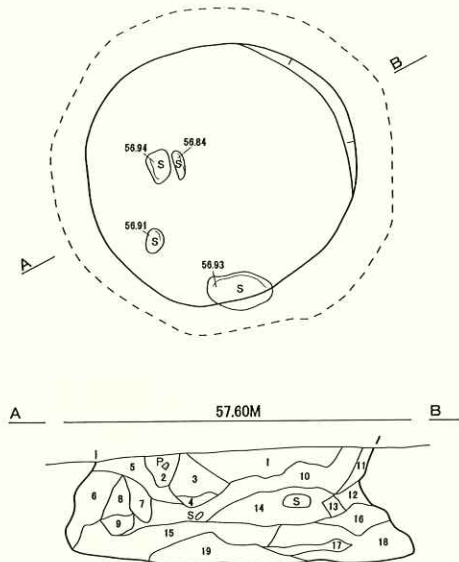
P-92



- 1: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
V がブロック状に混入する
- 2: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 3: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
炭化材を含む V がブロック状に混入する
- 4: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
V が粒状に混入する
- 5: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 6: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 7: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 8: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
V がブロック状に混入する
- 9: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
炭化材を含む V がブロック状に混入する
- 10: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 11: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 12: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV

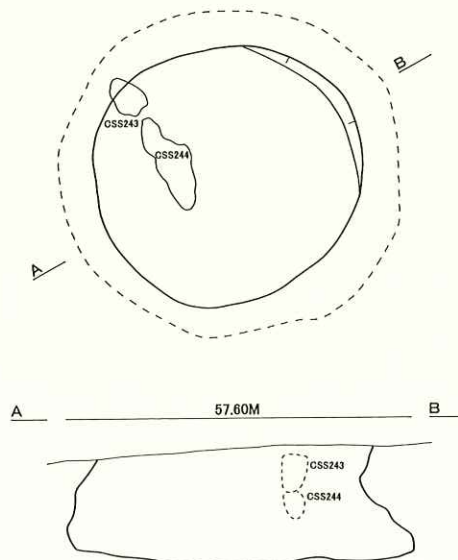
图 VII-32 P-91·92

P-95


W33|V33
W34|V34


- 1: 7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 2: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 3: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 4: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 5: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V (貼り土)
- 6: 7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
- 7: 10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV
- 8: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 9: 7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 10: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
炭化材を含む Vがブロック状に混入する
- 11: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 12: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 13: 7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 14: 7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
炭化材を含む Vが粒状に混入する
- 15: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 16: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 17: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 18: 7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vがブロック状に混入する
- 19: 7.5YR5/6 明褐 軟 V>IV 焼土

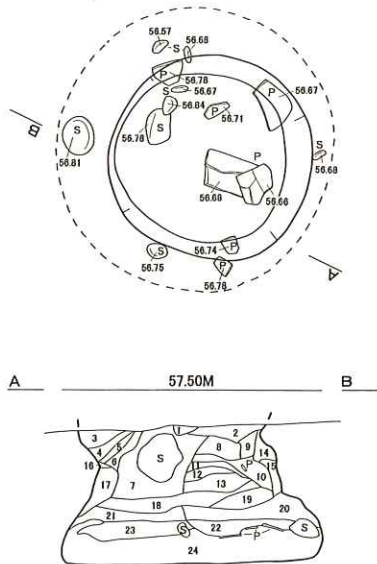
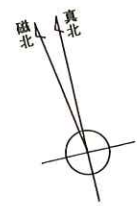
P-95 と CSS 位置関係図

W33|V33
W34|V34


* CSS は見通して位置を示しています。

0 1m

P-96

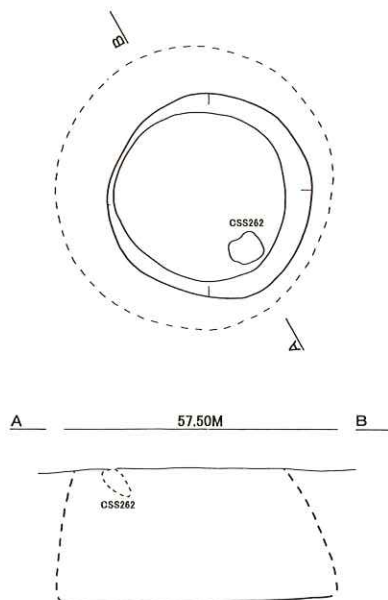


V33|U33
V34|U34

- 1:10YR2/1 黒 L 中 軟 Ⅲ
- 2:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 3:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 4:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vが粒状に混入する
- 5:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>Ⅲ 焼土
- 6:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 7:7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V
- 8:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 9:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 10:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 11:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>Ⅲ 焼土
- 12:7.5YR5/6 明褐 軟 V>IV 焼土
Vがブロック状に混入する
- 13:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 14:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
- 15:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>Ⅲ 焼土
- 16:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 17:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
- 18:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 19:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 20:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
Vが粒状に混入する
- 21:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>Ⅲ 焼土
Vがブロック状に混入する
- 22: Vがブロック状に混入する
- 23:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 24:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土

P-96 と CSS 位置関係図

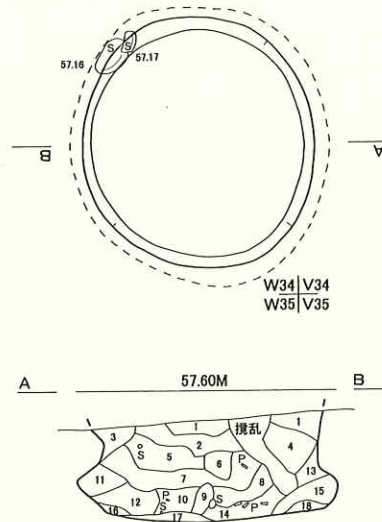
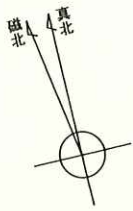
V33|U33
V34|U34



* CSS は見通しで位置を示しています。

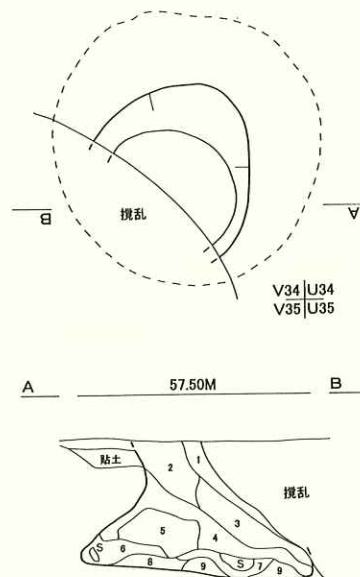
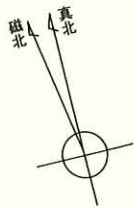
0 1m

P-100



- 1:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
 - 2:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
 - 3:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
 - 4:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 - 5:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 - 6:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
 - 7:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
 - 8:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
 - 9:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
 - 10:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 - 11:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 - 12:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
 - 13:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
 - 14:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 - 15:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V<IV
 - 16:7.5YR6/3 にぶい褐 軟 V 焼土
 - 17:7.5YR5/2 灰褐 軟 V
 - 18:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- Vがブロック状に混入する

P-112

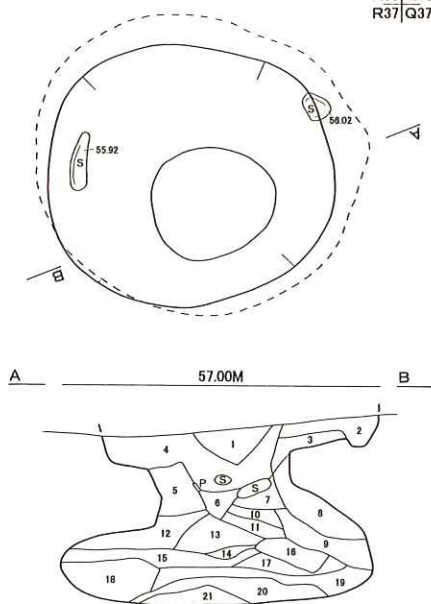
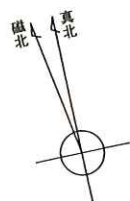


- 1:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 2:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 3:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
- 4:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V 炭化材を含む
- 5:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 6:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V 小礫を含む
- 7:砂利層
- 8:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 9:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV

0 1m

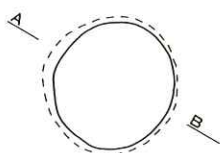
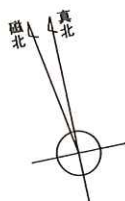
P-113

R36|Q36
R37|Q37

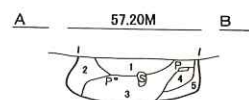


- 1:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
焼土粒を含む
- 2:10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 3:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 4:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 5:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
Vがブロック状に混入する
- 6:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 7:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 8:10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV
Vが粒状に混入する
- 9:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 10:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 11:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 12:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 13:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
Vがブロック状に混入する
- 14:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 15:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vがブロック状に混入する
- 16:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 17:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 18:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
Vがブロック状に混入する
- 19:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 20:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 21:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV

P-114

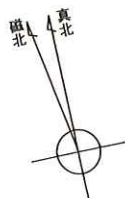


S39|R39
S40|R40

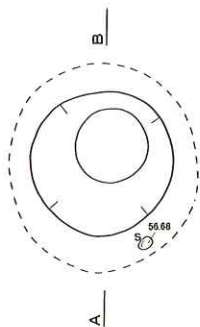


- 1:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 2:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 3:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 4:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 5:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV

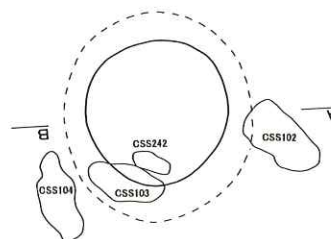
P-115



V34|U34
V35|U35



P-115とCSS位置関係図



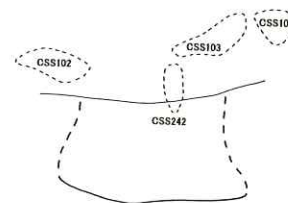
V34|U34
V35|U35

A 57.60M B



- 1:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
焼土粒を含む
- 2:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 3:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 4:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
焼土粒を含む
- 5:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 6:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 7:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
炭化材を含む
- 8:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
炭化材を含む
- 9:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 10:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 11:7.5YR5/6 明褐 軟 V>IV 焼土

A 57.70M B

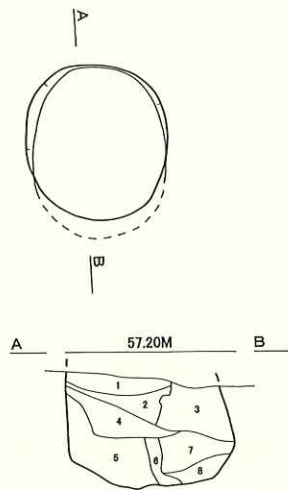
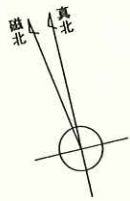


* CSS は見通して位置を示しています。

0 1m

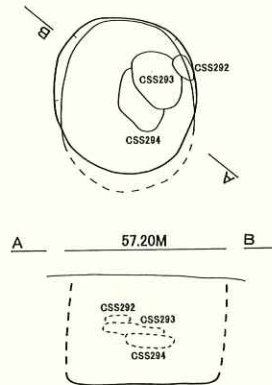
図Ⅶ-36 P-113~115

P-123

U34|T34
U35|T35

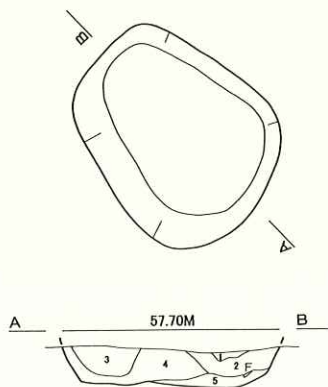
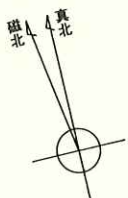
- 1: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
 2: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV
 3: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
 4: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
 5: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
 6: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
 7: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
 8: 7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土

P-123 と CSS 位置関係図

U34|T34
U35|T35

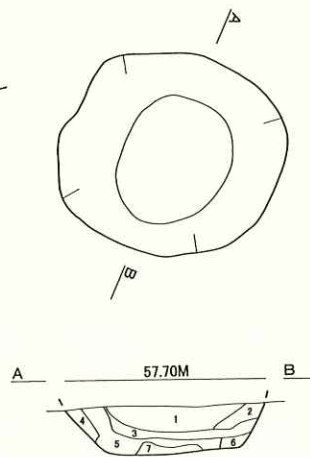
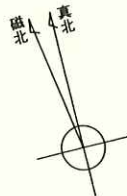
* CSS は見通して位置を示しています。

P-125

S37|R37
S38|R38

- 1: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
 2: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
 3: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 4: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
 5: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV

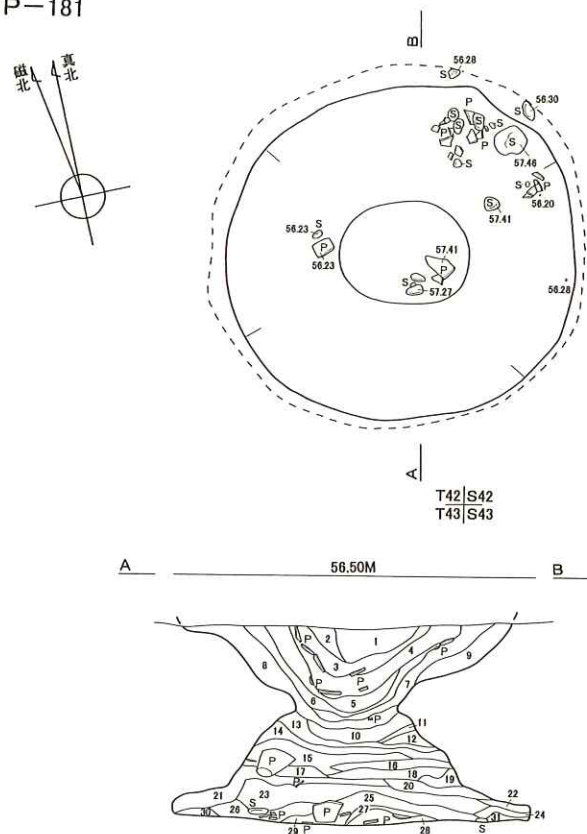
P-162

V42|U42
V43|U43

- 1: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
 2: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
 3: 7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
 4: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
 5: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
 6: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
 7: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV

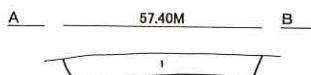
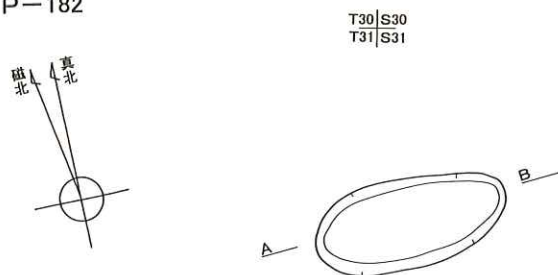
0 1m

P-181



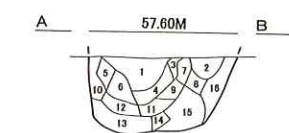
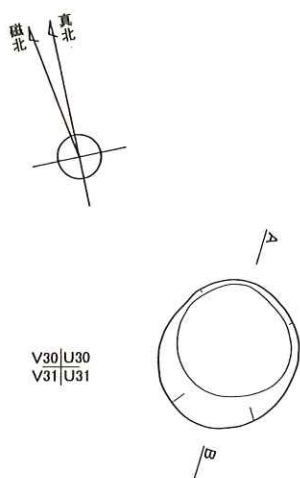
- 1:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 2:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 3:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 4:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 5:10YR2/1 黒 L 中 軟 III Vがブロック状に混入する
- 6:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 7:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 8:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III Vが粒状に混入する
- 9:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 10:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 11:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 12:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 13:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III 炭化材を含む
- 14:10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV Vが粒状に混入する
- 15:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 16:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 17:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 18:7.5YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV>V 炭化材を含む
Vが粒状に混入する
- 19:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
Vがブロック状に混入する
- 20:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV 炭化材を含む
- 21:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III 炭化材を含む
- 22:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV Vが粒状に混入する
- 23:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 24:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 25:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 26:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 27:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 28:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III 炭化材を含む
Vがブロック状に混入する
- 29:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 30:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 31:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV

P-182



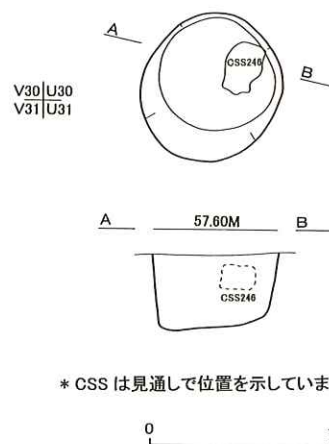
- 1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III 炭化材を含む

P-183



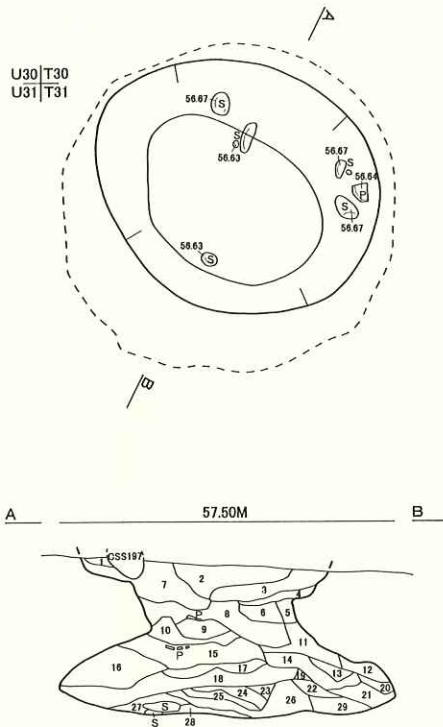
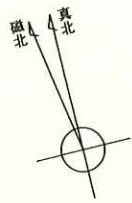
- 1:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 2:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 3:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 4:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 5:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 6:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 7:10YR7/4 にぶい黄褐 L 中 軟 V
- 8:10YR6/6 明黄褐 L 中 軟 V
- 9:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV 炭化材を含む
- 10:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 11:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 12:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 13:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 14:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 15:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 16:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV

P-183とCSS位置関係図



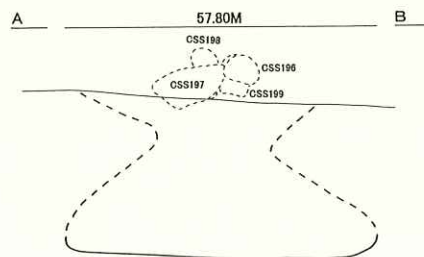
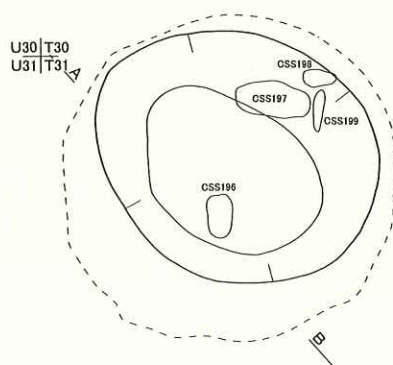
図VII-38 P-181~183

P-184



- 1: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vがブロック状に混入する
- 2: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 3: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vがブロック状に混入する
- 4: 10YR5/3 にぶい黄褐 L 中 軟 V>IV
- 5: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 6: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 7: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 8: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vがブロック状に混入する
- 9: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
Vが粒状に混入する
- 10: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 11: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 12: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vが粒状に混入する
- 13: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 14: 5YR3/4 暗赤褐 軟 III>IV 焼土
- 15: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
Vが粒状に混入する
- 16: 10YR4/1 褐灰 L 中 堅 III=V
- 17: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vがブロック状に混入する
- 18: 10YR5/3 にぶい黄褐 L 中 軟 V>IV
- 19: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 20: 10YR4/1 褐灰 L 中 堅 III=V
- 21: 10YR5/2 灰黄褐 L 中 軟 V>III
Vが粒状に混入する
- 22: 7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
Vがブロック状に混入する
- 23: 10YR4/1 褐灰 L 中 堅 III=V
- 24: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
Vがブロック状に混入する
- 25: 7.5YR4/3 褐 L 中 軟 V>IV
- 26: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 27: 10YR4/1 褐灰 L 中 堅 III=V
Vがブロック状に混入する
- 28: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vがブロック状に混入する
- 29: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
Vがブロック状に混入する

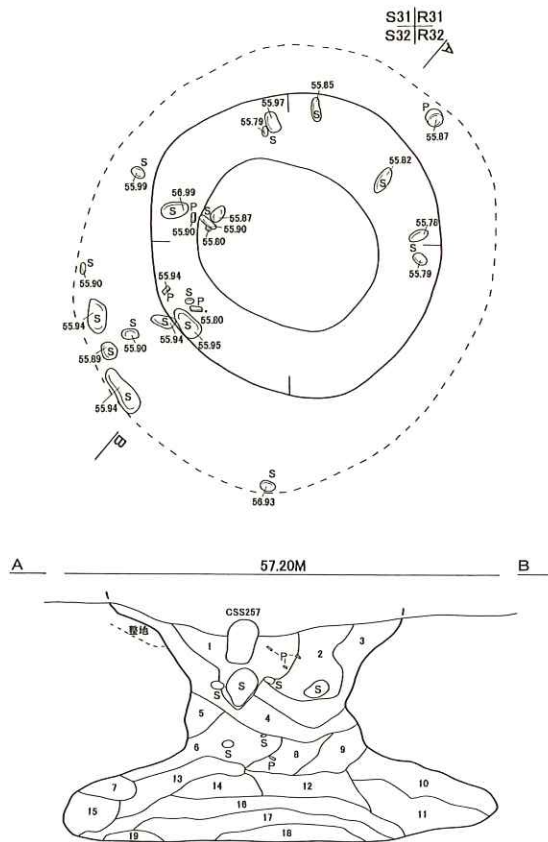
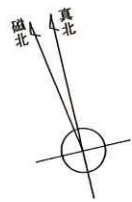
P-184とCSS位置関係図



* CSS は見通しで位置を示しています。

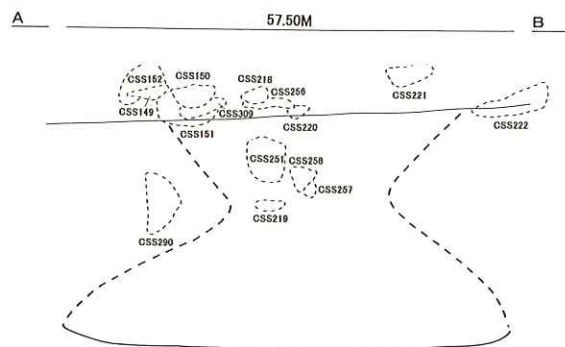
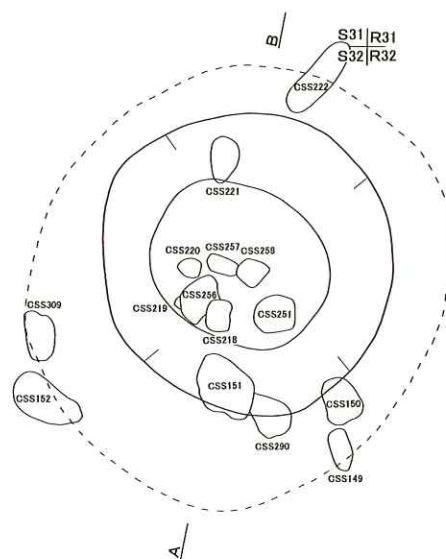
0 1m

P-186



- 1:10YR5/2 灰黄褐 L 中 軟 V>Ⅲ
- 2:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>Ⅲ
Vが粒状に混入する
- 3:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 4:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vがブロック状に混入する
- 5:10YR5/3 にぶい黄褐 L 中 軟 V>IV
- 6:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 7:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 8:7.5YR5/6 明褐 軟 V>IV 焼土
- 9:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
- 10:7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vが粒状に混入する
- 11:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
Vが粒状に混入する
- 12:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 13:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
Vが粒状に混入する
- 14:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
Vが粒状に混入する
- 15:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
Vがブロック状に混入する
- 16:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 Ⅲ=IV
Vが粒状に混入する
- 17:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 18:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>Ⅲ
Vがブロック状に混入する
- 19:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 Ⅲ>IV
Vが粒状に混入する

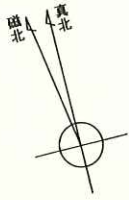
P-186とCSS位置関係図



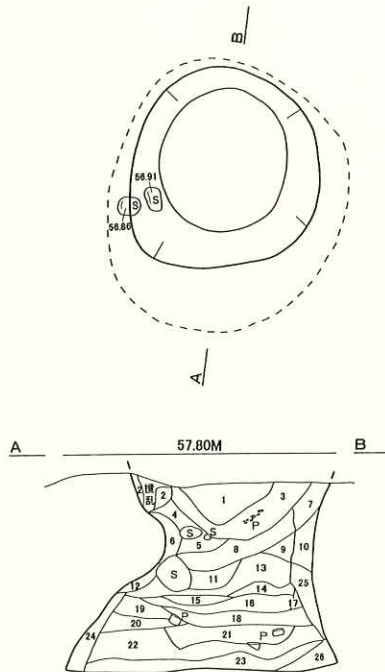
* CSS は見通しで位置を示しています。

0 1m

P-187



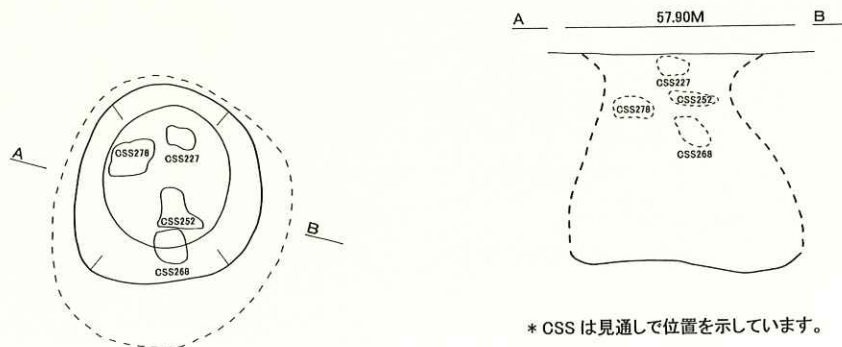
W29|V29
W30|V30



- 1:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
Vが粒状に混入する
- 2:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 3:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 4:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 5:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 6:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>>IV
- 7:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 8:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
炭化材を含む
- 9:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>>IV
- 10:10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV
Vがブロック状に混入する
- 11:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 12:7.5YR5/2 灰褐 L 軟 V
- 13:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
Vが粒状に混入する
- 14:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 15:10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV
- 16:7.5YR5/6 明褐 軟 V>>IV 焼土
- 17:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
Vが粒状に混入する
- 18:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 19:5YR3/6 暗赤褐 軟 IV 焼土
- 20:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
Vが粒状に混入する
- 21:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 22:10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
炭化材を含む Vがブロック状に混入する
- 23:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
IIIがブロック状に混入する
- 24:10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
Vがブロック状に混入する
- 25:10YR5/3 にぶい黄褐 L 中 軟 V>IV
- 26:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
Vが粒状に混入する

P-187 と CSS 位置関係図

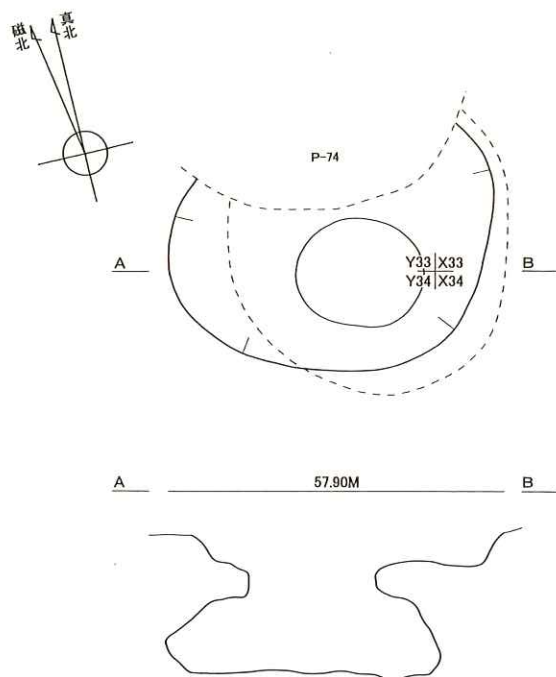
W29|V29
W30|V30



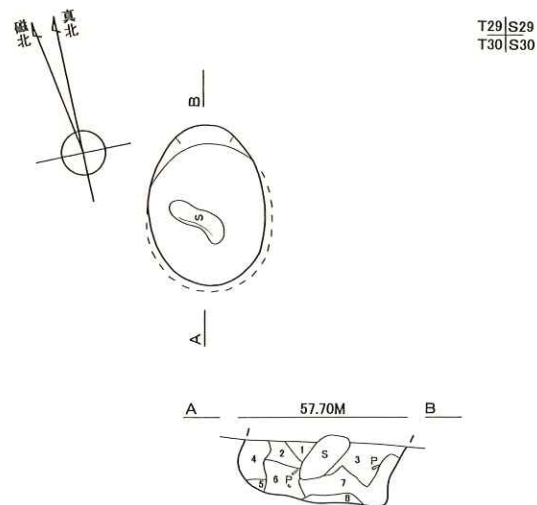
* CSS は見通して位置を示しています。

0 1m

P-195



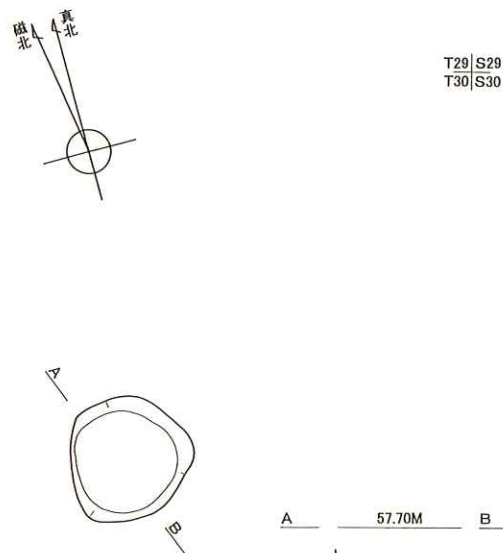
P-200



T29|S29
T30|S30

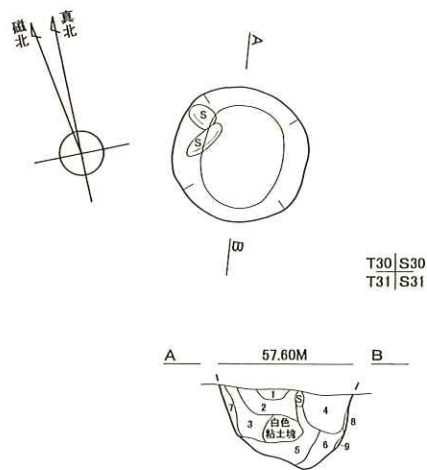
- 1:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 2:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 3:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 4:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 5:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 6:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 7:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 8:10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV

P-201



T29|S29
T30|S30

P-202



T30|S30
T31|S31

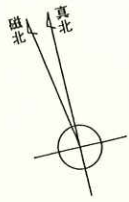
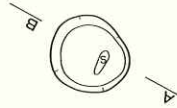
- 1:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 2:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 3:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- Vがブロック状に混入する
- 4:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 5:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- Vがブロック状に混入する
- 6:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- Vが粒状に混入する
- 7:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 8:10YR5/8 黄褐 C 中 軟 V>IV
- 9:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土

0 1m

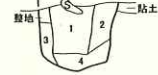
- 1:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- Vがブロック状に混入する
- 2:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 3:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 4:10YR4/1 褐灰 L 中 堅 III=V
- Vが粒状に混入する
- 5:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV

図Ⅶ-44 P-195・200~202

P-203

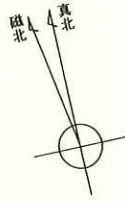
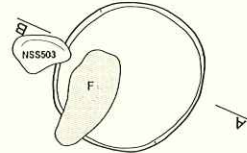
U29/T29
U30/T30

A 57.80M B



- 1: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
 2: 7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
 Vが粒状に混入する
 3: 10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
 4: 7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III

P-204

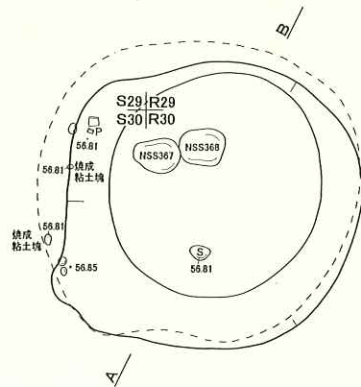
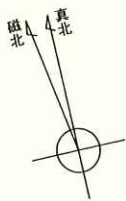
U29/T29
U30/T30

A 57.80M B

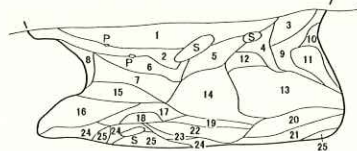


- 1: 7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
 2: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
 3: 7.5YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 4: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
 5: 7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
 6: 7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
 7: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
 8: 7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
 9: 7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV

P-211



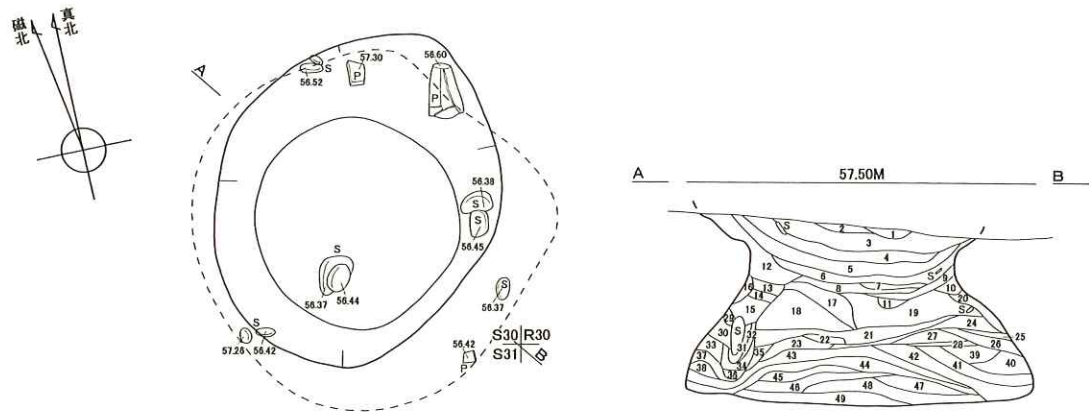
A 57.60M B



- 1: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV 焼土粒を含む
 炭化材を含む Vが粒状に混入する
 2: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV 焼土粒を含む
 炭化材を含む Vが粒状に混入する
 3: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
 4: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV 焼土粒を含む
 炭化材を含む Vが粒状に混入する
 5: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV 焼土粒を含む
 炭化材を含む Vが粒状に混入する
 6: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV 焼土粒を含む
 炭化材を含む Vが粒状に混入する
 7: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV 焼土粒を含む
 炭化材を含む Vが粒状に混入する
 8: 10YR4/1 褐灰 L 中 堅 III=V
 Vが粒状に混入する
 9: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
 10: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
 11: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
 Vが粒状に混入する
 12: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 13: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
 14: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III 焼土粒を含む
 炭化材を含む Vが粒状に混入する
 15: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV 炭化材を含む
 16: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV 焼土粒を含む
 炭化材を含む Vが粒状に混入する
 17: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III 焼土粒を含む
 炭化材を含む
 18: 10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
 19: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V 焼土粒を含む
 20: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV 焼土粒を含む
 炭化材を含む Vが粒状に混入する
 21: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV 焼土粒を含む
 炭化材を含む Vが粒状に混入する
 22: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV 炭化材を含む
 23: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
 24: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
 Vが粒状に混入する
 25: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V

0 1m

P-212

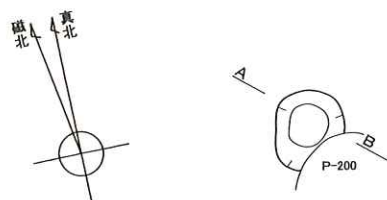


- 1: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV 焼土粒を含む
炭化材を含む V が粒状に混入する
- 2: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV 焼土粒を含む
炭化材を含む
- 3: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V 焼土粒を含む
炭化材を含む
- 4: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 5: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 6: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 7: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 8: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 9: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 10: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV V が粒状に混入する
- 11: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 12: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 13: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 14: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 15: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V

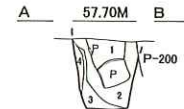
- 16: 10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
炭化材を含む V が粒状に混入する
- 17: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 18: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 19: 10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
- 20: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
- 21: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV 焼土粒を含む
炭化材を含む
- 22: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 23: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 24: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 25: 10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
- 26: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV V が粒状に混入する
- 27: 10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 28: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 29: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 30: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV 炭化材を含む
- 31: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 32: 10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 33: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV

- 34: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 35: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV V が粒状に混入する
- 36: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 37: 10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 38: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV V が粒状に混入する
- 39: 10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V V が粒状に混入する
- 40: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V V が粒状に混入する
- 41: 10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV 炭化材を含む
V が粒状に混入する
- 42: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V V が粒状に混入する
- 43: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
- 44: 10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV 炭化材を含む
焼土粒を含む V がブロック状に混入する
- 45: 10YR5/4 にぶい黄褐 軟 V>IV 焼土
- 46: 10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV 炭化材を含む
焼土粒を含む V が粒状に混入する
- 47: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V 焼土粒を含む
V が粒状に混入する
- 48: 10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
V が粒状に混入する
- 49: 10YR4/4 褐 L 中 焼土 軟 V>III
V が粒状に混入する

P-213

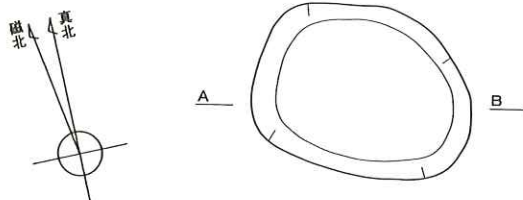


T29/S29
T30/S30

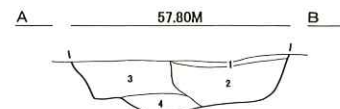


- 1: 10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 2: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 3: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
V がブロック状に混入する
- 4: 10YR5/6 褐 L 中 軟 V

P-214



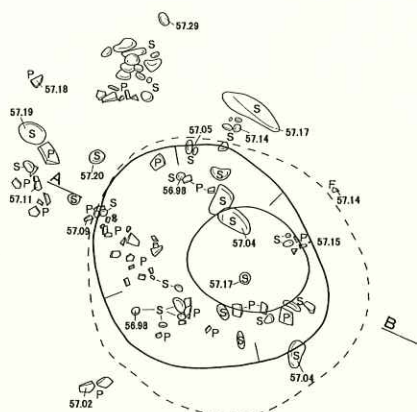
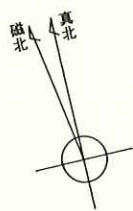
U30/T30
U31/T31



- 1: 10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 2: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 3: 10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 4: 10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V

0 1m

P-216



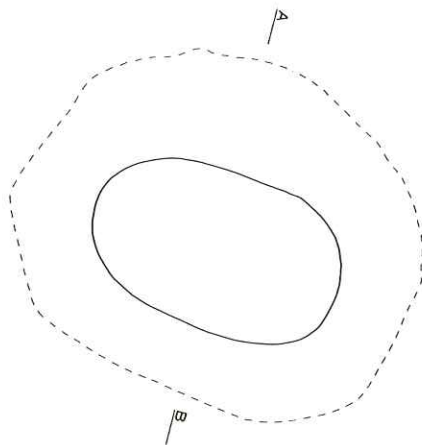
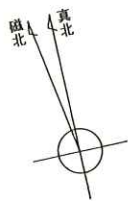
R30	Q30
R31	Q31



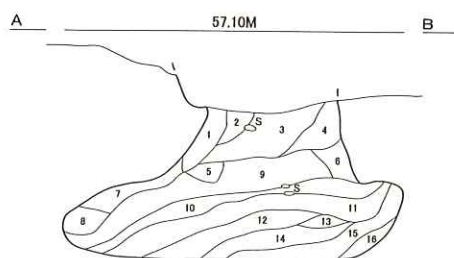
- 1:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
2:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V>IV
3:10YR5/2 灰黄褐 L 中 軟 V>III
4:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
5:10YR5/2 灰黄褐 L 中 軟 V>III
炭化材を含む
6:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
7:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
8:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
9:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
10:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
11:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
12:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
13:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
炭化材を含む
14:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
15:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
16:10YR6/4 にぶい黄褐 L 中 軟 V
17:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
18:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
19:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
20:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
21:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
22:10YR4/2 灰黄褐 L 中 軟 IV=V
23:10YR5/6 褐 L 中 軟 V

图VII-47 P-216

P-217

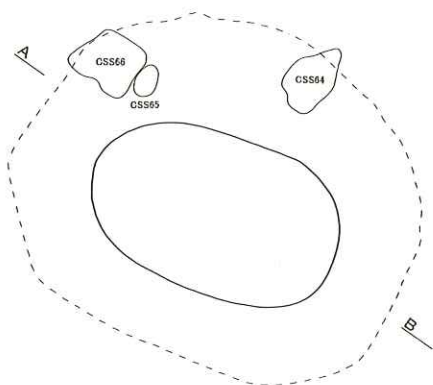


U36/T36
U37/T37

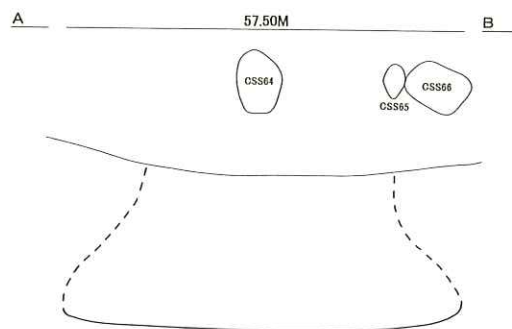


- 1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 2:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 3:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
- 4:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 5:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 6:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 7:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 8:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 9:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 10:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 11:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 12:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 13:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 14:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 15:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 16:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III

P-217 と CSS 位置関係図



U36/T36
U37/T37

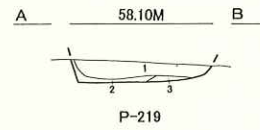
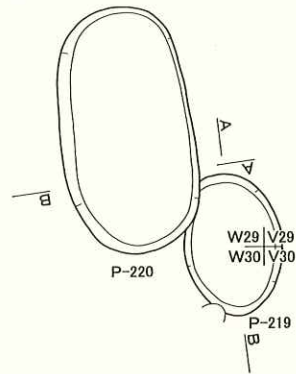
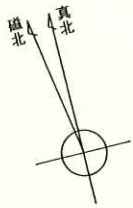


* CSS は見通して位置を示しています。

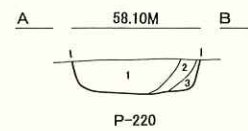
0 1m

図Ⅶ-48 P-217

P-219 220

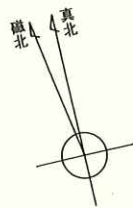


- 1:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 2:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 3:10YR4/3 にぶい黄褐 L 中 堅 V<IV

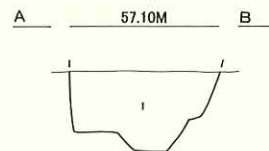
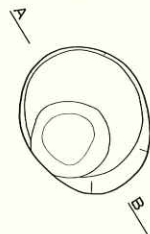


- 1:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 2:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 3:10YR5/3 にぶい黄褐 L 中 軟 V>IV

P-235

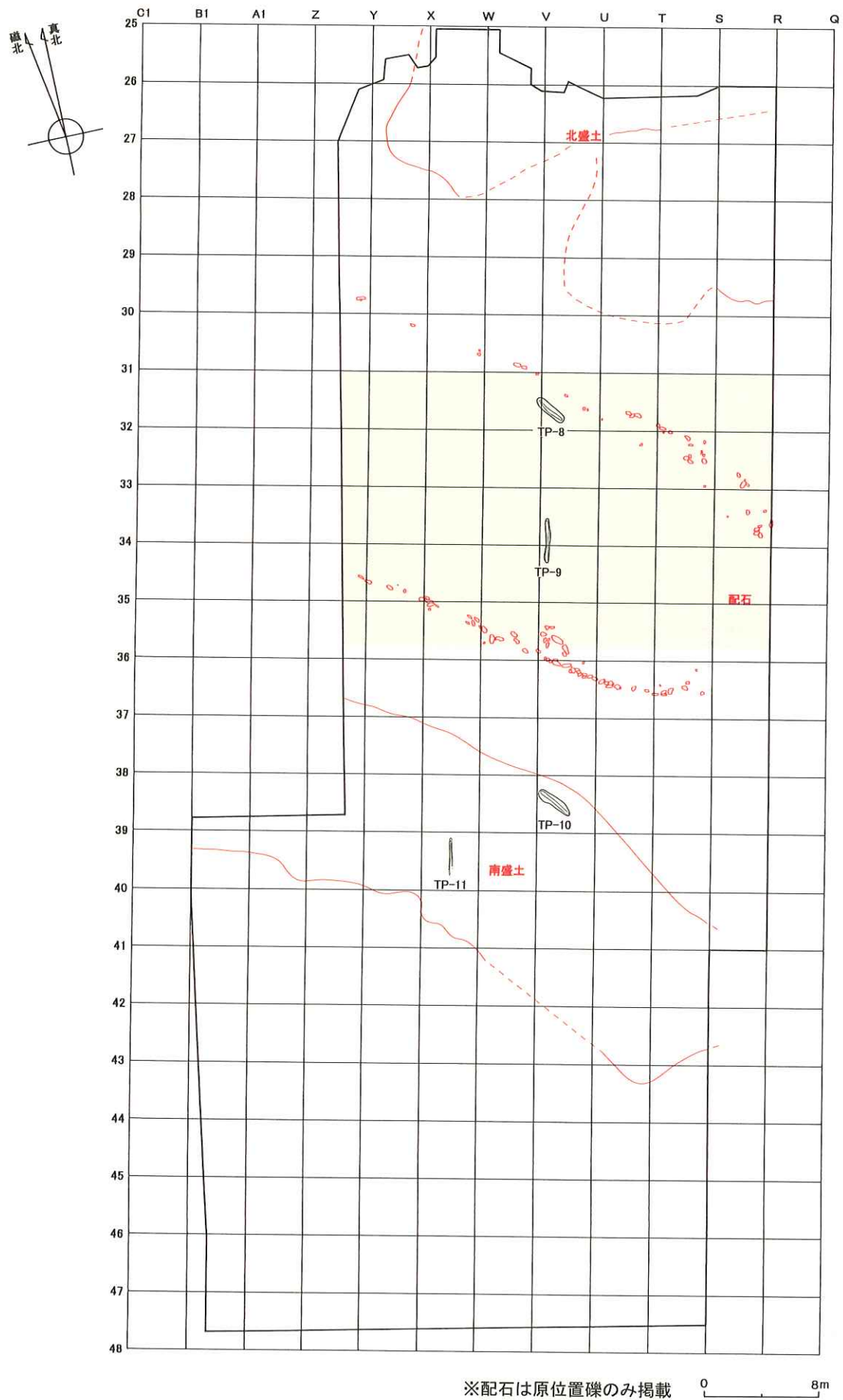


S35/R35
S36/R36



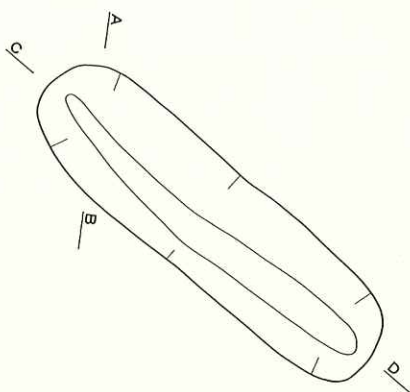
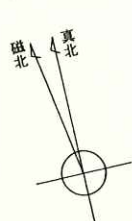
- 1:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III

0 1m

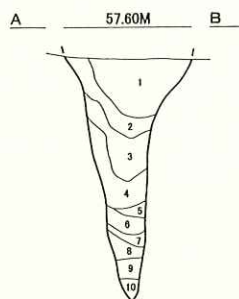
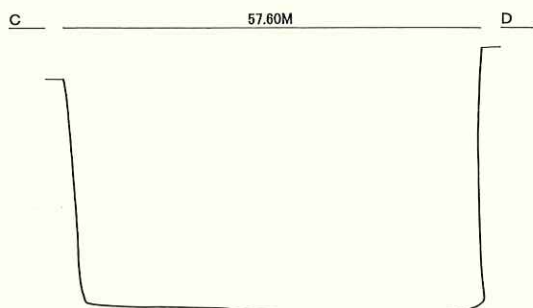


図Ⅶ-50 Tピット(TP)分布図3分冊範囲

TP-8

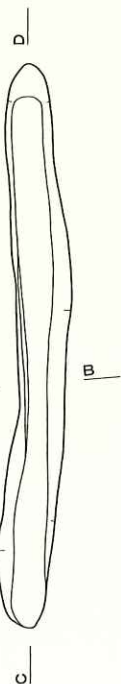
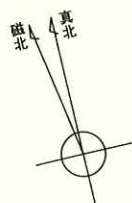


V31|U31
V32|U32

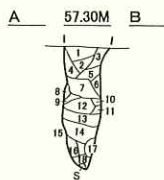


- 1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 2:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 3:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 4:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 5:10YR3/1 黒褐 L 中 軟 III=IV
- 6:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 7:10YR2/1 黒 L 中 軟 III>IV
- 8:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
- 9:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 10:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III

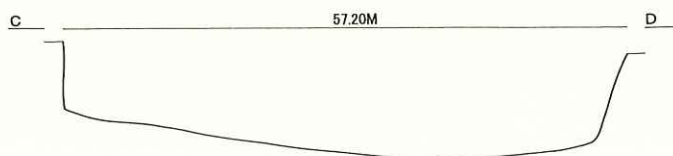
TP-9



V33|U33
V34|U34

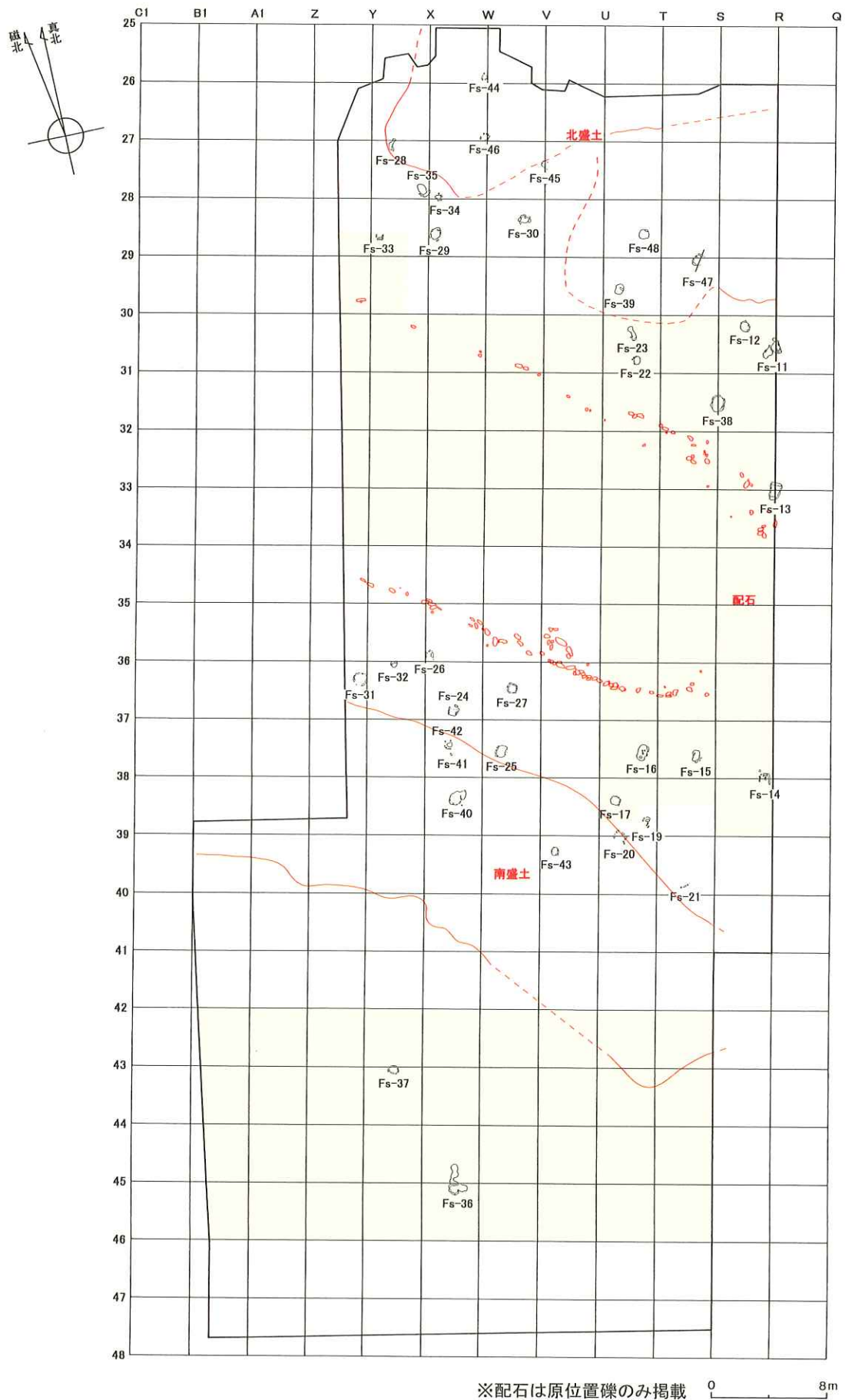


- 1:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 2:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 3:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 4:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 5:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 6:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
- 7:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
- 8:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 9:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 10:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 11:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
- 12:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
- 13:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
- 14:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
- 15:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 16:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 IV>III
- 17:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 18:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III



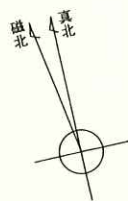
0 1m

図VII-51 TP-8・9

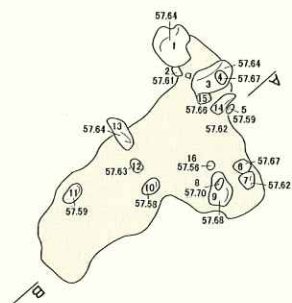


図Ⅶ-52 石囲炉(Fs)分布図 3分冊範囲

Fs-11



R29|Q29
R30|Q30

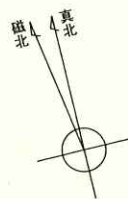


A ————— 57.80M ————— B

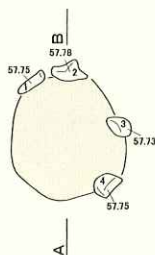


- 1:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
2:5YR3/6 明赤褐 軟 IV 焼土
3:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
4:5YR2/4 極暗赤褐 軟 III 焼土

Fs-12



S29|R29
S30|R30

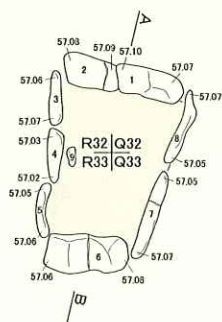
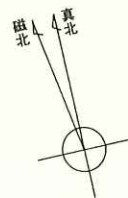


A ————— 57.80M ————— B



- 1:10YR1.7/1 黒 C 中 軟 III
2:5YR2/3 極暗赤褐 L 中 軟 III 焼土
3:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV
4:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III

Fs-13



A ————— 57.10M ————— B

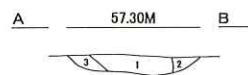
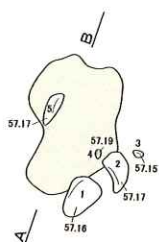
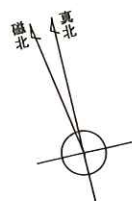


- 1:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>>V
2:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>>III
3:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>>IV
4:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV
5:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
6:5YR2/4 極暗赤褐 L 中 軟 III 焼土
7:5YR4/8 赤褐 軟 IV 焼土

0 ————— 1m

図VII-53 Fs-11~13

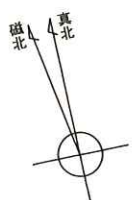
Fs-15



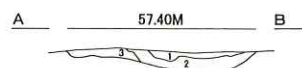
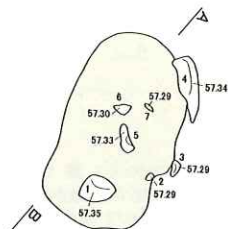
- 1:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>>III
2:5YR3/4 暗赤褐 軟 III>IV 焼土
3:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV

S37|R37
S38|R38

Fs-16

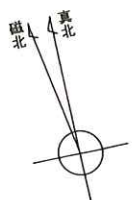


T36|S36
T37|S37

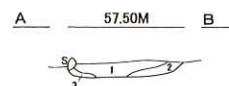
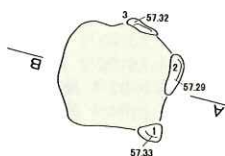


- 1:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
2:5YR5/8 明赤褐 軟 IV 焼土
3:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III

Fs-17



U37|T37
U38|T38

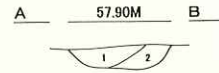
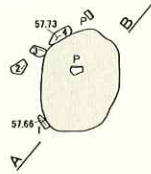
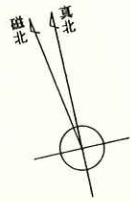


- 1:7.5YR7/1 明褐灰 軟 V 焼土
2:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
3:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III

0 1m

図VII-54 Fs-15~17

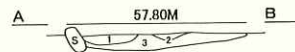
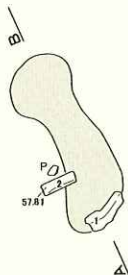
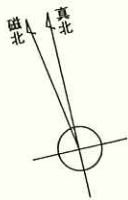
Fs-22



- 1: 5YR3/6 明赤褐 軟 IV 焼土
2: 5YR3/2 暗赤褐 L 中 軟 III 焼土

T30|S30
T31|S31

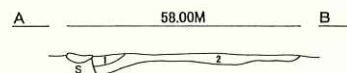
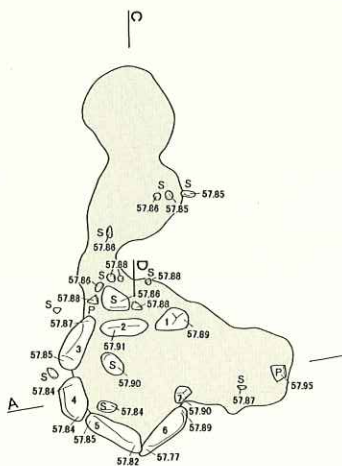
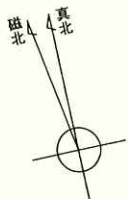
Fs-23



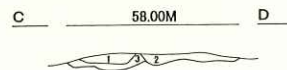
- 1: 5YR3/6 明赤褐 軟 IV 焼土
2: 2.5YR4/6 赤褐 軟 V>III 焼土
3: 5YR3/2 暗赤褐 L 中 軟 III 焼土 炭化材を含む

T29|S29
T30|S30

Fs-36



- 1: 7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
2: 7.5YR5/8 明褐 灰 軟 V 焼土

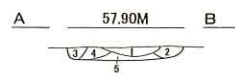
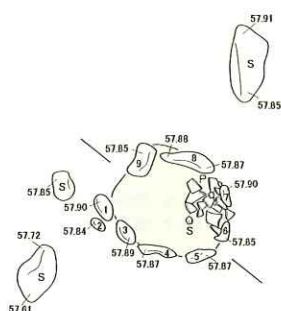
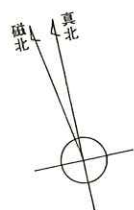


- 1: 5YR3/6 明赤褐 軟 IV 焼土
2: 5YR4/8 赤褐 軟 IV 焼土
3: 10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV

W44|V44
W45|V45

0 1m

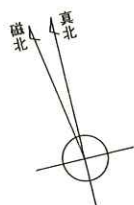
Fs-37



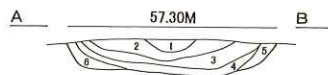
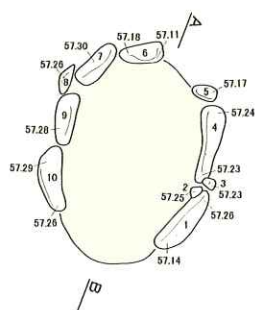
X42|W42
X43|W43

- 1:5YR3/6 暗赤褐 軟 IV 焼土
- 2:10YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
- 3:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>>III
- 4:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 5:7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III

Fs-38

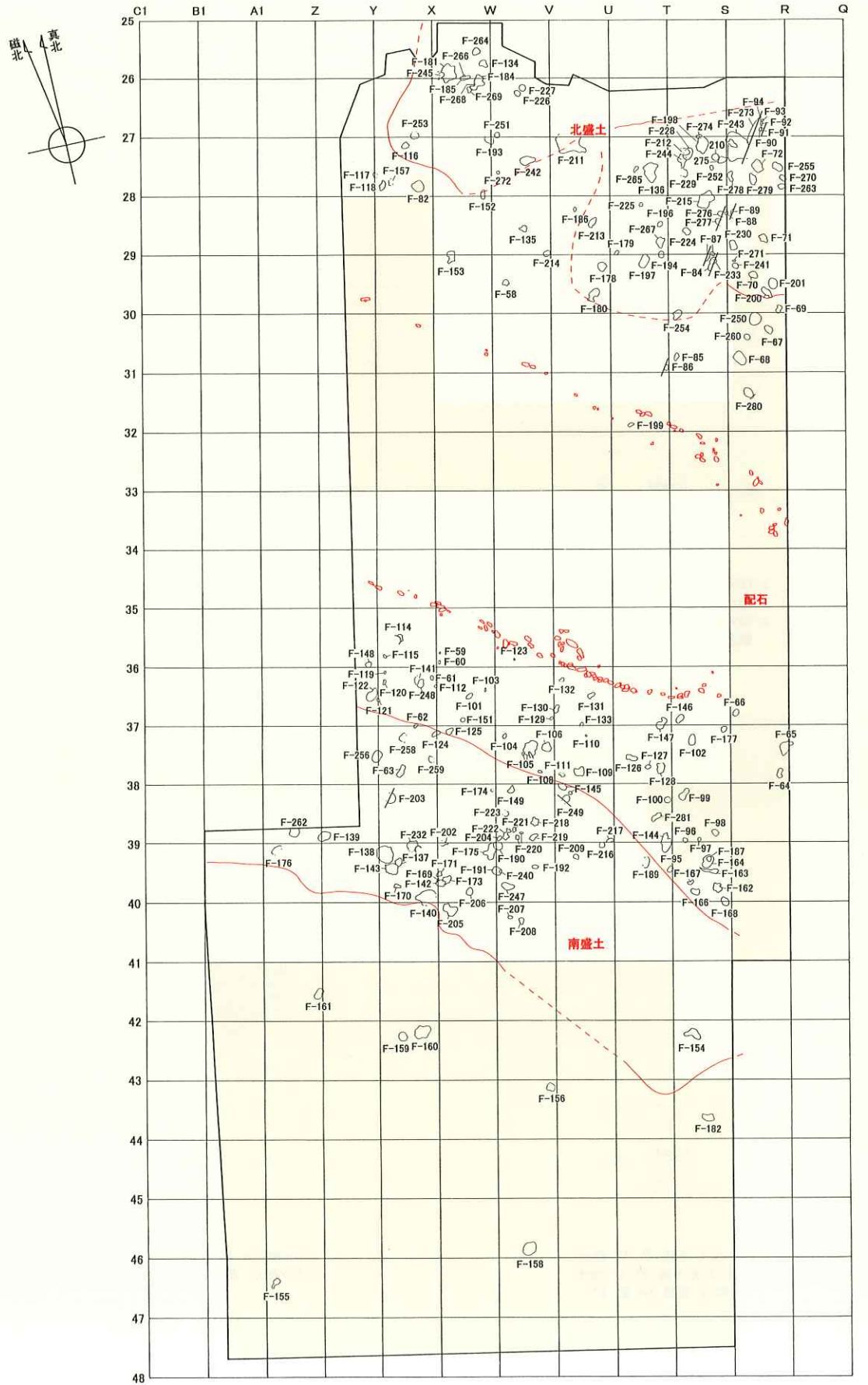


S30|R30
S31|R31



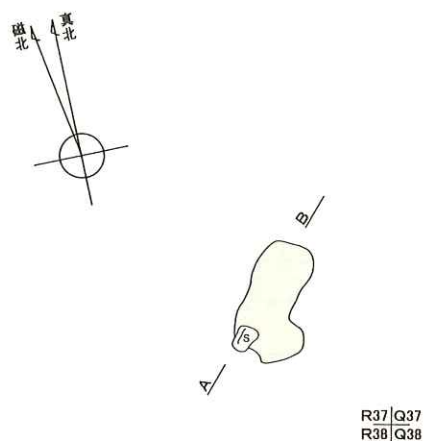
- 1:10YR2/1 黒 L 中 軟 III
- 2:整地層
- 3:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 4:7.5YR4/4 褐 L 中 堅 IV>V 焼土
- 5:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
- 6:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV

0 1m



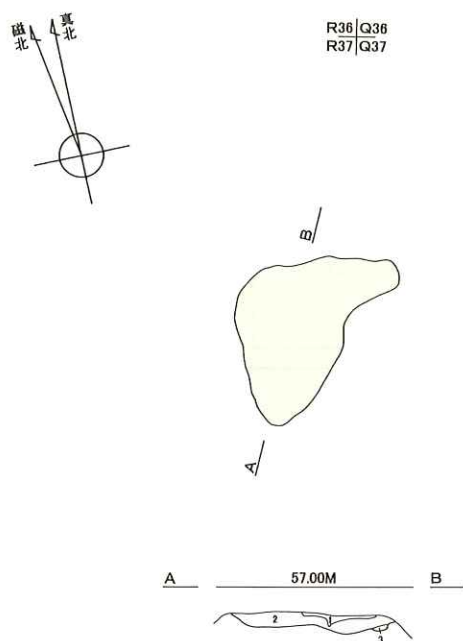
図Ⅶ-57 焼土(F)分布図3分冊範囲

F-64



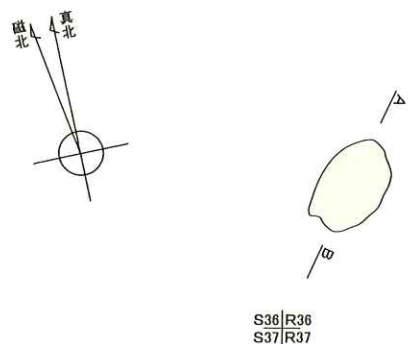
- 1: 7.5YR2/3 暗褐 中 軟 III>IV
焼土 炭化材を含む
2: 7.5YR2/2 黒褐 中 軟 IV
焼土 炭化材を含む

F-65



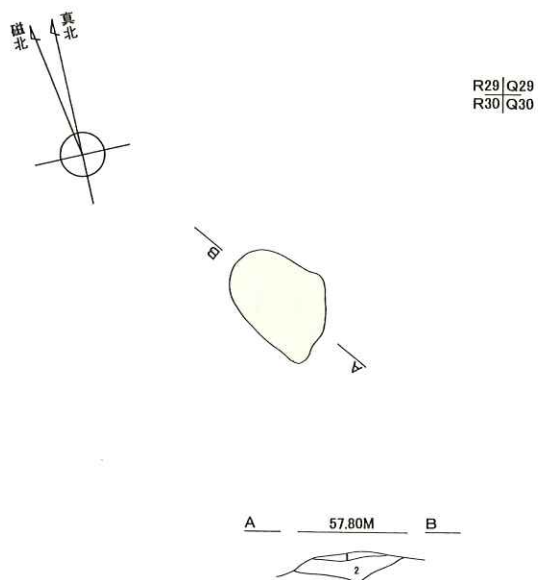
- 1: 7.5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III
2: 5YR3/6 明赤褐 軟 IV 焼土
3: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV

F-66



- 1: 2.5YR4/8 赤褐 軟 V 焼土
2: 5YR3/2 暗赤褐 軟 III 焼土
3: 7.5YR2/2 黒褐 中 軟 IV

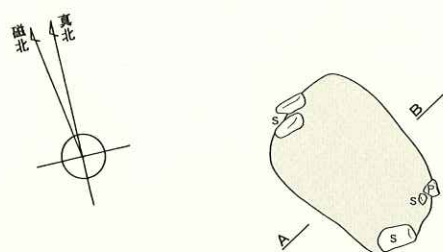
F-67



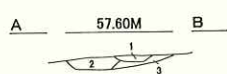
- 1: 10YR1.7/1 黒 C 中 軟 III
2: 7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV 焼土

0 1m

F-68

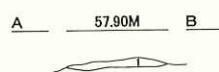
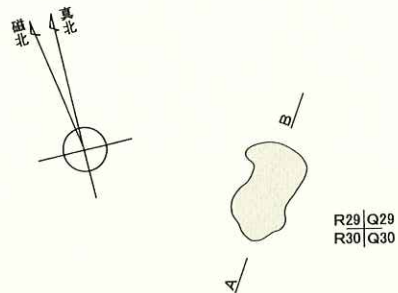


S30/R30
S31/R31



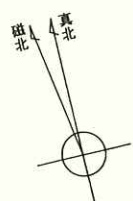
1:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
2:2.5YR3/6 暗赤褐 軟 V>III 焼土
3:5YR3/6 明赤褐 軟 IV 焼土

F-69

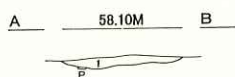
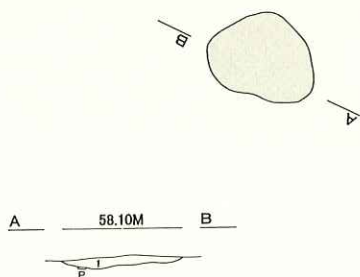


1:7.5R1.7/1 赤黒 L 中 軟 III 焼土

F-70

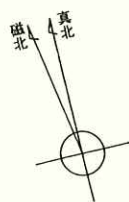


S28/R28
S29/R29



1:2.5YR4/6 赤褐 軟 V>III 焼土

F-71



R28/Q28
R29/Q29

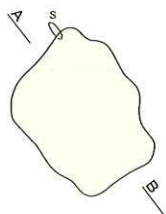
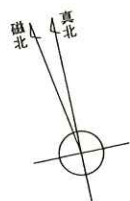


1:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV
焼土 炭化材を含む

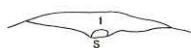
0 1m

図VII-59 F-68~71

F-72



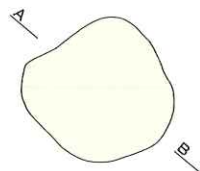
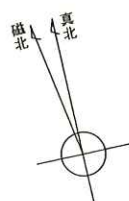
A 58.90M B



1:2.5YR4/6 赤褐 軟 V>III 焼土

F-82

R26|Q26
R27|Q27



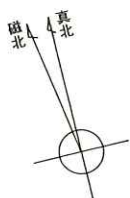
X27|W27
X28|W28

A 58.50M B

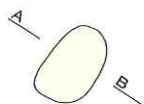


1:5YR3/2 暗赤褐 中 軟 IV>III 焼土
2:5YR5/6 黒褐 中 軟 IV=III
3:5YR1.7/1 黒 L 中 軟 III

F-95



T38|S38
T39|S39

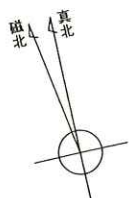


A 57.50M B



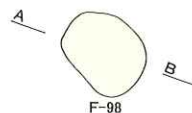
1:5YR3/6 明赤褐 軟 IV 焼土

F-96 97 98



F-96

F-97



S38|R38
S39|R39

A 57.30M B



F-96

1:5YR4/8 赤褐 軟 IV 焼土

A 57.40M B



F-97

1:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV 焼土

A 57.30M B

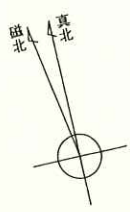


F-98

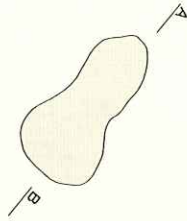
1:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV 焼土

0 1m

F-99



T38|S37
T39|S38

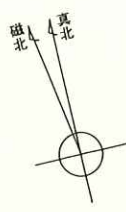


A 57.40M B

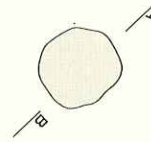


1:7.5YR6/3 にぶい褐 軟 V 焼土

F-100



T37|S37
T38|S38

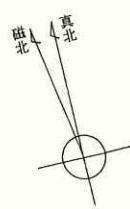


A 57.40M B

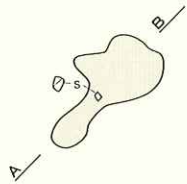


1:5YR2/4 極暗赤褐 L 中 軟 III 焼土

F-155



A145|Z45
A146|Z46

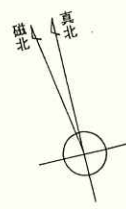


A 58.90M B

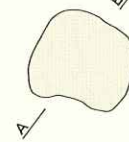


1:7.5YR3/4 暗褐色シルト SL 弱 軟
炭化片(φ5mm)・土器片を含む(現地性)

F-156



V42|U42
V43|U43

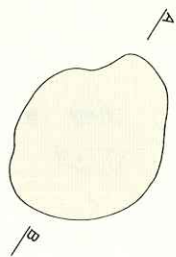
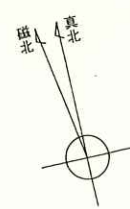


A 57.90M B



1:10YR4/6 褐 堅 焼土 炭化材を含む

F-158



A 57.90M B

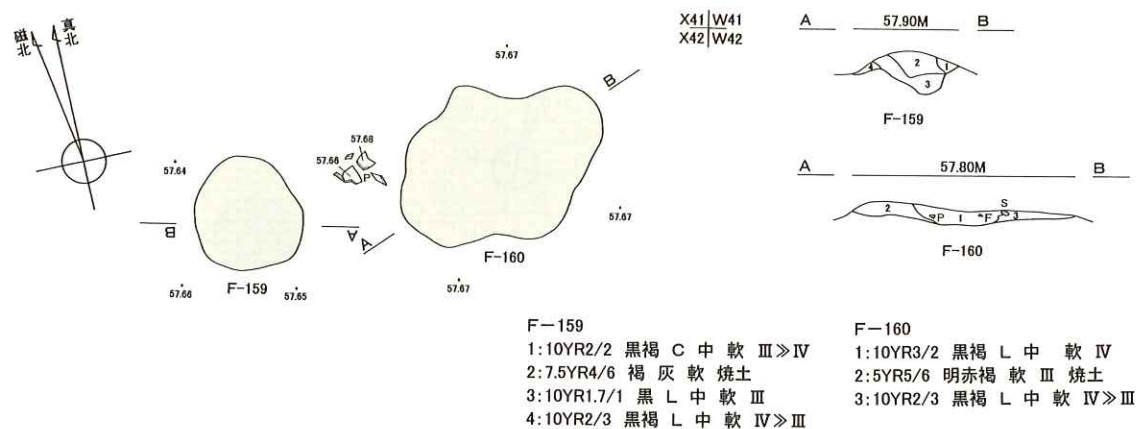


1:7.5YR3/4 暗褐 L 中 軟 V>IV 焼土
2:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
3:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV

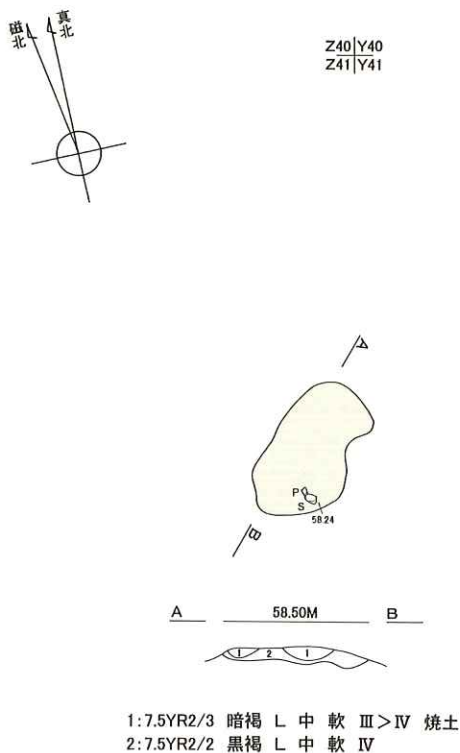
V45|U45
V46|U46

0 1m

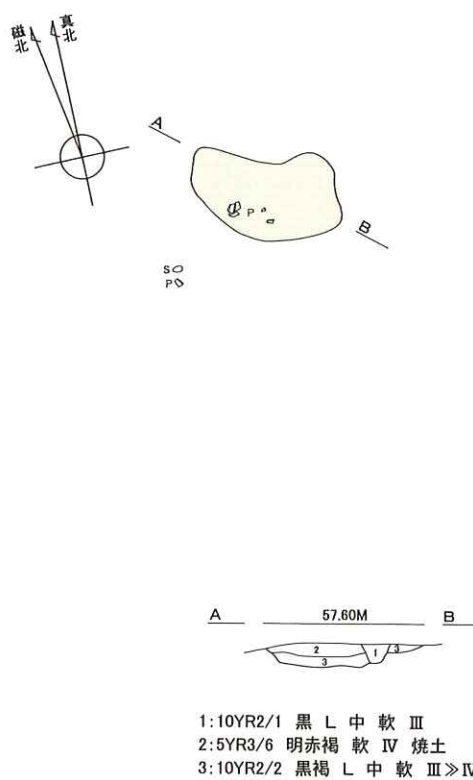
F-159 160



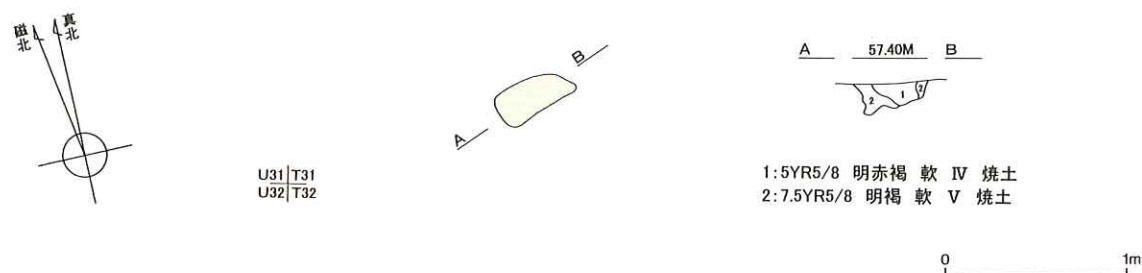
F-161



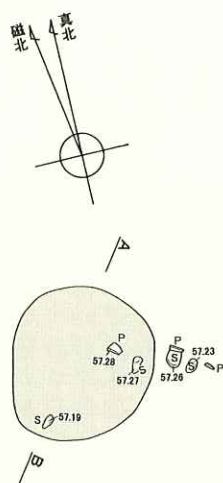
F-182



F-199



F-250



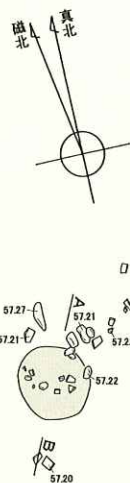
R29|Q29
R30|Q30

A 57.40M B



1:5YR2/4 極暗赤褐 L 中 軟 III 焼土

F-260



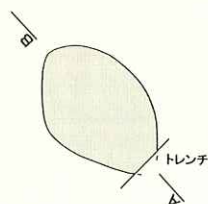
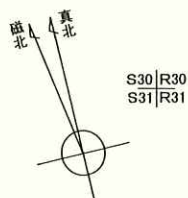
R29|Q29
R30|Q30

A 57.20M B



1:7.5YR7/1 明褐灰 軟 V 焼土

F-280

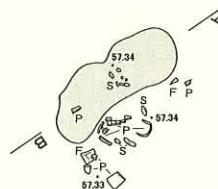
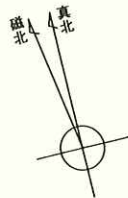


A 57.40M B



1:5YR3/6 暗赤褐 軟 IV 焼土
炭化材を含む Vが粒状に混入する

F-281



T38|S38
T39|S39

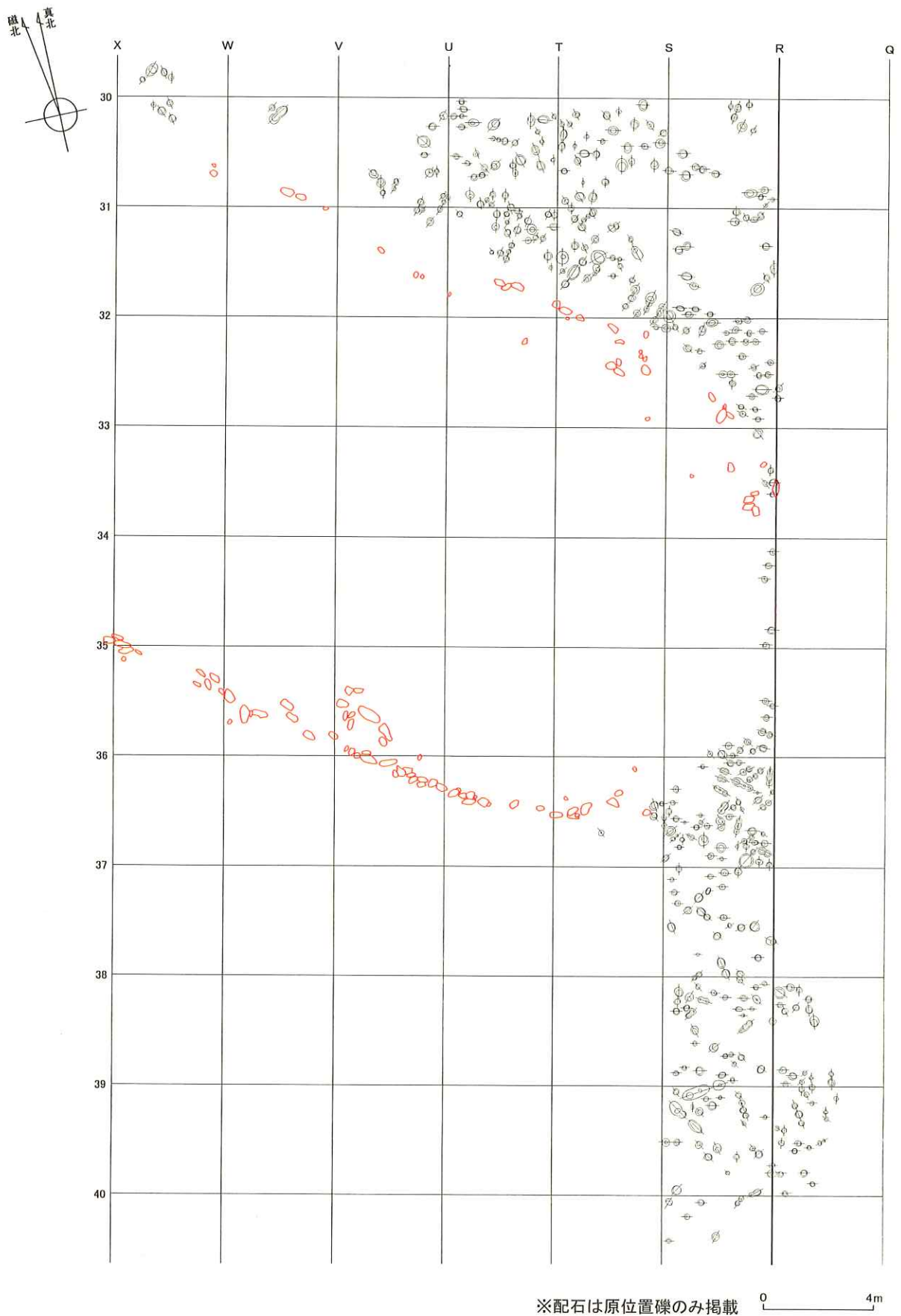
A 57.50M B



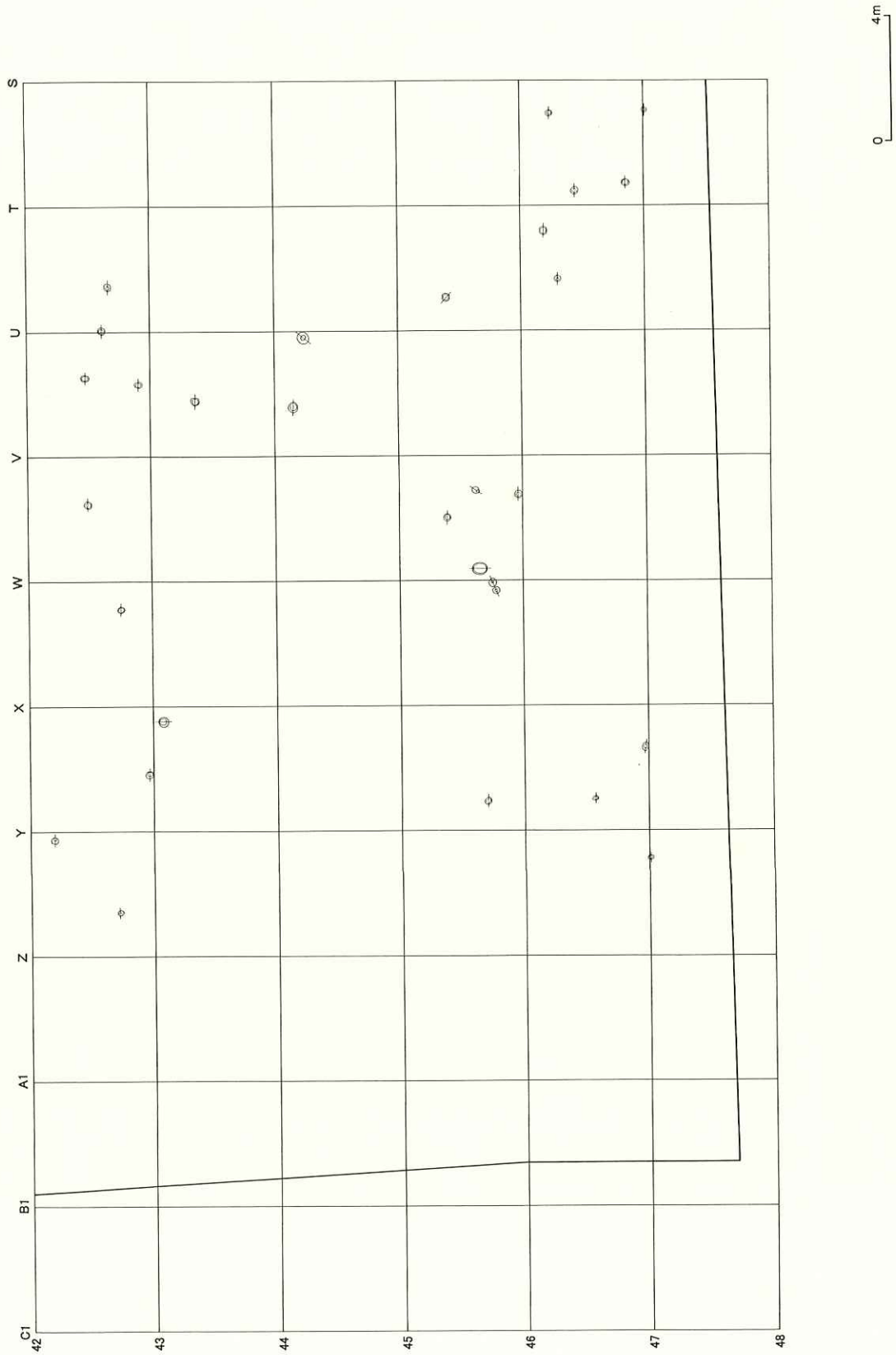
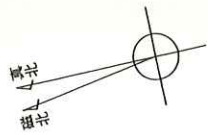
1:7.5YR2/4 黒褐 L 中 軟 IV>>V 炭化材
2:5YR4/8 赤褐 軟 IV 焼土
3:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 III
4:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV
5:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>>III

0 1m

図Ⅶ-63 F-250・260・280・281

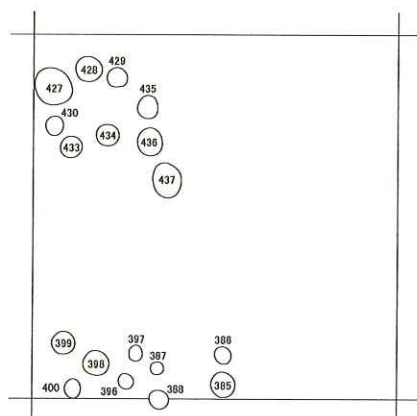


図Ⅶ-64 小柱穴状ピット(SP)分布図3分冊範囲(1)



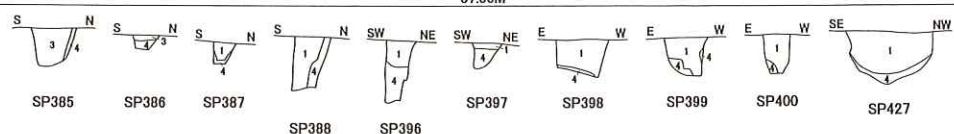
図VII-65 小柱穴状ピット(SP)分布図3分冊範囲(2)

Q38 区

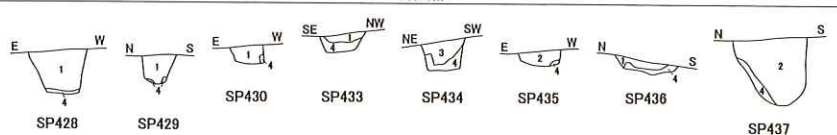


- 1: 粘土層 10YR4/6 褐
2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
3: 皿層 10YR1.7/1 黒
4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐

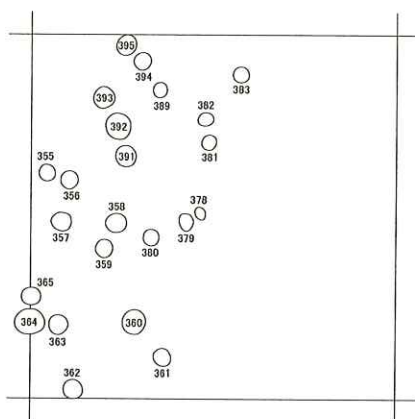
57.00M



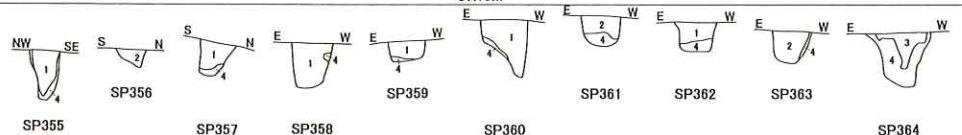
57.00M



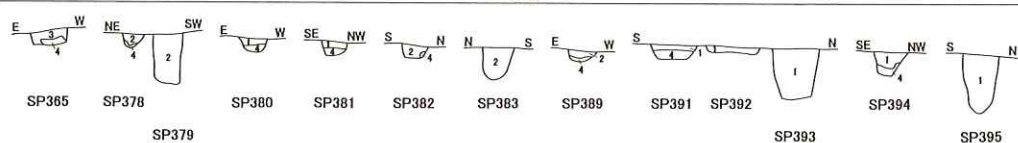
Q39 区



57.10M



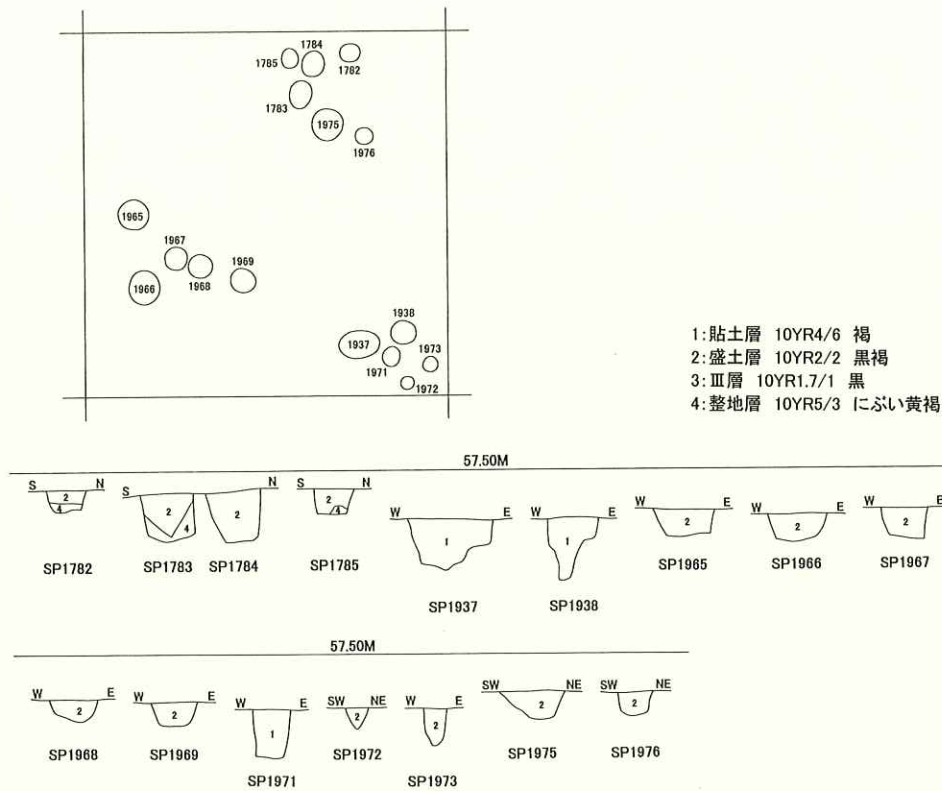
57.10M



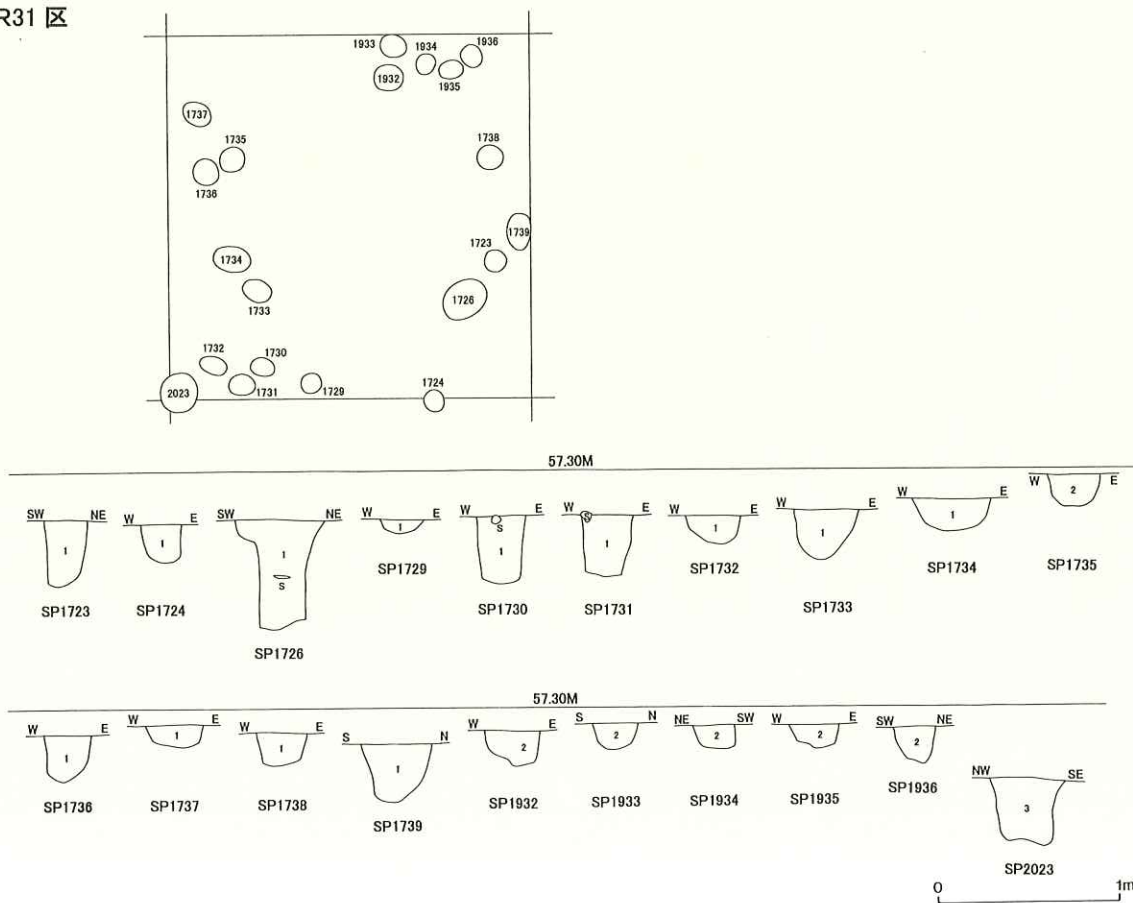
0 1m

図Ⅶ-66 Q38・39区SP群

R30 区

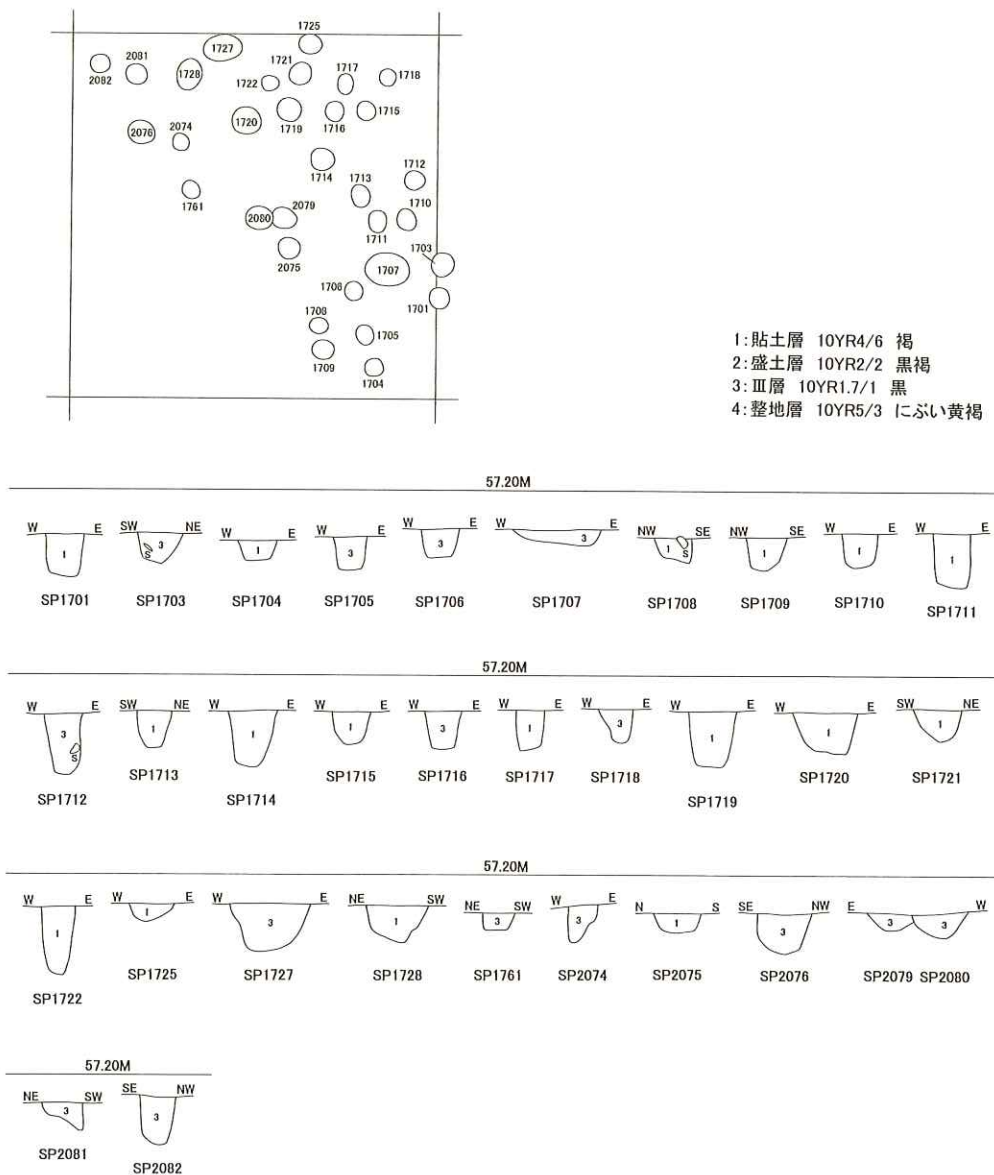


R31 区

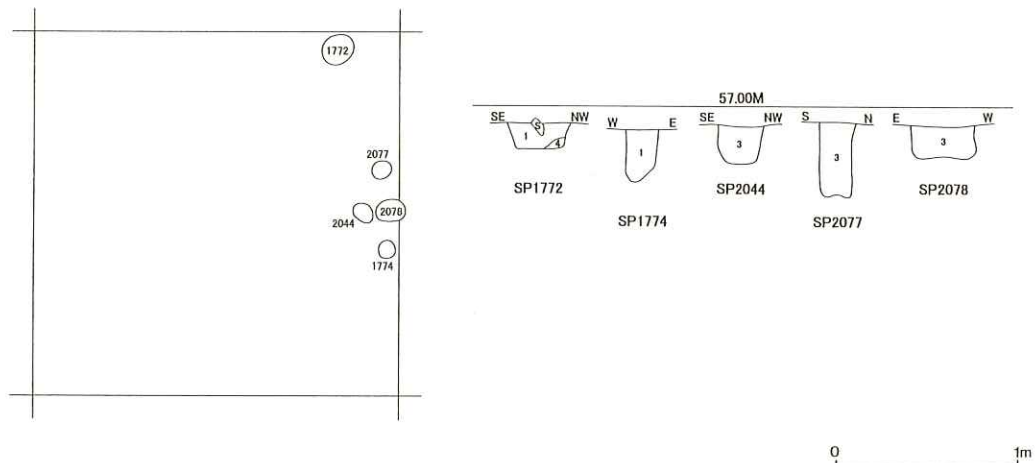


图VII-67 R30·31区SP群

R32 区

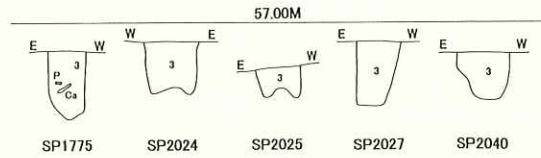
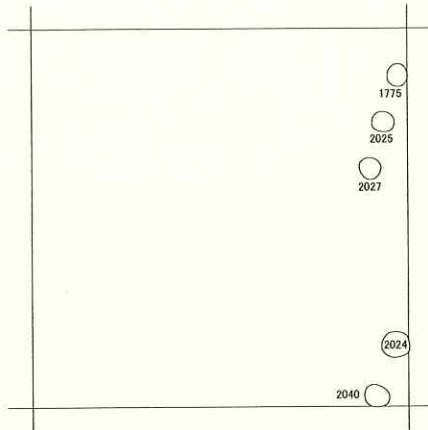


R33 区

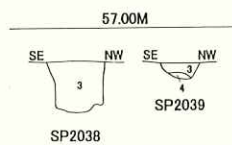
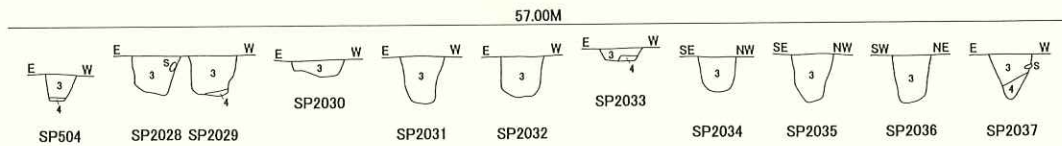
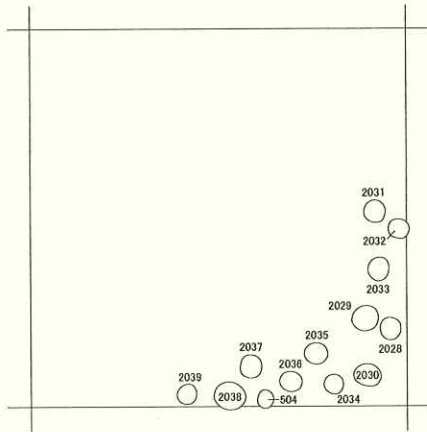


図Ⅶ-68 R32・33区SP群

R34 区



R35 区

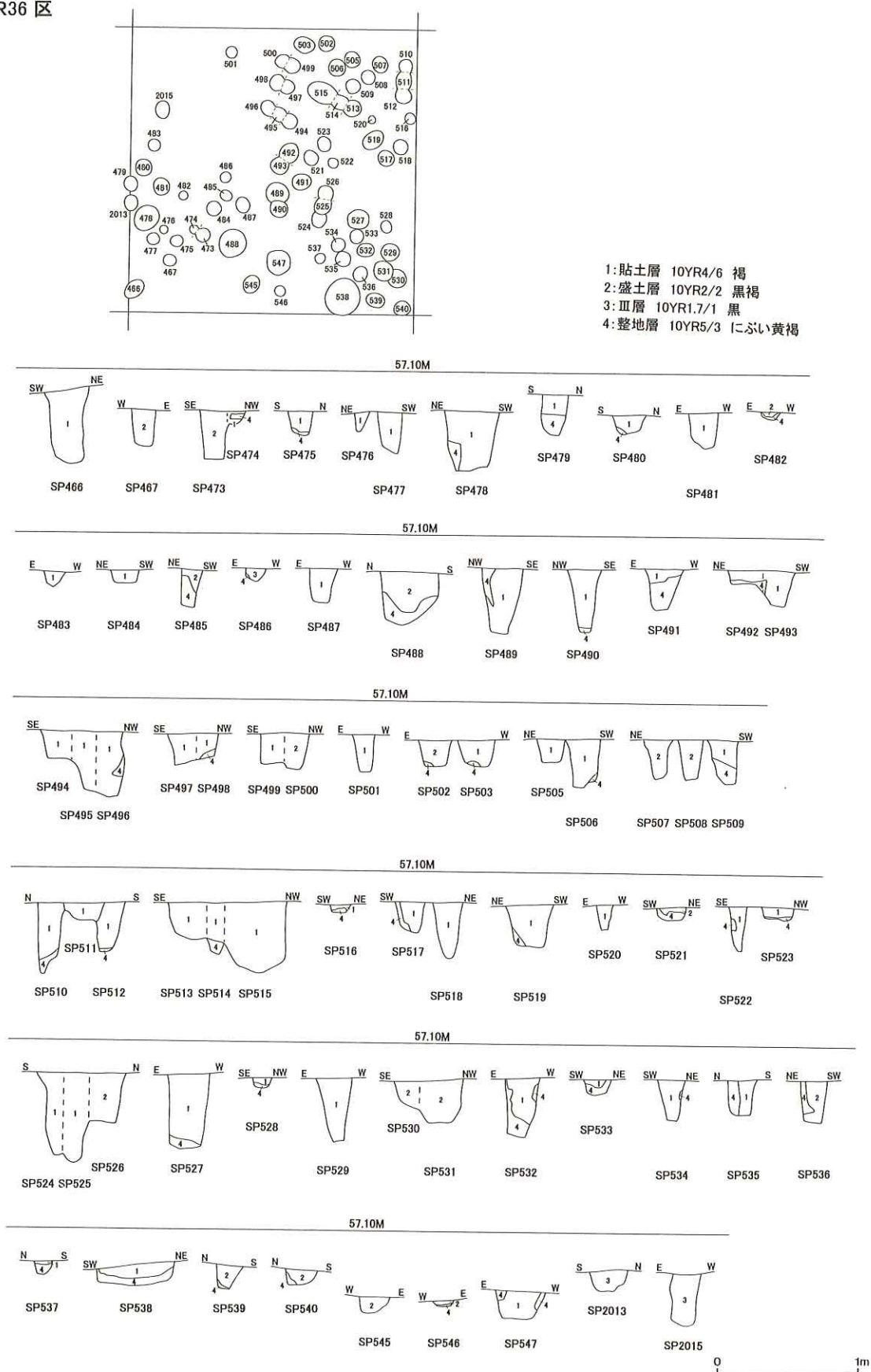


- 1: 粘土層 10YR4/6 褐
- 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
- 3: Ⅲ層 10YR1.7/1 黒
- 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐

0 1m

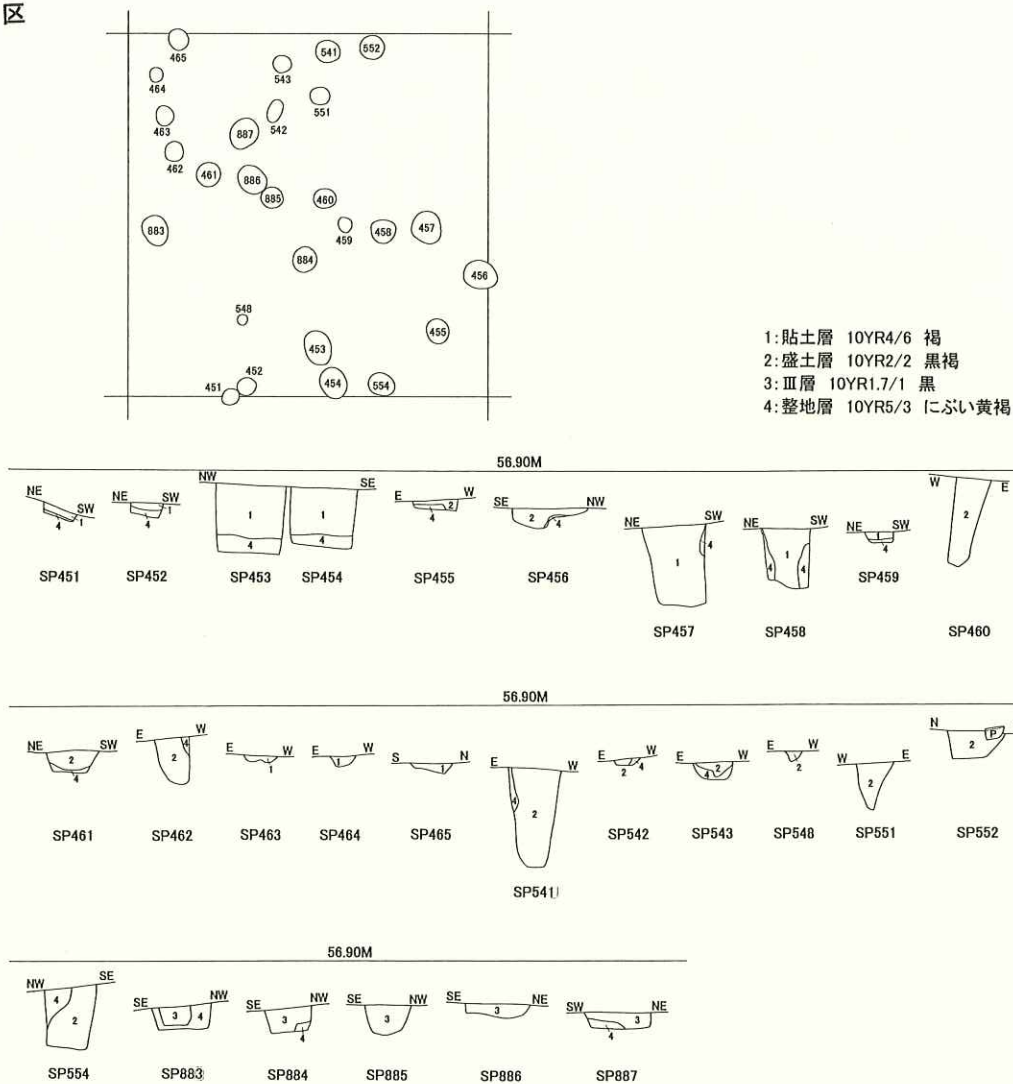
図Ⅶ-69 R34・35区SP群

R36 区

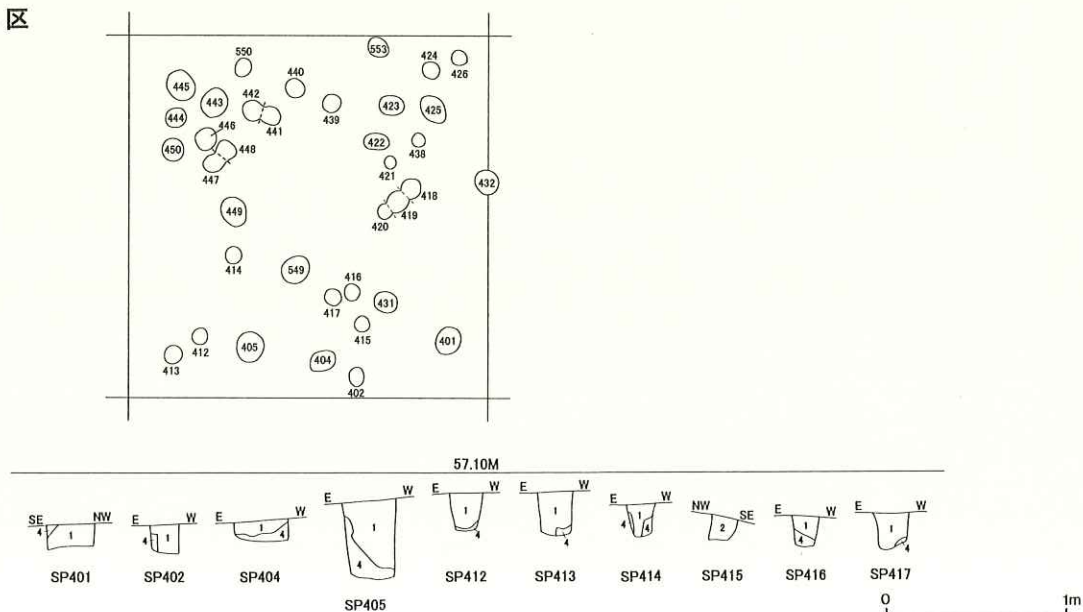


図Ⅶ-70 R36区SP群

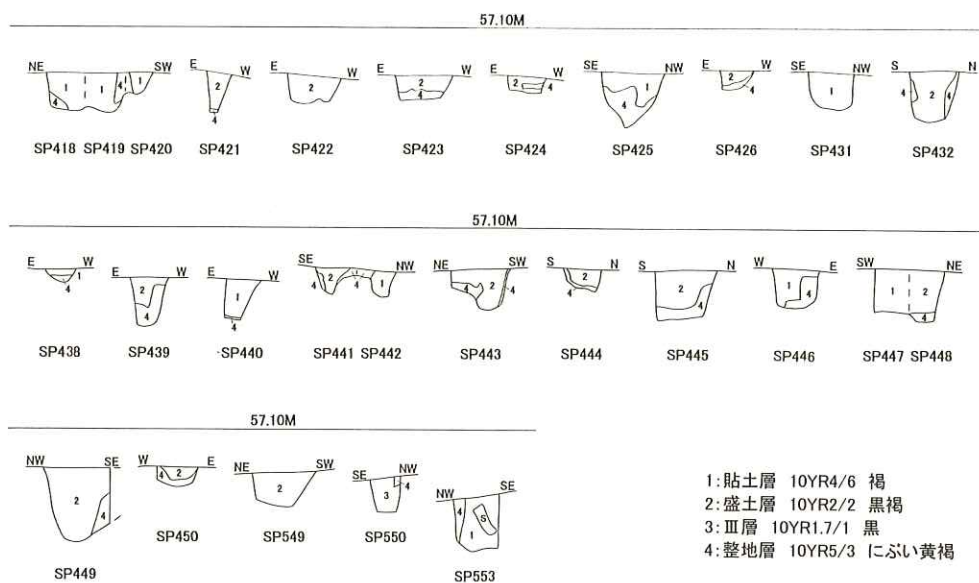
R37 区



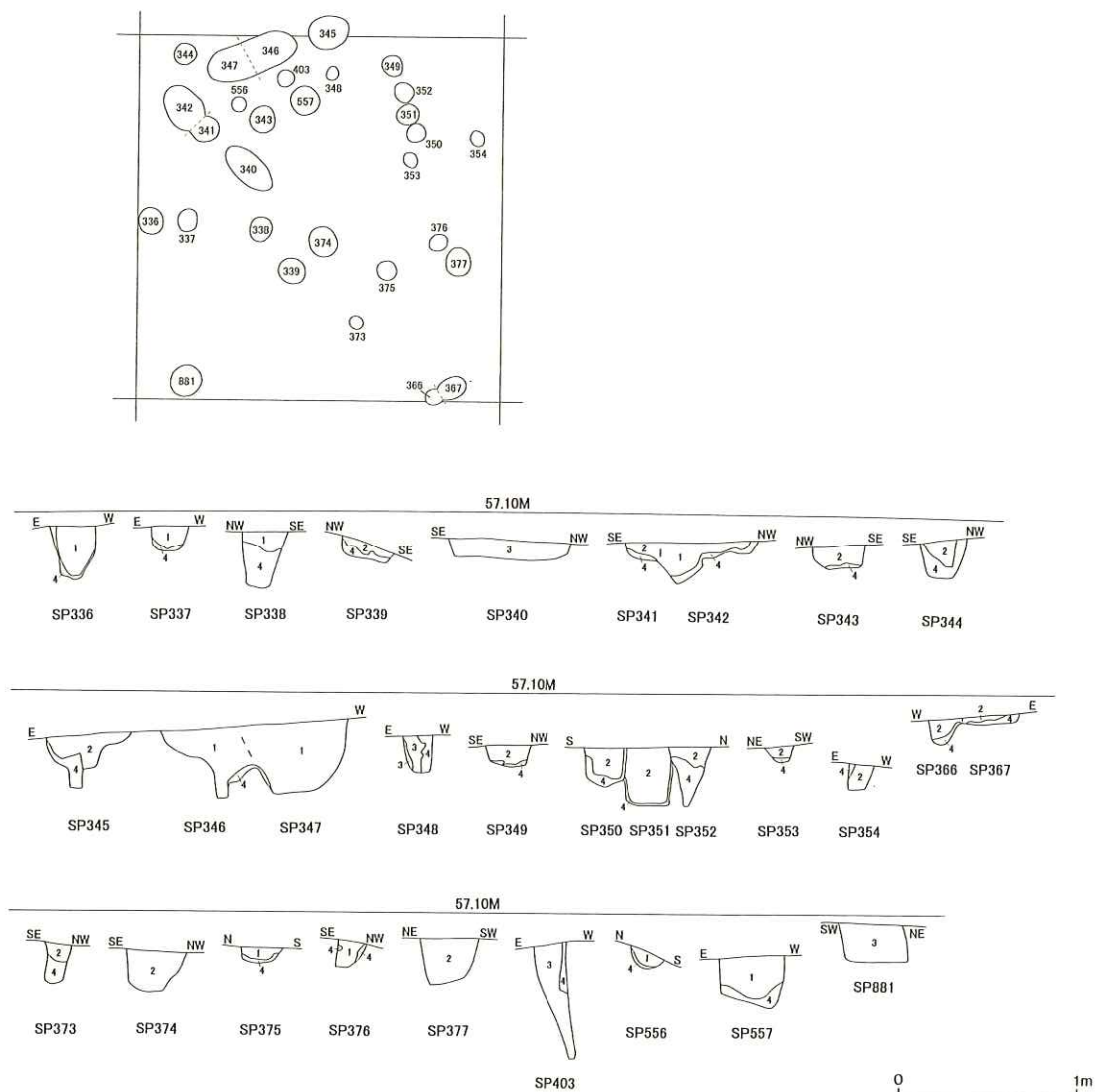
R38 区



図Ⅶ-71 R37・38(1)区SP群

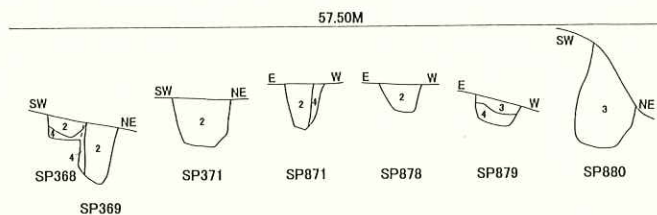
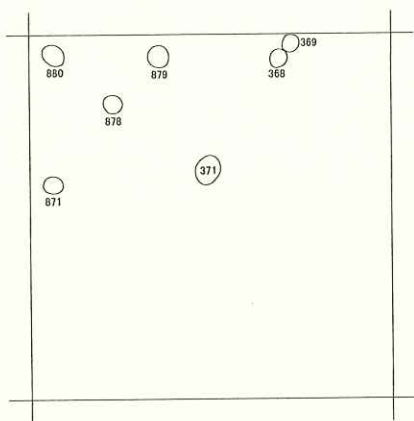


R39 区

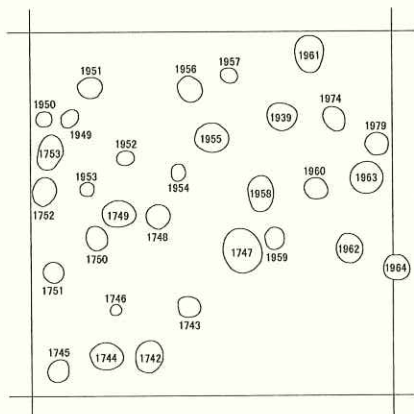


图VII-72 R38(2)·39区SP群

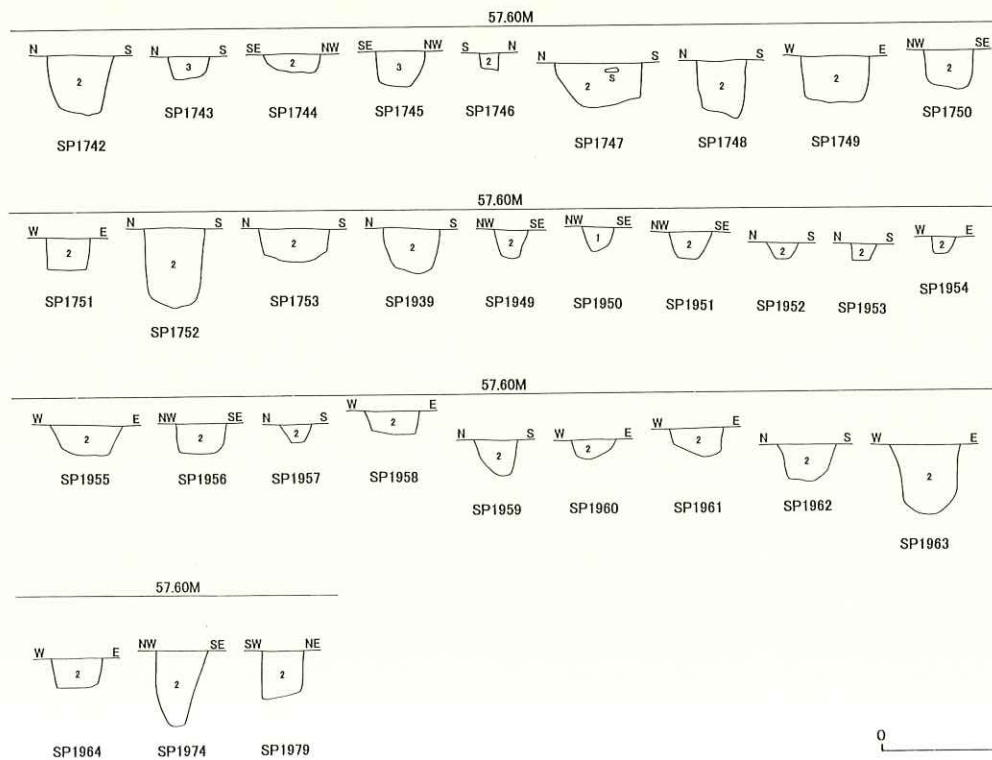
R40 区



S30 区



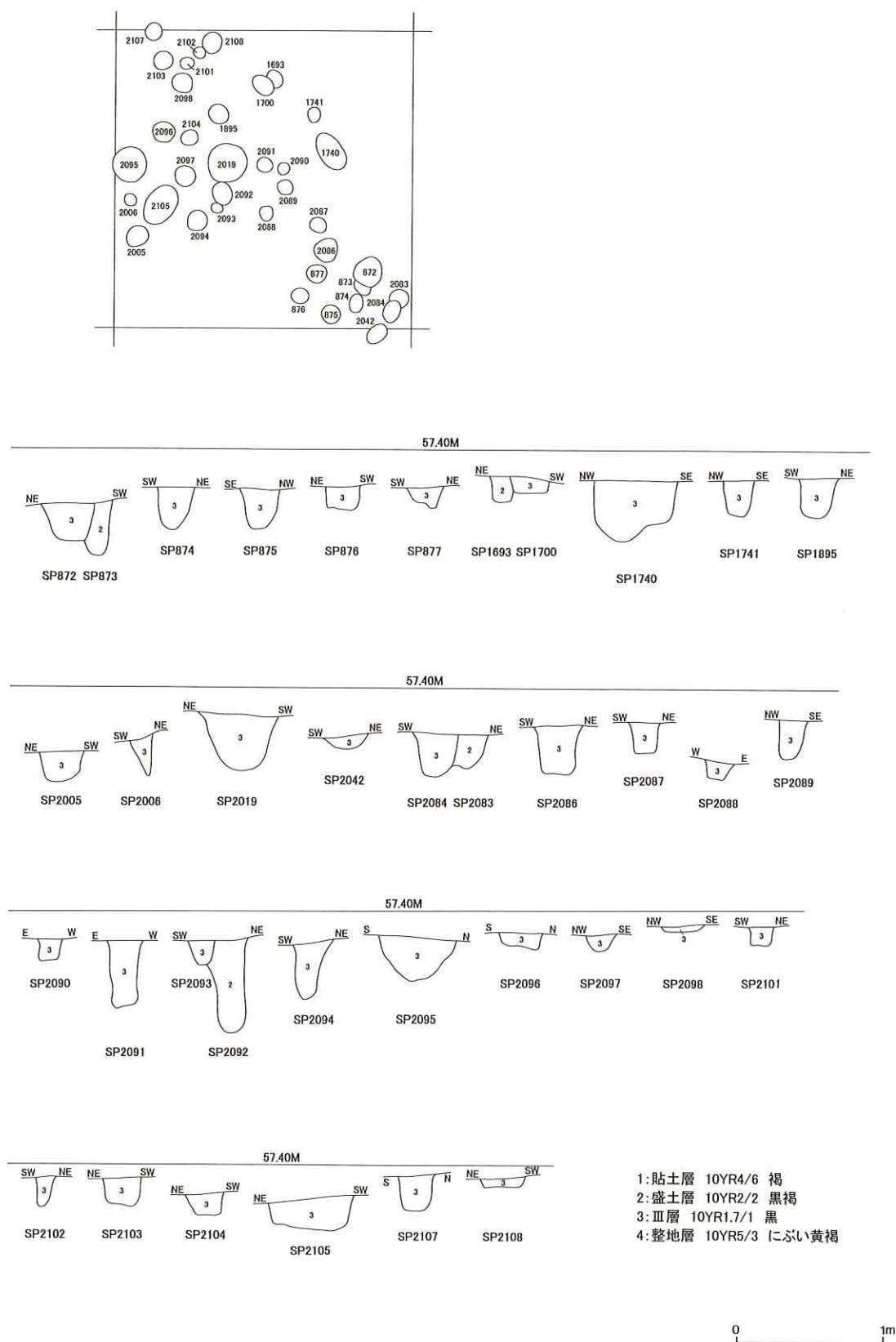
- 1: 貼土層 10YR4/6 褐
 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
 3: 皿層 10YR1.7/1 黒
 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐



0 1m

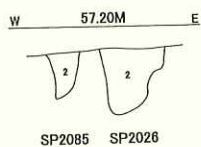
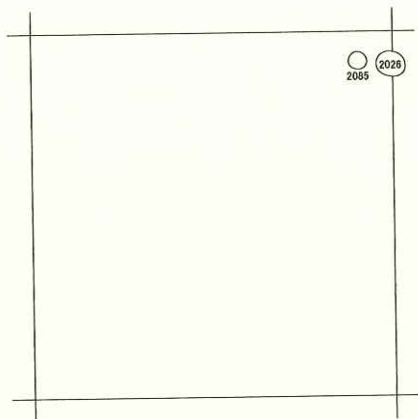
図VII-73 R40 S30区SP群

S31 区

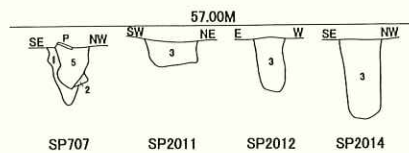
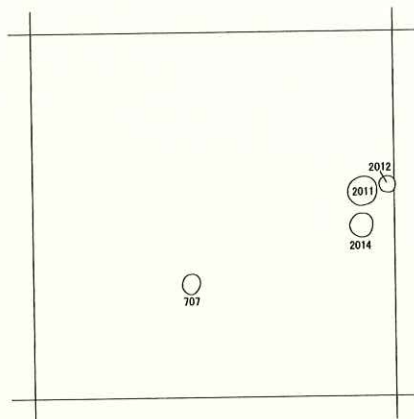


図Ⅶ-74 S31区SP群

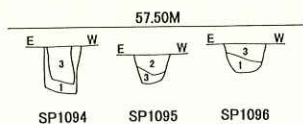
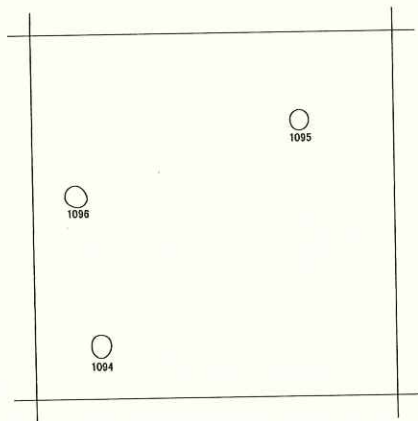
S32 区



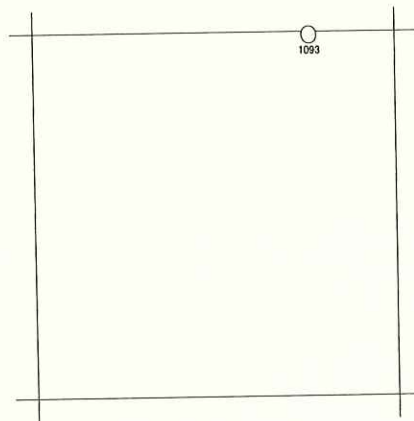
S36 区



S46 区



S47 区

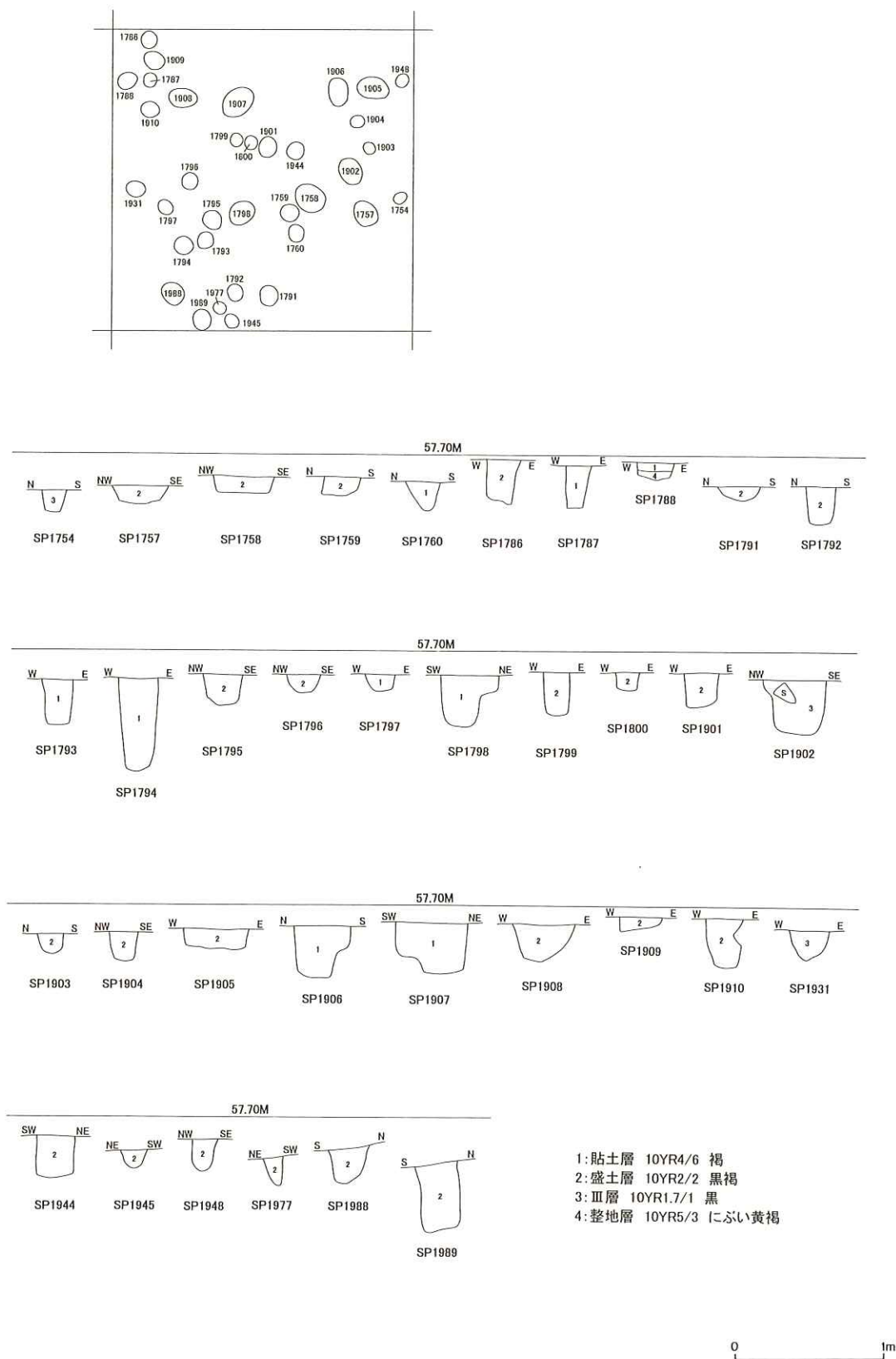


- 1: 粘土層 10YR4/6 褐
- 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
- 3: 皿層 10YR1.7/1 黒
- 4: 整地層 10YR5/3 にふい黄褐
- 5: 整地層+Vブロック 10YR3/4 暗褐

0 1m

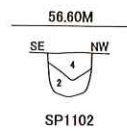
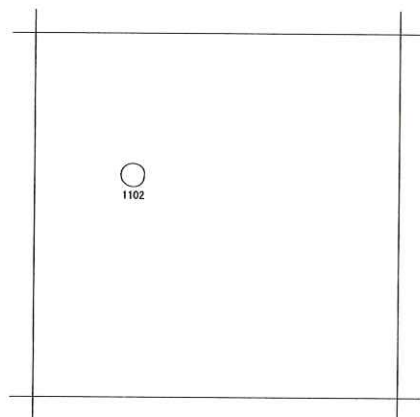
図Ⅶ-75 S32・36・46・47区SP群

T30 区

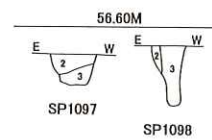
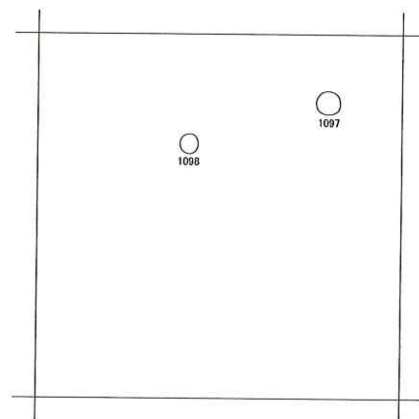


図Ⅶ-76 T30区SP群

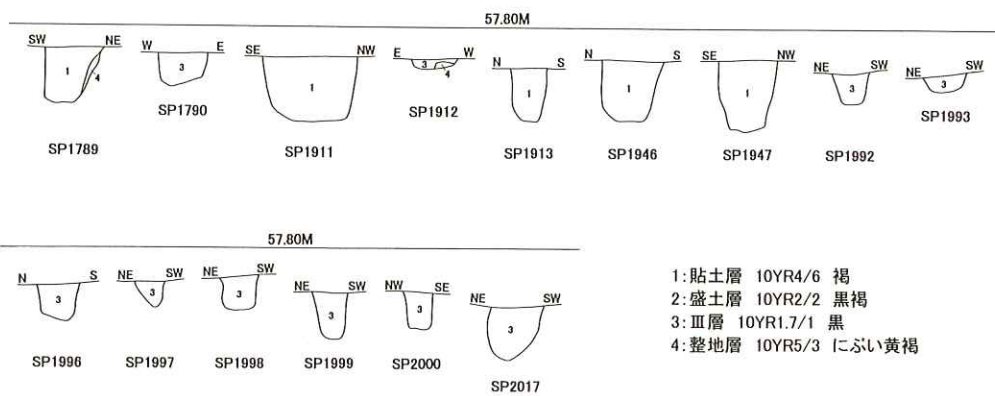
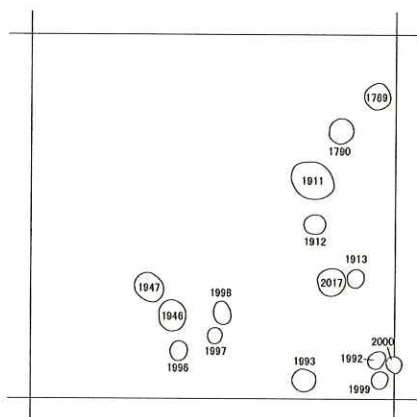
T45 区



T46 区



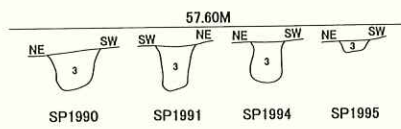
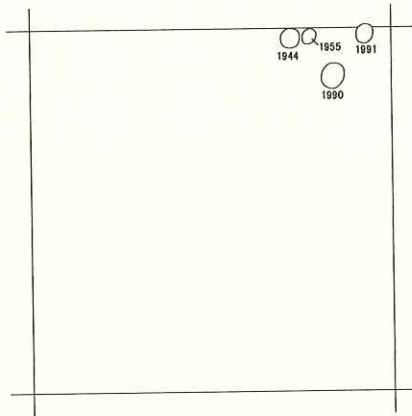
U30 区



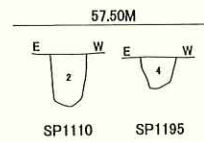
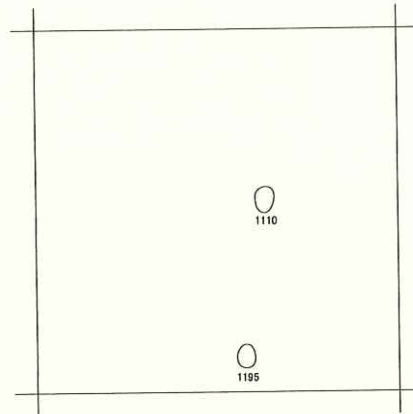
0 1m

図Ⅶ-78 T45・46 U30区SP群

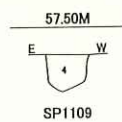
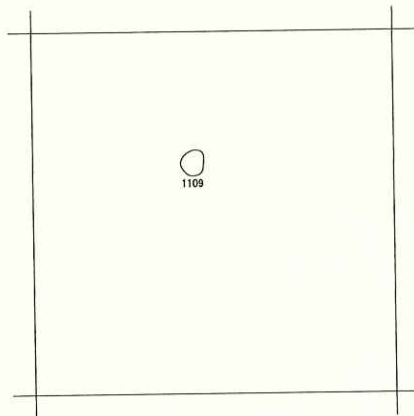
U31 区



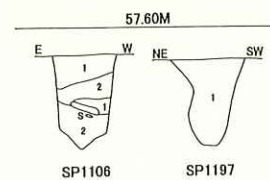
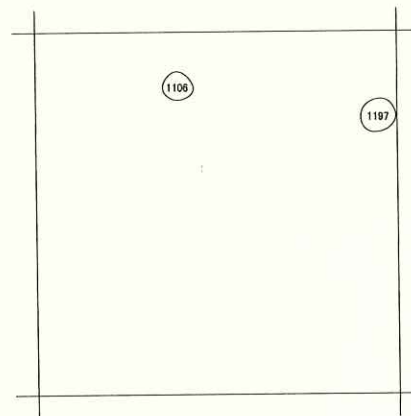
U42 区



U43 区



U44 区

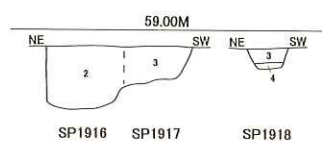
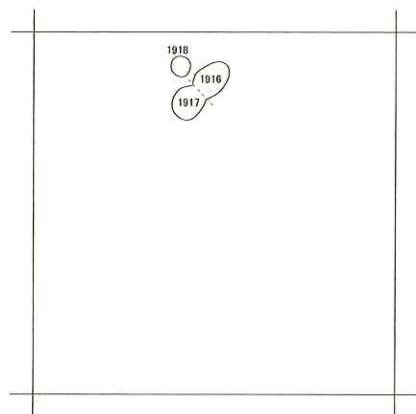


- 1: 粘土層 10YR4/6 褐
- 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
- 3: Ⅲ層 10YR1.7/1 黒
- 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐

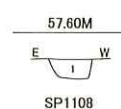
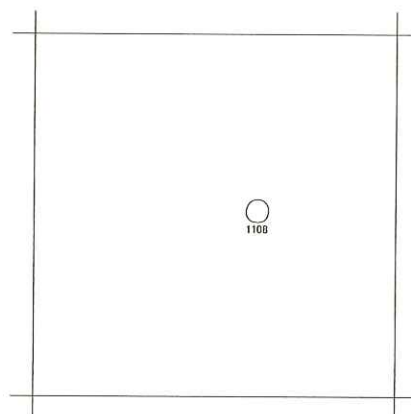
0 1m

図Ⅶ-79 U31・42~44区SP群

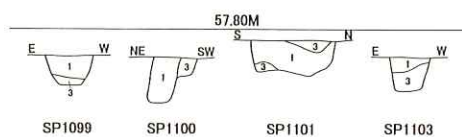
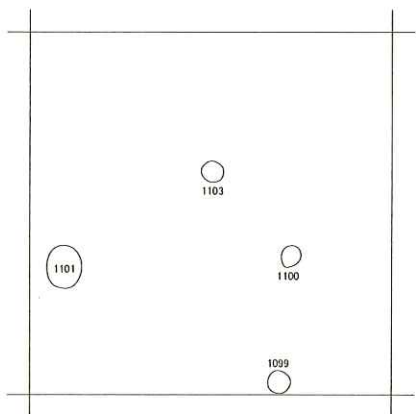
V30 区



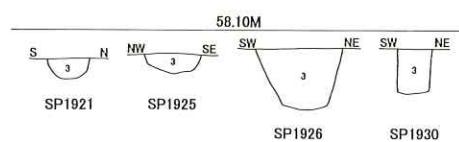
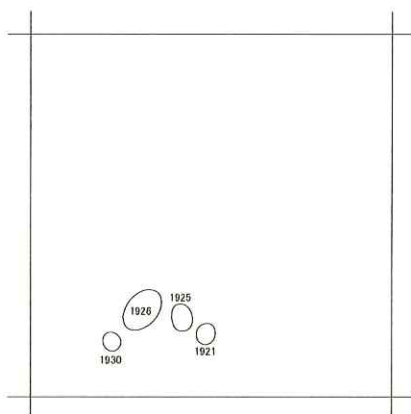
V42 区



V45 区



W29 区

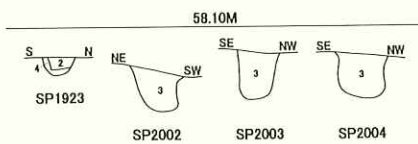
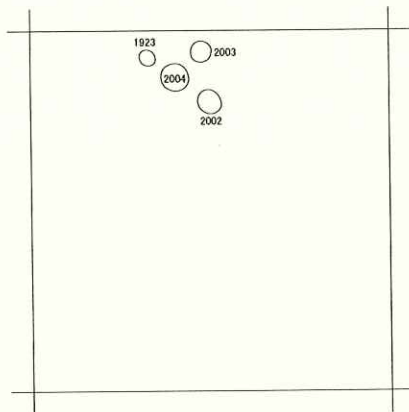


- 1: 粘土層 10YR4/6 褐
- 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
- 3: Ⅲ層 10YR1.7/1 黒
- 4: 整地層 10YR5/3 にふい黄褐

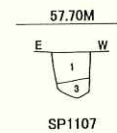
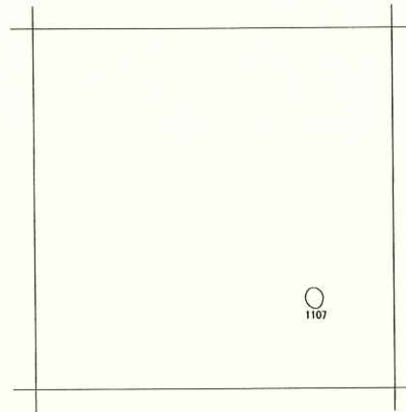
0 1m

図Ⅷ-80 V30・42・45 W29区SP群

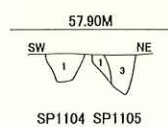
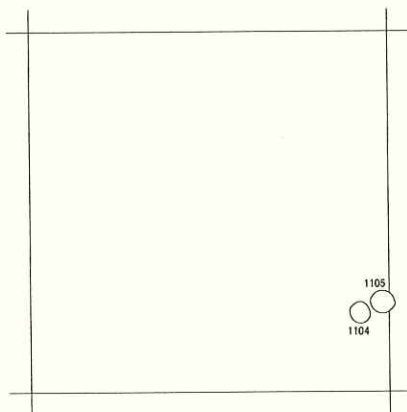
W30 区



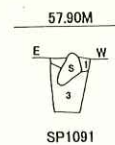
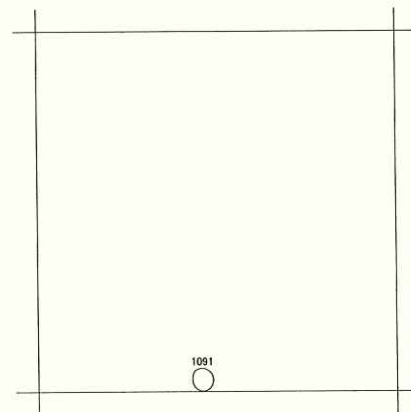
W42 区



W45 区



X42 区

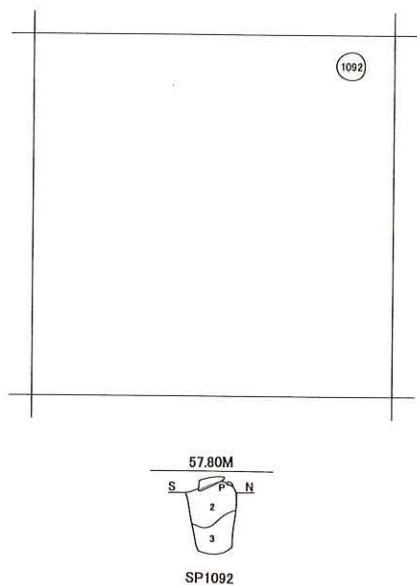


- 1: 貼土層 10YR4/6 褐
- 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
- 3: Ⅲ層 10YR1.7/1 黒
- 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐

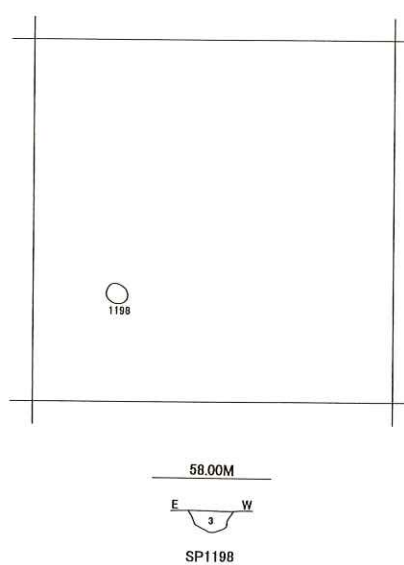
0 1m

図Ⅶ-81 W30・42・45 X42区SP群

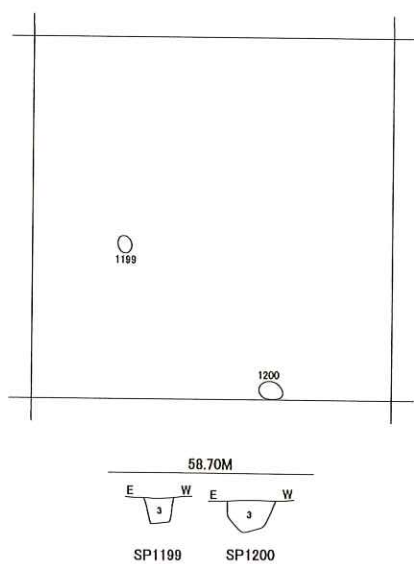
X43 区



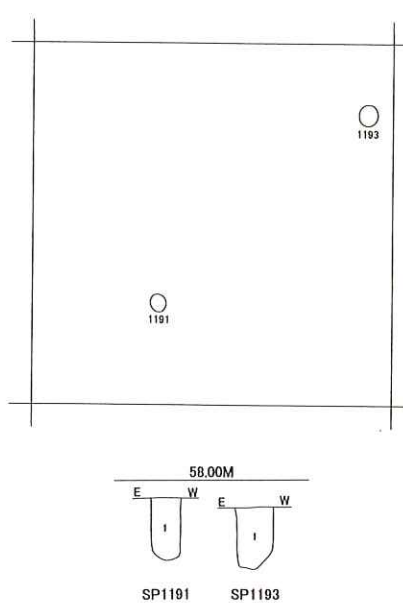
X45 区



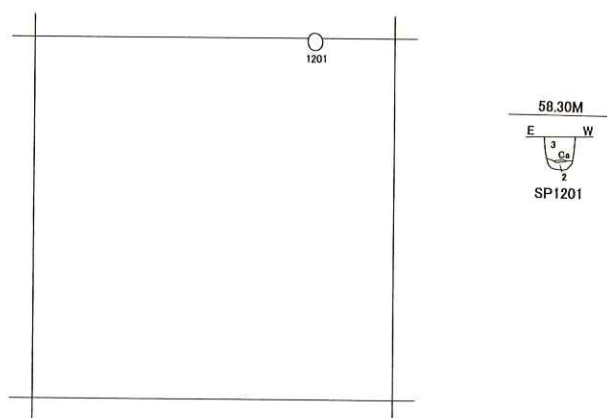
X46 区



Y42 区



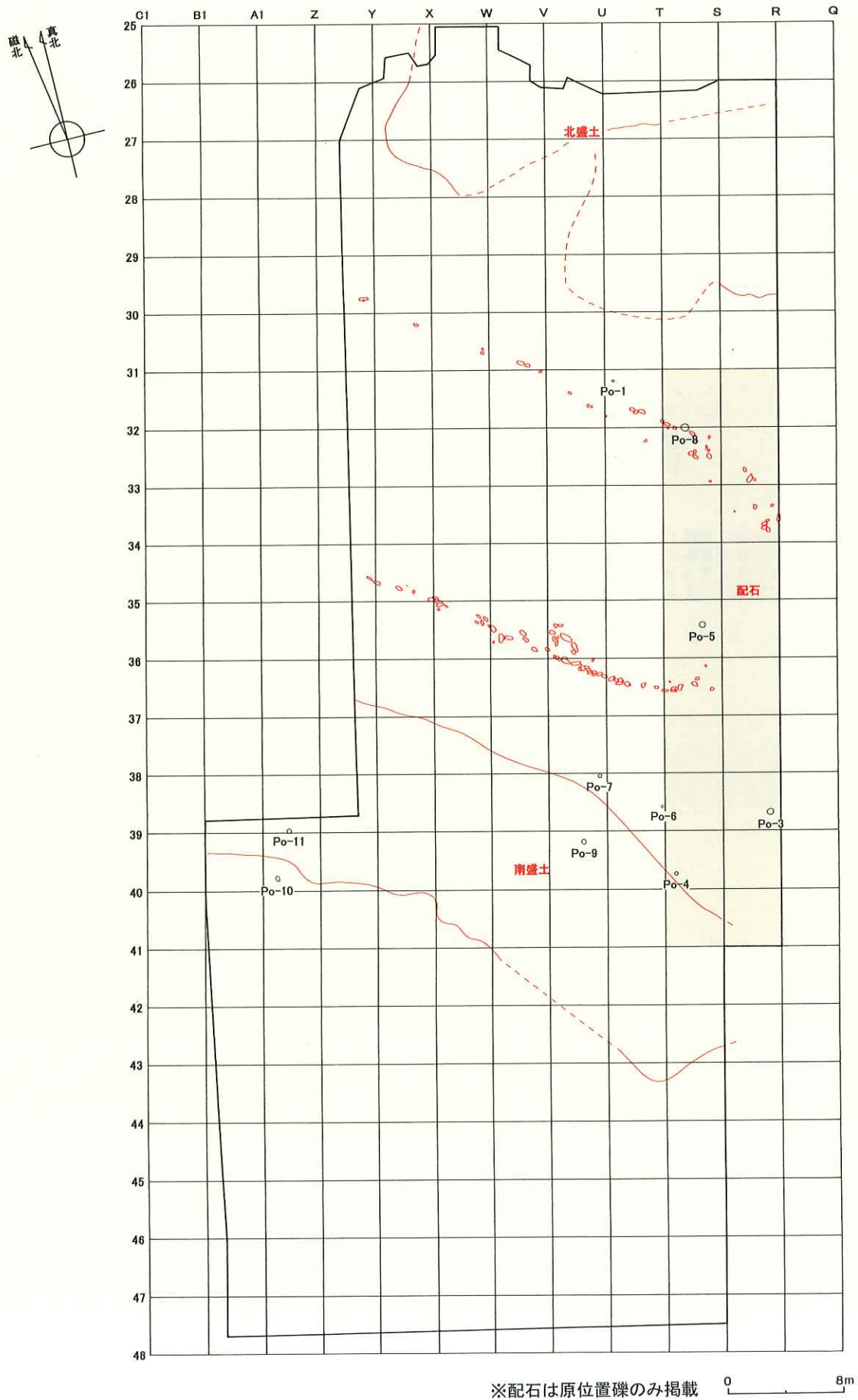
Y47 区



- 1: 粘土層 10YR4/6 褐
- 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
- 3: Ⅲ層 10YR1.7/1 黒
- 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐

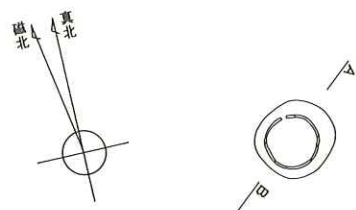
0 1m

図Ⅶ-82 X43・45・46 Y42・47区SP群



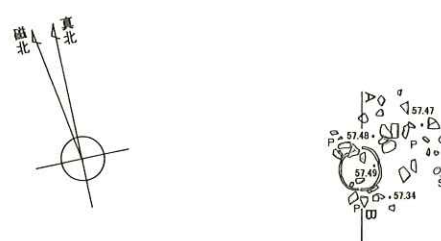
図VII-83 埋設土器(Po)分布図3分冊範囲

Po-3

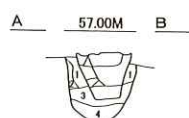


R38|Q38
R39|Q39

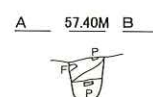
Po-4



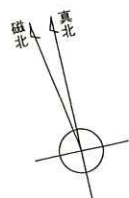
T39|S39
T40|S40



- 1:7.5YR2/3 暗褐 L 中 軟 III>IV
2:7.5YR2/2 黒褐 L 中 軟 IV
3:7.5YR2/1 黒 L 中 軟 III
4:7.5YR4/2 灰褐 L 中 軟 V>IV 焼土



Po-5

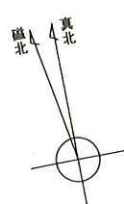


S34|R34
S35|R35

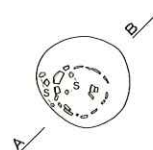


- 1:7.5YR4/1 褐灰 L 中 堅 IV=V
Vが粒状に混入する

Po-8

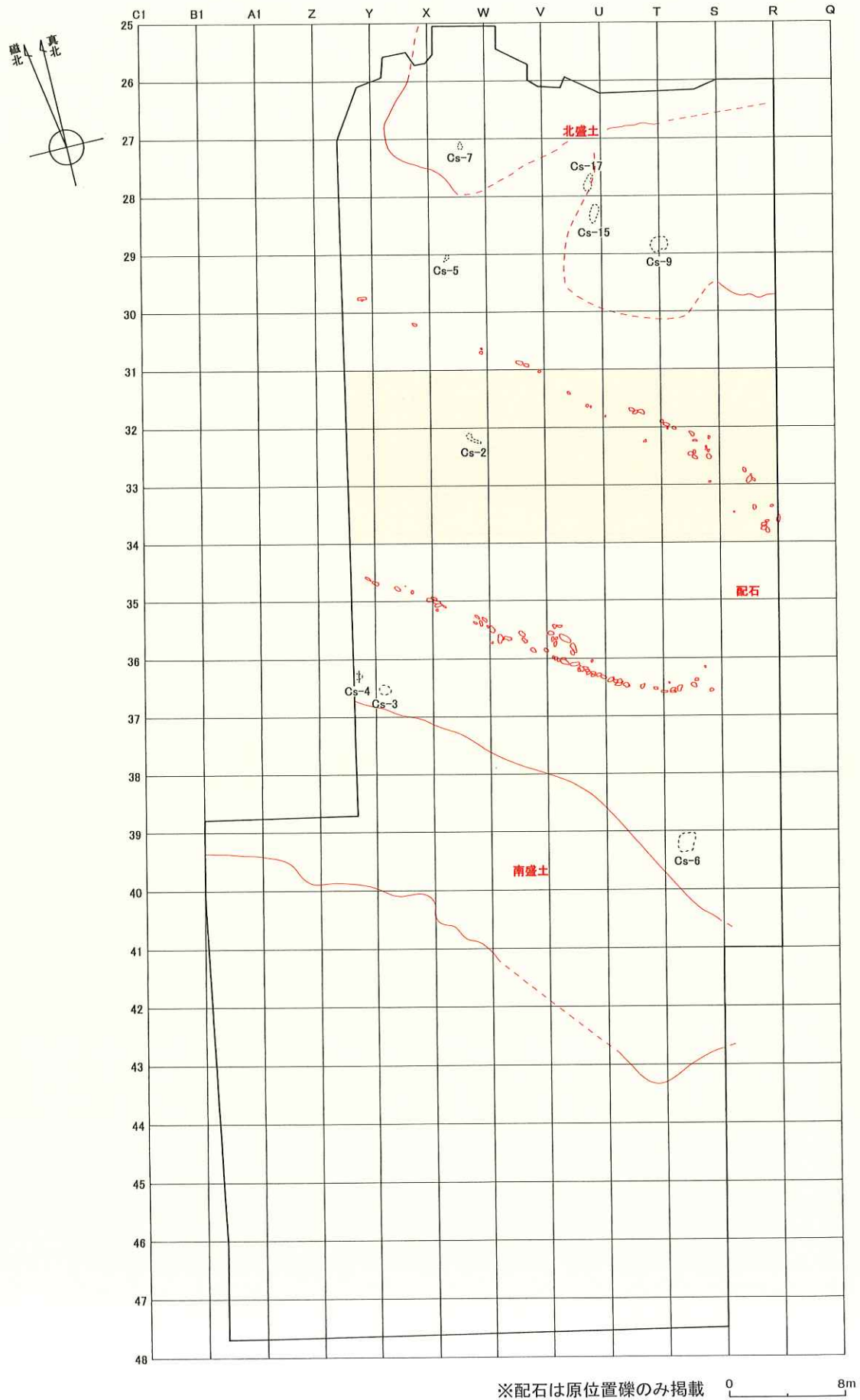


T31|S31
T32|S32

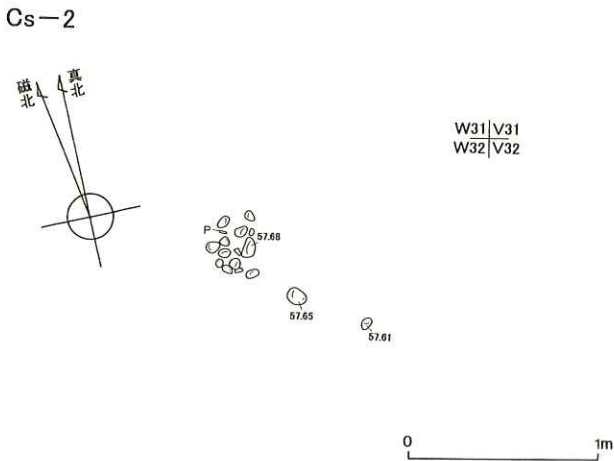


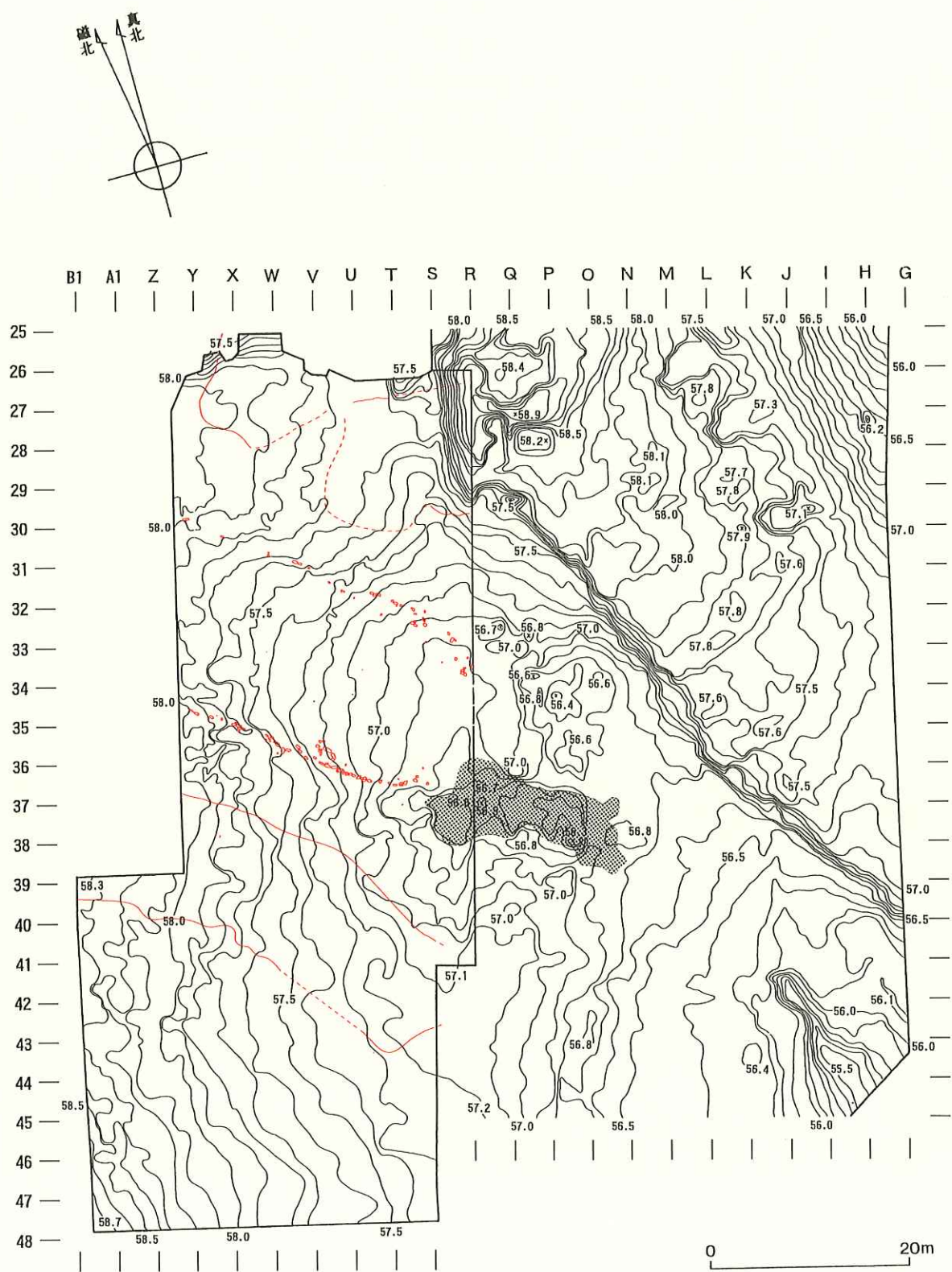
- 粘土層:10YR2/2 黒褐 L 中 軟 III>IV 粘土
整地層:10YR5/3 にぶい黄褐 L 中 軟 V>IV
Vがブロック状に混入する
1:10YR5/4 にぶい黄褐 L 中 軟 IV=V
Vが粒状に混入する

0 1m



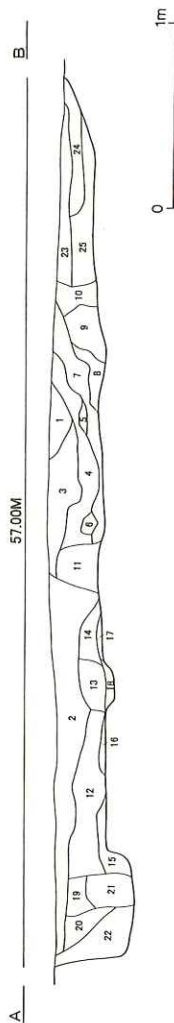
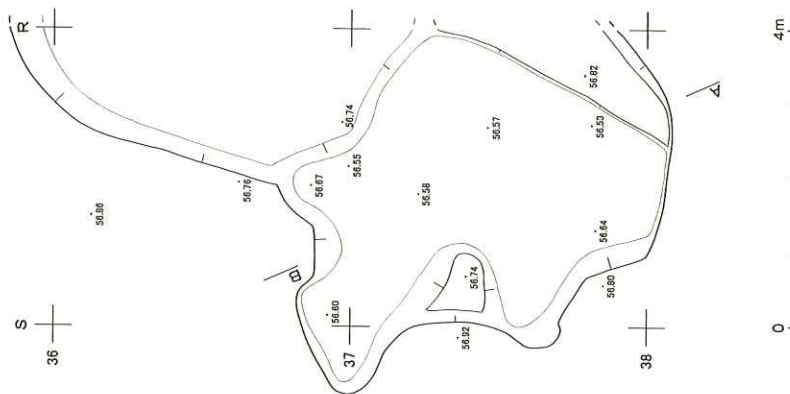
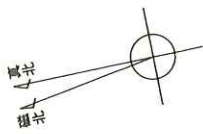
図VII-85 小礫集中(Cs)分布図3分冊範囲





図VII-87 D-1 H-15・16年度位置図

D-1

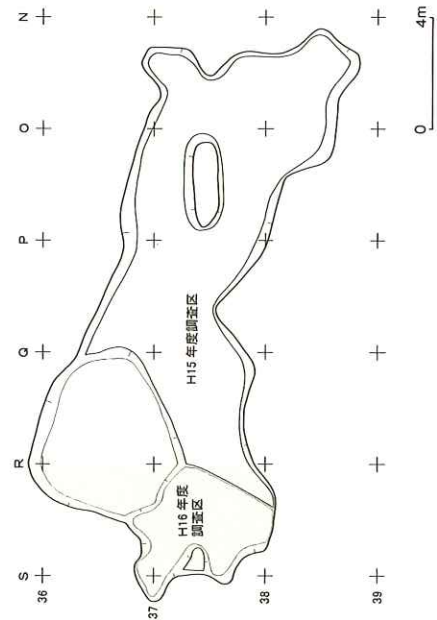


- 1:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
 2:10YR5/2 灰黄褐 L 中 軟 V>III
 3:7.5YR4/2 灰褐 L 中 軟 V>IV 焼土
 4:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
 5:10YR5/6 褐 L 中 軟 V
 6:10YR3/2 黒褐 L 中 軟 IV
 7:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 8:10YR4/6 褐 L 中 軟 V>IV
 9:7.5YR5/8 明褐 軟 V 焼土
 10:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 11:10YR3/2 暗褐 L 中 軟 IV
 12:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
 13:5YR5/8 明赤褐 軟 IV 焼土

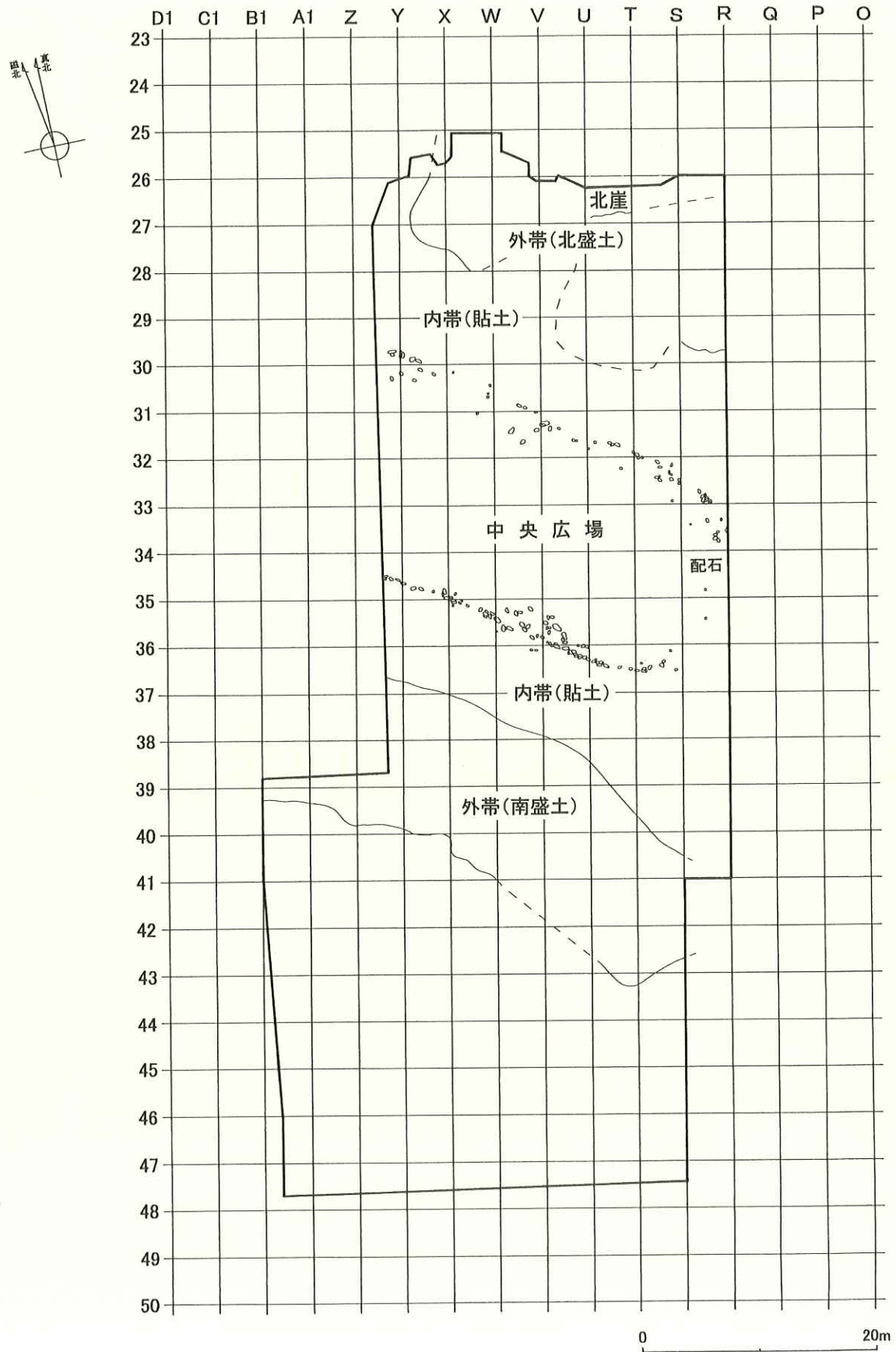
- 14:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
 15:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
 16:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
 17:7.5YR4/6 褐灰 軟 V>III 焼土
 18:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
 19:10YR3/4 暗褐 L 中 堅 IV>V
 20:10YR3/3 暗褐 L 中 軟 IV>V
 21:10YR2/3 黒褐 L 中 軟 IV>III
 22:10YR4/6 褐 L 中 焼土 軟 V>IV
 23:10YR7/6 明黄褐 L 中 堅 V
 24:10YR7/4 にぶい黄褐 L 中 軟 V
 25:10YR5/6 褐 L 中 軟 V

炭化材を含む

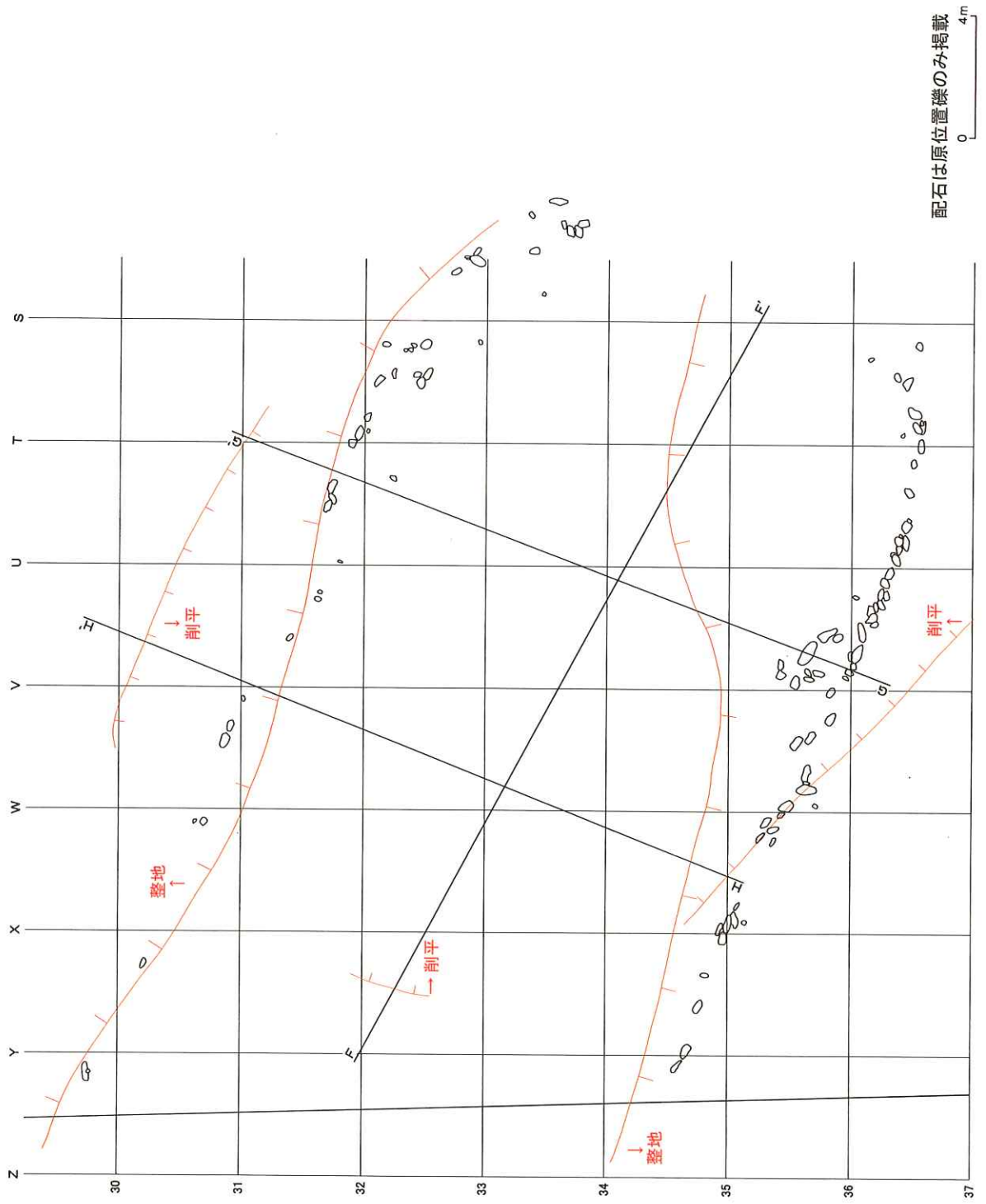
H15・H16 年度調査区



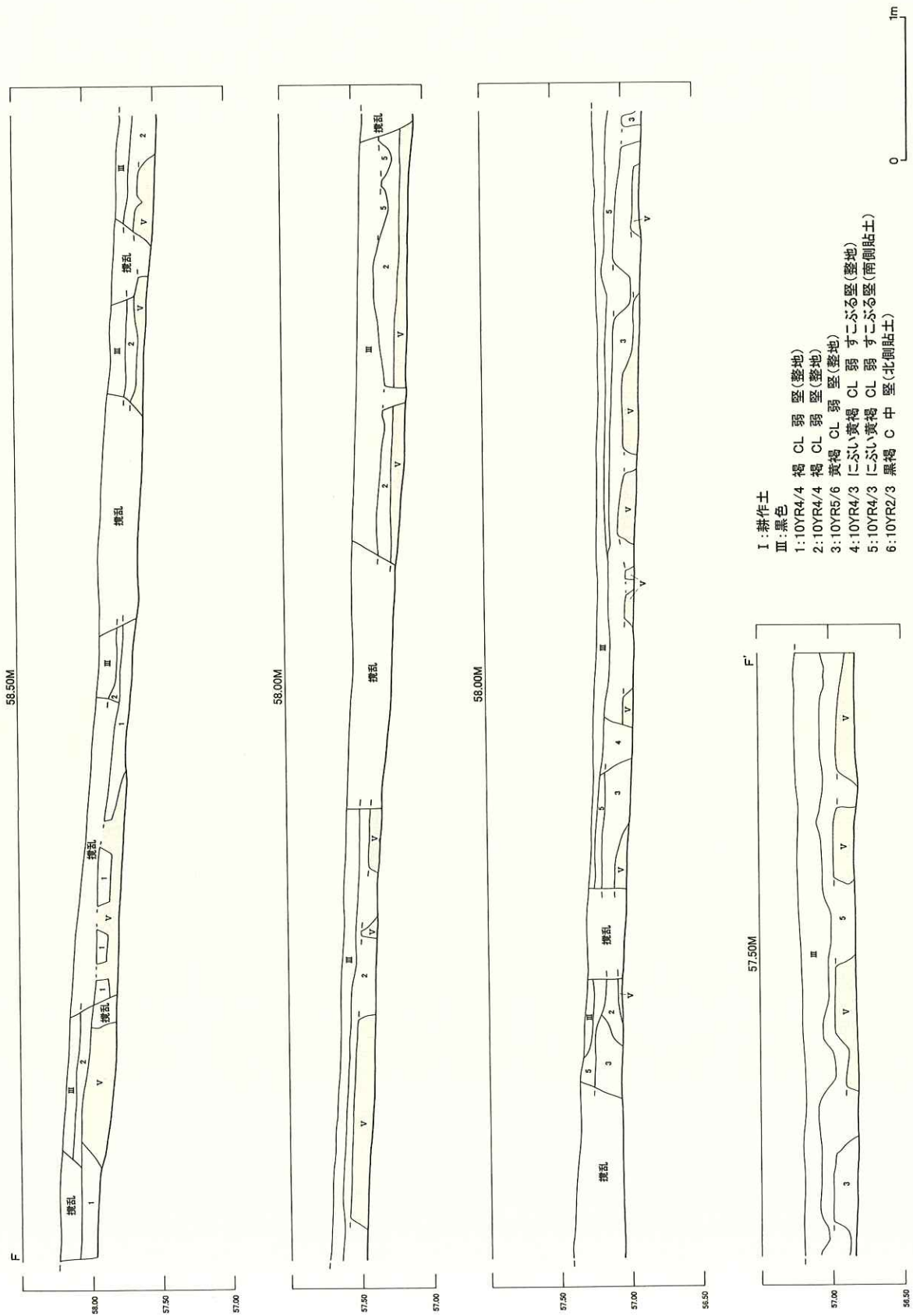
図VII-88 D-1



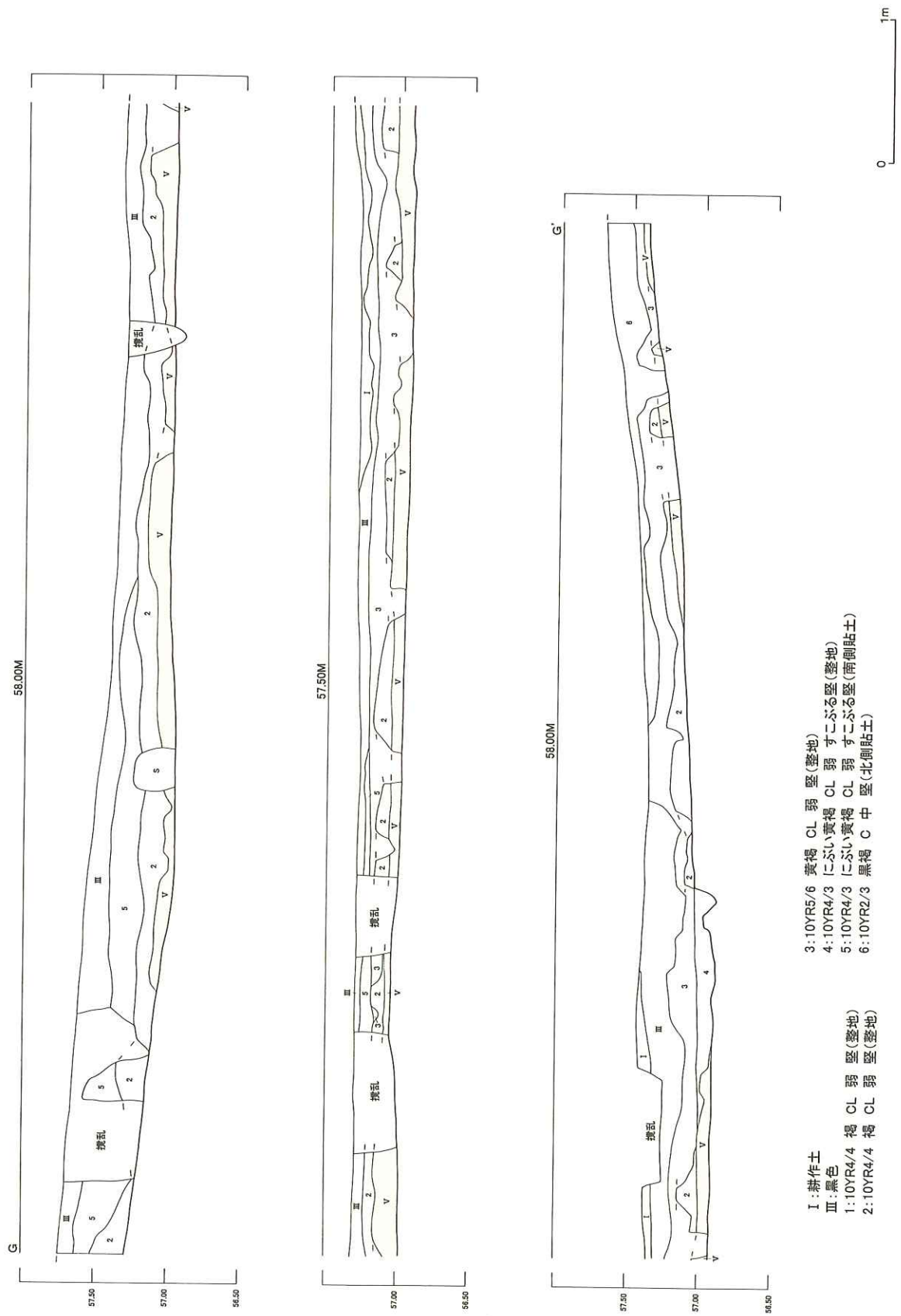
図Ⅶ-89 遺構群の概念模式図



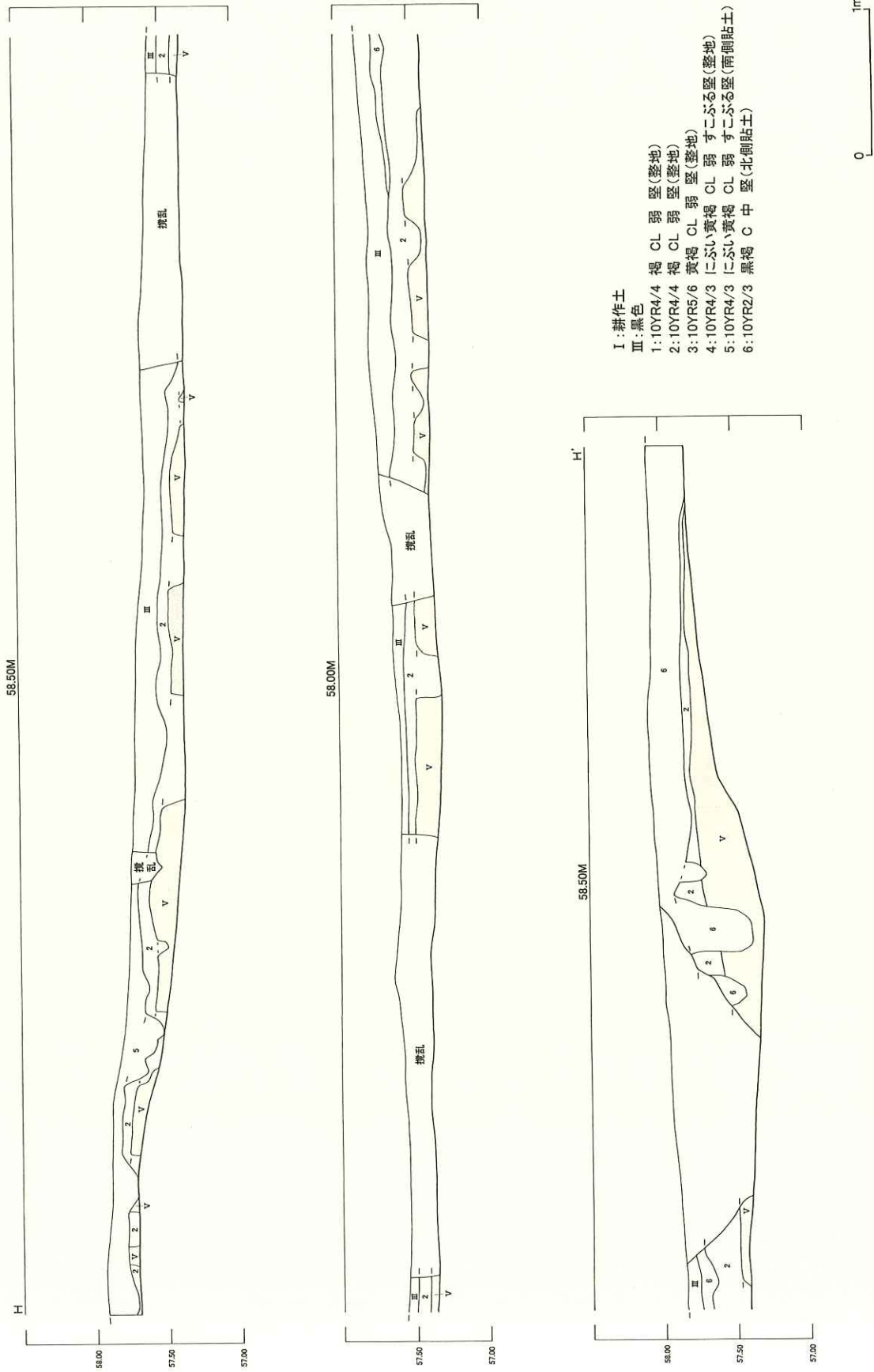
図Ⅷ-90 広場セクション設定図



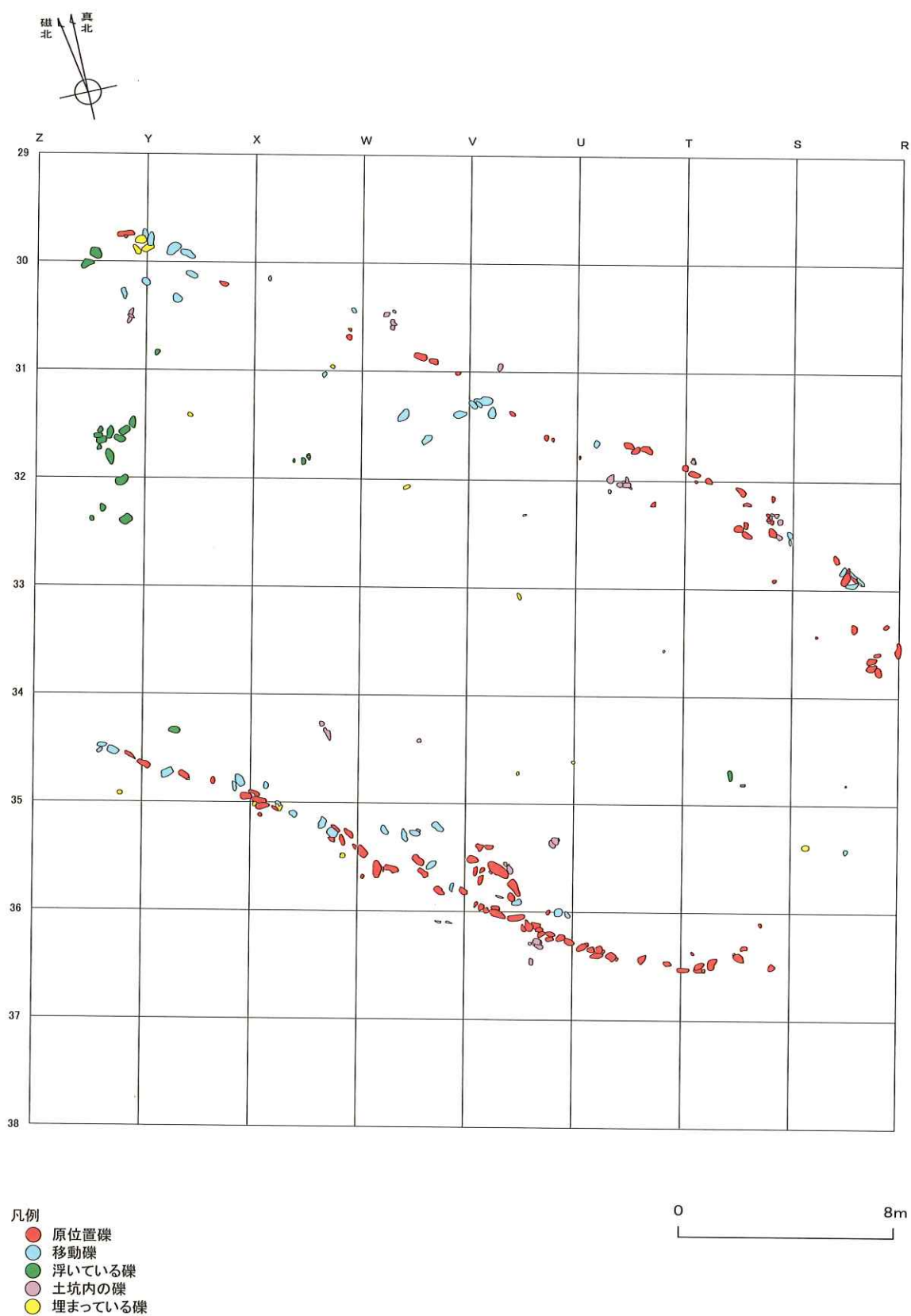
図VII-91 メインセクション図 (1)



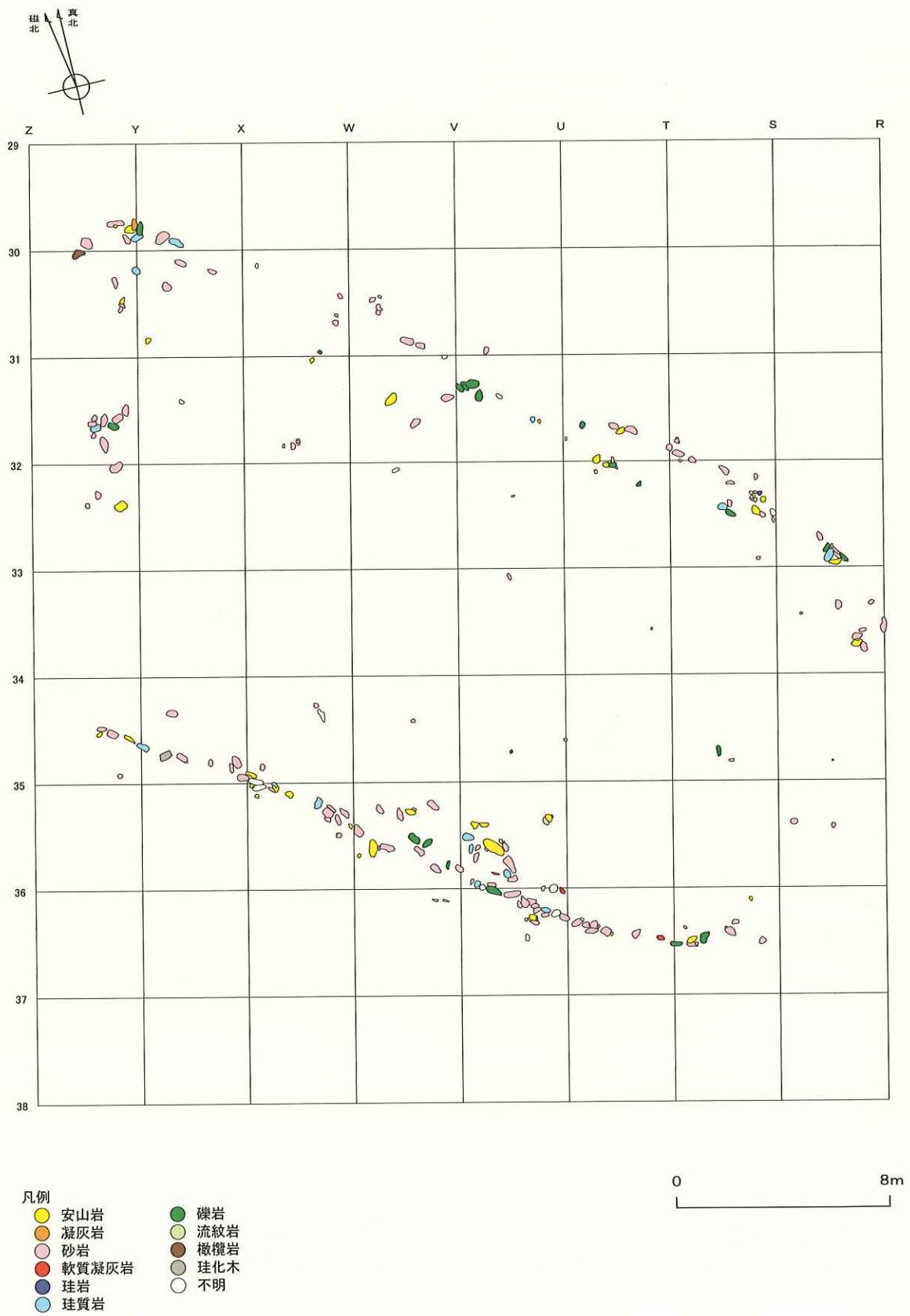
図VII-92 メインセクション図 (2)



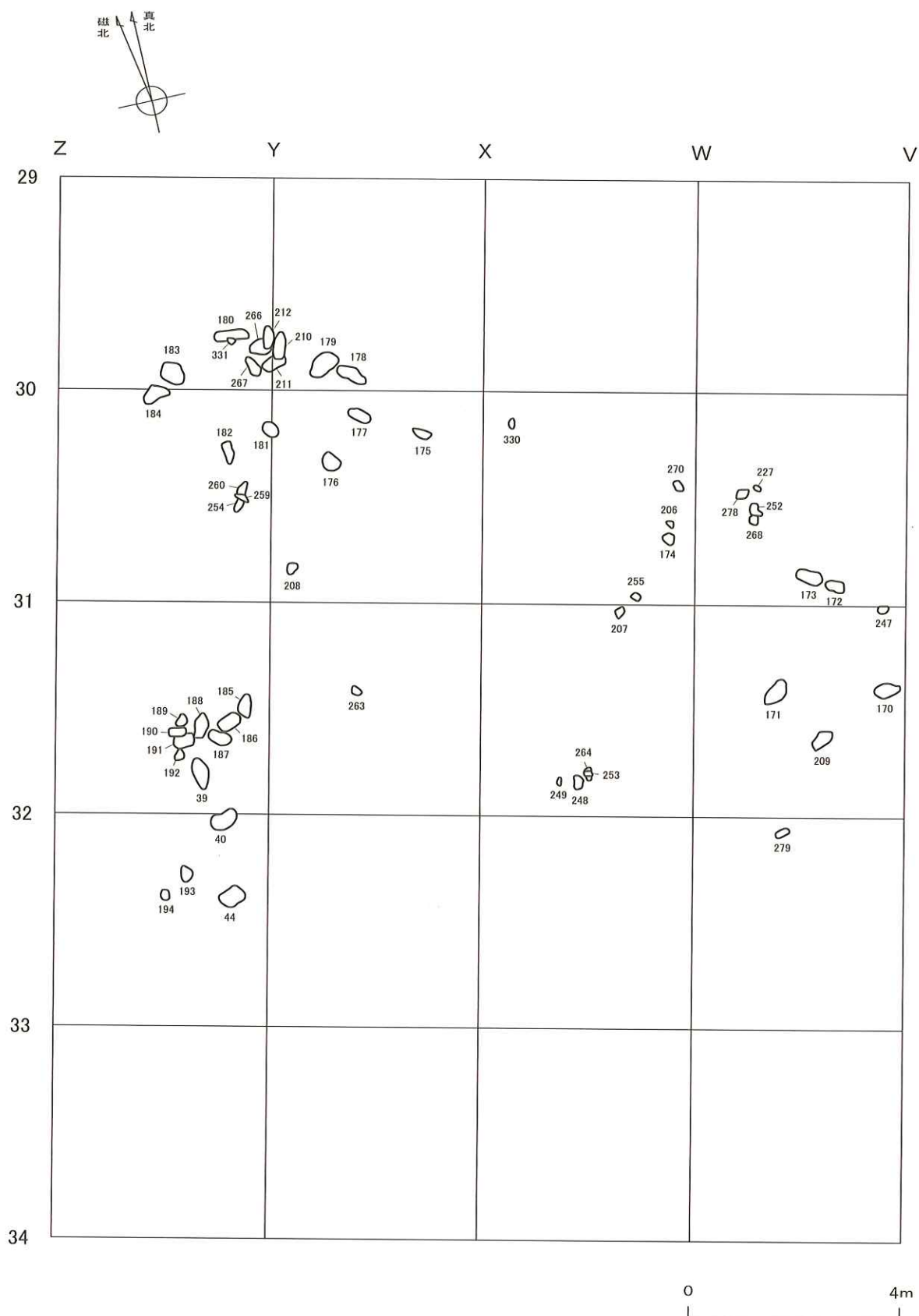
図Ⅶ-93 メインセクション図(3)



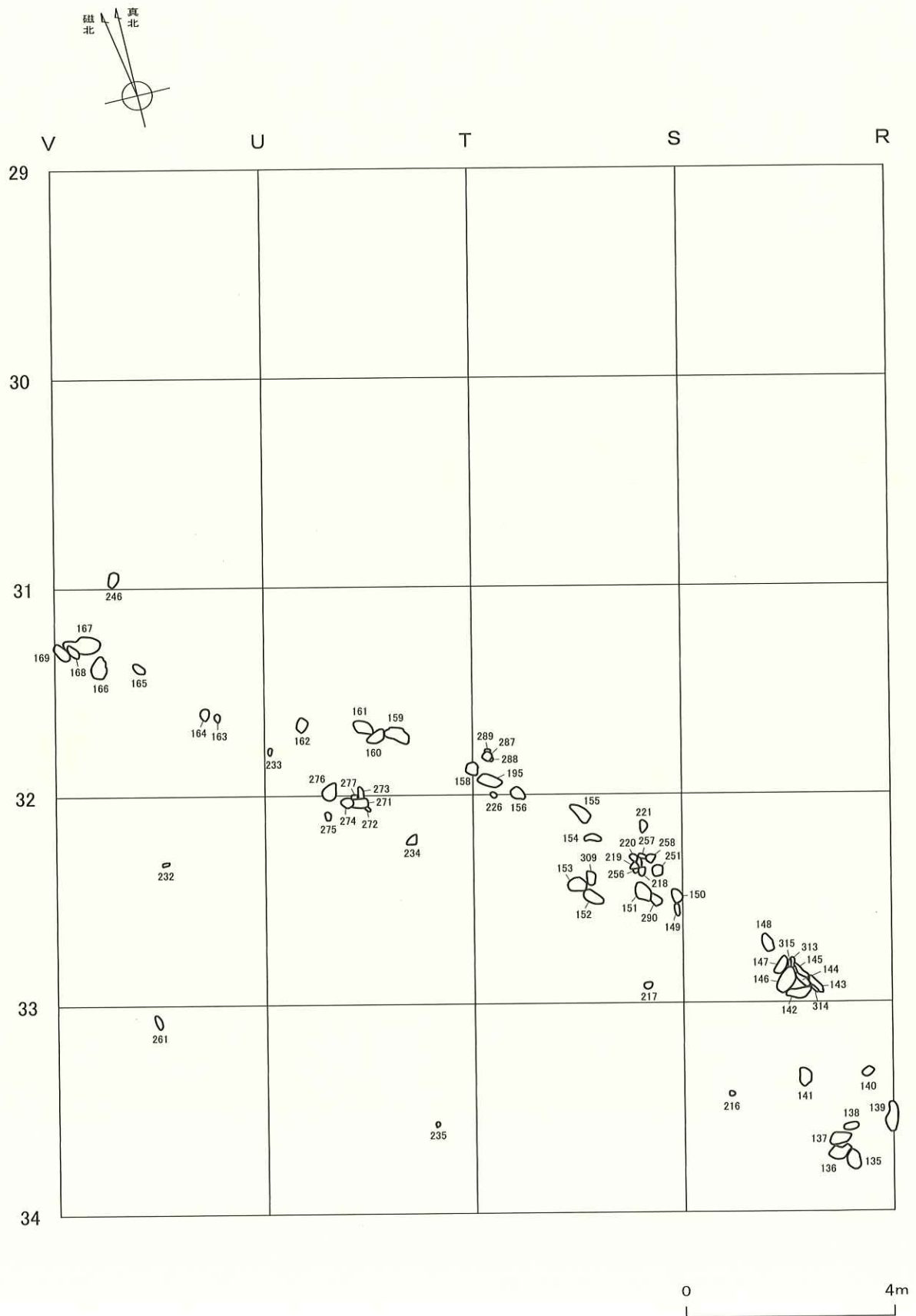
図Ⅶ-94 配石遺構位置図



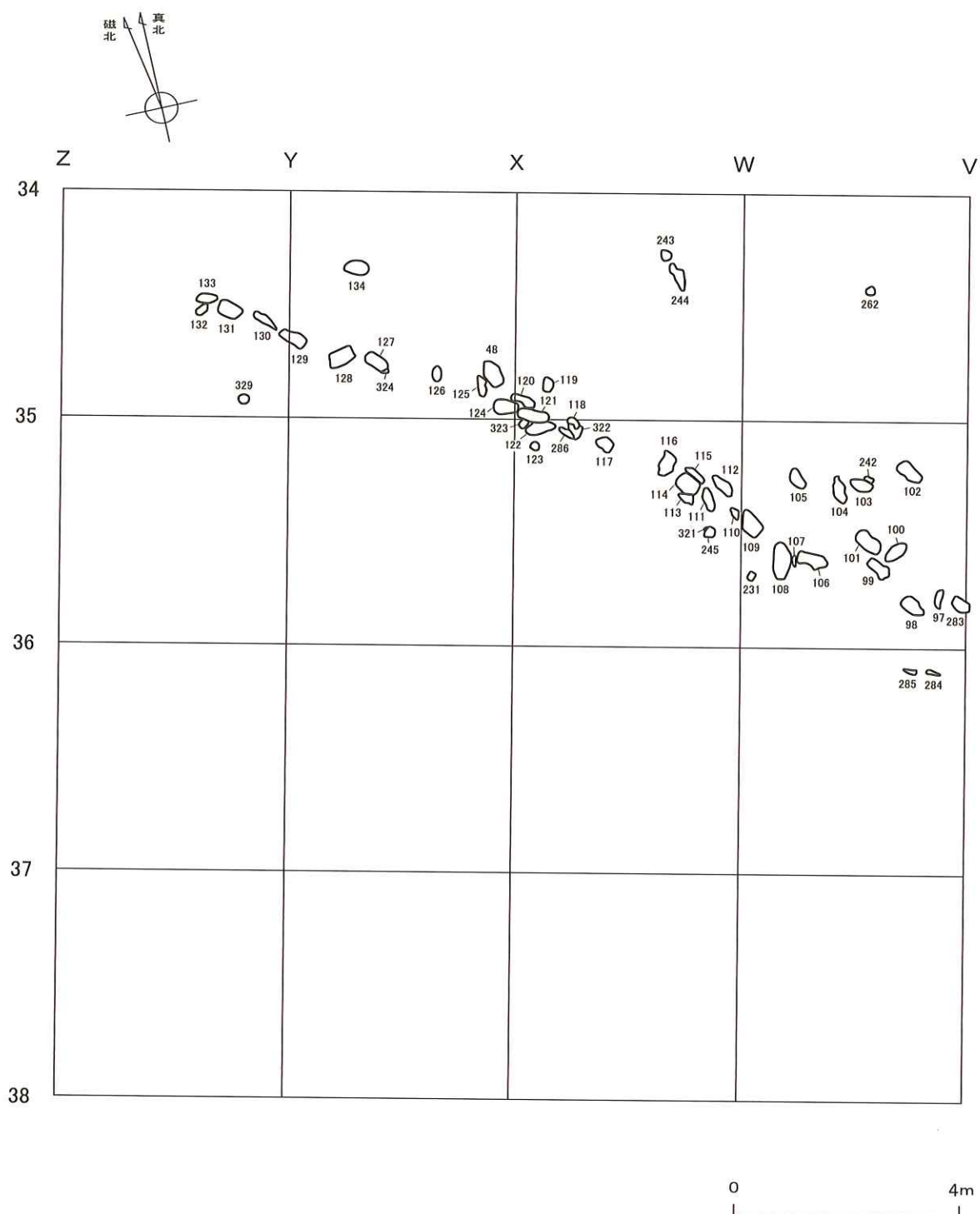
図Ⅶ-95 配石遺構石質図



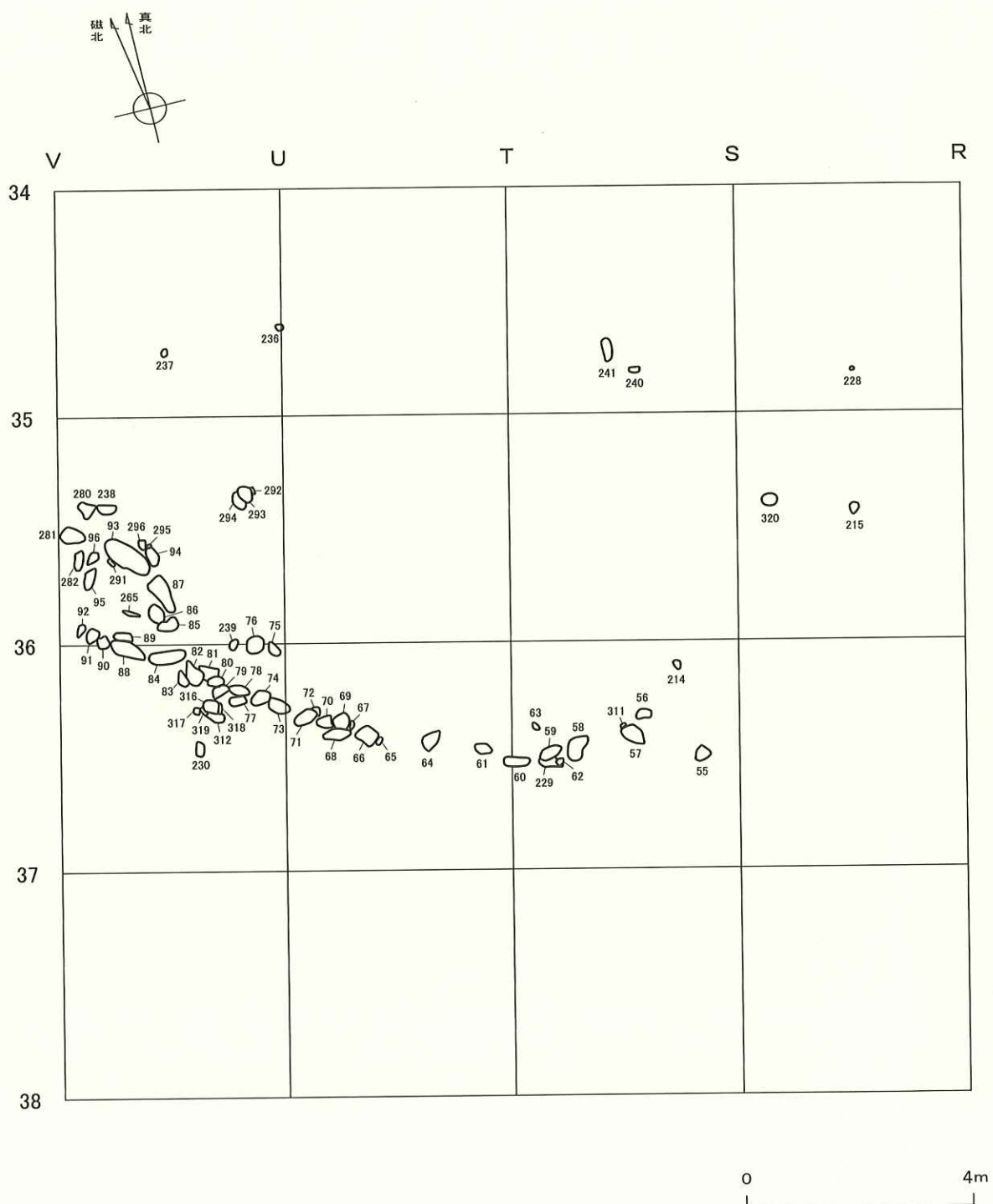
図Ⅶ-96 北側配石分布図(1)



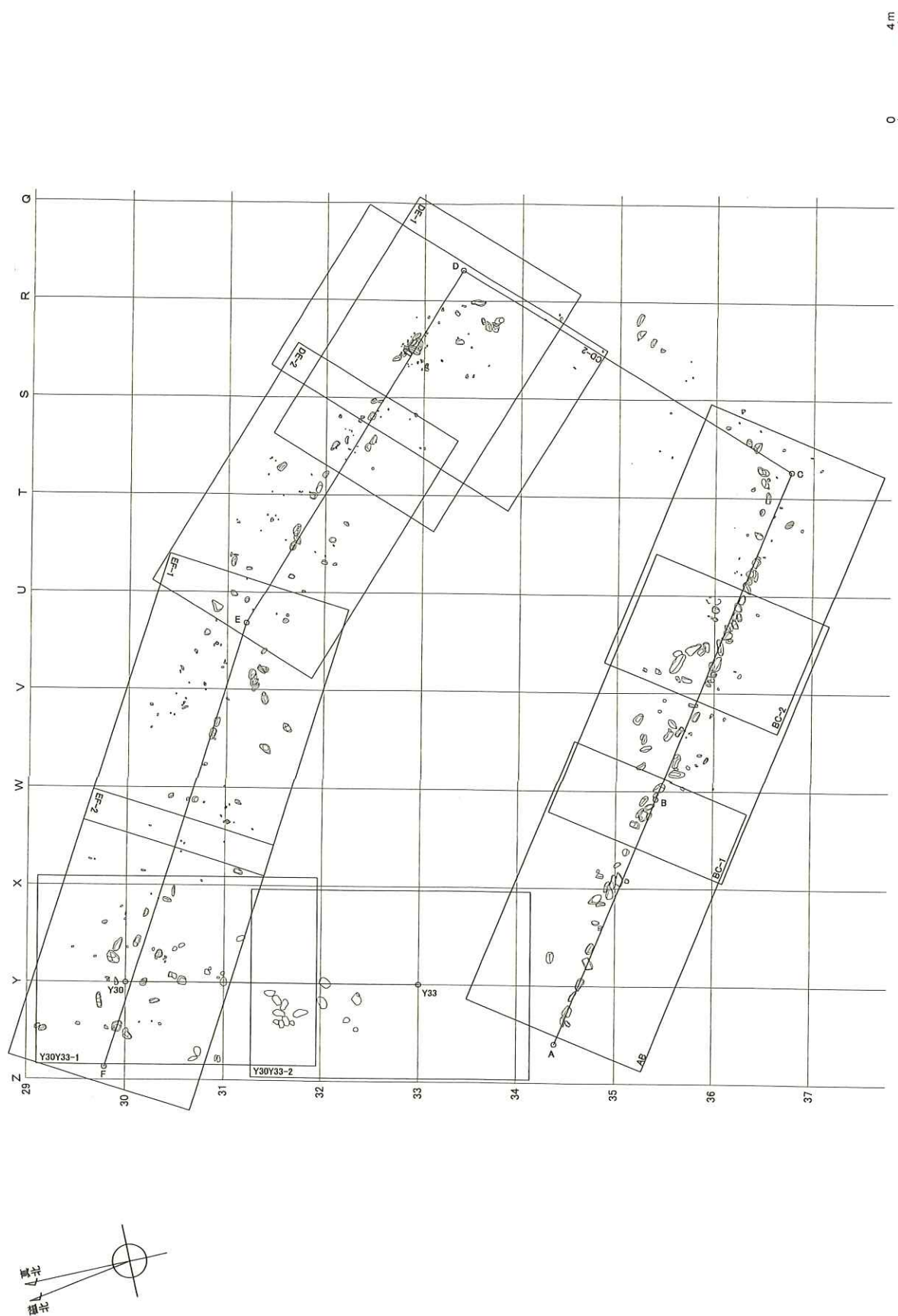
図Ⅶ-97 北側配石分布図(2)



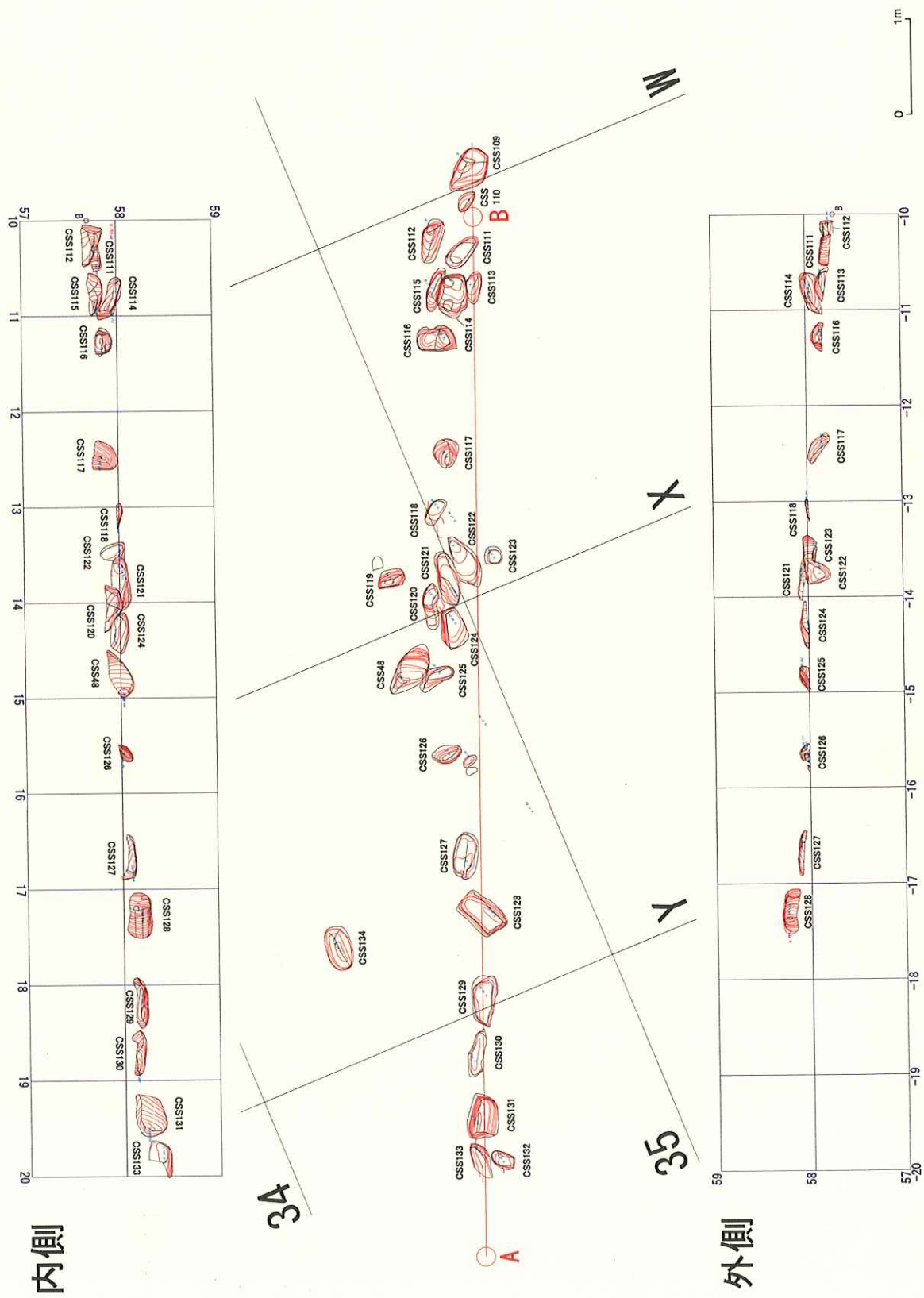
図Ⅶ-98 南側配石分布図(1)



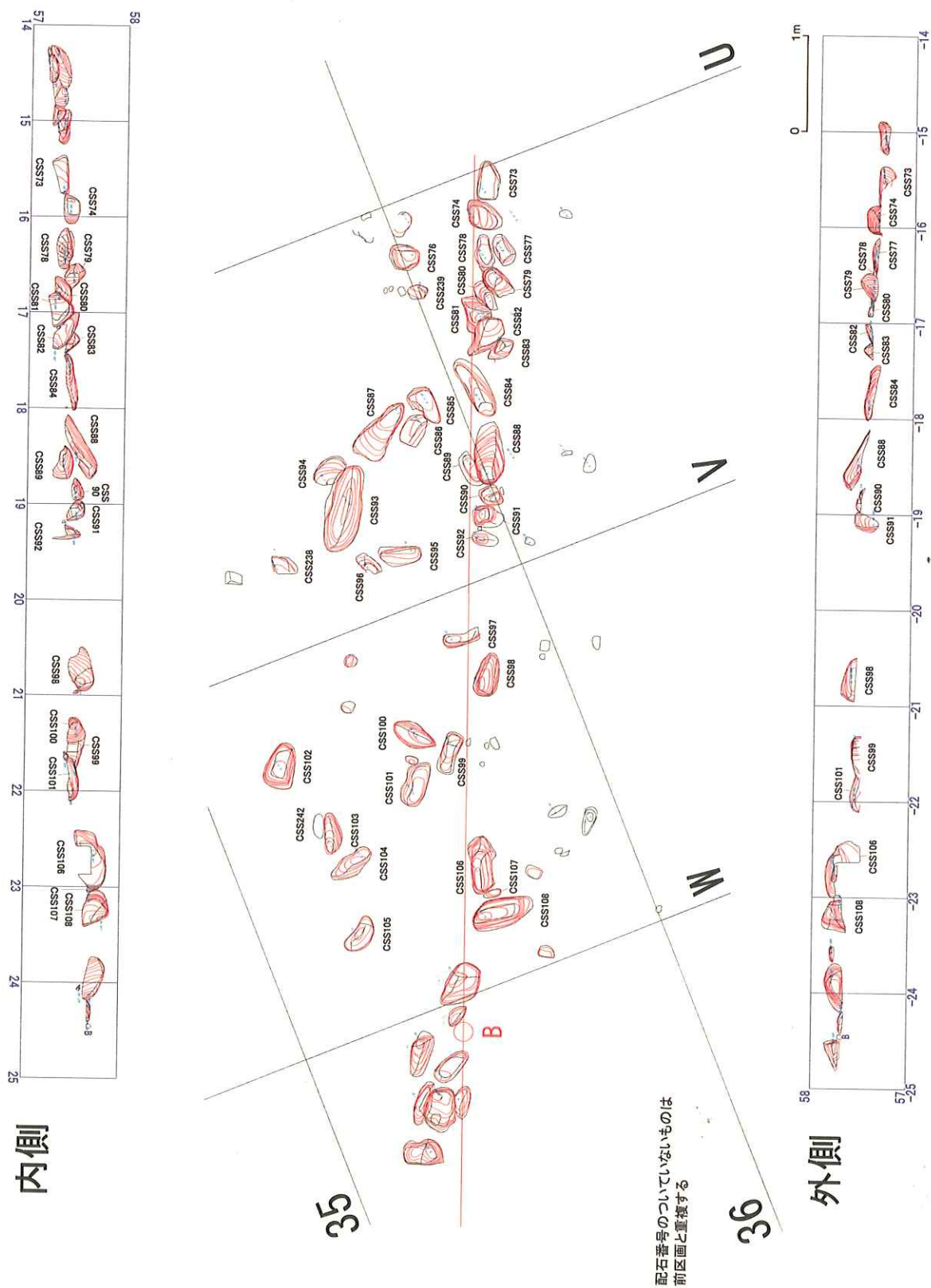
圖VII—99 南側配石分布圖(2)



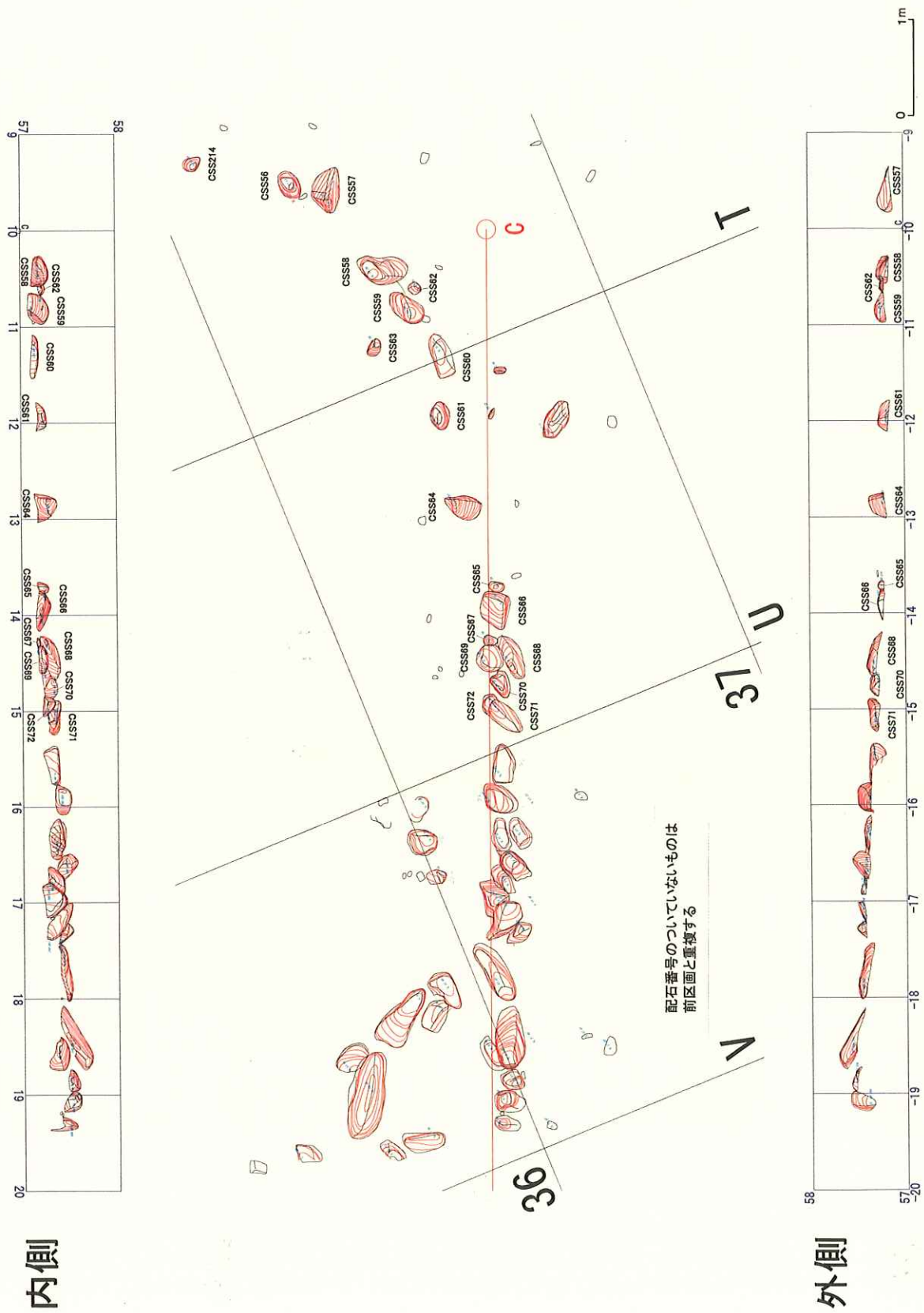
図VII-100 配石測量図(1)



图VII-101 配石測量図(2)

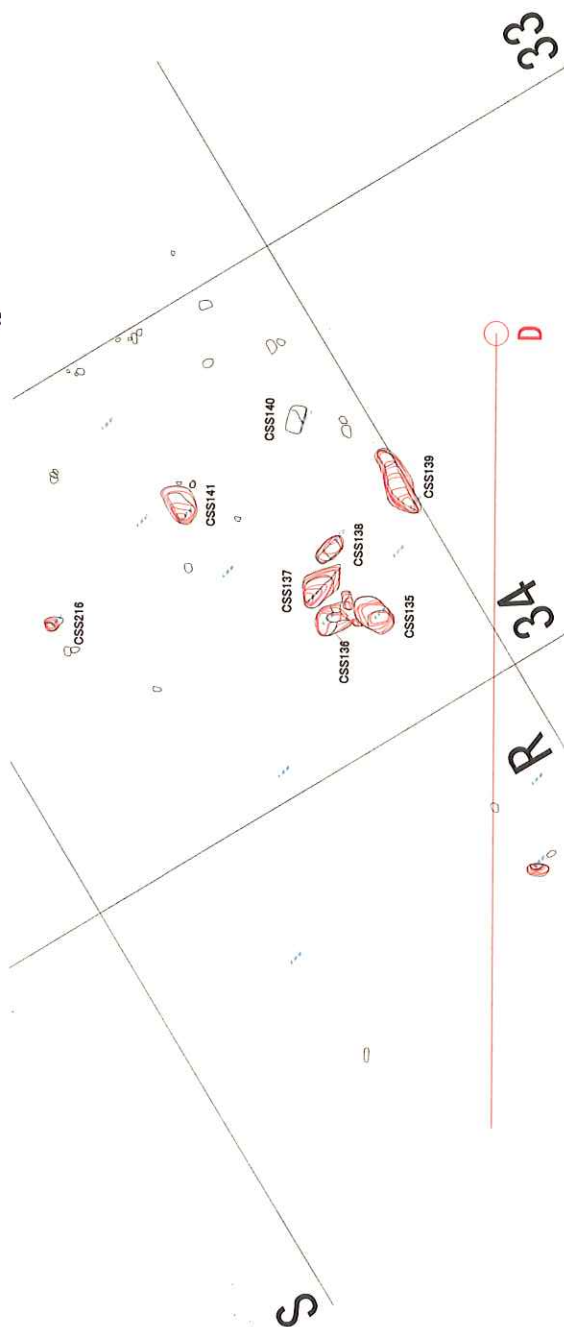
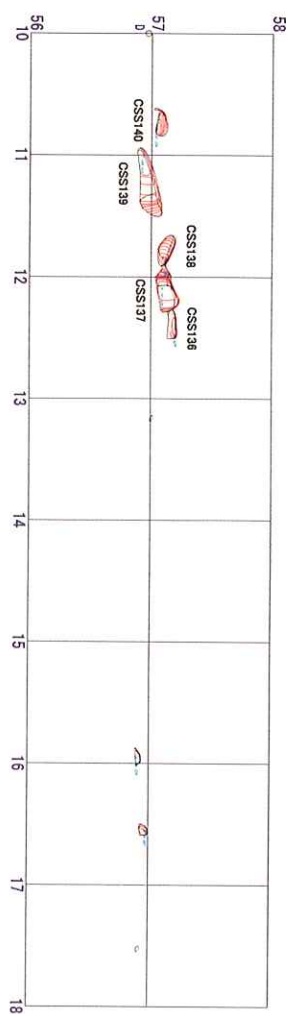


図VII-102 配石測量図(3)

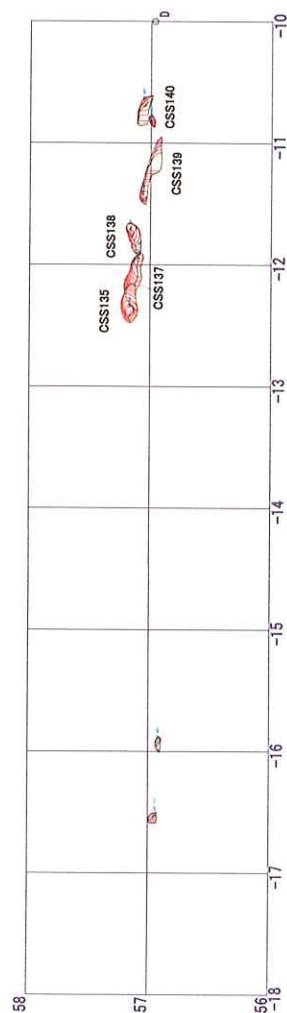


図Ⅶ-103 配石測量図(4)

内側

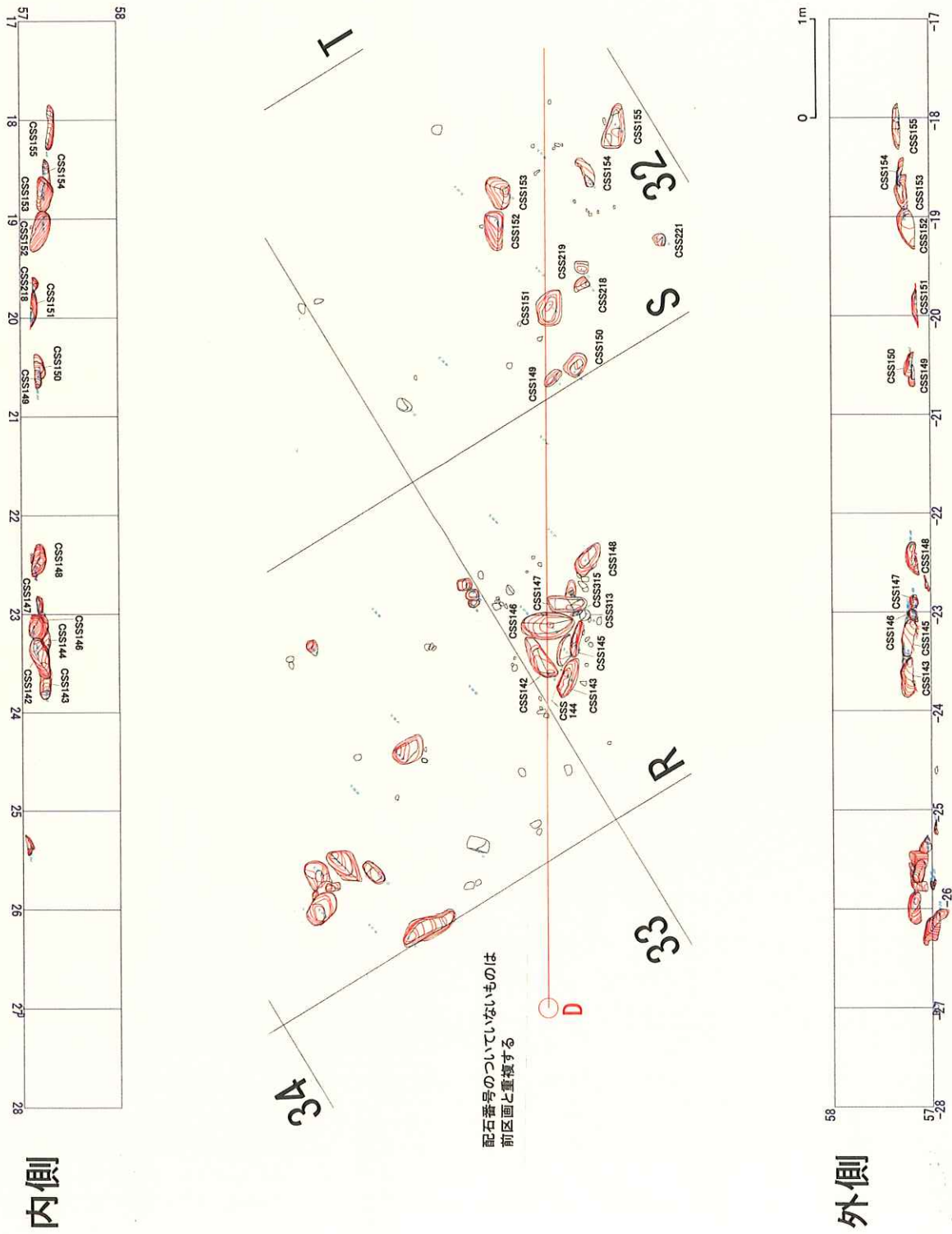


外側

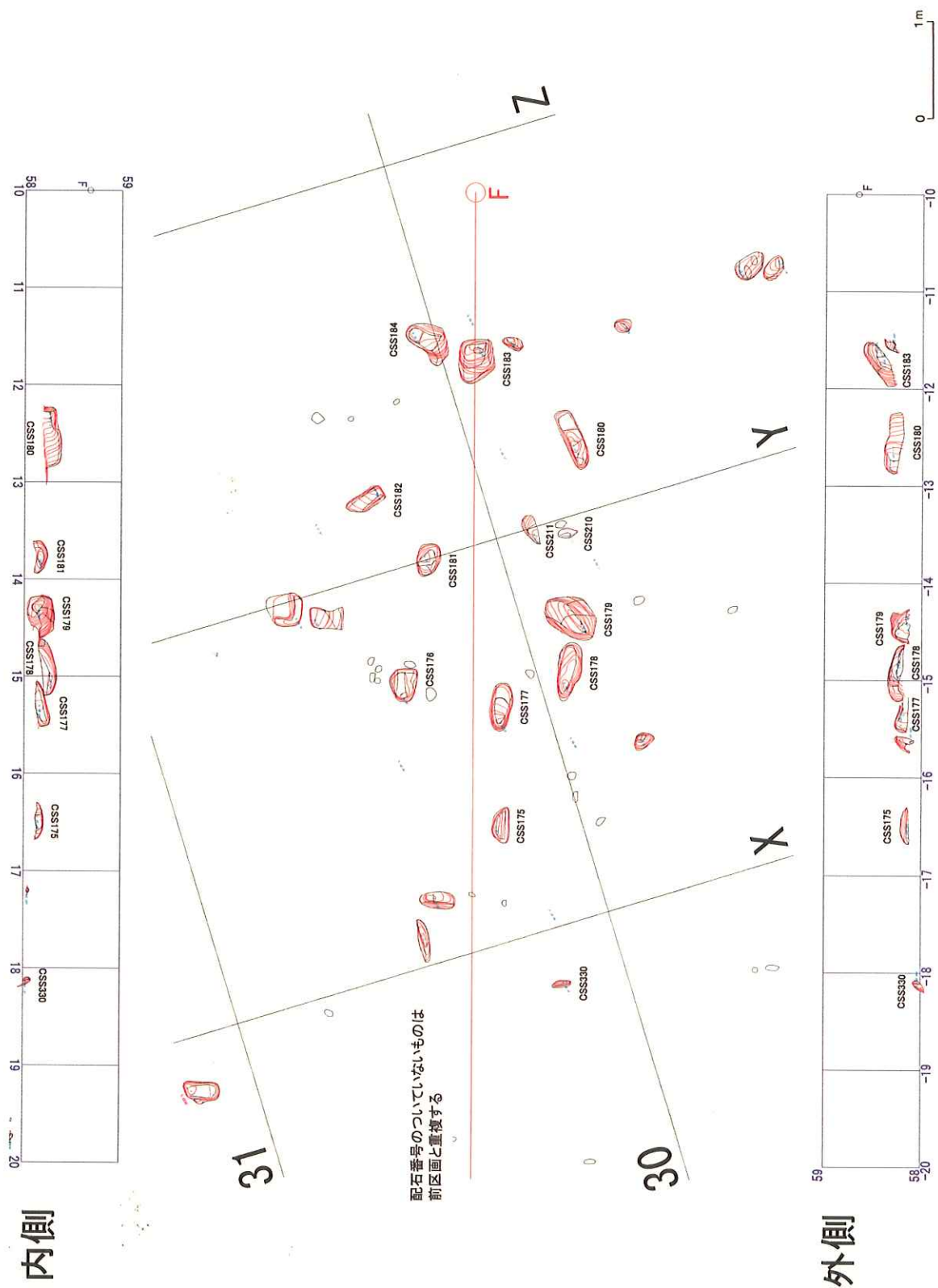


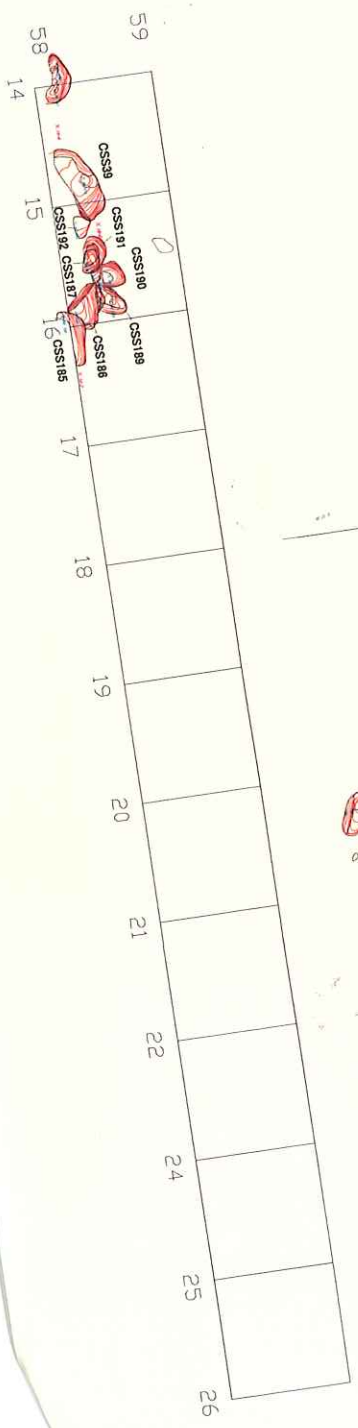
0 1m

図VII-104 配石測量図(5)

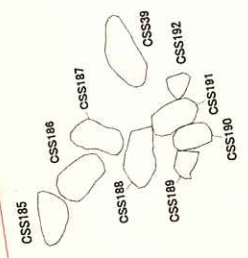


図Ⅶ-105 配石測量図(6)





内側



Y

Y30

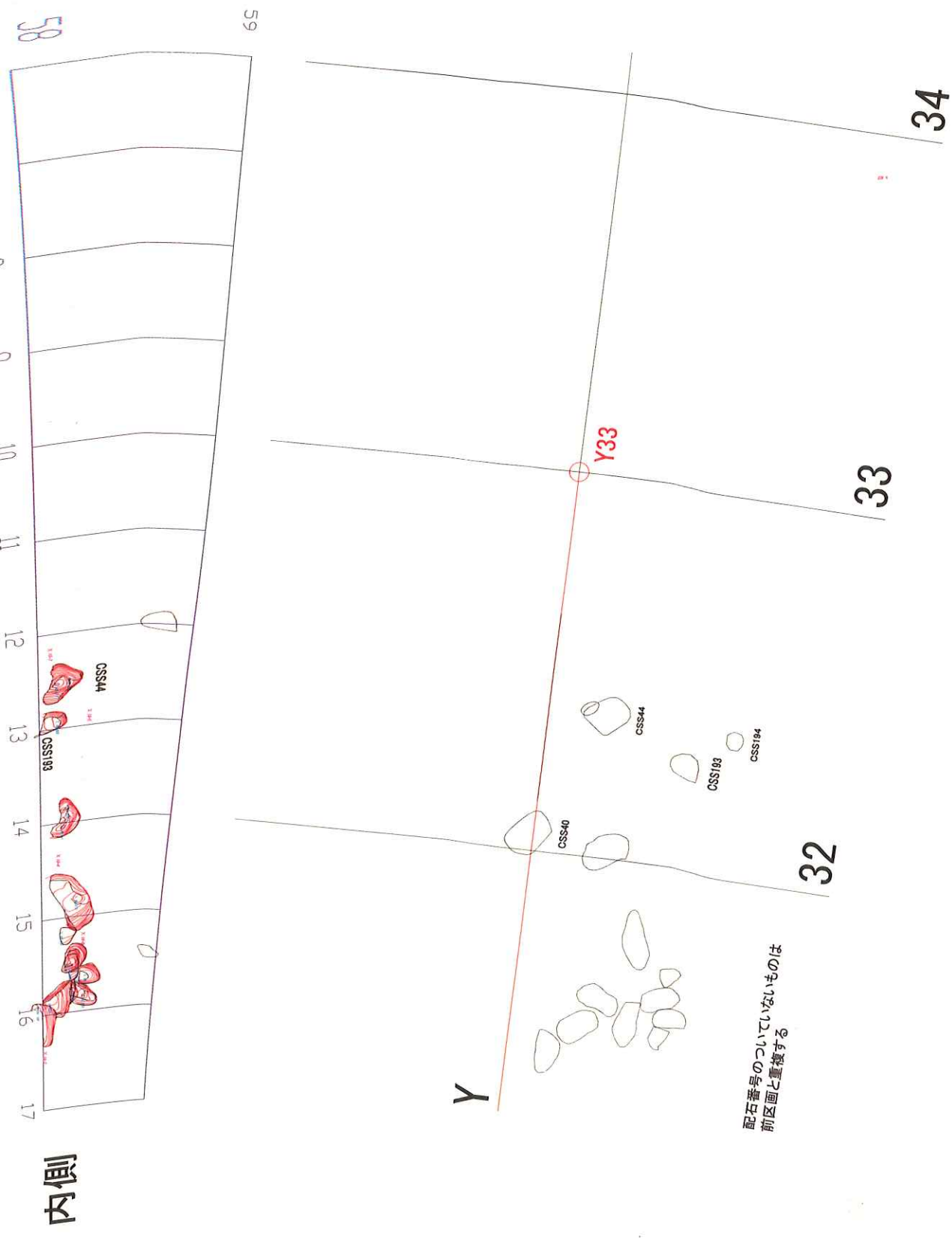
配石番号のついていないものは
前区画と重複する

32

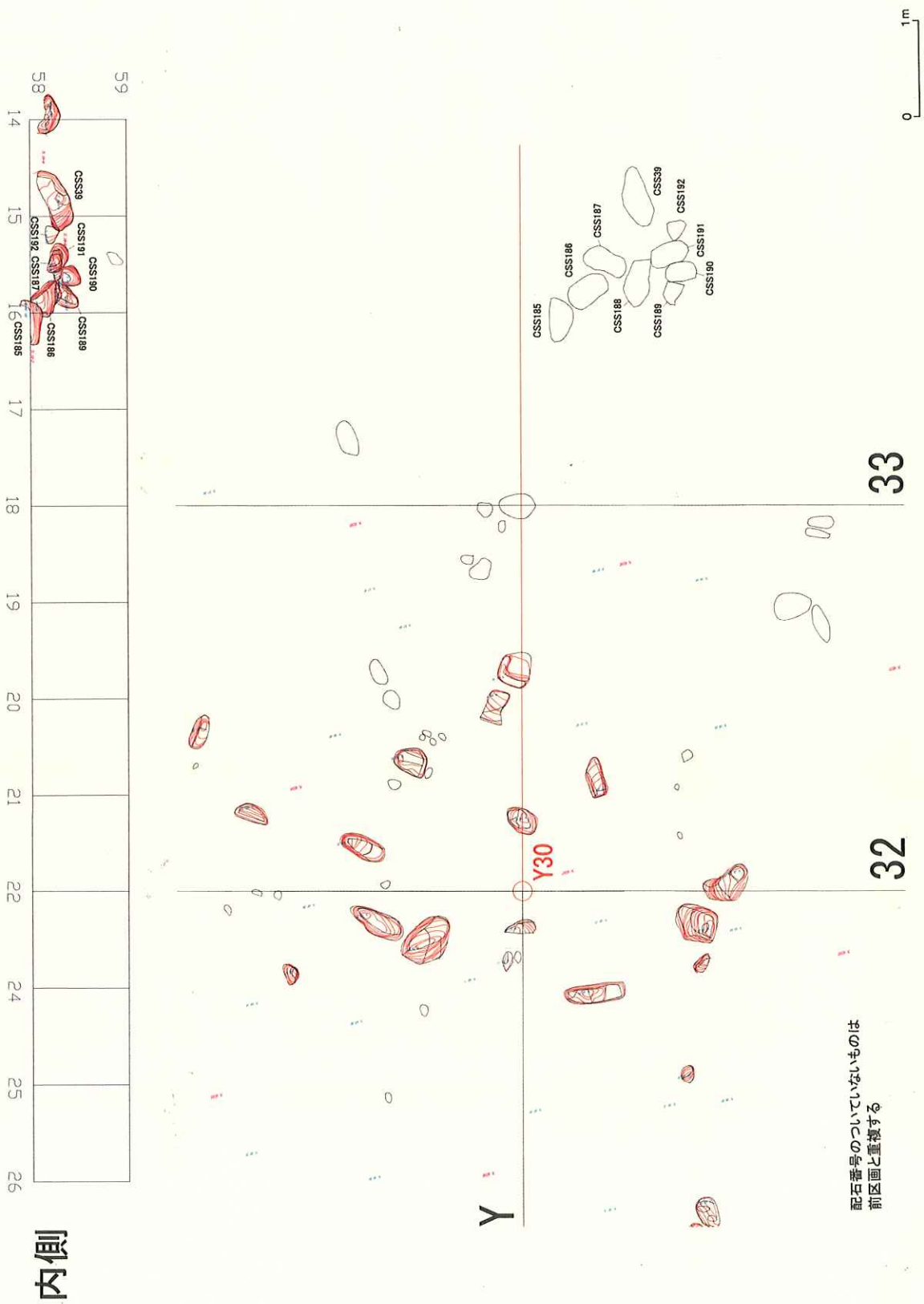
33



図VII-109 配石測量図 (10)



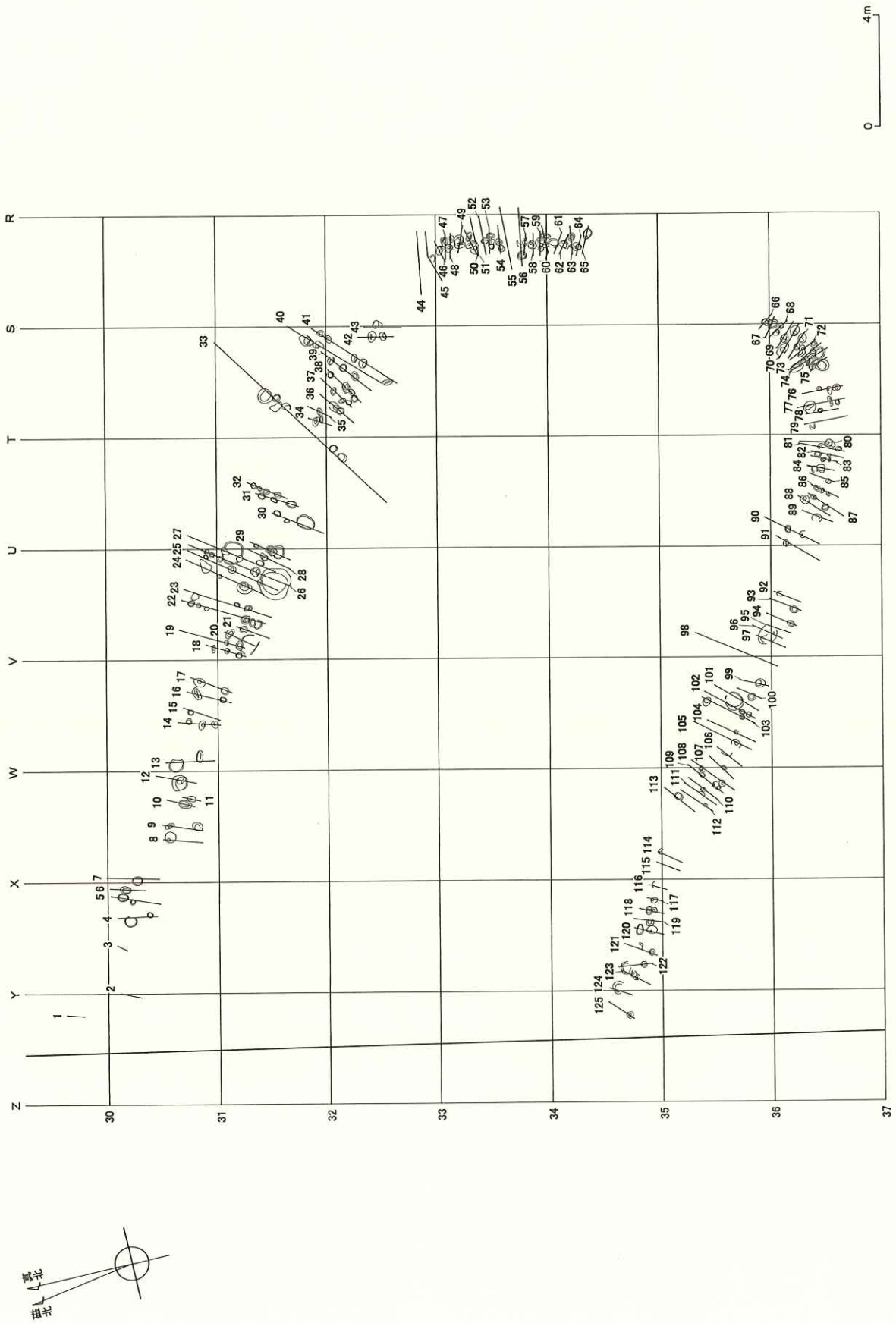
図Ⅶ-110 配石測量図 (11)



図Ⅶ-109 配石測量図(10)

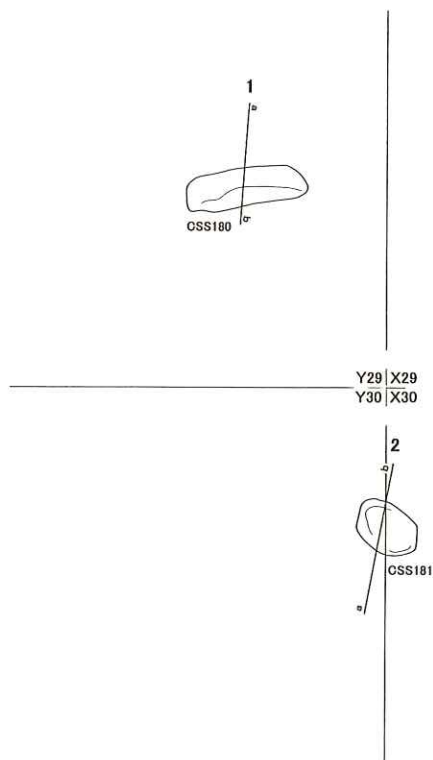
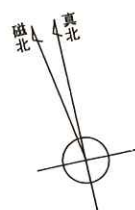


図Ⅶ-110 配石測量図 (11)

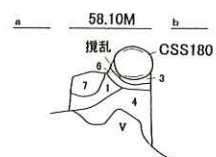


図Ⅶ-112 配石ベルト設定図

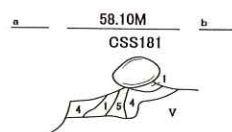
ベルト 1 2



ベルト 1



ベルト 2

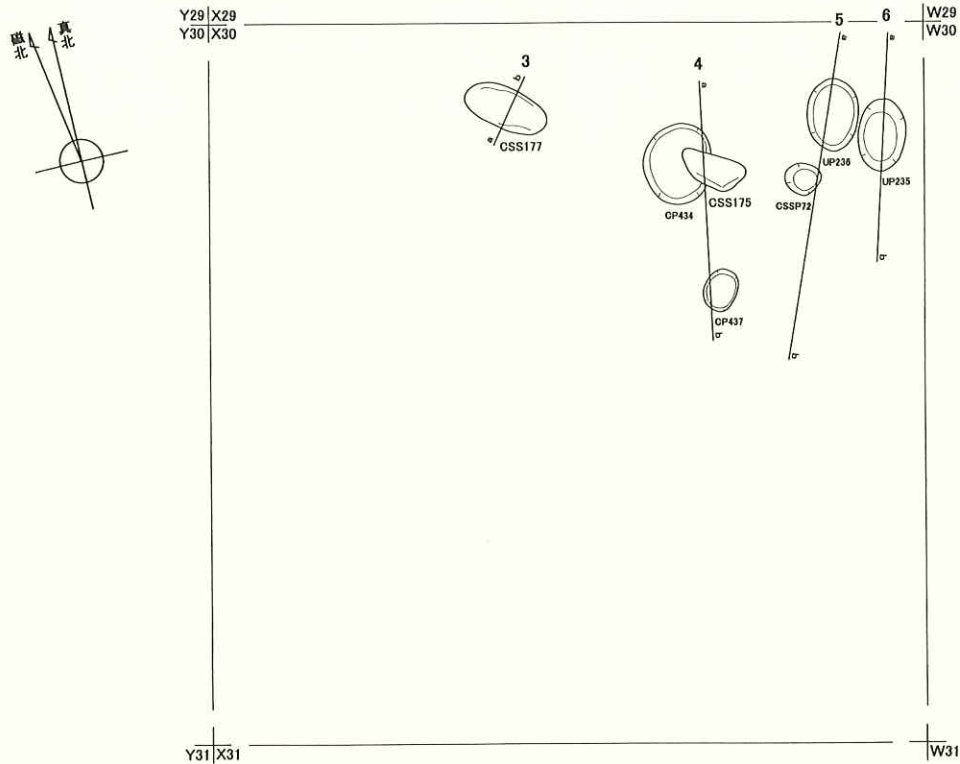


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

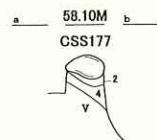
0 1m

図Ⅶ-113 配石ベルト土層図(1)

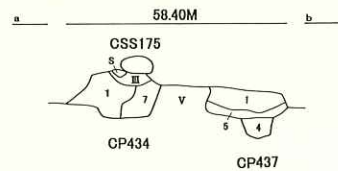
ベルト 3～6



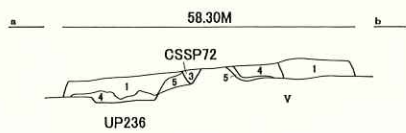
ベルト 3



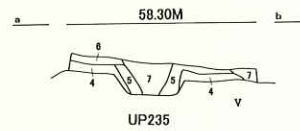
ベルト 4



ベルト 5



ベルト 6



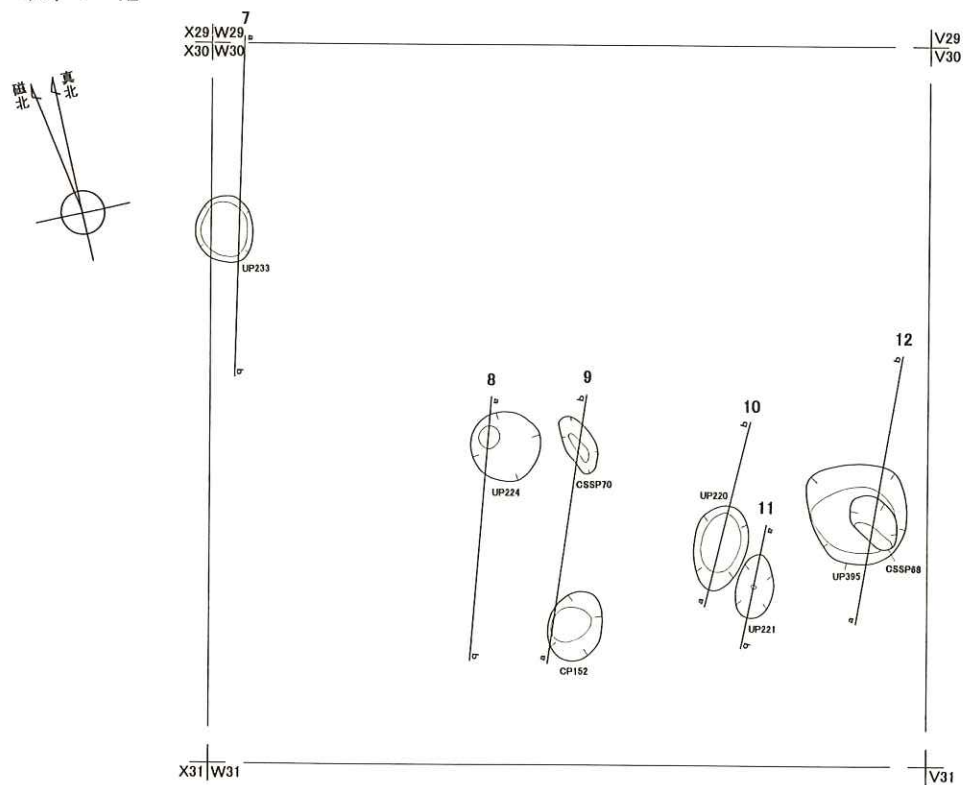
- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+III層混 黒褐色
- 4: 整地層+V層 or IV層混 褐色

- 5: 整地層+V層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+V層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

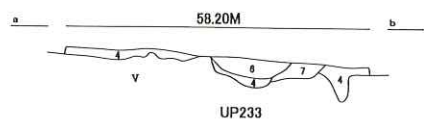
0 1m

図VII-114 配石ベルト土層図(2)

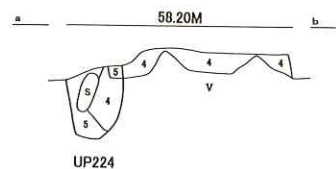
ベルト7~12



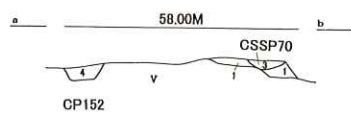
ベルト7



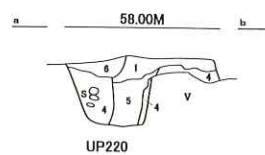
ベルト8



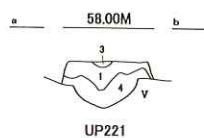
ベルト9



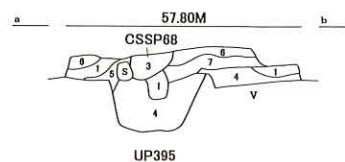
ベルト10



ベルト11



ベルト12

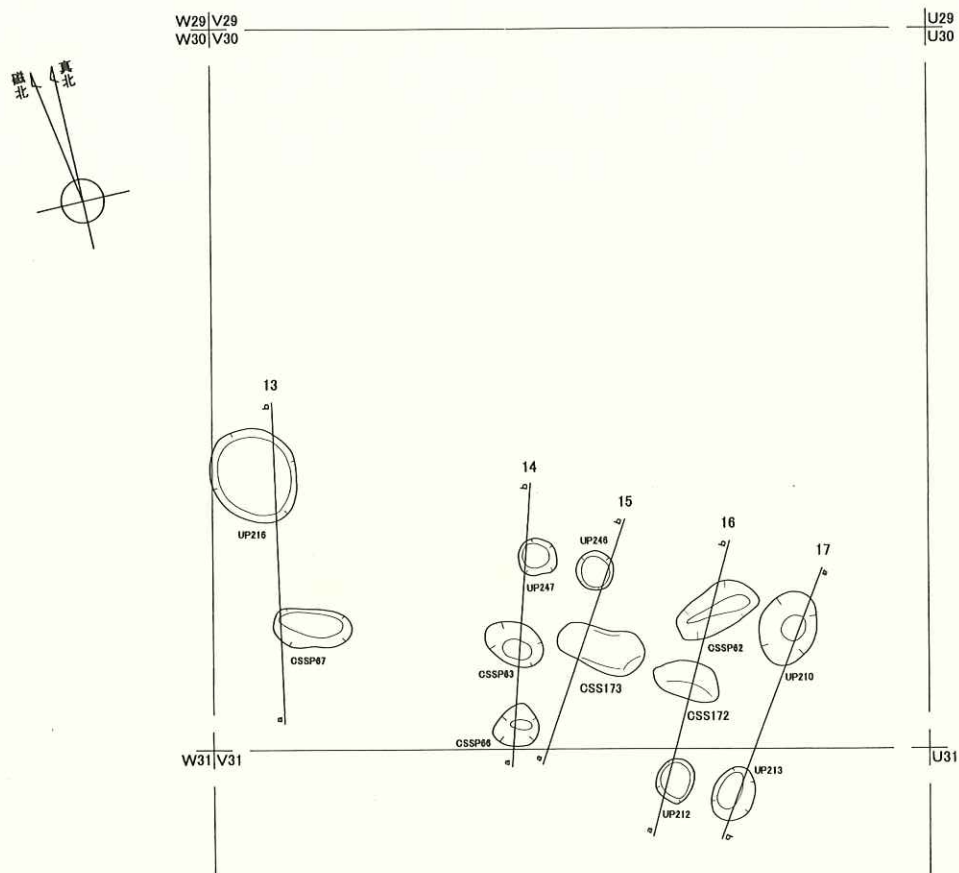


- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1: 粘土層 暗褐色 | 5: 整地層+V層ブロック混 黄褐色 |
| 2: 盛土層 黒褐色 | 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色 |
| 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色 | 7: 粘土層+V層ブロック混 にぶい黄褐色 |
| 4: 整地層+V層 orⅣ層混 褐色 | 8: 焼土 暗赤褐色 |

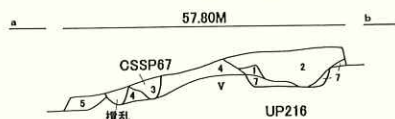
0 1m

図Ⅶ-115 配石ベルト土層図(3)

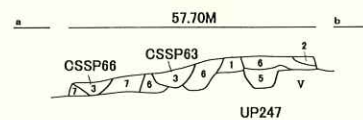
ベルト 13~17



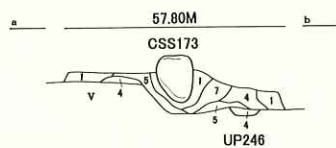
ベルト 13



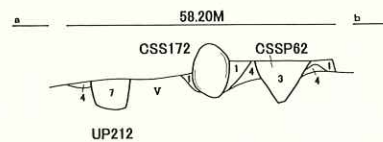
ベルト 14



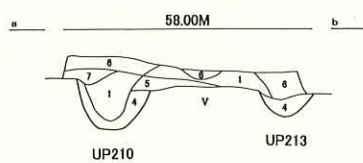
ベルト 15



ベルト 16



ベルト 17

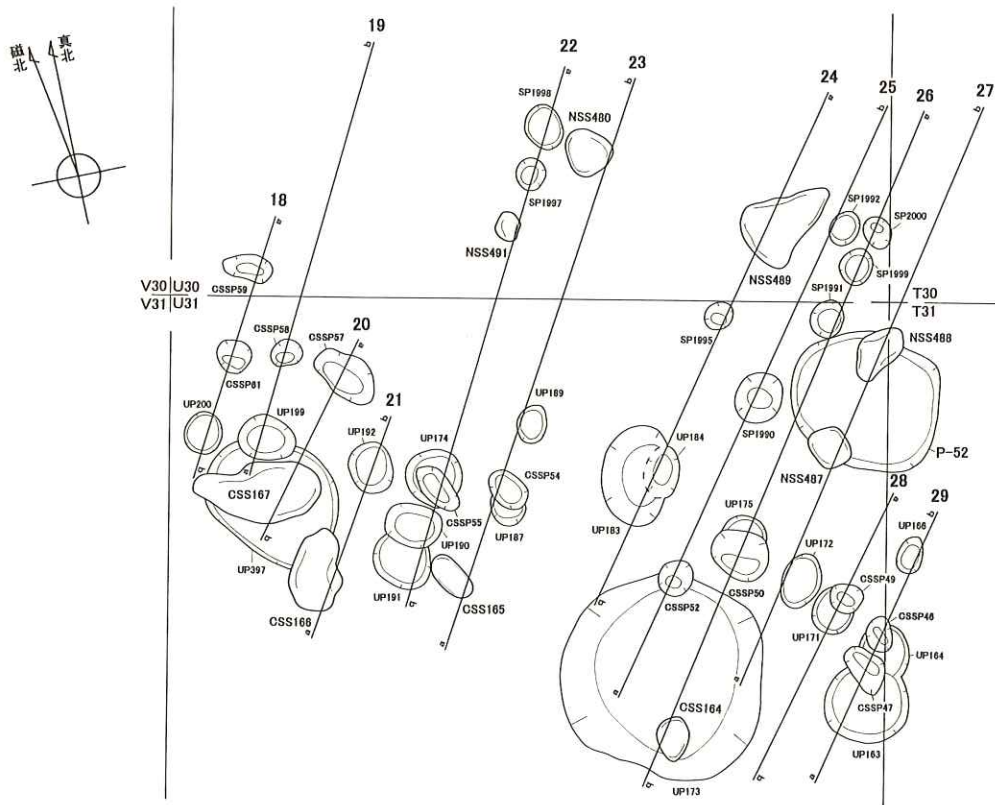


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

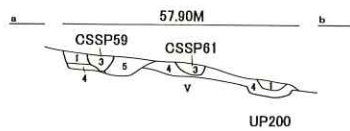
0 1m

図VII-116 配石ベルト土層図(4)

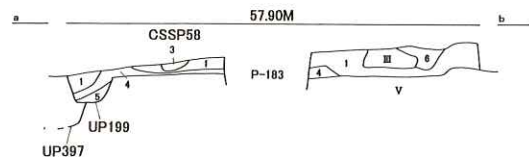
ベルト 18~29



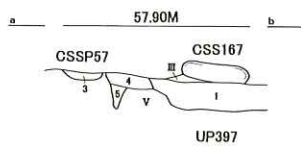
ベルト 18



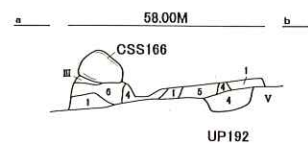
ベルト 19



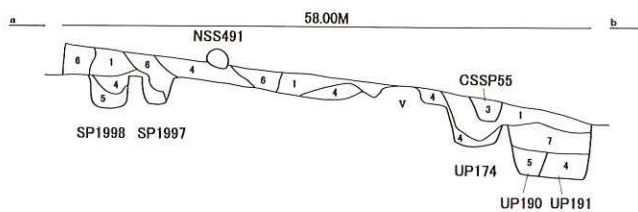
ベルト 20



ベルト 21



ベルト 22

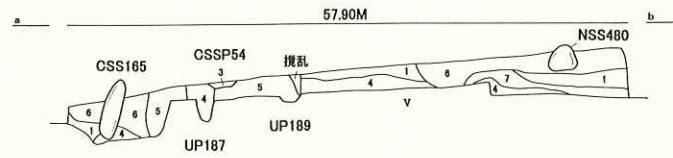


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

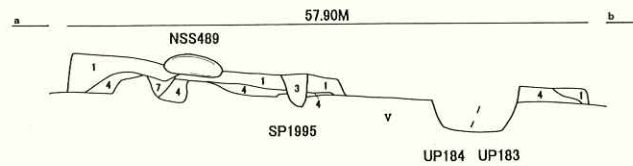
0 1m

図Ⅶ-117 配石ベルト土層図(5)

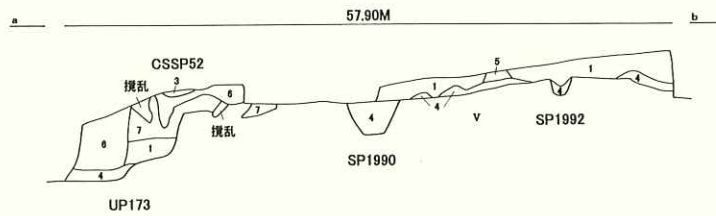
ベルト 23



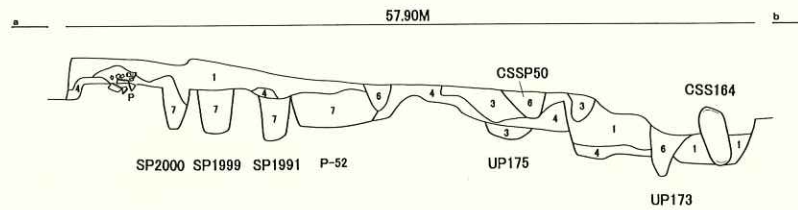
ベルト 24



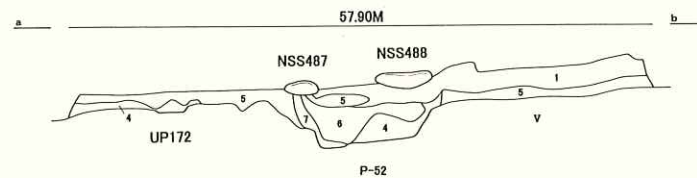
ベルト 25



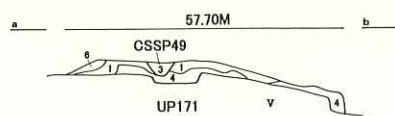
ベルト 26



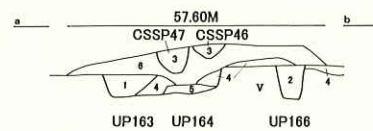
ベルト 27



ベルト 28



ベルト 29

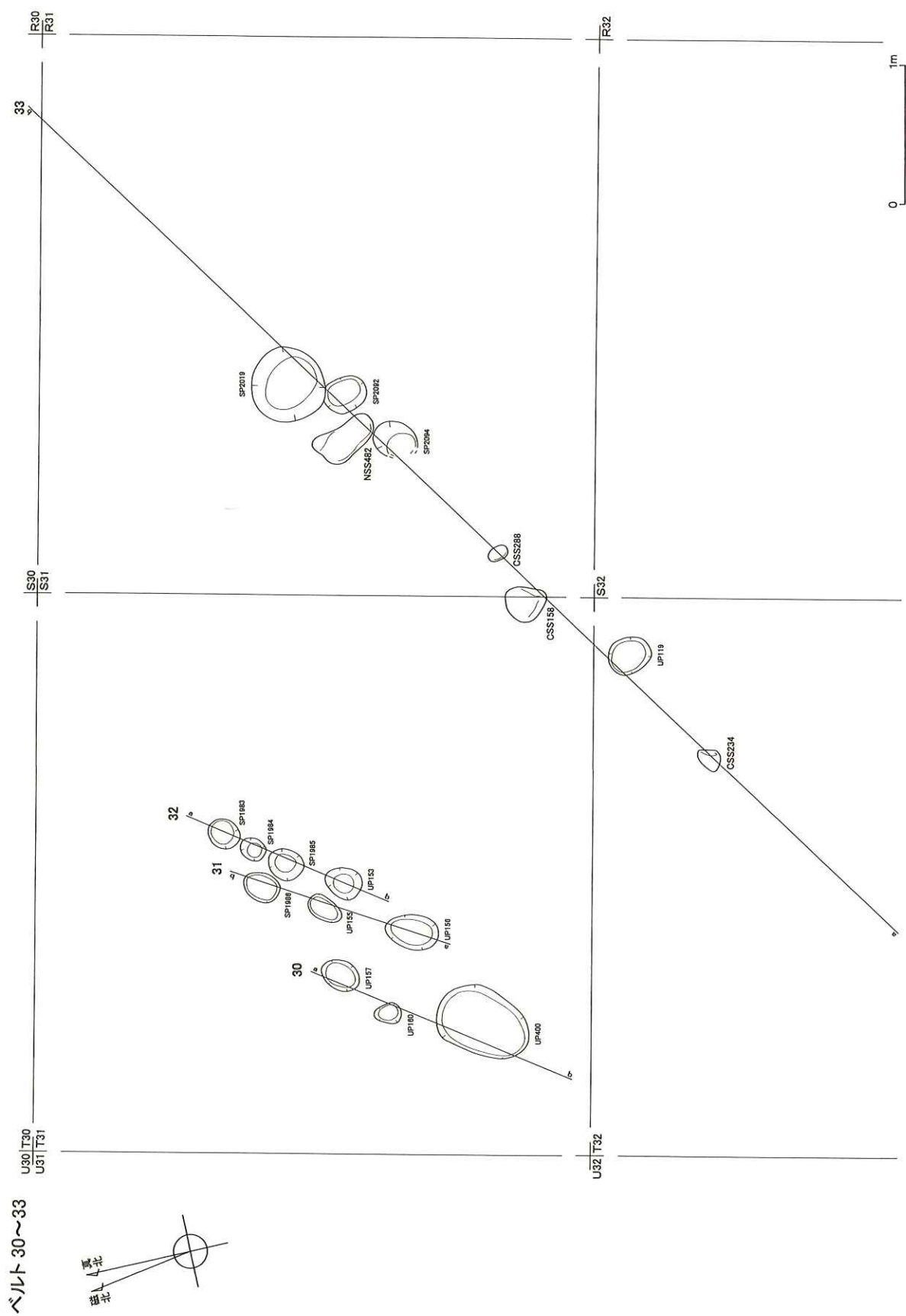


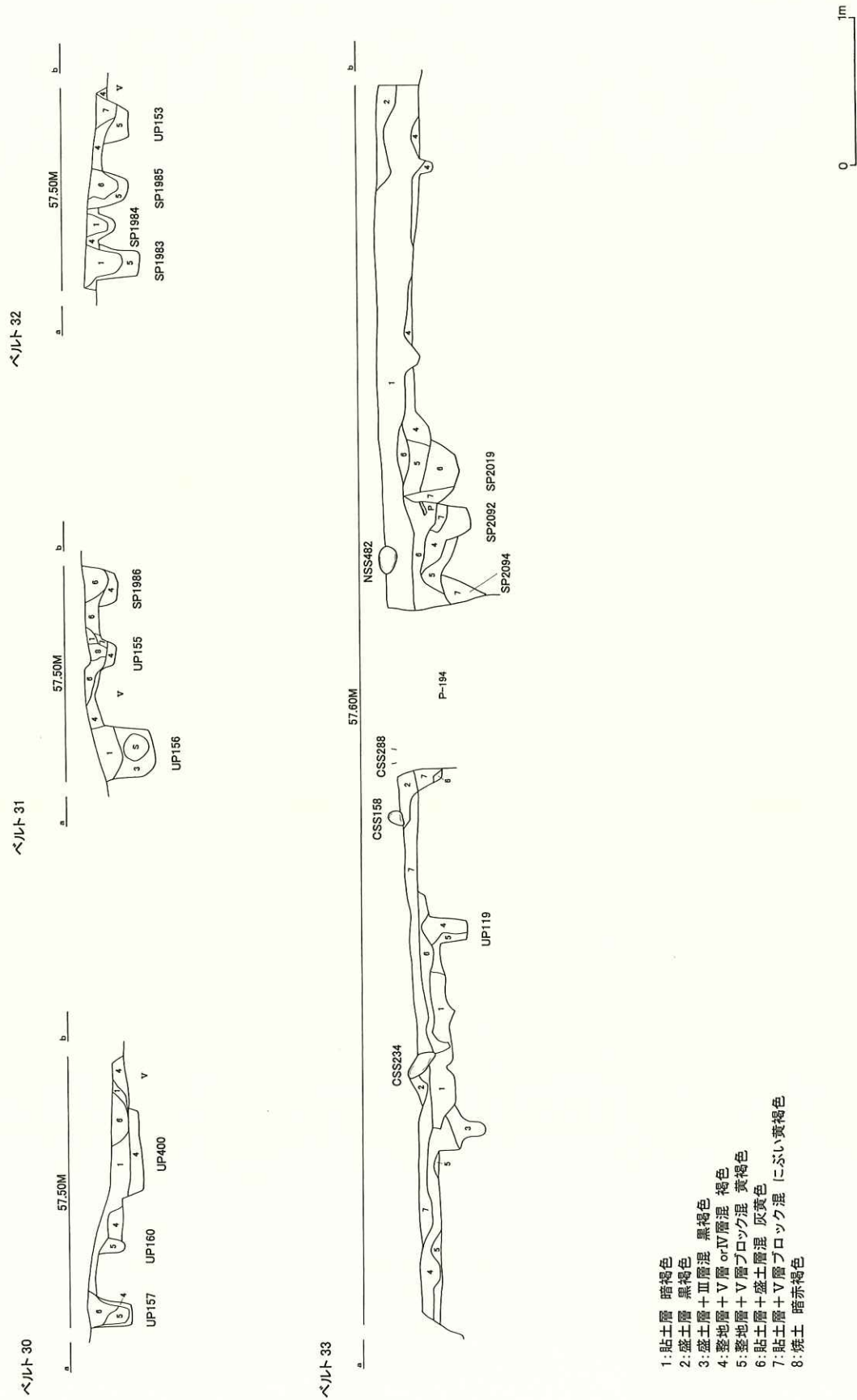
- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 or Ⅳ層混 褐色

- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

0 1m

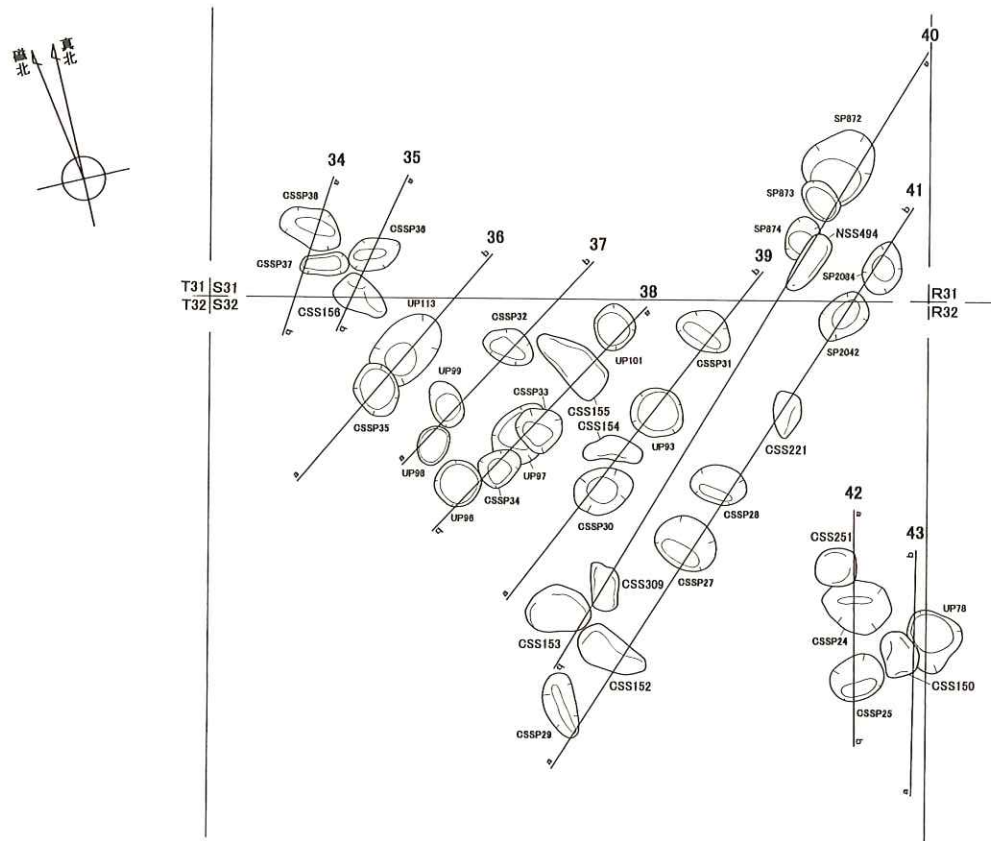
図Ⅶ-118 配石ベルト土層図(6)



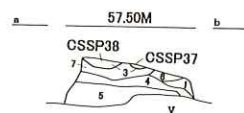


図VII-120 配石ベルト土層図(8)

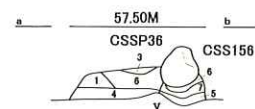
ベルト 34～43



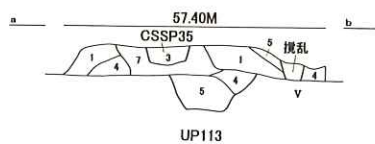
ベルト 34



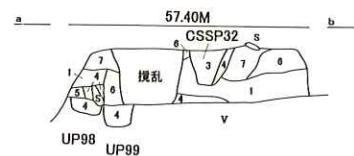
ベルト 35



ベルト 36



ベルト 37

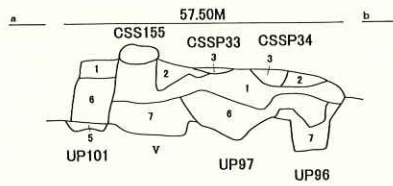


- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1: 粘土層 暗褐色 | 5: 整地層+V層ブロック混 黄褐色 |
| 2: 盛土層 黒褐色 | 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色 |
| 3: 盛土層+Ⅱ層混 黒褐色 | 7: 粘土層+V層ブロック混 にぶい黄褐色 |
| 4: 整地層+V層 orⅣ層混 褐色 | 8: 焼土 暗赤褐色 |

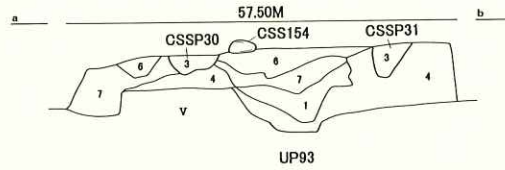
0 1m

図Ⅶ-121 配石ベルト土層図(9)

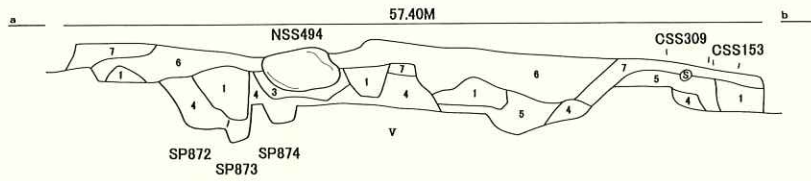
ベルト 38



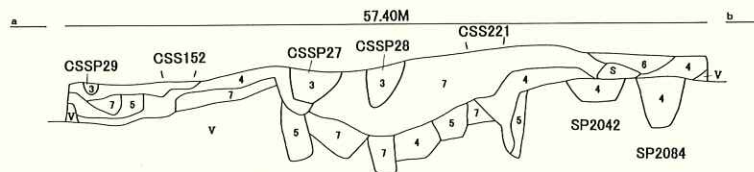
ベルト 39



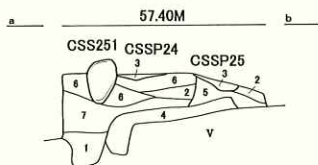
ベルト 40



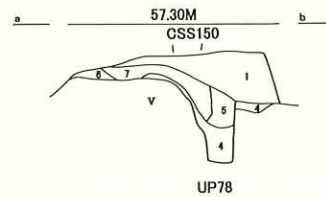
ベルト 41



ベルト 42



ベルト 43

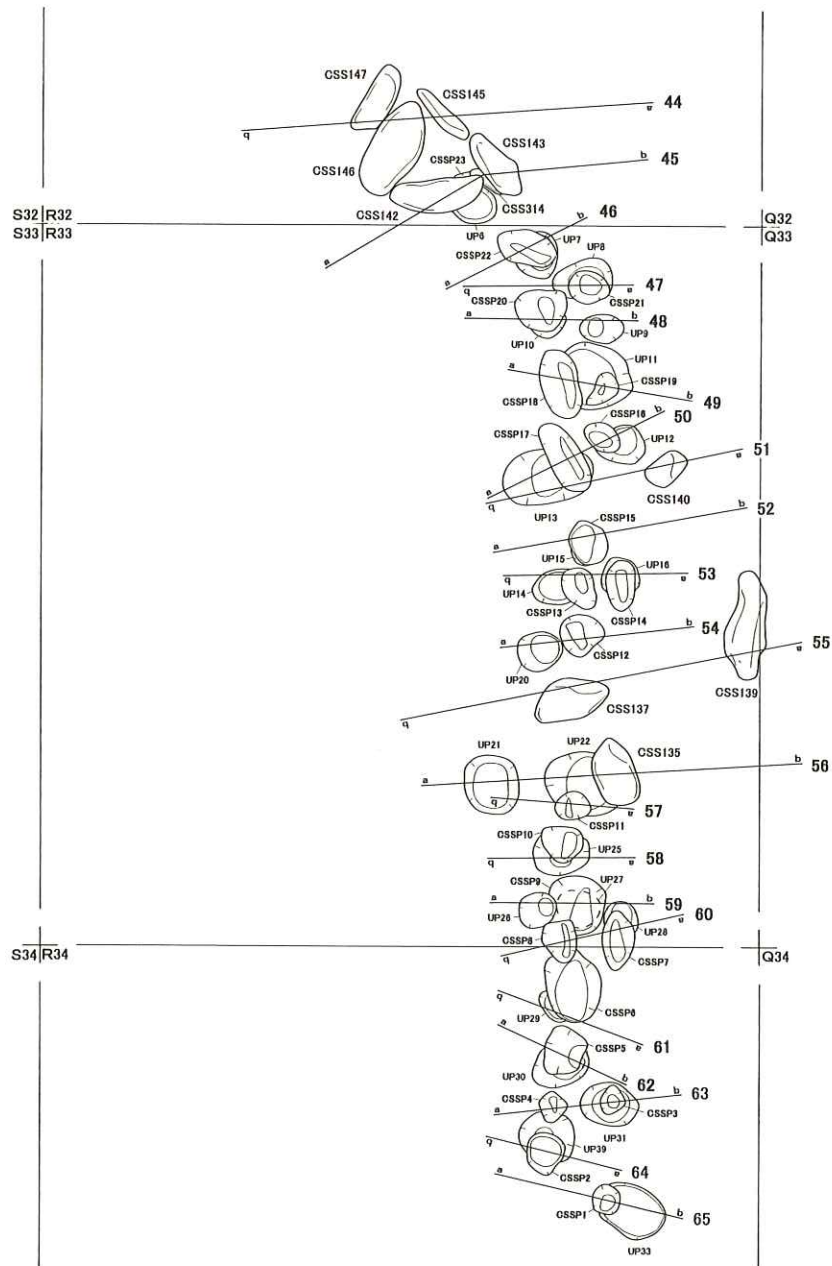
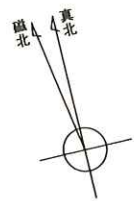


- 1: 貼土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 貼土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 貼土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

0 1m

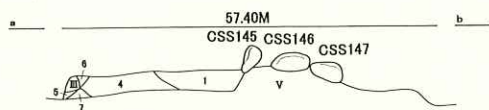
図Ⅶ-122 配石ベルト土層図 (10)

ベルト 44～65

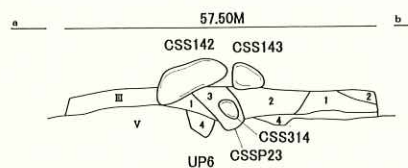


図Ⅶ-123 配石ベルト土層図 (11)

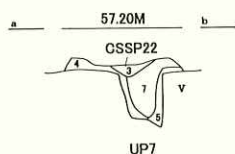
ベルト 44



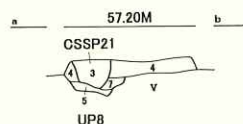
ベルト 45



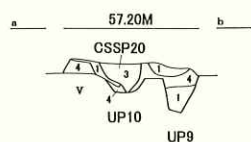
ベルト 46



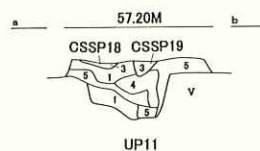
ベルト 47



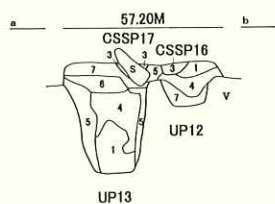
ベルト 48



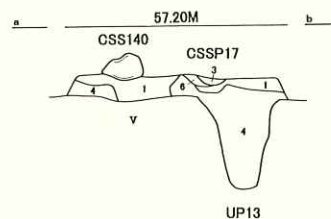
ベルト 49



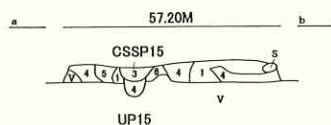
ベルト 50



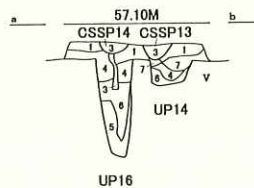
ベルト 51



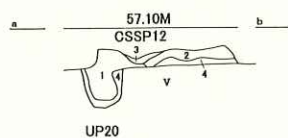
ベルト 52



ベルト 53



ベルト 54

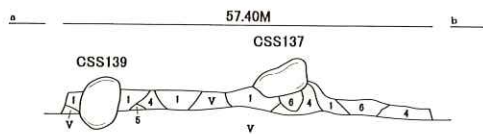


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

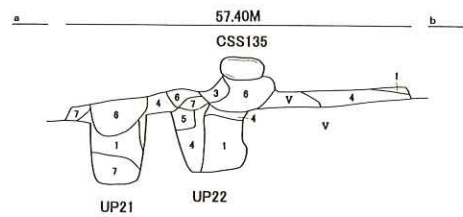
0 1m

図VII-124 配石ベルト土層図 (12)

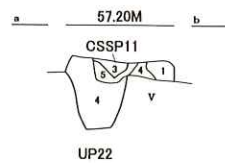
ベルト 55



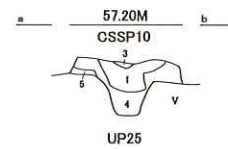
ベルト 56



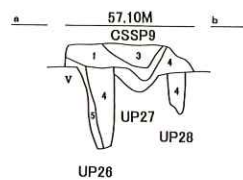
ベルト 57



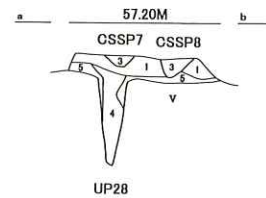
ベルト 58



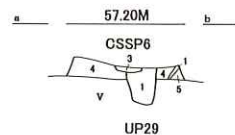
ベルト 59



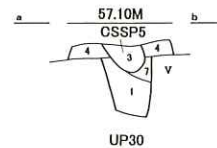
ベルト 60



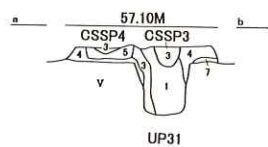
ベルト 61



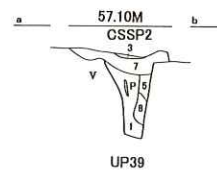
ベルト 62



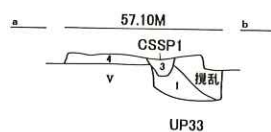
ベルト 63



ベルト 64



ベルト 65

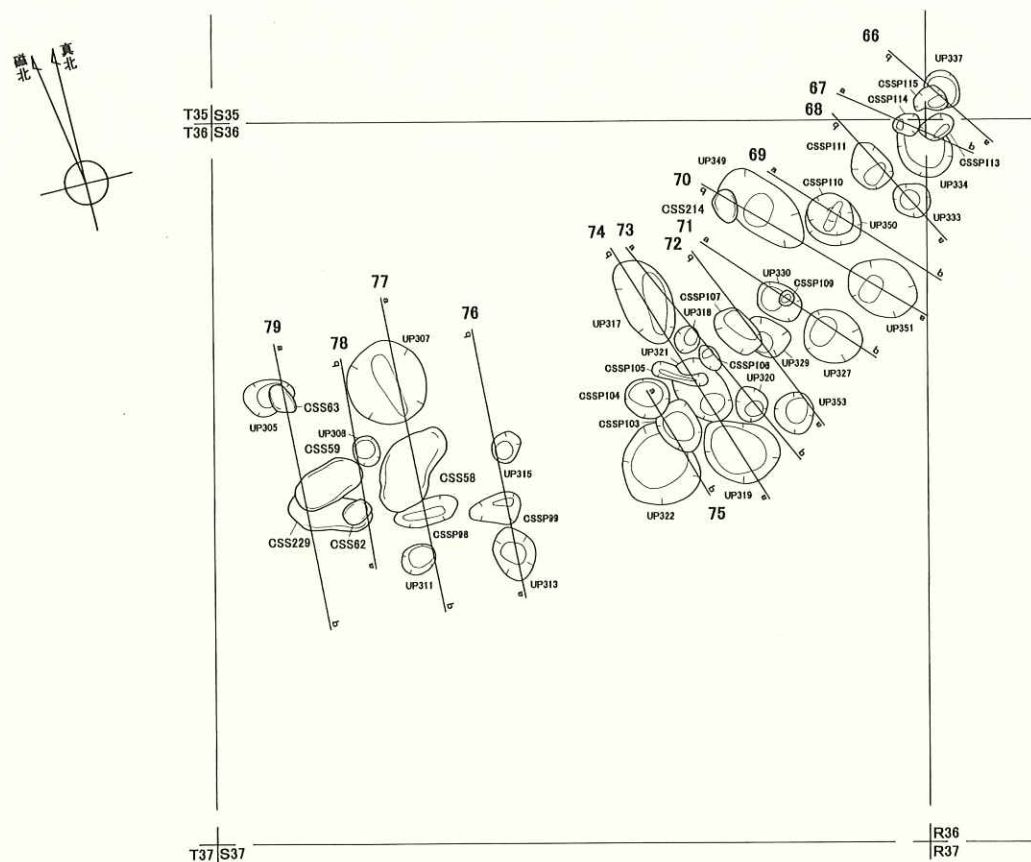


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+皿層混 黒褐色
- 4: 整地層+V層 or IV層混 褐色
- 5: 整地層+V層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+V層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

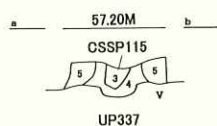
0 1m

図Ⅶ-125 配石ベルト土層図 (13)

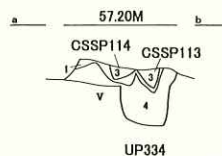
ベルト 66~79



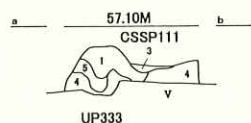
ペルト 66



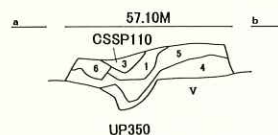
ベルト 67



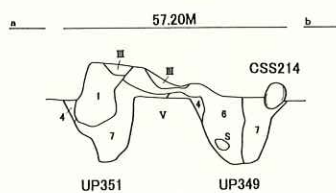
ベルト 68



ベルト 69



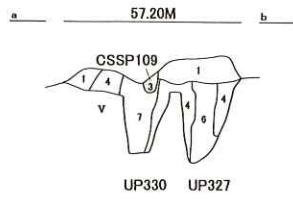
ベルト 70



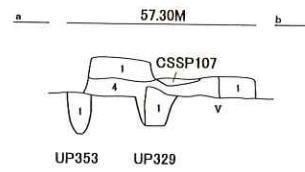
- 1:貼土層 暗褐色
- 2:盛土層 黒褐色
- 3:盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4:整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5:整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6:貼土層+盛土層混 灰黄色
- 7:貼土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8:焼土 暗赤褐色

図VII-126 配石ベルト土層図 (14)

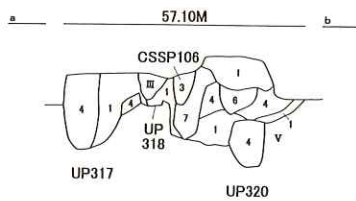
ベルト 71



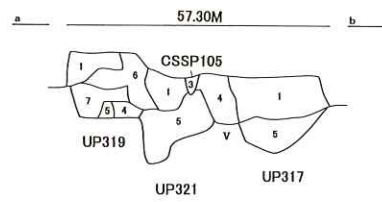
ベルト 72



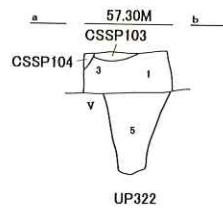
ベルト 73



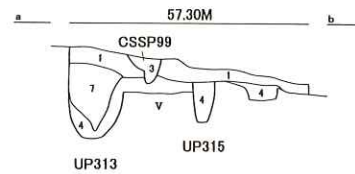
ベルト 74



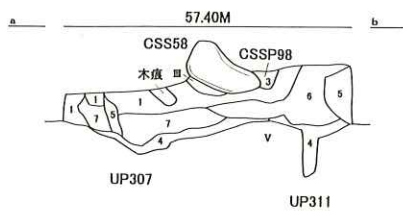
ベルト 75



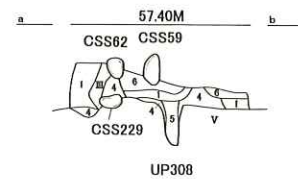
ベルト 76



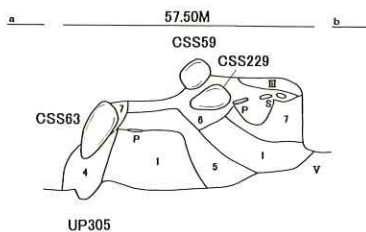
ベルト 77



ベルト 78



ベルト 79

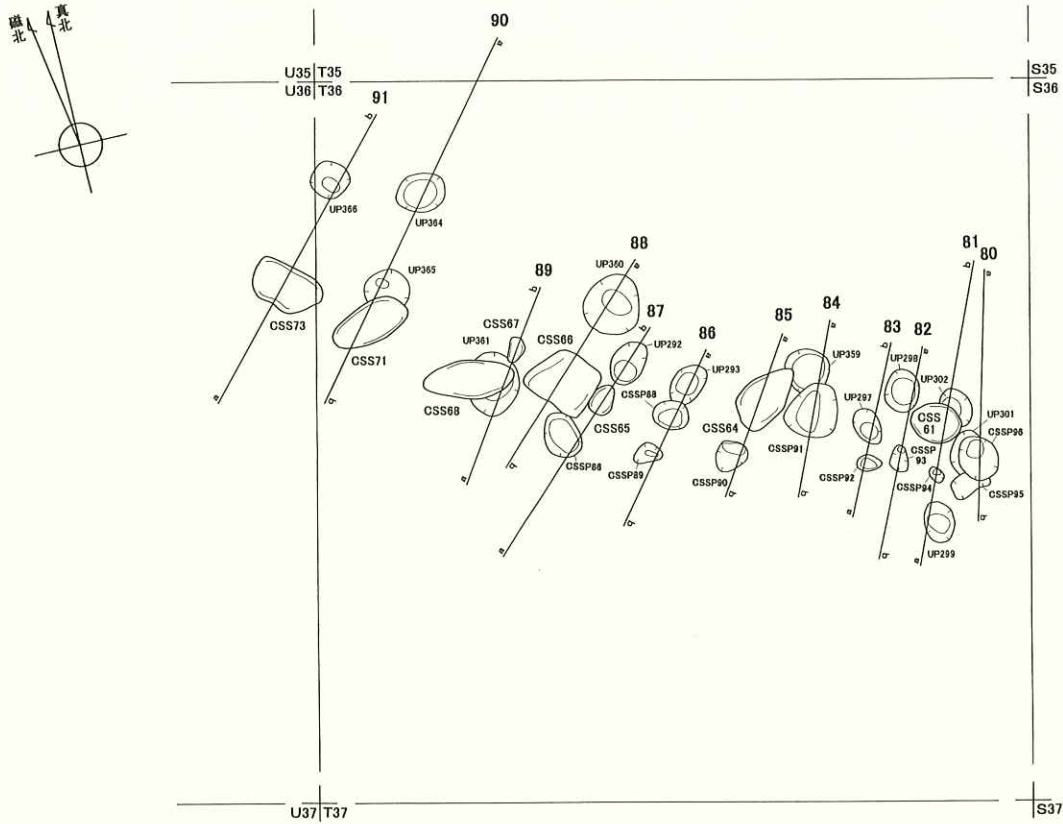


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

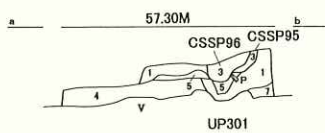
0 1m

図Ⅶ-127 配石ベルト土層図 (15)

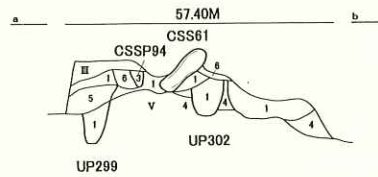
ベルト 80～91



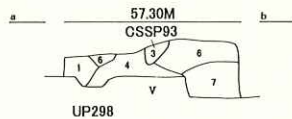
ベルト 80



ベルト 81



ベルト 82

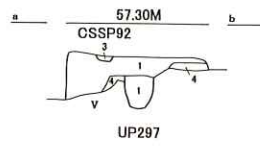


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 or Ⅳ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

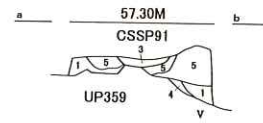
0 1m

図Ⅶ-128 配石ベルト土層図 (16)

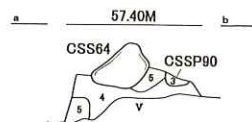
ベルト 83



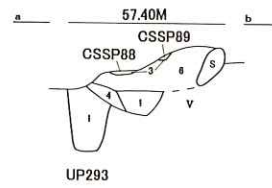
ベルト 84



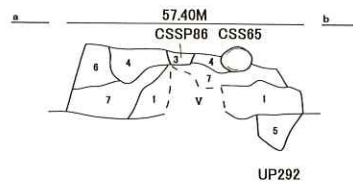
ベルト 85



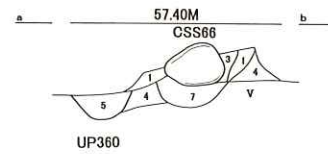
ベルト 86



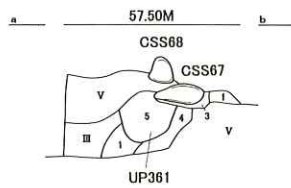
ベルト 87



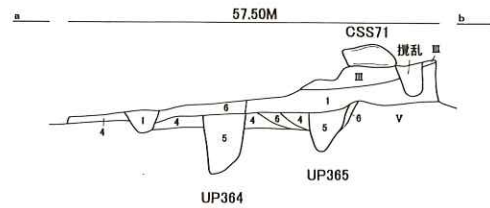
ベルト 88



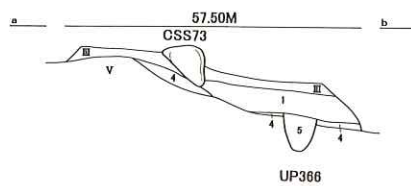
ベルト 89



ベルト 90



ベルト 91

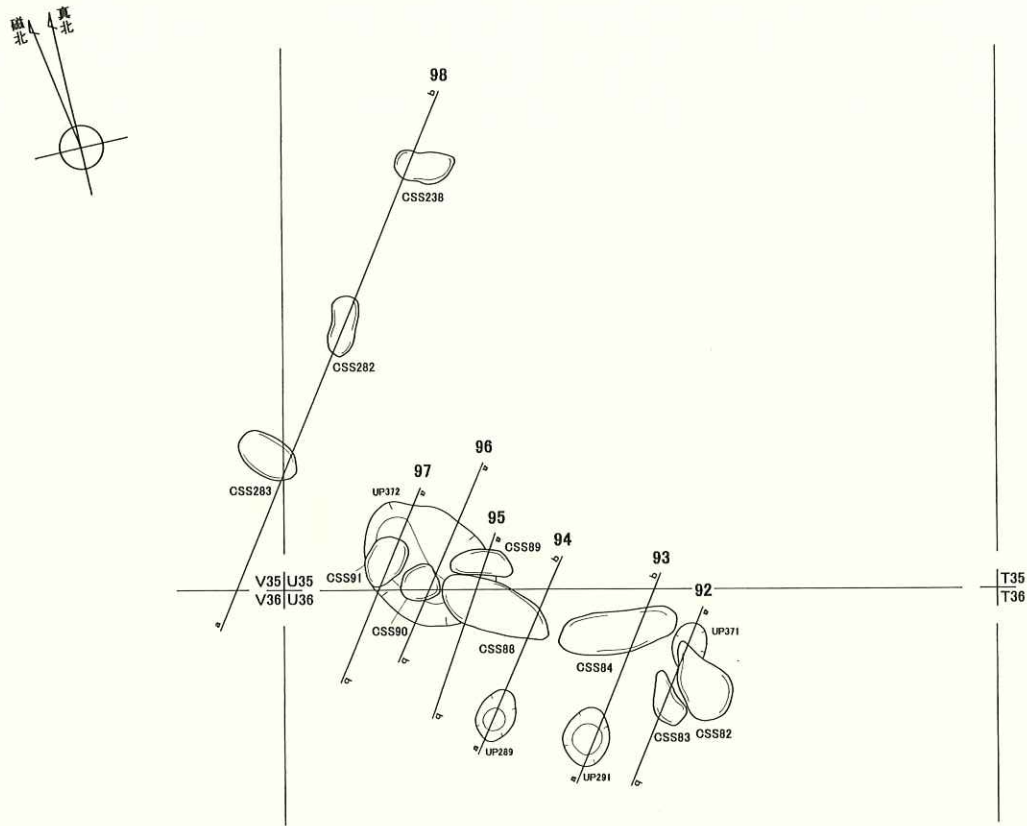


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 or Ⅳ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

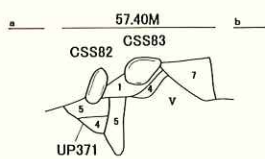
0 1m

図Ⅶ-129 配石ベルト土層図 (17)

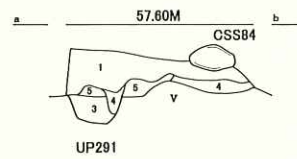
ベルト 92～98



ベルト 92



ベルト 93

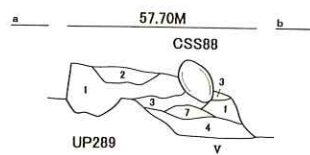


- 1: 貼土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 or Ⅳ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 貼土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 貼土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

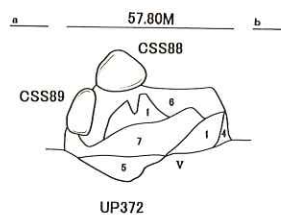
0 1m

図Ⅶ-130 配石ベルト土層図 (18)

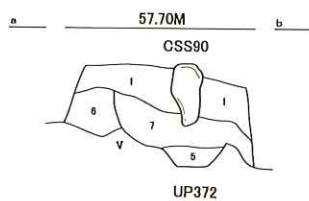
ベルト 94



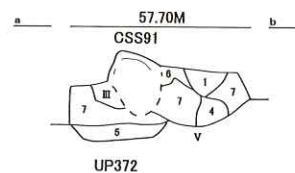
ベルト 95



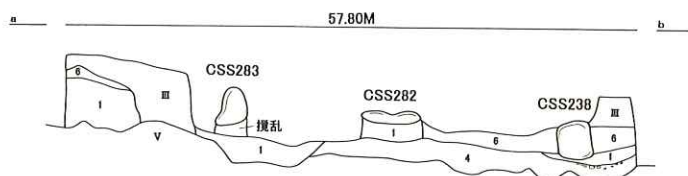
ベルト 96



ベルト 97



ベルト 98

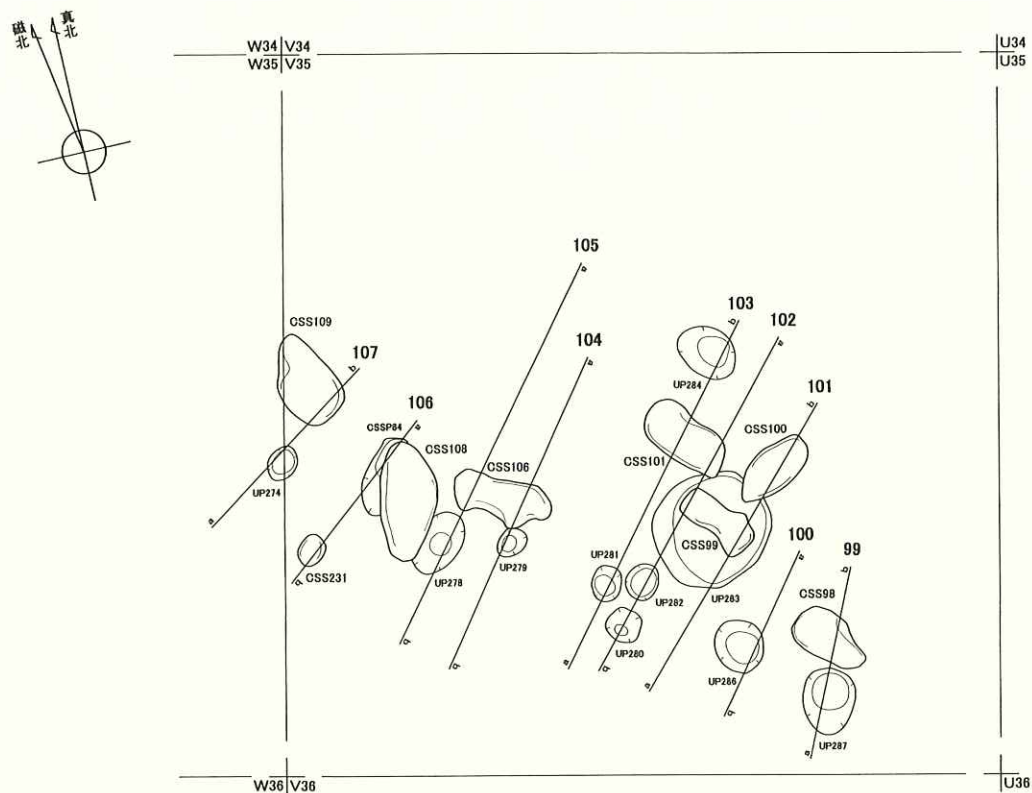


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 or Ⅳ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

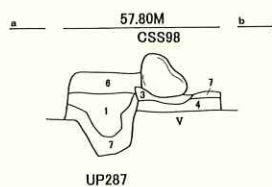
0 1m

図Ⅶ-131 配石ベルト土層図 (19)

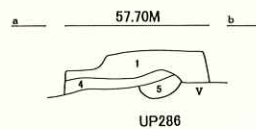
ベルト 99～107



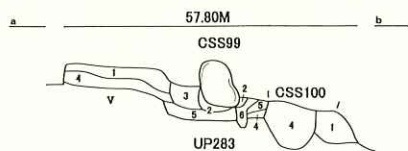
ベルト 99



ベルト 100



ベルト 101

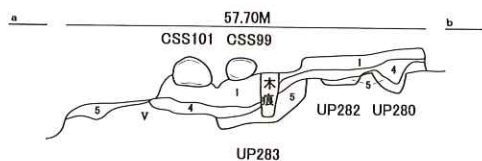


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 or Ⅳ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

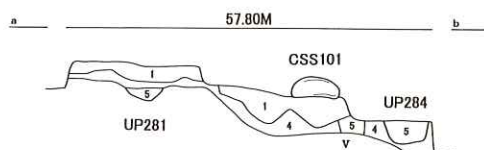
0 1m

図Ⅶ-132 配石ベルト土層図 (20)

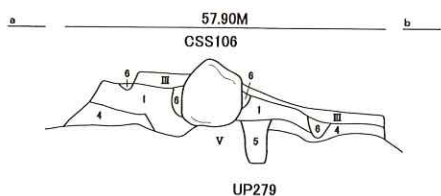
ベルト 102



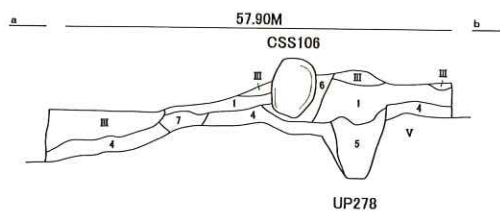
ベルト 103



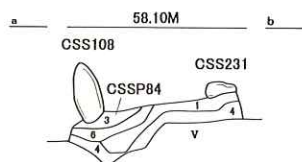
ベルト 104



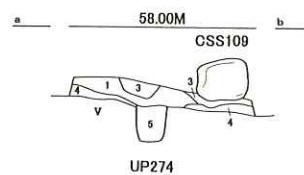
ベルト 105



ベルト 106



ベルト 107

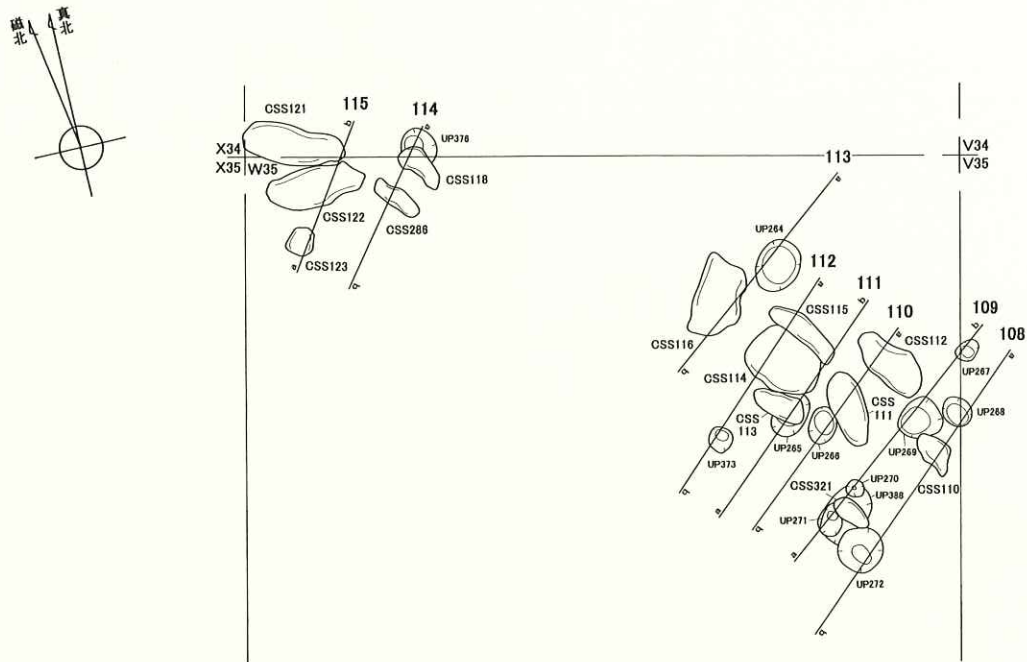


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にがい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

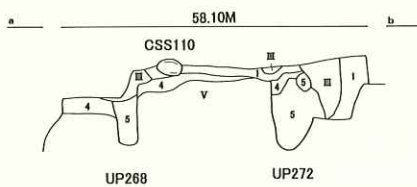
0 1m

図Ⅶ-133 配石ベルト土層図 (21)

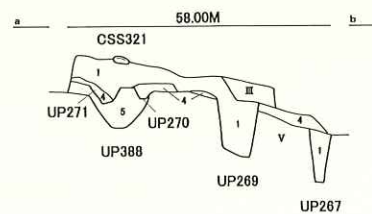
ベルト 108～115



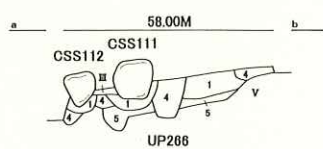
ベルト 108



ベルト 109



ベルト 110

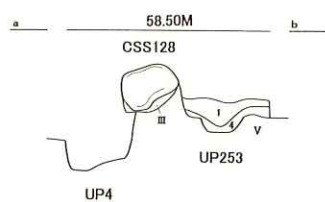


- 1: 貼土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 or Ⅳ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 貼土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 貼土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

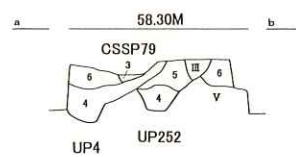
0 1m

図Ⅶ-134 配石ベルト土層図 (22)

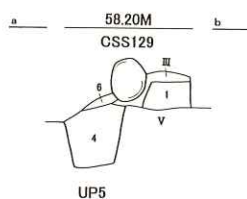
ベルト 122



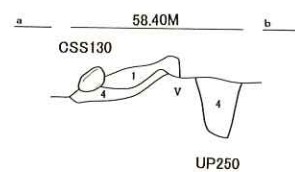
ベルト 123



ベルト 124



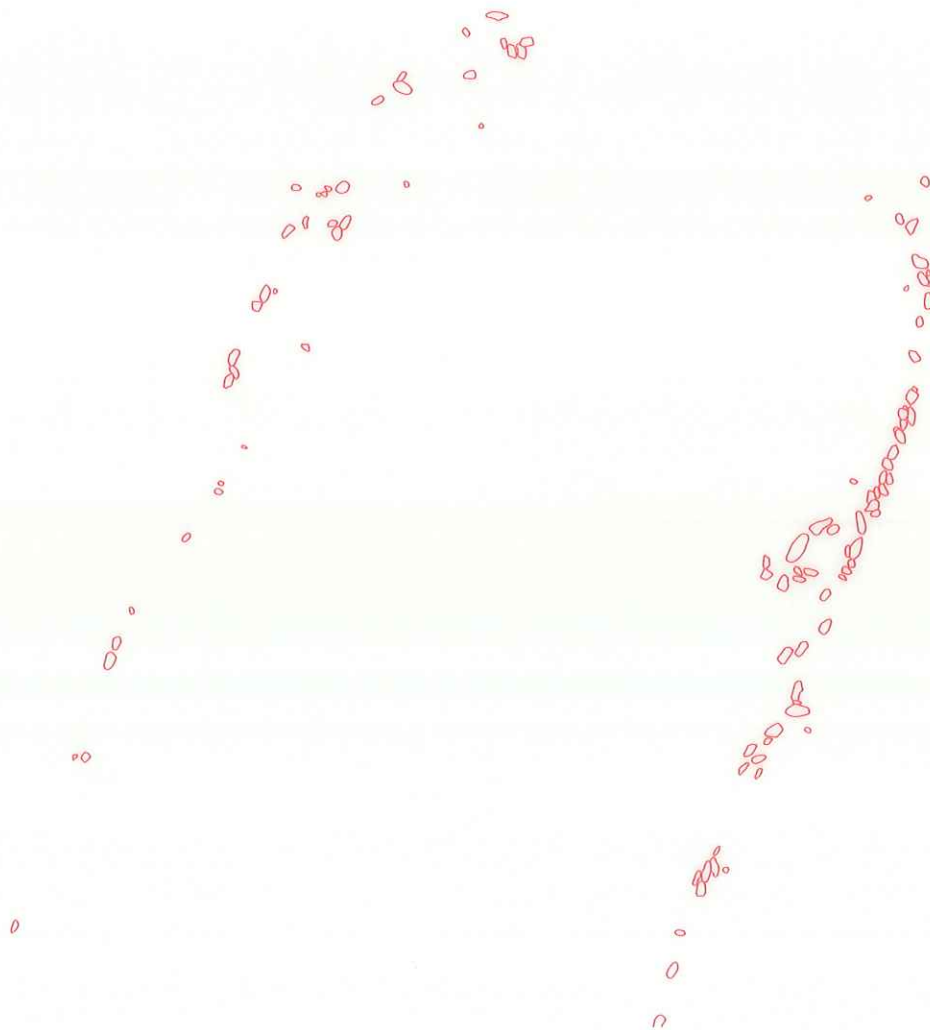
ベルト 125



- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+III層混 黒褐色
- 4: 整地層+V層 or IV層混 褐色
- 5: 整地層+V層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+V層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

0 1m

図Ⅶ-137 配石ベルト土層図 (25)

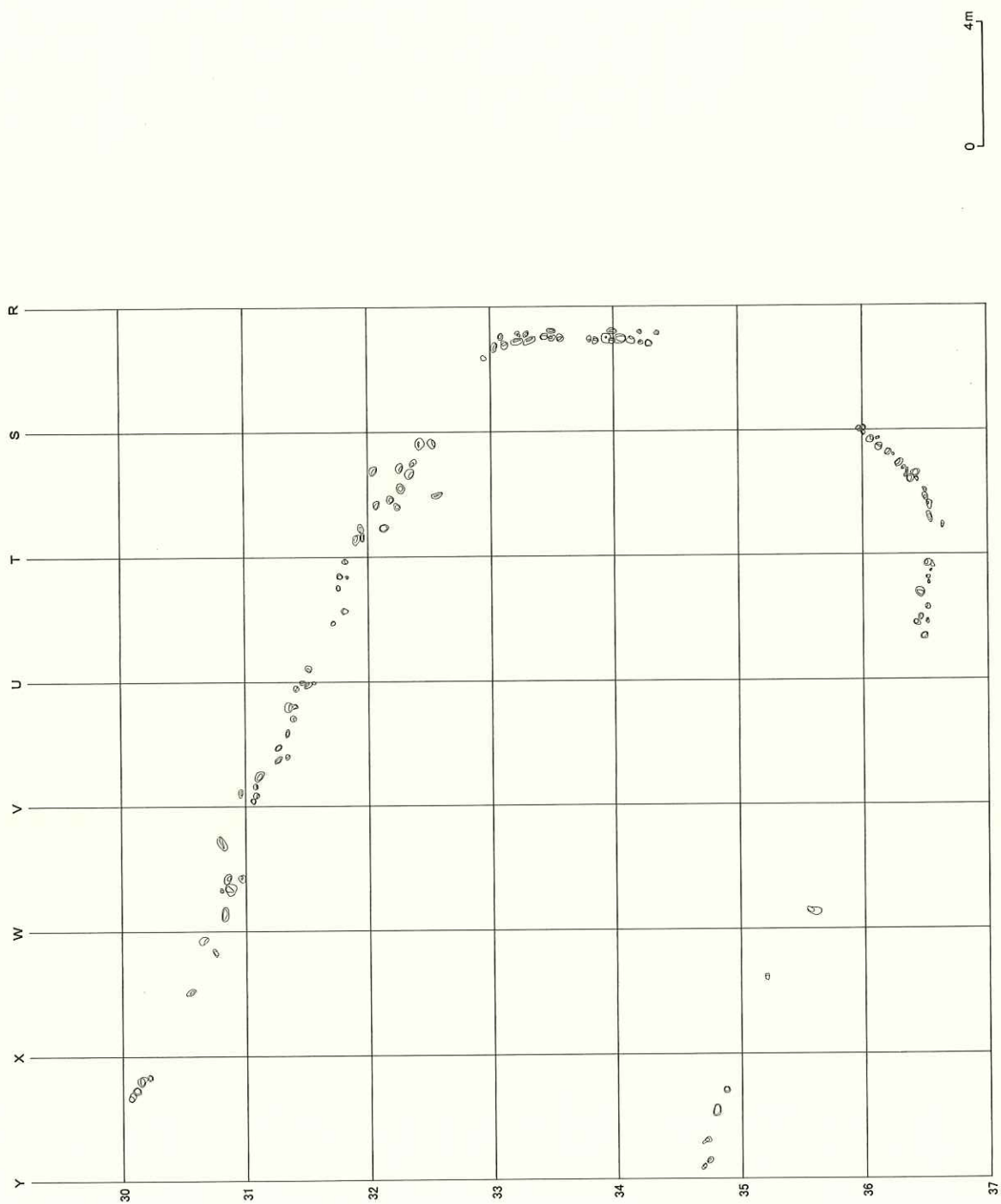


※配石ベルトは原位置礫のみ掲載

図Ⅶ-138 配石遺構図(2)

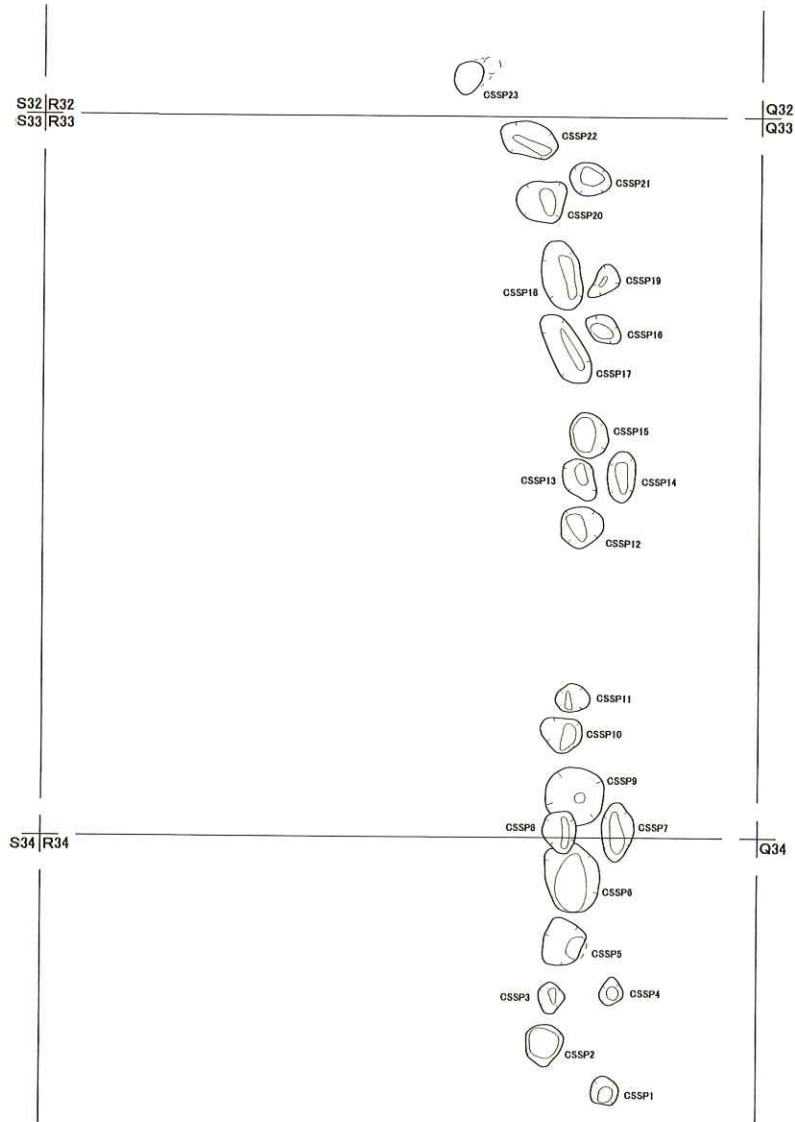
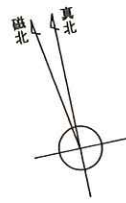


※百五へいへいおる置のやの謝



図VII-139 中央配石抜け石痕 (CSSP) 分布図

R32 33 34 区 (北側配石列)

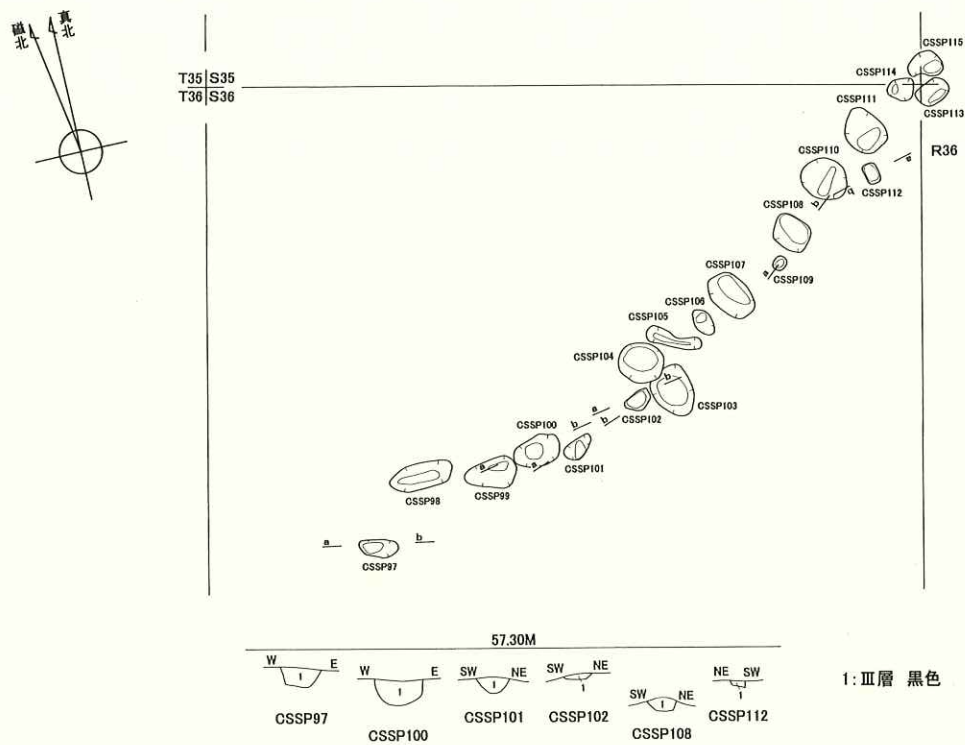


セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

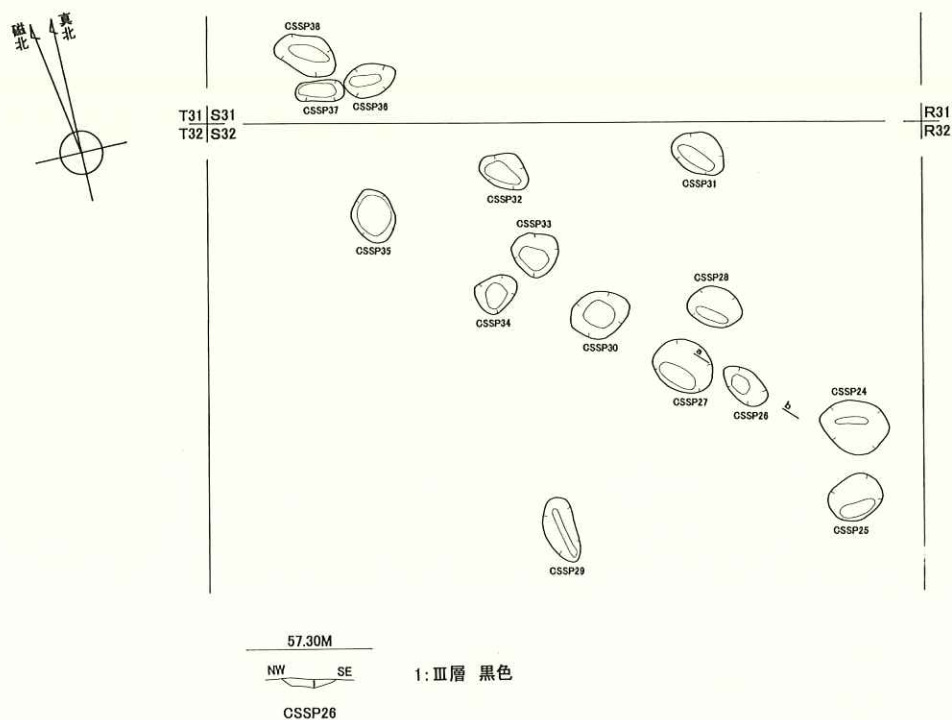
0 1m

図Ⅶ-140 R32~34区CSSP

R35 36 S35 36 区 (南側配石列)



S31 32 区 (北側配石列)

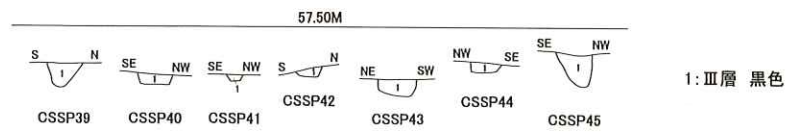
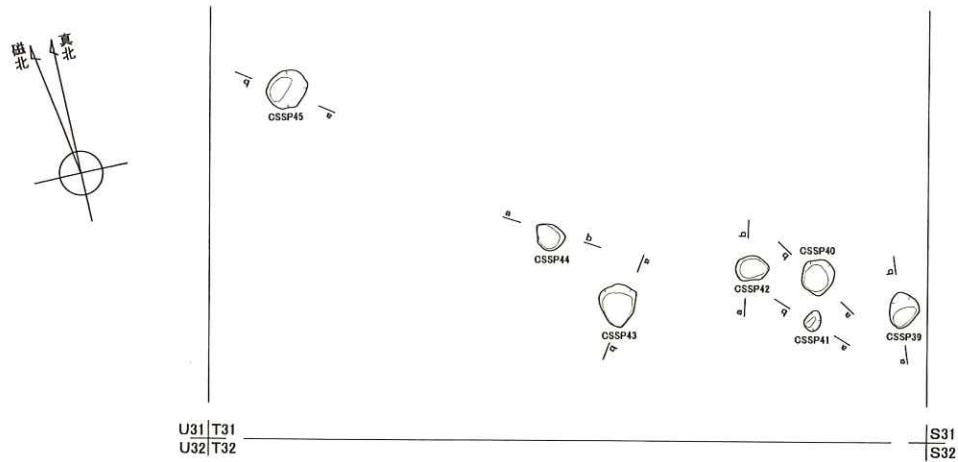


セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

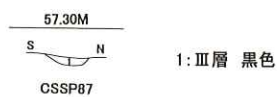
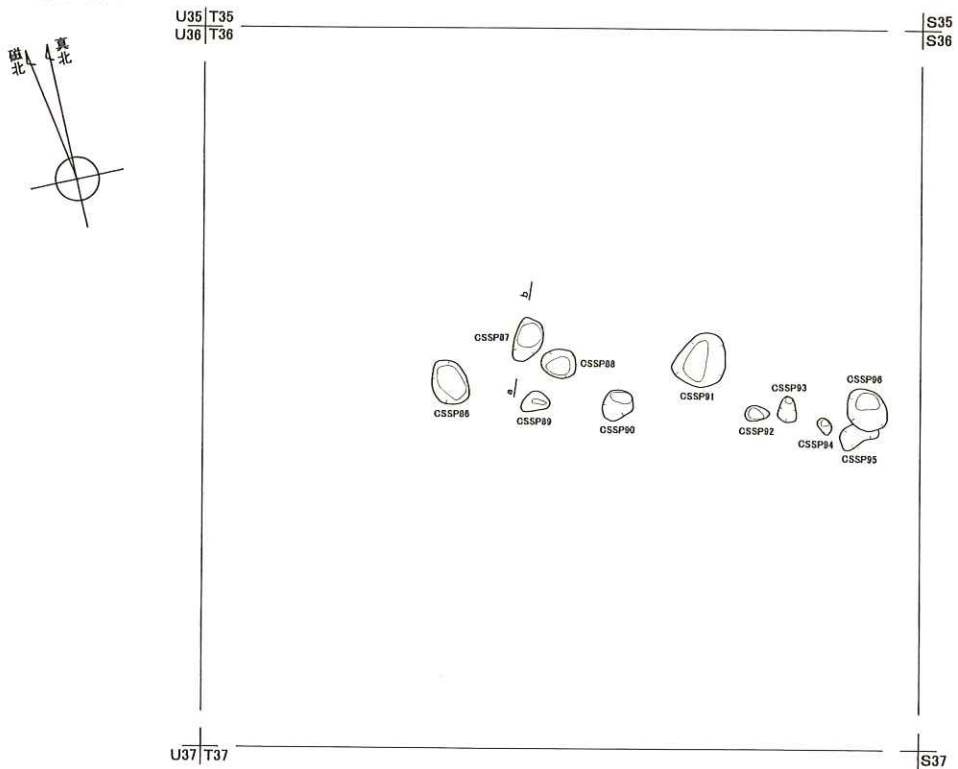
0 1m

図Ⅶ-141 R35・36 S35・36 S31・32区CSSP

T31 区 (北側配石列)



T36 区 (南側配石列)

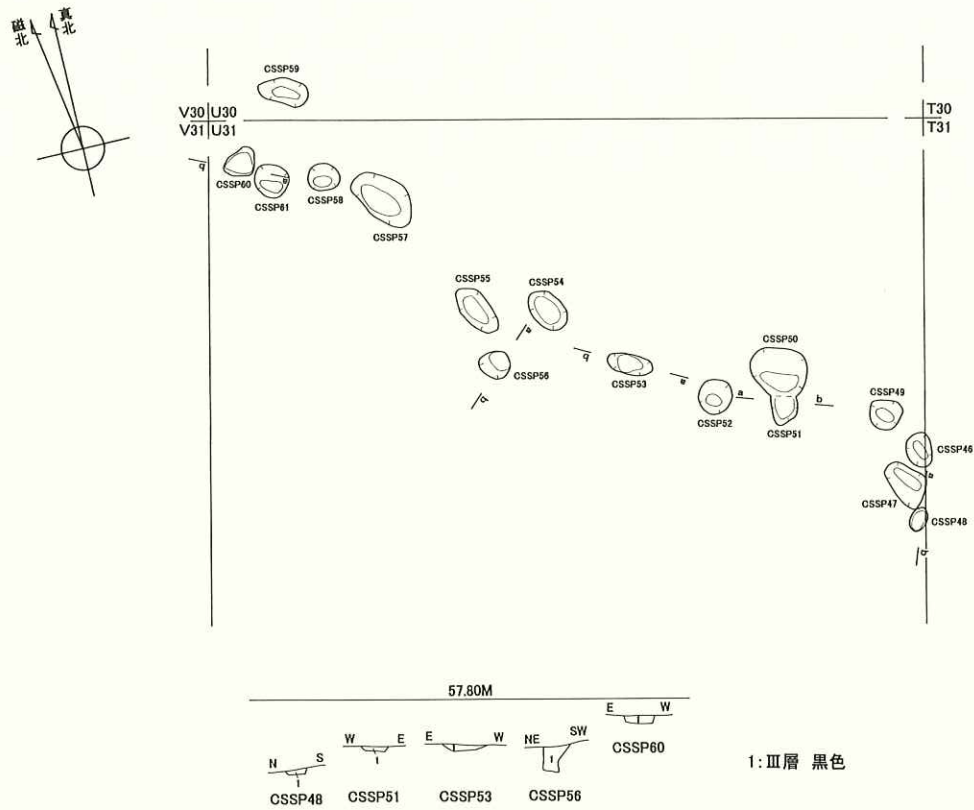


セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

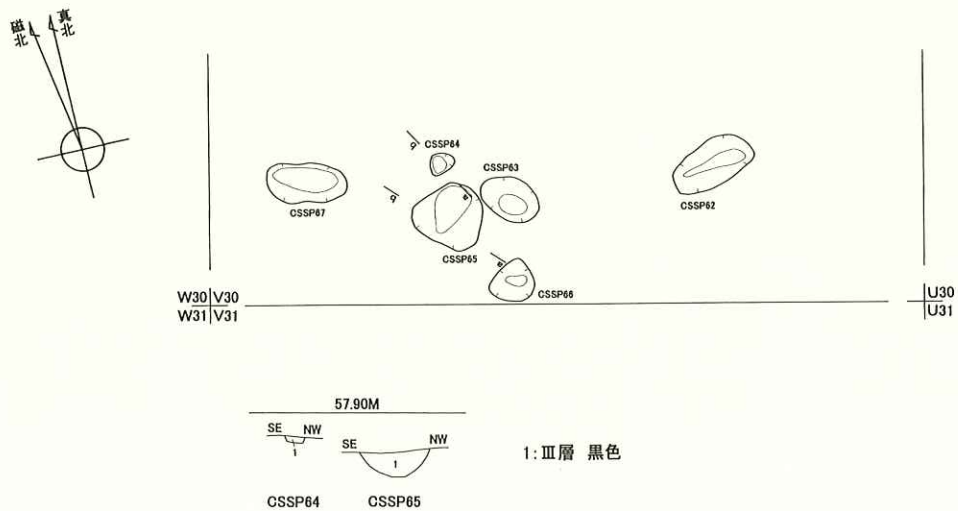
0 1m

図Ⅶ-142 T31・36区CSSP

U30 31 区 (北側配石列)



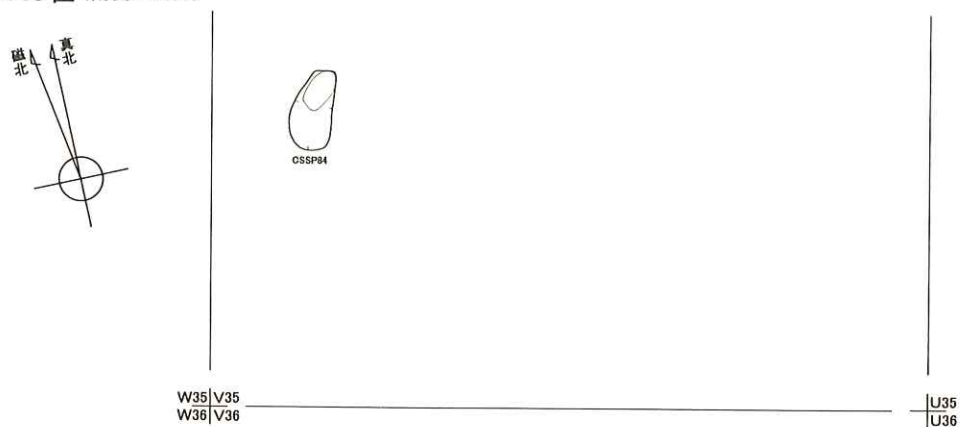
V30 区 (北側配石列)



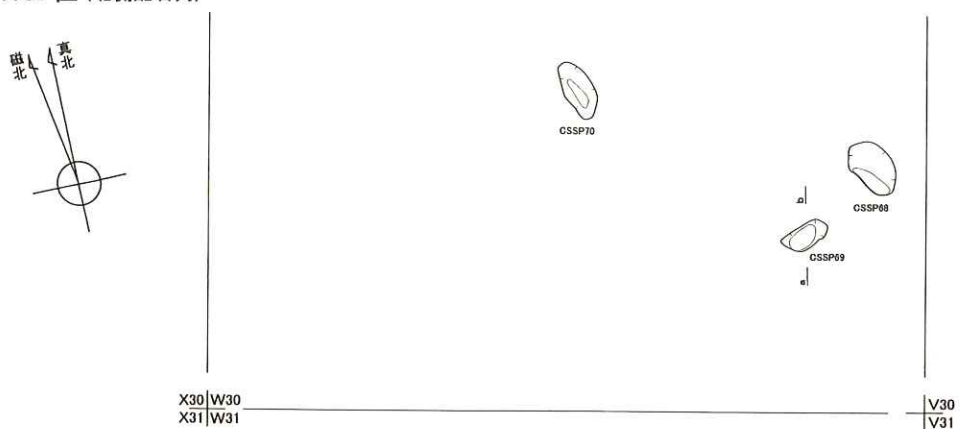
セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

0 1m

V35 区 (南側配石列)



W30 区 (北側配石列)

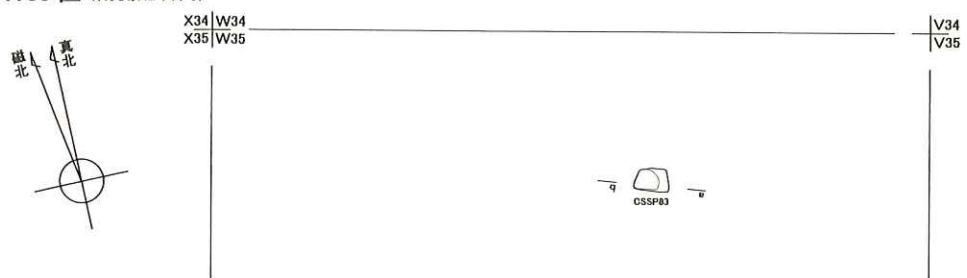


N 58.00M S



1: III層 黒色

W35 区 (南側配石列)



58.00M



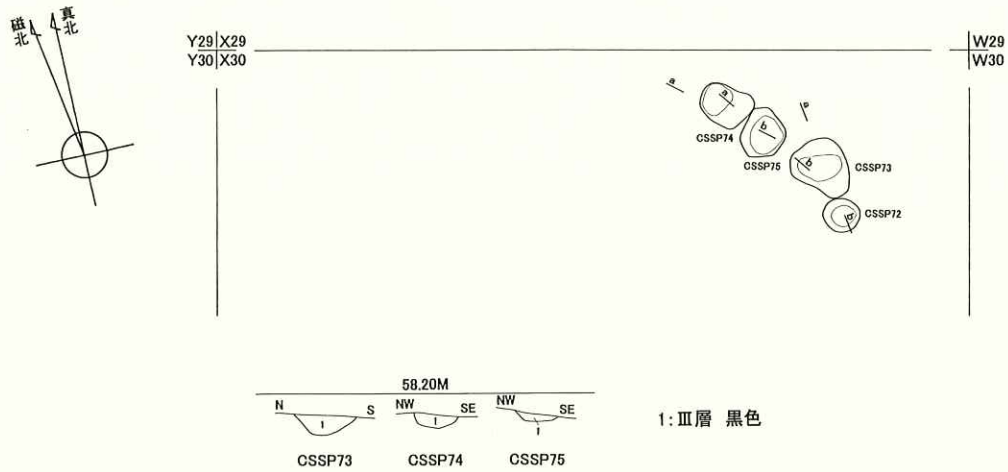
1: III層 黒色

セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

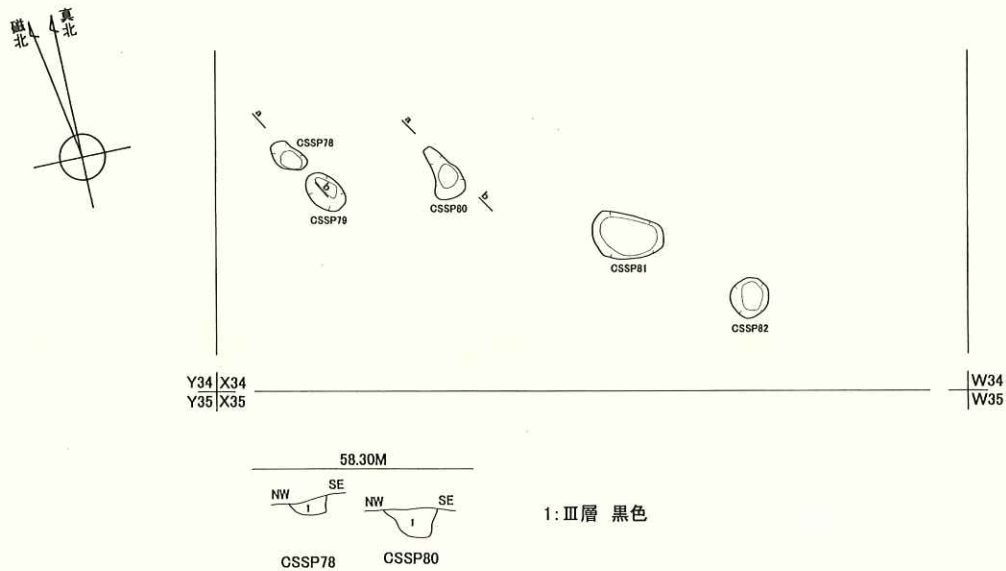
0 1m

図Ⅶ-144 V35 W30・35区CSSP

X30 区 (北側配石列)



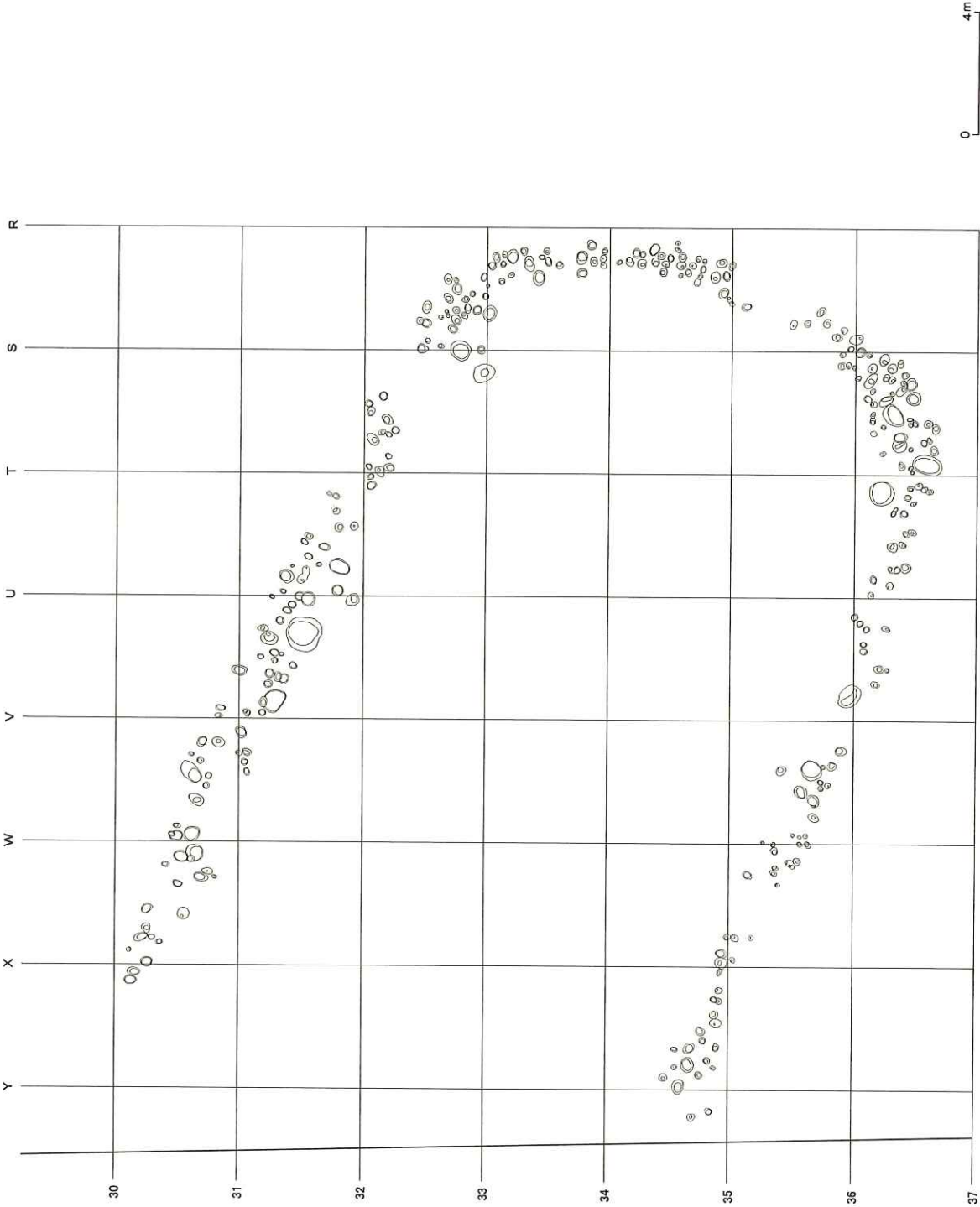
X34 区 (南側配石列)



セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

0 1m

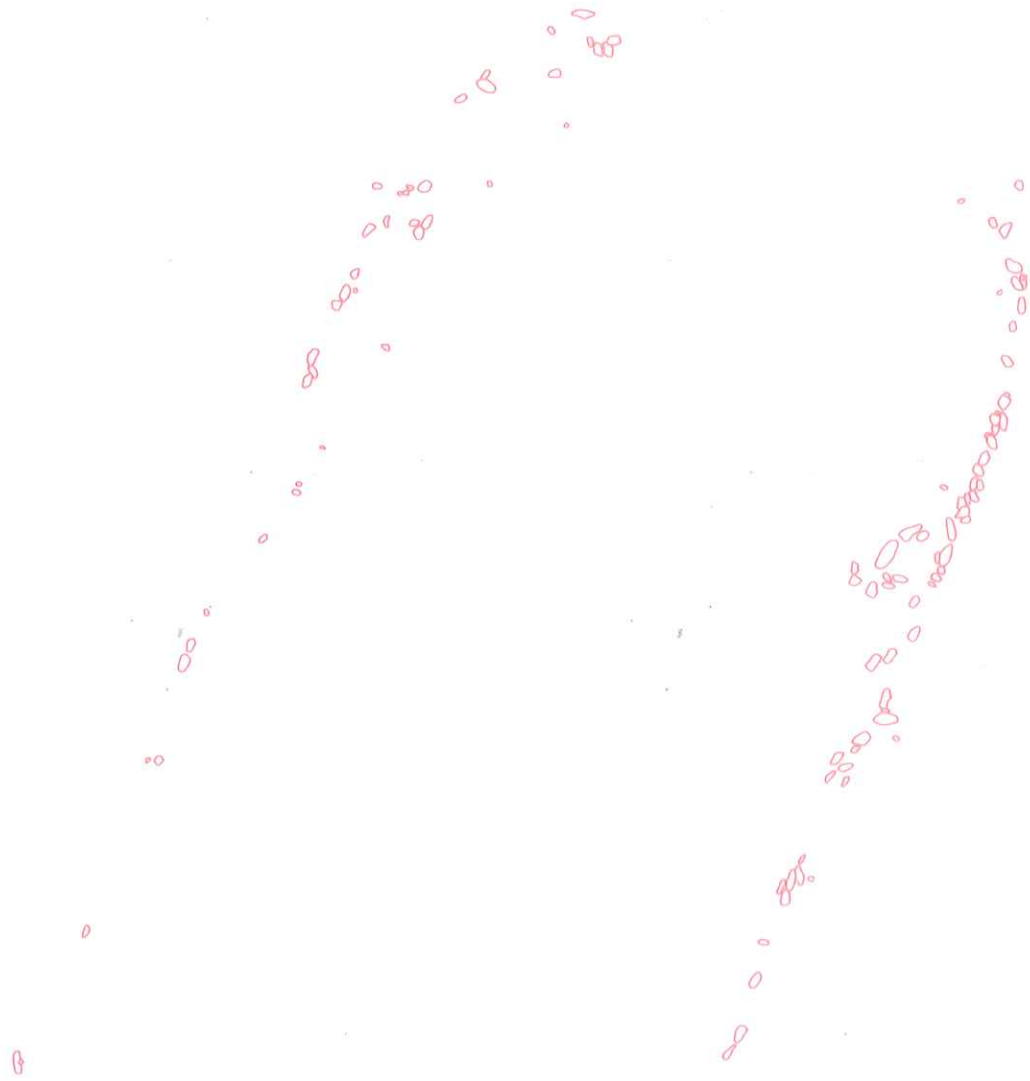
図Ⅶ-145 X30・34区CSSP



図Ⅶ-146 配石下土坑(UP)分布図

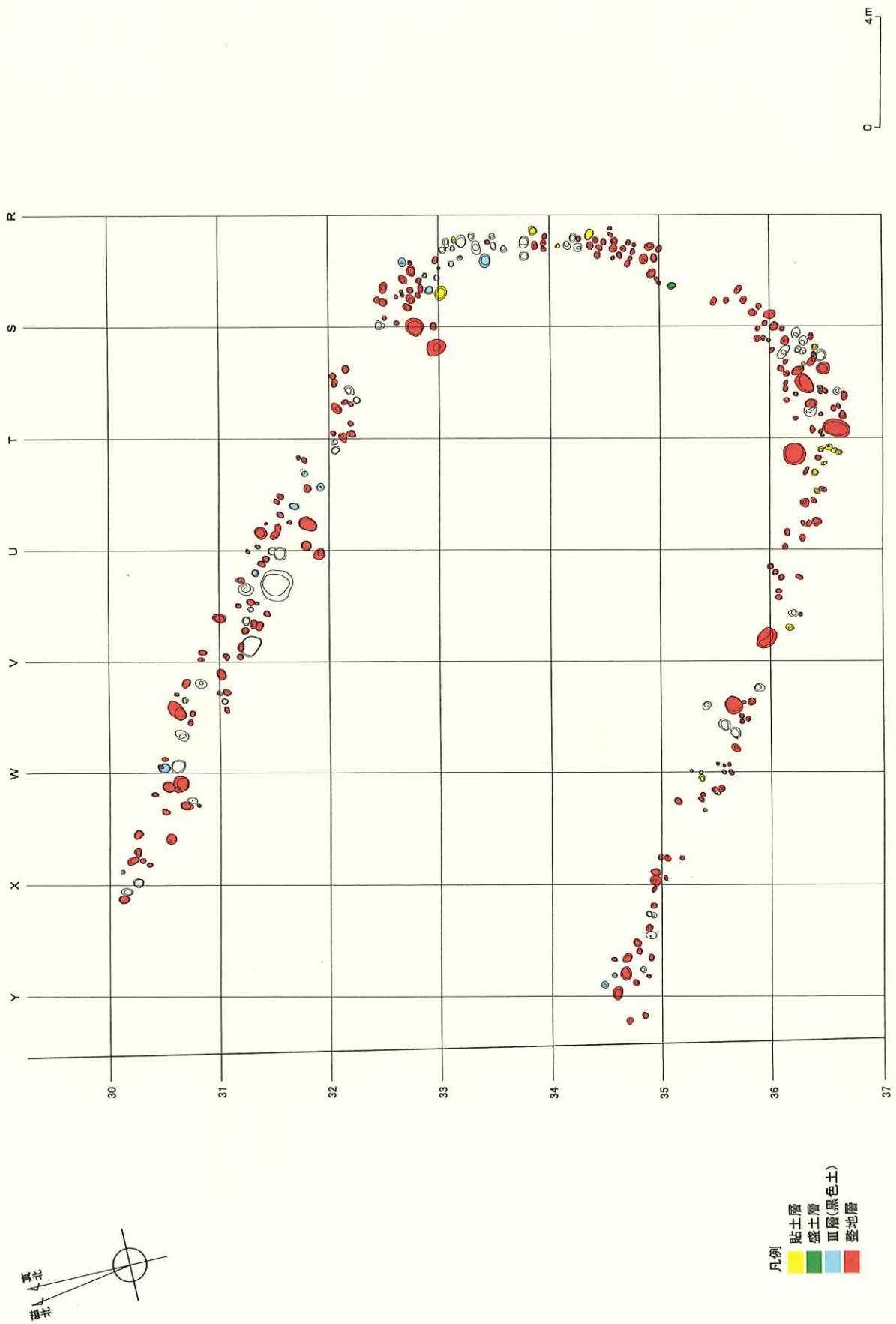


嶺南書院の設置を願ふ書



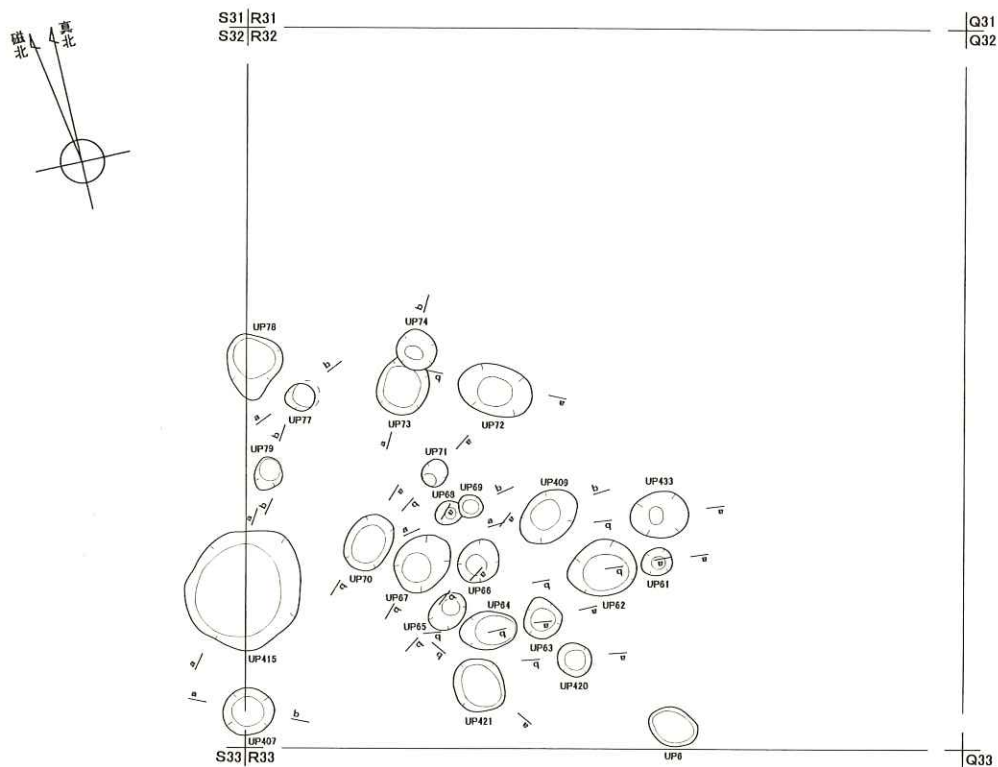
※配石は原位置礫のみ掲載

図Ⅶ-147 配石遺構図(3)

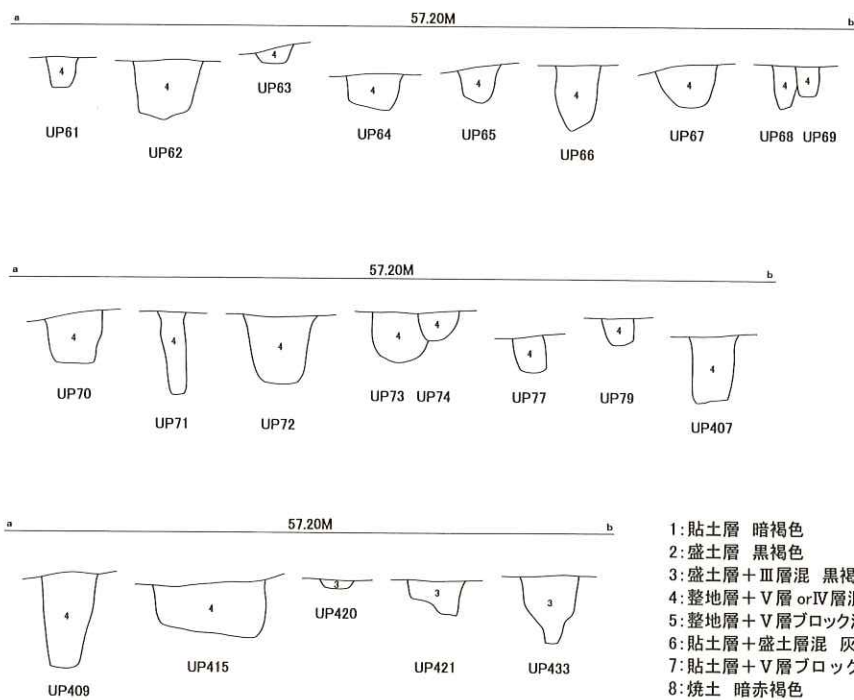


図VII-148 配石下土坑 (UP) 分類図

R32 区 (北側配石下)



セクションポイントを示していないものの断面は、配石ベルトに含む

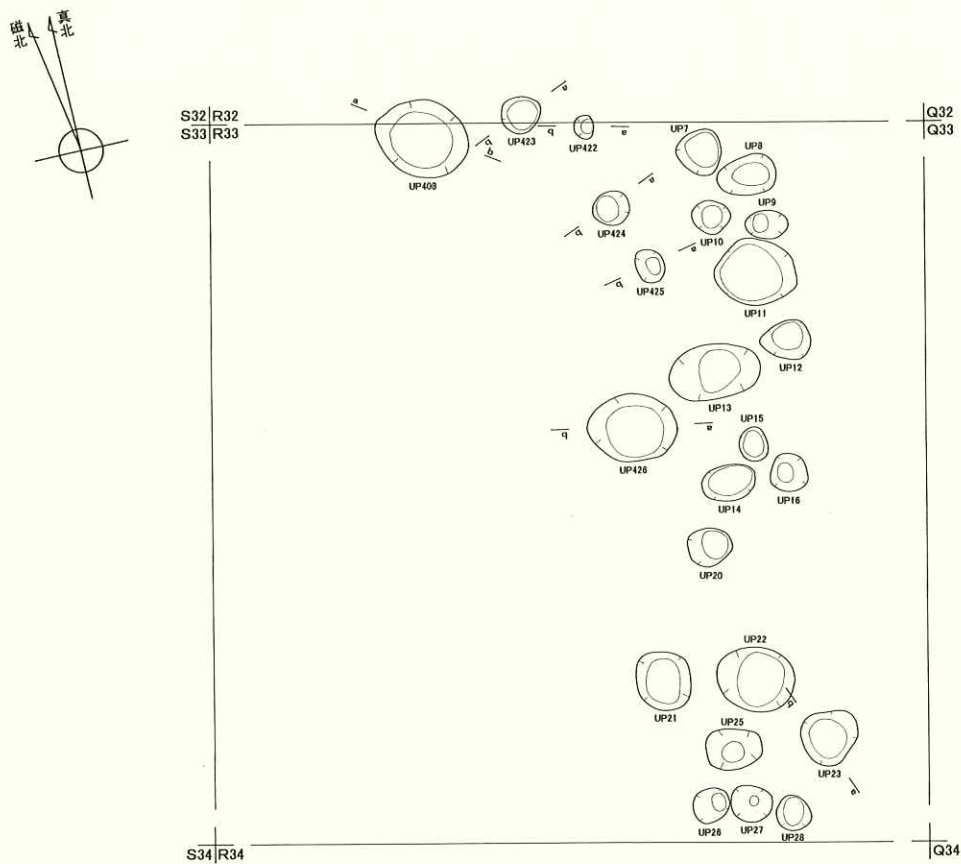


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 or Ⅳ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

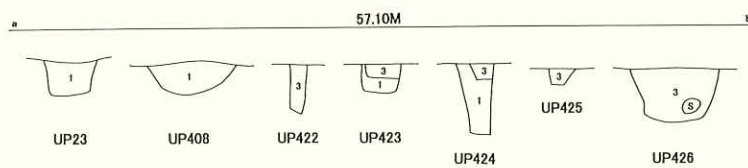
0 1m

図Ⅶ-149 R32区UP群

R33 区 (北側配石下)



セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

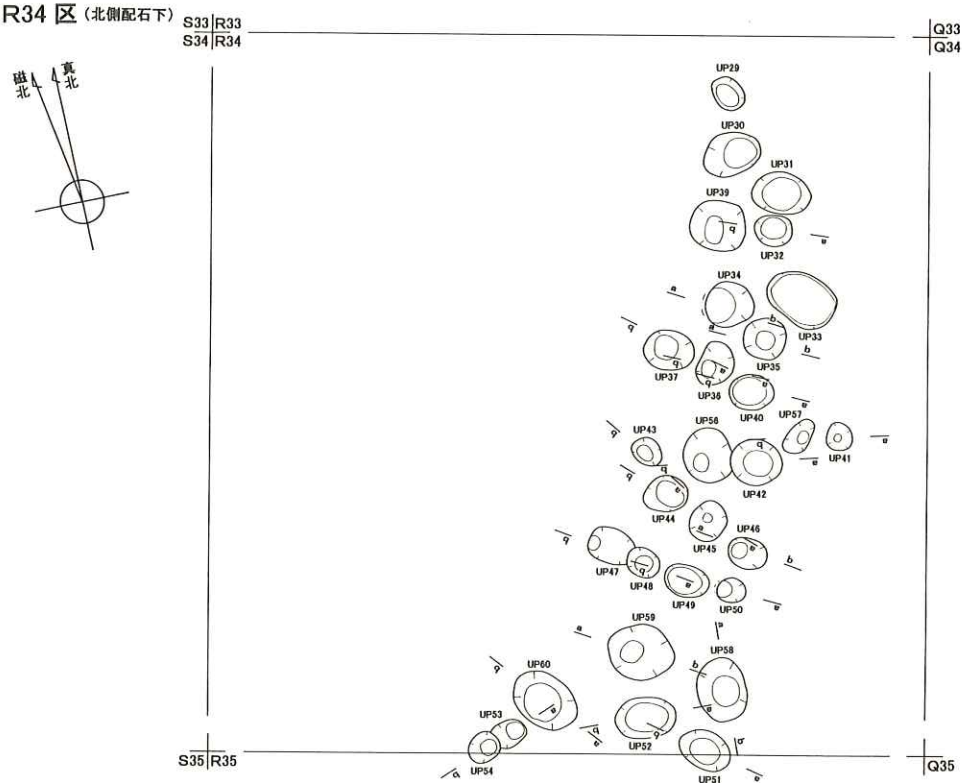


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

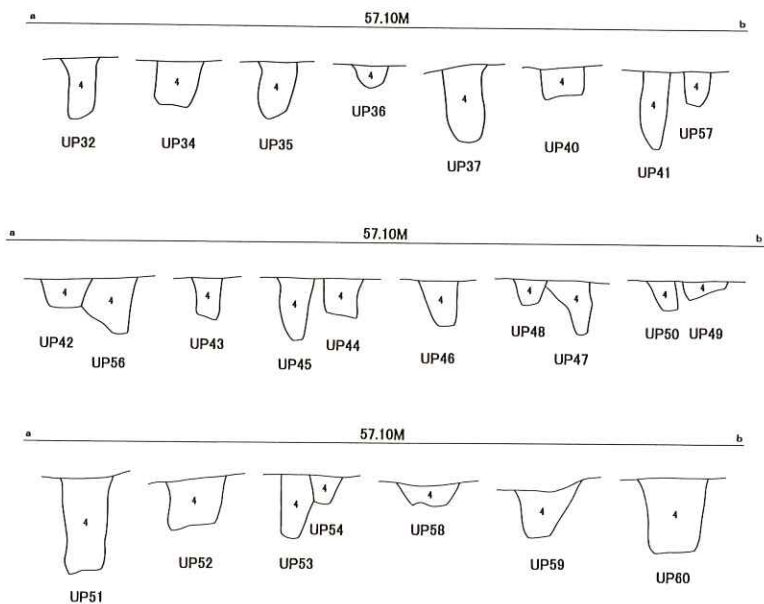
0 1m

図Ⅶ-150 R33区UP群

R34 区 (北側配石下)



セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

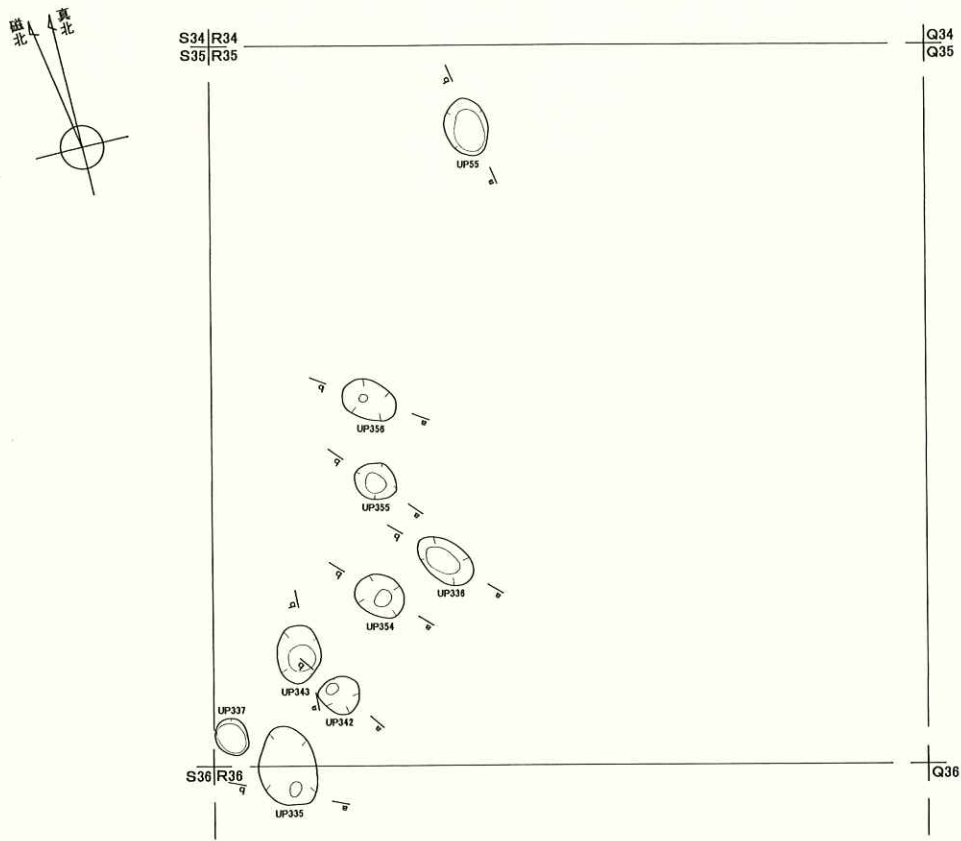


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

0 1m

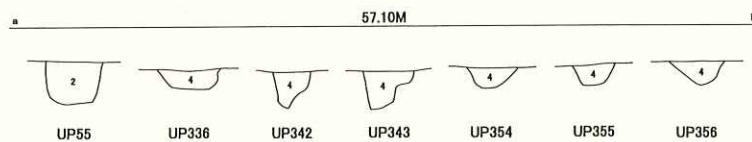
図Ⅶ-151 R34区UP群

R35 36 区(南側配石下)

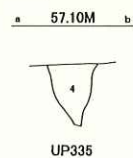


セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

R35 区



R36 区

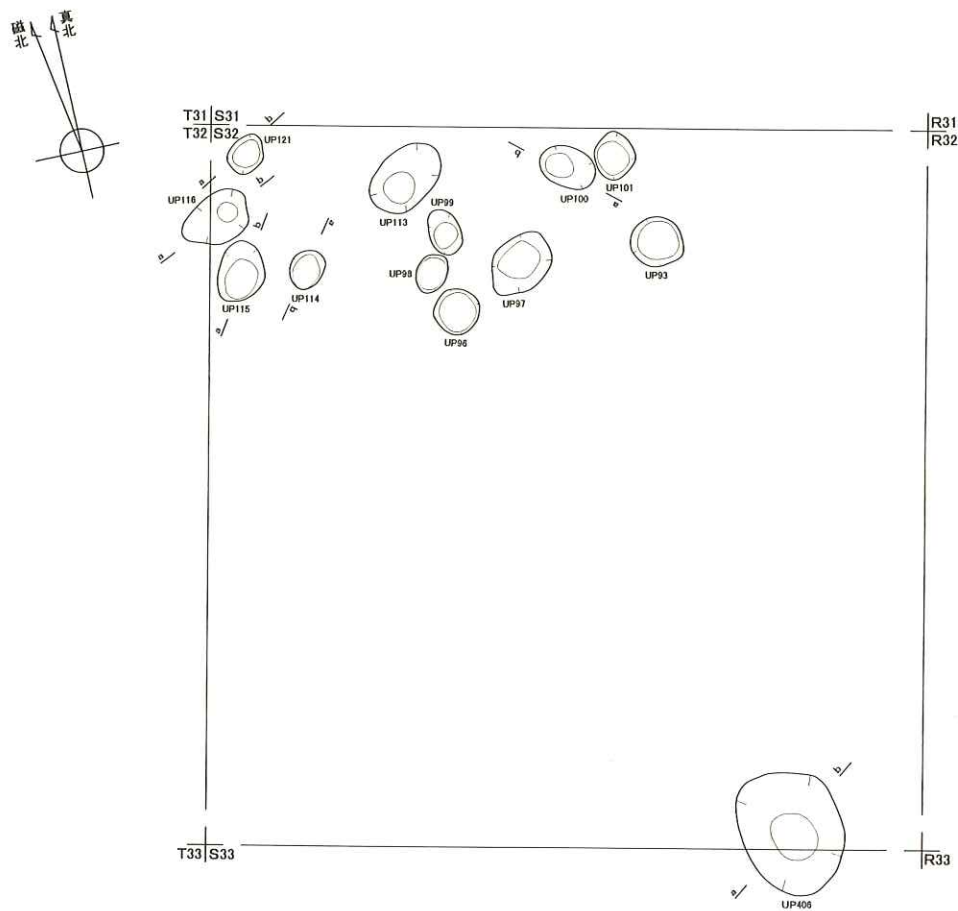


- 1: 貼土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 or Ⅳ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 貼土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 貼土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

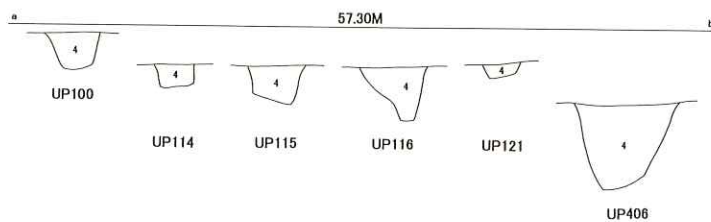
0 1m

図Ⅶ-152 R35・36区UP群

S32 区(北側配石下)



セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

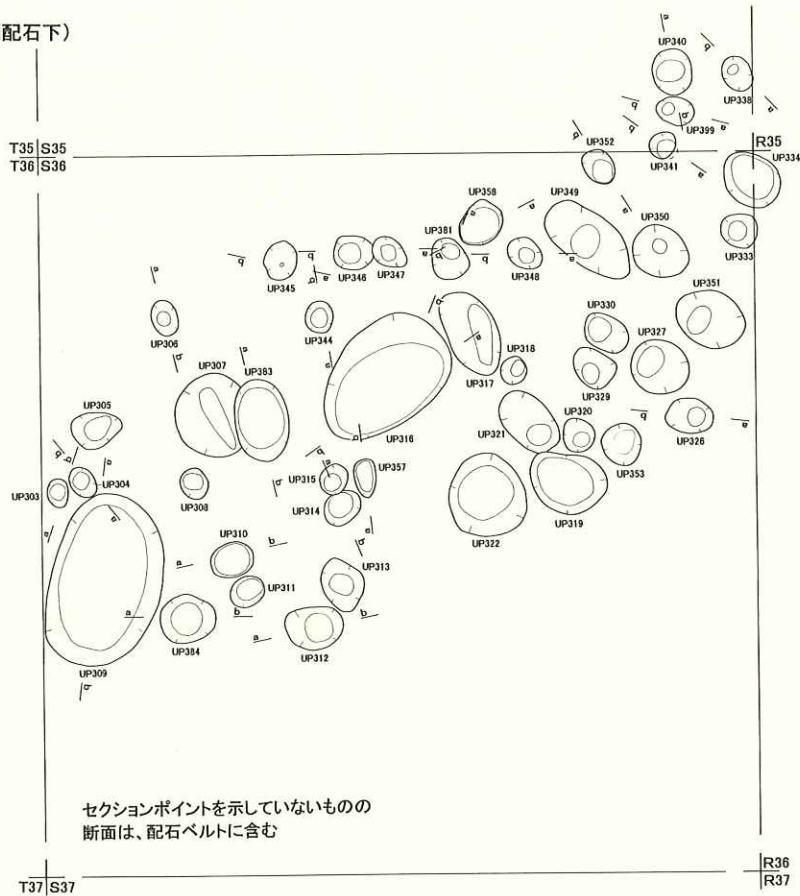
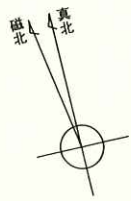


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

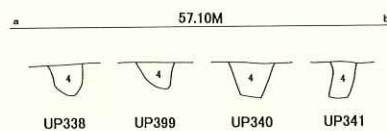
0 1m

図Ⅶ-153 S32区UP群

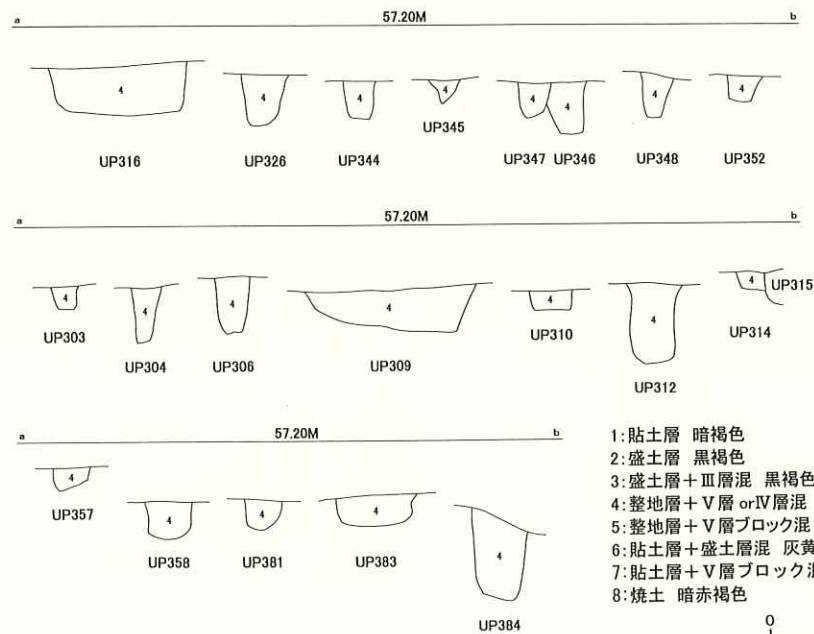
S35 36 区 (南側配石下)



S35 区

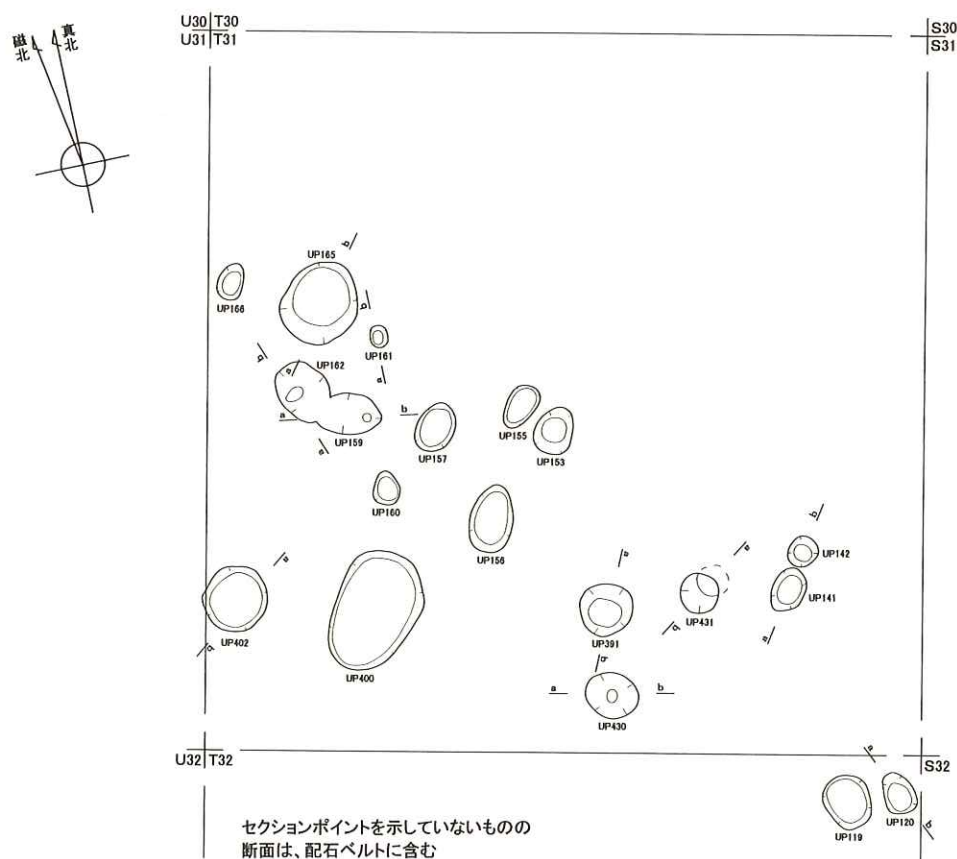


S36 区

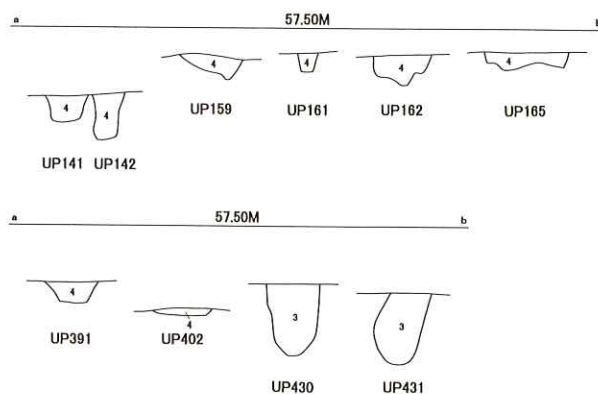


図Ⅶ-154 S35・36区UP群

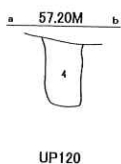
T31 32 区 (北側配石下)



T31 区



T32 区

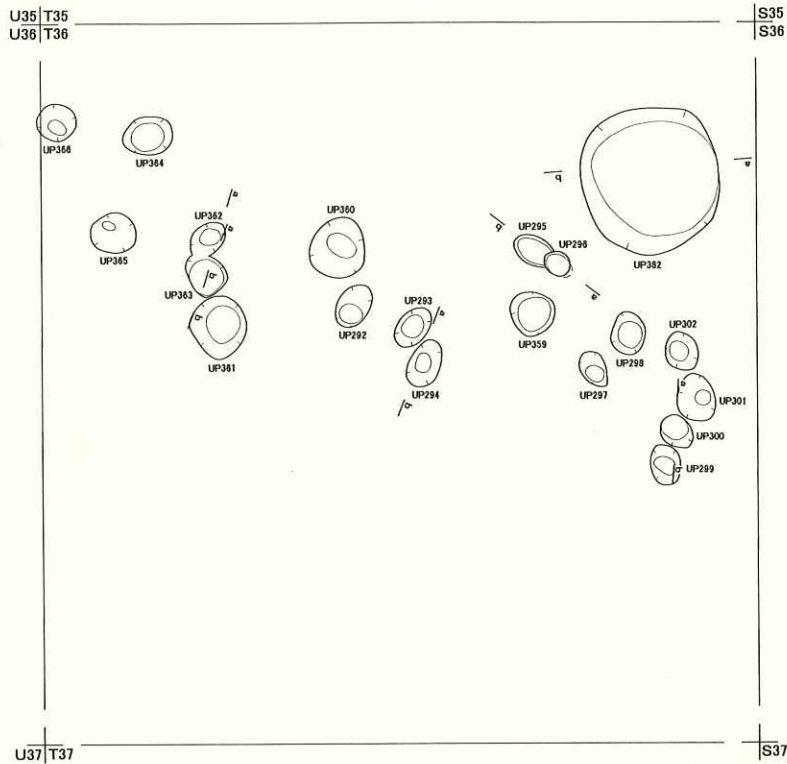
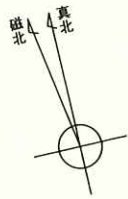


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

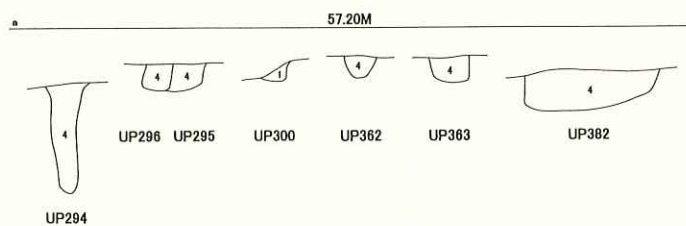
0 1m

図Ⅶ-155 T31・32区UP群

T36 区 (南側配石下)



セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

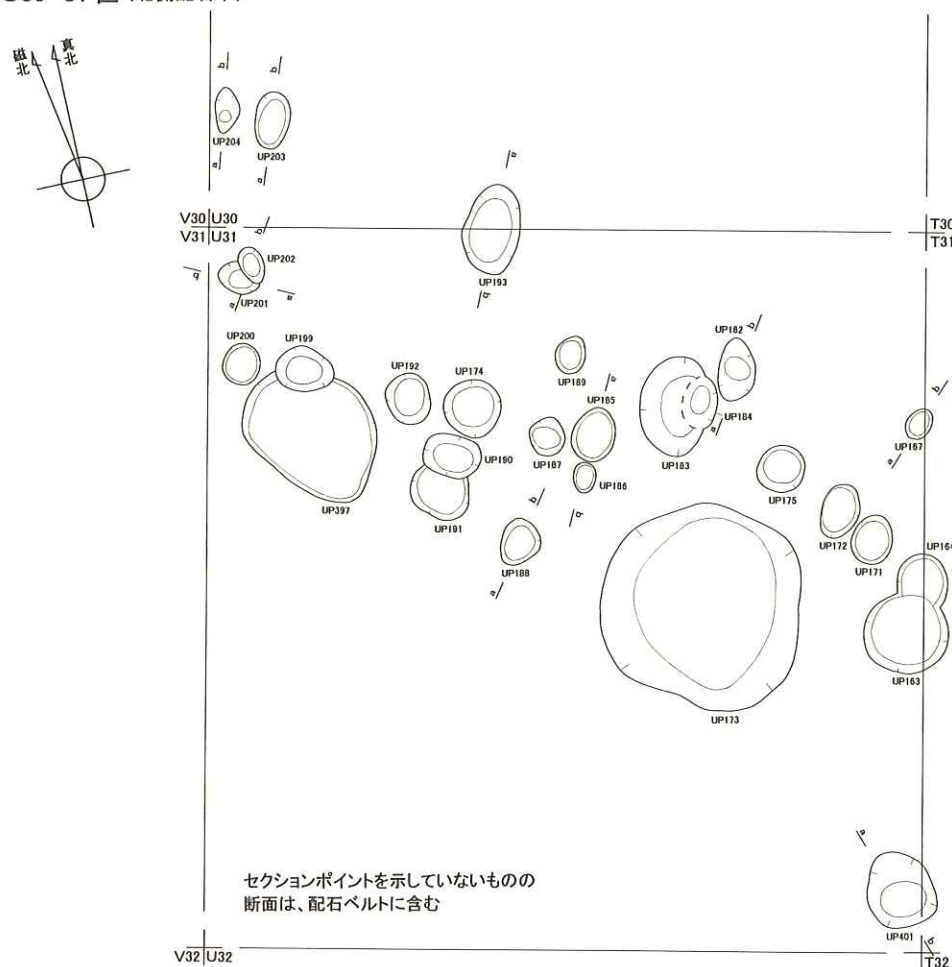


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

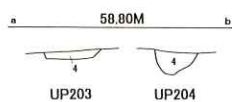
0 1m

図Ⅶ-156 T36区UP群

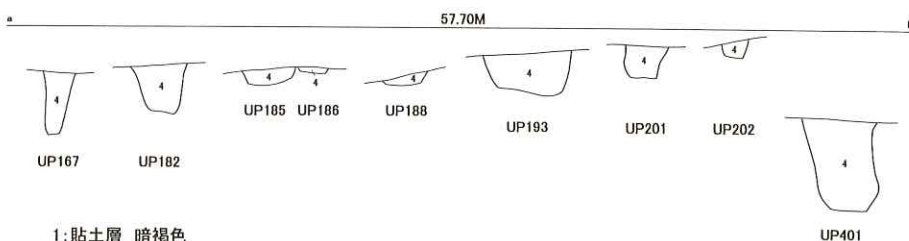
U30 31 区 (北側配石下)



U30 区



U31 区

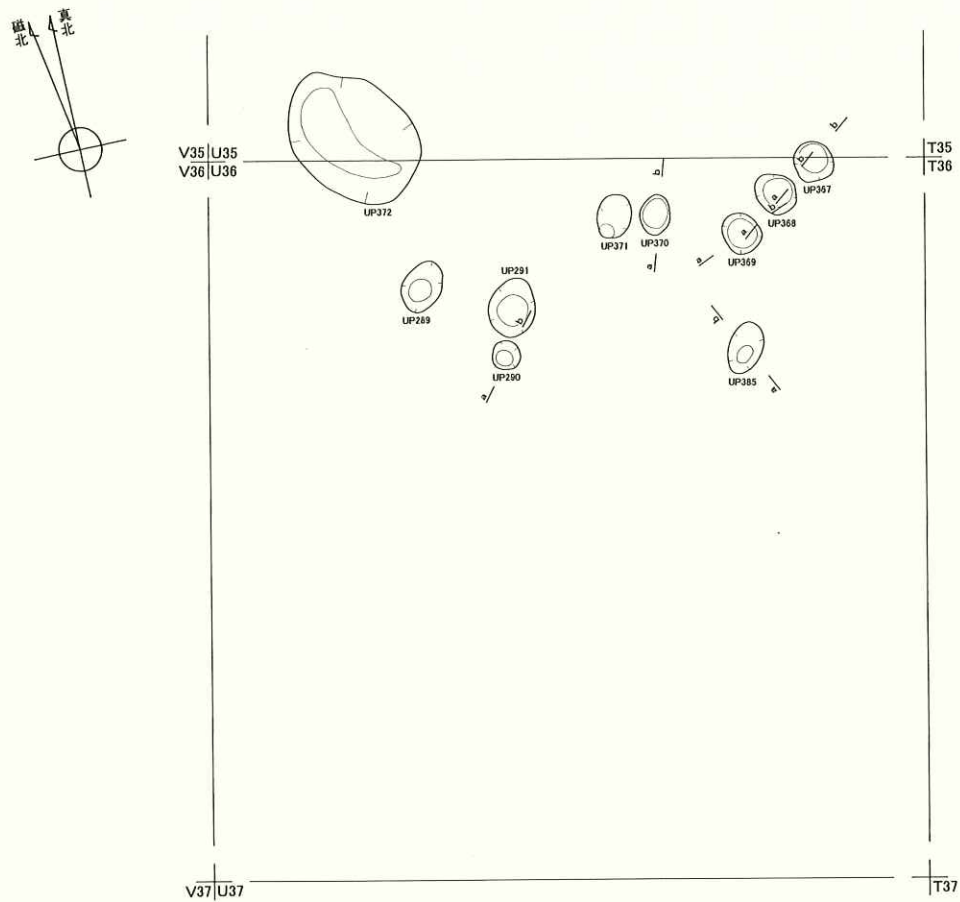


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+皿層混 黒褐色
- 4: 整地層+V層 or IV層混 褐色
- 5: 整地層+V層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+V層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

0 1m

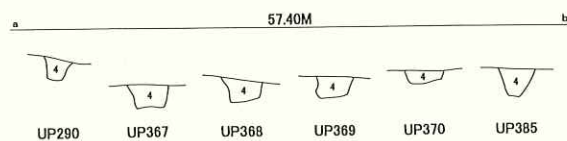
図Ⅶ-157 U30・31区UP群

U35 36 区 (南側配石下)



セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

U36 区

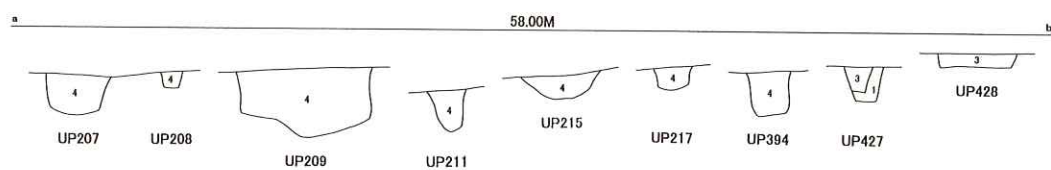
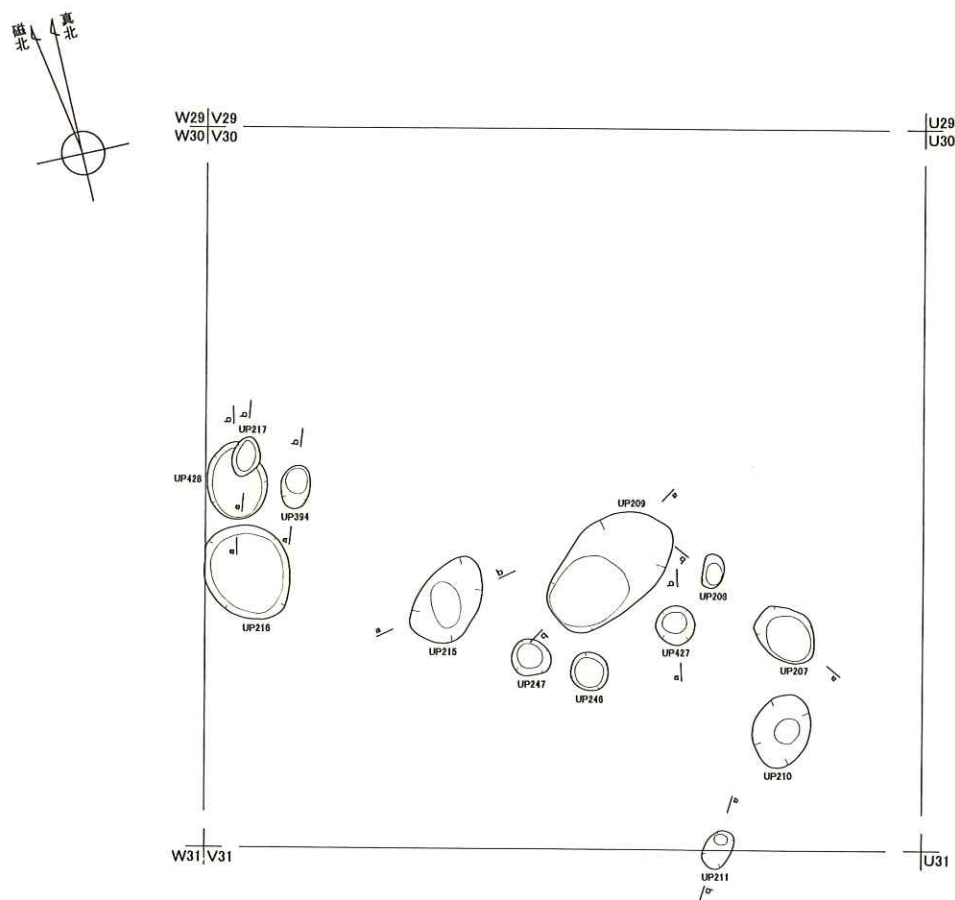


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 or Ⅳ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

0 1m

図Ⅶ-158 U35・36区UP群

V30 区 (北側配石下)

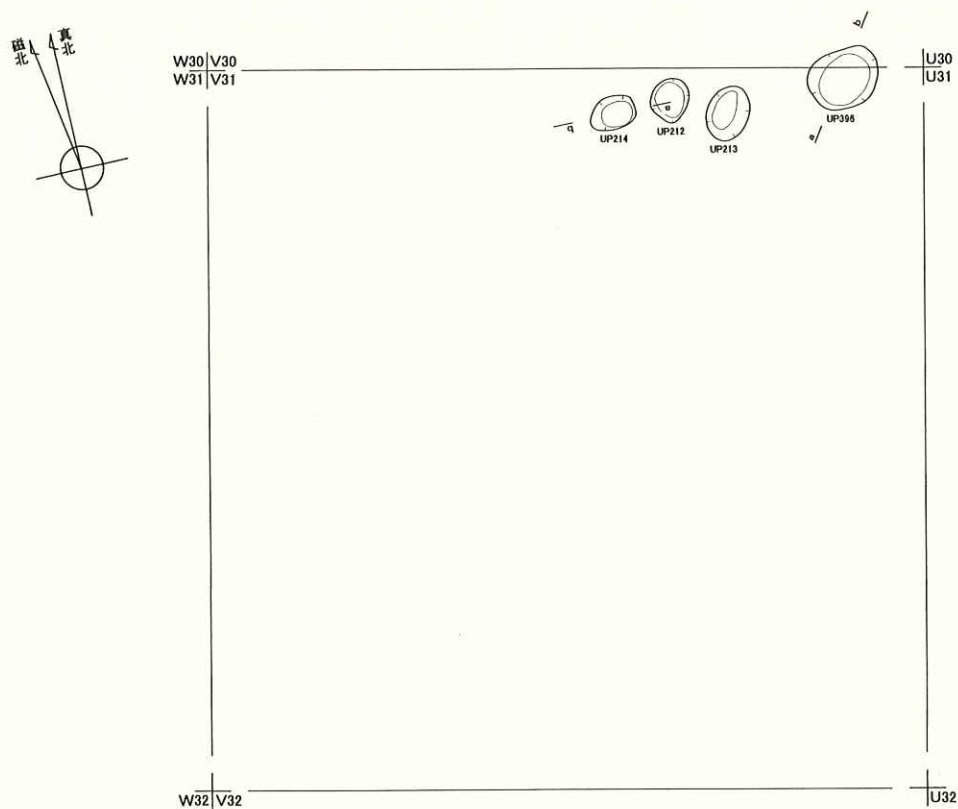


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

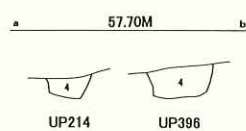
0 1m

図Ⅶ-159 V30区UP群

V31 区 (北側配石下)



セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

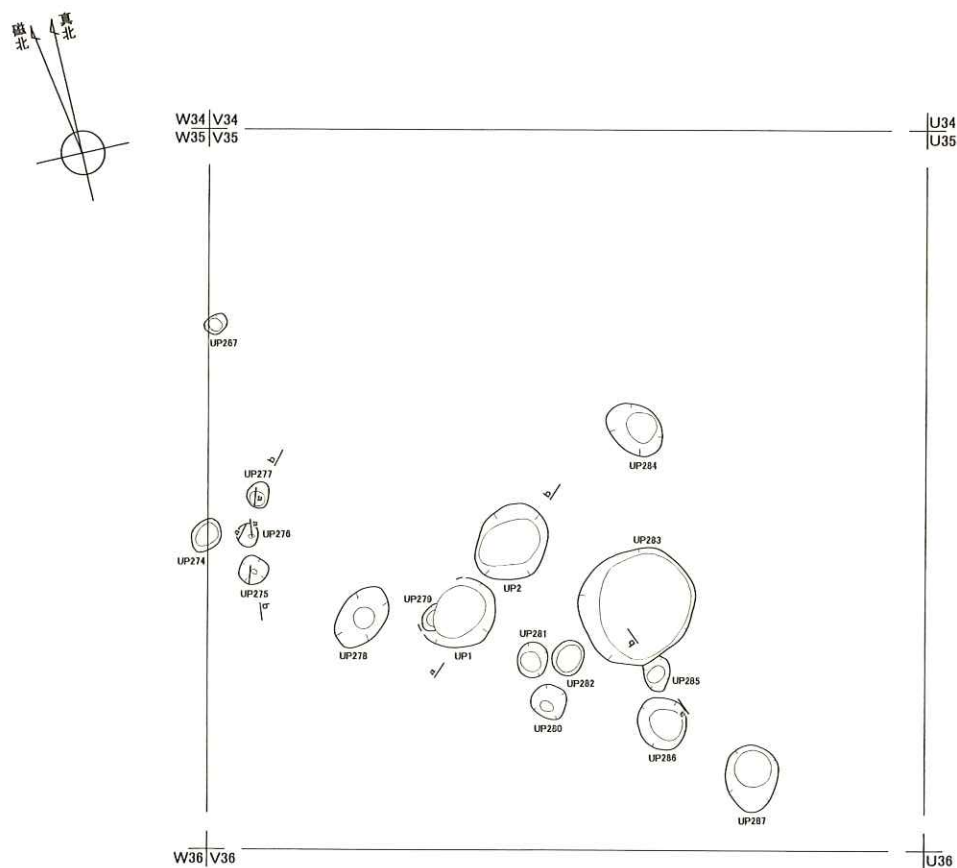


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

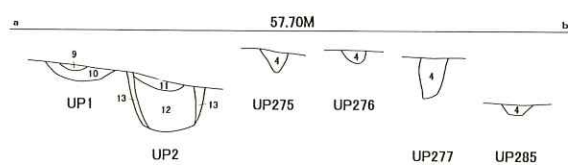
0 1m

図Ⅶ-160 V31区UP群

V35 区(南側配石下)



セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

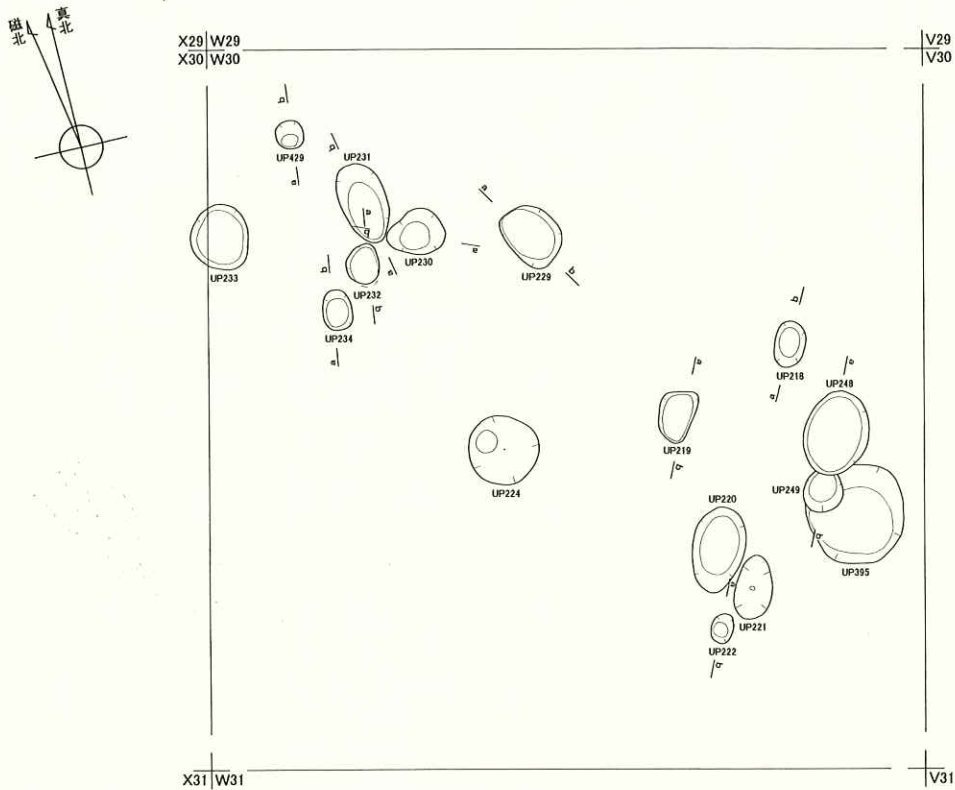


- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1: 粘土層 暗褐色 | 10: 10YR3/2 黒褐色シルト CL 弱 |
| 2: 盛土層 黒褐色 | すこぶる堅 炭化材小 1% ローム粒 5% |
| 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色 | 11: 10YR5/2 灰黄褐色シルト L 弱 |
| 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色 | すこぶる堅 ロームブロック中 25% |
| 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色 | 12: 10YR3/2 黒褐色シルト CL 弱 堅 |
| 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色 | ロームブロック中、炭化材小〜中 2% |
| 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色 | 13: 10YR4/4 褐色シルト C 弱 すこぶる堅 |
| 8: 焼土 暗赤褐色 | ロームの掘り方 |
| 9: 10YR4/2 灰黄褐色シルト L 弱 | |
| すこぶる堅 ローム粒 2% | |

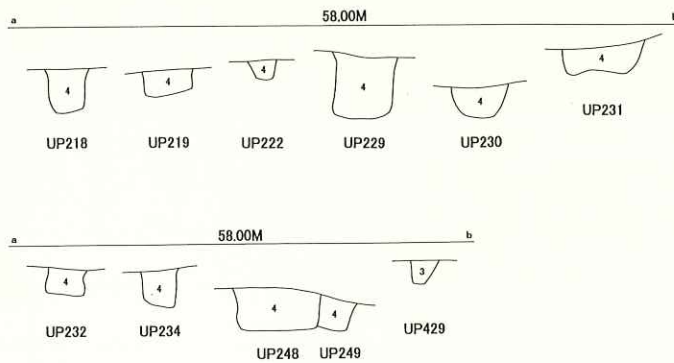
0 1m

図Ⅶ-161 V35区UP群

W30 区 (北側配石下)



セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

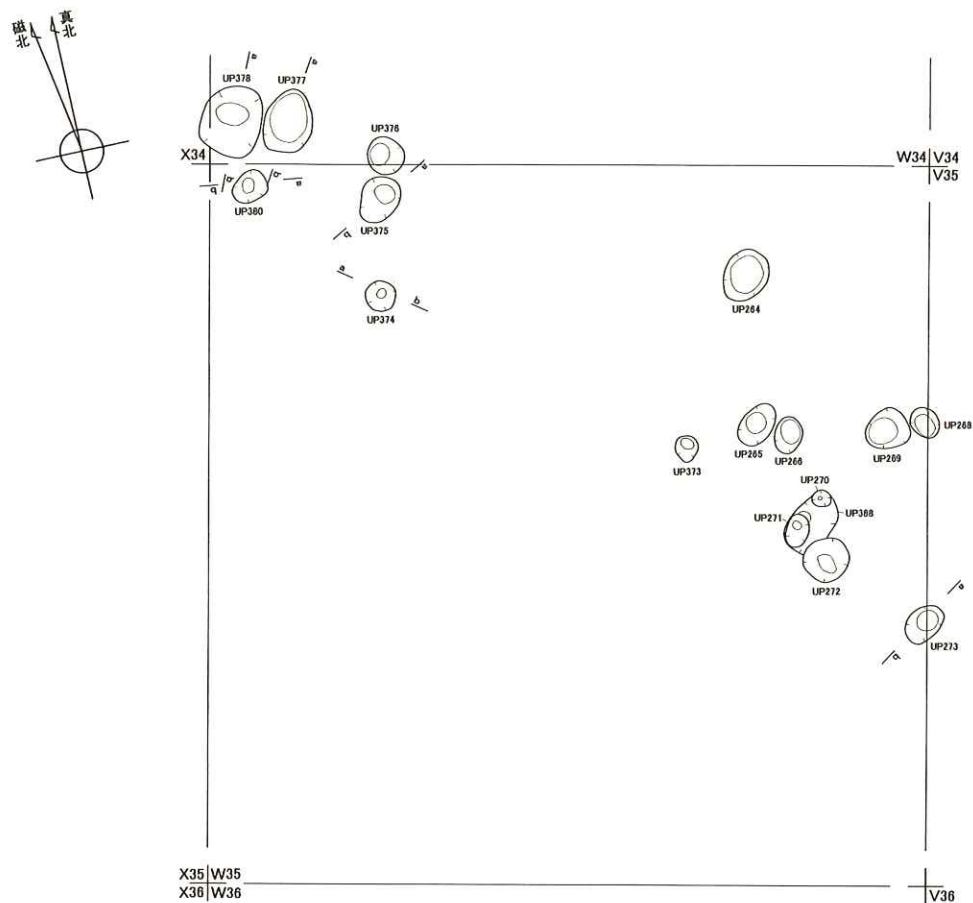


- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

0 1m

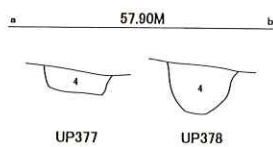
図Ⅶ-162 W30区UP群

W34 35 区 (南側配石下)

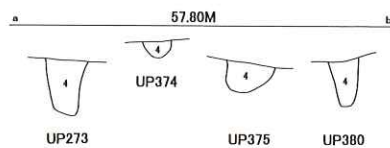


セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む

W34 区



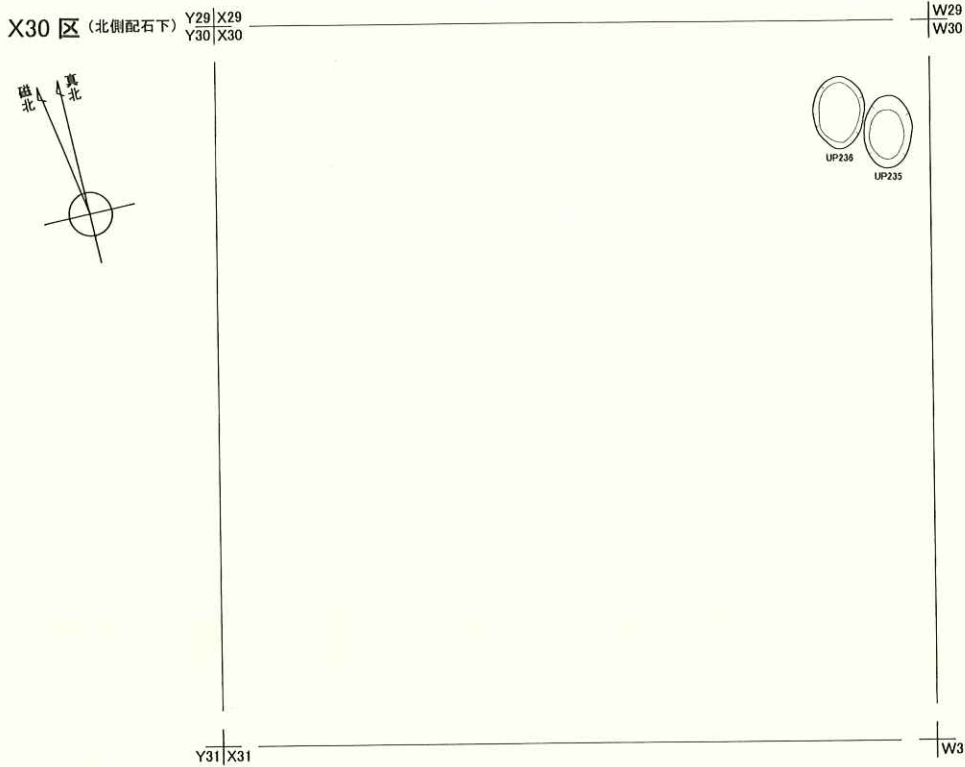
W35 区



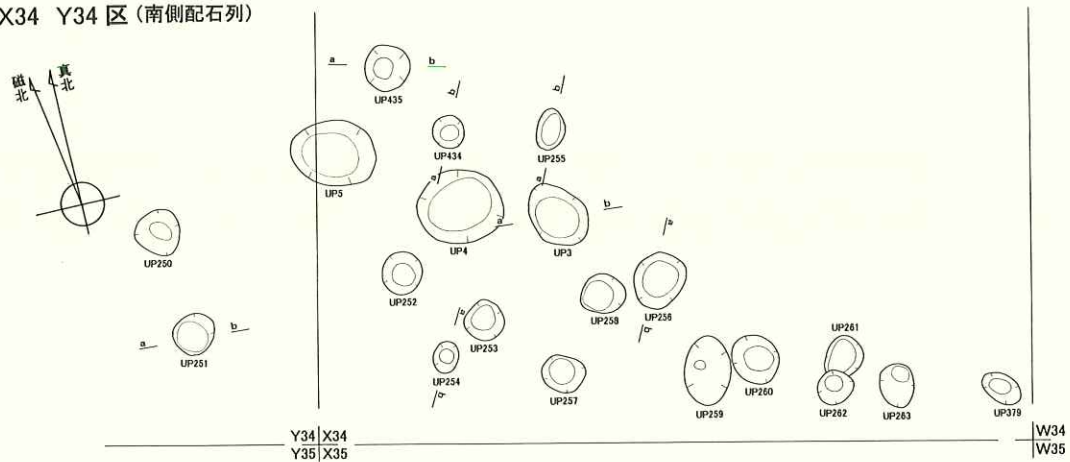
- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

0 1m

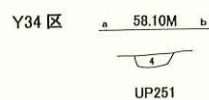
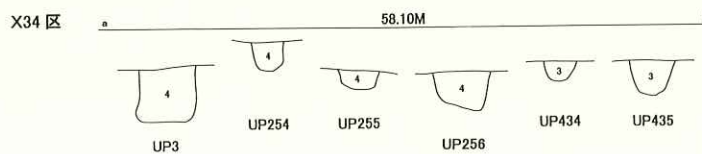
図Ⅶ-163 W34・35区UP群



X34 Y34 区 (南側配石列)



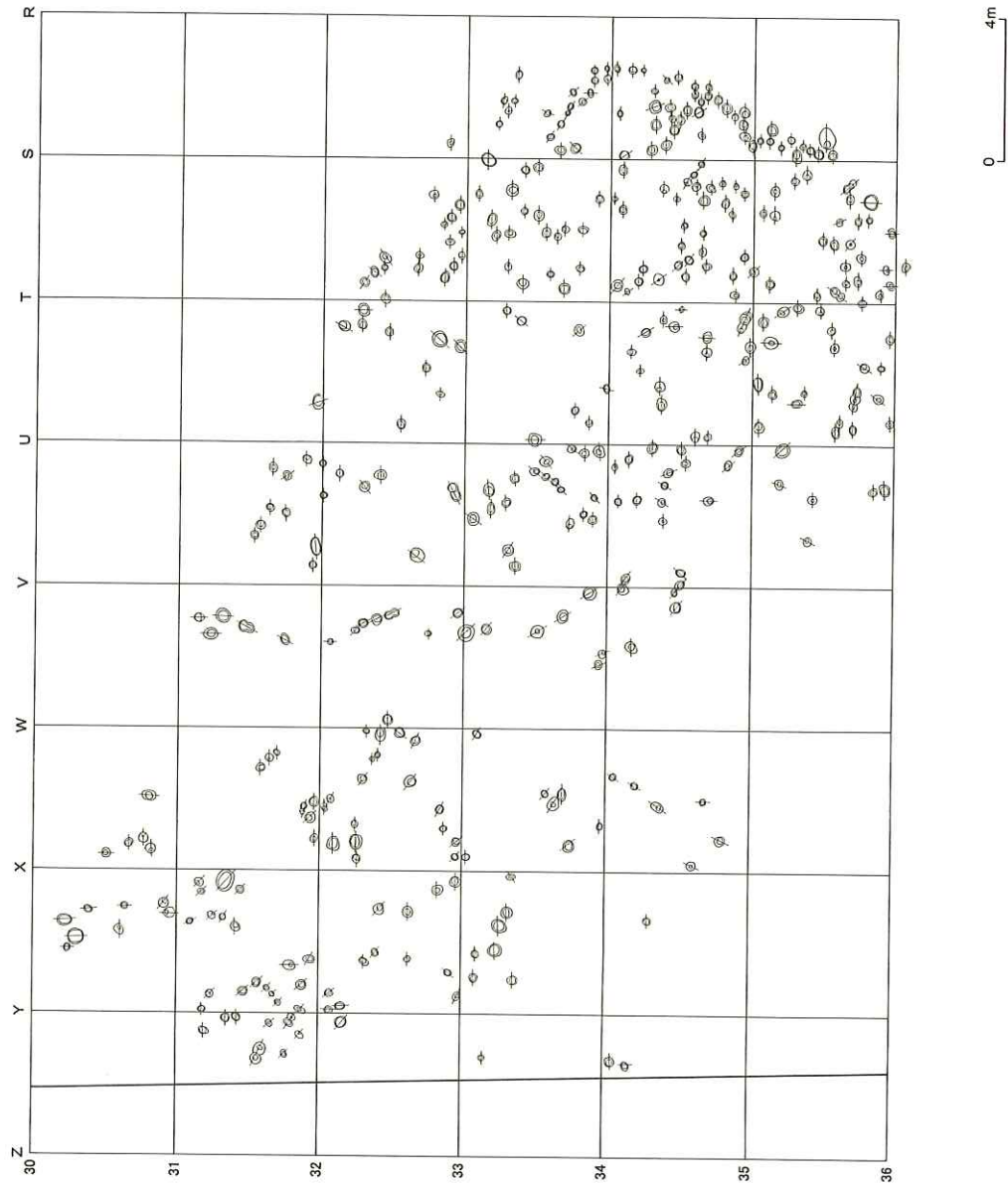
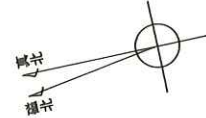
セクションポイントを示していないものの
断面は、配石ベルトに含む



- 1: 粘土層 暗褐色
- 2: 盛土層 黒褐色
- 3: 盛土層+Ⅲ層混 黒褐色
- 4: 整地層+Ⅴ層 orⅣ層混 褐色
- 5: 整地層+Ⅴ層ブロック混 黄褐色
- 6: 粘土層+盛土層混 灰黄色
- 7: 粘土層+Ⅴ層ブロック混 にぶい黄褐色
- 8: 焼土 暗赤褐色

0 1m

図Ⅶ-164 X30・34 Y34区UP群

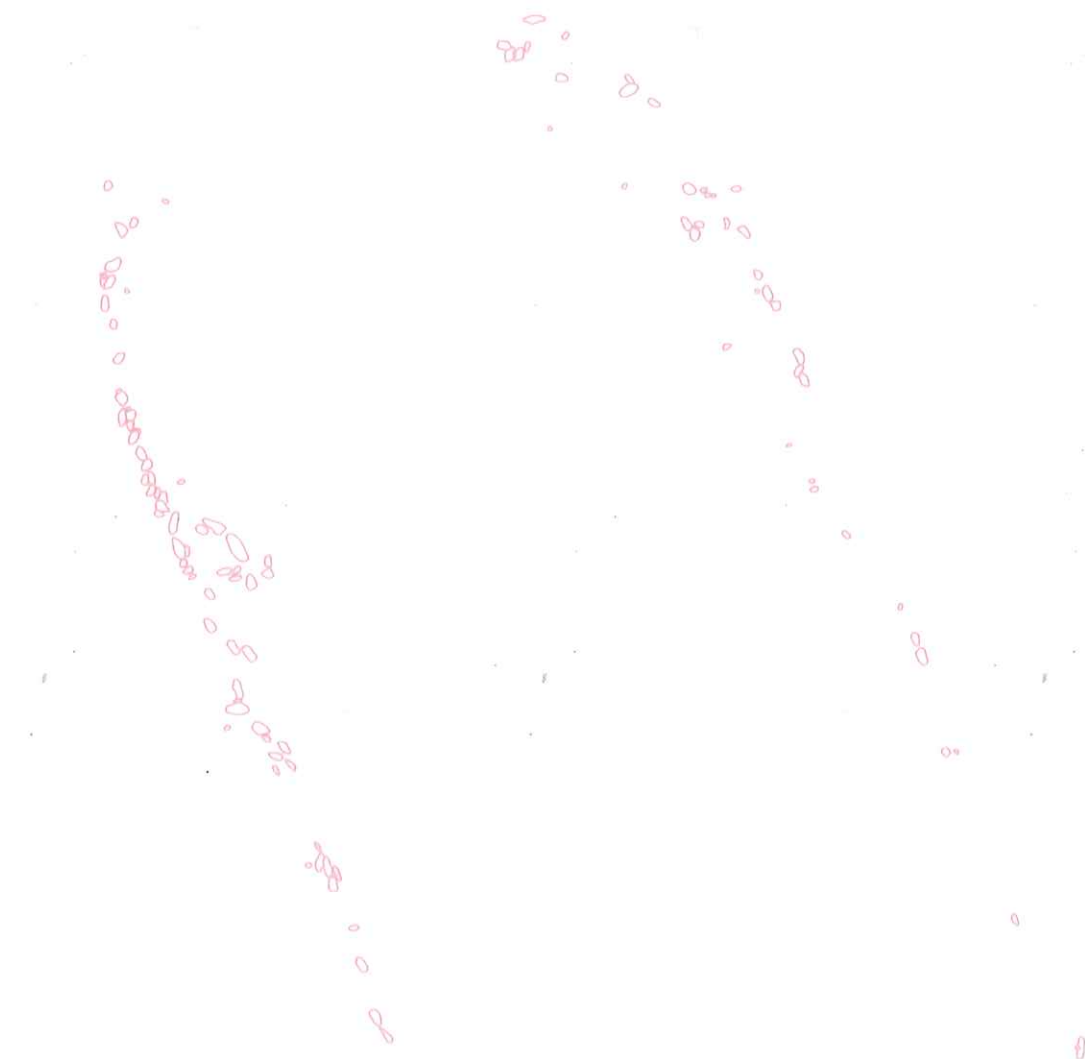


図Ⅶ-165 中央広場小ピット(CP)分布図

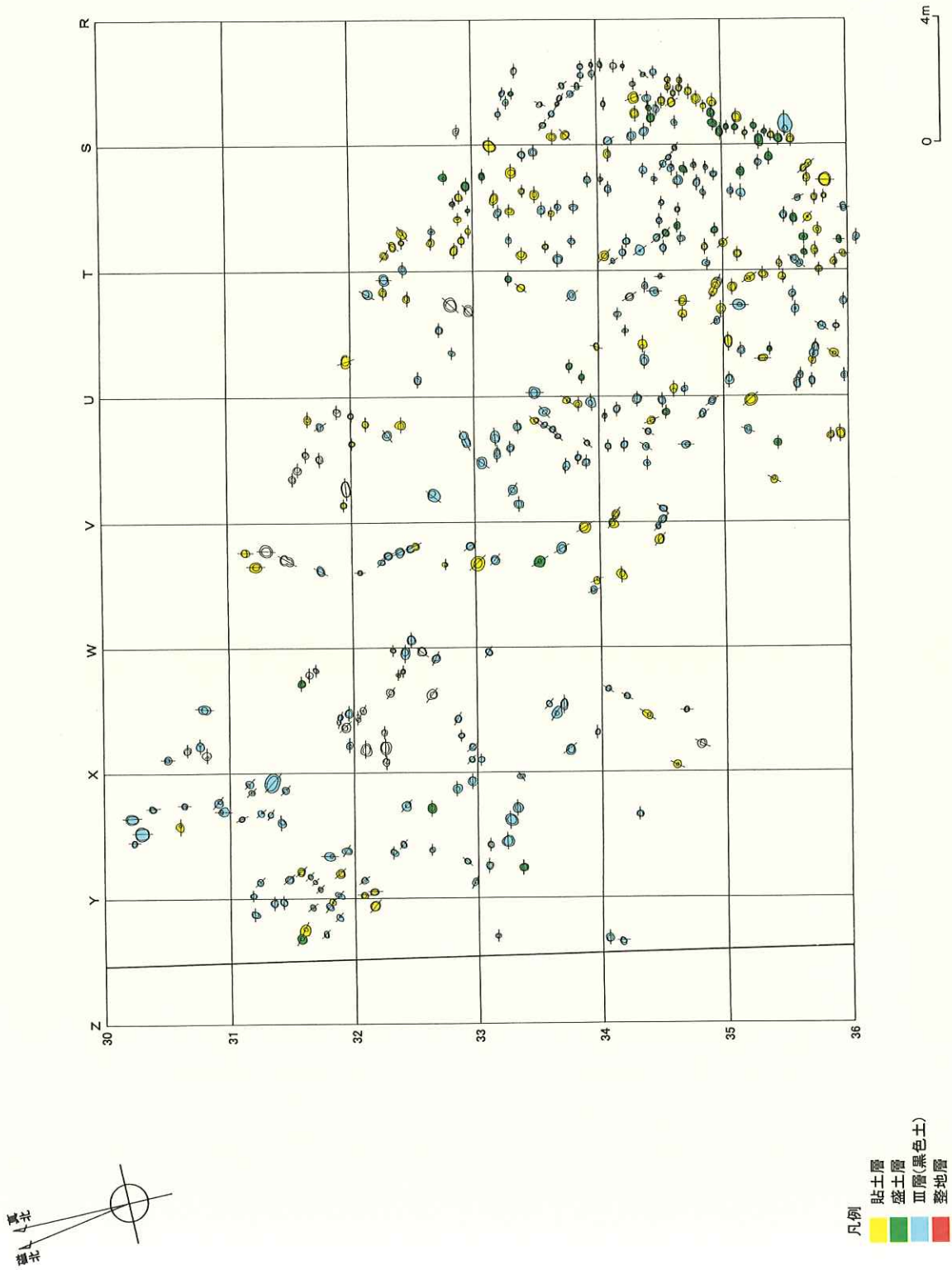


※配石は原位置礫のみ掲載

図Ⅶ-166 配石遺構図(4)

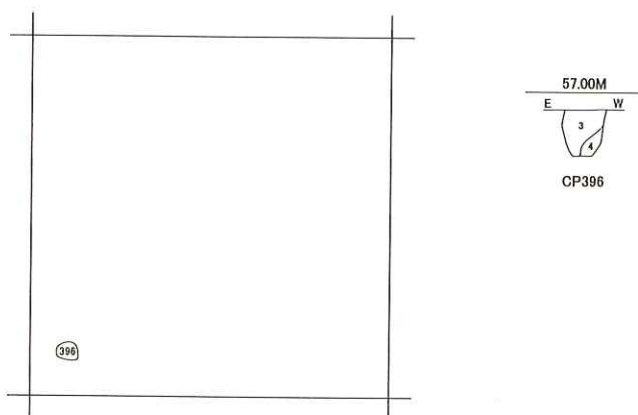


※ 5mm 以上の罫線は必要

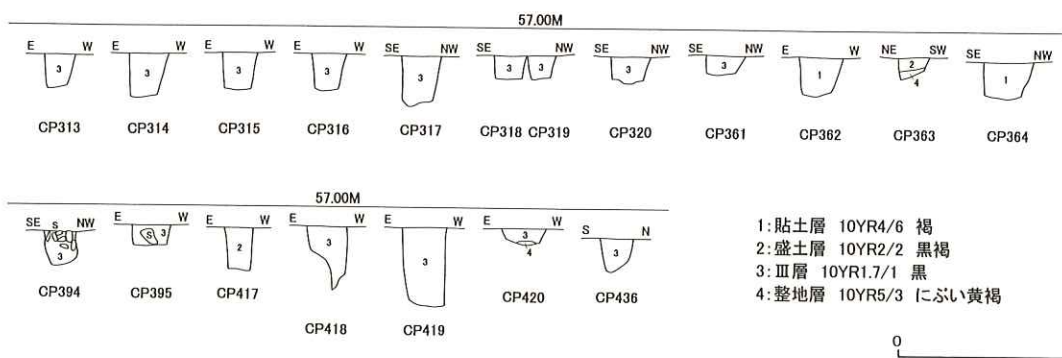
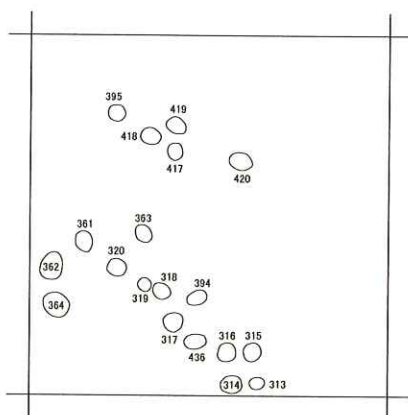


図VII-167 中央広場小ピット(CP)分類図

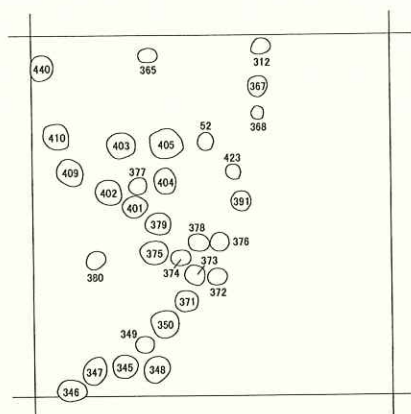
R32 区



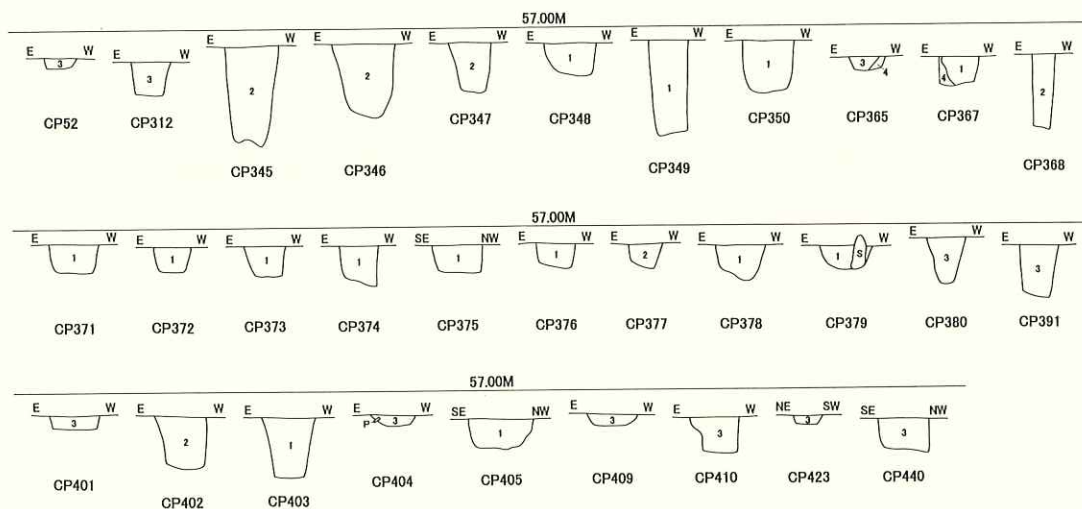
R33 区



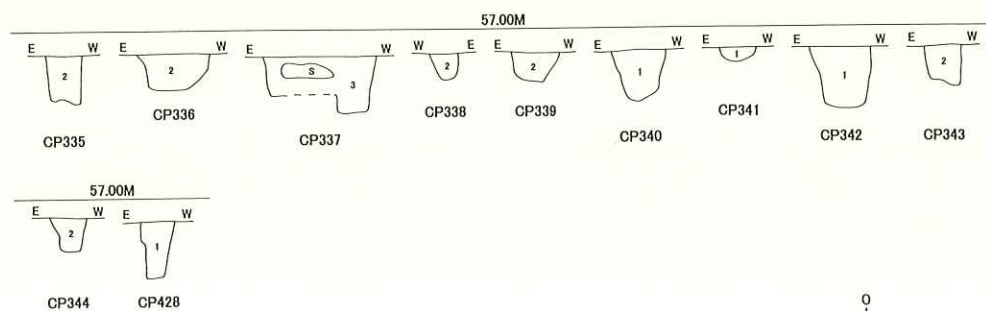
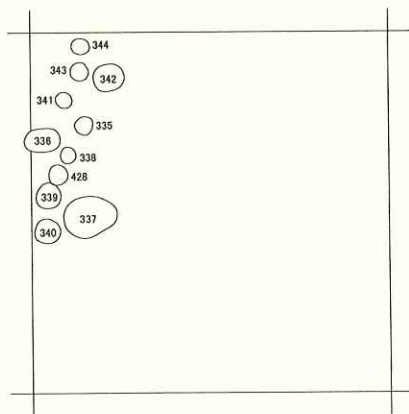
R34 区



- 1: 貼土層 10YR4/6 褐
 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
 3: 皿層 10YR1.7/1 黒
 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐



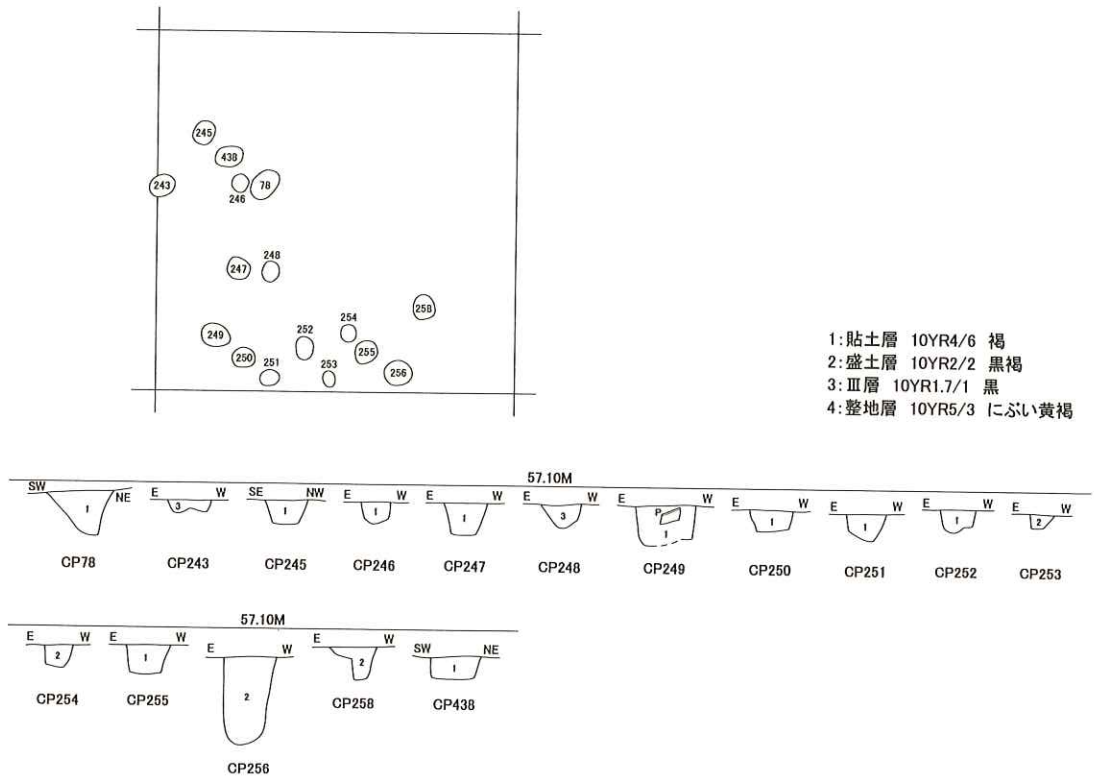
R35 区



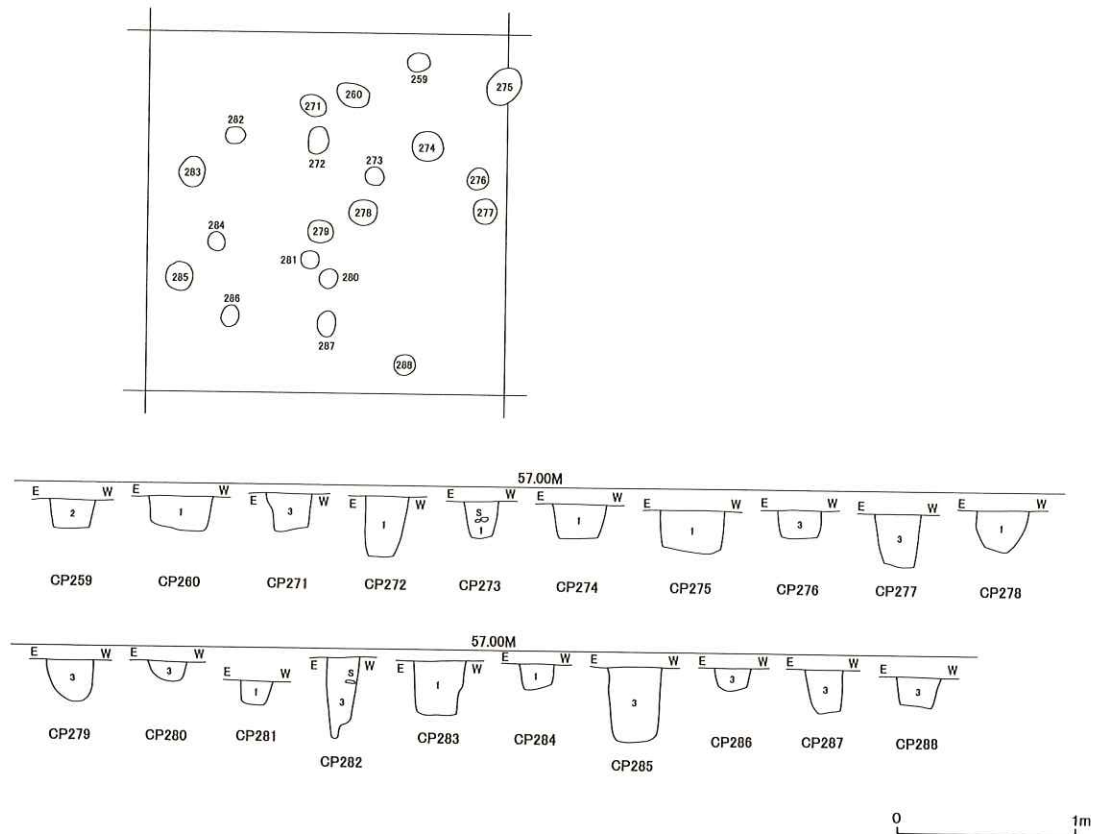
0 1m

図VII-169 R34・35区CP群

S32 区

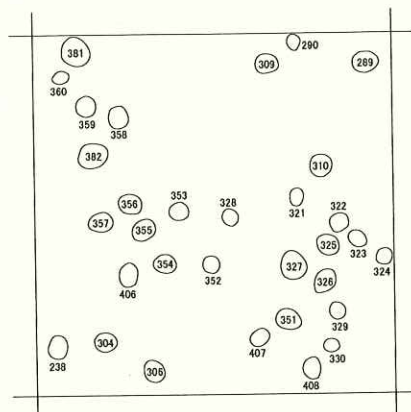


S33 区

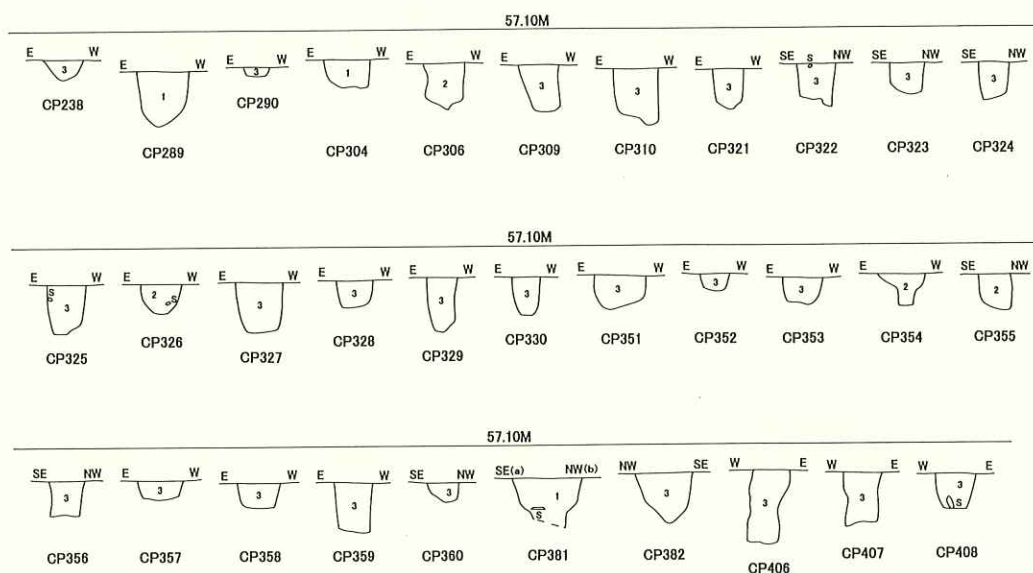


図Ⅶ-170 S32・33区CP群

S34 区

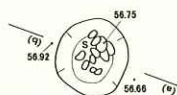


- 1: 粘土層 10YR4/6 褐
 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
 3: Ⅲ層 10YR1.7/1 黒
 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐



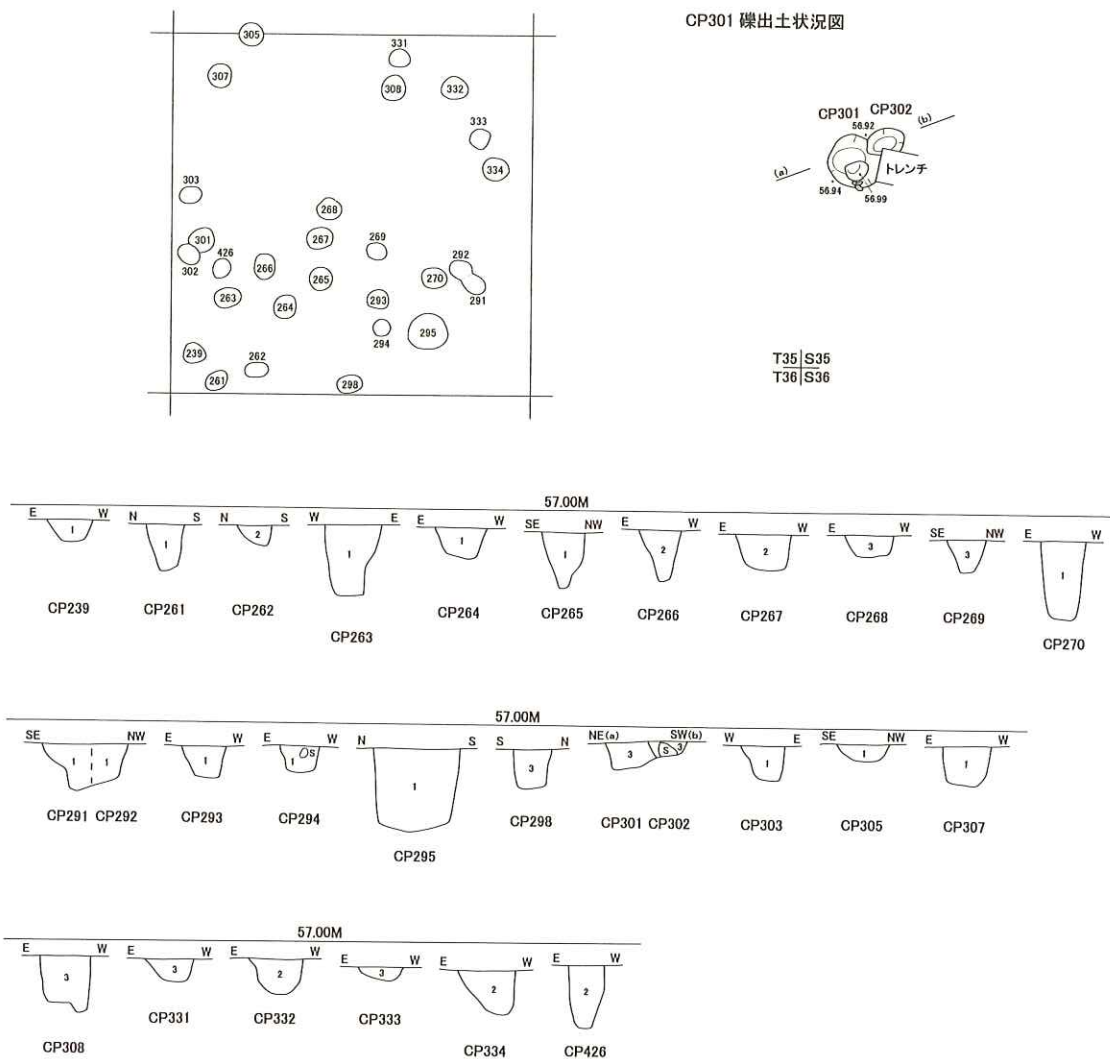
CP381 礫出土状況図

T33|S33
 T34|S34

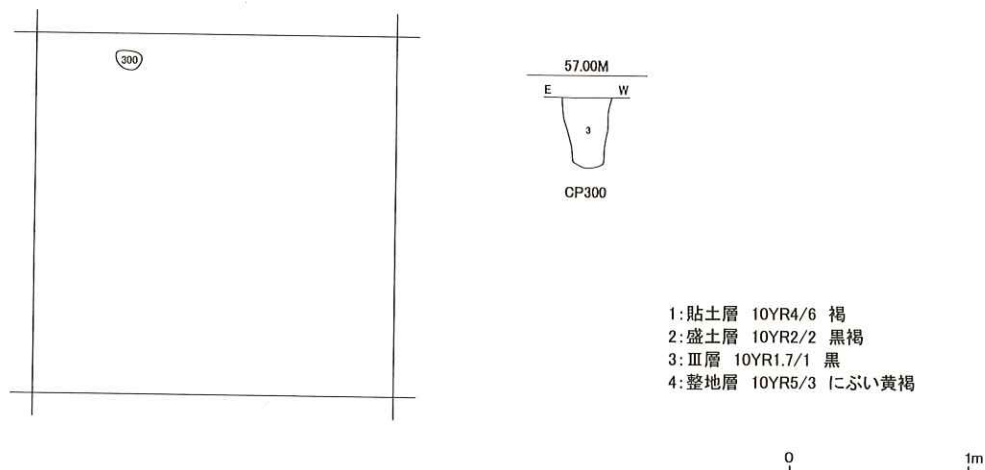


0 1m

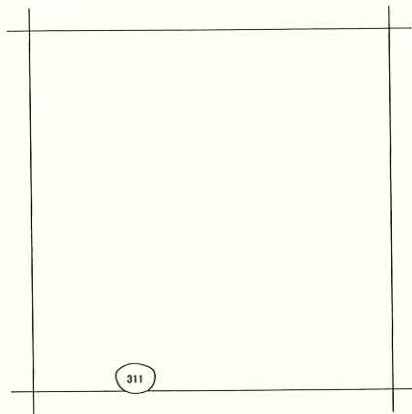
S35 区



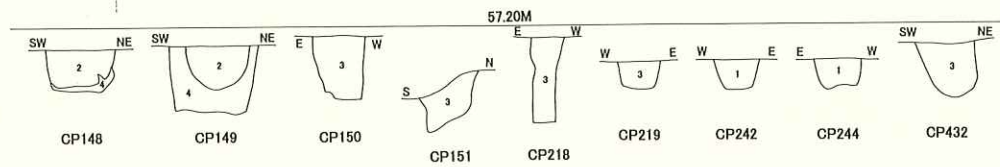
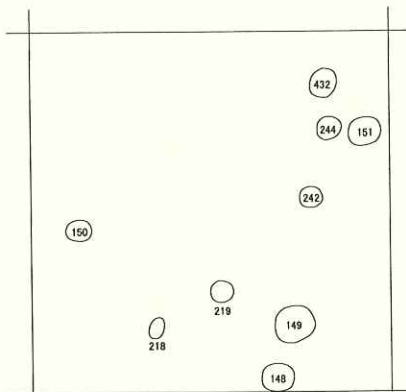
S36 区



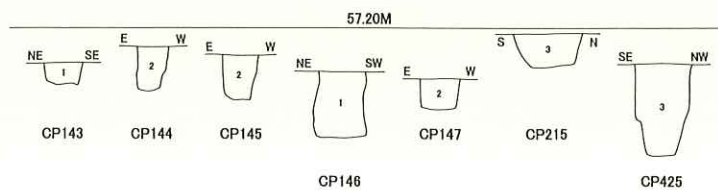
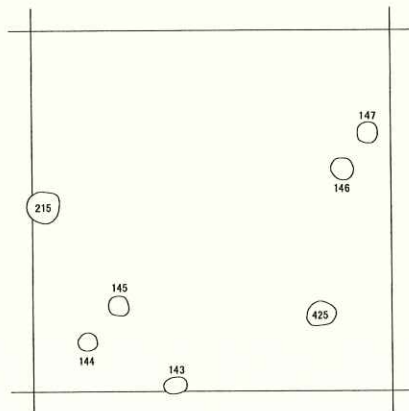
T31 区



T32 区



T33 区

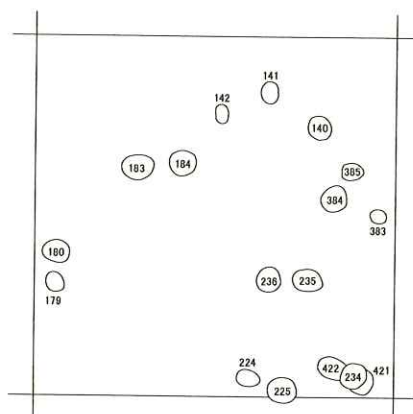


- 1: 粘土層 10YR4/6 褐
- 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
- 3: 皿層 10YR1.7/1 黒
- 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐

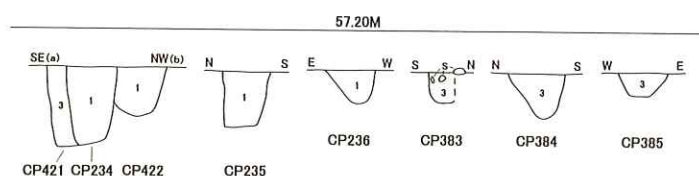
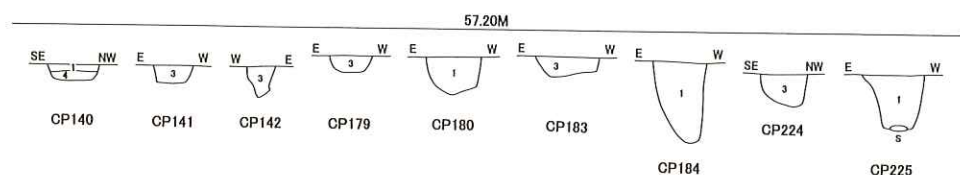
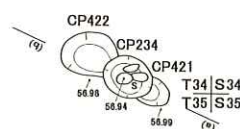
0 1m

図VII-173 T31~33区CP群

T34 区

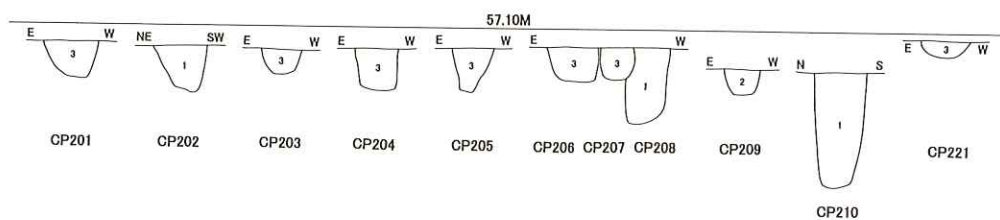
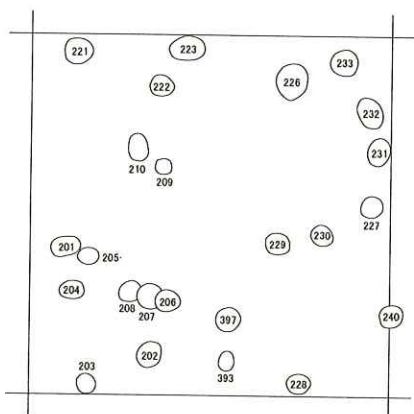


CP234 礫出土状況図



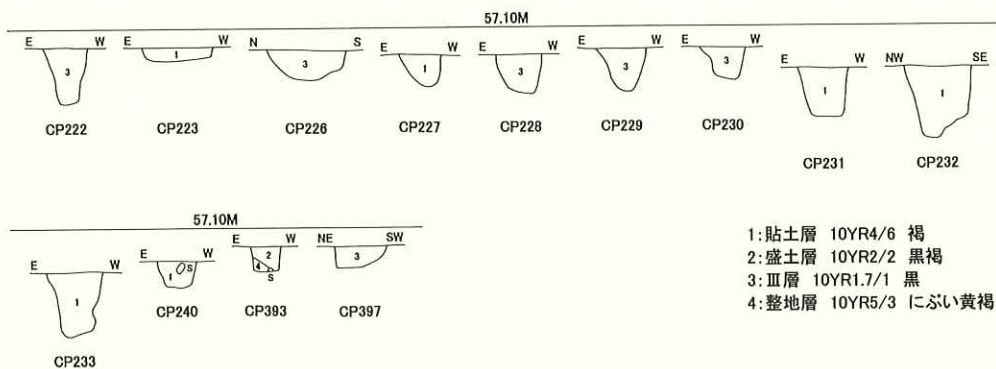
- 1: 粘土層 10YR4/6 褐
- 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
- 3: Ⅲ層 10YR1.7/1 黒
- 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐

T35 区

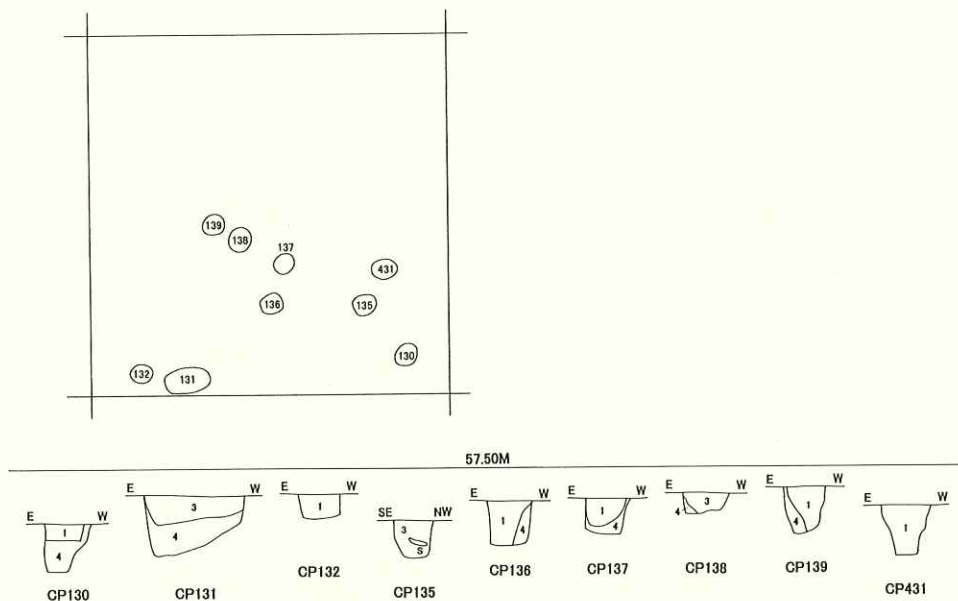


0 1m

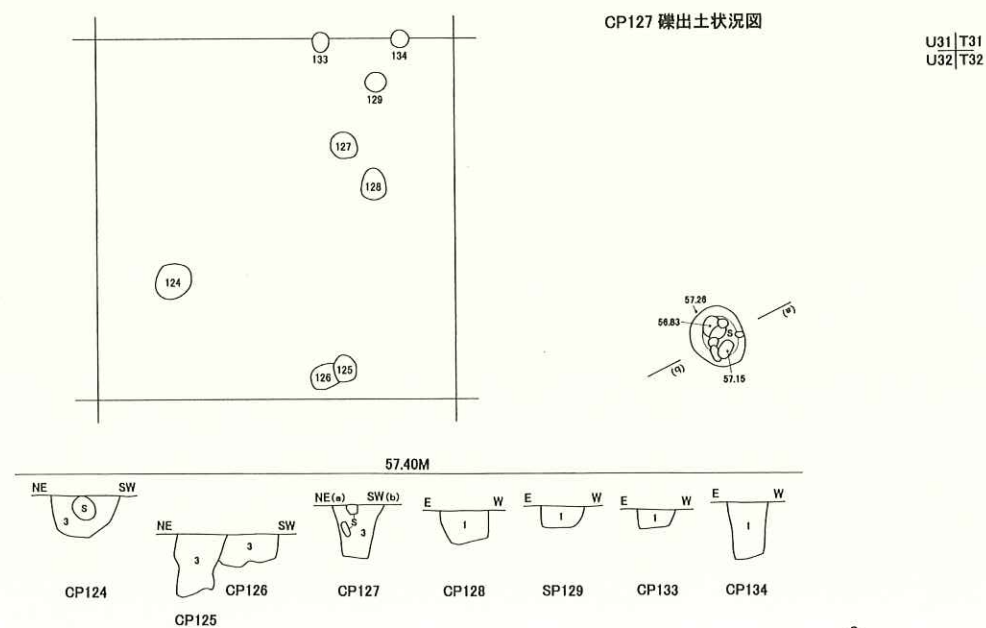
図Ⅶ-174 T34・35区CP群



U31 区

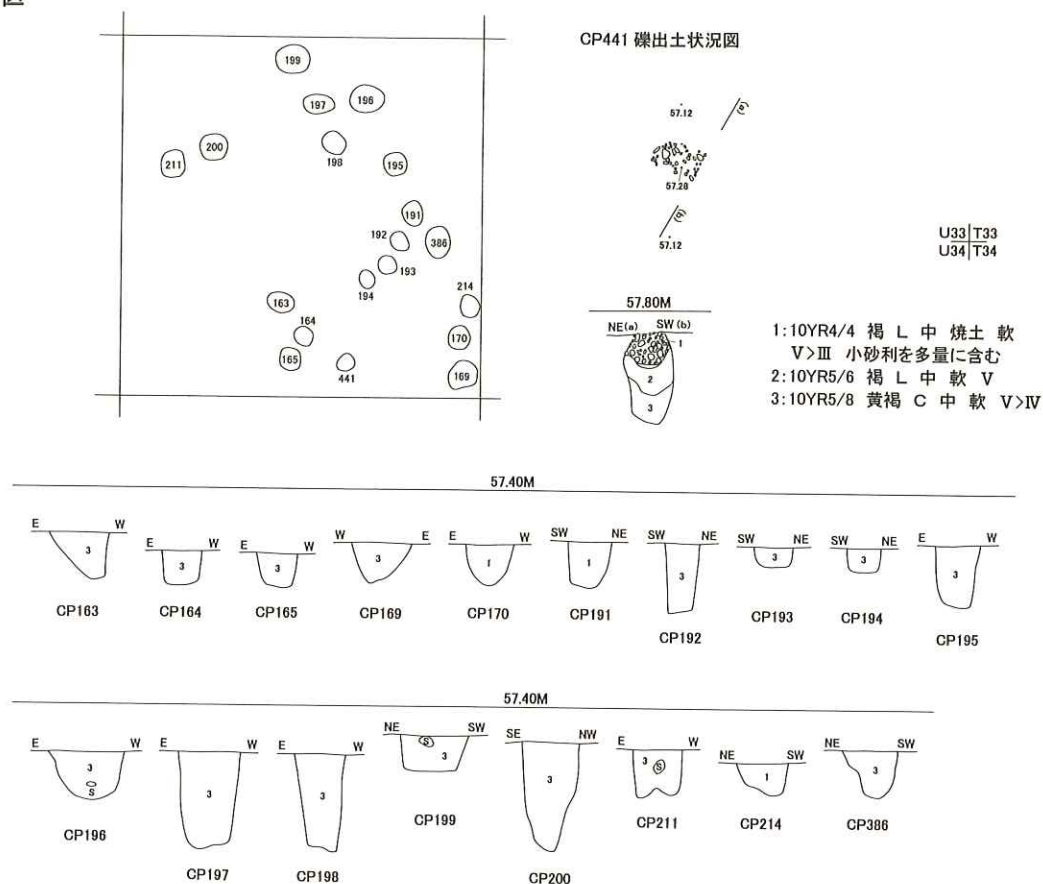


U32 区

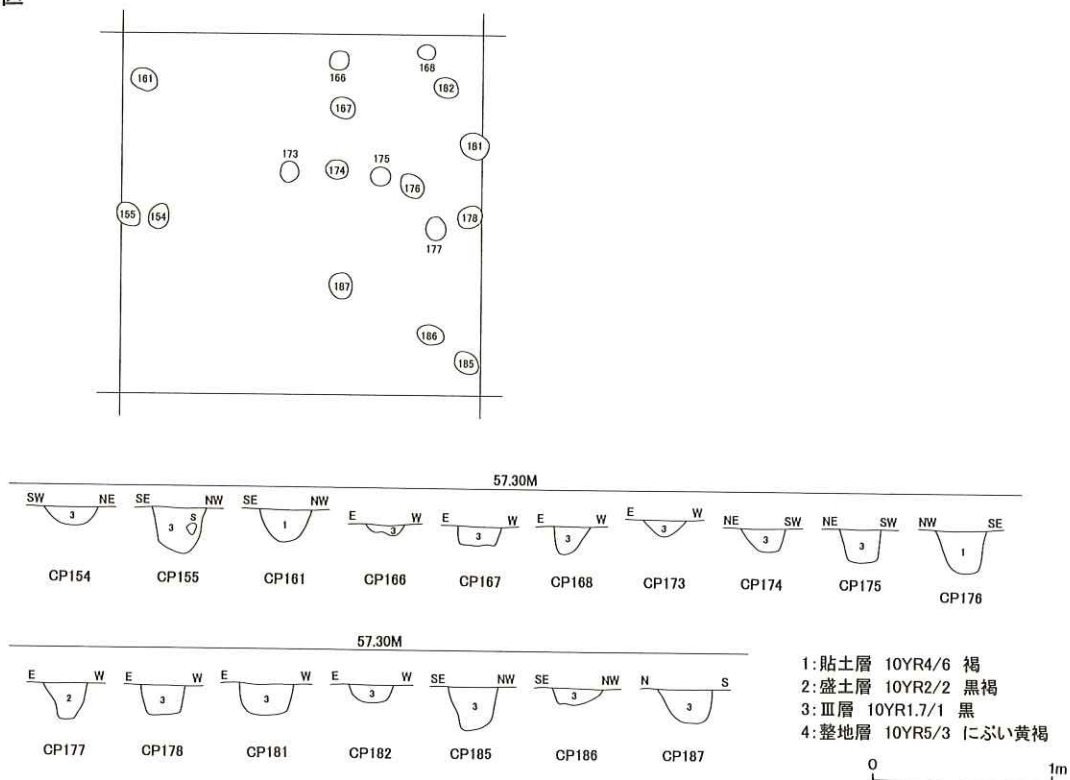


図Ⅶ-175 U31・32区CP群

U33 区

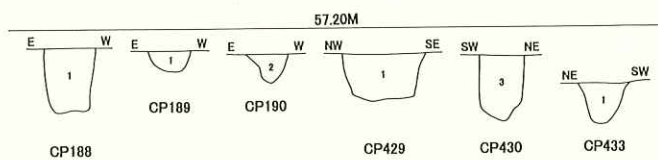
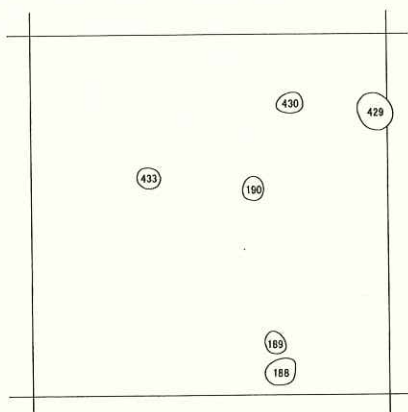


U34 区

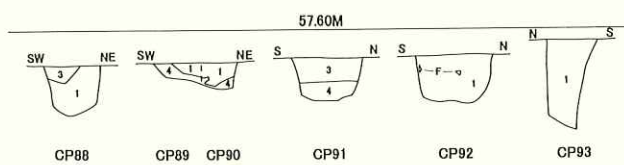
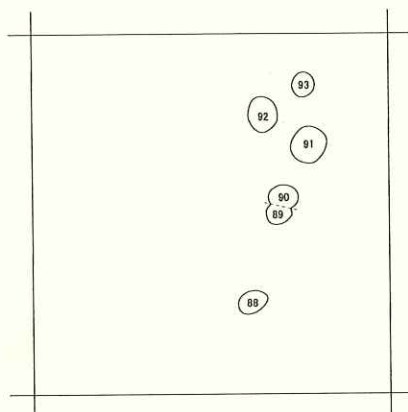


図Ⅶ-176 U33・34区CP群

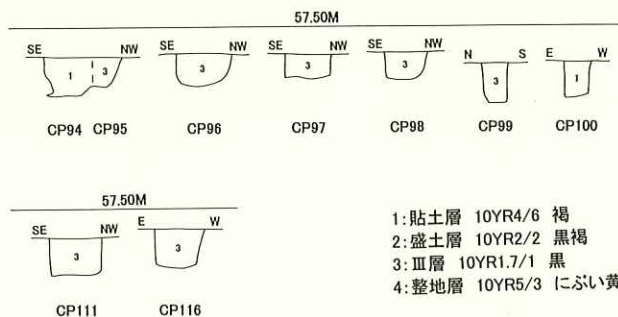
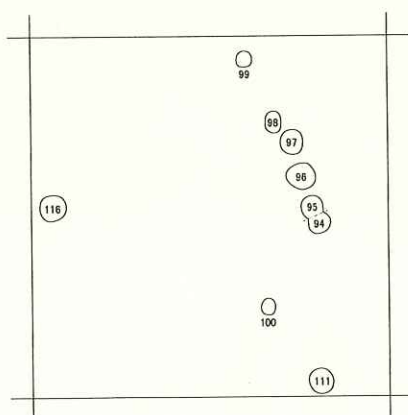
U35 区



V31 区



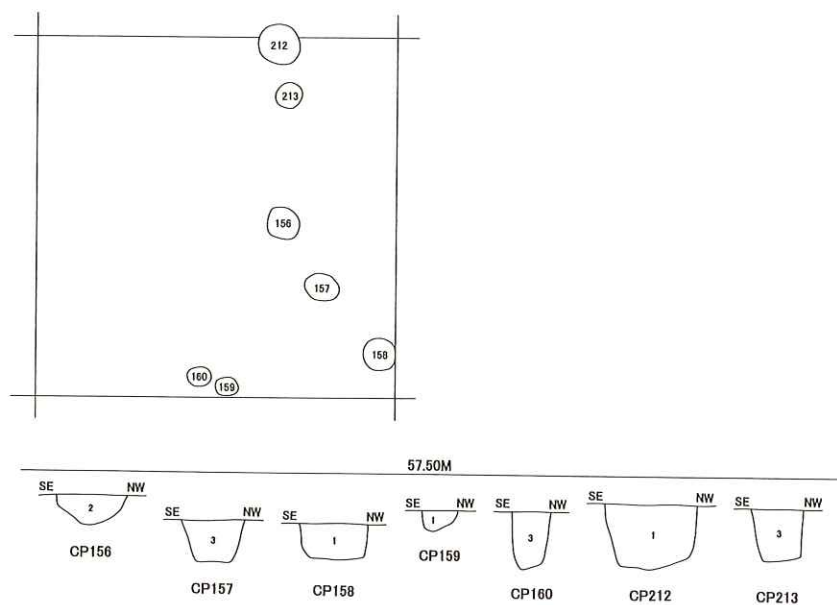
V32 区



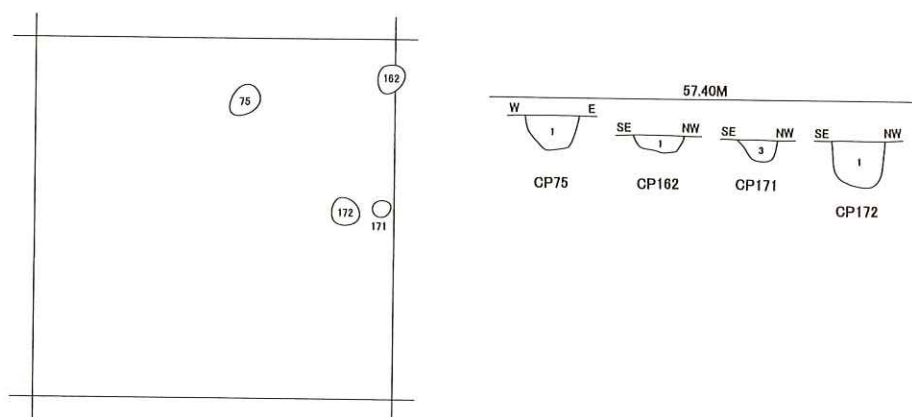
- 1: 貼土層 10YR4/6 褐
 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
 3: Ⅲ層 10YR1.7/1 黒
 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐

0 1m

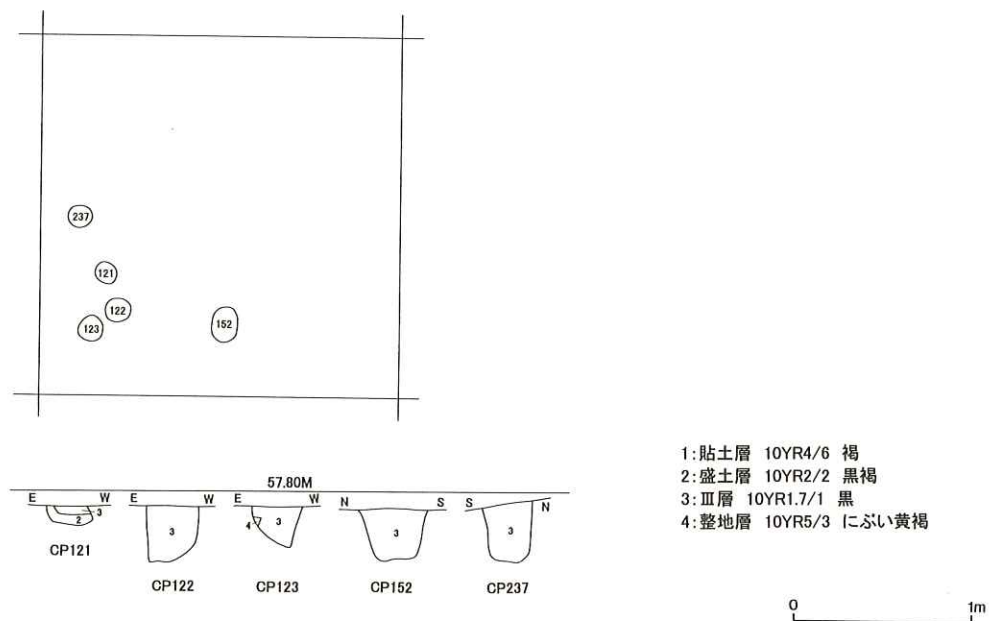
V33 区



V34 区

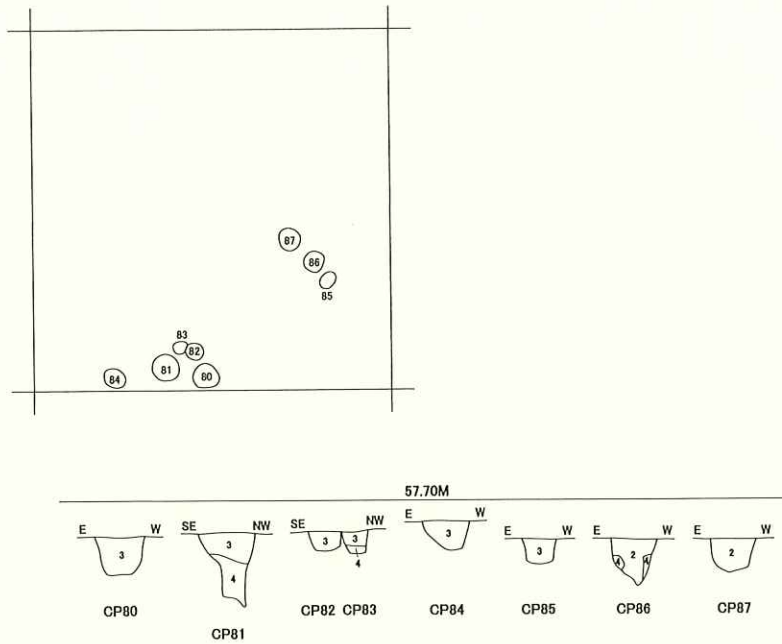


W30 区

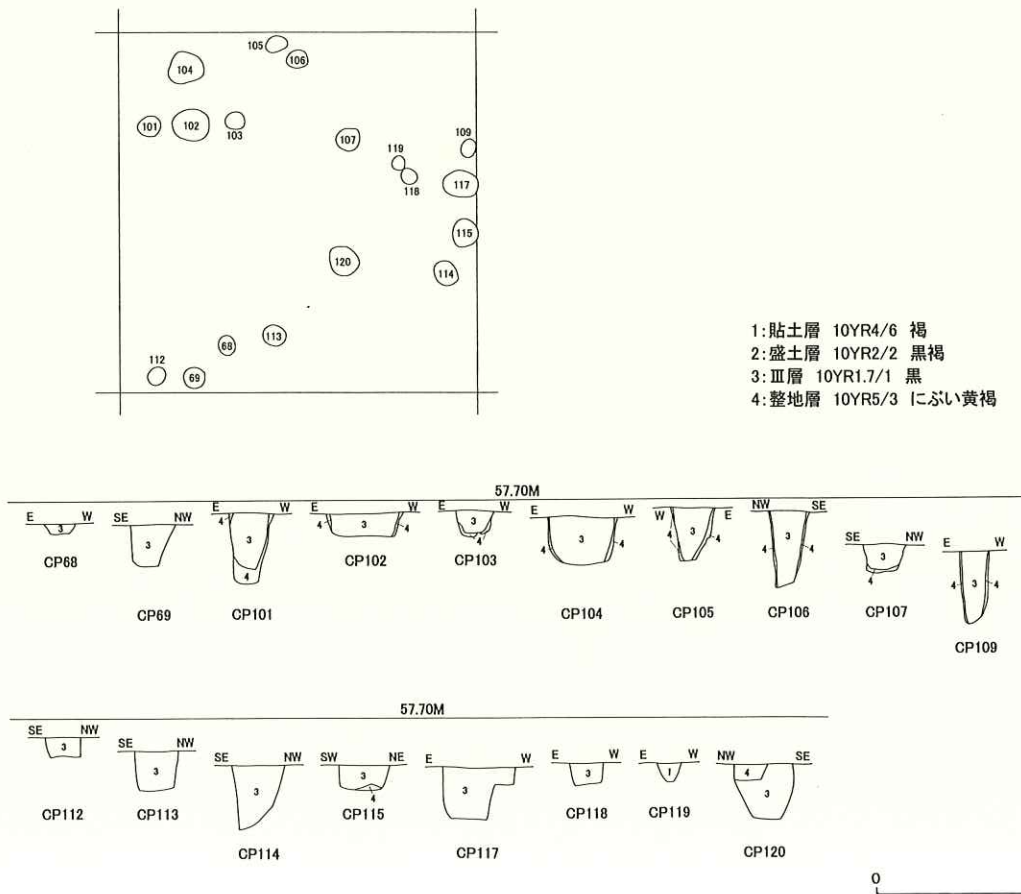


図Ⅶ-178 V33・34 W30区CP群

W31 区

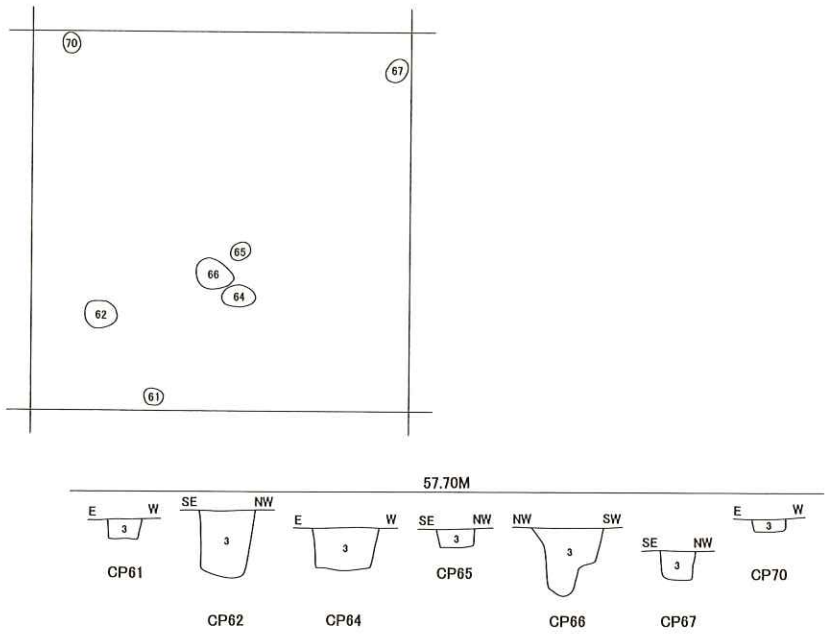


W32 区

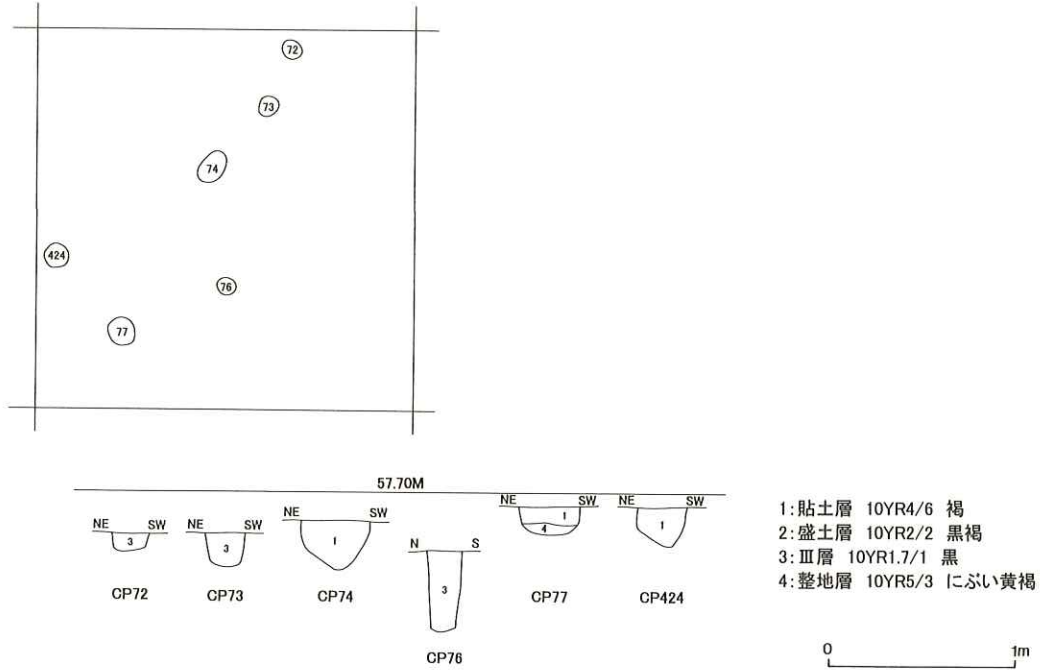


図Ⅶ-179 W31・32区CP群

W33 区

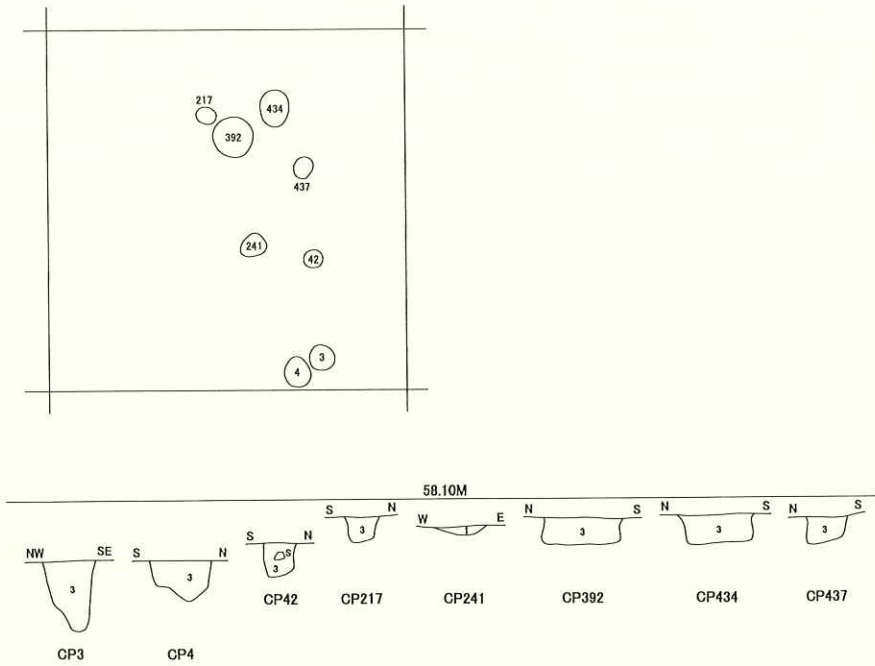


W34 区

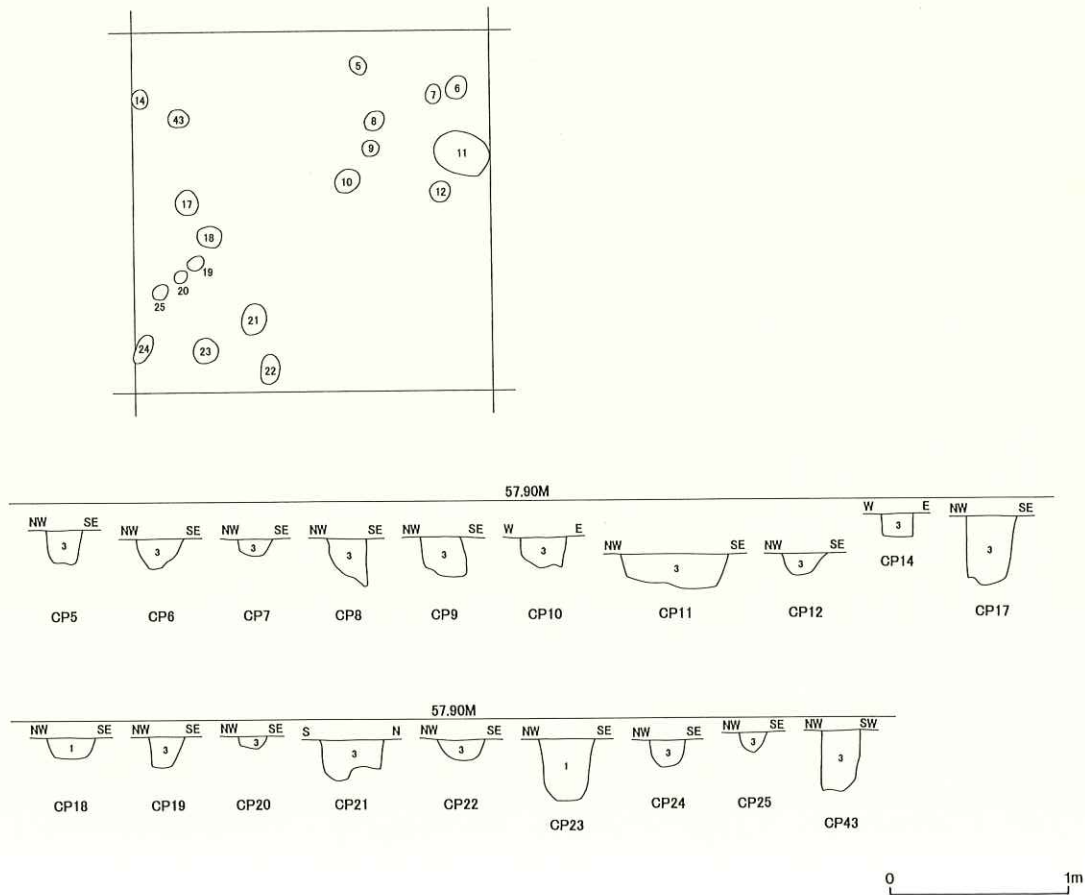


図Ⅶ-180 W33・34区CP群

X30 区

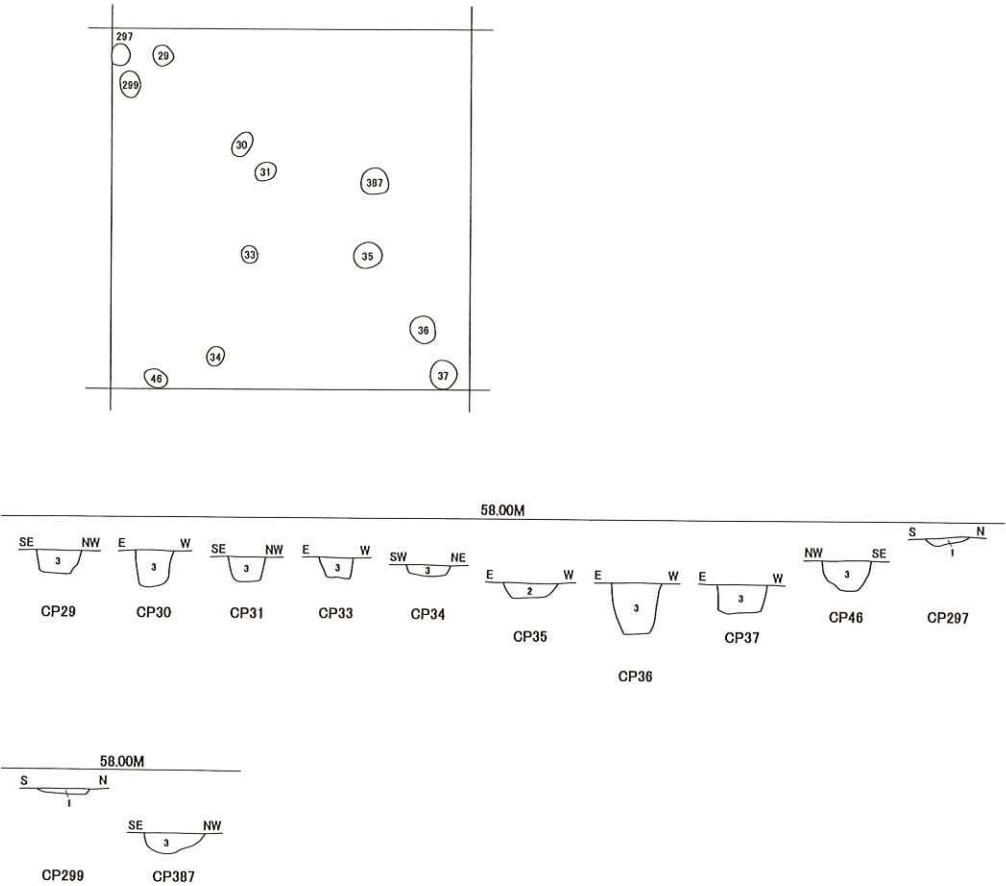


X31 区

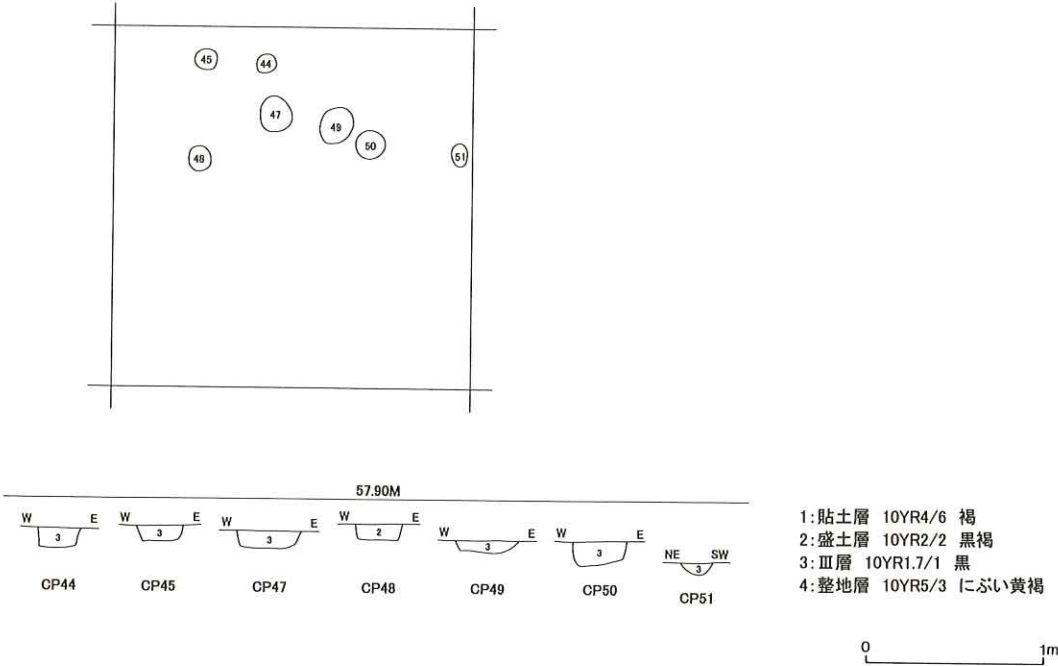


図VII-181 X30・31区CP群

X32 区

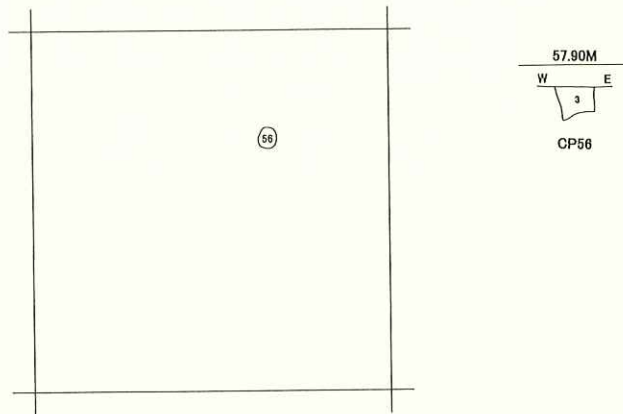


X33 区

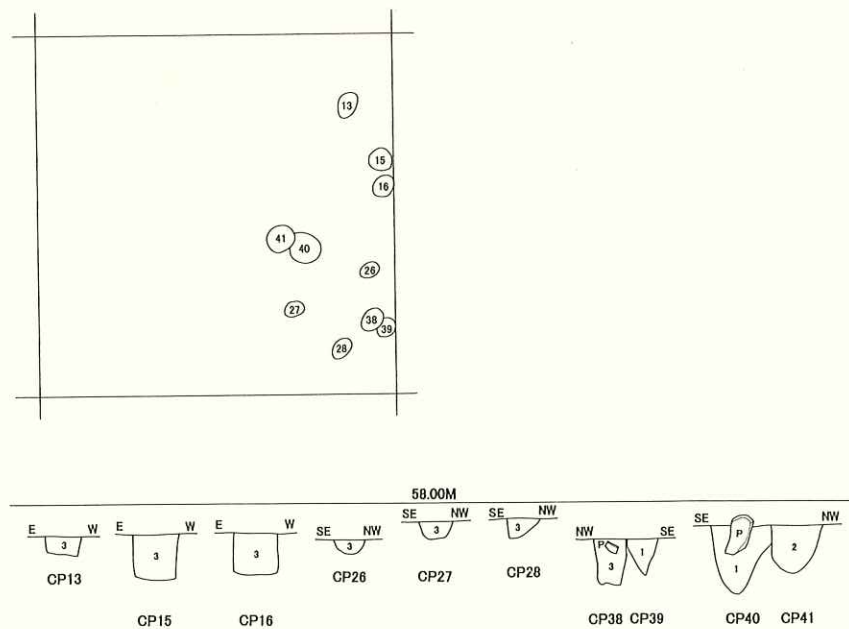


図Ⅶ-182 X32・33区CP群

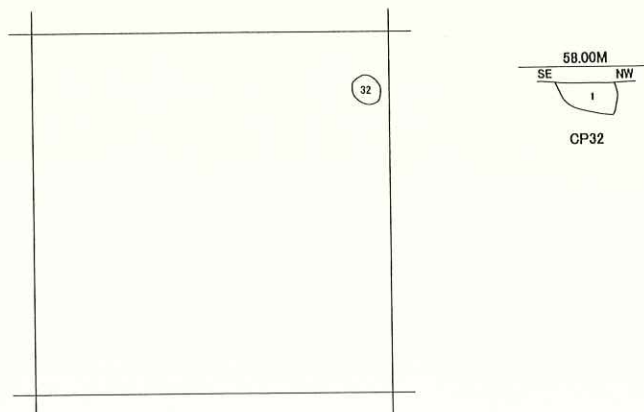
X34 区



Y31 区



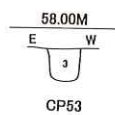
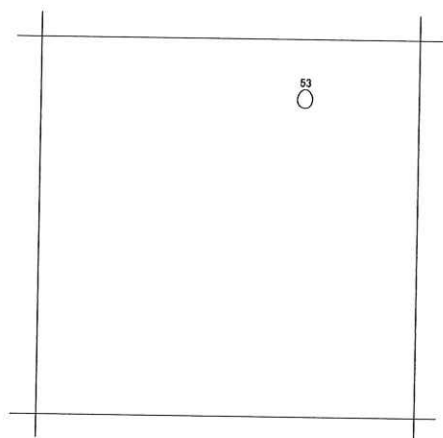
Y32 区



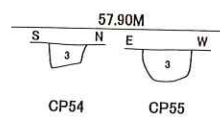
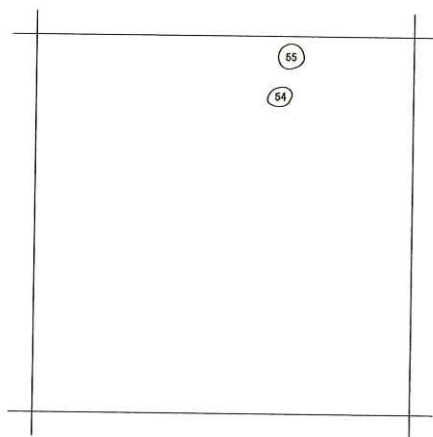
- 1: 貼土層 10YR4/6 褐
- 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
- 3: Ⅲ層 10YR1.7/1 黒
- 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐

0 1m

Y33 区



Y34 区



- 1: 粘土層 10YR4/6 褐
- 2: 盛土層 10YR2/2 黒褐
- 3: Ⅲ層 10YR1.7/1 黒
- 4: 整地層 10YR5/3 にぶい黄褐

0 1m

2 貼土・整地の遺物

(1) 貼土・整地出土遺物の概要 [表Ⅶ-11・12]

貼土からは総点数56,412点の遺物が出土し、その内訳は土器片が51,224点、石器が4,512点、土製品が535点、石製品が119点、その他2点である。

整地からは総点数2,376点の遺物が出土し、その内訳は土器片が1,682点、石器が672点、土製品が12点、石製品が9点である。

貼土・整地から出土した土器の総点数は52,906点である。その内訳はⅠ群a2E類は34点（点数表ではⅠe）。Ⅲ群a類は307点、Ⅲ群b類は131点、Ⅳ群a2A類は48,060点と最も多く出土し、Ⅳ群a2B類は1,419点、Ⅳ群a3類は2,642点、Ⅴ群290点が出土した。

貼土・整地遺構は広場の造成で削平したⅤ層の上面に形成される。配石遺構を構築する過程で地形を改変し、広場（整地）や内帯（貼土）が構築され、やがて外帯に盛土を形成する。以上の3段階の作業手順を経ている事がわかる。

(2) 貼土の土器

①貼土出土土器の復元個体 [図Ⅶ-185~190 表Ⅶ-1 図版Ⅻ-153~155]

1はⅢ群b1類のもの。北盛土付近のR29区で出土している。2~9・11はⅣ群a2A類土器である。折り返し口縁のものに2~5、縄線文の巡るものに6。無段で地文縄文のものに7・8。9は無文の小型土器である。11は底面に沈線で文様の施されるもの。北盛土側で2~4・6が出土している。南盛土側では5・7・8と、9・11がまとまって出土している。

10・12~14はⅣ群a2B類土器である。10は細分類①の1本の沈線で文様が描かれるもの、蛇行沈線文の施されるものである。13・14は細分類②の口縁に沿って沈線文が巡り、2条の平行沈線を単位に横位区画や文様を施すものである。14は細分類④の頸部に無文帯を持ち、沈線による円形、方形、長方形の区画文様、地文に粗いすり消し縄文をもつものに属す蓋状土器と推測される。15はⅣ群a3類。細分類①の1本の沈線で文様が描かれるものである。北盛土側から10・14が出土し、南盛土側では11・12がまとまって出土している。11・12は器形と文様が類似する。16はⅤ群c類土器の脚部の破片である。

②貼土出土土器の拓本土器 [図Ⅶ-191~192 表Ⅶ-2 図版Ⅻ-156]

16~18はⅢ群b1類のもの。19はⅢ群b2類のもの。20~26はⅣ群a2A類土器である。27~33はⅣ群a2B類土器である。34~37はⅣ群a3類。38~41はⅤ群c類土器の破片である。個々の説明については表Ⅶ-2を参照されたい。

(3) 貼土・整地の石器 [図Ⅶ-193~195 表Ⅶ-3 図版Ⅻ-242・243]

掲載遺物は貼土から出土したものがほとんどで、整地出土のものは石鏃3点（15~17）のみである。1~17は石鏃。菱形のものが2点（1・2）、その他は有茎石鏃である。有茎石鏃は次の3種類に分けた。鏃身が三角形で幅広のもの（3~6）。側縁が直線的なもの（7~11）。側縁が外湾するもの（12~14）。基部にアスファルトが付着するものは10点ある（3・4・8~10、12~14・16・17）。そのほとんどは両面に付着するが、10は表面のみ、16は裏面のみである。

18は石錐。19~21は篋状石器。22~30はスクレイパーである。外湾するもの（22~26）と直線状の

もの(27~30)がある。31~37は両面調整石器。38~40は石斧である。38は厚みのあるもので、右側面の一部に擦り切り痕が見られる。

(4) 貼土の土製品・赤彩土器片 [図Ⅶ-196・Ⅷ-192 表Ⅶ-4 図版Ⅺ-99・219・220]

1は耳栓状土製品。2は鐸状土製品。その文様の特徵からⅣ群a3類の時期のものと推測される。3はミニチュア土器で口径2.8、底径1.3、器高2.0cmである。4は橐玉状土製品。長軸方向で貫通孔が施される。器面は丁寧に磨かれることから装飾具と推測される。5は棒状土製品の端部の破片である。形状はバットの持ち手部分に類するものと推測される。拓本は底面と屈曲から割れ口までの部分を取った。6は赤彩土器片で蓋の破片である。赤色顔料と黒色顔料が塗り分けられている。

(5) 貼土・整地の遺物の分布と出土状況 [図Ⅶ-197~212 表Ⅶ-11~12]

整地・貼土ともにⅠ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ群土器が出土している。大多数はⅣ群a2A類土器である。Ⅳ群a2A類土器の出土分布範囲をみると整地の範囲全体的に分布している事がわかる。

南側の貼土にはⅢ群土器が含まれ、北側の土壌が削られ運ばれた事がわかる。Ⅳ群a2A類土器は北・南ともに多くの出土がみられる。Ⅳ群a2B類土器は北では西側にまとまりがみられ、南では東側にまとまりがある。Ⅳ群a3類土器は北では西に多く分布し、南では盛土との境界付近に多く分布がみられる。Ⅴ群が整地・貼土に点在するが周辺にこの時期の遺構がみられないため客体的なものであろう。Ⅳ群a2A類~a3類土器の時期に整地・貼土が形成されたものであろう。

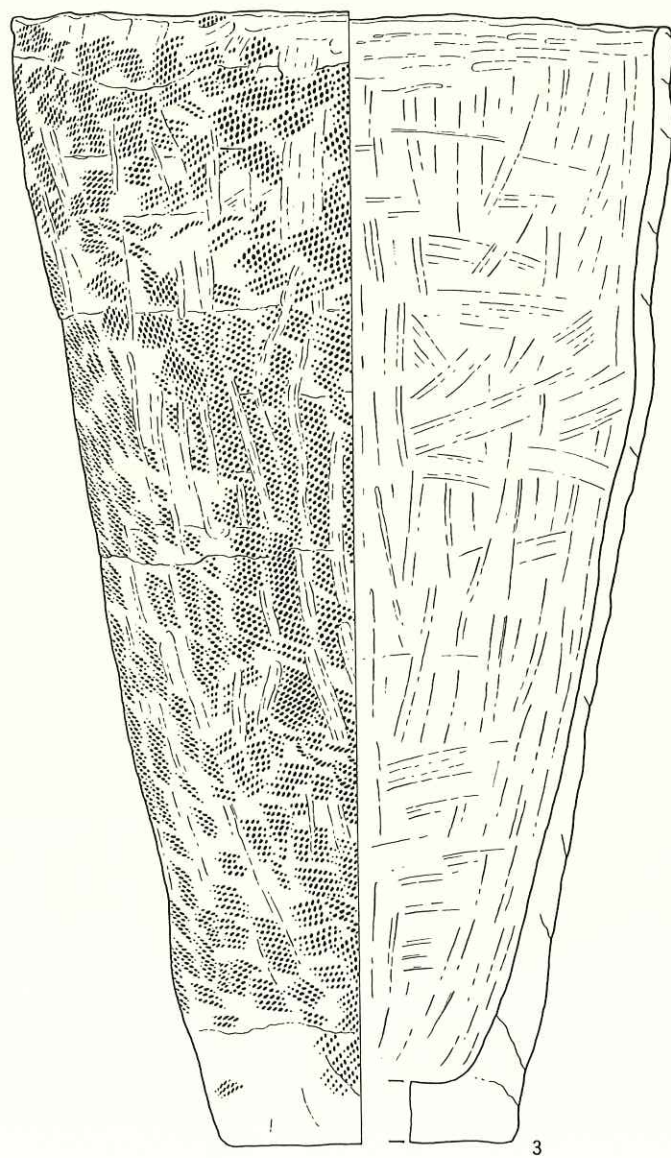
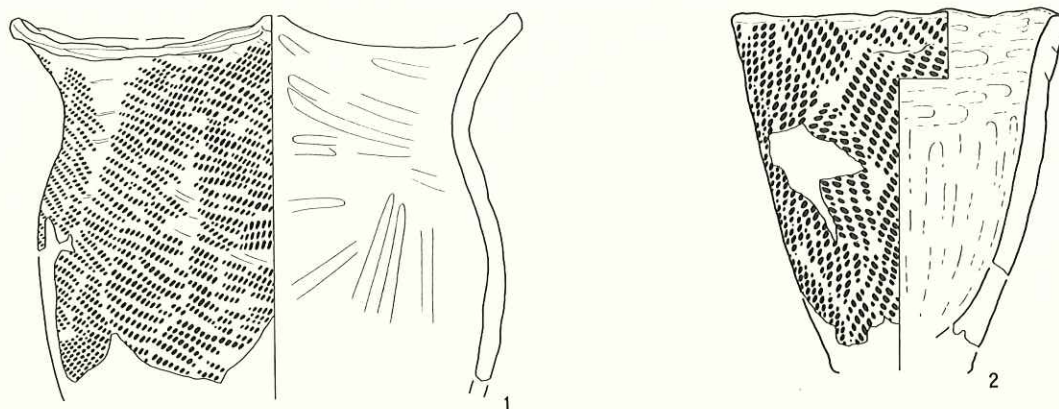
(6) 南北盛土の遺物の分布と出土状況 [図Ⅶ-213~220]

盛土の遺物分布からⅣ群a2A類土器は北盛土では盛土の西側で多くの出土がみられ、南盛土では西側外周に広く分布がみられる。Ⅳ群a2B類土器の分布状況から北盛土では東側のS28区にまとまりがみられ、南盛土では西側からやや中央にかけて出土量が多い。Ⅳ群a3類土器の場合は北盛土では東側のS28区にまとまって出土し、南盛土では西側に広く多くの出土がみられる。

後述する第4分冊同一個体片の接合図、第5分冊のまとめ「竪穴式住居跡の分布と位置の変遷について」で示した竪穴式住居跡の分布の変遷(図Ⅹ-7~12)と比較すると、竪穴式住居跡の周辺で遺物の分布がみられる事がわかる。

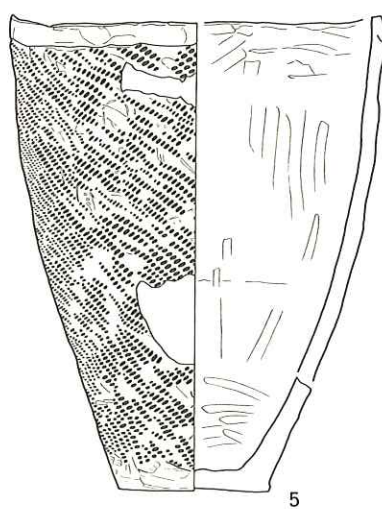
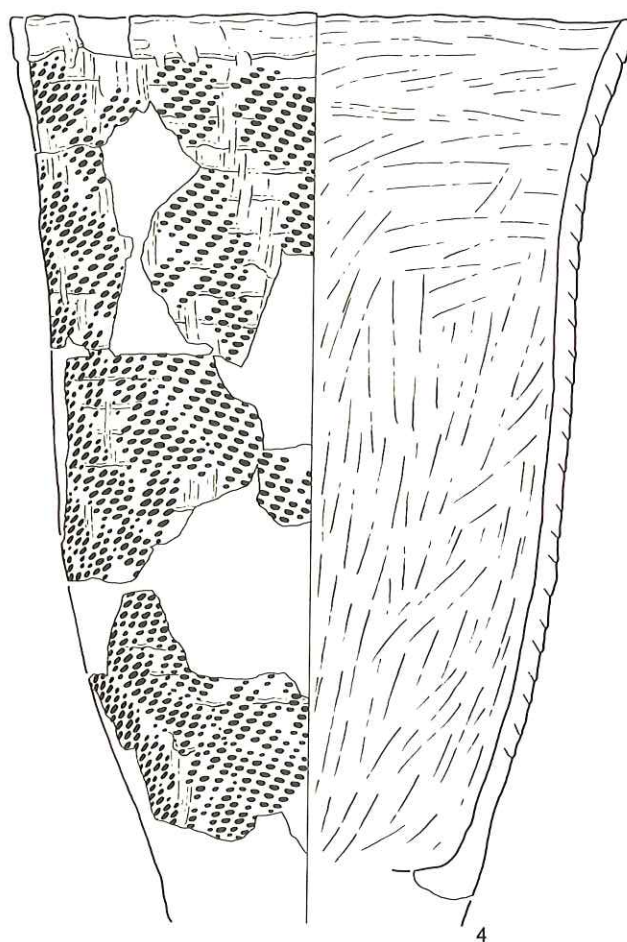
第4分冊の図Ⅷ-195~202の分類ごとの同一個体片の接合図の接合線の分布と比べ合わせると(Ⅳ群a2A類土器の接合線は事例が多く遺跡全面に展開するため省いている)、Ⅳ群a2B類土器の時期に北盛土の東側で多く接合する破片が分布し、Ⅳ群a3類土器の時期になると南盛土の西側にて接合例が増加する。以上のことから遺物の廃棄域の移り変わりが、北から南へと変化することが観察される。

盛土は全体的には北盛土から南盛土への移り変わりが考えられる。南盛土の西側が新しく、北盛土では西から東(海側)へ(W25区でⅣ群a3類土器約700点の出土がみられ東から西(山側)へと再び折り返している可能性もある)、南盛土では東から西(山側)へと盛土が造成された変遷が推測される。



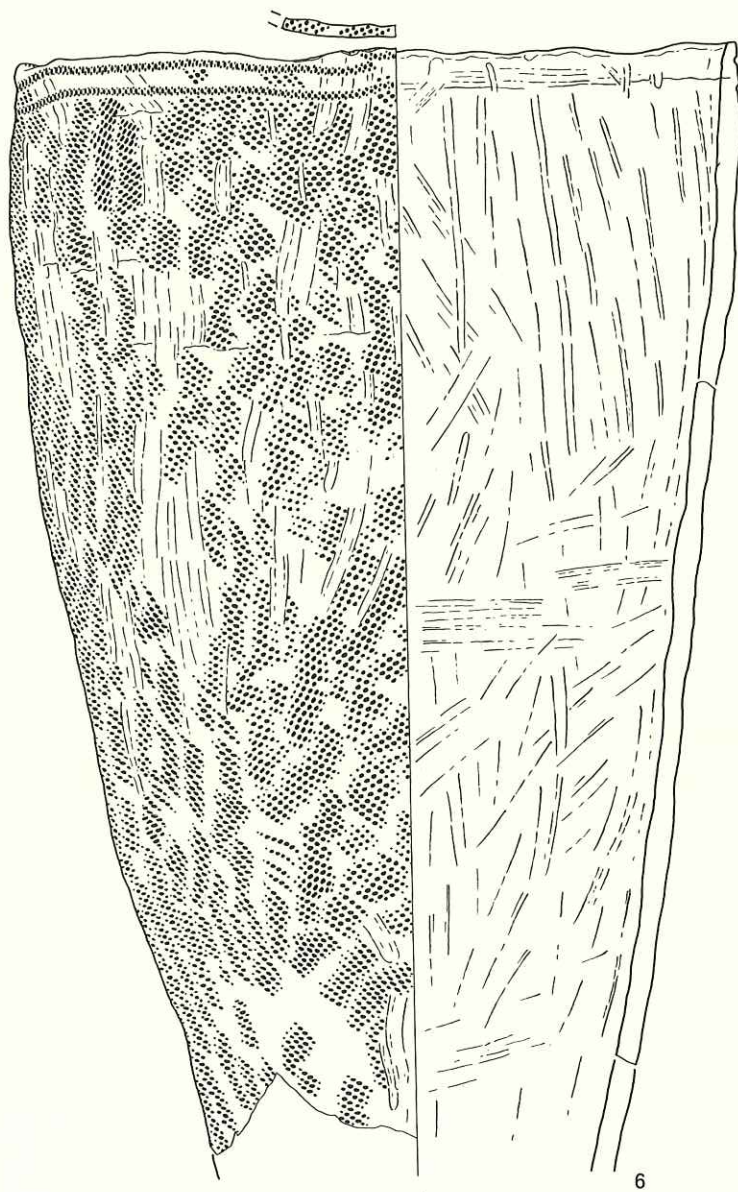
0 10cm

図Ⅶ-185 貼土出土土器 (1)



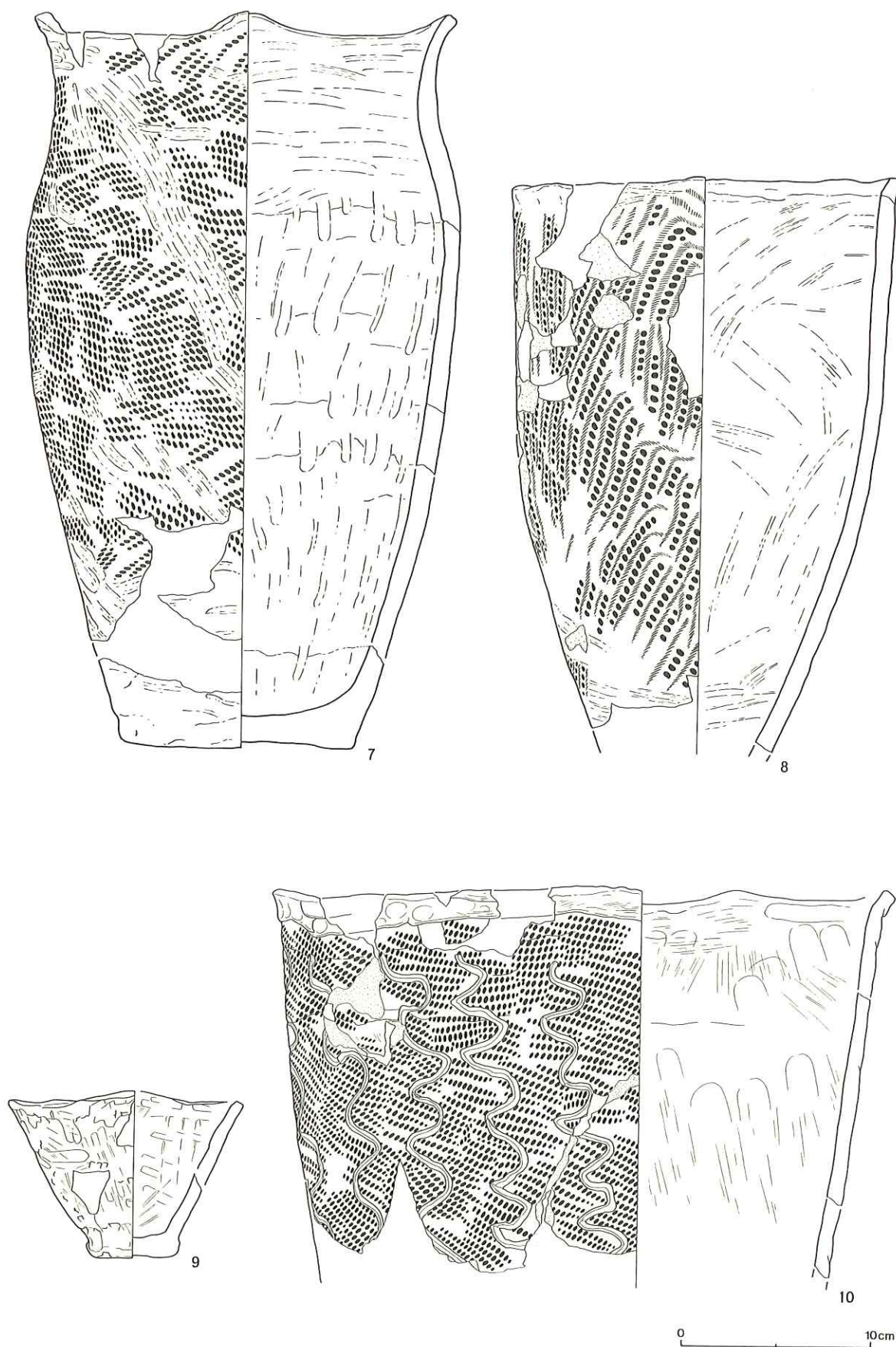
0 10cm

図Ⅶ-186 貼土出土土器(2)

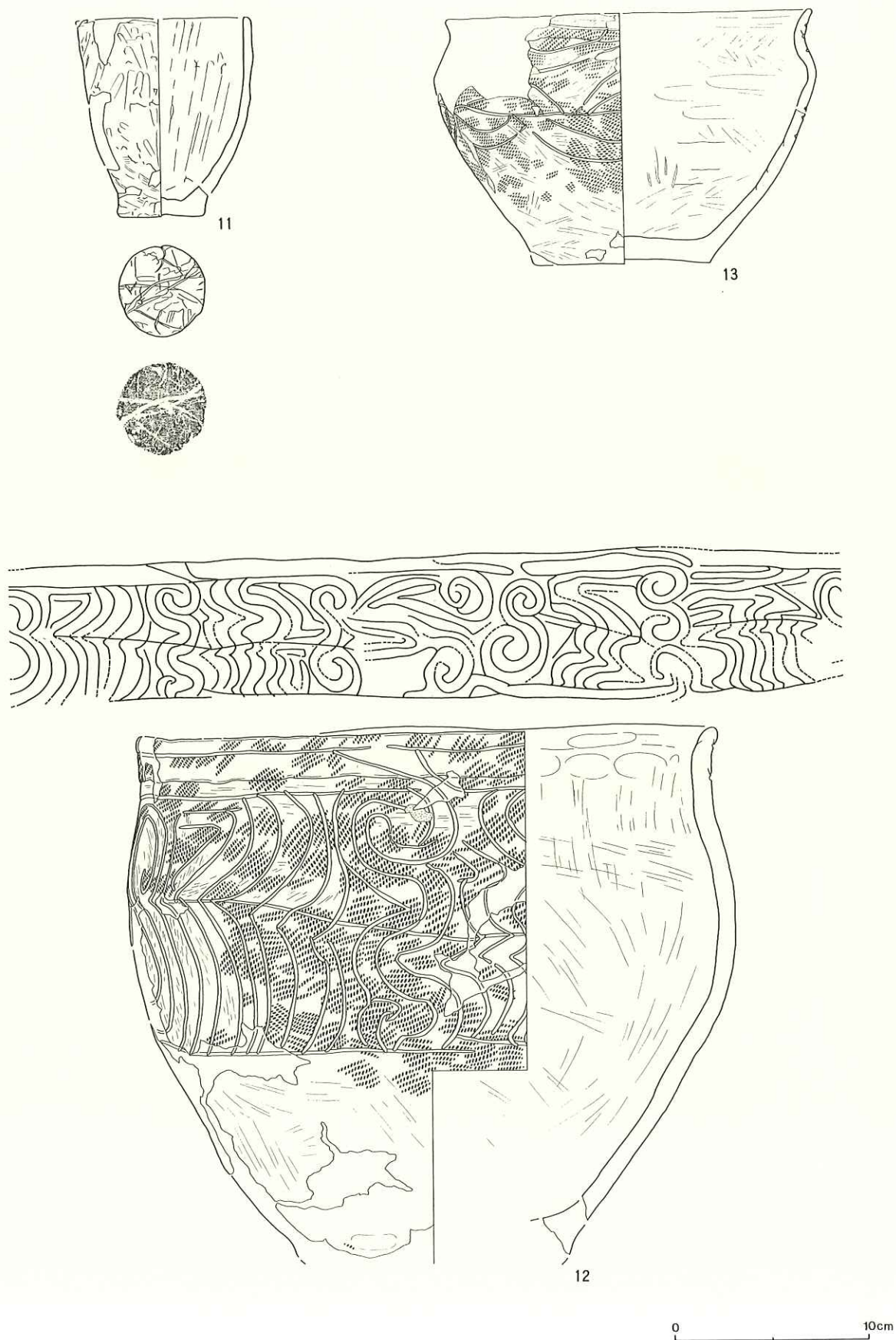


0 10cm

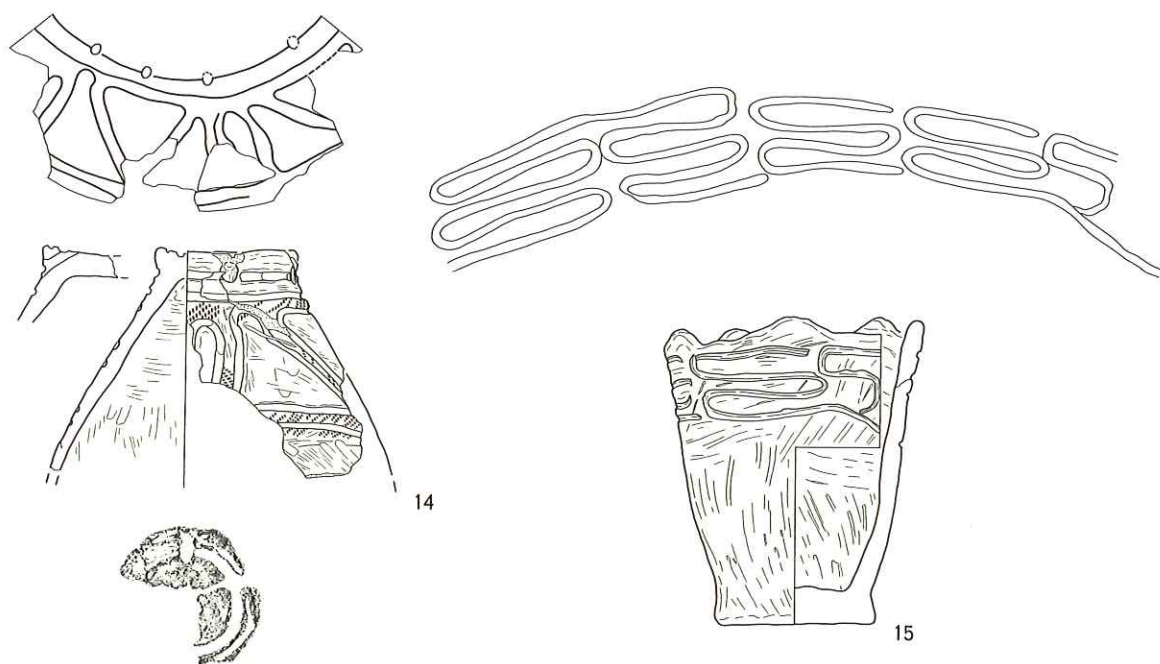
図Ⅶ-187 貼土出土土器(3)



図Ⅶ-188 貼土出土土器(4)



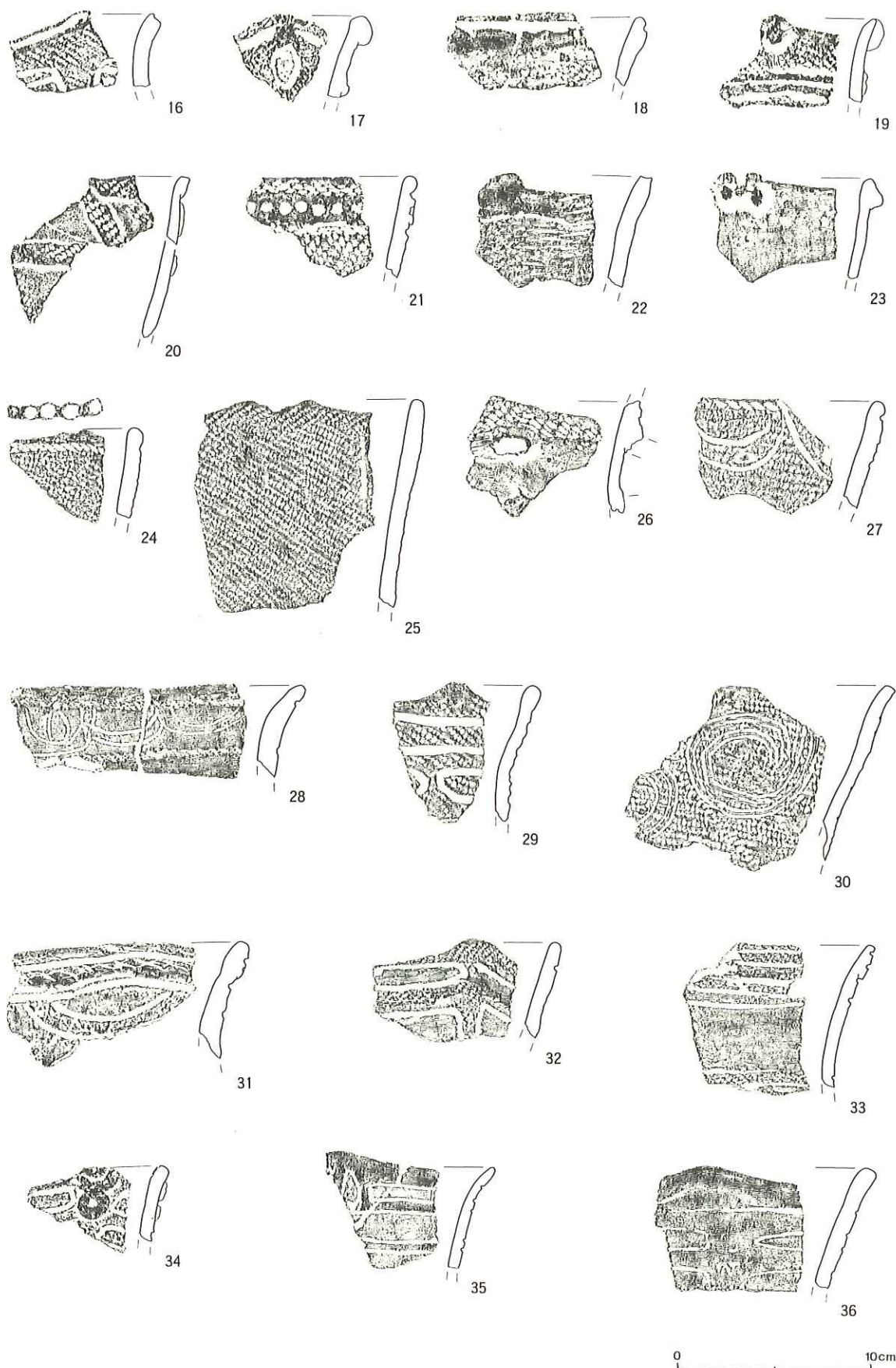
図VII-189 粘土出土土器 (5)



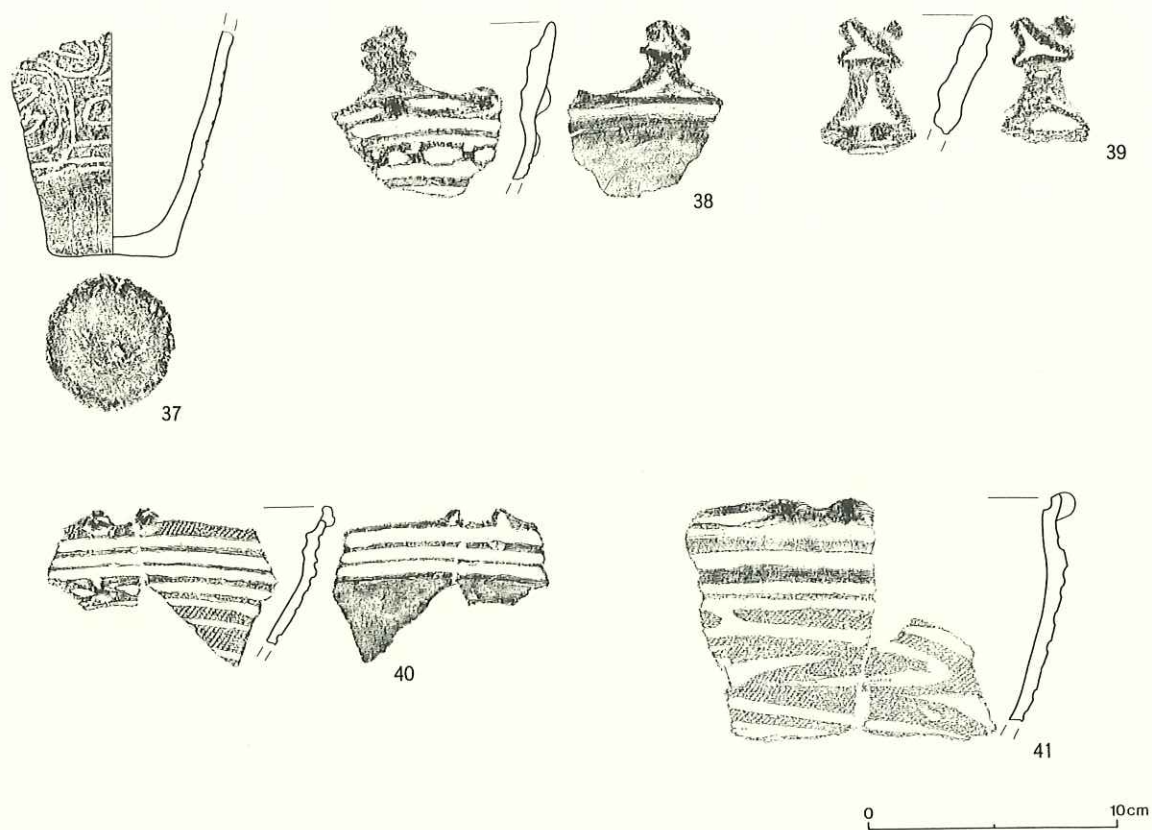
0 10cm

表Ⅶ-1 掲載復元土器解説表 (貼土)

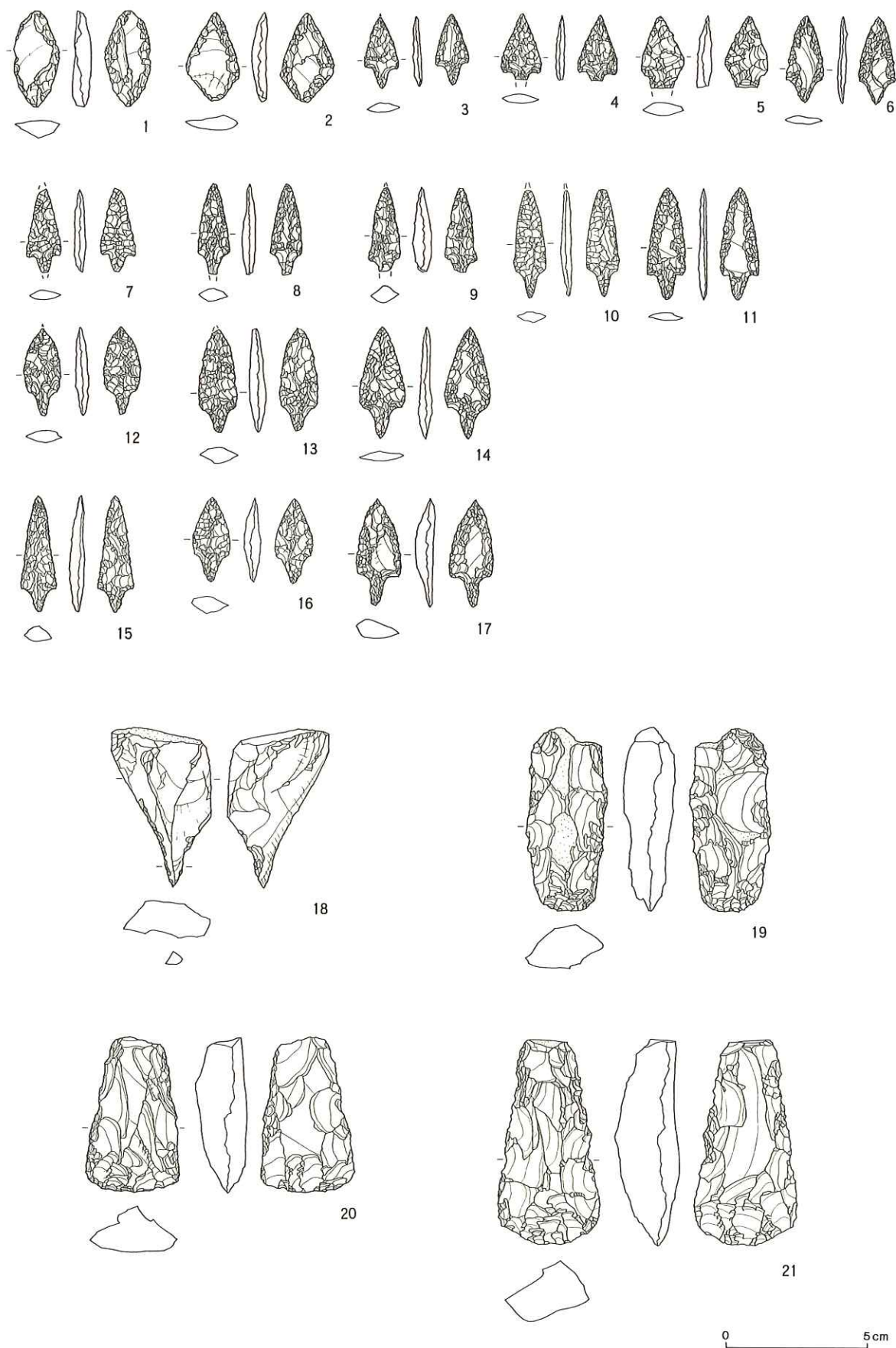
図番号	番号	調査区	部位	建物番号	分組	点数	口径	底径	器高	形状①口唇②口縁③胴部④底部	口唇部①上面②外方③内方	内面①口縁部②胴部	外面①口縁部②胴部	底面	備考
Ⅶ-185	1	R29 d		22	Ⅲb-1	10	(20.7)	-	(14.7)	①丸形 (4山) 頸部から外反する ②上位に膨らみ、頸部に向かってすぼまる ③欠損	①②③ナデ	①②ナデ	①②L (R2) 細文	欠損	
	2	X27		7		8	11.8	(5.1)	(12.3)	①丸形 一部折り返しに肥厚 ②緩い波状 ③片側に開く ④欠損	①ナデ ②ナデ ③ナデ	①ヘラナデ ②ナデ	①②R (L2) 細文	欠損	
		X27 b	貼土	34		8									
		X27 a		37 39 40	Ⅳa-2A	2 4 28				①丸形 一部折り返し ②緩い波状 内湾気味 ③上部が2段目にくく ④平底 外方に僅かに肥厚し、直立気味に立ち上がる	①ナデ ②細文 ③ナデ	①ヘラナデ 横位 一部条痕 ②ヘラナデ 縦位 条痕	①輪積みの跡を残し細文 ②L (R2) 細文 一部に縦位の條痕	ヘラナデ	
	3	X27 b		34 37 58		12 72 1	(23.6)	(10.7)	(40.3)						
Ⅶ-186	4	X27 a	貼土	37		56	(21.7)	(10.3)	(31.7)	①丸形 折り返し ②緩い波状 やや外反する ③中位に膨らみ、上位やくびれる ④欠損	①②③ナデ	①ヘラナデ 横位 ②ヘラナデ 縦位	①②輪積みの跡が各所に残される R (L2) 細文	欠損	
		S39 c	貼土	8	Ⅳa-2A	4				①丸形 折り返し ②緩い波状 ③上位で開く ④僅かにあげ底 屈曲して立ち上がる	①②③ナデ	①②ナデ	①②L (R2) 細文	ナデ 一部に木炭痕あり	
	5	T39 c		9		1	(14.8)	6.0	18.8						
		T39 d		24		1									
		未注記		3		1									
Ⅶ-187		X27 a		37 40 41		14 18 1				①丸形 ②緩い波状 ③欠損	①細文 ②③ナデ	①横位にナデ後、ヘラナデ ②ヘラナデ 縦位	①口唇部に沿って2条の細線が横積する ②L (R2) 細文を施す	欠損	
	6	X27 b	貼土	58 34 37	Ⅳa-2A	45 33 14	25.3	-	(39.3)	①丸形 ②緩い波状 ③欠損					
		未注記		37		1									
		T39 a		19		15	(19.6)	(11.0)	(34.1)	①丸形 (4山) 頸部から外反する ③上位で膨らむ ④平底 外方に肥厚する	①②③ナデ	①斜位のヘラナデ ②縦位のヘラナデ	①L (R2) 細文 ②下半はナデ	ヘラナデ	
	7	T39 b		19		62									
Ⅶ-188		T39 d		18		49				①丸形 折り返し ②緩い波状 ③中位で膨らむ	①②③ナデ	①輪積みの跡を残すナデ ②ヘラナデ 斜位 一部条痕状	①折り返し痕の上から附加状細文	欠損	
	8	T39 c		24	Ⅳa-2A	1	15.4	-	(26.8)						
		未注記		1		1									
	9	Y36 d	貼土	7		5	(12.3)	4.6	8.8	①丸形 ②緩い波状 ③上位開き、下位すぼまる ④僅かにあげ底 外方に張り出して潰れる	①②③ナデ	①ナデ ②ナデ 縦位 ③ナデ 縦位	①②輪積みの跡を残す ①折り返し部無文 輪積みの跡を1~2段残しなら、上から細文を施す ②L (R2) 細文 蛇行状細文が流頂部を中心に両面で数条垂下する	ナデ	
	10	W28 a		7 9 10	Ⅳa-2B	4 39.5 82	(39.5)	-	(20.5)	①丸形 折り返し ②緩い波状 ③上位で膨らみ ④欠損	①②③ナデ	①ナデ 横位 ②ナデ 縦位		欠損	
Ⅶ-189	11	Y36 d		7	Ⅳa-2A	10	(9.0)	4.4	10.2	①丸形 (一部分のみ残存) ②緩い波状 内湾気味 ③上位で膨らみ、外方に張り出す ④平底	①②③ナデ	①②縦位	①②ナデ	木炭痕	
		S38 c		4		1									
		S38 d		5		42									
		T38 d		6		1									
	12	R38 c	貼土	17 24 25 26 33 34	Ⅳa-2B	2 30 4 1 3 2	30.0	-	(27.4)	①丸形 ②緩い波状 頸部から僅かに外反 ③上位で膨らみ 頸部に向かって僅かにすぼまる ④欠損	①②③ナデ	①ナデ 横位 ②ナデ 縦位	①口唇に沿って1条の波線が横環し、頸部に2条単位の波線で縦位区画 口縁部細文帯 ②1条の波線が流頂部を横断し、頸部に2条単位の波線で縦位区画 地文L (R2) 細文	欠損	
Ⅶ-190	13	未注記		13		22	(18.8)	(8.8)	12.9	①丸形 折り返し ②緩い波状 頸部から直立気味に立ち上がる ③上位で膨らみ 頸部に向かって内湾 ④屈曲して上外方に立ち上がる あげ底	①②③ナデ	①ナデ	①口唇部と頸部下の部分に横位波線で区画 2条1単位 ②波線が流頂部を横断し、頸部に2条単位の波線で縦位区画 口縁部細文帯 ③地文帯が流頂部を横断し、頸部に2条単位の波線で縦位区画 地文L (R2) 細文	ナデ	
		R38 b		5		1									
	14	W27 b		7	Ⅳa-2B	8	-	(5.6)	(8.9)	①丸形 ②外上位に大きく開く ③外上位に大きく開く ④欠損	①②③ナデ	①ナデ	①2条1単位の波線文で円形・三角形区画文が描かれる ②R (L2) 斜り消し細文	ナデ 二対の直線孔を斜向に施す あげ底内側に1条の波線が描かれる	
		W27 c	貼土	9		3									
	15	Y27 d		1	Ⅳa-3	1	10.3	6.3	12.1	①丸形 (一部角形) ②波状 (4~8山) ③底部直前でくびれる ④平底 外方に張り出す	①②③ナデ	①②ナデ	①②③ナデ	ヘラナデ ケスリ状	



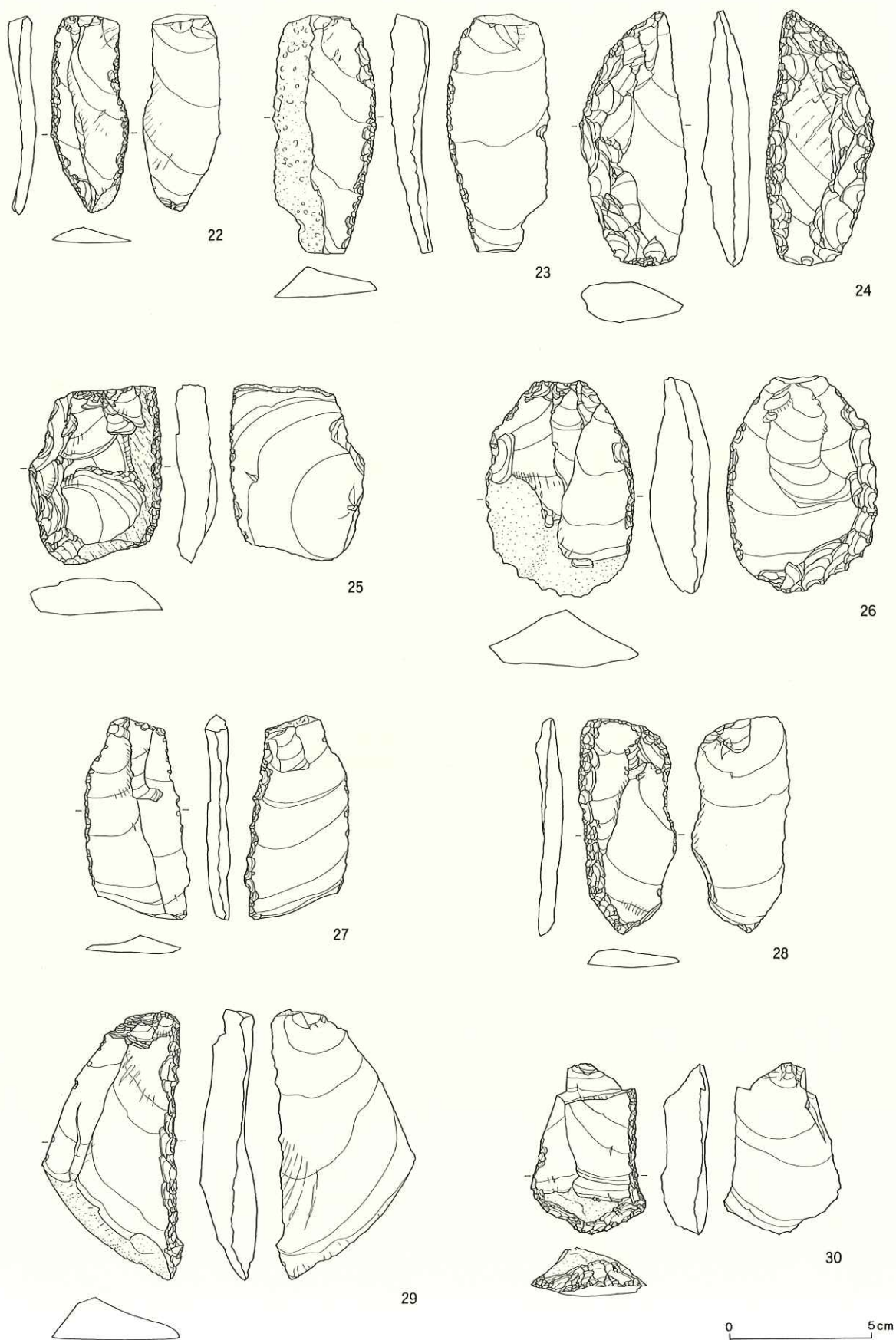
図Ⅶ-191 貼土出土土器 (7)



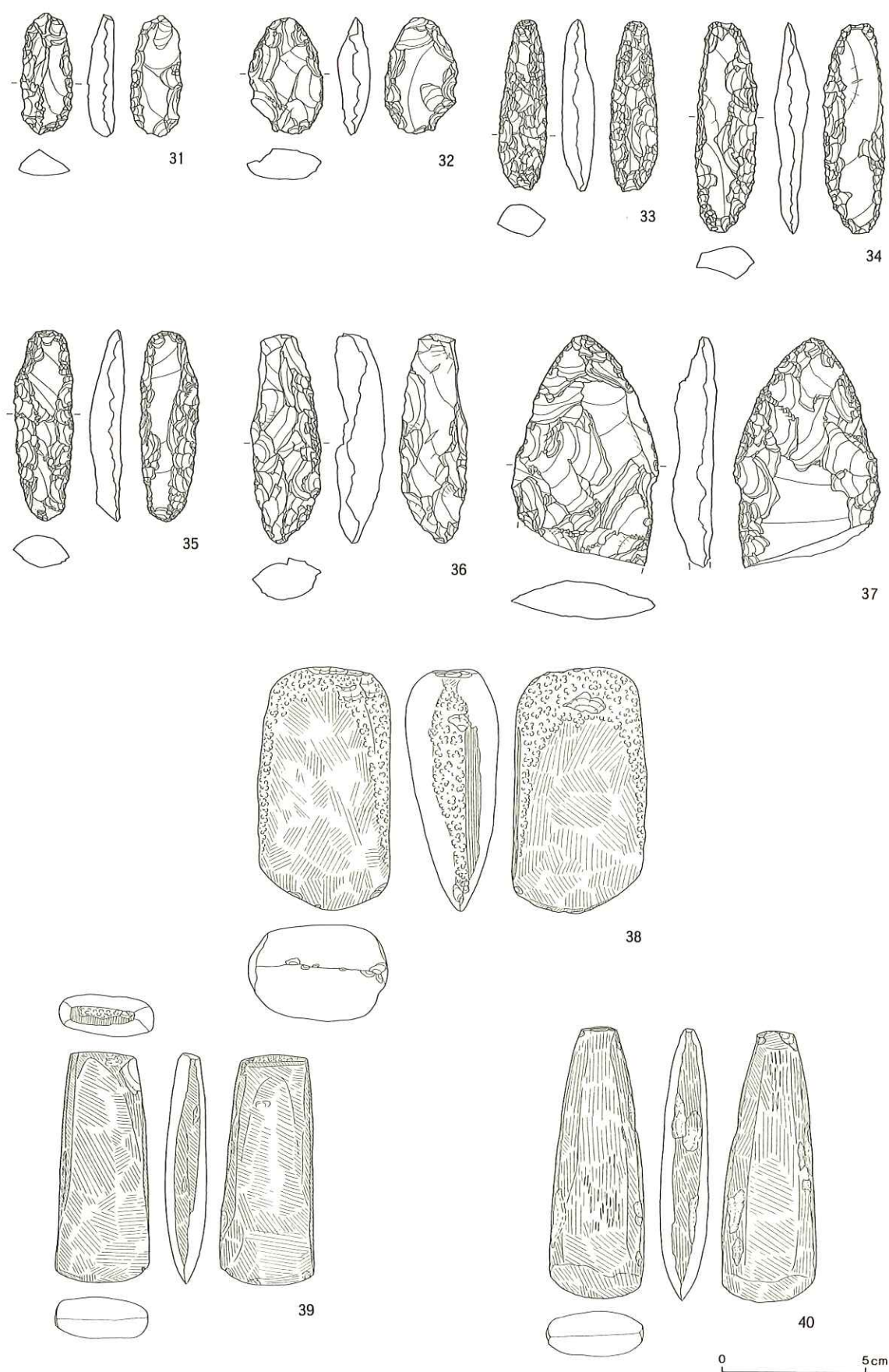
図VII-192 貼土出土土器 (8)



図Ⅶ-193 貼土(1)・整地出土石器

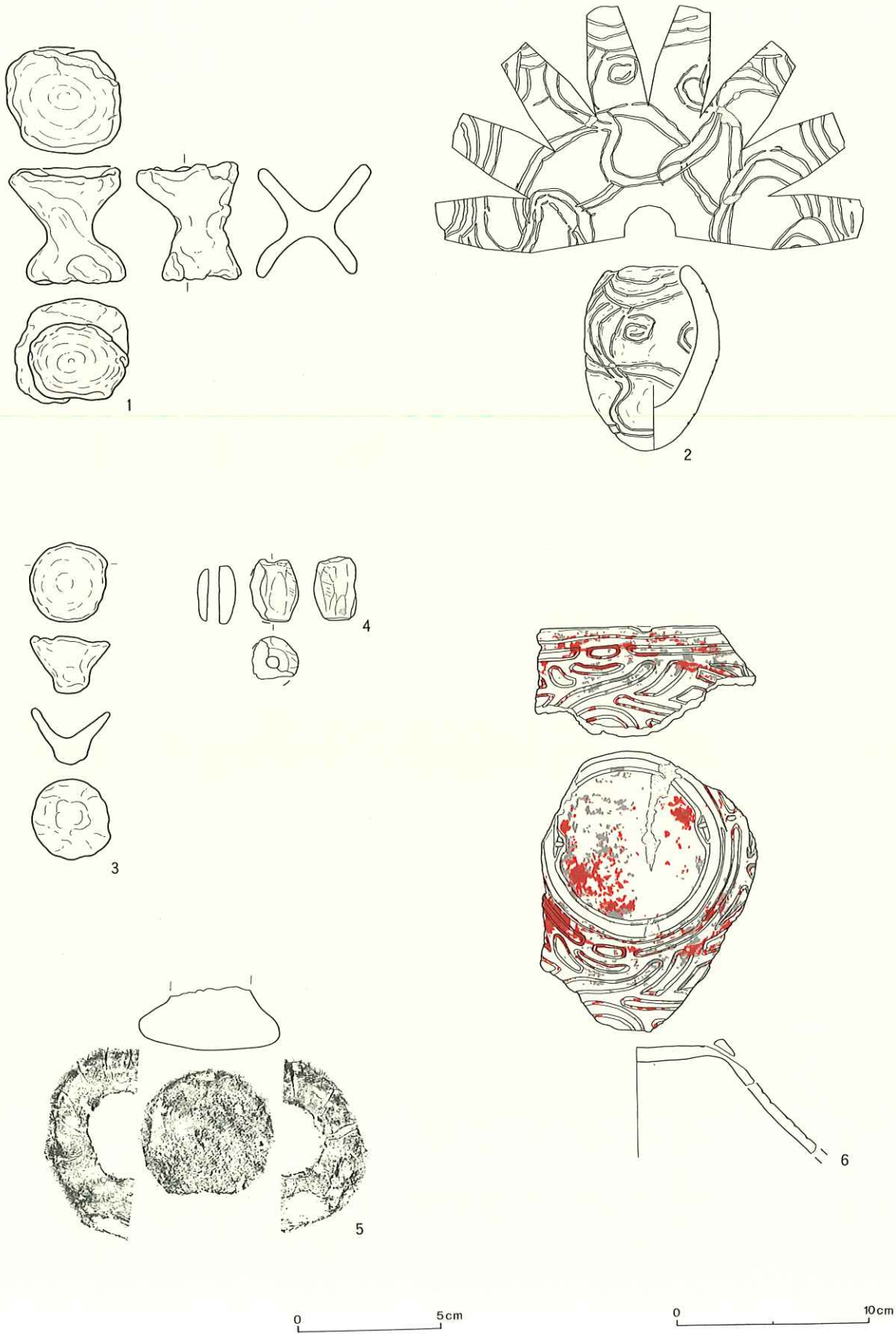


図Ⅶ-194 粘土出土石器(2)



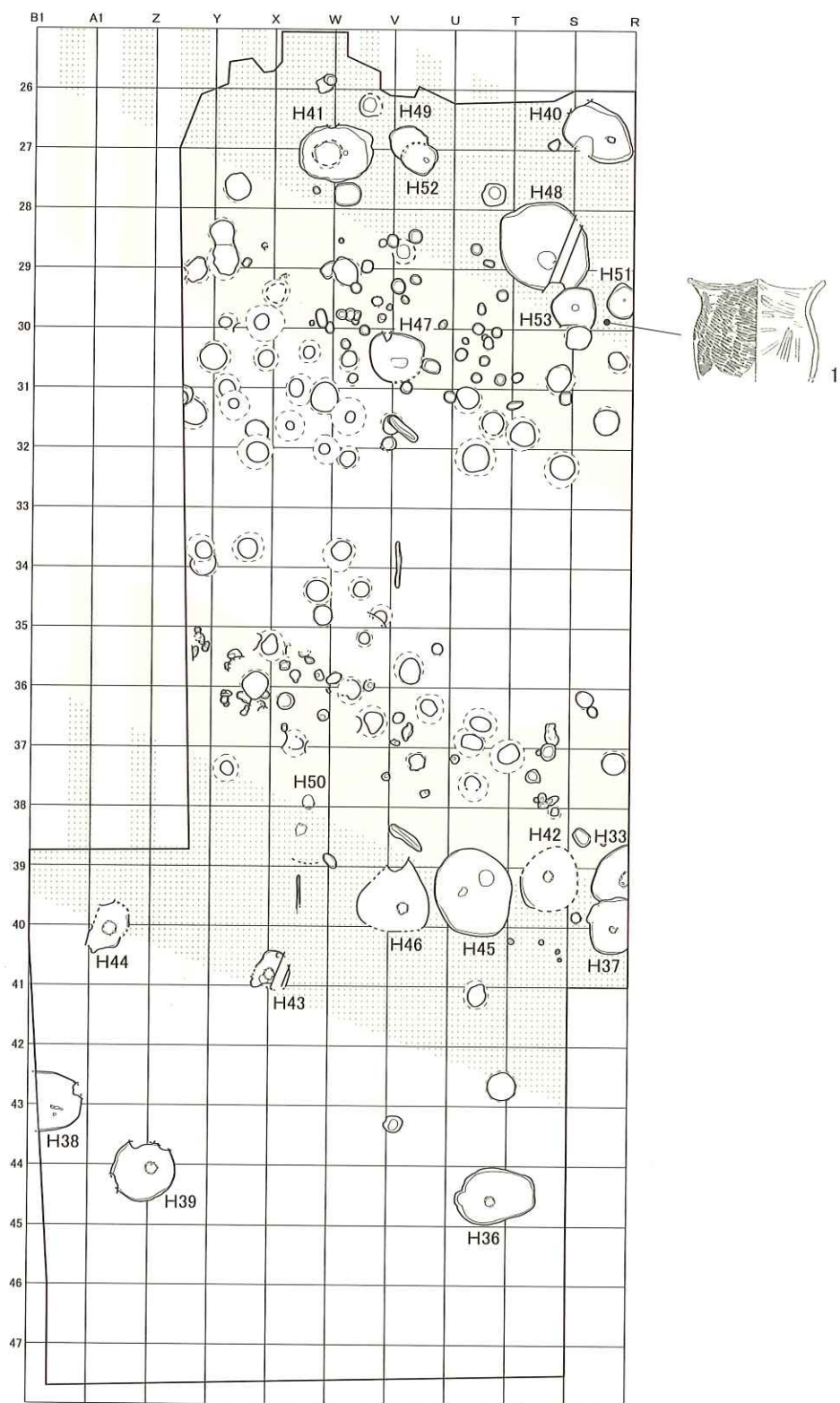
図Ⅶ-195 貼土出土石器(3)

貼土



図Ⅶ-196 貼土の土製品・赤彩土器

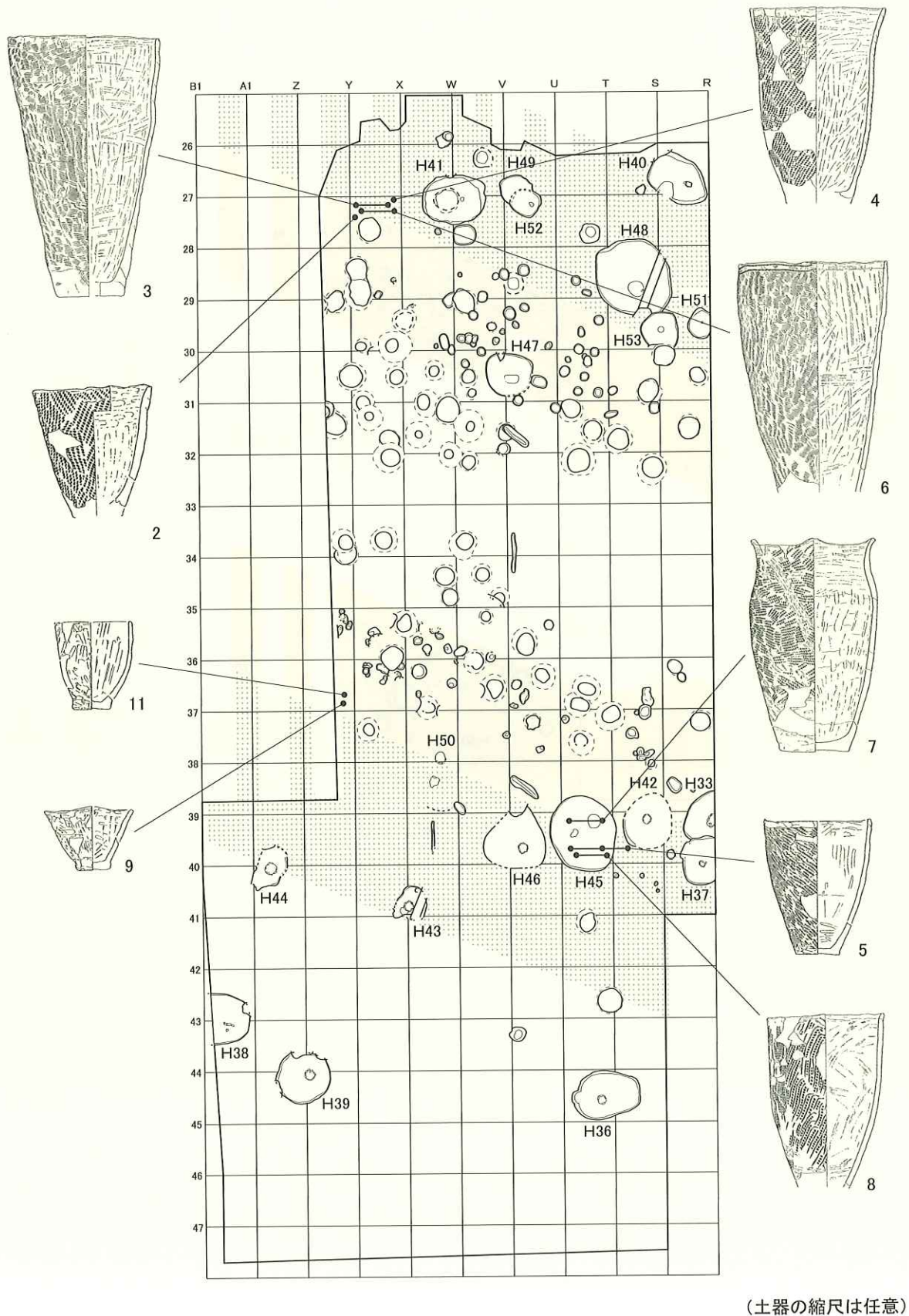
貼土(Ⅲb-1)



(土器の縮尺は任意)

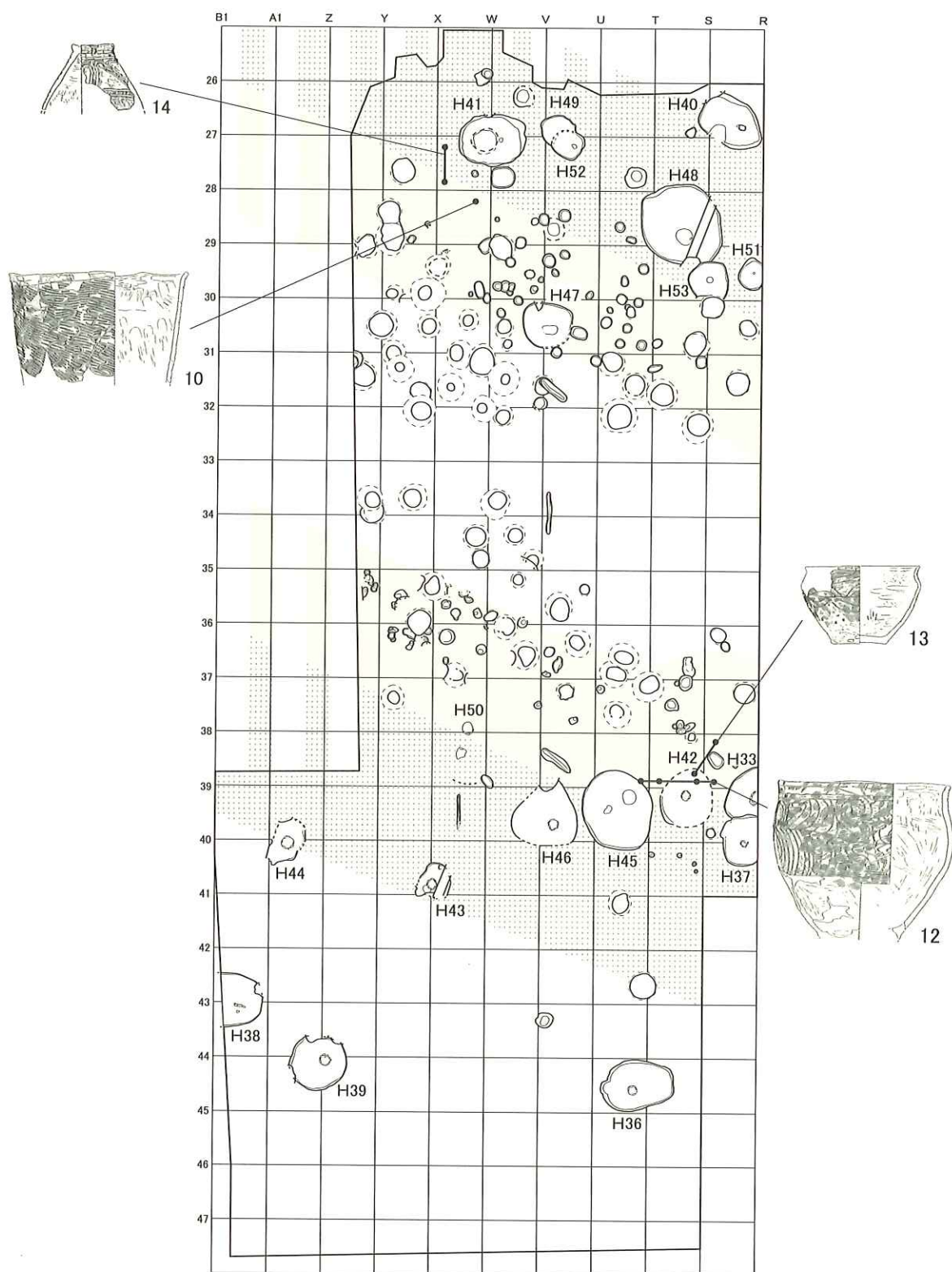
図Ⅶ-197 貼土接合関係図(1)

貼土(Ⅳa-2A)



図Ⅶ-198 貼土接合関係図(2)

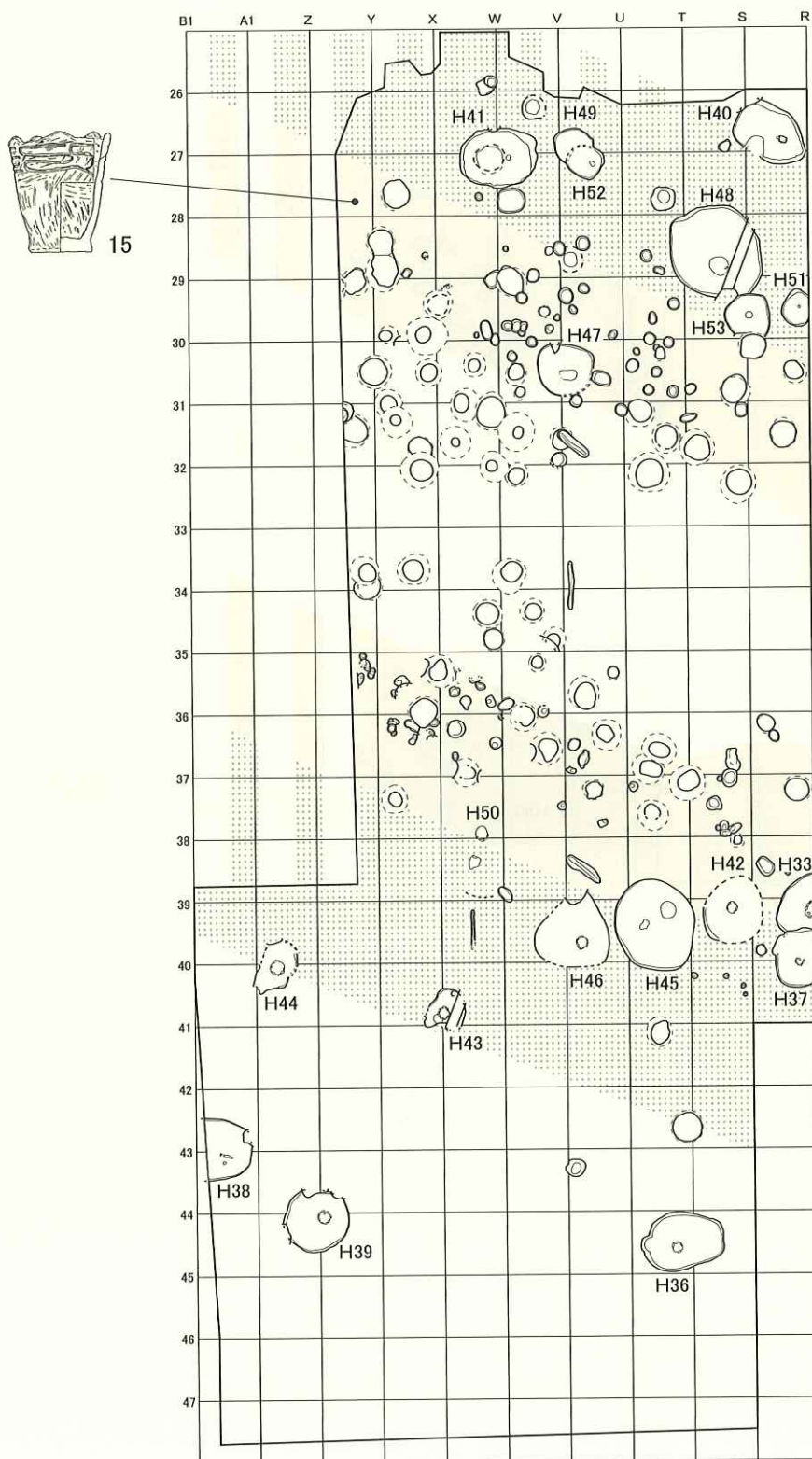
貼土(IVa-2B)



(土器の縮尺は任意)

図Ⅶ-199 貼土接合関係図(3)

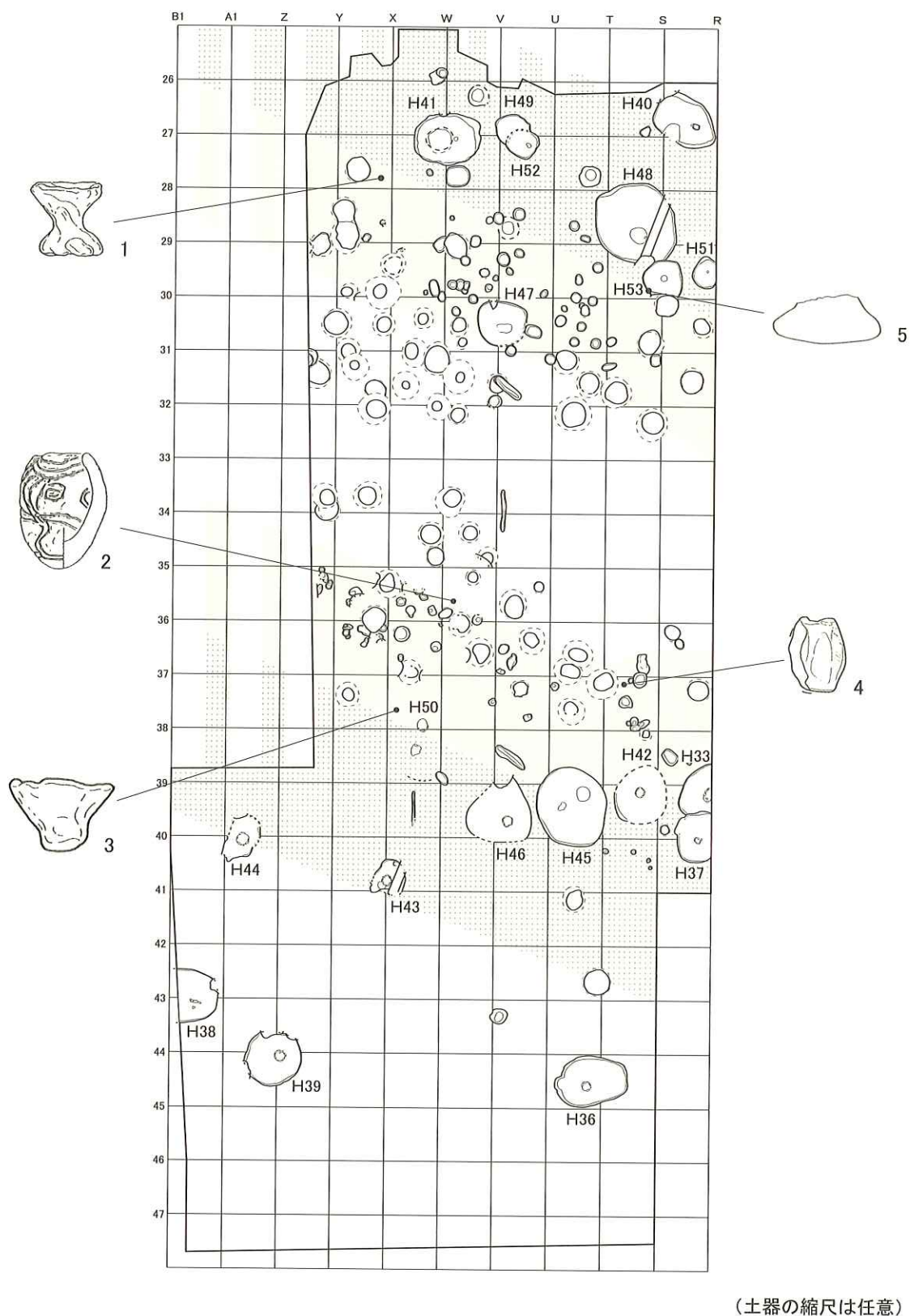
貼土(IVa-3)



(土器の縮尺は任意)

図VII-200 貼土接合関係図(4)

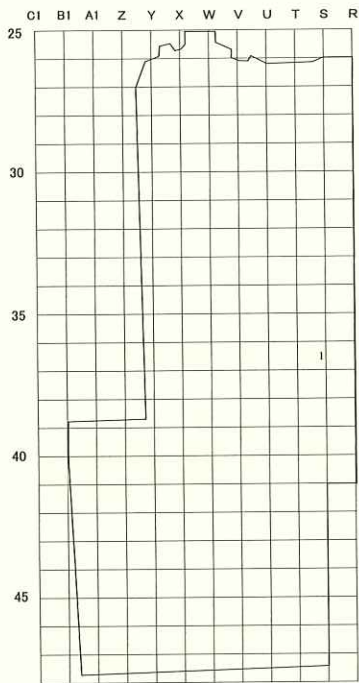
貼土(土製品)



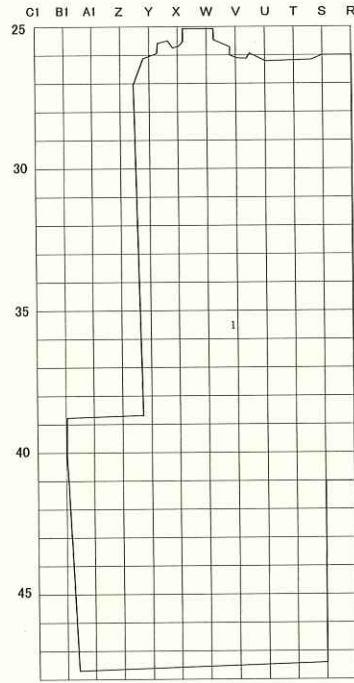
図Ⅶ-201 貼土接合関係図(5)

整地

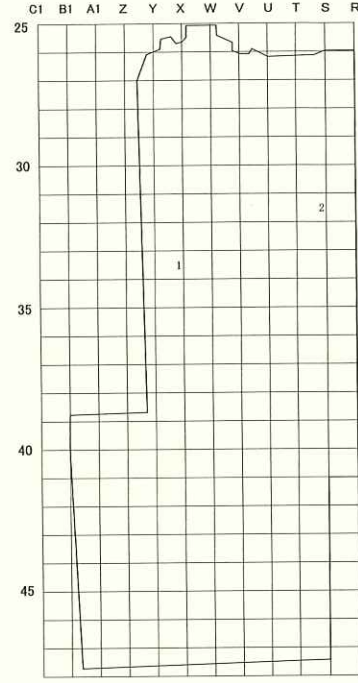
(1) 整地 I 群e類



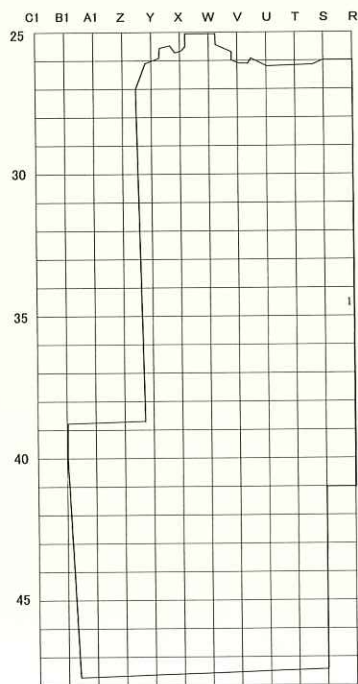
(2) 整地 III群a2類



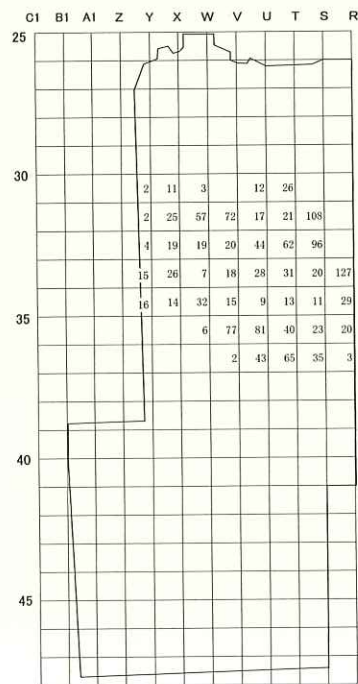
(3) 整地 III群a3類



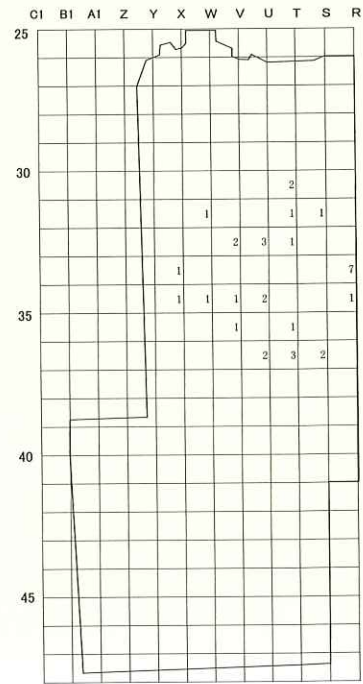
(4) 整地 III群b1類



(5) 整地 IV群a2A類



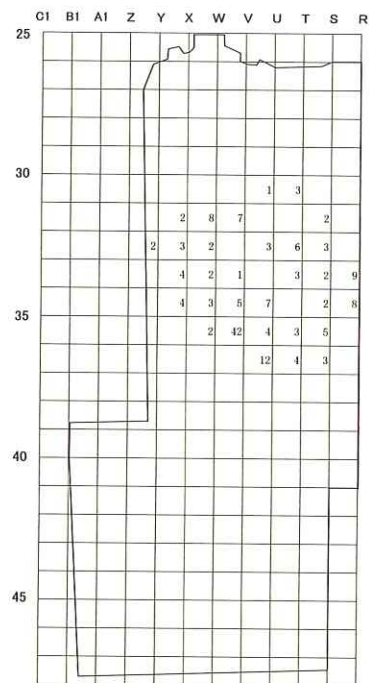
(6) 整地 IV群a2B類



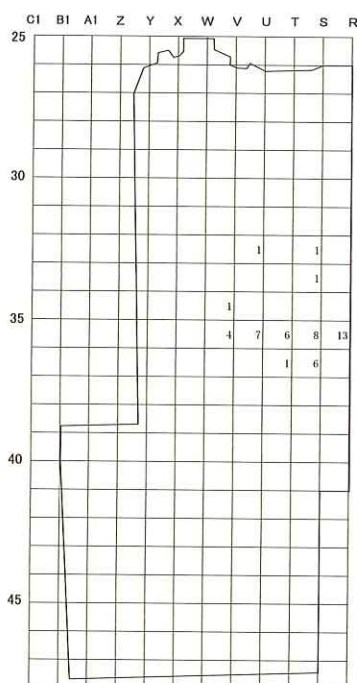
図VII-202 整地遺物点数 (1)

整地

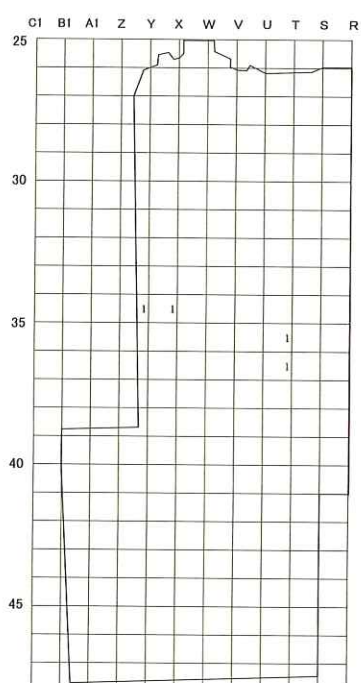
(7)整地 IV群a3類



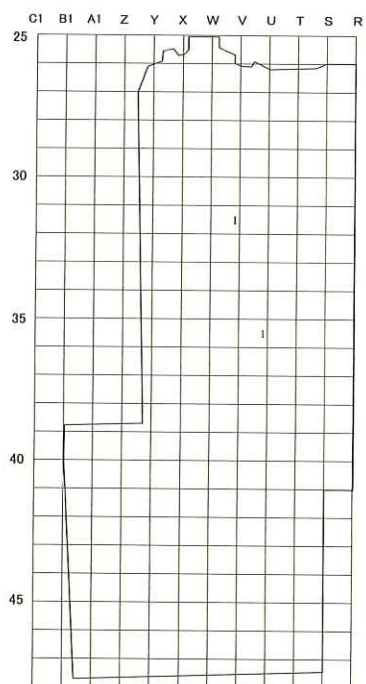
(8)整地 V群



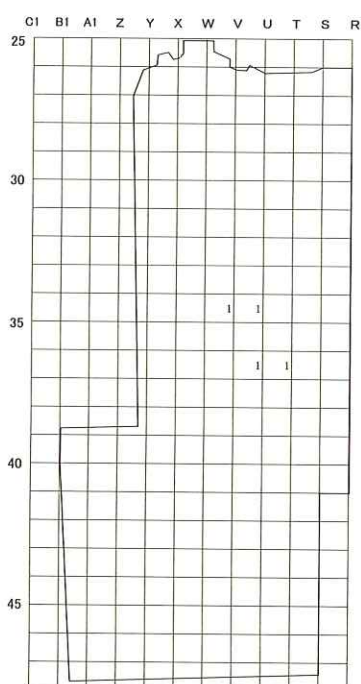
(9)整地 石鏃



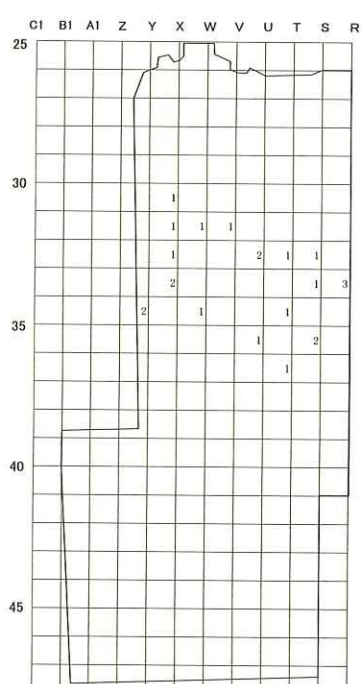
(10)整地 スクレイパー



(11)整地 Uフレイク

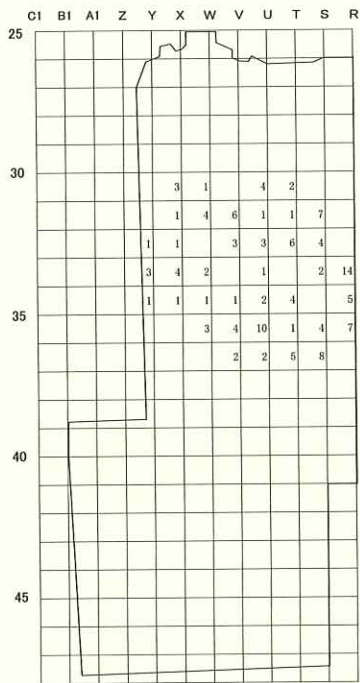


(12)整地 Rフレイク

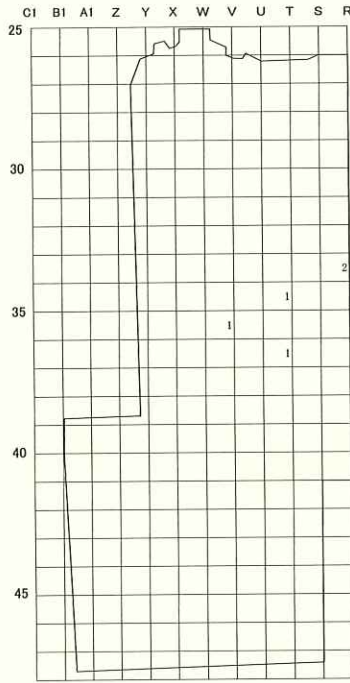


整地

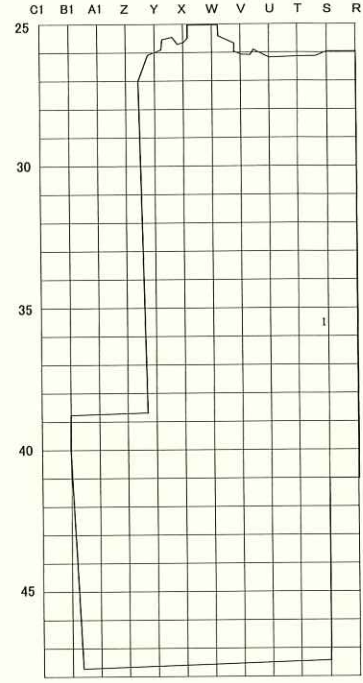
(13) 整地 フレイク



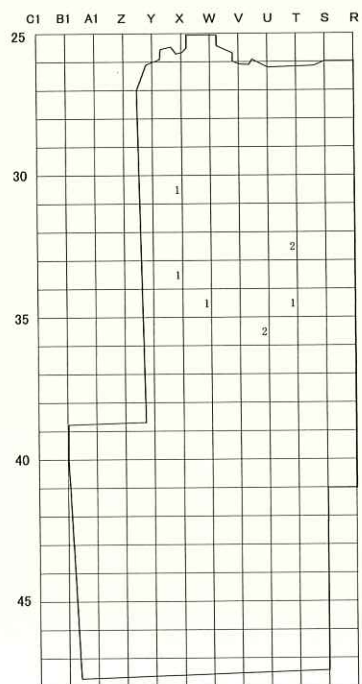
(14) 整地 石核



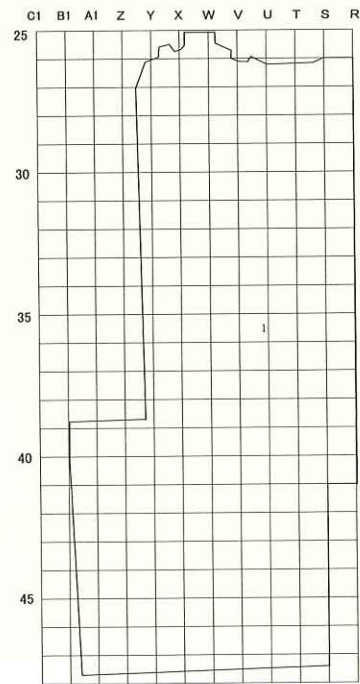
(15) 粘土 石斧



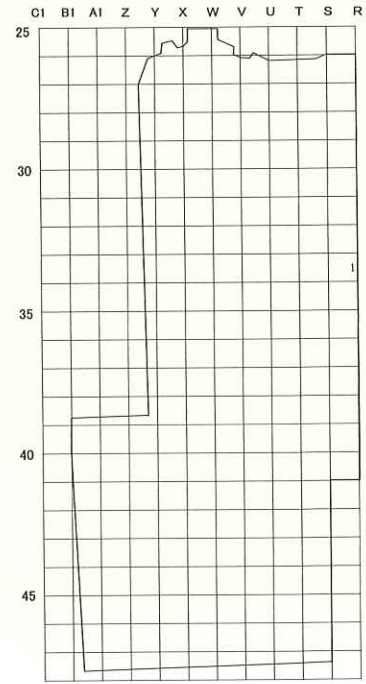
(16) 整地 敲石



(17) 整地 擦石



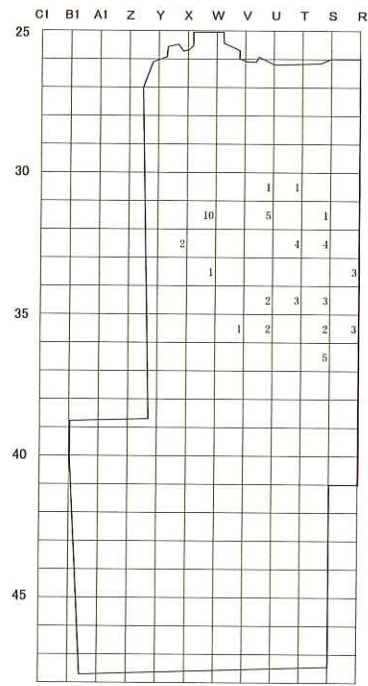
(18) 整地 砥石



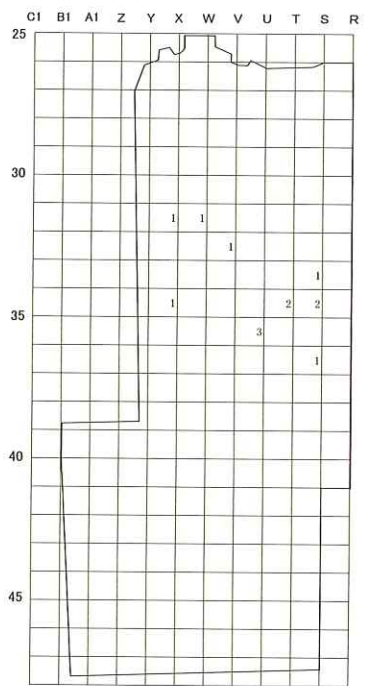
図Ⅶ-204 整地遺物点数 (3)

整地

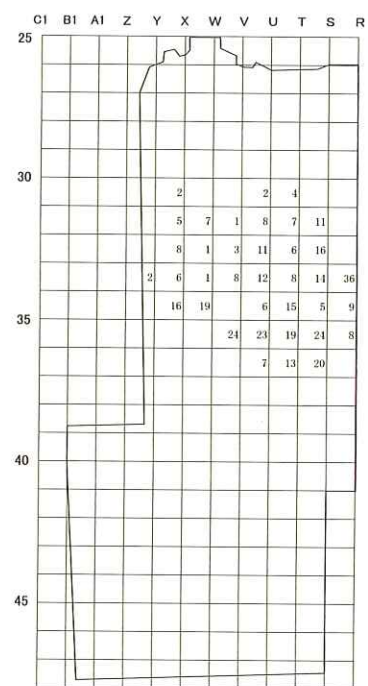
(19)整地 石皿・台石



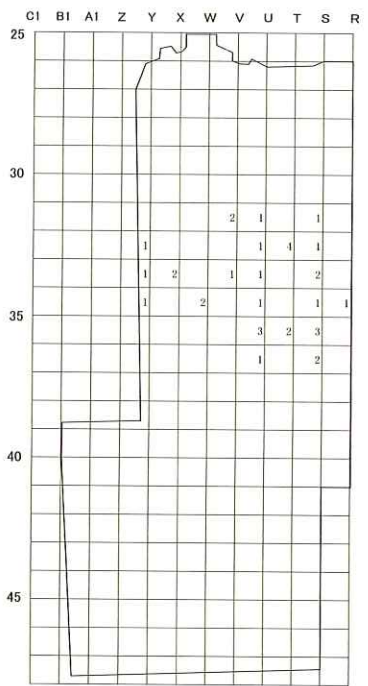
(20)整地 R磔



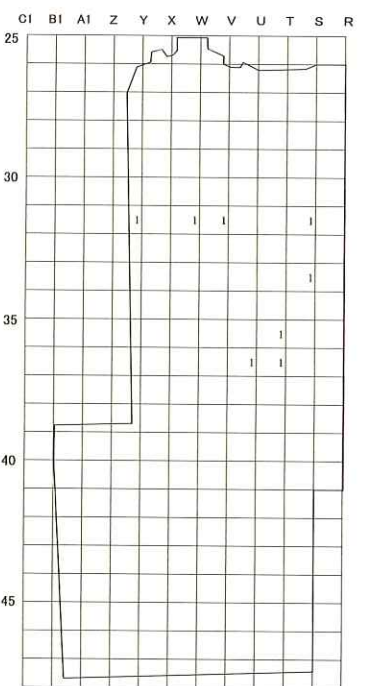
(21)整地 磔



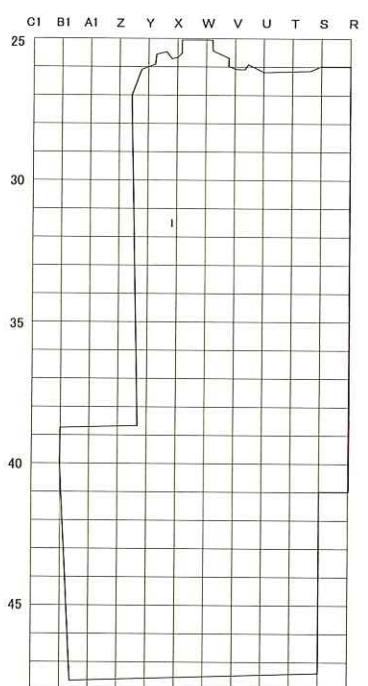
(22)整地 原石



(23)整地 石製品



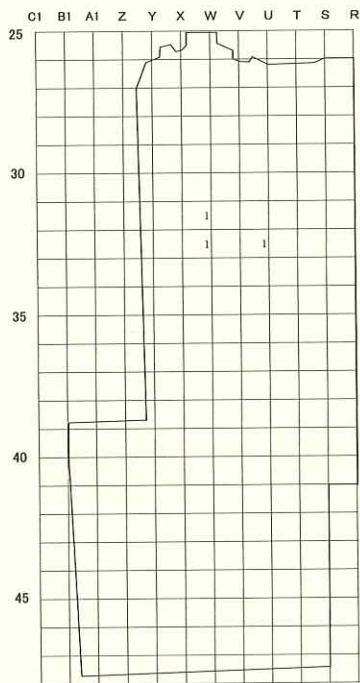
(24)整地 有孔石



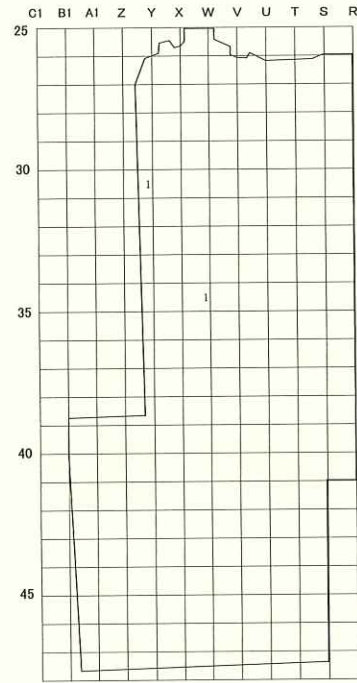
図Ⅶ-205 整地遺物点数 (4)

整地

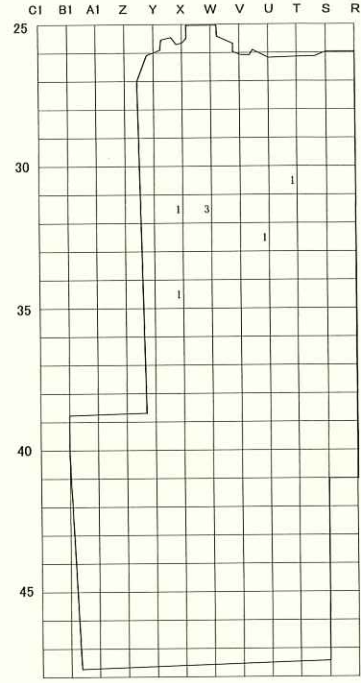
(25) 整地 円盤状土製品



(26) 整地 三角形状土製品

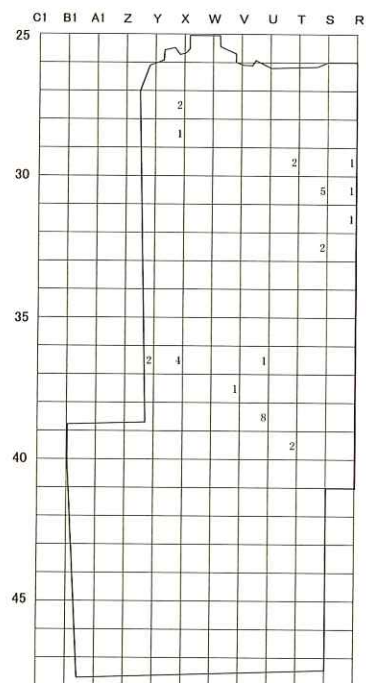


(27) 整地 土製品

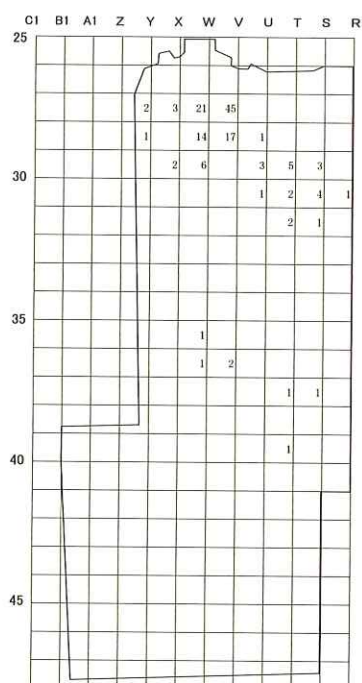


貼 土

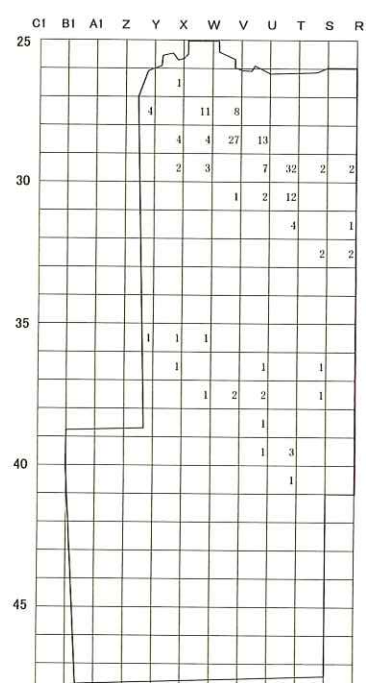
(1)貼土 I群e類



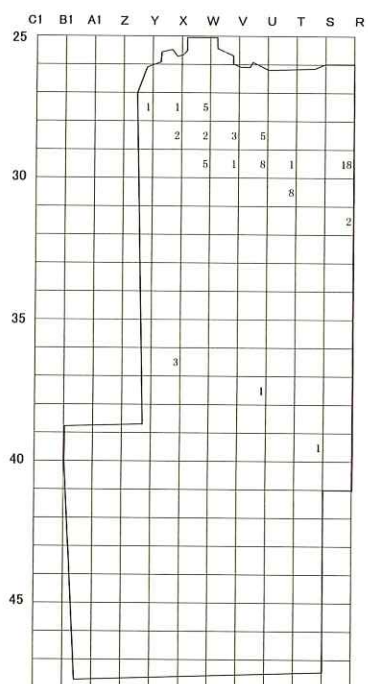
(2)貼土 III群a2類



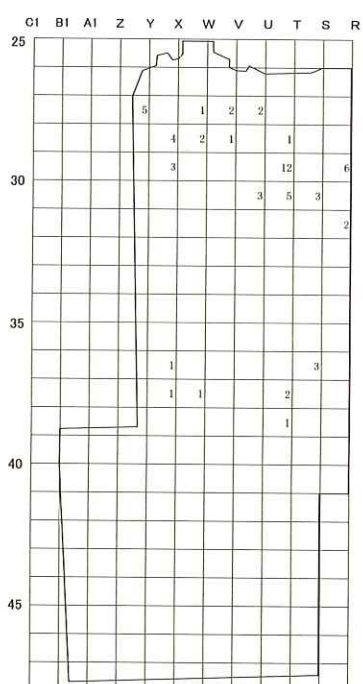
(3)貼土 III群a3類



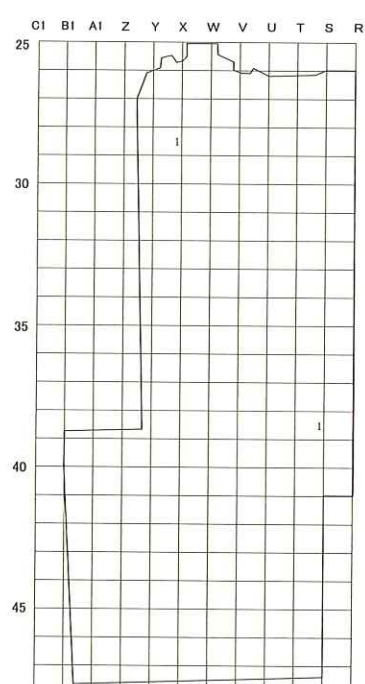
(4)貼土 III群b1類



(5)貼土 III群b2類

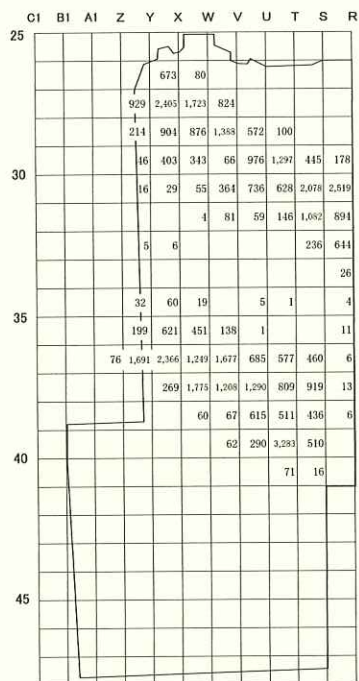


(6)貼土 III群b3類

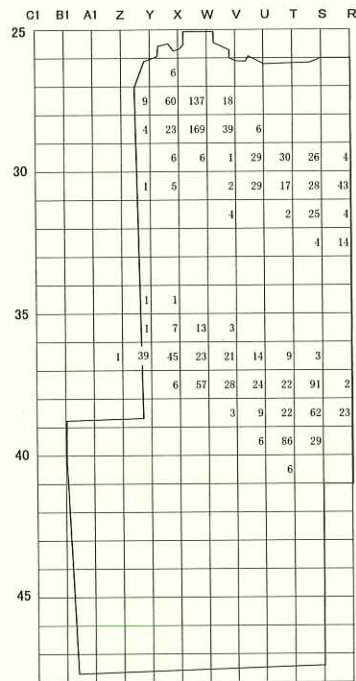


貼土

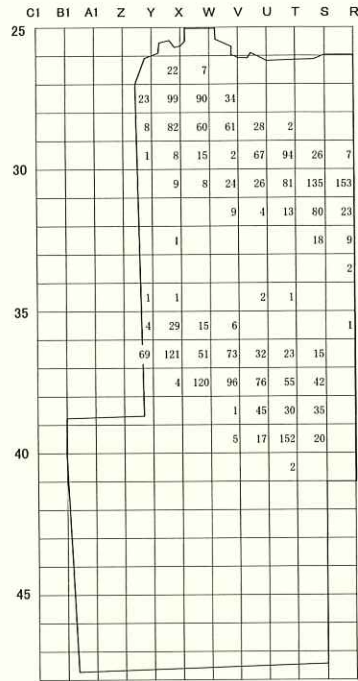
(7) 粘土 IV群a2A類



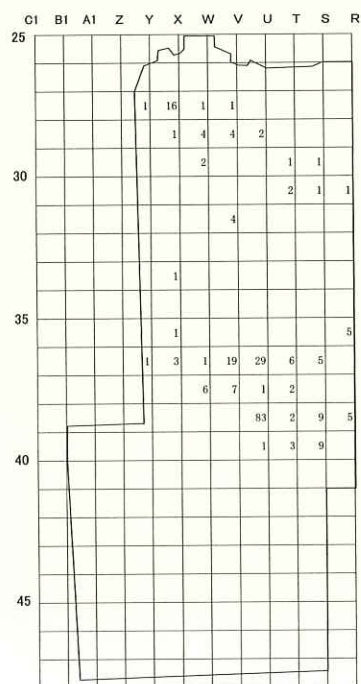
(8) 貼土 IV群a2B類



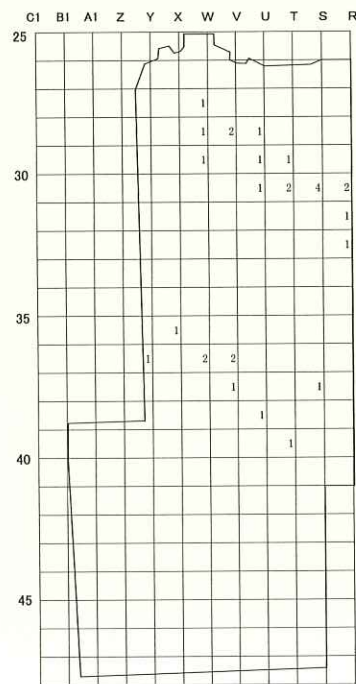
(9) 粘土 IV群a3類



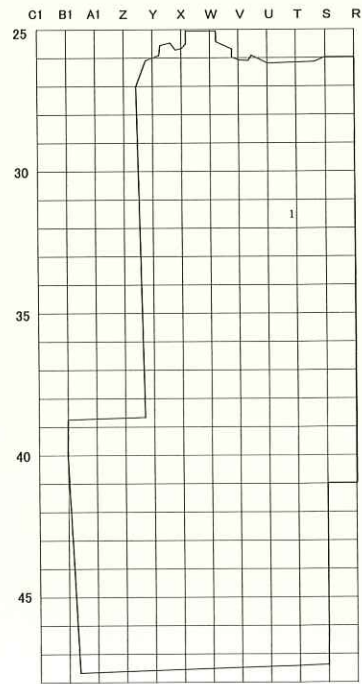
(10) 貼土 V 群c類



(11) 貼土 石鏟

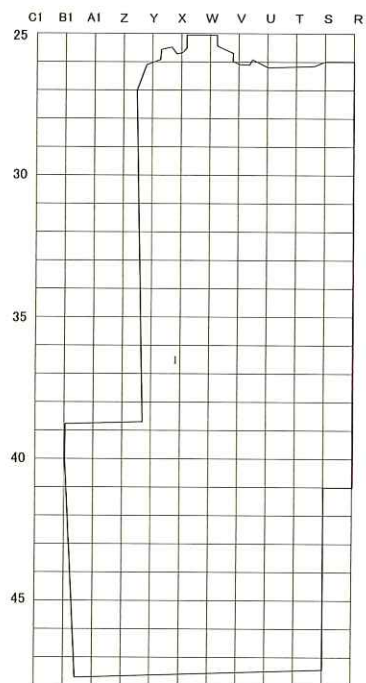


(12)貼土 石錐

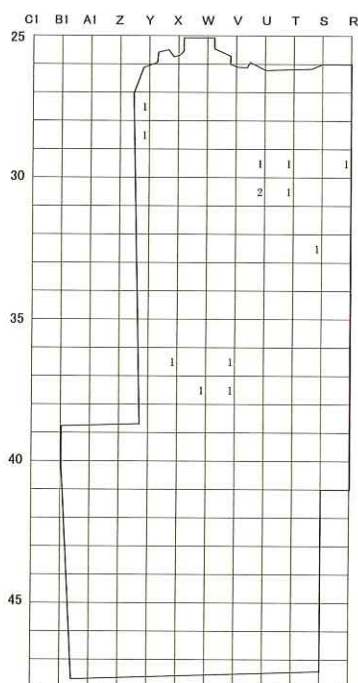


貼 土

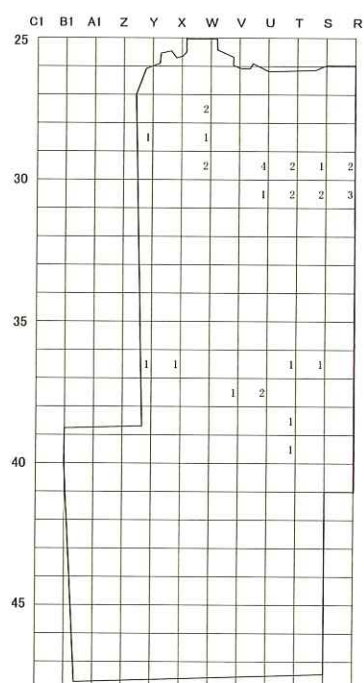
(13) 貼土 つまみ付ナイフ



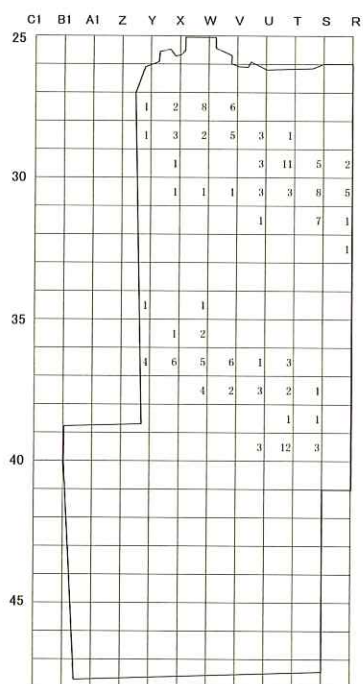
(14) 貼土 両面調整石器



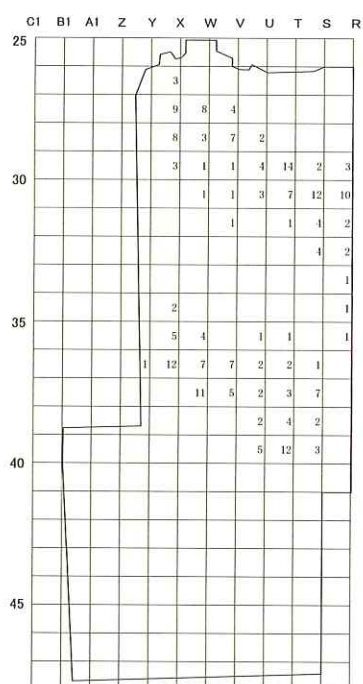
(15) 貼土 スクレイパー



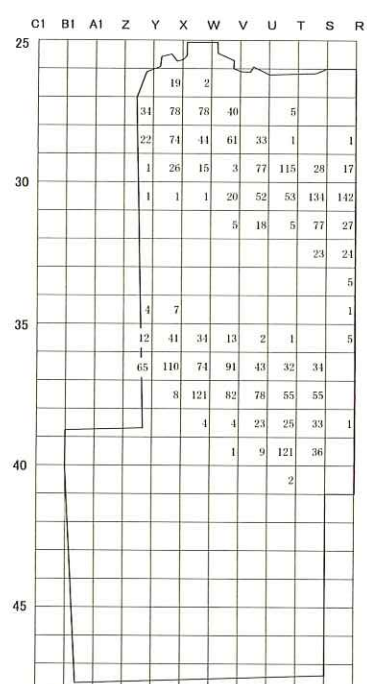
(16) 貼土 Uフレイク



(17) 貼土 Rフレイク

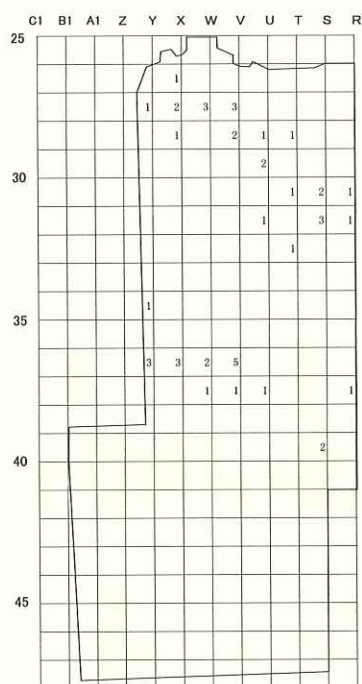


(18) 貼土 フレイク

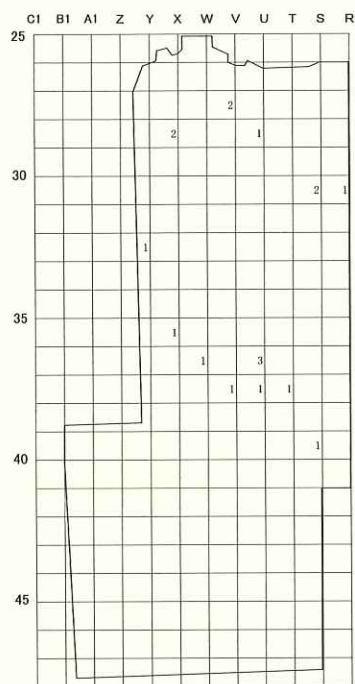


貼土

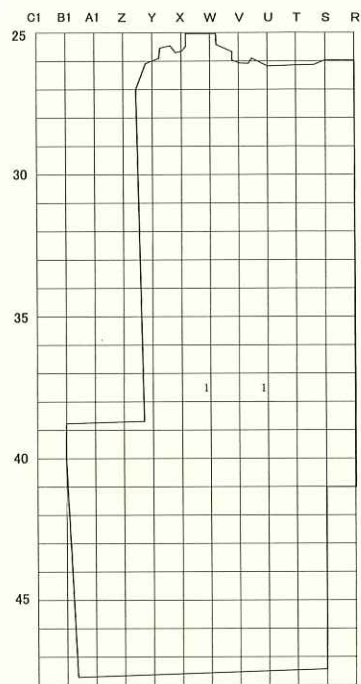
(19)貼土 石核



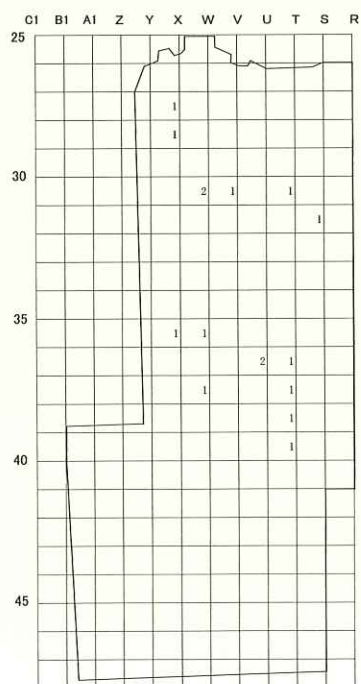
(20)貼土 石斧



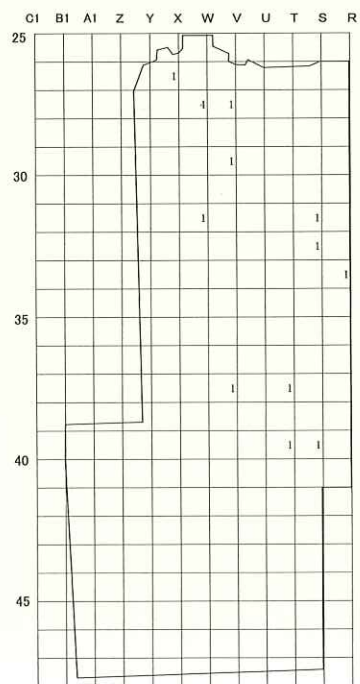
(21)貼土 青竜刀



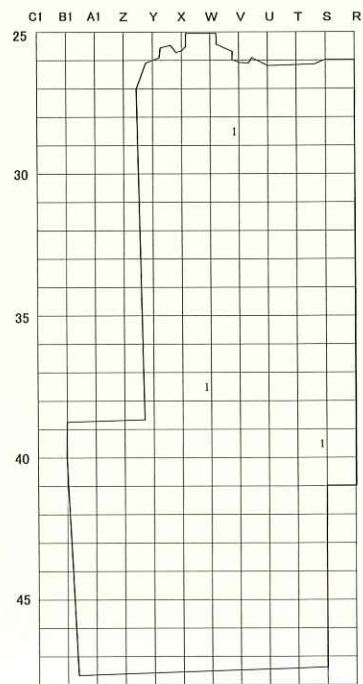
(22)貼土 敲石



(23)貼土 擦石



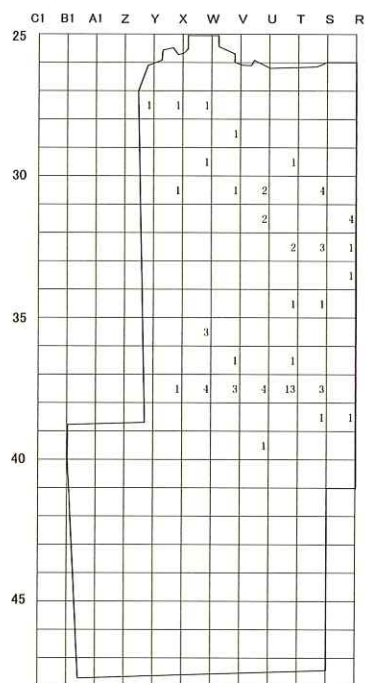
(24)貼土 砥石



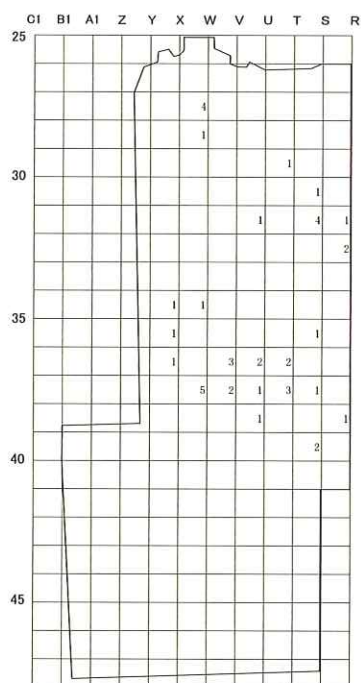
图VII-210 粘土遺物点数(4)

貼 土

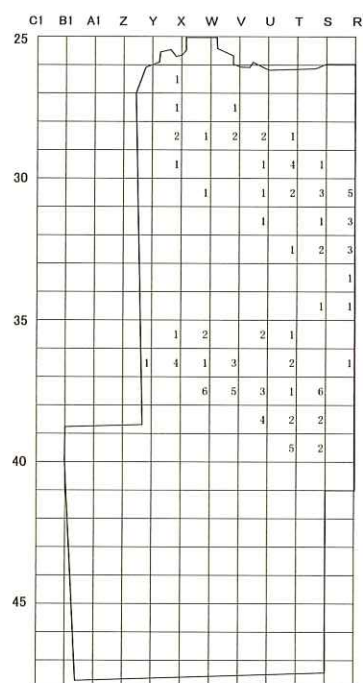
(25)貼土 石皿・台石



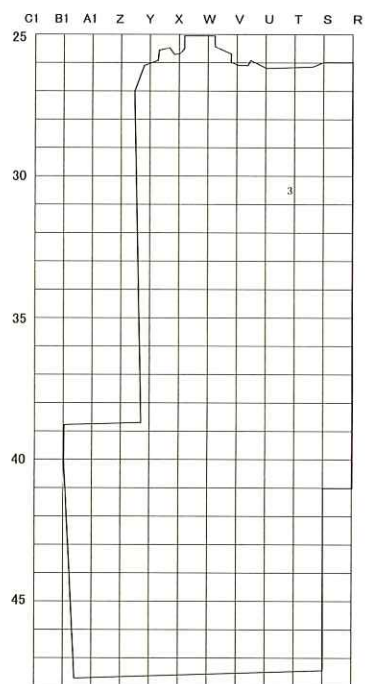
(26)貼土 R礫



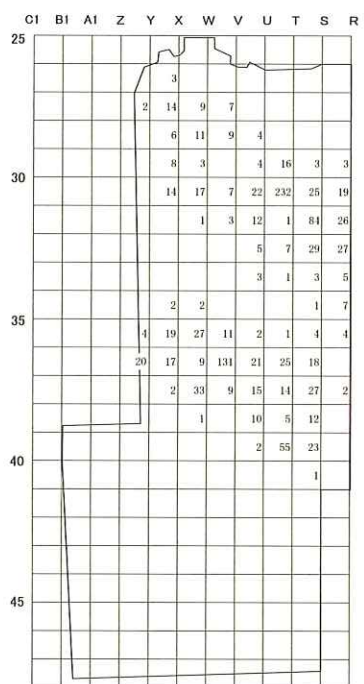
(27)貼土 原石



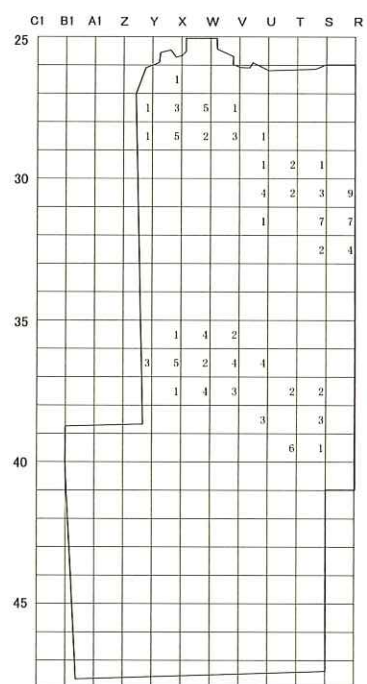
(28)貼土 砂利



(29)貼土 礫



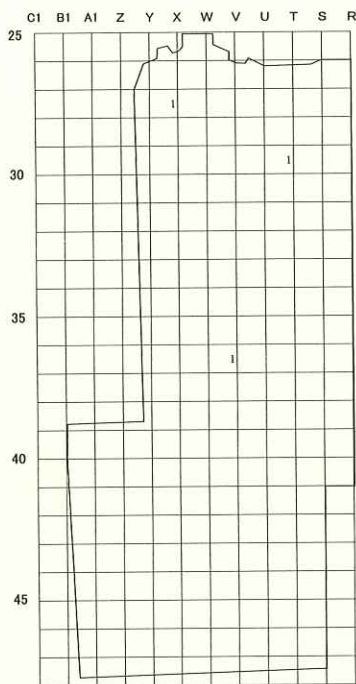
(30)貼土 石製品



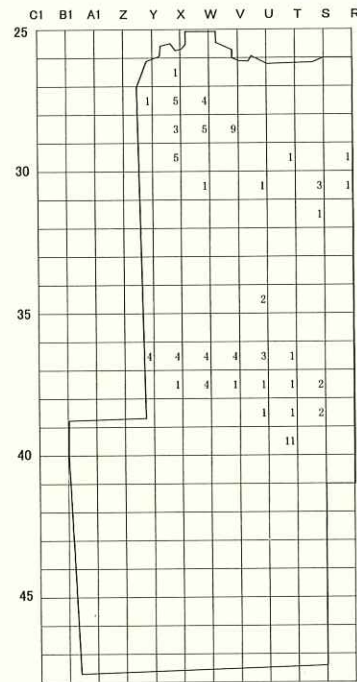
図Ⅶ-211 貼土遺物点数 (5)

貼 土

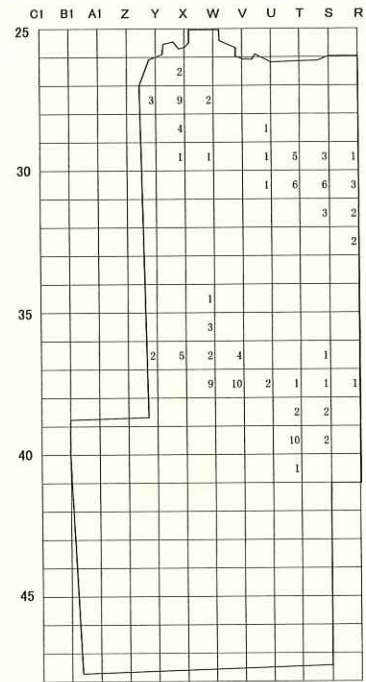
(31) 貼土 有孔石



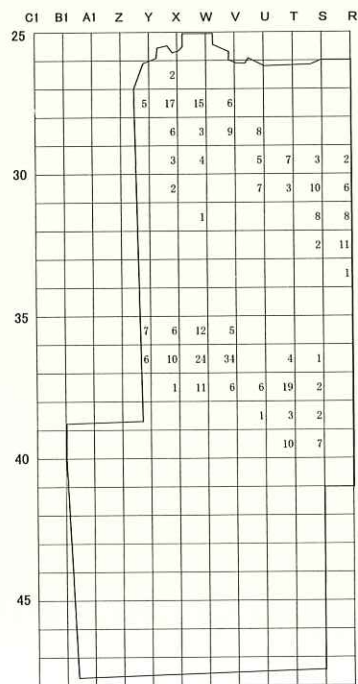
(32) 貼土 円盤状土製品



(33) 貼土 三角形土製品



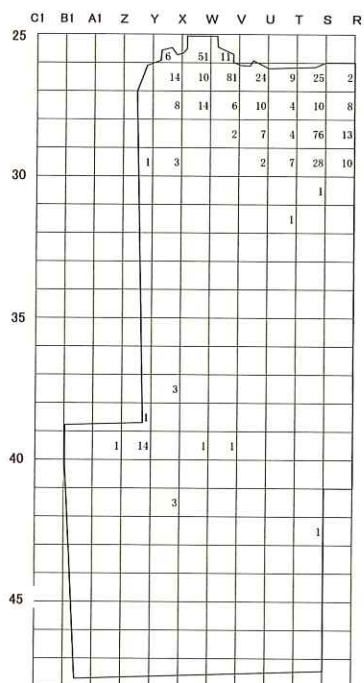
(34) 貼土 土製品



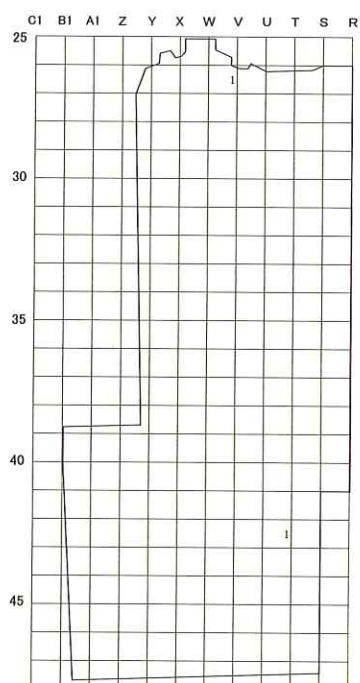
図VII-212 貼土遺物点数 (6)

盛土全体

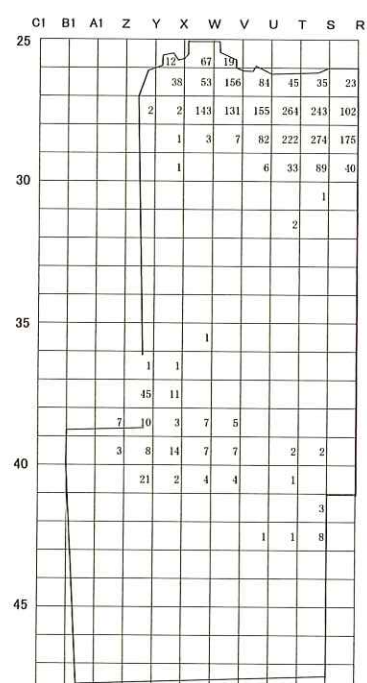
(1) 盛土 I 群



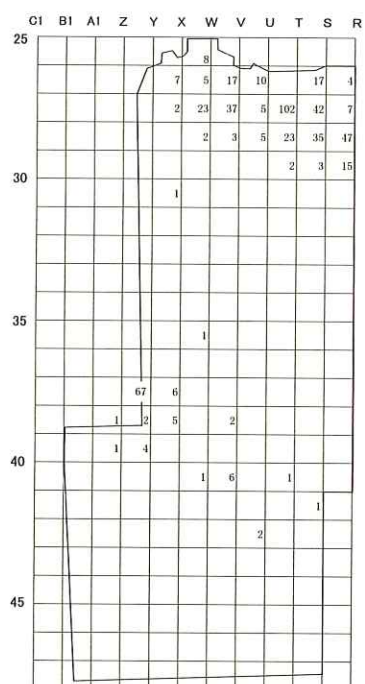
(2) 盛土 II 群



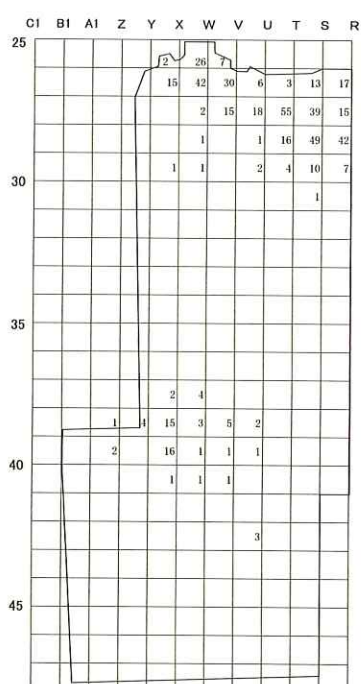
(3) 盛土 III群a類



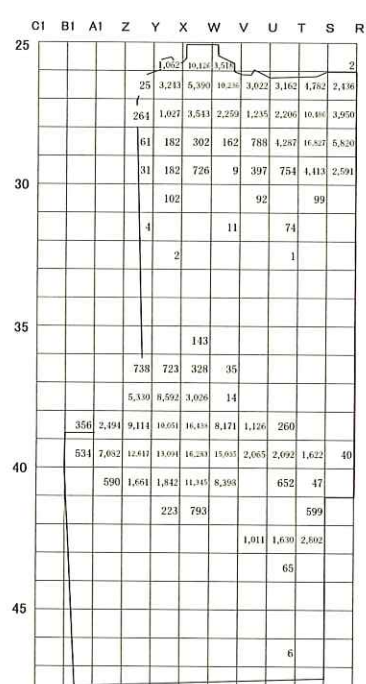
(4)盛土 III群b1類



(5)盛土 III群b2類



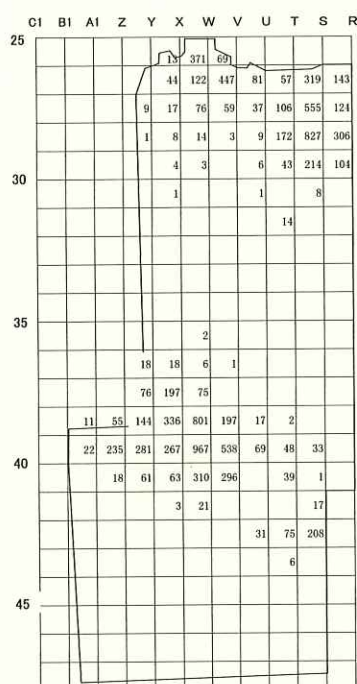
(6)盛土 IV群a2A類



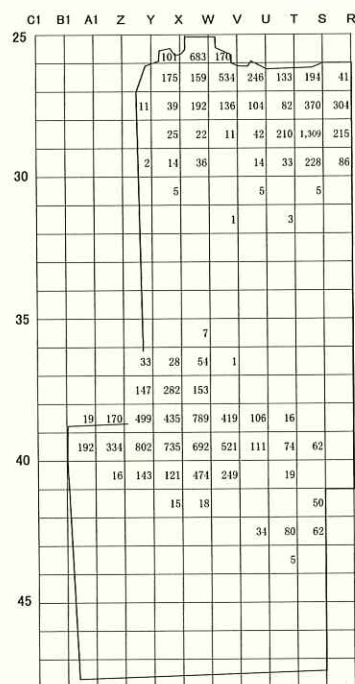
圖VII-213 南北盛土遺物点数 (1)

盛土全体

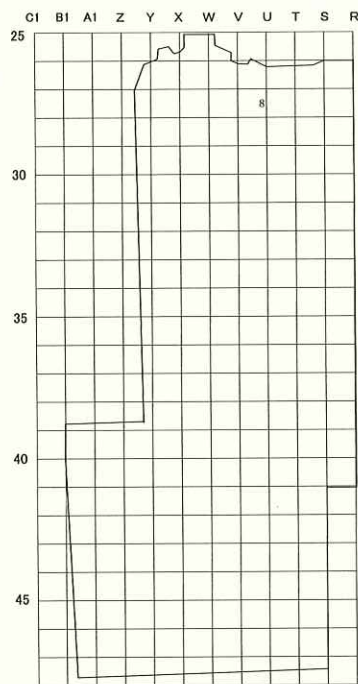
(7)盛土 IV群a2B類



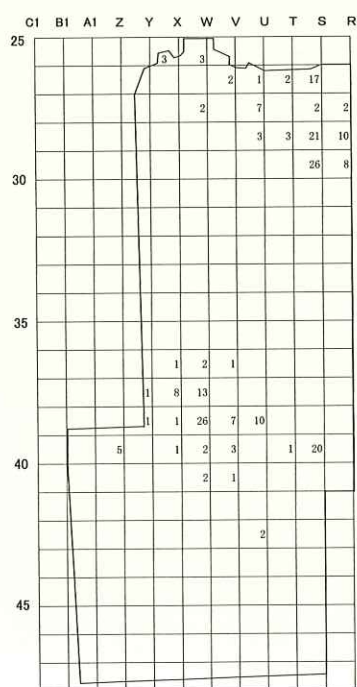
(8)盛土 IV群a3類



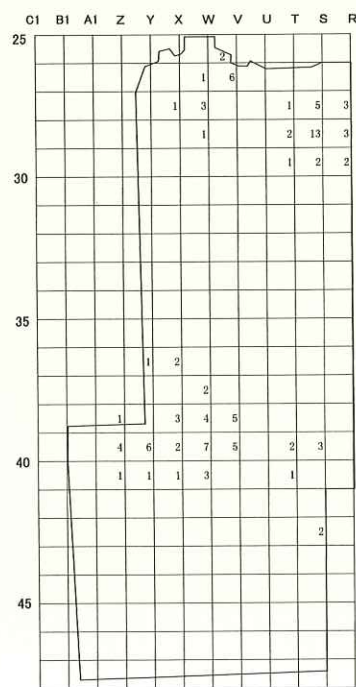
(9) 盛土 IV群c類



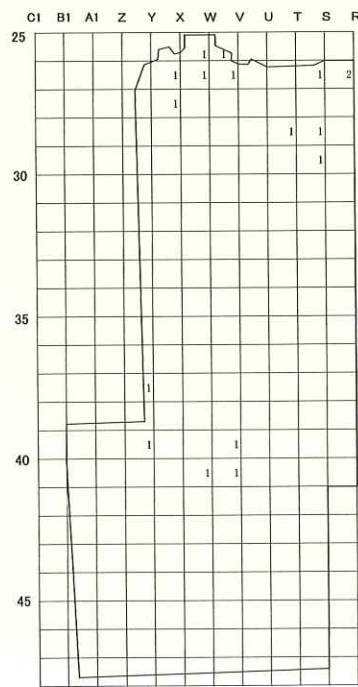
(10)盛土 V群c類



(11)盛土 石鏟



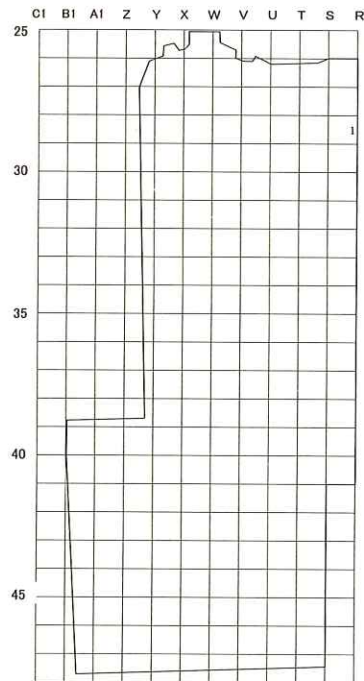
(12)盛土 石錐



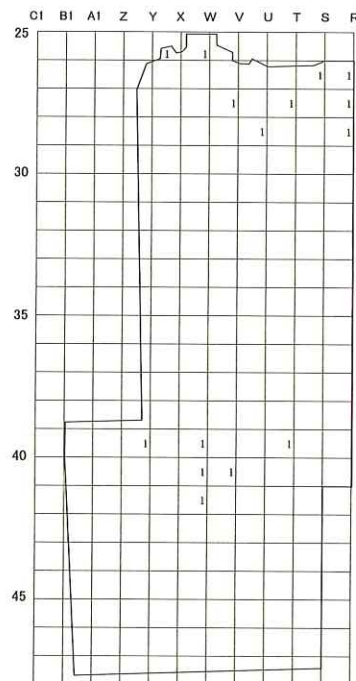
圖VII-214 南北盛土遺物点数 (2)

盛土全体

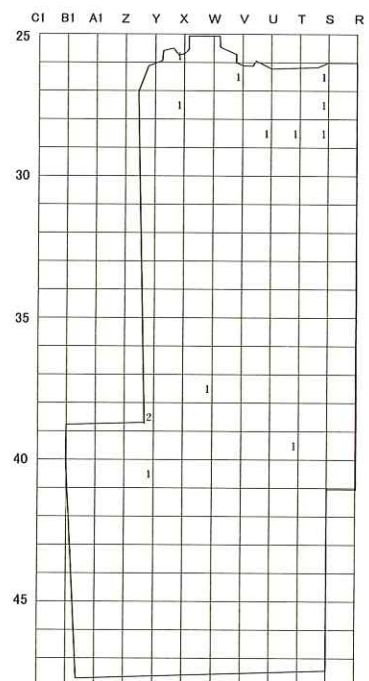
(13)盛土 楔形石器



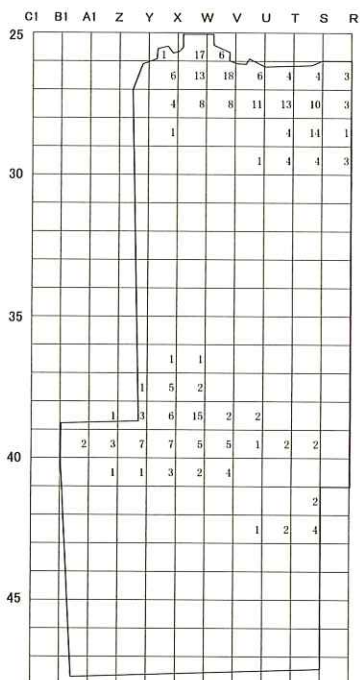
(14)盛土 つまみ付ナイフ



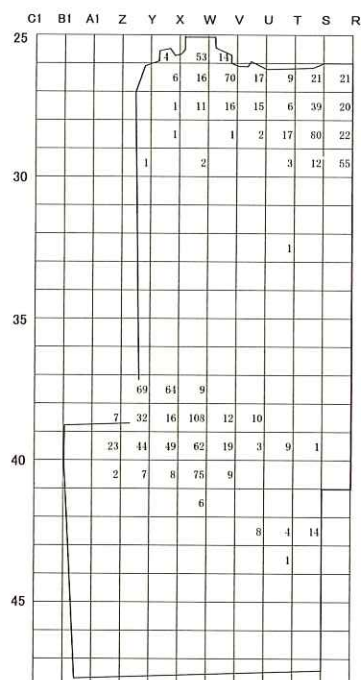
(15)盛土 両面調整石器



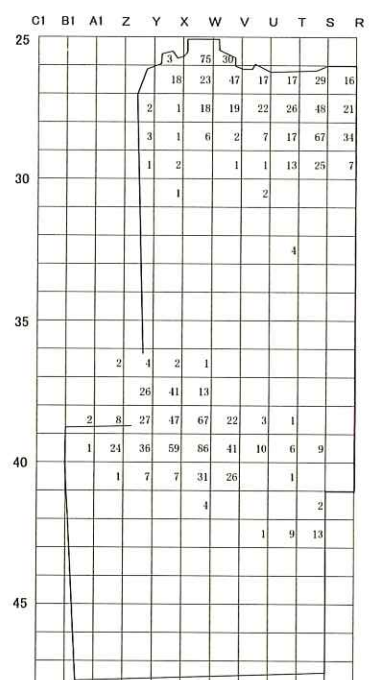
(16)盛土 スクレイパー



(17)盛土 Uフレイク



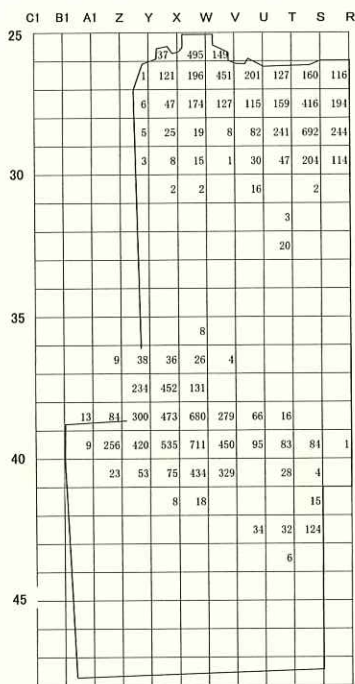
(18)盛土 Rフレイク



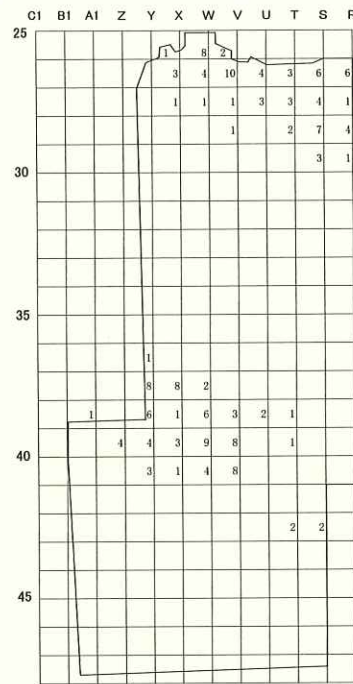
図Ⅶ-215 南北盛土遺物点数 (3)

盛土全体

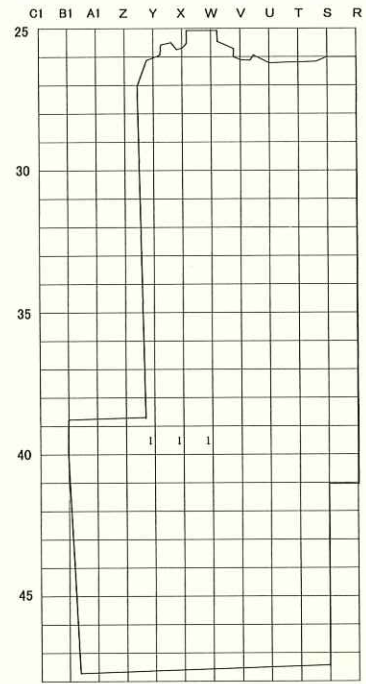
(19)盛土 フレイク



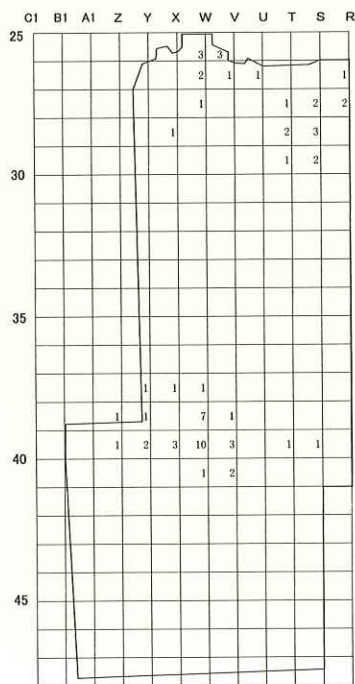
(20)盛土 石核



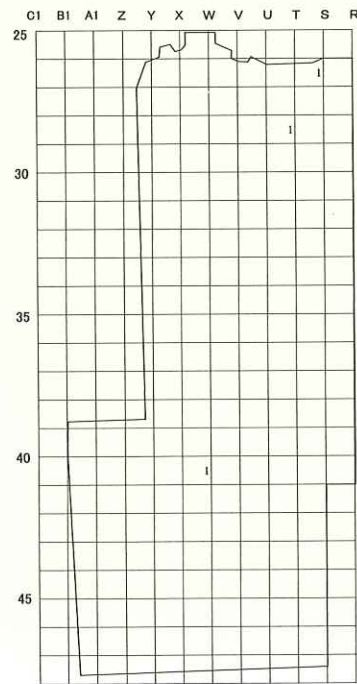
(21)盛土 簞状石器



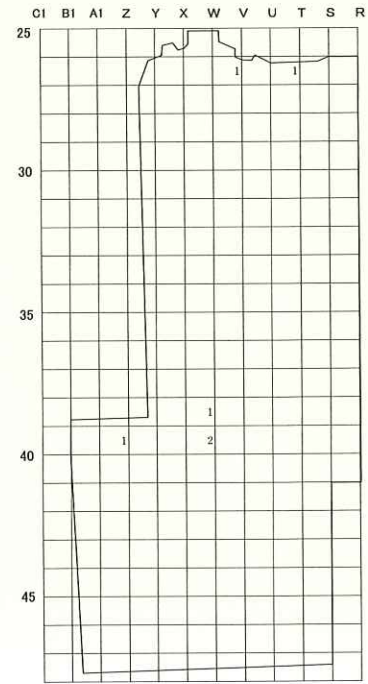
(22)盛土 石斧



(23)盛土 石棒

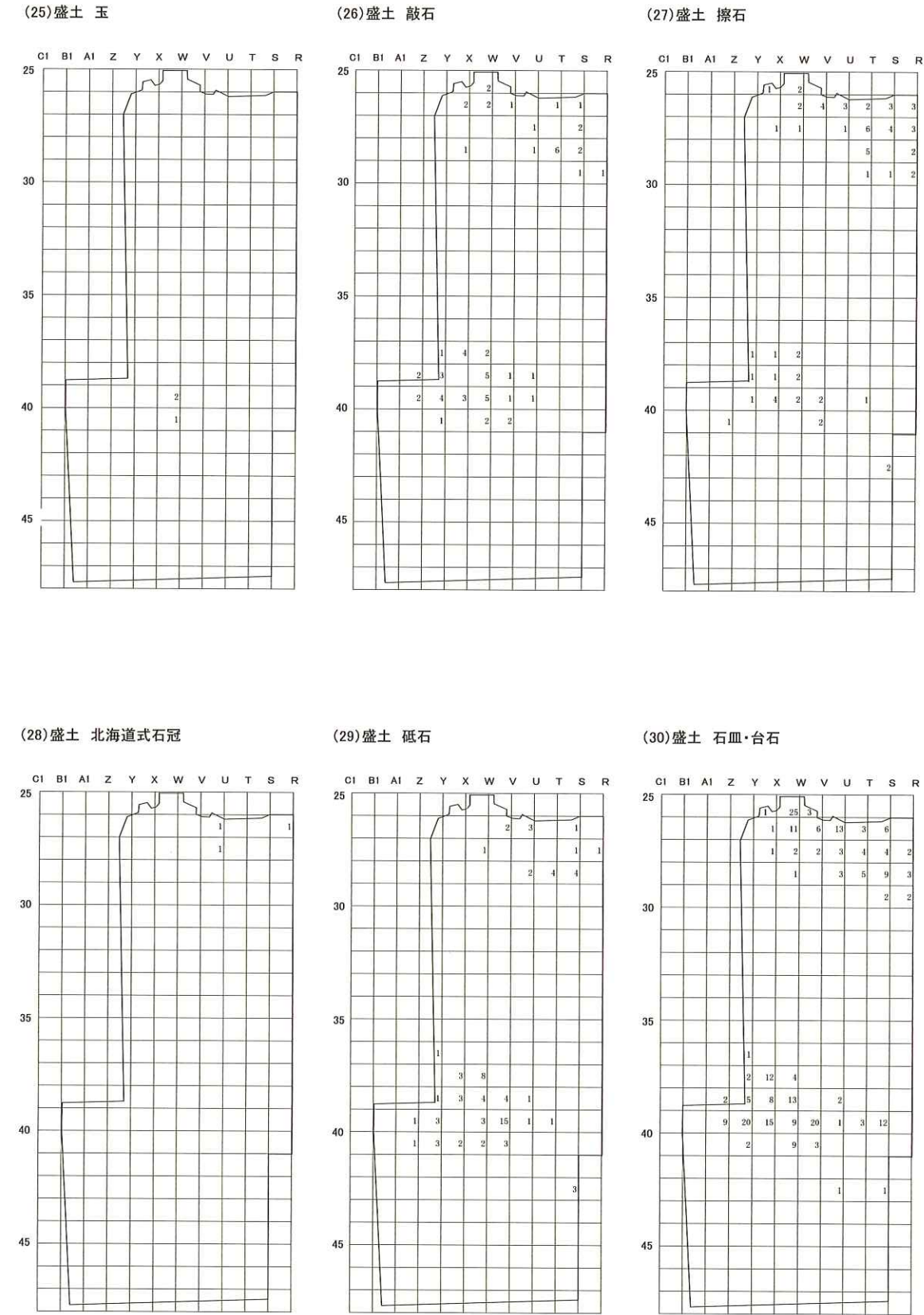


(24)盛土 青竜刀



図Ⅶ-216 南北盛土遺物点数(4)

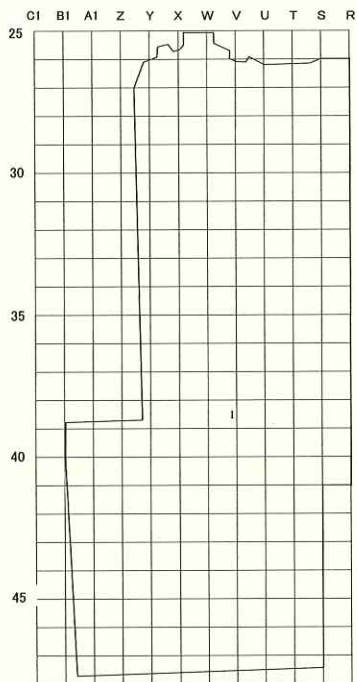
盛土全体



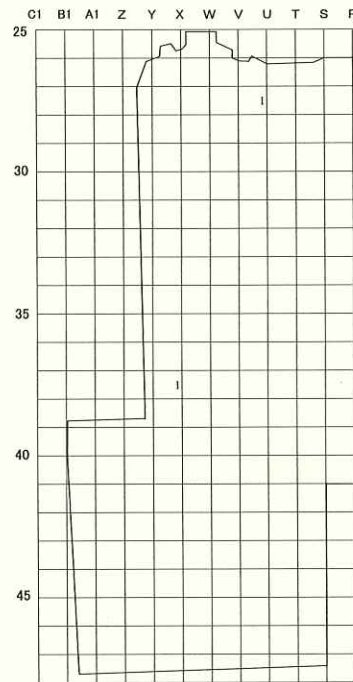
図Ⅶ-217 南北盛土遺物点数 (5)

盛土全体

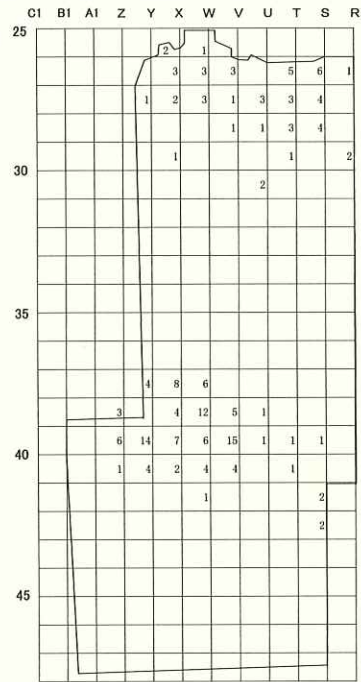
(31)盛土 石鋸



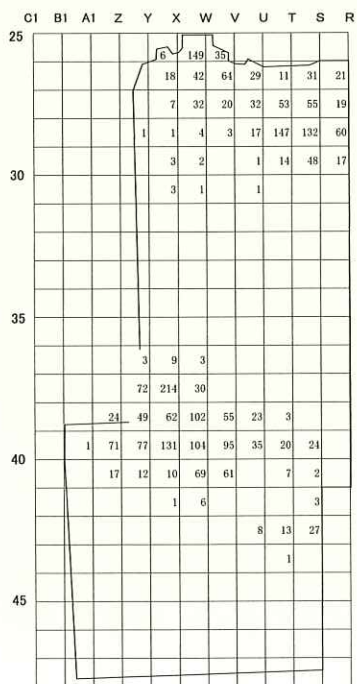
(32)盛土 石鍾



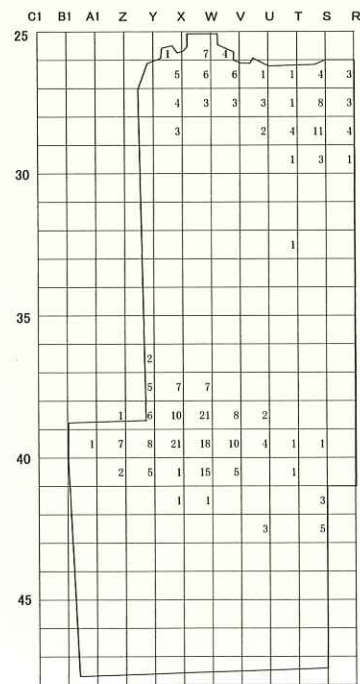
(33)盛土 R礫



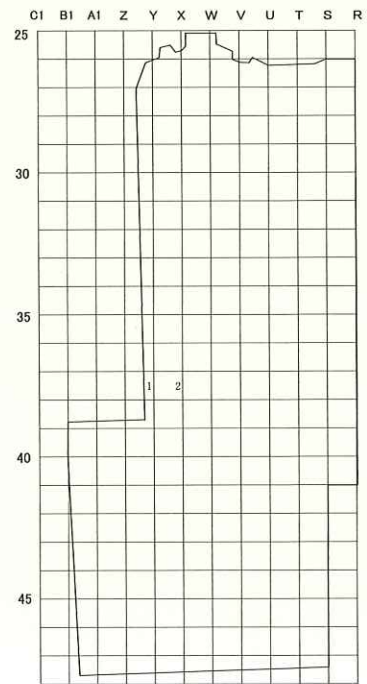
(34)盛土 礫



(35)盛土 原石

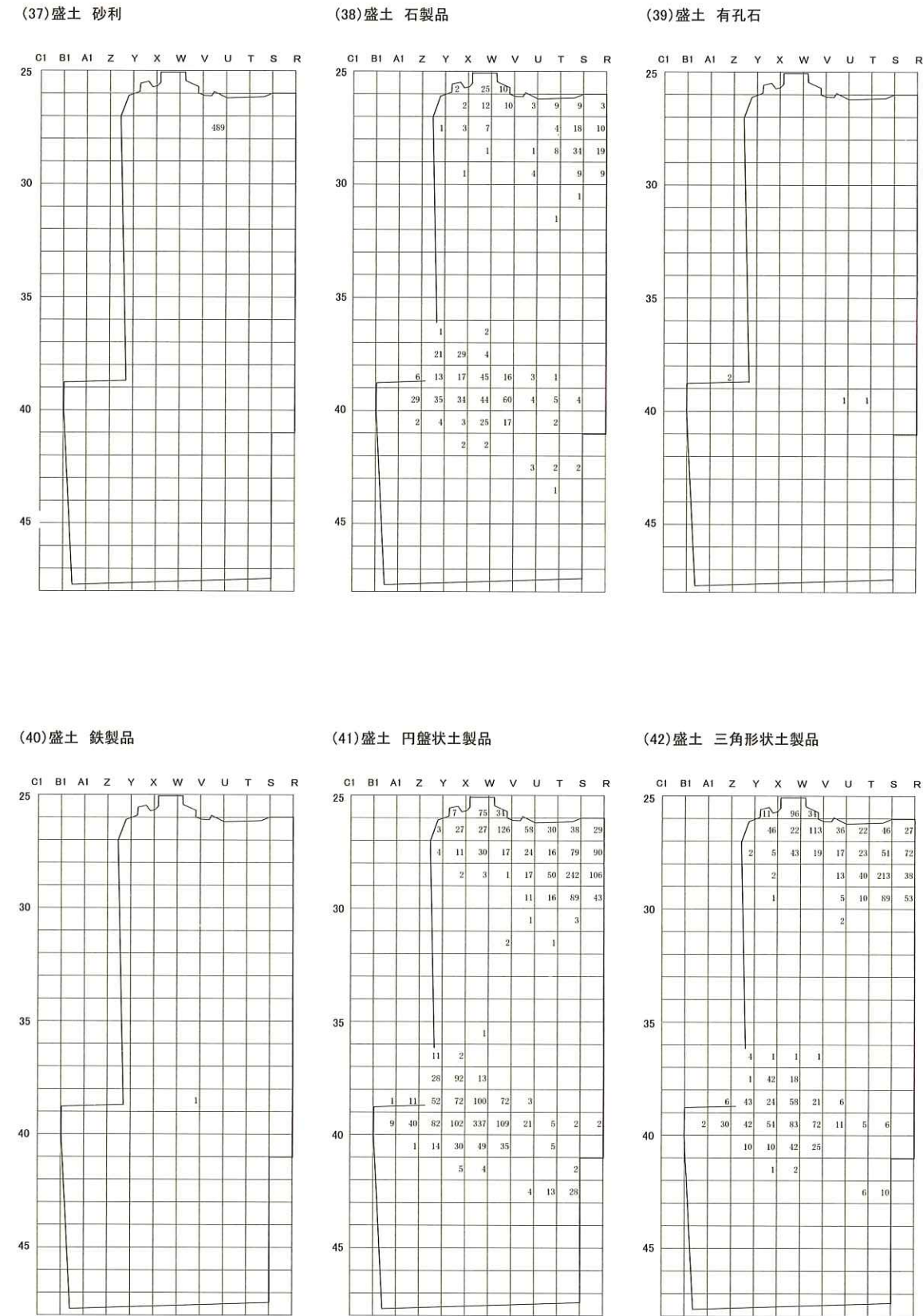


(36)盛土 軽石



図Ⅶ-218 南北盛土遺物点数(6)

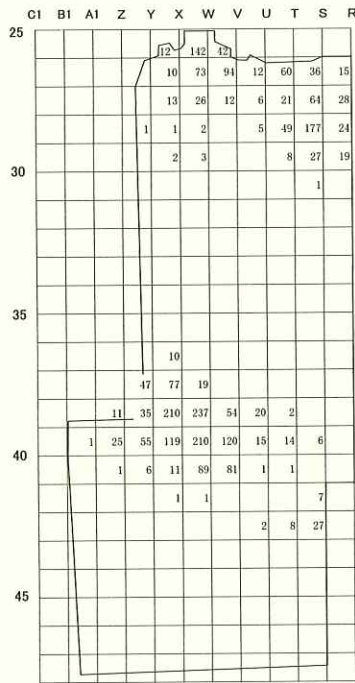
盛土全体



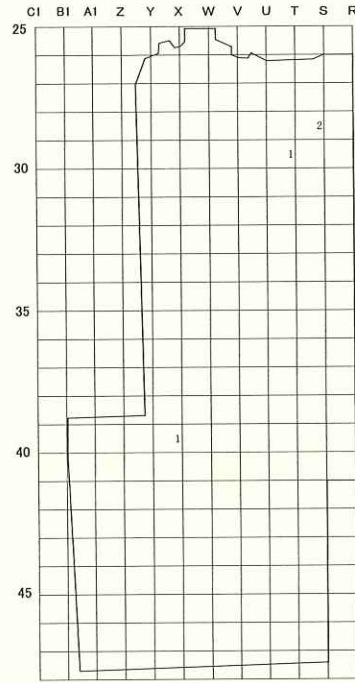
図Ⅶ-219 南北盛土遺物点数（7）

盛土全体

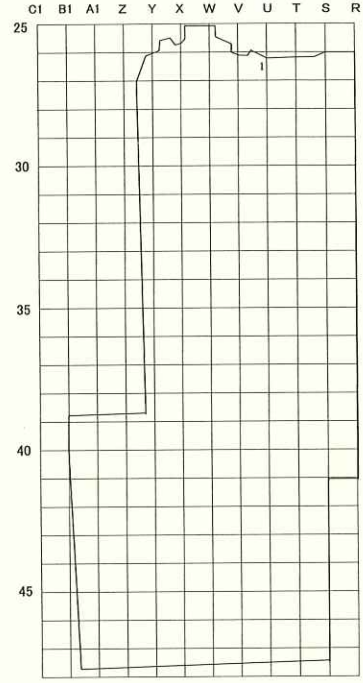
(43) 盛土 土製品



(44) 盛土 炭化物



(45) 盛土 その他



図VII-220 南北盛土遺物点数(8)

表Ⅶ-2 掲載拓本土器解説表(貼土)

図番号	番号	調査区	部位	建物番号	分類	点数	残	部位	形状①口唇②口縁③胴部④底部	口唇部①上面②外方③内方	内面①口縁部②胴部	外面①口縁部②胴部	底面	備考
Ⅶ-191	16	U37b		8		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①切り出し状 外傾 ②やや外反 波状	①沈線が巡る ②③ナデ	①ナデ	①沈線で文様を施す ②L (R2) 細文		
	17	S39a		13		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①切り出し状 外傾 ②やや外反 波状	①沈線が巡る ②③ナデ	①ナデ	①沈線を隆起線で文様を施す ②L (R2) 細文		
	18	W27d		5	Ⅲb	2		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①折返し 切り出し状	①沈線が巡る ②③ナデ	①ナデ			
	19	R29c		18		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 ②波状	①ナデ ②波頂部外方に貼付 ③ナデ	①ナデ	①L (R2) 細線と隆起が巡る ②L (R2) 細文		
	20	W27d		8		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①角形 折返し	①②③ナデ	①ナデ	①折返し部に貼土帯で文様を形成する ②L (R2) 細文		
	21	U36d		7		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 折返し ②緩い波状	①②③ナデ	①ナデ	①口唇に沿って細文圧痕と円形刺突が巡る ②L (R2(L2)) 細文		
	22	U37c		5		2		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①断面切り出し状(内側) 折返し ②波状	①②突起部上面を指圧 ③ナデ	①ナデ	①折返し部に細文 ②R (L2) 細文		
	23	W27b		5	Ⅳa-2A	1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 折返し ②緩い波状	①②③ナデ	①ケズリ状	①波頂部に2個の突起 外方に粘土瘤を2個つける ③ナデ		
	24	W38b		6		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 ②小波状	①へう状の工具によるキサミ ②③ナデ	①ナデ	①口唇に沿って細文圧痕 ②R (L2) 細文		
	25	T39d		19		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 ②小波状	①②③ナデ	①ナデ	①口唇と胴部で原形を変え、羽状構成の細文 ②L (R2) 細文 頭部無文帯		
	26	U28c	貼土	7		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①②やや外反	①②③ナデ	①ナデ	①折返し部に細文 橋状突起は欠損 ②L (R2) 細文 頭部無文帯		
	27	S31b		7		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 ②緩い波状	①②③ナデ	①ナデ	①口唇に沿って細文圧痕2条の沈線で弧状文様が巡る ②L (R2) 細文		
	28	U29b		4		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 ②緩い波状	①②③ナデ	①ナデ	①口唇・頭部に沿ってL (R2) 細線で横位区画 区画内を2条1単位の沈線で弧状文様が巡る ②L (R2) 細文		
	29	U29d		6		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①角形 ②波状	①②③ナデ	①ナデ	①沈線で方形区画文様を描く ②半截竹管状工具でワラビ状の文様を描く ③L (R2) 細文		
	30	S37a		8	Ⅳa-2B	1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①角形 ②緩い波状	①②③ナデ	①ナデ	①2条1単位の帯状の沈線で文様を描き、内部は描糸文で充填 ②L (R2) 細文		
	31	U37c		7		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①角形 折返し ②緩い波状	①②③ナデ	①ナデ	①沈線で区画文 捺り消し細文を施す ②L (R2) 細文		
	32	W37d		9		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①角形 ②波状	①ナデ ②細文 ③ナデ	①ナデ (一部ミガキ状)	①2条1単位の沈線で文様 ②捺り消し細文 頭部無文帯		
	33	X27a		37		2		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①一部角形 折返し ②波状	①ナデ ②細文 ③ナデ	①ミガキ状ナデ	①波頂部直下に8字状の粘土紐貼付 沈線で方形区画文様 ②捺り消し細文 頭部無文帯		
	34	T39a		12		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 ②波状	①②③ナデ	①ナデ	①波頂部直下に隆起で円形区画 ②2条1単位の沈線で方形区画文 ③L (R2) 細文		
	35	X36a		20 24	Ⅳa-3	1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 ②波状	①②③ナデ	①ナデ (一部ミガキ状)	①沈線で円形・楕円形の区画文 ②地文無文		
	36	Y36d		6		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①角形 折返し ②波状	①②③ナデ	①ナデ	②2条1単位の沈線で文様を描く 地文無文		
Ⅶ-192	37	T24c T29b T29c	貼土 Ⅲ	3 7 17	Ⅳa-3	1 1 1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①②ー ③屈曲して外方に立ち上がる ④あげ底	①②③ー	①②ー	①2条1単位の沈線で文様を描く 地文無文		
	38	V37b		35		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①組み飾り状把手部 ②緩い波状	①②ナデ ③沈線が巡る ④③ナデ	①ナデ	①口唇に沿って短沈線と両端が2個1対の粘土瘤 ②2条の沈線の直下にA状突起を持つ区画帯が横置 ③地文無文		
	39	U36d		7		1		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①組み飾り状把手部 ②緩い波状	①②ナデ ③沈線が巡る ④③ナデ	①ナデ	①2個1対の突起を施す 下位を3条の沈線 ②地文L (R2) 細文		
	40	U36a	貼土	15	Vc	2		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 ②緩い波状 ③浅鉢状土器	①ナデ ②細文 ③3条の沈線が巡る ナデ	①②ミガキ状	①2個1対の粘土瘤を施す ②太沈線で区画 文様を充填しR (L2) 細文		
	41	U36a		15		2		形状①口唇②口縁③胴部④底部	①丸形 ②緩い波状 ③浅鉢状土器	①②ナデ ③沈線が巡る	①②ナデ			

表Ⅶ-3 掲載石器一覧表（貼土・整地）

図番号	番号	調査区	層位	遺物 番号	遺物名	分類	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
Ⅶ-193	1	V36b	貼土	26	石鏃	I A4	頁岩	3.4	1.6	0.7	3.5	未成品?
	2	W27c	貼土	13	石鏃	I A4	頁岩	3.1	1.9	0.5	2.7	
	3	R30b	貼土	10	石鏃	I A5	頁岩	2.5	1.2	0.3	0.7	アスファルト
	4	U30b	貼土	18	石鏃	I A5	頁岩	(2.3)	1.5	0.4	(0.85)	アスファルト
	5	U29d	貼土	3	石鏃	I A5	頁岩	(3.6)	1.5	0.6	(1.35)	
	6	S30d	貼土	4	石鏃	I A5	頁岩	3.1	1.3	0.3	0.9	
	7	T29c	貼土	2	石鏃	I A5	頁岩	(2.9)	1.2	(0.4)	(1.07)	
	8	Y36d	貼土	13	石鏃	I A5	頁岩	(3.2)	1.1	0.5	(1.4)	アスファルト
	9	X35a	貼土	20	石鏃	I A5	頁岩	(3.0)	1.2	0.7	(1.6)	アスファルト
	10	V28d	貼土	1	石鏃	I A5	頁岩	(3.8)	1.2	0.4	(1.37)	アスファルト
	11	S37b	貼土	3	石鏃	I A5	頁岩	3.9	1.3	0.3	1.4	
	12	R32d	貼土	46	石鏃	I A5	頁岩	3.1	1.3	0.4	1.5	アスファルト
	13	R30a	貼土	9	石鏃	I A5	頁岩	(3.6)	1.4	0.6	(2.3)	アスファルト
	14	T30c	貼土	20	石鏃	I A5	頁岩	4.0	1.7	0.5	1.9	アスファルト
	15	T36b	整地	1	石鏃	I A5	頁岩	4.1	1.3	0.5	1.8	
	16	T35c	整地	1	石鏃	I A5	頁岩	3.0	1.3	0.6	1.7	アスファルト
	17	X34b	整地	17	石鏃	I A5	頁岩	3.8	1.6	0.7	2.9	アスファルト
	18	T31d	貼土	13	石錐	II A1	頁岩	5.5	3.4	1.9	22.7	
	19	U37c	貼土	18	篋状石器	III B1	頁岩	6.5	2.9	1.9	32.2	
	20	T30d	貼土	33	篋状石器	III B1	頁岩	5.5	3.4	1.8	27.5	
	21	U37b	貼土	19	篋状石器	III B1	頁岩	7.3	3.6	2.3	51.7	
Ⅶ-194	22	S30c	貼土	12	スクレイパー	III B2a	頁岩	7.0	2.8	1.0	12.1	
	23	W27b	貼土	14	スクレイパー	III B2a	頁岩	8.5	3.7	1.5	35.0	
	24	Y30d	貼土	10	スクレイパー	III B2a	頁岩	9.0	3.9	1.7	51.9	
	25	R30c	貼土	18	スクレイパー	III B2a	頁岩	6.3	4.7	1.5	41.8	
	26	R30b	貼土	35	スクレイパー	III B2a	頁岩	7.6	5.3	2.2	80.1	
	27	W29b	貼土	10	スクレイパー	III B2b	頁岩	7.2	3.7	0.9	19.3	
	28	W29a	貼土	9	スクレイパー	III B2b	頁岩	7.7	3.5	1.0	20.3	
	29	U29d	貼土	20	スクレイパー	III B2b	頁岩	9.5	5.0	2.0	63.3	
	30	S36a	貼土	16	スクレイパー	III B5	頁岩	6.1	4.1	1.7	32.2	
Ⅶ-195	31	S32a	貼土	21	両面調整石器	IV A2	頁岩	4.2	1.8	1.0	7.1	
	32	U29a	貼土	22	両面調整石器	IV A2	頁岩	4.0	2.6	1.1	10.8	
	33	W37d	貼土	18	両面調整石器	IV A2	頁岩	5.9	1.7	1.1	12.6	
	34	T30d	貼土	40	両面調整石器	IV A2	頁岩	7.3	2.2	1.2	17.5	
	35	V37b	貼土	23	両面調整石器	IV A2	頁岩	6.6	2.1	1.2	16.5	
	36	U30a	貼土	24	両面調整石器	IV A2	頁岩	7.2	2.5	1.7	29.4	
	37	R29c	貼土	26	両面調整石器	IV A2	頁岩	8.0	5.1	1.5	57.9	
	38	X28b	貼土	2	石斧	VA3	緑色泥岩	8.5	4.6	3.3	229.5	擦り切り痕
	39	U28c	貼土上位	1	石斧	VA4	緑色泥岩	8.0	3.3	1.4	72.2	
	40	R30c	貼土	7	石斧	VA4	?	9.5	3.2	1.7	89.6	

表Ⅶ-4 掲載土製品・赤彩土器一覧表（貼土）

図番号	番号	調査区	層位	遺物 番号	分類	点数	備考
Ⅶ-196	1	X 27 d	貼土	19	土製品	1	耳栓状
	2	V 35 c		10		1	鐸状
	3	W 37 c		2		1	ミニチュア
	4	S 37 b		3		1	棗玉状
	5	S 29 d		11		1	棒状
	6	S 30 d		14	Ⅳa-3	5	(赤彩)
				15		1	

表Ⅶ-5 中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表 (H)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		床面の(m)		確認面からの深さ(m)	方位	平面の形状	石囲炉	所属時期
				長径	短径	長径	短径					
Ⅶ-3・4	H-33	Q・R38・39	盛土下層	(4.54)	(4.54)	(4.38)	(4.40)	0.34	N-49°-W	隅丸方形	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-5・6	H-36	S・T44	Ⅳ層上面	5.32	3.76	5.10	3.36	0.23	N-81°-W	楕円形	○	Ⅳa-2B
Ⅶ-7	H-37	Q・R39・40	Ⅳ層上面	4.06	3.46	3.86	3.25	0.27	N-42°-E	不整円形	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-8・9	H-38	A1-42・43	Ⅳ層上面	4.00	(2.94)	3.76	(2.94)	0.22	N-10°-E	不整円形		Ⅳa-2A
Ⅶ-10・11	H-39	Y・Z43・44	Ⅳ層上面	4.35	4.41	4.12	3.82	0.18	N-65°-E	円形	○	Ⅳa-2B
Ⅶ-12・13	H-47	U・V30・31	盛土下層	3.62	3.29	3.50	3.13	0.28	N-61°-W	不整円形		Ⅳa-2A
Ⅶ-14	H-53	R・S29	Ⅳ層上面	3.09	3.01	2.92	2.84	0.17	N-28°-W	不整円形		Ⅲb-1

表Ⅶ-6 中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表 (TP)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		床面の(m)		確認面からの深さ(m)	方位	所属時期
				長径	短径	長径	短径			
Ⅶ-51	TP-8	U31	V層	2.31	0.61	2.10	0.28	1.32	N-37°-W	Ⅳb～
	TP-9	U33	V層	3.08	0.31	2.91	0.17	0.66	N-13°-E	Ⅳb～

表Ⅶ-7 中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表 (Fs)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期
				長径	短径		
Ⅶ-53	Fs-11	Q・R30	貼土中	1.50	0.81	0.11	Ⅳa
	Fs-12	R30		0.68	0.62	0.13	
	Fs-13	Q・R32・33		0.88	0.66	0.14	
Ⅶ-54	Fs-15	S27	貼土中	0.74	0.50	0.10	Ⅳa
	Fs-16	T37		1.10	0.65	0.10	
	Fs-17	T38		0.60	0.57	0.09	
Ⅶ-55	Fs-22	T30	貼土中	0.52	0.42	0.12	Ⅳa
	Fs-23	T30		1.00	0.34	0.08	
	Fs-36	W44・45		1.90	1.19	0.11	
Ⅶ-56	Fs-37	X43	貼土中	0.62	0.47	0.07	Ⅳa
	Fs-38	R・S31		1.10	0.75	0.20	

表VII-8 中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表(P)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		床面の(m)		確認面からの深さ(m)	フラスコ状ピット	所属時期
				長径	短径	長径	短径			
Ⅶ-16	P-51	T30	Ⅴ層	0.69	0.64	0.59	0.52	0.09		Ⅳa-2A
	P-52	T・U31		0.87	0.74	0.73	0.60	0.28		
	P-53	S31		0.88	0.76	0.75	0.69	0.12		
	P-54	R31		1.70	1.65	1.88	1.63	0.86	○	Ⅳa-2B
Ⅶ-17	P-56	U・V31	Ⅴ層	1.31	(1.35)	1.44	(1.10)	1.38	○	Ⅳa-3
	P-57	V32		1.10	1.04	1.53	1.43	(0.52)	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-18	P-58	V33	Ⅴ層	1.40	1.20	2.24	2.00	1.18	○	Ⅳa-2B
	P-59	R36		1.20	1.00	1.24	1.06	0.79	○	Ⅳa-3
Ⅶ-19	P-61	W31	貼土下位	0.63	0.61	2.04	2.02	0.97		Ⅳa-2A
	P-62	W30・31	Ⅴ層	1.19	1.00	2.00	(1.87)	1.28	○	Ⅳa-2B
Ⅶ-20	P-63	V・W31	Ⅴ層	2.04	1.78	2.45	2.00	1.35	○	Ⅳa-3
	P-64	X31		1.59	1.43	1.65	1.52	1.30	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-21	P-65	V・W31・32	Ⅴ層	0.82	0.79	1.83	1.86	1.29	○	Ⅳa-3
	P-66	X29		0.86	0.79	1.24	1.05	0.64	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-22	P-67	X31	貼土上面	0.73	0.66	1.92	2.00	1.04	○	Ⅳa-3
	P-68	W・X30	Ⅴ層	1.12	1.05	1.70	1.69	1.26	○	
Ⅶ-23	P-69	Y31	Ⅴ層	(1.72)	1.57	(1.76)	2.04	0.90	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-24	P-70	X・Y30	Ⅴ層	1.80	1.74	2.15	2.14	1.42	○	Ⅳa-2B
Ⅶ-25	P-71	W30	Ⅴ層	0.88	0.74	1.57	1.45	0.84	○	Ⅳa-2A
	P-72	X30・31		—	—	(1.24)	1.80	(1.10)	○	
Ⅶ-26	P-73	V31	Ⅴ層	0.98	(0.96)	0.78	(0.78)	0.46		Ⅳa-2A
	P-74	Y33		1.20	1.10	1.94	1.76	1.08	○	
Ⅶ-27	P-75	T31	Ⅴ層	1.50	(1.30)	1.95	(1.48)	1.02	○	Ⅳa-3
Ⅶ-28	P-76	T31・32	貼土上面	1.92	1.76	2.60	2.67	1.12	○	Ⅳa-3
Ⅶ-29	P-86	Y30・31	Ⅴ層	1.40	(0.68)	0.62	(0.25)	0.53		Ⅳa
	P-87			0.84	(0.36)	1.28	(0.73)	(0.46)	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-30	P-88	R38	Ⅴ層	1.26	0.77	1.16	0.65	0.28		Ⅳa-2A
	P-89	U35		1.77	1.36	2.10	1.99	0.76	○	
Ⅶ-31	P-90	V31	Ⅴ層	0.78	0.67	2.53	2.39	1.08	○	Ⅳa-3
Ⅶ-32	P-91	X33	Ⅴ層	1.35	1.26	1.96	2.06	0.93	○	Ⅳa-3
	P-92	X31・32	貼土上面	1.57	1.40	2.23	2.36	(1.30)	○	
Ⅶ-33	P-95	W34	Ⅴ層	1.50	1.41	1.92	1.82	1.62	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-34	P-96	V34	Ⅴ層	1.10	1.09	1.49	1.50	0.76	○	Ⅳa-3
Ⅶ-35	P-100	W34	Ⅴ層	1.31	1.23	1.47	1.38	0.54	○	Ⅳa-3
	P-112	V34	貼土上面	0.89	(0.59)	1.43	(0.98)	0.70	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-36	P-113	R37	Ⅴ層	1.57	1.44	1.80	1.68	0.96	○	Ⅳa-3
	P-114	R39		0.69	0.65	0.76	0.74	0.25	○	Ⅳa-2A
	P-115	V35		0.79	0.79	1.14	1.03	0.77	○	Ⅳa-3
Ⅶ-37	P-123	U35	Ⅴ層	0.85	0.77	0.94	0.70	0.60		Ⅳa-2A
	P-125	R38		1.19	0.98	1.03	0.72	1.19		
	P-162	U43		1.16	1.12	0.58	0.72	0.26		
Ⅶ-38	P-181	S・T42	Ⅴ層	1.90	1.82	2.03	1.98	1.08	○	Ⅳa-2B
	P-182	S・T31		1.07	0.50	0.99	0.48	0.12		Ⅳa
	P-183	U30・31		0.82	0.73	0.62	0.64	0.41		Ⅳa-2A
Ⅶ-39	P-184	T30	Ⅴ層	1.63	1.36	1.82	1.85	0.84	○	Ⅳa-3
Ⅶ-40	P-186	R・S32	Ⅴ層	1.62	1.67	2.40	2.18	1.17	○	Ⅳa-3
Ⅶ-41	P-187	V30	Ⅴ層	1.12	1.03	1.48	1.26	1.02	○	Ⅳa-3
Ⅶ-42	P-188	V30	Ⅴ層	0.72	0.56	0.81	0.68	0.54	○	Ⅳa-2A
	P-189	X・Y29・30		1.06	0.91	2.35	2.55	1.33	○	
Ⅶ-43	P-190	S30	Ⅴ層	0.71	0.59	0.76	0.65	0.33	○	Ⅳa-2A
	P-194	S31		1.58	1.58	2.24	2.18	1.50	○	
Ⅶ-44	P-195	Y33・34	Ⅴ層	1.70	(0.94)	1.50	(1.06)	(0.76)	○	Ⅳa-2A
	P-200	T30		0.88	0.63	0.82	0.68	0.33		
	P-201			0.70	0.68	0.54	0.56	0.25		
	P-202			0.74	0.74	0.56	0.44	0.40		

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		床面の(m)		確認面からの深さ(m)	フラスコ状ピット	所属時期
				長径	短径	長径	短径			
Ⅶ-45	P-203	T30	貼土中	0.45	0.41	0.36	0.33	0.35		Ⅳa-2A
	P-204			0.83	0.79	0.78	0.74	0.46		
	P-211	R・S30	V層	1.65	1.66	1.70	1.74	0.68	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-46	P-212	S30	V層	1.90	1.54	1.90	1.92	1.00	○	Ⅳa-2A
	P-213	T30		0.45	(0.36)	0.23	0.21	0.38		
	P-214	U30		1.23	0.94	0.98	0.74	0.28		
Ⅶ-47	P-216	R30	V層	1.34	1.15	1.55	1.37	0.86	○	Ⅳa-3
Ⅶ-48	P-217	T36	V層	1.40	0.87	2.22	1.87	0.80	○	Ⅳa-3
Ⅶ-49	P-219	W29・30	V層	1.31	0.70	1.23	0.60	0.11		Ⅳa-2A
	P-220	W29		0.76	0.52	0.66	0.44	0.17		
	P-235	R36		0.80	0.67	0.66	0.62	0.32		Ⅳa

表Ⅶ-9 中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表 (F)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期
				長径	短径		
Ⅶ-58	F-64	R37	貼土	0.62	0.40	0.08	Ⅳa
	F-65			0.95	0.83	0.10	
	F-66	R36		0.55	0.35	0.10	
	F-67	R30		0.66	0.46	0.16	
Ⅶ-59	F-68	R30	貼土	1.00	0.68	0.07	Ⅳa
	F-69	R29		0.54	0.35	0.05	
	F-70			0.63	0.47	0.06	
	F-71	R28		0.62	0.46	0.04	
Ⅶ-60	F-72	R27	貼土	0.85	0.66	0.13	Ⅳa
	F-82	X27		0.84	0.78	0.12	
	F-95	T39		0.45	0.28	0.09	
	F-96	S38		0.31	0.31	0.06	
	F-97			0.25	0.23	0.06	
	F-98			0.48	0.36	0.08	
Ⅶ-61	F-99	S38	貼土	0.90	0.48	0.10	Ⅳa
	F-100	T38		0.44	0.41	0.03	
	F-155	Z46		0.74	0.34	0.06	
	F-156	V43	Ⅳ層上面	0.55	0.53	0.10	
	F-158	V45		1.03	0.83	0.08	
Ⅶ-62	F-159	X42	Ⅳ層上面	0.65	0.57	0.22	Ⅳa
	F-160	X42		1.21	0.94	0.08	
	F-161	Z41		0.82	0.48	0.10	
	F-182	S43		0.88	0.54	0.13	
	F-199	T31	盛土	0.42	0.20	0.17	
Ⅶ-63	F-250	R30	貼土	0.86	0.79	0.07	Ⅳa
	F-260	R30	Ⅲ層	0.40	0.40	0.05	
	F-280	R31	貼土	(0.80)	0.55	0.11	
	F-281	T38		0.80	0.30	0.12	

表Ⅶ-10 中央広場・配石遺構周辺、南側調査区の遺構規模一覧表 (Po)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期
				長径	短径		
Ⅶ-84	Po-3	R38	貼土	0.43	0.40	0.33	Ⅳa
	Po-4	S39		0.23	0.23	0.22	
	Po-5	S35	V層	0.42	0.38	0.46	
	Po-8	S31・32	貼土	0.49	0.42	0.32	

表Ⅶ-11 出土遺物点数一覧表(粘土)

		土器										剥片石器群												
調査区	層位	I c	Ⅲa-2	Ⅲa-3	Ⅲb-1	Ⅲb-2	Ⅲb-3	Ⅳa-2A	Ⅳa-2B	Ⅳa-3	V	計	石鏃	石錐	つまみ付ナイフ	両面調整石器	スクレイパー	Uフレイク	Rフレイク	フレイク	石核	計		
N36	粘土							45				45					1				3		4	
R28	粘土											0									1		1	
R29	粘土	1			2	18	6		178	4	7	216				1	2	2	3		17		25	
R30	粘土	1	1					2,519	43	153	1	2,718	2				3	5	10	142	1		163	
R31	粘土	1			1	2	2	894	4	23		927	1					1	2	27		32		
R32	粘土				2			644	14	9		669	1					1	2	24		28		
R33	粘土							26		2		28								1	5	6		
R34	粘土							4				4								1	1	2		
R35	粘土							11		1	5	17								1	5	6		
R36	粘土							6				6												
R37	粘土							13	2			15										1	1	
R38	粘土							6	23		5	34									1		1	
S29	粘土			3	2			445	26	26	1	503					1	5	2	28			36	
S30	粘土	5	4				3	2,078	28	135	1	2,254	4				2	8	12	134	2		162	
S31	粘土			1				1,082	25	80		1,188						7	4	77	3		91	
S32	粘土	2			2			236	4	18		262				1			4	23			28	
S33	粘土											0												
S34	粘土											0												
S35	粘土											0												
S36	粘土				1		3	460	3	15	5	487					1			1	34		36	
S37	粘土			1	1			919	91	42		1,054	1					1	7	55			64	
S38	粘土						1	436	62	35	9	543						1	2	33			36	
S39	粘土					1		510	29	20	9	569						3	3	36	2		44	
S40	粘土							16				16												
T27	粘土											0									5		5	
T28	粘土					1		100		2		103						1			1	1	3	
T29	粘土	2	5	32	1	12		1,297	30	94	1	1,474	1				1	2	11	14	115		144	
T30	粘土		2	12	8	5		628	17	81	2	755	2				1	2	3	7	53	1	69	
T31	粘土		2	4				146	2	13		167		1						1	5		7	
T32	粘土											0										1	1	
T33	粘土											0												
T34	粘土							1		1		2								1	1		2	
T35	粘土											0												
T36	粘土							577	9	23	6	615					1	3	2	32			38	
T37	粘土			1				809	22	55	2	891						2	3	55			60	
T38	粘土					1		511	22	30	2	566					1	1	4	25			31	
T39	粘土	2	1	3				3,283	86	152	3	3,530	1					1	12	12	121		147	
T40	粘土			1				71	6	2		80									2		2	
U27	粘土						2					2												
U28	粘土			1	13	5		572	6	28	2	627	1						3	2	33	1	40	
U29	粘土			3	7	8		976	29	67		1,090	1				1	4	3	4	77	2	92	
U30	粘土			1	2		3	736	29	26		797	1				2	1	3	3	52		62	
U31	粘土							59		4		63							1		18	1	20	
U32	粘土											0												
U33	粘土											0												
U34	粘土							5		2		7												
U35	粘土							1				1								1	2		3	
U36	粘土	1			1			685	14	32	29	762						1	2	2	43		46	
U37	粘土				2	1		1,290	24	76	1	1,394					2		3	2	78	1	86	
U38	粘土	8			1			615	9	45	83	761	1							2	23		26	
U39	粘土				1			290	6	17	1	315							3	5	9		17	
V27	粘土			45	8		2	824	18	34	1	932							6	4	40	3	53	
V28	粘土			17	27	3	1	1,388	39	61	4	1,540	2						5	7	61	2	77	
V29	粘土					1		66	1	2		70								1	3		4	
V30	粘土					1		364	2	24		391							1	1	20		22	
V31	粘土							81	4	9	4	98								1	5		6	
V35	粘土							138	3	6		147									13		13	
V36	粘土			2				1,677	21	73	19	1,792	2				1		6	7	91	5	112	
V37	粘土	1			2			1,208	28	96	7	1,342	1				1	1	2	5	82	1	93	
V38	粘土							67	3	1		71									4		4	
V39	粘土							62		5		67									1		1	
W26	粘土							80		7		87									2		2	
W27	粘土			21	11	5	1	1,723	137	90	1	1,989	1					2	8	8	78	3	100	
W28	粘土			14	4	2	2	876	169	60	4	1,131	1					1	2	3	44		51	
W29	粘土			6	3	5		343	6	15	2	380	1					2		1	15		19	
W30	粘土							55		8		63							1	1	1		3	
W31	粘土							4				4												
W34	粘土							19				19								1			1	
W35	粘土				1	1		451	13	15		481							2	4	34		40	
W36	粘土			1				1,249	23	51	1	1,325		2					5	7	74	2	90	
W37	粘土					1		1,775	57	120	6	1,960					1		4	11	121	1	138	
W38	粘土							60				60									4		4	
X26	粘土				1			673	6	22		702									3	19	1	23
X27	粘土	2		3				2,405	60	99	16	2,586							2	9	78	2	91	
X28	粘土	1			4	2	4	1	904	23	82	1	1,022						3	8	74	1	86	
X29	粘土				2			3	403	6	8	424							1	3	26		30	
X30	粘土								29	5	9	43							1		1		2	
X32	粘土							6		1		7												
X33	粘土										1	1												
X34	粘土							60	1	1		62								2	7		9	
X35	粘土					1		6																

		磨製石器群		礫石器群								石製品				土製品				その他		総計	
調査区	層位	石斧	計	敲石	擦石	砥石	石皿・台石	R礫	礫	原石	砂利	計	青竜刀	石製品	有孔石	計	円盤状	三角形状	土製品	計	炭化物		計
N36	粘土																						49
R28	粘土																						1
R29	粘土								3			3					1	1	2	4			248
R30	粘土	1	1						19	5		24		9		9	1	3	6	10			2,925
R31	粘土						4	1	26	3		34		7		7		2	8	10			1,011
R32	粘土						1	2	27	3		33		4		4		2	11	13	1	1	747
R33	粘土				1		1		5	1		8							1	1			43
R34	粘土								7	1		8											14
R35	粘土								4			4											27
R36	粘土									1		1											7
R37	粘土								2			2											19
R38	粘土						1	1				2						1		1			37
S29	粘土								3	1		4		1		1		3	3	6			550
S30	粘土	2	2				4	1	25	3		33		3		3	3	6	10	19			2,473
S31	粘土			1	1			4	84	1		91		7		7	1	3	8	12	1	1	1,390
S32	粘土				1			3	29	2		35		2		2			2	2			329
S33	粘土								3			3											3
S34	粘土						1		1	1		3											3
S35	粘土							1	4			5											5
S36	粘土								18			18						1	1	2			543
S37	粘土						3	1	27	6		37		2		2	2	1	2	5			1,162
S38	粘土						1		12	2		15		3		3	2	2	2	6			603
S39	粘土	1	1		1	1		2	23	2		29		1		1		2	7	9			653
S40	粘土								1			1											17
T27	粘土																						5
T28	粘土									1		1											107
T29	粘土						1	1	16	4		22		2	1	3	1	5	7	13			1,656
T30	粘土			1					232	2	3	238		2		2		6	3	9			1,073
T31	粘土								1			1											175
T32	粘土						2		7	1		10											11
T33	粘土								1			1											1
T34	粘土						1					1											3
T35	粘土								1	1		2											4
T36	粘土			1			1	2	25	2		31					1		4	5			689
T37	粘土	1	1		1		13	3	14	1		33		2		2	1	1	19	21			1,008
T38	粘土			1					5	2		8					1	2	3	6			611
T39	粘土			1	1				55	5		62		6		6	11	10	10	31			3,776
T40	粘土																	1					83
U27	粘土																						2
U28	粘土	1	1						4	2		6		1		1		1	8	9			684
U29	粘土								4	1		5		1		1		1	5	6			1,194
U30	粘土						2		22	1		25		4		4	1	1	7	9			897
U31	粘土						2	1	12	1		16		1		1							100
U32	粘土								5			5											5
U33	粘土								3			3											3
U34	粘土																						9
U35	粘土								2	2		4								2			8
U36	粘土	3	3	2				2	21			25		4		4	3			3			843
U37	粘土	1	1				4	1	15	3		23	1			1	1	2	6	9			1,514
U38	粘土							1	10	4		15		3		3	1		1	2			807
U39	粘土						1		2			3											335
V27	粘土	2	2		1				7	1		9		1		1			6	6			1,003
V28	粘土					1	1		9	2		13		3		3	9		9	18			1,651
V29	粘土				1							1											75
V30	粘土			1			1		7			9											422
V31	粘土								3			3											107
V35	粘土								11			11		2		2			5	5			178
V36	粘土						1	3	131	3		138		4	1	5	4	4	34	42			2,089
V37	粘土	1	1		1		3	2	9	5		20		3		3	1	10	6	17			1,476
V38	粘土																						75
V39	粘土																						68
W26	粘土																						89
W27	粘土			4			1	4	9			18		5		5	4	2	15	21			2,133
W28	粘土							1	11	1		13		2		2	5		3	8			1,205
W29	粘土						1		3			4											408
W30	粘土			2					17	1		20					1		4	5			87
W31	粘土				1				1			2								1			7
W34	粘土							1	2			3						1		1			24
W35	粘土			1			3		27	2		33		4		4		3	12	15			573
W36	粘土	1	1						9	1		10		2		2	4	2	24	30			1,458
W37	粘土			1		1	4	5	33	6		50	1	4		5	4	9	11	24			2,177
W38	粘土								1			1											65
X26	粘土				1				3	1		5		1		1	1	2	2	5			736
X27	粘土			1			1		14	1		17		3	1	4	5	9	17	31			2,729
X28	粘土	2	2	1					6	2		9		5		5	3	4	6	13			1,137
X29	粘土								8	1		9					5	1	3	9			472
X30	粘土						1		14			15							2	2			62
X32	粘土																						7
X33	粘土																						1
X34	粘土							1	2			3											74
X35	粘土	1	1	1				1	19	1		22		1		1			6	6			737
X36	粘土							1	17	4		22		5		5	4	5	10	19			2,724
X37	粘土						1		2			3		1		1	1		1	2			294
Y27	粘土						1		2			3		1		1	1	3	5	9			1,024
Y28	粘土																						

表VII-12 出土遺物点数一覧表(整地)

調査区 調査点		土器										剥片石器群					磨製石器群					石製品				土製品			総計							
		I e	Ⅲa-2	Ⅲa-3	Ⅲb-1	Ⅳa-2A	Ⅳa-2B	Ⅳa-3	V	計	石核	スクレイパー	Uフレイク	Rフレイク	石核	計	石斧	磨石	砥石	磨石・石皿・骨石	R破	原石	計	石製品	有孔石	計	円盤状	三角形状								
R33	整地					127	7	9		143			3	14	2	19			1	3	36		40						202							
R34	整地				1	29	1	8		39				5		5						9	1	10					54							
R35	整地					20			13	33				7		7			3		8		11						51							
R36	整地					3				3																		3								
S24	整地													1		1												1								
S31	整地			2		108	1	2		113				7		7			1		11	1	13	1	1				134							
S32	整地					96		3	1	100			1	4		5			4		16	1	21						126							
S33	整地					20		2	1	23			1	2	3						1	14	2	17	1	1			44							
S34	整地					11		2		13									3		2	5	1	11					24							
S35	整地					23		5	8	36			2	4	6	1	1				2	24	3	29					72							
S36	整地	1				35	2	3	6	47				8	8				5	1	20	2	28						83							
T30	整地					26		2	3	31				2	2				1		4		5						39							
T31	整地					21		1		22				1	1						7		7						30							
T32	整地					62	1	6		69			1	6		7			4		6	4	16						92							
T33	整地					31		3		34											8		8						42							
T34	整地					13				13			1	4	1	6			3	2	15	21							40							
T35	整地					40		1	3	50	1			1	1	2					19	2	21	1	1				74							
T36	整地					65	3	4	1	73	1		1	5	1	9					13	13	1	1					96							
U30	整地					12		1		13				4	4					1		2	3						20							
U31	整地					17				17				1	1					5		8	1	14					32							
U32	整地					44	3	3	1	51			2	3	5						11	1	12		1				70							
U33	整地					28				28				1	1						12	1	13						42							
U34	整地					9		2	7	18				2	3				2			6	1	9					30							
U35	整地					81		4	7	92			1	1	10	12					2	3	3	34					138							
U36	整地					43		2	12	57			1	2	3				2	1	2	3	3	34					69							
V31	整地					72		7		79			1	6	8						1	2	3	1	1				91							
V32	整地					20		2		22				3	3						1	3	4						29							
V33	整地					18		1		19											8	1	9						28							
V34	整地					15		5	1	22			1	1	2														24							
V35	整地	1				77		1	42	4	125		4	1	5				1		24		25						155							
V36	整地					2				2				2															4							
W30	整地					3				3				1	1														4							
W31	整地					57		8		66			1	4	5														4							
W32	整地					19		2		21										10	1	7	18	1	1	1			94							
W33	整地					7		2		9				2	2					1		1	1			1			23							
W34	整地					32		1	3	36			1	1	2				1		1		2						13							
W35	整地					6		2		8				3	3						19	2	22			1			61							
X30	整地					11				11			1	3	4						2		3						11							
X31	整地					25		2		27			1	1	2						1	5	6			1	1		37							
X32	整地					19		3		22			1	1	2				2		8	10							34							
X33	整地					26		1	4	32			2	4	6						6	2	9						47							
X34	整地					14		1	4	19	1		1	1	2					1	16		17				1		39							
Y30	整地					2				2																1			3							
Y31	整地					2				2															1				3							
Y32	整地					4		2		6			1	1		1						1	1	1					8							
Y33	整地					15				15				3	3						2	1	3						21							
Y34	整地					16				16				2	1	4													21							
総計		1	1	3	1	1,426		34	167	49	1,682	4	2	4	23	136	5	174	1	1	8	1	1	53	13	387	35	498	8	1	9	3	2	7	12	2,376

表Ⅶ-13 CSS計測一覧表

区分	番号	遺物名	点数	調査区	遺物 番号	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (kg)	色調	石材	残存 状況	備考
CSS	39		1				65	26	25	66.8	青	砂岩		
CSS	40		2				54	30	21	39.2	青	砂岩		接合
CSS	44		1				50	37.5	25.5	48.6	—	安山岩?		
CSS	48		1				62	34	22	49.6	青	砂岩		
CSS	55		1				29	24	14	12.2	青	砂岩		
CSS	56		1				30	19	16	11.5	青	砂岩		
CSS	57		1				50.5	19	18	29.4	青	砂岩		
CSS	58		1				59	27.5	21	47.5	青	礫岩		
CSS	59		1				48	22	17	24.2	桃	安山岩		
CSS	60		1				47	24	19	27.9	黄	礫岩		
CSS	61		1				33	29	8.5	6.7	—	軟質凝灰岩		
CSS	62		1				23.5	18	6	3	青	砂岩	割れ	
CSS	63		1				37	16	12	11.3	青	砂岩		
CSS	64		1				49	28	20	34.2	青	砂岩		
CSS	65		1				20	15.5	9	3.8	緑	安山岩	割れ	
CSS	66		1				36.5	30	19	35.2	青	砂岩		
CSS	67		1				32	13	9.5	6.1	青	砂岩	割れ	
CSS	68		1				51	18	20	22.4	青	砂岩		
CSS	69		1				42	29	18	28.3	青	砂岩		
CSS	70		1				45	30	18	27.7	青	砂岩		
CSS	71		2				45	20	12	14.3	青	砂岩		接合
CSS	72		—				—	—	—	—	—	—		
CSS	73		1				43	28	20	24.5	青	砂岩		
CSS	74		1				45	29	20	29.9	白	?		
CSS	75		1				21.5	14	6.5	1.4	—	軟質凝灰岩		
CSS	76		—				—	—	—	—	—	—		
CSS	77		1				49	22	20	29.2	青	砂岩		
CSS	78		1				48	28	21	33.1	—	珪質岩		
CSS	79		1				47	21	18.5	23.8	青	砂岩		
CSS	80		1				43	17	17	16.7	緑	砂岩		
CSS	81		1				39	31	24	37.7	青	砂岩		
CSS	82		1				56	32	20	36.9	青	砂岩		
CSS	83		1				37	20	15	13	青	砂岩		
CSS	84		1				68	19	17	33.5	緑	砂岩		
CSS	85		1				41	25.5	17	17	青	砂岩		
CSS	86		1				36	22	17	22.4	青	珪質岩		
CSS	87		1				70	32	23	59.1	青	砂岩		
CSS	88		1				74	25	21	52.8	青	礫岩		
CSS	89		1				40	21.5	20	25.1	黄	砂岩		
CSS	90		1				39	25	21	30.5	緑	?		
CSS	91		1				44	24	17	30.5	青	珪質岩		
CSS	92		1				43	17.5	13	13.1	青	砂岩		
CSS	93		1				92	33	32	137.4	黄	安山岩		
CSS	94		1				40	25	15	21.4	青	砂岩		
CSS	95		1				41.5	22	17.5	19	青	砂岩		
CSS	96		1				34	22	20	19.1	黄	砂岩		
CSS	97		1				50	30	18	32.1	青	礫岩		
CSS	98		1				47	29	23.5	44	青	砂岩		
CSS	99		1				44	28	22	35.6	青	砂岩		
CSS	100		1				47.5	23	18.5	24.9	青	礫岩		
CSS	101		1				50	25	16	23.1	青	礫岩		
CSS	102		1				46	26	22.5	38.6	青	砂岩		
CSS	103		1				45	22	18.5	23.7	緑	安山岩		
CSS	104		1				50	24	20	30.1	白	砂岩		
CSS	105		1				37.5	20.5	19.5	16.5	青	砂岩		
CSS	106		1				63	39	33	84.2	青	砂岩		
CSS	107		2				24	13.5	7.5	3.4	青	砂岩	割れ	
CSS	108		1				63	33	25	83.9	緑	安山岩		
CSS	109		1				52	32	30	62.9	黄	砂岩		
CSS	110		1				33	19	13	8.2	緑	安山岩	割れ	
CSS	111		1				41	22	19	25.3	青	砂岩		
CSS	112		3				45	24	20	25.7	青	砂岩		廃棄?
CSS	113		1				36	22	23	23.3	青	砂岩		
CSS	114		3				47	31	20	38.6	白	砂岩	割れ	
CSS	115		1				46	25.5	20	32	青	砂岩		
CSS	116		1				44	30	23	24.7	白	珪質岩		
CSS	117		1				54	26	16	29.3	白	安山岩		
CSS	118		1				42	29	20	26.4	青	珪質岩		
CSS	119		2				34	24	15	14.8	青	砂岩	割れ	
CSS	120		1				47	25.5	17.5	26.1	緑	安山岩		
CSS	121		1				—	—	—	40.2	—	?		
CSS	122		1				57	39	27.5	58.7	黄	?		
CSS	123		1				16.5	9	6	2.1	桃	安山岩		
CSS	124		1				44	24	24	39.5	青	砂岩		
CSS	125		1				44	22	16	16.6	青	砂岩		
CSS	126		1				29	20	6.5	5.5	青	砂岩		
CSS	127		1				44	24	19	32	青	砂岩		
CSS	128		1				47	30	28	61.2	—	珪化木		
CSS	129		1				53	24.5	23	33.3	緑	珪質岩		
CSS	130		1				50.5	21	15	22.2	緑	安山岩		
CSS	131		1				47	29	32	60.2	青	砂岩		
CSS	132	石皿	1				24.5	13	10.5	3.6	緑	安山岩	割れ	
CSS	133		1				54	33	24	46.1	青	砂岩		
CSS	134		1				45	24.5	15	21.9	青	砂岩		
CSS	135		1				38	24	20	22.1	青	砂岩		
CSS	136		20				—	—	—	1.5	白	安山岩	割れ	
CSS	137		1				44	21.5	19	25.6	白	砂岩		

区分	番号	遺物名	点数	調査区	遺物 番号	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (kg)	色調	石材	残存 状況	備考
CSS	138		1				28	13	10	6.9	白	砂岩		
CSS	139		1				64	29	23	45.2	青	砂岩		
CSS	140		1				22	16	13	5.5	青	砂岩		
CSS	141		1				33	21	8.5	9.5	黄	砂岩		
CSS	142		1				51	19.5	19	23.4	黄	安山岩	割れ	
CSS	143		1				42	23	13	15.4	青	礫岩		
CSS	144		1				39	21	18	20.1	青	砂岩		
CSS	145		1				38	12	6	4.8	青	砂岩		
CSS	146		1				57	26.5	17	25.9	白	珪質岩		
CSS	147		1				42	17.5	15	14.1	青	礫岩		
CSS	148		1				37	18.5	14	13	青	砂岩		
CSS	149		1				24	10.5	9.5	3.2	灰	砂岩	割れ	
CSS	150		1				27	21	15	12.1	—	?		
CSS	151		1				52	31	18.5	38.4	—	安山岩?		
CSS	152		1				40.5	21	19.5	20	青	礫岩		
CSS	153		1				35	27	19	16.4	—	珪質岩		
CSS	154		1				35	15.5	8.5	6.3	白	砂岩		
CSS	155		1				45	20	20	27.9	青	砂岩	割れ	
CSS	156		1				41	20	18.5	23	青	砂岩		
CSS	158		1				43	28	18	31.9	青	砂岩		
CSS	159		1				49	26.5	22	40.5	青	砂岩		
CSS	160		1				40.5	23	19	21.4	桃	安山岩		
CSS	161		1				44	23	18.5	20.9	白	砂岩		
CSS	162		1				24	19	5	4.6	青	礫岩		
CSS	163	石棒片	1				11.3	10.8	27.5	5.4	白	安山岩	割れ	
CSS	164		1				49	20.5	14	23.1	青	珪質岩		
CSS	165		1				33	24.5	14	16	黄	?		
CSS	166		1				34	24.5	7	4.7	青	礫岩	割れ	
CSS	167		1				47	30	16.5	21.9	青	礫岩	割れ	
CSS	168		1				30.5	25	9	5.7	青	礫岩	割れ	
CSS	169		1				40.5	23	13.5	15.9	青	礫岩		
CSS	170		1				41	31	21	35.3	青	砂岩	割れ	
CSS	171		1				55	29	22	41.1	白	安山岩		
CSS	172		1				40	25.5	22	37	青	砂岩		
CSS	173		1				49	29	26	47.9	青	砂岩		
CSS	174		1				27	20	11	8.4	青	砂岩		
CSS	175		1				37	18	13	11.2	青	砂岩		
CSS	176		1				31	22	19	14.3	青	砂岩	割れ	
CSS	177		1				52	23	21	34.8	青	砂岩		
CSS	178		1				58	24.5	21	41.8	緑	珪質岩		
CSS	179		1				59	34	33	90.3	緑	砂岩		
CSS	180		1				64	28	19	47.5	青	砂岩		
CSS	181		1				35	22	18	18.2	黄	珪質岩		
CSS	182		1				42	16	19	15.7	青	砂岩		
CSS	183		1				53	37	16	51.1	白	砂岩		
CSS	184		6				57	34	29	47.7	緑	橄欖岩?		廃棄
CSS	185		1				46	27	20	25.1	青	砂岩		
CSS	186		1				45	28	20	38.2	青	砂岩		
CSS	187		1				45	25.5	15.5	28.5	白	礫岩		
CSS	188		1				56	29	21.5	40.9	青	砂岩		
CSS	189		1				47.5	27	18.5	29.1	青	砂岩		
CSS	190		1				42	19	18	22.8	青	砂岩		
CSS	191		1				45	25	21	29.7	灰	珪質岩		
CSS	192		2				36.5	18	16	12	青	砂岩		
CSS	193		1				38	24.5	21	26.4	青	砂岩		
CSS	194		1				44	22	19	21.6	青	砂岩	割れ	
CSS	195		1				49.5	22	16	21.1	青	砂岩	割れ	
CSS	206		1				18	10.5	11	2.1	白	砂岩	割れ	
CSS	207	石皿?	1				17	17	4.5	2	桃	安山岩	割れ	
CSS	208		1				25.5	18	7.5	4.8	黄	安山岩		
CSS	209		1				28.5	23	20	19.1	青	砂岩	割れ	
CSS	210		1				54	23	16.5	29.6	黄	礫岩		
CSS	211		1				53	33	23	45.1	灰	珪質岩		
CSS	212		1				46.5	33	16.5	33.3	—	凝灰岩		
CSS	214		1				19	17	10.5	5.6	緑	安山岩	割れ	被熱
CSS	215		1				27	20	13	8.4	青	砂岩		
CSS	216		1				38	15	13	10.9	青	砂岩		
CSS	217		1				36	16.5	14	8.2	青	砂岩		
CSS	218		1				35	29	14	16.1	青	砂岩		
CSS	219		1			貼土	16	13	7	1.5	青	砂岩		
CSS	220		1	S 32a		貼土	15	11	7.5	1.6	黄	砂岩		
CSS	221		1	S 32a		貼土	30	15	7	3.9	青	砂岩	割れ	
CSS	226		1				19.5	12	4	1.1	青	砂岩	割れ	
CSS	227		1				23.5	15.5	4	1.7	青	砂岩		被熱
CSS	228		1				29	7	8	2.7	青	砂岩		
CSS	229		1				47	20.5	20	29.1	青	砂岩		
CSS	230		—				—	—	—	—	—	—		
CSS	231		1				18	12	9	2.5	緑	安山岩	割れ	
CSS	232		1				27.5	17	7.5	3.9	青	砂岩	割れ	
CSS	233		—				—	—	—	—	—	—		
CSS	234		1				48	21	17.5	23.7	青	礫岩		
CSS	235		1				23.5	10	5	1.9	青	砂岩		
CSS	236		1				21	13	4	1.9	白	砂岩		
CSS	237		1				37.5	19.5	13	11.3	青	礫岩		
CSS	238		1				43	18.5	16.5	17.1	桃	安山岩	割れ	
CSS	239		1				21	15	14	6.1	黄	砂岩		
CSS	240		1				23.5	16.5	9	5.1	白	砂岩		
CSS	241		1				43	19	11.5	14.6	青	礫岩		
CSS	242		1				25.5	17	10.5	6.5	青	砂岩		

区分	番号	遺物名	点数	調査区	遺物 番号	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (kg)	色調	石材	残存 状況	備考
CSS	243		1				46	22	14	17.5	青	砂岩		
CSS	244		—				—	—	—	—	—	—		
CSS	245B		1				15	11	8	1.7	暗灰	安山岩		
CSS	246		1				33	16	17	9.5	青	砂岩	割れ	
CSS	247		—				—	—	—	—	—	—		
CSS	248		1				49	21	17	24	青	砂岩	割れ	
CSS	249		1				19	12	7	2.1	青	砂岩		
CSS	251		2				41	31	27	37.4	緑	安山岩	割れ	
CSS	252		1				26	15.5	12	3.6	青	砂岩	割れ	
CSS	253	台石	1		1		25.5	18	2.9	1.7	黄	砂岩	割れ	接合
CSS	254		1				29	15	9	5	青	砂岩		
CSS	255		1				12.5	12	13.5	3.9	青	礫岩	割れ	
CSS	257		1				16	13	10	2.9	青	砂岩	割れ	
CSS	259		1				32.5	14	7.5	3.3	白	砂岩		
CSS	260		2				32	21.5	9	3.9	白	安山岩		
CSS	261		1				27	10.5	7	3.1	青	砂岩		
CSS	262		1				21	18	9.5	5.2	黄	砂岩		
CSS	263		—				—	—	—	—	—	—		
CSS	264		—				—	—	—	—	—	—		
CSS	265		1				—	—	—	1	—	軟質凝灰岩		廃棄
CSS	266		1				56	32	20.5	45	—	安山岩?		
CSS	267		1				36	29	20.5	20.2	青	砂岩	割れ	
CSS	268		1				26	25	19	16.4	青	砂岩	割れ	
CSS	270		1				25	15.5	5	3.1	白	砂岩		
CSS	271		1				37	18	12	9.6	—	礫岩		
CSS	272		1				22.5	15.5	9	5.1	黄	砂岩		
CSS	273		1				9	6	2.5	0.2	白	砂岩	割れ	
CSS	274		1				33	22.5	16	12.5	緑	安山岩	割れ	
CSS	275		1				18.5	16.5	9	3.8	青	砂岩	割れ	
CSS	276		1				37	33	16.5	23.6	黄	安山岩	割れ	
CSS	277		10				18	8	8	—	緑	安山岩	割れ	
CSS	278		1				31	20	15	11.8	青	砂岩		
CSS	279		—				—	—	—	—	—	—	—	
CSS	280		1				34	28	22	28.3	白	安山岩		
CSS	281		1				44	30.5	22	36	白	珪質岩		
CSS	282		1				34	14	10.5	6.7	緑	珪質岩?		
CSS	283		1				41	25	15	24.8	青	砂岩		
CSS	284		1				29.5	7	6	1.8	—	流紋岩?		285と接合
CSS	285		1				27.5	11	7.5	1.7	—	流紋岩?		284と接合
CSS	286		1				25	10	10	2.4	青	砂岩		
CSS	287		1				22.5	18.5	3	1.8	白	砂岩		
CSS	288		1				17.5	10.5	5.5	1.5	緑	砂岩		
CSS	289		3				17.5	13.5	7	1.7	—	砂岩	割れ	
CSS	290		1				33.5	31	20	25.3	青	砂岩		
CSS	291		—				—	—	—	—	—	—		
CSS	292		1				14	7.5	5	0.9	黄	砂岩		
CSS	293		1				34	25	15	18.8	緑	安山岩		
CSS	294		1				34.5	20	15.5	12.6	青	砂岩		
CSS	295		1				12.5	10.5	7	0.9	白	珪質岩	割れ	
CSS	296		1				43	17.5	16	15.7	青	砂岩	割れ	
CSS	309		1				28.5	16.5	10.5	7.1	青	砂岩		
CSS	311		1				38	17.5	13	8.9	青	砂岩	割れ	
CSS	312		1				47	20	13	17.8	—	砂岩?		
CSS	313		1				15	10	8	2.5	灰	安山岩		
CSS	314		1				21.5	15.5	6	2.4	青	砂岩		
CSS	315		1				20	16	3	1.4	青	砂岩		
CSS	316		1				33	27	13	14.2	緑	安山岩		
CSS	317		1				16	13.5	7.5	3.2	青	砂岩		
CSS	318		1				25.5	21.5	10	8.8	緑	?		
CSS	319		1				22.5	20.5	10.5	6.1	青	砂岩		
CSS	320		1				30.5	22	8	7.9	青	砂岩		
CSS	321		1				22.5	10.5	5.5	0.6	黄	砂岩		
CSS	322		1				27	26	10	8.5	緑	安山岩	割れ	
CSS	323	石皿	1				21	14.5	7	3.5	緑	安山岩	割れ	
CSS	324		1				23.5	18	9	3.6	白	?		
CSS	329		1				22	8.5	5.5	3.1	青	砂岩	割れ	
CSS	330		1				21	15	3	1.6	—	?		
CSS	331		1				15	13	10	3.2	—	安山岩		

3 畝状遺構（中世）

畝状遺構 [図Ⅶ-221～223 図版Ⅺ-94]

位置 S～T32～36・U32・W28区

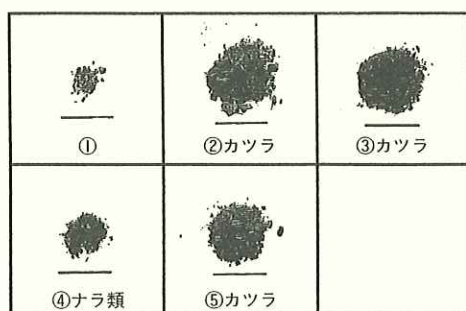
確認 Ⅲ層上面で確認。

調査 重機でⅠ層を除去して精査したところ、西から東へわずかに傾斜する平地の若干くぼんだところに駒ヶ岳d降下軽石堆積物（K o - d）の筋を確認した。T33区からU32区にかけては北西から南東向きに、S33区からT35区にかけては南西から北東にかけて筋状にK o - dが堆積していた。平成15年度の調査で南西－北東向きの畝跡が検出されており幅、堆積状況から一連のものであると判断した。平面観察から、北西から南東に走る畝が新しいことが見て取れたが、それぞれの筋に直交するトレンチを入れた断面観察からもそれが確認されている。いずれも畝間に堆積したK o - dで畑跡と判断したものであり、畝の上部は削平されていて作物痕などは確認されていない。

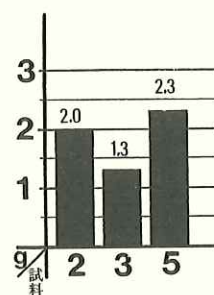
畝間の幅（心－心間）は北西－南東畝で約50cm。南西－北東畝では約60cm～100cmである。後者ではR34杭からS35杭にかけてのところの畝間が広く幅100cmほどになっており、耕作単位の間隔がここであった可能性がある。また、畝間の幅が約100cmと約60cmとほぼ半分ぐらいになっていることについて畝の切り返しの可能性も考えられるが、断面観察では積極的な答えを導き出すことはできなかった。畝・畝間の7カ所でサンプリングをし、フローテーション法により微細遺物の検出に努めたが種子等は検出されていない。

横山英介氏（北海道考古学研究所主宰）の協力で耕作土1ℓ中に含まれる炭化物質の重量を計量し、樹種を同定していただいた（横山 2009）。計量結果は最多2.34g、最小0.15gで比較対象の畑外の土壌では0gで、樹種はカツラ、ナラ類が同定されている。落葉広葉樹を伐採して火入れを行い、畑を耕作した可能性が指摘できよう。

時期 共伴遺物はないが、平成15年の580±40yrBP(Beta-186254)という放射性炭素年代測定値から大きく外れない範囲と考える。（中山）



図Ⅶ-221 館野遺跡耕作土1ℓ中にみられた炭化物質
※番号は採取地点。バーは5cm

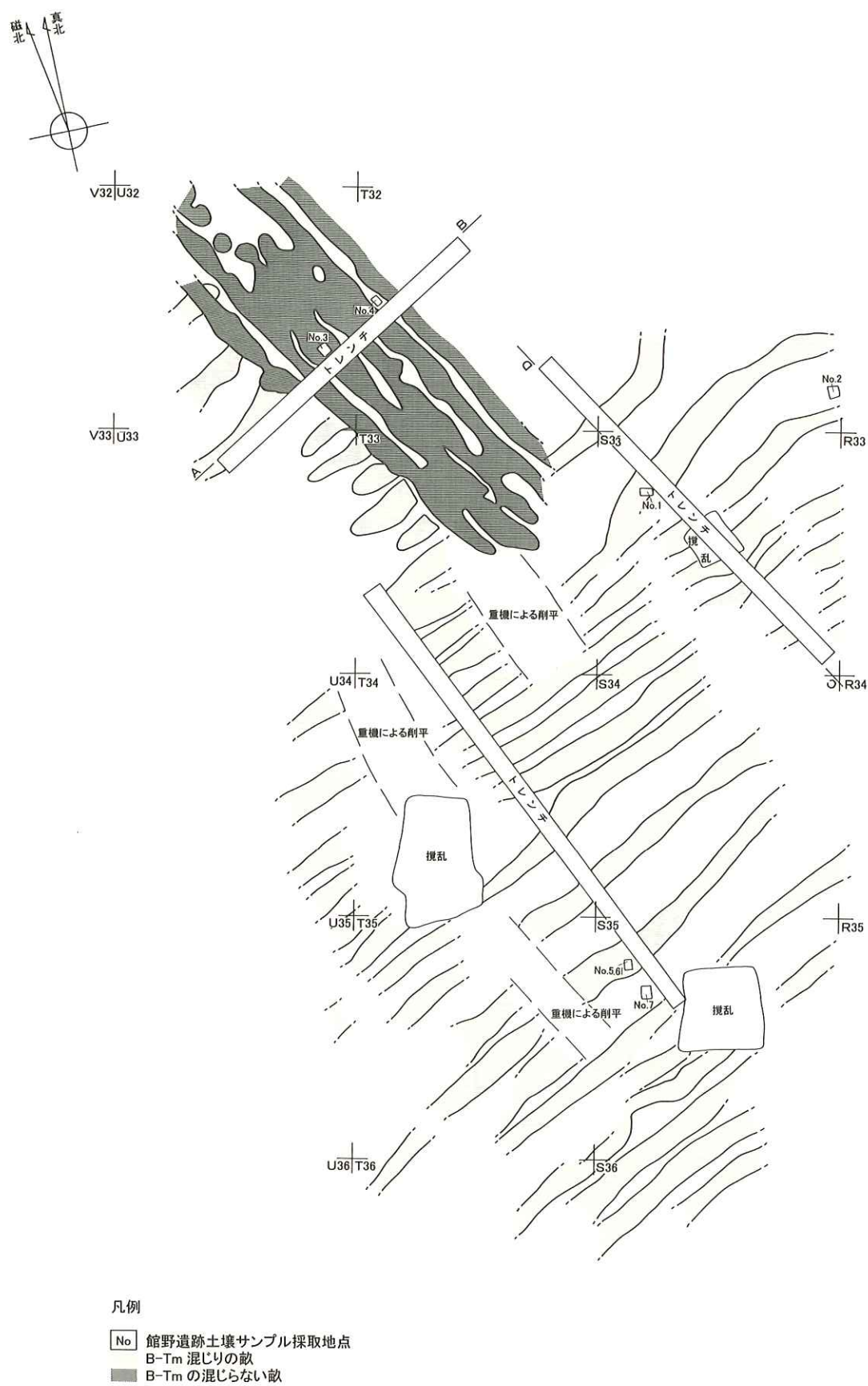


図Ⅶ-222 館野遺跡耕作土1ℓ中の炭化物量

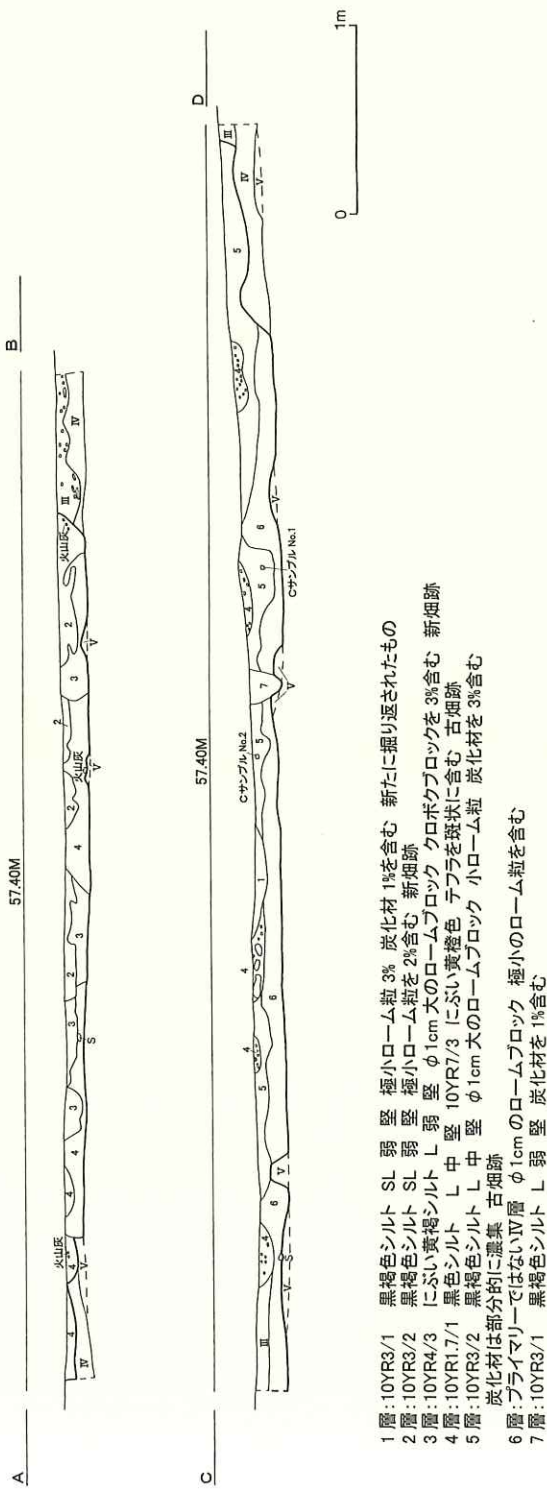
表Ⅶ-14 館野遺跡畑跡・畑地外の炭化物質

試料	地点	耕作土1ℓ中の炭化物g	樹種
①	U32	0.15	—
②	S32	2.01	カツラ
③	S34	1.33	カツラ
④	S35	0.43	ナラ類又はクリ
⑤	T32	2.34	カツラ
畑外	—	0	—

横山英介『考古学から見た北海道の焼畑』2009北海道考古学研究所設立5周年記念事業会より



図Ⅶ-223 畝状遺構(1)



図Ⅷ-224 畝状遺構(2)

(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第282集

北斗市 館野遺跡(2)

高規格幹線道路函館江差自動車道建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

〔第 3 分冊〕

発行 平成24(2012)年 3 月26日

編集 財団法人 北海道埋蔵文化財センター

〒069-0832 江別市西野幌685番地 1

TEL (011)386-3231 FAX (011)386-3238

印刷 中西印刷株式会社

〒007-0823 札幌市東区東雁来 3 条 1 丁目 1 -34

TEL (011)781-7501 FAX (011)781-7516